

# レブカの歴史的建造物の特徴と発展に関する研究

一戸建住居及び町家建築を中心として一

2020

岡山理科大学大学院

工学研究科

システム科学専攻

福本 雅美

## 目次

|                            |      |
|----------------------------|------|
| 第1章 研究の概要                  | — 5  |
| 1-1. 研究の背景                 | — 6  |
| 1-2. 目的・方法                 | — 7  |
| (1) 調査対象物件の選定方法            |      |
| (2) 調査方法                   |      |
| 1-3. オバラウ島レブカ              | — 12 |
| (1) 周辺地理・気候                |      |
| (2) 歴史                     |      |
| 1-4. レブカの歴史的建造物に関する既往研究    | —14  |
| (1) Hubbard Report         |      |
| (2)九州大学による町並み調査            |      |
| (3)その他のレブカにおける歴史的建造物に関する研究 |      |
| (4)レブカ以外の地域における歴史的建造物の研究   |      |
| 1-5. 本研究の構成                | —17  |
| 第2章 主要構造別の分析と小屋組みについて      | —20  |
| (1) 用途別の分類                 |      |
| (2) 主要構造                   |      |
| 2-1. コンクリート造および石造について      | —33  |
| 2-2. 木造建築の分類               | —35  |
| 2-2-1. ベランダについて            | —39  |
| (1)バンガロー型のベランダ             |      |
| (2)商店型のベランダ                |      |
| (3)ベランダと周辺室の判別             |      |
| 2-2-2.身舎構造について             | —43  |
| (1) 柱材                     |      |
| (2) 壁材                     |      |
| (3) 内張と外張                  |      |
| (4) 屋根材                    |      |
| 2-3. 身舎の屋根構造               | —51  |
| (1) 屋根構造の種類                |      |
| (2) 用途別の傾向                 |      |
| 2-4. 下屋の構造                 | —60  |



|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 2-5. レブカの歴史的建造物の年代判定における基準について | ――62  |
| 2-6. 構造における特徴と編年について           | ――63  |
| 第3章 戸建住居について                   | ――66  |
| 3-1. 戸建住居の特徴                   | ――70  |
| 3-2. レブカの戸建住居の変遷               | ――72  |
| 3-2-1. ベランダの室内化                | ――72  |
| (1) 建築当初の形状とバンガロー              |       |
| (2) ベランダから周辺室への変化について          |       |
| (3) 前方周辺室と後方周辺室について            |       |
| 3-2-2. リビングの拡張                 | ――81  |
| 3-2-3. 部屋の細分化                  | ――82  |
| (1) 下屋の細分化                     |       |
| (2) 身舎の細分化                     |       |
| 3-2-4. 廊下の発生                   | ――86  |
| 3-3. 戸建住居における特徴と変遷             | ――88  |
| 第4章 町家建築について                   | ――90  |
| 4-1. 形状による分類、考察                | ――94  |
| 4-1-1. タイプ別の現状平面の特徴            | ――94  |
| (1) Aタイプ                       |       |
| (2) Bタイプ                       |       |
| (3) Cタイプ                       |       |
| (4) Dタイプ                       |       |
| 4-1-2. タイプ別の初期形状について           | ――100 |
| (1) AタイプおよびBタイプ                |       |
| (2) Cタイプ                       |       |
| (3) Dタイプ                       |       |
| 4-2. 用途別の分類                    | ――107 |
| (1) 各建物の建物内の使用方法の構成について        |       |
| (2) レブカタウン内における配置              |       |
| 4-3. 古写真による検討と年代考察             | ――113 |
| 4-4. 町家建築における特徴と変遷             | ――114 |
| 第5章 公共建築について                   | ――116 |

|                 |      |
|-----------------|------|
| 5-1. 各用途別の特徴    | —119 |
| 5-2. 主要構造における特徴 | —124 |
| 5-3. 結論         | —125 |
| 第6章 結論          | —128 |
| 6-1. 建物の特徴      | —129 |
| 6-2. 建物の変遷      | —129 |
| 6-3. まとめ        | —130 |
| 謝辞              | —131 |
| 使用絵図一覧          | —132 |
| 参考文献            | —136 |
| 添付資料：調査物件図面     | 巻末資料 |



# 第 1 章

## 研究の概要

## 1-1.研究の背景

研究対象地であるレブカは日本の南約7000kmにあるフィジー共和国の旧首都である(Fig.1-1)。

フィジーは19世紀に白人に発見されて以降、南太平洋の交易の中心地として栄えた。1874年にフィジーがイギリス植民地となりレブカが最初の首都に選ばれたが、大型船が入港できず土地も狭かったため、わずか8年で現在の首都スバに遷都された。レブカは首都であった期間が短いため、近代的な開発が行われず、植民地時代の遺構が数多く残っている点が評価され、2013年にユネスコ世界文化遺産に登録された。しかし登録の際に用いられた資料は文献調査や目視調査のみで、実際の建物に対する建築的調査は行われておらず、現地に残る歴史的建造物の初期の形状やその変遷は明らかになっていない。このためICOMOSからは建造物の調査が不十分であると指摘を受けており(注1-1)、また建築的な調査が行われていないために都市の開発に対する規制や建物の保存修理の方法が明確に定められていない。

さらに歴史的建造物の価値が曖昧であるために、住民に対しても建物の価値が十分に伝わっていない。2016年のハリケーン「ウィンストン」でレブカは甚大な被害を受け、多くの家屋が倒壊したが、一部の住居では破損した部材を薪にするといった行動も見られた。歴史的建造物の維持のための経済的支援や補助制度も十分ではなく、所有者が修理できないために取り壊された建物もある。

以上の点から、レブカの歴史的建造物の詳細な調査を行いその価値を明らかにすることが重要であると考えた。

また、レブカを含むオセアニア周辺にはバンガローと呼ばれる形式の建物が普及している。バンガローはイギリス植民地を中心に世界中に普及しており、日本でも長崎のグラバー邸や神戸の異人館などに類型が見られる。しかしバンガローの起源については諸説あり、その伝播経路については未だ明らかになっていない(注1-2)。またその形状については略図や外観写真が残るのみで、詳細は不明である。レブカの歴史的建造物の変遷を明らかにする事で、オセアニアにおけるバンガローの普及とその変遷を考察することが出来ると考える。



Fig1-1.フィジー共和国レブカ



Fig1-2.レブカタウン ミッションヒル



Fig1-3.レブカのバンガロー

## 1-2.目的・方法

本研究はレブカに残る歴史的建造物の特徴とその発展を明らかにすることを目的とする。特にフィジーの伝統文化や生活習慣に着目し、間取の変化にどのような影響を与えたかを考察する。

本研究ではユネスコ世界文化遺産に登録された「LEVUKA HISTORICAL PORT TOWN」の範囲(Fig.1-4)に現存する歴史的建造物141件(注1-3)を対象とする。

### (1)調査対象物件の選定方法

調査対象である歴史的建造物141件の選定に際しては1994年にTimothy Hubbardにより作成された「TOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY (注1-4)」と、西山徳明が2007年に追加調査により選定した37件の建物を参考にした。

「TOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY」に記載された106件のうち、記念碑、広場、埠頭、機械設備、貯水池、市場といった建築物以外のものが11件、2016年8月時点で台風等により消失したものが11件、レブカタウン外の建造物が5件あるため、「TOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY」からはこれらを除外した79件を対象とする。また西山徳明による追加調査37件のうち現存する建物が31件確認できた。さらに現地住民への聞き取り調査から判明した築年数50年以上とされる建物を31件追加し、合計141件とした。



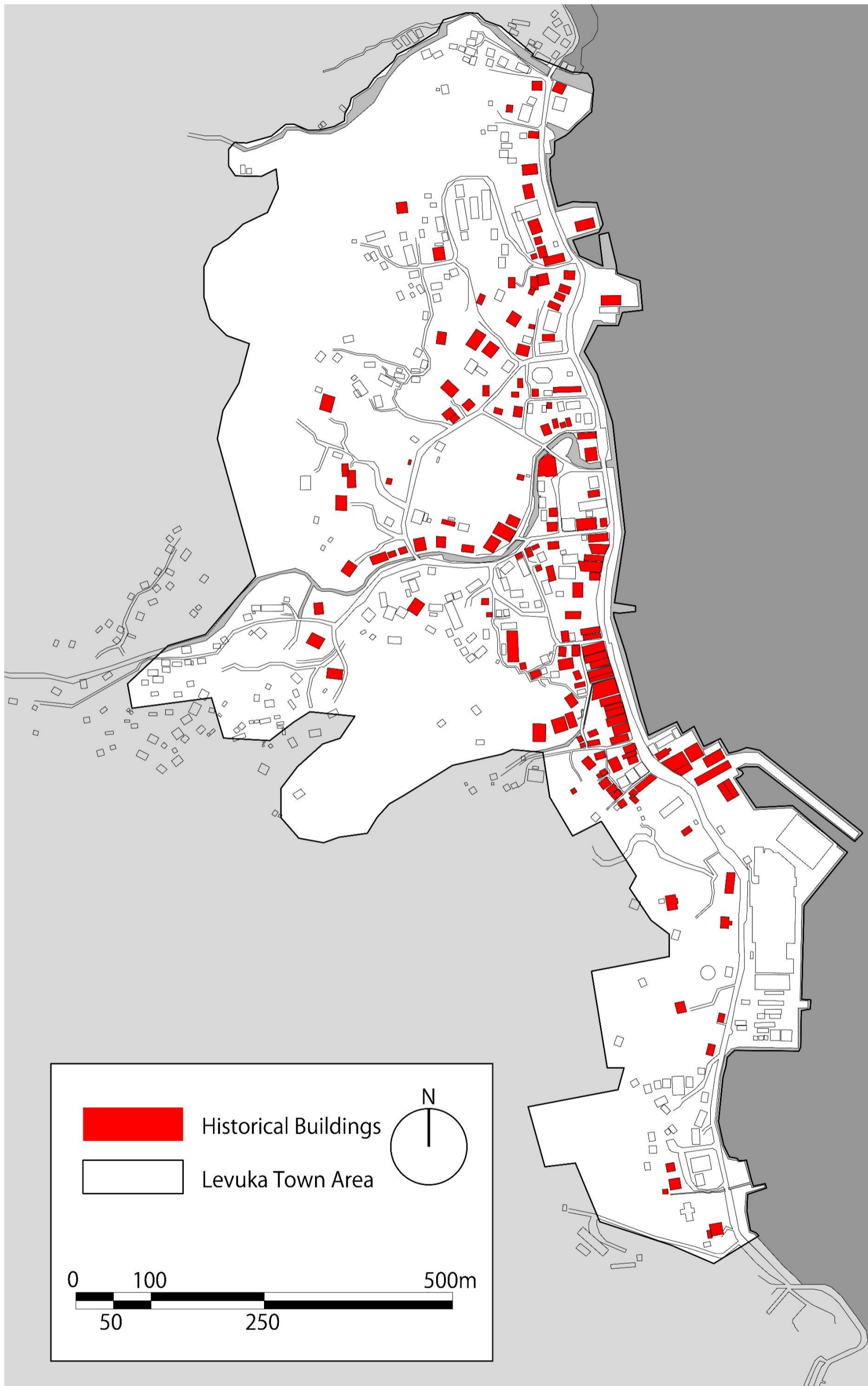


Fig.1-4 レブカタウンと調査対象物件



## (2)調査方法

調査は実測調査、痕跡調査、聞き取り調査、文献調査を用いた。実測調査から現状の建物の平面図と断面図を作成し、分析を行う。建物は痕跡調査から痕跡図を作成し、それを基に復原図を作成した。復原の手法については木造の復原手法(注1-5)に準拠し、また下記の手法を用いた。

撤去された柱や壁、建具については、切断痕や塗装の痕跡から判断する。レブカでは枠組壁工法を用いており、柱の切断面(Fig.1-5)や壁の繋ぎ目(Fig.1-6)が確認できる。塞がれた窓や扉は板の繋ぎ目が異なるためその大きさを判別することができる。一部では窓枠も残る(Fig.1-7)。またレブカでは複雑な継手は見られないが、柱には蝶番や胴縁、窓の下枠を撤去した痕跡が残る(Fig.1-9)。

レブカの建物はペンキによって塗装されており、柱や筋交いが撤去された場合硬化したペンキが残るため、その痕跡が確認できる(Fig.1-10)。さらに塗装がされていない部分は当初から壁や柱があったと推測できる。逆に壁で隠れる部分に彩色が施されている場合は、その壁は後補であることが分かる。またFig.1-11のように屋根裏や床下まで貫通している壁は当初材である。ただし、この部分にペンキが塗装されている場合は転用材の可能性がある。さらに、後補とする壁や柱は天井まで施工せず上部が開いている場合もある(Fig.1-5、Fig.1-12)。

一部の建物では古写真を用いて現在の建物と比較を行い、古写真、文献、復原図を基に建物の変遷を明らかにした。なお、分析に使用した図面には九州大学で調査された49件を含む(注1-6)。建物の利用方法は主として聞き取り調査によって明らかにした。現地の実測調査及び聞き取り調査は現地のLevuka Town Council及びHeritage Office(注1-7)の協力を得た。2018年8月に全ての建物の調査を完了した。

また2018年8月にオセアニアにおけるコロニアル建築の分布と普及状況についての調査のためにオーストラリア連邦シドニー、フランス領ニューカレドニア島ヌメアにて実地調査および文献調査を行った。

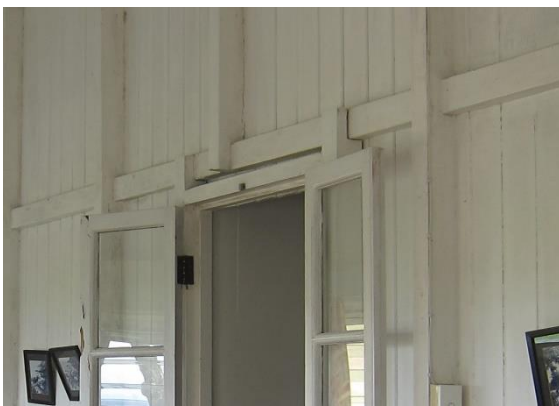


Fig.1-5 切断された柱と追加された柱および建具



Fig.1-6 切断された壁の繋ぎ目



Fig.1-7 塞がれた窓の痕跡



Fig.1-8 筋交を切断して扉を追加している



Fig.1-9 窓の下枠の痕跡



Fig.1-10 硬化したペンキにより撤去された筋交の形が残る



Fig.1-11 屋根裏まで貫通する壁



Fig.1-12 上部が空いた壁

### 1-3.オバラウ島レブカ

#### (1)周辺地理・気候

フィジー共和国は日本の南約7000kmの南太平洋オセアニア島嶼地域に位置し、330以上の火山島と珊瑚礁で構成される。現在の首都であるスバはフィジー本島(Viti Levu島)南東に位置する。平均気温25°C前後で、年間を通して温暖である。熱帯雨林気候に属し、雨期(12~4月)と乾期(5~11月)がある(注1-8)。地震はあまりないが、雨期には台風が多く発生し、歴史的に多大な被害を受けてきた。

主要産業はイギリス植民地時代にもたらされたサトウキビで、1980年代以降は観光もフィジーの経済を支えている主要産業のひとつである。

民族構成は先住民であるフィジー系フィジー人と植民地時代に労働者として移住したインド系フィジー人、その他ヨーロッパやアジア、ポリネシア系を含む多民族国家である。近隣のサモア、ニュージーランド、オーストラリアと国交が深く、歴史的にも深いつながりがある。フィジー人は大部分がメラネシア人で、地理的にもメラネシアに属するが、文化的にポリネシアの影響を強く受けている(注1-9)。しかし諸島国家であるため、それぞれの島によって文化の影響の度合いは異なり、一概に語ることはできない。

研究対象地であるレブカはフィジー本島から東に約17kmのオバラウ島東岸にある港町である。オバラウ島は約101km<sup>2</sup>の島で、島の周囲をビーチストリートと呼ばれる1本の道を通る。死火山であるオバラウ火山を中心に周囲を珊瑚礁が囲む。レブカのビーチストリートには多くの店舗が並び、オバラウ島の中心地となっている。

オバラウ島は諸島のほぼ中心にあり、珊瑚礁によって波が穏やかで港に適していたため、レブカは交易地として栄えイギリス植民地時代の首都として選ばれた。しかし急峻な山が背後に迫っているため平地が狭く、珊瑚礁により大型船が寄港できないことから、わずか8年で現在のスバに遷都した。

#### (2)歴史

考古学の調査から3500年前にはフィジー全土に人が居住していたことが分かっている(注1-10)。1774年にイギリス人航海士クックが上陸し、それ以降指導者である「ツイレブカ」が白人を擁護したため、西洋人が多く訪れたとされる。

1850年代からキリスト教の布教活動が始まり、1870年代までに非先住民の人口は2000人を超えたとされる(注1-11)。

1874年にイギリスへ譲渡され、レブカが首都として選ばれた。首都となった事で都市インフラの整備が行われ、港や排水路の他、イギリス上流階級の文化が流入し公共施設や娯楽施設も増えた。Royal HotelやLevuka Public Schoolもこの当時の建設とされる。

しかしサンゴ礁により大型船の入港が出来ず、レブカ自体も土地が狭いことから1882年にスバへ遷都された。遷都後はレブカはコプラ貿易によって発展を続け、いくつかの企業はレブカを拠点とした。特にMorris Hedstrom株式会社とHENNING'Sの2社は大きく、その

倉庫や事務所が現存している。コプラ加工のために港には線路が敷かれ、Beach Streetには工場が並んだ。

その後1950年にコプラ加工工場が移転した事でレブカの産業が衰退し、1960年代に建設された缶詰加工工場(PAFCO)が現在も町の生活を支えている。

1970年にフィジーは独立を果たすが、歴史的にフィジー系が優遇されてきた事から、植民地時代に労働力として連れてこられたインド人との経済格差や権利により民族問題を抱える。



Fig1-13.首都時代のレブカのまちなみ

#### 1-4.レブカの歴史的建造物に関する既往研究

##### (1) Hubbard Report

レブカにおける歴史的建造物の研究については、世界遺産登録の際にオーストラリアの建築コンサルタントTimothy Hubbardによって保存計画及び保存ガイドラインTOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY (通称Hubbard Report、以降HRと呼称)が作成されている。

HRは2部から構成されており、第1部はレブカの歴史や地理、遺産マネジメントの現状分析と提言、第2部が106の主要な施設リストである。報告書の第1部では保存政策に対する勧告として、Heritage Adviserの設置、法改正や条例の整備、財源に関わるプロセスについて言及している。また、第2部の主要施設はそれぞれ地域に対する重要度や歴史的意義によって3等級に分けられている。しかし調査そのものは文献と目視調査によるもので、実証的な調査は行われていない。

##### (2)九州大学による町並み調査

2003年にフィジー政府(文化遺産局)およびJICAからの支援要請を受け、西山徳明を中心とした九州大学により調査が行われている(注 1-12)。この研究では文化遺産マネジメントの観点から、歴史的、空間的、景観的特性を把握する事を目的としており、地域による建物の傾向と用途分布、景観要素、住民意識について調査を行っており、複数の建物で実測調査も行われている。特に住民意識については「職員自身が明確な基準をもたない」「規制を認識していない」等が挙げられており、前述したICOMOSの勧告からも、住民の主体的な意識形成が重要であると述べられている。

##### (3)その他のレブカにおける歴史的建造物に関する研究

上記以外のレブカにおける歴史的建造物に関する研究は、Robbin Chatan(注1-13)やMargaret Purser(注1-14)がそれぞれ個別の建物について、考古学的な手法や建築学的な調査により4件の建物についてその特徴を述べている。

しかしこれらの調査では個別の建物についての調査は行われているが、体系的な考察は無く、レブカ全体の建造物の変遷を詳しく検討したものではない。

##### (4)レブカ以外の地域における歴史的建造物の研究

Margaret Purserは「The view from the verandah」でレブカの住居を「British tropical bungalow」と称した。バンガローとは平屋建の木造建築で、深い軒と広いベランダを持ち、西洋人がインドの気候風土に対応するため、現地の様式を取り入れたもので、軍人達によってイギリス植民地を中心に伝わったとされる(注 1-15)。

Anthony D. Kingによれば、インドにバンガローの元となる形式が成立したのは18世紀中頃とされる。インドの植民地支配が始まった当初は軍人が野営地として取り入れた簡易的な小屋であった。その後、日常的に使う建物に日差しを遮るための広いベランダや風通しの



良い室内など、現地の伝統的な様式を取り入れ、西洋式のバンガローが形成されたとされる(注 1-16)。

特にオーストラリアではバンガローが広く普及しており、Anthony D. King は著書『THE BUNGALOW』で『バンガローがオーストラリアの住居形式として一般的であるため、オーストラリアにおいては住居=バンガローであり、むしろバンガローと言う名称は使われない』と述べている。また King は同著で『バンガローは植民地支配における帝国のシンボルでもあった』としており、バンガローの普及がイギリスの社会背景とも強く結び付いていると指摘している。

オセアニア全体のバンガローの変遷は明らかにされておらず、その初期の形状については略図と外観写真が残るのみである。しかし、発展した形式の一部はオーストラリアに確認することができる。

オーストラリアのバンガローの発展として「クイーンズランダー」と呼ばれる様式がある。クイーンズランド州近郊で多く見られる独特の形式とされ、バンガローの特徴である広いベランダに加え、1mを超える高さの高床が特徴である(Fig.1-14)。

一方シドニーではクイーンズランドとは異なり、Fig.1-16 のように身舎がL字型やT字型等、複雑な形状が多い。またベランダが建物の周囲を囲む形ではなく、前方や後方の一部のみ設けられている等、家の全体の面積に対して縮小している。またニュージーランドでも同様の形式が確認されている(注 1-17)。

さらに、フランス領であるニューカレドニアにはクイーンズランダーに似た形状の住居が複数確認された(注 1-18)。またカナックと呼ばれるニューカレドニアの原住民の住居にベランダが付いた建物の写真が現存しており、イギリス領以外の地域でもバンガローが普及していたと考えられる。

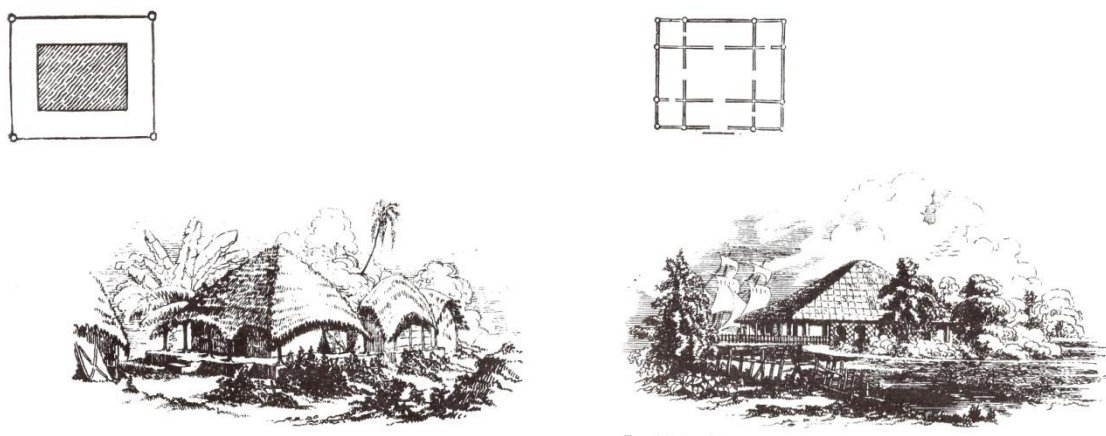
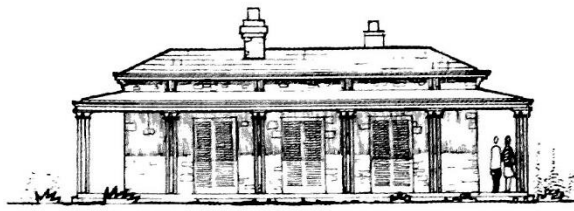
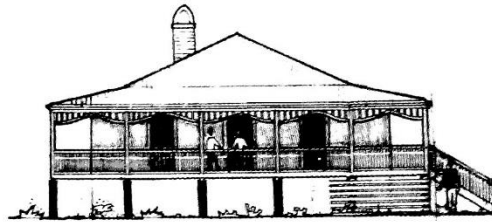


Fig.1-14 「chayari」と呼ばれるインドの伝統住居(左)と、ヨーロッパ人が現地の環境に適応させたバンガロー



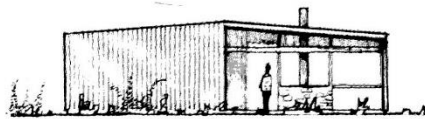
1840



1880



1920



1960

Fig.1-15 クイーンズランダーの発展



Fig.1-16 シドニーのベランダが縮小されたバンガロー



Fig.1-17 ニューカレドニア ノメアの木造建築

## 1-5. 本研究の構成

本項目は3部構成とし、1章を序論、2章から4章を本論、5章を結論とする。本論の2章から4章の内容については下記のとおりとする。

### 2章：主要構造別の分析と小屋組みについて

レブカに残る歴史的建造物141件の構造的な特徴や建物の変化について明らかにする。

レブカの歴史的建造物は木造、コンクリート造、石造に分類され、木造が8割を占める。木造建築は身舎と下屋で構成されるバンガロー型が多く、古くは下屋部分が外部に開放されたベランダであったことを明らかにした。また用いられている壁や柱の形式から建物の特徴を明らかにし、年代を分析した。

屋根は時代が下るほど屋根勾配が緩やかになり、下屋には垂木の浮き上がりを防ぐ工夫が見られることから、台風など強風に対する対策が用いられている。

### 3章：戸建住居について

用途別に分類した建物のうち、戸建住居における特徴と変遷について考察を行う。本研究ではフィジーの伝統文化や生活習慣に着目し、主として間取の変化にどのような影響を与えたかを考察する。

レブカの戸建住居はバンガローの形式を持つ。周辺室がベランダだった当時は身舎に寝室やリビングがあり、大規模な住宅では応接間などの接客空間も備えていた。また、一部の家では白人たちがフィジーの文化を踏襲していると考えられる接客空間を持つ。

ベランダが室内化されると、身舎に明かりや通風が得られなくなる。このため寝室を周辺室に移動し、リビングと周辺室をつなげて広い1室とすることで採光と通風を得た。

### 4章：町家建築について

用途別に分類した建物のうち、町家建築における特徴と変遷について考察を行う。

現在のレブカに残る町家建築は、元々は店舗部分のみで住居を持たず、増築を繰り返して現在の形状になった。現在は店舗と住居を併設した建物が多く、一部の建物では商店を辞めて専用住居として利用している。

首都期以前のレブカでは現在のような町家建築は少なく、バンガロー形式の建物がビーチストリートに並んでいた。首都期に町が発展し2階建の建物も増えたが、遷都後はコプラ貿易が町の経済を支え、コプラ倉庫と見られる建物が増加した。コプラ貿易が衰退して以降、住居部分を増築して現在の形状となった。

### 5章：公共建築について

用途別に分類した建物のうち、公共建築における特徴と変遷について考察を行う。

公共建築に区分される建物は戸建住居や町家建築などの民間の建物と異なり、手間や費用



のかかる建物が多く見られる。建物の用途は役場が最も多く、次いで教会が多く見られる。木造の公共建築は住居に比べ改造が少なく、比較的当初の形状を保っている。

教会以外の建物は遷都後に建てられたものが多く、レブカの町としての機能は首都ではなく、地方都市の州都としての機能が重視されていることが分かる。

#### 序論注釈

注1-1 : ICOMOS から「ICOMOS considers that the current level of conservation expertise is insufficient and the lack of archaeological expertise is an issue.」と指摘されている。

「ICOMOS2013(参考文献12)」, p93

注 1-2 : Anthony D. King が著書『THE BUNGALOW(参考文献 70)』でバンガローの起源をインドとしているが、現在では中米を起源とする説もある。また同書ではインド、イギリス、アフリカ、オーストラリアなど主要地域の変化を追ってはいるが、フィジーなど周辺諸国については考察されておらず、また初期から現在までの詳細な変遷も明らかにされていない。

注1-3 : 本研究の調査対象物件141件の調査を2018年8月に終えた。1件につき複数棟の建物を持つ家もあるため、対象物件は141件153棟である。また、山の中腹に不法占拠者によるバラックが存在するが、今回の研究では対象範囲に含めないものとする。

注 1-4 : Hubbard Report 「TOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY(参考文献 3)」

1994年にオーストラリアの建築コンサルタントのティモシー・ハバードとピーター・ジェームズによって作成された保存計画及び保存ガイドライン。

注1-5 : 痕跡調査の手法は『民家のみかた調べかた』(参考文献82)に準拠する。

注1-6 : 西山徳明ほか「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その5,その9(参考文献36, 42)」に記載の18件および未発表データ35件を含む

注1-7 : Levuka Town Council : レブカ町議会

Heritage Office : フィジーの文化庁にあたるThe Department of national Heritage, Cultural and Artsがレブカの文化遺産の指揮監督を行うために設ける事務所

注 1-8 : 『地球の歩き方 : フィジー・トンガ・サモア(参考文献 93)』および *Fiji: an ENCYCLOPEDIC ATLAS* 参照(参考文献 78)

注 1-9 : 薮内芳彦『ポリネシア(参考文献 81)』p65「フィジー諸島の住民はロツーマ島を除いて大部分本来のメラネシア人であって、従来からポリネシアに包含されていないが、文化的にも、また人種的にもポリネシアの影響が大きい。(中略)トンガ、サモア、フィジー地域はメラネシア的な、またポリネシア的な文化が混交している。」

注 1-10 : Robbin Chatan, *The Governor's vale levu* (参考文献 7)

注 1-11 : 八百板季穂「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究」

(参考文献 32)

注 1-12 : 現在は北海道大学観光学研究センターに移籍

注 1-13 : Robbin Chatan, *The Govenor's vale levu* (参考文献 7)

注 1-14 : Margaret Purser, *The view from the verandah* (参考文献 5)

注 1-15 : C. F. ベイリ編 『イギリス帝国歴史地図』 (参考文献 89)

注 1-16 : Anthony D. King, *THE BUNGALOW* (参考文献 70)

注1-17 : Jeremy Salmond, *OLD NEW ZEALAND HOUSES 1800-1940* (参考文献73)

注 1-18 : 2018 年 8 月にフランス領ニューカレドニア ノメアにて実地調査を行った

## 第2章

# 主要構造別の分析と小屋 組みについて

## 2. 主要構造別の分析と小屋組みについて

本研究では既往研究を参考にレブカに残る歴史的建造物を141件抽出した。1件に複数棟持つ建物が存在するため、調査棟数は153棟とする。2章ではこれらのデータを分析し、建物の構造的な特徴と変遷を明らかにすることを目的とする。

調査から得られたレブカにおける歴史的建造物141件の調査項目と分類をTable.2-1に示す。

### (1)用途別の分類

本研究ではレブカに残る歴史的建造物141件(153棟)をその用途から、戸建住居、町家建築、公共建築の3種に分類した。これをTable.2-1の③に記す。戸建住居は生活にのみ使用される専用住居で、町家建築は住居以外に店舗や倉庫など複合的な機能を併せ持つ兼用住居、公共建築は学校、教会、警察署、病院、ホテル、娯楽施設などとする。戸建住居82件、町家建築35件、公共建築24件である。公共建築が多く、首都として発展していたこと、現在もロマイビチ地方の中心地である事が伺える。

### (2)主要構造

レブカの歴史的建造物は153棟中121棟が木造、コンクリート造23棟、石造9棟(注2-1)であり、木造が8割を占める。同一建物に使用部材が複数使用されている場合は身舎の主要構造で判断する。基礎や増築部分の壁体にはコンクリートを用いる建物も多く、また躯体とは別に小屋組は全て木造である。

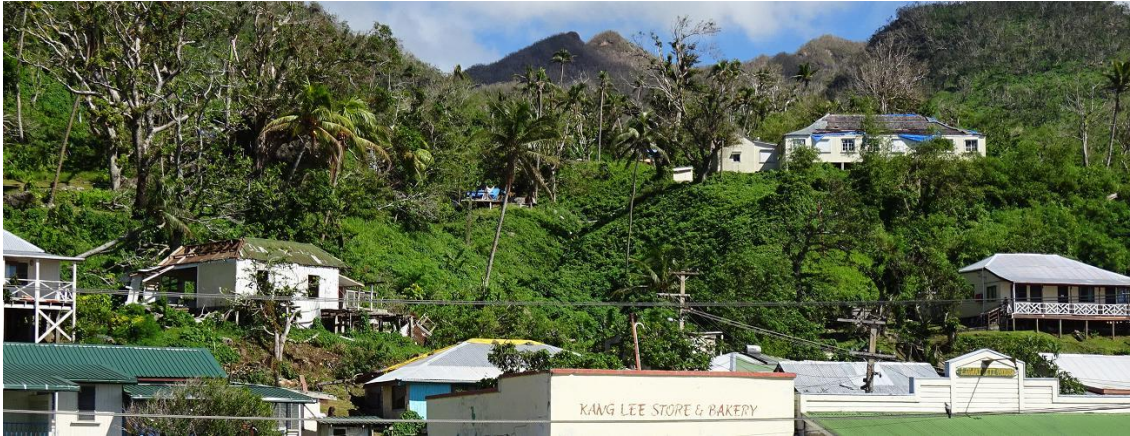


Fig.2-1 山の中腹に点在する戸建住居



Fig.2-2 町家建築



Fig.2-3 公共建築

Table.2-1 調査物件一覧(s01 から s16 および b01 から b38 まで)

| No. | name                                       | ②  |    |    |    |     |        | ③               | ④       | ⑥           |
|-----|--|----|----|----|----|-----|--------|-----------------|---------|-------------|
|     |  | 平面 | 断面 | 配置 | 復原 | 間取り | 図面出典   |                 |         |             |
| s01 | Masoba House                               | ○  | △  | ○  | △  | ○   | NR/OUS | Residence       | 木造      | 1860年代初頭:HR |
| s02 | Materiti Mateiwai                          | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)    |
| s03 | Drano Salesi                               | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (19世紀後期)    |
| s04 | Saimoni Dobui                              | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (19世紀後期)    |
| s05 | Suliana Sandys (ANNN OFA WINIFRED HARNESS) | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (1900年頃)    |
| s06 | Eseta Vakatale                             | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀中期)    |
| s07 | Albert Bechu                               | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | 1930年代:間き取り |
| s08 | SAIMONI LUTU                               | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | 1940年代:HR   |
| s09 | Sinclair Residence                         | ○  | △  | △  | △  | ○   | NR/OUS | Residence       | 木造      | 1900年頃:HR   |
| s10 | Old Mobil Station                          | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Shop House      | 木造      | 1960年代:様式から |
| s11 | PAFCO old storage                          | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Shop House      | 木造      | 1962:間き取り   |
| s12 | FIJI PORT CORPORATION (HM HOME MAKER)      | ○  | △  | △  | △  | ○   | NR     | Shop House      | 木造      | 1920年:HR    |
| s13 | Post Office/Customs Authority              | ○  | △  | △  | △  | ○   | NR     | Public Building | 木造      | 1870年代後半:HR |
| s14 | BEN NAIDU (OT&T)                           | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS    | Shop House      | コンクリート造 | 1950年代:HR   |
| s15 | LEVUKA COMMUNITY CENTER<br>Sirehouse       | ○  | △  | △  | △  | ○   | NR     | Shop House      | コンクリート造 | 1868年:HR    |
| s16 | NATIONAL TRUST OF FIJI                     | ○  | △  | △  | △  | ○   | NR     | Shop House      | 木造      | 1868年?:HR   |

| No. | name   | ②  |    |    |    |     |      | ③               | ④       | ⑥          |
|-----|--|----|----|----|----|-----|------|-----------------|---------|------------|
|     |  | 平面 | 断面 | 配置 | 復原 | 間取り | 図面出典 |                 |         |            |
| b01 | LEVUKA SERVICE STATION                             | ○  | ○  | △  | △  | ○   | OUS  | Shop House      | コンクリート造 | (20世紀中期)   |
| b02 | Anne Valentine                                     | ○  | ○  | △  | △  | ○   | OUS  | Residence       | 木造      | (1900年頃)   |
| b03 | PATRICIA RILEYS                                    | ○  | ○  | △  | △  | ○   | OUS  | Public Building | 木造      | 1900年頃:LHR |
| b04 | June Murray  | ○  | ○  | △  | △  | ○   | OUS  | Residence       | 木造      | (19世紀後期)   |
| b05 | Martin Joy   | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS  | Residence       | 木造      | (19世紀後期)   |
| b06 | Morris Hedstrom SUPERMARKET (Supreme Store)        | ○  | ○  | △  | △  | ○   | OUS  | Shop House      | コンクリート造 | 1900年以降:HR |
| b07 | LEVUKA AMUSEMENT CENTRE<br>RS Gounder & Sons store | △  | △  | △  | △  | ○   | OUS  | Shop House      | コンクリート造 | 1900年以降:HR |
| b08 | KANG LEE STORE & BAKERY                            | △  | △  | △  | △  | ○   | OUS  | Shop House      | コンクリート造 | 1960年初頭:HR |
| b09 | LOMAVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK          | ○  | △  | △  | △  | ○   | OUS  | Shop House      | コンクリート造 | 20世紀中期:HR  |
| b10 | Gulabdas & Sons Store                              | ○  | ○  | △  | △  | ○   | NR   | Shop House      | 木造      | 1900年以前:HR |





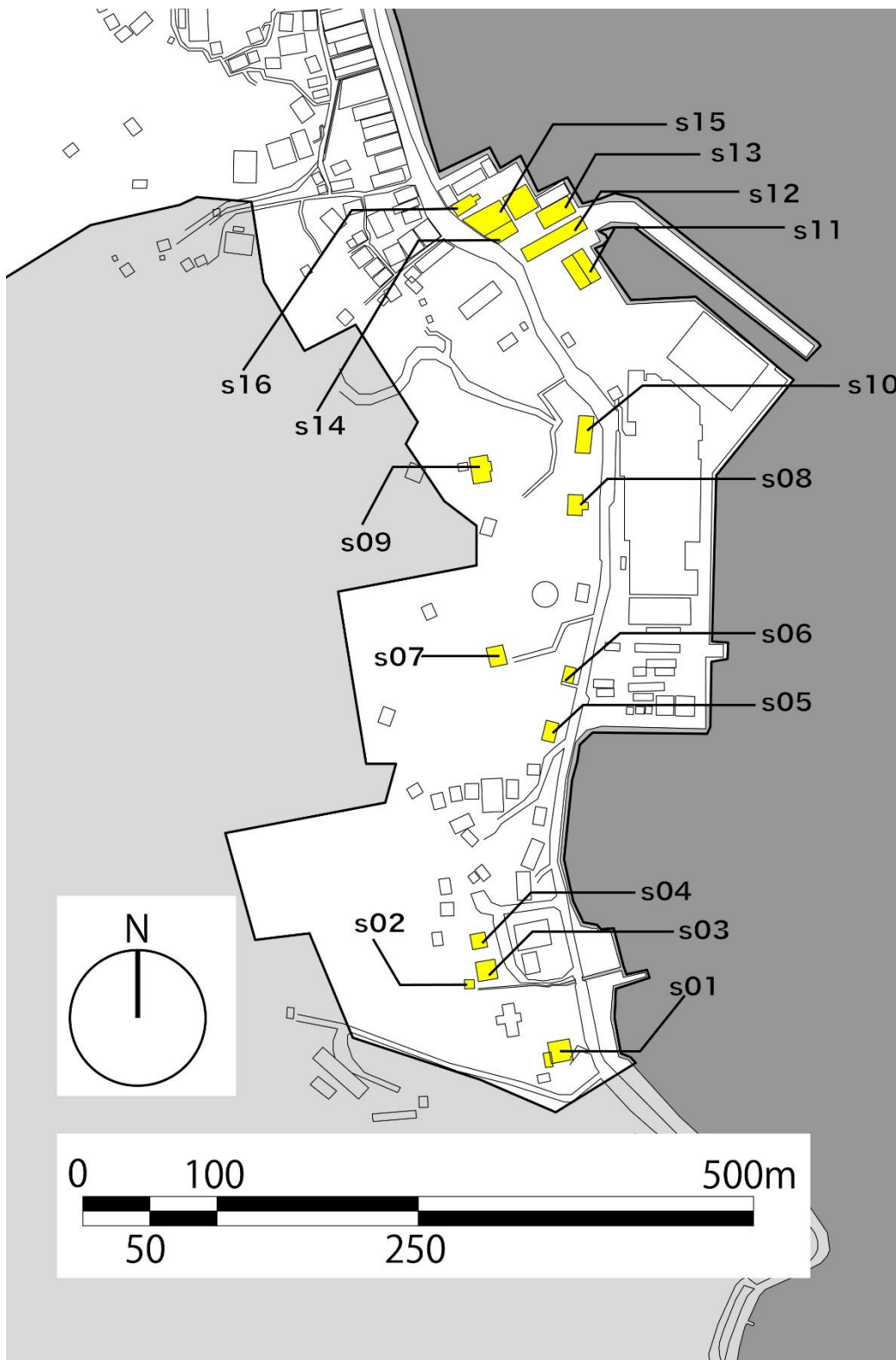


Fig.2-4 調査物件(s01 から s16)



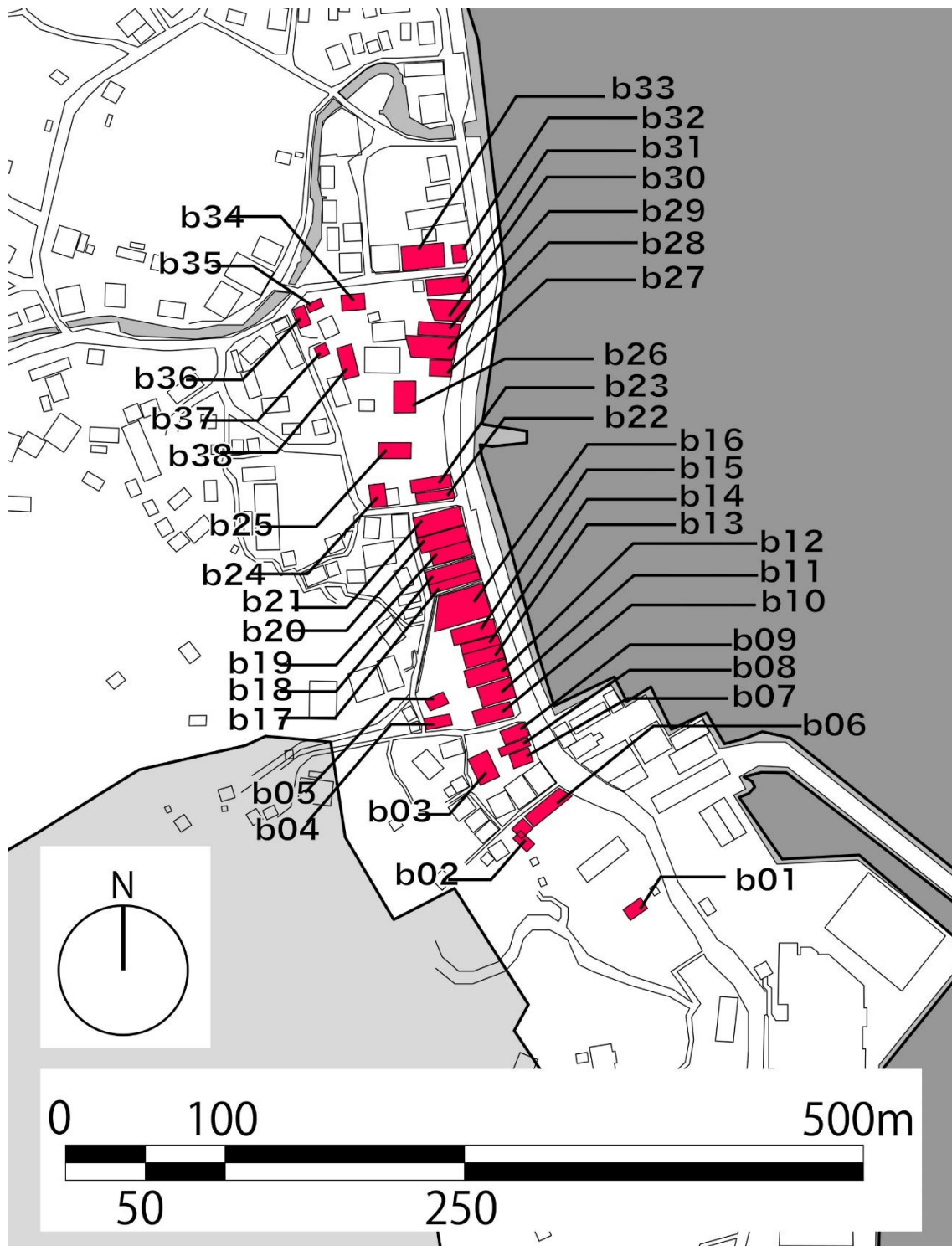


Fig.2-5 調査物件(b01 から b38)

Table.2-1 調査物件一覧 m(s01 から ms27 まで)

| No.  | name                                   | ①  |    |    |    |     |      | ②  |    |    |    |     |                 | ③       | ④              | ⑥ |
|------|--|----|----|----|----|-----|------|----|----|----|----|-----|-----------------|---------|----------------|---|
|      |  | 平面 | 断面 | 配置 | 復原 | 間取り | 図面出典 | 平面 | 断面 | 配置 | 復原 | 間取り | 図面出典            |         |                |   |
| ms01 | Ben Naidu                              | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 年代<br>(19世紀後期) |   |
| ms02 | WILLIAM GOUNDER                        | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 第1次世界大戦以前:HR   |   |
| ms03 | GOUNDER LAI                            | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 第1次世界大戦以前:HR   |   |
| ms04 | Anne Williams                          | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1894年以前:古写真    |   |
| ms05 | Ina Clow                               | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1894年以前:古写真    |   |
| ms06 | Bhupendra-Vadratau                     | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀中期)       |   |
| ms07 | Ian Powell                             | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀中期)       |   |
| ms08 | Mr. Stevens House                      | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1894年以前:古写真    |   |
| ms09 | OKAMURA's HOUSE                        | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀前期)       |   |
| ms10 | Mr. Ram                                | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀前期)       |   |
| ms11 | Lomalagi Government Quarters           | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1894年以前:古写真    |   |
| ms12 | Mr. Narai's Property                   | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1894年以前:古写真    |   |
| ms13 | SHIU NARAYAN                           | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀中期)       |   |
| ms14 | Majorie Sahai                          | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1919年購入        |   |
| ms15 | 1972年                                  | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀中期)       |   |
| ms16 | RAM KRISHNA                            | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀前期)       |   |
| ms17 | Ilisoni Serukalou                      | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀前期)       |   |
| ms18 | Narayan Homestead                      | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Shop House      | 木造      | 1900年以降:HR     |   |
| ms19 | Annie Taylor                           | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | コンクリート造 | (20世紀中期)       |   |
| ms20 | Marist Convent Complex<br>付属屋A<br>付属屋B | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Public Building | 石造      | 1890年代:HR      |   |
| ms21 | LPS TEACHERS QUARTERS                  | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Public Building | 木造      | (1900年頃)       |   |
| ms22 | MR ROY FIU/(TEACHERS QUARTERS)         | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Public Building | 木造      | (1900年頃)       |   |
| ms23 | Police station                         | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (20世紀前期)       |   |
| ms24 | Levuka Public School Complex           | ○  | ○  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Public Building | 木造      | (20世紀前期)       |   |
| ms25 | Banba Government Courts                | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Public Building | 木造      | 20世紀初期:HR      |   |
| ms26 | Public Building 19A & 19B              | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | 1879年:HR       |   |
| ms27 | D Garner Jones House                   | ○  | △  | △  | ○  | ○   | ○    | ○  | ○  | ○  | ○  | ○   | Residence       | 木造      | (19世紀後期)       |   |

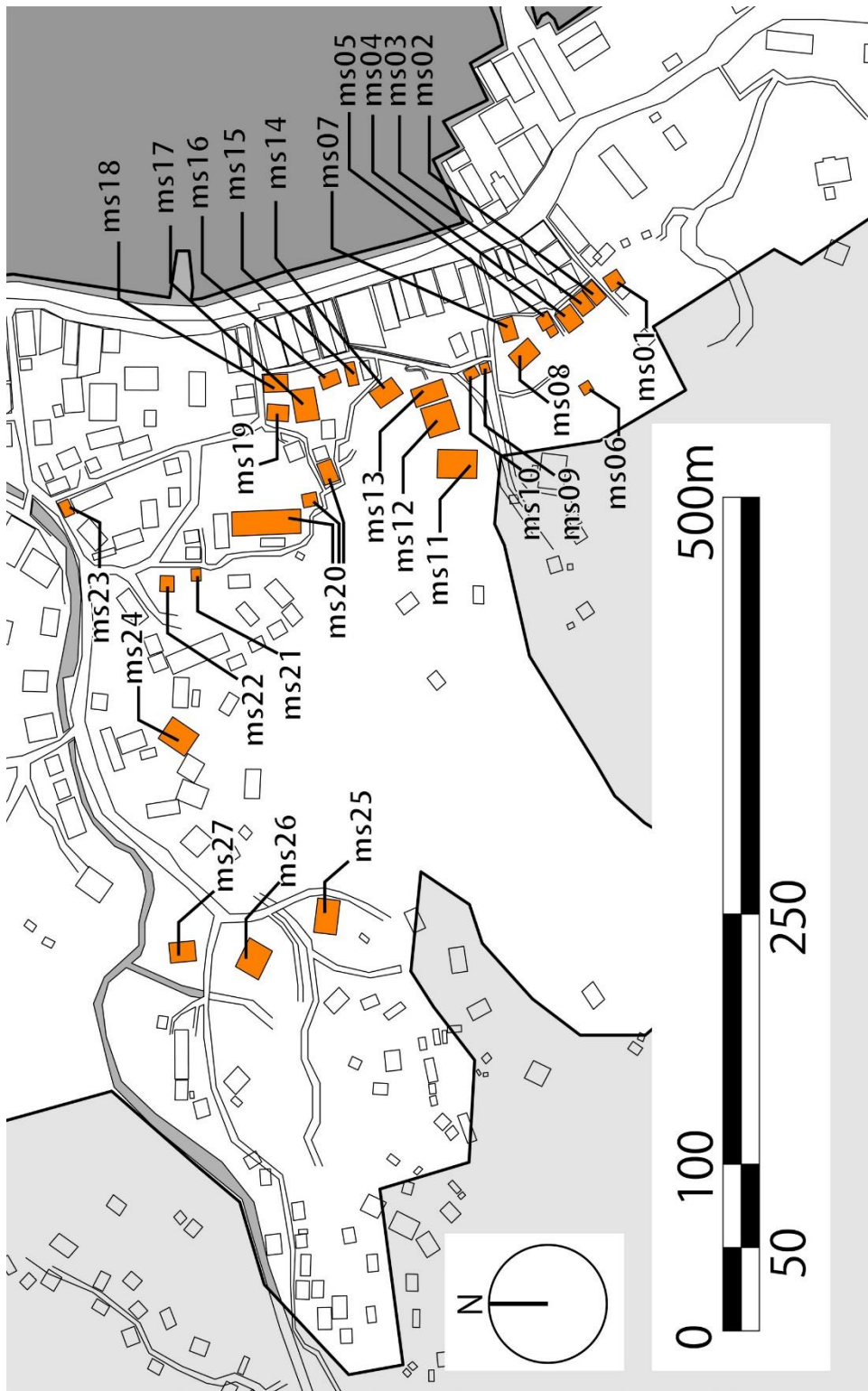


Fig.2-6 調査物件(ms01 から ms27)



Table.2-1 調査物件一覧 m(mn01 から mn31 まで)

| No.  | name                             | ②  |    |    |           | ③      | ④       | ⑥            |
|------|----------------------------------|----|----|----|-----------|--------|---------|--------------|
|      |                                  | 平面 | 断面 | 配置 | 復原<br>間取り |        |         |              |
| mn01 | Royal Hotel                      | ○  | ○  | ○  | ○         | NR     | 石造      | 1869年:HR     |
|      | CAPTAIN ROBBIES HOUSE            | ○  | △  | ○  | ○         | NR     | 石造      | 1882年?:HR    |
|      | Winiferd                         | ○  | ○  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (20世紀中期)     |
| mn02 | CAPTAIN VOLK                     | △  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (19世紀後期)     |
|      | Levuka Bawling Club              | ○  | ○  | ○  | ○         | NR     | 木造      | 第2次世界大戦以前    |
| mn03 | Lodge Polynesia Masonic Hall     | ○  | ○  | ○  | 立<br>面    | NR     | コンクリート造 | 1924年:HR     |
| mn04 | Levuka Town Hall                 | ○  | ○  | ○  | ○         | NR     | 石造      | 1898年:HR     |
| mn05 | Ovalau Club                      | ○  | △  | ○  | ○         | NR     | 木造      | 1904年:HR     |
| mn06 | O. C. Home                       | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (20世紀前期)     |
| mn07 | Josese Wivou                     | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (19世紀後期)     |
| mn08 | LILY VESIKULA                    | △  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1949年以前:古写真  |
| mn09 | Sam Young                        | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (20世紀前期)     |
| mn10 | Laisiasa Merumeru                | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1949年以前:古写真  |
| mn11 | Sakiusa Vidi                     | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1949年以前:古写真  |
| mn12 | ILOVI Tikoicolo sea              | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1900年以後:HR   |
|      | ILOVI hill                       | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1900年以後:HR   |
| mn13 | Nancy Prebble                    | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (19世紀後期)     |
| mn14 | Mrs. Robinson's Residence        | ○  | △  | ○  | ○         | NR/OUS | 石造      | 1870年代以降:HR  |
| mn15 | Mr. Robert Patterson's Residence | ○  | △  | ○  | △         | NR     | 木造      | 1900年頃:HR    |
| mn16 | Anthony Sahai                    | ○  | ○  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1949年以前?:古写真 |
| mn17 | BOBBY WILLIAMS                   | ○  | ○  | ○  | ○         | NR/OUS | 木造      | 1900年以前:HR   |
| mn18 | Mrs Dora Patterson's Residence   | ○  | △  | ○  | ○         | NR     | 木造      | 19世紀:古写真     |
| mn19 | Levuka Market Building           | ○  | ○  | ○  | ○         | OUS    | コンクリート造 | 1940年代:HR    |
| mn20 | Patterson Bros Office            | ○  | △  | ○  | △         | NR     | 木造      | 1900年頃:HR    |
| mn21 | cottage near market(sea)         | ○  | △  | ○  | ○         | NR/OUS | 木造      | 1920年頃:HR    |
| mn22 | cottage near market(middle)      | ○  | ○  | ○  | ○         | NR     | 木造      | 1920年頃:HR    |
| mn23 | cottage near market(hill)        | ○  | ○  | ○  | ○         | NR     | 木造      | 1920年頃:HR    |
| mn24 | House opposite The Royal         | ○  | ○  | ○  | △         | NR/OUS | 木造      | 1880年代:HR    |
| mn25 | VILOMIENA BEHARI                 | ○  | ○  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (20世紀前期)     |
| mn26 | Levuka Crafts Centre             | ○  | △  | ○  | ○         | NR     | 木造      | (20世紀中期)     |
| mn27 | Inohe Dileqa                     | ○  | ○  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | (20世紀中期)     |
| mn28 | Jolame Bogi                      | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1967年以前:古写真  |
| mn29 | EST. George Bower                | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1949年以前:古写真  |
| mn30 | QRRS 34                          | ○  | ○  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1967年以前:古写真  |
| mn31 | Vadei houseCottage 7d            | ○  | △  | ○  | ○         | OUS    | 木造      | 1967年以前:古写真  |

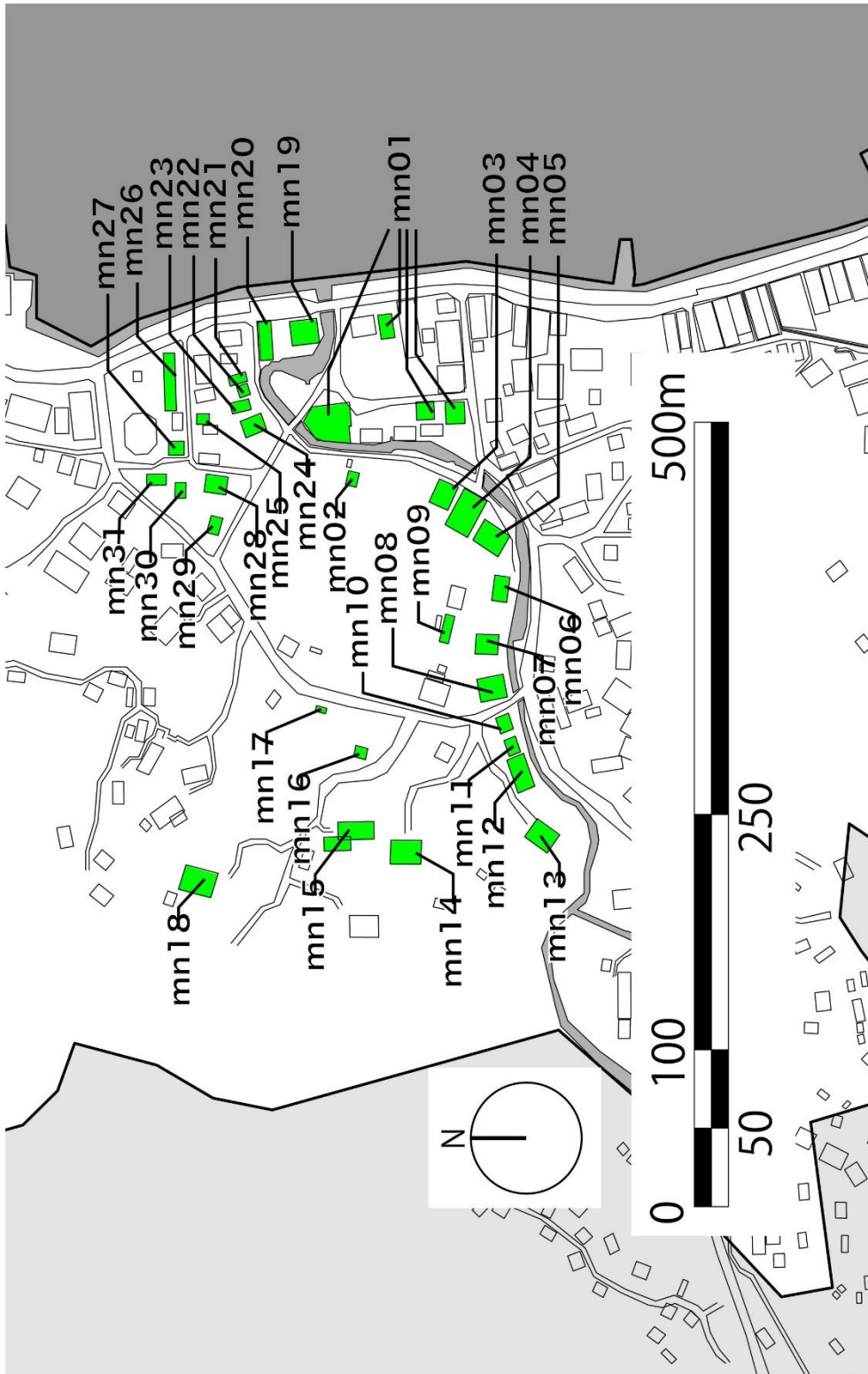


Fig.2-7 調査物件(mn01 から mn31)

Table.2-1 調査物件一覧 m(n01 から n29 まで)

| No. | name                              | ②  |    |    |    |     |        | ③               | ④       | ⑥                 |
|-----|-----------------------------------|----|----|----|----|-----|--------|-----------------|---------|-------------------|
|     |                                   | 平面 | 断面 | 配置 | 復原 | 間取り | 図面出典   |                 |         |                   |
| n01 | George Gibson                     | ○  | ○  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | 年代<br>1949年以前:古写真 |
| n02 | Bobby Warbrooke                   | ○  | △  |    | ○  |     | OUS    | Residence       | 木造      | 1949年以前:古写真       |
| n03 | EST. Wainiqolo                    | ○  | ○  |    | ○  | ○   | NR/OUS | Residence       | 木造      | 1900年頃:HR         |
| n04 | Willy Wilson's House              | ○  | △  |    | ○  |     | OUS    | Residence       | 木造      | 1949年以前:古写真       |
| n05 | FEA Mission House                 | ○  | ○  |    | ○  |     | OUS    | Residence       | 木造      | 1895年以前:古写真       |
| n06 | Suli's House                      | ○  | △  |    | ○  | ○   | NR/OUS | Residence       | 木造      | 1895年以前:古写真       |
| n07 | Josephine Williams                | ○  | △  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | 1895年以前:古写真       |
| n08 | NABOKA METHODIST CHURCH           | ○  | ○  |    | ○  |     | NR     | Public Building | 石造      | 1862年:HR          |
| n09 | NAVOKA HOUSE (Sakenasa Varea)     | ○  | ○  |    |    |     | OUS    | Residence       | 木造      | 1895年以前:古写真       |
| n10 | Baptist Mission                   | ○  | ○  |    | ○  | ○   | NR     | Residence       | 木造      | 1985-1921年:古写真    |
| n11 | Filipe Dinau                      | ○  | ○  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (1900年以降)         |
| n12 | Crows Nest                        | ○  | △  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)          |
| n13 | Henry Patterson                   | ○  | ○  |    | ○  |     | OUS    | Residence       | 木造      | (19世紀後期)          |
| n14 | Delana Primary Teacher's Quarters | ○  | ○  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)          |
| n15 | Mavida Cottage                    | ○  | △  |    | ○  |     | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)          |
| n16 | Max Olsen                         | ○  | △  |    |    |     | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)          |
| n17 | Sitiveni Uminaceva                | ○  | ○  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)          |
| n18 | Former Patterson Family Residence | ○  | ○  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | 1872年以前:古写真       |
| n19 | Levuka Club                       | ○  | ○  |    |    |     | OUS    | Public Building | コンクリート造 | 1966年:HR          |
| n20 | Venice Raddock                    | ○  | △  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | 1904年以降:古写真       |
| n21 | Lomaiviti Hospital Complex-a      | ○  | △  |    | ○  |     | OUS    | Public Building | 木造      | (20世紀前期)          |
|     | Lomaiviti Hospital Complex-b      | ○  | △  |    | ○  |     |        |                 | 木造      | (20世紀前期)          |
|     | Lomaiviti Hospital Complex-c      | ○  | △  | ○  | ○  |     |        |                 | 木造      | (20世紀前期)          |
|     | Lomaiviti Hospital Complex-d      | ○  | △  |    | ○  |     |        |                 | 木造      | (20世紀前期)          |
| n22 | Methodist Teachers' Hostel        | ○  | ○  |    | ○  | ○   | NR     | Residence       | 木造      | 1900年頃:HR         |
| n23 | Mr. Dunkan's House                | ○  | ○  |    | △  |     | NR     | Residence       | 木造      | 1870年代:古写真        |
| n24 | Anglican Vicarage                 | ○  | △  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (20世紀前期)          |
| n25 | Anglican Church & School          | ○  | ○  |    | ○  |     | NR     | Public Building | コンクリート造 | 1904年:HR          |
| n26 | Naidu's Store                     | ○  | △  |    |    |     | OUS    | Shop House      | コンクリート造 | 1957年:HR          |
| n27 | Nan Borodamu                      | ○  | ○  |    | ○  | ○   | OUS    | Residence       | 木造      | (1900年頃)          |
| n28 | Len Wong Bakery                   | ○  | ○  |    | ○  | ○   | NR     | Shop House      | 木造      | 1920年代:HR         |
| n29 | Levuka Koro Methodist Church      | ○  | △  |    | ○  |     | NR     | Public Building | 石造      | 1860年代:HR         |



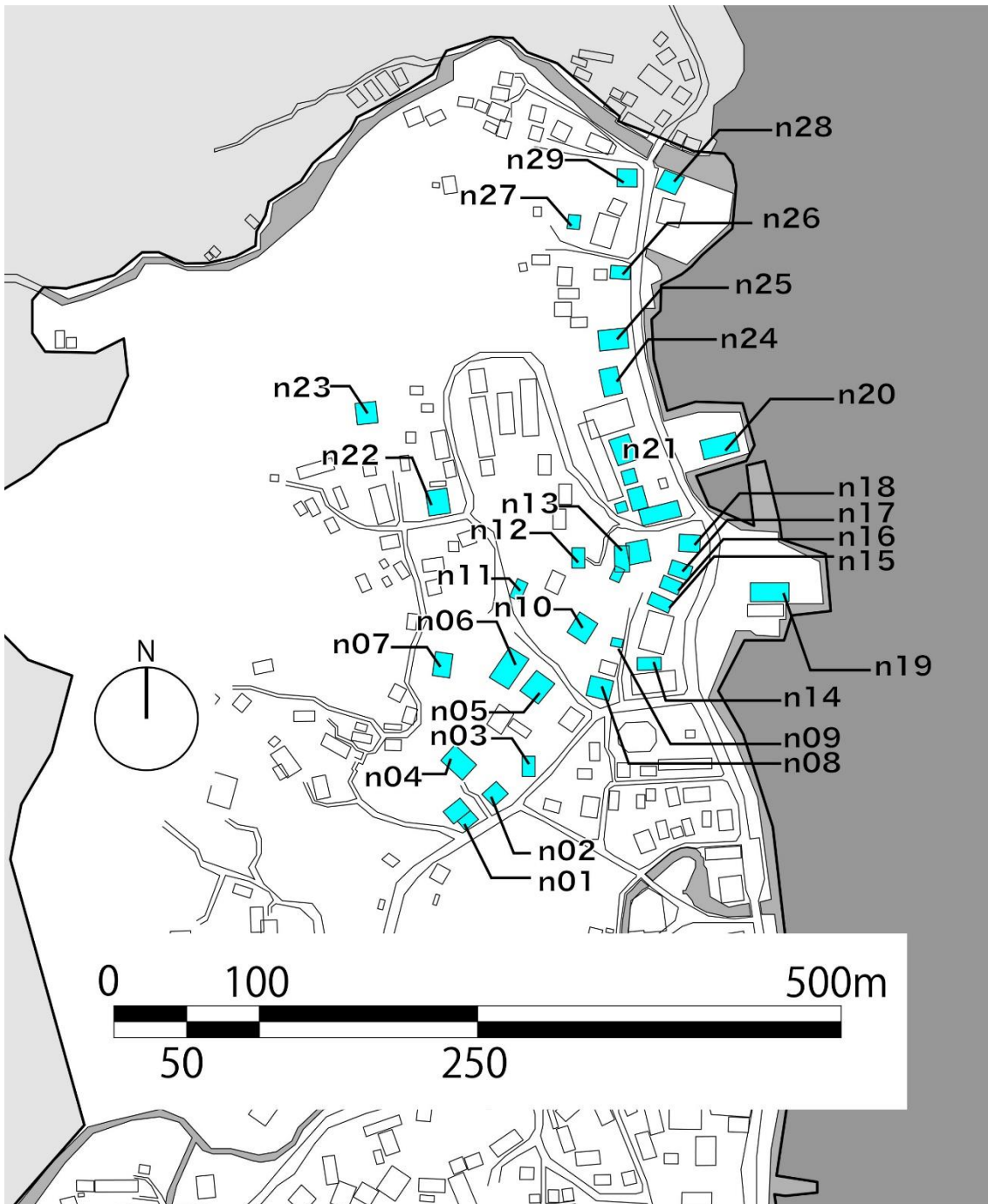


Fig.2-8 調査物件(n01 から n28)

## 2-1. コンクリート造および石造について

木造の詳細については項目が多いため2-2で個別に述べることにする。本項目ではTable.2-1の④の部材別の表をTable.2-2に示し、コンクリート造と石造に見られる特徴について述べる。

### (i)用途

コンクリート造と石造を用途別にみると、コンクリート造23棟のうち、戸建住居が1棟、町家建築16棟、公共建築6棟で、コンクリート造は町家建築で多く用いられていることが分かる。また石造では9棟中1棟が戸建住居、町家建築2棟、公共建築6棟で、公共建築が多く民間には普及していない。

### (ii)寸法

コンクリート造は柱と壁で構成される骨組構造と、柱を持たず壁厚を均一にする壁式構造の2通りが確認できる。骨組構造は柱250~350mm、壁厚155~230mmとし、壁式構造は壁厚を300mm~460mmとする。

石造は壁厚270mmから630mmまであり一定ではない。石の高さは275mmから400mm、横幅は600mmから840mmが確認できた。

### (iii)年代による傾向

コンクリート造を年代ごとに見ると、19世紀には壁式構造を多く用いるが20世紀以降は骨組構造を多用していることが分かる。またコンクリート造23棟中11棟が20世紀中期の建物であることから、骨組構造は伝統的な形式ではない新しい建物である。

骨組構造、壁式構造のどちらも鉄筋が確認されたが、骨材に海砂を使用しているため鉄筋に劣化が見られる。

20世紀中期に増えた建物はビーチストリートに並ぶ町家建築で、特に2階建が増えている。狭い土地でより広い居住面積を求めたものと考えられる。

一方、レブカの石造は全て19世紀の建物である。石造は公共建築が多いことから、首都期前後の都市の発展によって導入されたのみで、20世紀以降は用いられなくなったと考えられる。





Fig.2-9 コンクリートの骨材に  
サンゴが混じる



Fig.2-10 石造の町型建築

Table.2-2 部材別建造物一覧(石造、コンクリート造)

|      | name                         |                 | 主構造 | 階高 |             |
|------|------------------------------|-----------------|-----|----|-------------|
| b27  | Sing Mar Bakery              | Shop House      | 石造  | 1  | 1860年代?:HR  |
|      |                              |                 | 石造  | 1  |             |
| ms20 | Marist Convent Complex       | Public Building | 石造  | 2  | 1890年代:HR   |
| mn01 | Royal Hotel                  | Public Building | 石造  | 2  | 1869年:HR    |
|      | CAPTAIN ROBBIES HOUSE        |                 | 石造  | 1  | 1882年?:HR   |
| mn04 | Levuka Town Hall             | Public Building | 石造  | 1  | 1898年:HR    |
| mn14 | Mrs. Robinson's Residence    | Residence       | 石造  | 1  | 1870年代以降:HR |
| n08  | NABOKA METHODIST CHURCH      | Public Building | 石造  | 1  | 1862年:HR    |
| n29  | Levuka Koro Methodist Church | Public Building | 石造  | 1  | 1860年代:HR   |

|      | name  |                 | 主構造     |      | 階高 |              |
|------|---|-----------------|---------|------|----|--------------|
| s14  | BEN NAIDU (OT&T)                            | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 1950年代:HR    |
| s15  | LEVUKA COMMUNITY CENTER<br>Strehouse        | Shop House      | コンクリート造 | 壁式構造 | 1  | 1868年:HR     |
|      |   |                 | コンクリート造 | 壁式構造 | 1  | 1868年:HR     |
| b01  | LEVUKA SERVICE STATION                      | Shop House      | コンクリート造 | 壁式構造 | 1  | (20世紀中期)     |
| b06  | Morris Hedstrom SUPERMARKET (Supreme Store) | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1900年以降:HR   |
| b08  | KANG LEE STORE & BAKERY                     | Shop House      | コンクリート造 | 壁式構造 | 2  | 1960年初頭:HR   |
| b09  | LOMAIVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK  | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 20世紀中期:HR    |
| b11  | Courts Supermaket                           | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 1960年初頭:HR   |
| b13  | PAAK KUM LOONG                              | Shop House      | コンクリート造 | 壁式構造 | 2  | 20世紀初期:HR    |
| b22  | SAINIMERE CIKAMATANA                        | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1900年以降:HR   |
| b23  | Ivan Bakery                                 | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1930年代以降:HR  |
| b24  | Old Capital Inn                             | Public Building | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 1953年:HR     |
| b28  | Ambalal & Co General Store                  |                 | コンクリート造 | 壁式構造 | 1  | 1881年?:HR    |
| b30  | JHON LEE                                    | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1900年以降:HR   |
| b31  | Former Cinema                               | Public Building | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 1945年以降:HR   |
| b32  | Ministry of Primary Indudtry                | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 第2次世界大戦以降:HR |
| b33  | TakiMai Factory                             | Shop House      | コンクリート造 | 壁式構造 | 1  | 1890年以降:HR   |
| mn03 | Lodge Polynesia Masonic Hall                | Public Building | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1924年:HR     |
| ms19 | Annie Taylor                                | Residence       | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | (20世紀中期)     |
| mn19 | Levuka Market Building                      | Public Building | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1940年代:HR    |
| n19  | Levuka Club                                 | Public Building | コンクリート造 | 壁式構造 | 1  | 1966年:HR     |
| n25  | Anglican Church & School                    | Public Building | コンクリート造 | 骨組構造 | 1  | 1904年:HR     |
| n26  | Naidu's Store                               | Shop House      | コンクリート造 | 骨組構造 | 2  | 1957年:HR     |

## 2-2.木造建築の分類

本項ではレブカの歴史的建造物の約8割を占める木造について、その構造的な特徴を明らかにし、変遷を分析する。Table.2-3はTable.2-1から木造のみを抜粋し、分析項目を追加したものである。

レブカの木造の歴史的建造物では高床に下屋を持つバンガロー型と、コンクリートベタ基礎に長方形の建物の商店型、それ以外の3種類に分類できる(Table.2-3の②)。バンガロー型は町の間部や平地に点在する戸建住居に多く見られ、122棟中89棟である。商店型はビーチストリートに並ぶ町家建築に多く21棟が確認された。木造の倉庫もこれに含む。高床で下屋を持たない長方形の建物や、木造の教会はそれ以外とし、12棟である。

### (i)バンガロー型

木造高床、波形鉄板葺を主とし、身舎の周囲に奥行約3mの下屋を設ける。束柱は丸太もしくはコンクリートの角材を掘立柱状に用いる。後の改修で丸太をコンクリートに変更する場合がある。レブカの戸建住居は殆どがバンガロー型で、公共建築の一部でも用いられている。

### (ii)商店型

木造のコンクリートベタ基礎で、波形鉄板葺を主とし、長方形の身舎を持つ。倉庫や商店に用いられており、町家建築に分類される。現在は周囲に増築されており複雑な平面構成となっているが、痕跡調査から元々は長方形の1室であったことが本研究で明らかになった。商店型についての詳細は「4章 町家建築」で述べる。

Table.2-3 部材別建造物一覽 (木造)

| ①<br>No. | ②<br>木造分類 | ③<br>ペランダの有無※1 | ④<br>身舎の形状 | ⑤<br>隅柱寸法 |         | ⑥<br>胴縁 |         |     | ⑦<br>壁板 |     |      | ⑧<br>扉の向き | ⑨<br>年代 |                         |
|----------|-----------|----------------|------------|-----------|---------|---------|---------|-----|---------|-----|------|-----------|---------|-------------------------|
|          |           |                |            | 身舎        | 下屋      | 幅       | 高       | 面取り | 外       | 内   | 下屋   |           |         |                         |
| s01      | バンガロー型    | 不明             | F字型        | 75        | 100     | 175     | 190     | 50  | 100     | ×   | 下見板  | 縦羽目板      | 下見板     | 1860年代初頭:HR<br>(20世紀前期) |
| s02      | バンガロー型    | 不明             | 長方形        | 100       | 100     | 100     | 100     | 48  | 103     | ×   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 窓       | 外                       |
| s03      | バンガロー型    | (○)            | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 110     | 120     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | 新材   | 新材        | 下見板     | 外                       |
| s04      | バンガロー型    | 不明             | 長方形        | 100       | 100     | 100     | 100     | 50  | 100     | ×   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 下見板     | 内                       |
| s05      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 100       | 100     | 100     | 100     | 未確認 | 未確認     | ○   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | (1900年頃)                |
| s06      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 100       | 100     | 100     | 100     | 45  | 100     | ×   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 外                       |
| s07      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 100       | 100     | 125     | 125     | 未確認 | 未確認     | ×   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1930年代:間き取り             |
| s08      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 100       | 100     | 120     | 120     | 未確認 | 未確認     | ×   | ベニヤ  | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1940年代:HR               |
| s09      | バンガロー型    | (○)            | 長方形        | 100       | 150     | 100     | 100     | 50  | 90      | ×   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1900年頃:HR               |
| s10      | 商店型       | 下屋なし           | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 下屋なし    | 下屋なし    | なし  | なし      | なし  | トタン  | ベニヤ       | 下屋なし    | 1960年代:様式から             |
| s11      | 商店型       | 下屋なし           | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 下屋なし    | 下屋なし    | なし  | なし      | なし  | トタン  | ベニヤ       | 下屋なし    | 1962:間き取り               |
| s12      | 商店型       | 下屋なし           | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 下屋なし    | 下屋なし    | なし  | なし      | なし  | 下見板  | 縦羽目板      | 下屋なし    | 1920年:HR                |
| s13      | バンガロー型    | ○○             | 2棟         | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | なし  | なし      | なし  | 下見板  | 縦羽目板      | 開放      | 1870年代後半:HR             |
| s16      | 商店型       | ○              | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 縦羽目板    | 1868年?:HR               |
| b02      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | ベニヤ  | 縦羽目板      | 下見板     | (20世紀前期)                |
| b03      | バンガロー型    | 不明             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1900年頃:LHR              |
| b04      | バンガロー型    | ○              | 長方形        | 65        | 100     | 100     | 100     | 45  | 80      | ○   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | (19世紀後期)                |
| b05      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 75        | 100     | 75      | 100     | 未確認 | 未確認     | ×   | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | (19世紀後期)                |
| b07      | 商店型       | 不明             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1900年以降:HR              |
| b10      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | トタン       | トタン     | 1900年以前:HR              |
| b12      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | 縦羽目板 | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1900年以降:HR              |
| b14      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以降:HR              |
| b15      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以降:HR              |
| b16      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以降:HR              |
| b17      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1870年代?:古写真             |
| b18      | 商店型       | ○              | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | 下見板  | 横板張       | 横板張     | 1870年代?:古写真             |
| b19      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以前?:古写真            |
| b20      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以前?:古写真            |
| b21      | 商店型       | 不明             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以前?:古写真            |
| b25      | 他         | 不明             | 他          | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1900年以前?:古写真            |
| b26      | バンガロー型    | ×              | 長方形        | 150/100   | 150/125 | 125/101 | 170/151 | 未確認 | 未確認     | ×   | 下見板  | 縦羽目板      | 縦羽目板    | 1860年代:HR<br>(1900年頃)   |
| b28      | 商店型       | 平屋             | 長方形        | 未確認       | 未確認     | 未確認     | 未確認     | 未確認 | 未確認     | 未確認 | トタン  | 横板張       | 横板張     | 1881年?:HR               |







|      |        |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |         |      |      |   |                |
|------|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|------|------|---|----------------|
| mm16 | バンガロー型 |        | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 55  | 95  | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1949年以前? : 古写真 |
| mm17 | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 内 | 1900年以前:HR     |
| mm18 | バンガロー型 | ×      | L字型 |     |     |     |     |     |     | 未確認 |     | ○       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 内 | 19世紀:古写真       |
| mm20 | 商店型    | 平屋     | 長方形 | 95  | 100 | 90  | 95  | 95  | 95  | 未確認 | なし  | 未確認     | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1900年頃:HR      |
| mm21 | バンガロー型 | ×      | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  | 内 | 1920年頃:HR      |
| mm22 | バンガロー型 |        | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  | 内 | 1920年頃:HR      |
| mm23 | バンガロー型 |        | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  | 内 | 1920年頃:HR      |
| mm24 | バンガロー型 | ○      | 長方形 | 115 | 123 | 75  | 100 | 100 | 100 | 未確認 | なし  | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 内 | 1880年代:HR      |
| mm25 | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 70  | 100 | 95  | 95  | 95  | 95  | 未確認 | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  | 外 | (20世紀前期)       |
| mm26 | 他      | 下屋なし   | E字型 | 未確認 |     |     |     |     |     | 未確認 | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  |   | (20世紀中期)       |
| mm27 | 他      | 下屋なし   | 長方形 | 90  | 90  | 100 | 100 | 100 | 100 | 未確認 | なし  | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 |   | (20世紀中期)       |
| mm28 | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 未確認 | 100 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1967年以前:古写真    |
| mm29 | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 未確認 | 100 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1949年以前:古写真    |
| mm30 | 他      | 下屋なし   | 長方形 | 95  | 95  | 105 | 103 | 103 | 103 | 43  | 97  | ×       | 下見板  | 下見板  |   | 1967年以前:古写真    |
| mm31 | 他      | 下屋なし   | 長方形 | 100 | 100 |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 |   | 1967年以前:古写真    |
| n01  | バンガロー型 | ×      | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | 未確認     | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1949年以前:古写真    |
| n02  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 75  | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 50  | 105 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 内 | 1900年頃:HR      |
| n03  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 95  | 95  | 95  | 95  | 未確認 | なし  | 未確認     | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1949年以前:古写真    |
| n04  | バンガロー型 | ×      | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | 未確認     | 横板張  | 縦羽目板 | 外 | 1949年以前:古写真    |
| n05  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 75  | 125 | 125 | 125 | 125 | 125 | 50  | 100 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1895年以前:古写真    |
| n06  | バンガロー型 | ○      | 長方形 | 120 | 120 | 100 | 100 | 100 | 100 | 未確認 | 未確認 | ○       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1895年以前:古写真    |
| n07  | バンガロー型 | ○      | 長方形 | 100 | 100 | 95  | 95  | 95  | 95  | 50  | 100 | ○       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1895年以前:古写真    |
| n09  | バンガロー型 |        | 長方形 | 105 | 100 | 105 | 103 | 103 | 103 | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1895年以前:古写真    |
| n10  | バンガロー型 | ○      | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | ○(増築部×) | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1885-1921年:古写真 |
| n11  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 50  | 75  | ○       | 縦羽目板 | 縦羽目板 |   | (1900年以降)      |
| n12  | バンガロー型 | ×      | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | 未確認     | 縦羽目板 | 縦羽目板 |   | (20世紀前期)       |
| n13  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | (19世紀後期)       |
| n14  | バンガロー型 |        | 長方形 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 50  | 75  | ×       | 縦羽目板 | 下見板  | 内 | (20世紀前期)       |
| n15  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 90  | 100 | 130 | 130 | 130 | 130 | 55  | 100 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | (20世紀前期)       |
| n16  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 100 | 100 | 125 | 125 | 125 | 125 | 50  | 100 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | (20世紀前期)       |
| n17  | バンガロー型 | 初期下屋なし | L字型 | 90  | 100 | 55  | 95  | 95  | 95  | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 内 | (20世紀前期)       |
| n18  | バンガロー型 | ○      | 長方形 | 80  | 110 | 120 | 130 | 130 | 130 | 55  | 100 | ○       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1872年以前:古写真    |
| n20  | バンガロー型 | 不明     | 長方形 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | 未確認     | 新材   | 縦羽目板 |   | 1904年以降:古写真    |
| n21  | バンガロー型 | ○      | 長方形 | 100 | 100 | 120 | 120 | 120 | 120 | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | (20世紀前期)       |
| n22  | バンガロー型 | ×      | 長方形 | 未確認 | 未確認 | 100 | 110 | 110 | 110 | 未確認 | 未確認 | 未確認     | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | (20世紀前期)       |
| n23  | バンガロー型 | 下屋なし   | 長方形 | 110 | 110 |     |     |     |     | なし  | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  | 外 | (20世紀前期)       |
| n24  | バンガロー型 | ○      | L字型 |     |     |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | ○(増築部×) | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1900年頃:HR      |
| n27  | バンガロー型 | ○      | 長方形 | 150 | 150 | 120 | 120 | 120 | 120 | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 | 外 | 1870年代:古写真     |
| n28  | 商店型    | 平屋     | 長方形 | 127 | 150 | 80  | 100 | 100 | 100 | 未確認 | なし  | なし      | 下見板  | 下見板  | 内 | (1900年頃)       |
|      |        |        | 長方形 | 未確認 | 未確認 |     |     |     |     | 未確認 | 未確認 | ×       | 縦羽目板 | 縦羽目板 |   | 1920年代:HR      |

※1:○○は現在も下屋をバランダとする建物



### 2-2-1.ベランダについて

痕跡調査と復原図、及び古写真の分析から、レブカのバンガロー型と商店型の一部では建築当初にベランダを持っていたことが明らかになった。

なお本論文では下屋が外部に開放されているものをベランダ、壁を設けて室内にしているものを周辺室と呼ぶこととする。また住民への聞き取りから、一部の住民は現在周辺室に変更された部分も「Veranda」と呼称していることが分かった。このため本論文では住民による室名を英字で表記し、カタカナおよび漢字は一般的な名詞として区別する。

#### (1)バンガロー型のベランダ

木造建築のバンガロー型に区分された建物は身舎の周囲に約3mの下屋を持つ形状である。バンガロー型の多くは身舎を長方形とし、一部の住居ではL字やF字のような複数の棟を持つ身舎が見られる(Table.2-3の④「身舎の形状」参照)。長方形の身舎には1室から4室を設け、1列に並べる。身舎が長方形でない場合は、平面構成も田の字型やL字型など複雑になり、建物規模も大きくなる。

バンガロー型で建築当初に下屋をベランダとしていた建物は24件確認され(Table.2-3の③「ベランダの有無」参照)、現在も下屋をベランダとする建物が確認される(Fig.2-11)。これらは長方形の身舎の周囲にベランダを持つ形状で、オセアニア周辺に普及しているバンガローの特徴と一致する。

バンガローの定義は時代や国で異なり、建築大辞典(注 2-2)では『インド田舎屋を発展させた形式の木造住宅。1階建て、室数は2～3室、天井高く、大きな窓と広い出入口を持ち、四方にベランダを回す』とされる。本稿では、身舎の周囲に広いベランダを回す木造建築、およびその発展形をバンガローとする。

このベランダから周辺室への変化については「3章 戸建住居」で詳細を述べる。



Fig.2-11 下屋がベランダのまま残るバンガロー型

Fig.2-12 はレブカのバンガロー型の平面図と復原図である。現在寝室に用いられている周辺室は建築当時は間仕切りがなく、外部に開放されたベランダであった。元々ベランダを持っていたと考えられるバンガロー型 24 件のうち 20 件が現在ベランダを周辺室に変更している。

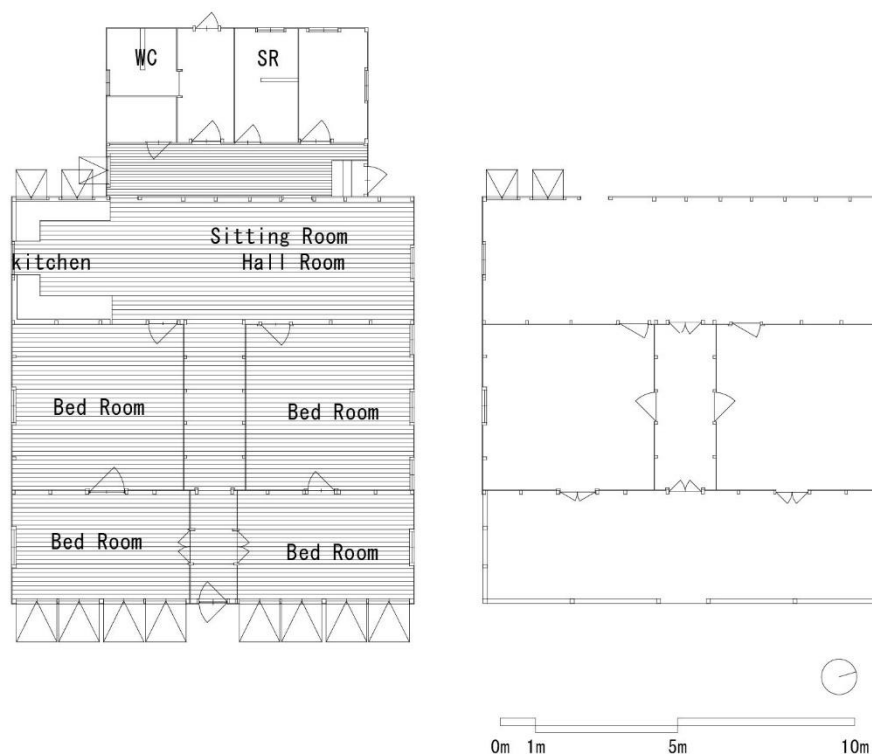


Fig.2-12 バンガロー型の平面図と復原図

レブカに見られるバンガローは、オーストラリアやニュージーランドのバンガローに比べ非常にシンプルな形状をしている。オーストラリアやニュージーランドのバンガローではFig.2-13のような複雑な形状の身舎が見られ、平面構成も田の字型やL字型等多岐にわたる(注2-3)。一方レブカでは長方形の身舎が91%と多数を占める(Table.2-3の④「身舎の形状」参照)。また平面構成についても、レブカの戸建住居のほとんどが身舎部分の部屋を一列に設けるのみで、田の字型やL字型などの複雑な形状の場合は身舎そのものが長方形でない場合がほとんどである。

一方、現在の首都であるスバにはFig.2-13とよく似た形式の住居が見られ(Fig2-14)、フィジー本島には縮小したベランダを持つバンガローの形式が伝わっていたことが分かる。この形式がレブカでは見られずスバにあることから、縮小したベランダを持つ形式のバンガローが伝わったのはスバに遷都した1882年以降と推測される。

以上の考察から、レブカの戸建住居は古い形式のバンガローが残っていると考えることができる。

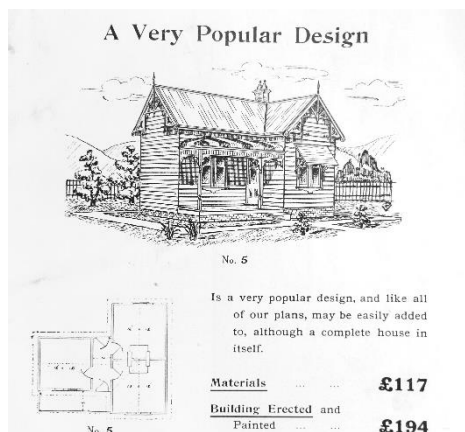


Fig.2-13 住宅カタログに記載された住居



Fig.2-14 スパに残る縮小したベランダを持つ形式のバンガロー

### (2)商店型のベランダ

商店型は平屋建と2階建の2種類があり、ベランダが確認されたのは2階建の建物である。商店型でベランダを持つ建物は2件確認された(Table.2-3の③「ベランダの有無」参照)。

商店型は2階部分を道側に約2m張り出しベランダとしていた。現在はバンガロー型と同様建具等を設けて周辺室に変更している。

Fig.2-15は町家建築の2階のベランダに残った庇の痕跡である。Fig.2-16の古写真に同一の建物が確認でき、曲線状の意匠が用いられていたことが分かる。この曲線状の庇も古写真では複数確認されるが現在のレブカでは用いられておらず、西洋からもたらされた様式のうち現地に定着しなかった形式の一つであると言える。



Fig.2-15 庇の痕跡



Fig.2-16 商店型のベランダ古写真

### (3)ベランダと周辺室の判別

バンガロー型と商店型がそれぞれベランダを持つ一方で、建設当初から周辺室だった建物も確認されている。元々外部に面していたベランダを室内に変更した部屋と、建設当初から周辺室だった部屋の大きな違いとして、床の水勾配がある。

レブカの建物はペンキで塗装されているため風雨による風食はあまり見られないが、ベランダだった下屋部分の床には水勾配が確認された。また身舎の床と下屋の床に約 5cm の高低差があり、水が室内に侵入しないよう工夫されている(Fig.2-17)。ただし床は後年の改造で張り替えることがあるため、床に高低差のないベランダもある。

またベランダが四方に回らず一方のみに下屋を付ける場合、Fig.2-18 のように下屋の妻側上部に垂れ壁を設ける場合がある。この垂れ壁は妻側からの雨や日差しを避けるためのものである。古写真では庇に棟を作り屋根を 3 方向に下して軒の高さを揃える形式が見られ、Fig.2-16 で見られる曲線状の庇も軒の高さを揃えた形式である。レブカではこの形式は一部の町家建築に残すのみで、妻側には壁を設けることが多い。

周辺室は窓を連続して並べるため垂れ壁との見分けは付きにくいだが、Fig.2-19 のように増築部分の壁は工法や壁材が異なる場合がある。このため、下屋の妻面に窓の痕跡がなく垂れ壁のみがある建物はベランダであった可能性が高い。一部の建物では古写真によりベランダだったことが確認できる建物や、元々ベランダであった時の手すりが残存している建物も確認できた。

これらの事から、下屋の床の水勾配、身舎と下屋の床の高低差、垂れ壁、手すりがある建物は元々ベランダであった可能性が高いと言える。



Fig.2-17 身舎とベランダのフロアレベルの高低差



Fig.2-18 ベランダの妻側の垂れ壁



Fig.2-19 垂れ壁の痕跡



## 2-2-2.身舎構造について

### (1)柱材

レブカの木造建築はライトフレーム工法(light-frame structures)が用いられる。これは標準化された寸法材を使用した工法で、バルーンフレーム工法やプラットフォーム工法はこの一種である。日本では枠組壁工法(通称2×4工法)と呼ばれる。

2×4工法の柱はスタッド(stud)と呼ばれ、商店型では壁が二重構造のため確認できないが、バンガロー型では主に50×100(mm)、50×75(mm)、100×100(mm)の3種類が見られた。それぞれ2×4(inc)、2×3(inc)、4×4(inc)である。また一部のバンガロー型では125×125(mm)、100×125(mm)、150×150(mm)、100×150(mm)の柱が確認された。これらは主に身舎や下屋の隅柱に用いられている。確認された柱の寸法をTable.2-3の⑤「隅柱寸法」に示す。

これらを年代順に並べると、身舎に125×125(mm)、100×125(mm)、を用いる建物は19世紀の建物でのみ確認された。一方、身舎に150×150(mm)、100×150(mm)は19世紀には見られず、1900年初頭でのみ確認された。このため年代が明らかになっていない建物のうち、身舎に125×125(mm)、100×125(mm)の材を用いる建物は建築年代を19世紀後期とし、身舎に150×150(mm)、100×150(mm)の材を用いる建物は建築年代を20世紀前期とした。またこれらの材を1棟の建物内で併用している場合は建築年代を1900年前後と判断した。

一方、2×4工法における柱規格は元々2×4(inc)、2×3(inc)、4×4(inc)の寸法が用いられていたが、第2次世界大戦以降の木材不足により、1953年に生産部材が45×95(mm)/1.5×3.5(inc)規格に変更されている(注2-4)。レブカでも新築や改造部分ではこの規格の建物が確認されている。このことから、この新規格材が用いられている建物は20世紀中期と判断した。ただし、身舎に50×100(mm)、50×75(mm)、100×100(mm)等の旧規格を用い、下屋に45×95(mm)の新規格を用いる例が複数確認された。これらの建物は下屋だけを改築した可能性が考えられる。

また、スタッドの間隔は一定ではなく壁材の種類によって異なる。スタッドと壁材の関係については次項で述べる。



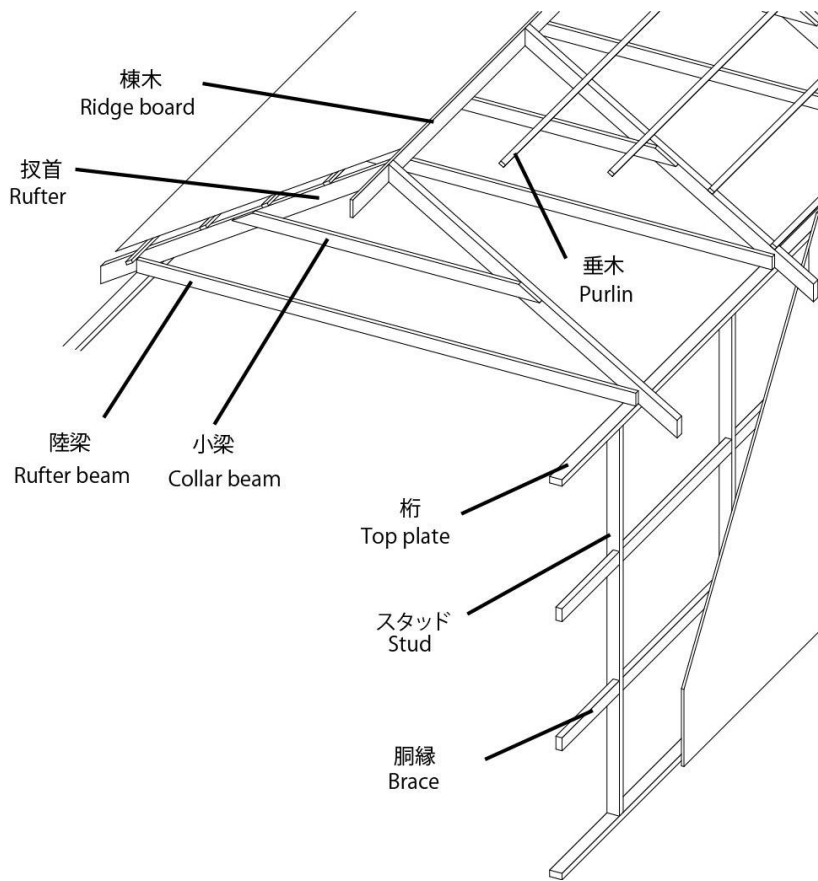


Fig.2-20 各部材の名称

## (2)壁材

レブカの歴史的建造物では主に下見板張と縦羽目板張の2種類の壁材が見られる。レブカでは壁材によってスタッド間隔が異なり、また胴縁など構造にも異なる点が見られる。

オセアニアの木造家屋では室内に縦羽目板張、外壁に下見板張と使い分けられている。レブカでも同様の傾向が見られるが、外壁に縦羽目板張を用いる場合も多く(Fig.2-22)、この分類は正確ではない。

調査物件の木造建築のうち、下見板張を用いる建物は42件、縦羽目板張を用いる建物は86件(重複在り)確認され、縦羽目板張が多用されている(Table.2-3の⑦「壁板」参照)。

また後年の改造で外壁を下見板やトタンなどに変更されている建物が複数見られる。室内にはベニヤ板を用いる家も多い。これは聞き取りから、近年では縦羽目板が高価なためと回答があった。また外壁は雨によって腐食するため、下部から約30cmを切り取って交換している。



Fig.2-21 レブカのバンガロー型  
内観



Fig.2-22 下見板と縦羽目板が混在した  
外壁

#### (i) 下見板張 Weatherboard

下見板張は厚さ約20mmの板を水平に張る。スタッド間隔の平均は743mmで、身舎に下見板張を用いる31件中17件で筋交いが確認された。

レブカで見られる下見板張はドイツ下見と南京下見の2種に区別でき(Table2-4)、南京下見が12件、ドイツ下見が30件確認できた。建物の建築年代から、南京下見の方が古いと推測される。また南京下見の場合下見板を長押挽とするものが一部で確認できた。

通常の下見板張は建物の外壁に用いられるが、町家建築や富裕層の家では室内用の凹凸のない横方向の板張が見られる。この横板張は建築年代から比較的古いものであると考えられるが、下見板とは異なり板に重ねや雌雄の加工は施されていないため、本研究では下見板から除外する。

また室内用の横板張りとは別に、バンガロー型では室内に南京下見を用いる建物が見られる。室内の南京下見が用いられるのは身舎と下屋の間で、Fig.2-23のように身舎の外周を囲む。

これは建築当時、この下屋部分が外部に面したベランダだった可能性が指摘できる。しかし外壁だけでベランダについて判別することは不可能であるため、ベランダの室内化については2-3.および「3章 戸建住居」で詳細を述べる。

Table.2-4 壁板の種類



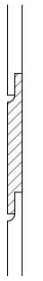
|   |   |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
| 南京下見：<br>Plain boards   | 南京下見(挽違い/長押挽)：<br>Feathered edge  | ドイツ下見(相決り)：<br>Rusticated   |
| 長方形の下見板を<br>水平に張る   | 下見板の上部と下部<br>で厚みが異なる  | 上下に加工   |



Fig.2-23 南京下見を用いた室内



Fig.2-24 室内用の横板張



Fig.2-25 下見板張内観

(ii)縦羽目板張 Tongue and groove boards

縦羽目板張は厚み約20mmの板に凹凸の加工を施して板同士を繋ぎ(Fig2-26)、それを縦方向に張る。幅は130~135mmで、壁、床、天井に多く用いられている。古いものでは板の表面に溝の装飾が施されている。縦羽目板張のスタッド間隔は平均1141mmで、下見板張よりも間隔が広い。また縦羽目板張では「胴縁(Fig2-20参照)」が用いられる。

レブカの木造建築で見られる胴縁はFig.2-27のように柱の間に設けられる。胴縁は幅50mm、高さ100mmでスタッド材と同じ寸法である。地元大工への聞き取りから、胴縁と筋交は縦羽目板張の場合にのみ用いると回答があった。しかし実測調査の結果、胴縁は縦羽目板の場合で多く見られるが、筋交は下見板張と縦羽目板張の両方で見られる。どちらも地元ではbraceと呼称するが、本稿では便宜上「筋交」と「胴縁」とする。転び止めは壁の高さを3分割もしくは2分割した高さに設けられ、平均1000mmの高さに設けられる。

また、一部の住宅では面取りが施された胴縁が見られた(Table.2-3の⑥「胴縁」参照)。この面取りされた胴縁は19世紀後期から1900年頃の建物でのみ確認された。このため年代が明らかになっていない建物のうち、面取りが施された胴縁が確認できる建物はその他の様式と合わせて19世紀後期から1900年前後と判断した。



Fig.2-26 縦羽目板



Fig.2-27 縦羽目板張内観

### (3)内張と外張

ライトフレーム工法では壁仕上げ材で柱を隠す大壁が主流である。これは通常スタッドの室内側と室外側の両方に壁を張るが、レブカの木造建築では多くの場合スタッドの片側にのみ壁を張り、反対側のスタッドが露出している。本研究ではスタッドの両側に壁を張る形式を二重壁、スタッドの室内側に壁を張るものを内張、スタッドの室外側に張るものを外張と呼ぶこととする。Table 2-3.の⑦「壁板」に壁板の種類とその配置を記す。「身舎」の「外」と「内」の両方に記載がある場合は二重壁である。

二重壁は室外側に下見板、縦羽目板を用い、室内側は縦羽目板もしくは凹凸のない横板を用いる。また町家建築では外壁を波板鉄板とする家が多い。二重壁は町家建築、公共建築、もしくは富裕層の邸宅でのみ見られ、ほとんどの建物では内張もしくは外張のどちらかである。

また壁板材から見ると、下見板張は二重壁もしくは外張のみに用いられ、内張は縦羽目板張でのみ確認された。これは下見板張を室外、縦羽目板張を室内に使い分けるオセアニア周辺の利用方法と一致するが、オセアニアの建物はレブカとは異なり二重壁である。レブカの二重壁は公共建築や富裕層でしか見られないことから、内張と外張は壁材の入手が困難なために、片側の壁が省略されたものではないかと考えられる。

これは内張が用いられる条件からも推測できる。

通常は雨仕舞いのため、省略されるのは室内側の壁であり、内張ではスタッドが室外に露出しているため風雨にさらされる。しかしレブカで用いられている内張33件は全てバンガロー型でのみ確認できた。バンガロー型では下屋によって雨が身舎に当たらないため、外壁を省略することが可能である。

よってレブカの内張と外張は、壁材の入手が困難なため、二重壁が省略された結果と考えられる。

一方、縦羽目板を用いるバンガロー型では外張と内張は半数ずつ確認できる。内張と外張に年代的な偏りは見られず、使い分けについては詳細が不明である。しかし身舎の壁が内張の場合、扉を外開きとする傾向が見られた。

レカでは身舎の扉を下屋方向に開く外開きが多く、バンガロー型85件のうち、内開き15件、外開き70件で外開きが8割である(Table 2-3.の⑧「扉の向き」)。一般的に外開きはハリケーンなどの強風に強いとされており、レブカが外開きを多用するのも風に対する対策と考えられる。

これを外張と内張それぞれで見ると、外張では内開きと外開きがほぼ半数ずつに対し、内張の場合は外開きが30件中26件と多数を占める。このことからバンガロー型の内張は外開きに対応するための方法である可能性がある。

また、レブカで外壁に下見板ではなく縦羽目板を用いた理由として、スタッド間隔の違いが考えられる。下見板張のスタッド間隔は743mmだが、縦羽目板張はスタッド間隔が広く1141mmで、同じ壁面積ならば縦羽目板張の方がスタッド材が少ない。また縦羽目板で用い



られる胴縁は柱と同じ寸法のため、材を流用することが可能である。このことから、レブカでは木材の入手が困難だったのではないかと推測される。二重壁を省略している点からも、木材を節約する傾向があったと考えられる。



Fig.2-28 縦羽目板の外張(内開き)



Fig.2-29 縦羽目板の内張 (外開き)

#### (4)屋根材

現在のレブカの建物は全て波形鉄板葺である。しかし調査を行った建物で、鉄板の下にこけら葺とスレート葺の屋根が現存している事が確認された。調査で確認されたのはこけら葺5件、スレート葺2件である。また古写真から建築当時にこけら葺と推測される建物が2件である。

Fig.2-30 は実測調査から作成したこけら葺の断面図である。こけらは上下で厚みが異なり、手割と鋸の2種が確認された。こけら葺は下地に野地板を用いており、日本のこけら葺と同様に隙間を設けて野地板を張るが、下屋部分には隙間なく野地板を張る建物が見られる。古写真から、棟には鉄板のようなものを用いていたと推測される(Fig.2-31)。

こけら葺には高い技術が用いられているが、現地ではこけら葺の技術は伝わっていない。植民地時代の建物は宗主国であるイギリス人やヨーロッパ系の技術者が建設に携わっていたとされる(注 2-5)ため、これらの技術は外国人技術者によるものと推測される。

古写真を見ると、こけら葺は 19 世紀までは積極的に用いられており、公共建築や山の中腹に並ぶ富裕層の住宅で多く見られる。しかし 20 世紀の写真には波板鉄板葺きの建物しか確認できない。

また石造もこけら葺と同様 19 世紀の公共建築や富裕層の住宅でしか見られないことが 2-1.で明らかになっている。このことから、19 世紀のレブカにはバンガロー形式を含む様々な形式が西洋人によってもたらされたが、こけら葺や石造など、高い技術が必要でかつ大量生産できないものはその技術が現地に継承されず、20 世紀以降に西洋人が減少したことで衰退していったと考えられる。

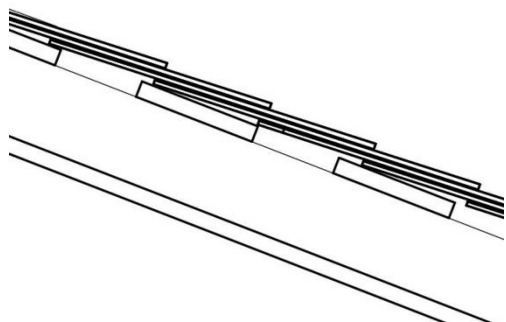


Fig.2-30 柿葺断面図



Fig.2-31 こけら葺



Fig.2-32 1870年代撮影の古写真

以上から、レブカの木造建築について以下の事が明らかになった。

レブカの木造建築はバンガローの形式を持ち、古くは開放されたベランダを持っており、柱や壁に痕跡が残っている。レブカのバンガロー型の初期形状は長方形の身舎にベランダが付くシンプルな形状で、オセアニアにおける比較的初期のバンガローの形式であると考えられる。

構造は規格寸法に製材された木材を用いたライトフレーム工法である。壁板には下見板張と縦羽目板張が用いられ、それぞれスタッド間隔が異なる。下見板張は外壁、縦羽目板張は内壁に用いる傾向がある。レブカでは公共建築と富裕層の住宅に二重壁が用いられるのみで、ほとんどの建物では二重壁を省略し、室内、室外のどちらか一方のみに張る。

レブカではバンガローやこけら葺など様々な技術がもたらされたが、大量生産ができない高い技術が必要なものは現地で継承されておらず、西洋人が減少した20世紀以降はこれらの建物を建設することができなくなった。

## 2-3.身舎の屋根構造

### (1)屋根構造の種類

レブカでは構造躯体に関わらず、小屋組みは全て木造である。確認された小屋組みはTable2-5の8種類に分類された。この分類はTable2-6の④に記載する。なお、複数のトラスを用いている場合や分類できないもの、1件しか見られない形式はその他に分類した。各部材の名称はFig.2-20を参照する。

- ①合掌型(Single-framed roof)： 掬首と棟木のみで構成される
- ②小梁型(Collar Beam roof)： 合掌型に小梁を足したもの
- ③トラス型(Common truss)： 掬首と棟木、陸梁で構成される三角形のトラス
- ④二重梁型(Collar Beam and Rafter tie roof)： 掬首と棟木に加え、小梁と陸梁の両方を持つもの
- ⑤真束トラス型(King-post roof)： 棟木を束で支える構造で、陸梁を持つ。一般的にキングポストトラスと呼ばれるが、レブカで見られる真束トラス型は構造が一定ではなく、Fig.2-33のように束材に壁板材を代用しているものも見られる。
- ⑥対束型(Queen-post roof)： 棟木の左右に束を配する。掬首と陸梁を持ち、束が棟木を支えない形状である。真束トラス型と同様、束材に壁板材を代用する建物が複数見られる。
- ⑦片流れ型(Skillion roof)： 棟から一方向のみに下る屋根。小屋組みが確認できたものは1件のみだが、外観から判別することが可能である。片流れ型は7件中5件がコンクリート造で、比較的新しい形式である。

Table.2-5 小屋組分類

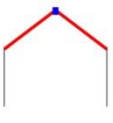
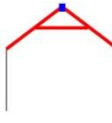
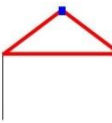
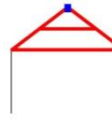
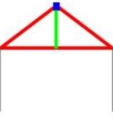
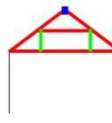
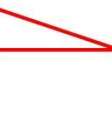
|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|  |  |  |  |
| ①合掌型  | ②小梁型  | ③トラス型   | ④二重梁型   |
| 8件  | 19件   | 2件  | 8件  |
|  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンサードトラス</li> <li>・シザーズトラス</li> </ul>         |
| ⑤真束トラス型   | ⑥対束型  | ⑦片流れ  | ⑧その他  |
| 25件   | 9件  | 7件  | 5件  |



Table.2-6 小屋組み分類と梁間桁行寸法

| ①<br>No. | ②               | ③<br>主構造 | ④<br>小屋組み       | ⑤<br>寸法 |       |       |      | ⑥<br>年代      |
|----------|-----------------|----------|-----------------|---------|-------|-------|------|--------------|
|          |                 |          |                 | 梁間      | 桁行    | 小屋組高さ | 傾き   |              |
| s01      | Residence       | 木造       |                 | 4455    | 3547  | 2868  | 1.29 | 1860年代初頭:HR  |
| s02      | Residence       | 木造       |                 | 3053    | 7315  | 1755  | 1.15 | (20世紀前期)     |
| s03      | Residence       | 木造       |                 | 5566    | 9243  | 2346  | 0.84 | (19世紀後期)     |
| s04      | Residence       | 木造       | Collar          | 4295    | 11002 | 1839  | 0.86 | (19世紀後期)     |
| s05      | Residence       | 木造       |                 | 2983    | 7224  | 1308  | 0.88 | (1900年頃)     |
| s06      | Residence       | 木造       |                 | 4344    | 14405 | 943   | 0.43 | (20世紀中期)     |
| s07      | Residence       | 木造       |                 | 4277    | 7182  | 1882  | 0.88 | 1930年代:間き取り  |
| s08      | Residence       | 木造       |                 | 4910    | 8743  | 1835  | 0.75 | 1940年代:HR    |
| s09      | Residence       | 木造       |                 | 6056    | 12045 | 2099  | 0.69 | 1900年頃:HR    |
| s10      | Shop House      | 木造       | King-Post       | 11980   | 30343 | 3154  | 0.53 | 1960年代:様式から  |
| s11      | Shop House      | 木造       | King-Post       | 9090    | 27373 | 3181  | 0.70 | 1962:間き取り    |
| s12      | Shop House      | 木造       | Others          | 10900   | 54920 | 4033  | 0.74 | 1920年:HR     |
| s13      | Public Building | 木造       |                 | 7771    | 22567 | 3739  | 0.96 | 1870年代後半:HR  |
| s14      | Shop House      | コンクリート造  | Skillion        | 8855    |       | 956   | 0.22 | 1950年代:HR    |
| s15      | Shop House      | コンクリート造  |                 | 13698   | 29734 |       |      | 1868年:HR     |
| s16      | Shop House      | コンクリート造  | King-Post       | 6610    | 18290 | 2276  | 0.69 | 1868年:HR     |
| s16      | Shop House      | 木造       | Others          | 8655    | 16566 | 3922  | 0.91 | 1868年?:HR    |
| b01      | Shop House      | コンクリート造  | Queen-Post      | 7204    | 12277 | 2073  | 0.58 | (20世紀中期)     |
| b02      | Residence       | 木造       | Single-frame    | 3507    | 7155  | 1165  | 0.66 | (1900年頃)     |
| b03      | Public Building | 木造       | Queen-Post      | 4649    | 13740 | 1329  | 0.57 | 1900年頃:LHR   |
| b04      | Residence       | 木造       | common          | 3503    | 7702  | 1365  | 0.78 | (19世紀後期)     |
| b05      | Residence       | 木造       |                 | 3695    | 7331  |       |      | (19世紀後期)     |
| b06      | Shop House      | コンクリート造  | King-Post       | 8745    | 30173 | 2260  | 0.52 | 1900年以降:HR   |
| b07      | Shop House      | コンクリート造  |                 |         |       |       |      | 1900年以降:HR   |
| b07      | Shop House      | 木造       |                 |         |       |       |      |              |
| b08      | Shop House      | コンクリート造  | Skillion        | 11831   | 8721  |       |      | 1960年初頭:HR   |
| b09      | Shop House      | コンクリート造  |                 | 10201   | 15571 |       |      | 20世紀中期:HR    |
| b10      | Shop House      | 木造       | Collar & rafter | 7023    | 12254 | 2264  | 0.64 | 1900年以前:HR   |
| b11      | Shop House      | コンクリート造  | Skillion        | 7691    | 13615 |       |      | 1960年初頭:HR   |
| b12      | Shop House      | 木造       | Skillion        | 13753   | 11337 | 1018  | 0.15 | 1900年以降:HR   |
| b13      | Shop House      | コンクリート造  | Collar          | 9199    | 15500 | 1564  | 0.34 | 20世紀初期:HR    |
| b14      | Shop House      | 木造       |                 | 6707    | 12236 | 1968  | 0.59 | 1900年以降:HR   |
| b15      | Shop House      | 木造       | Collar & rafter | 8448    | 12847 | 2038  | 0.48 | 1900年以降:HR   |
| b16      | Shop House      | 木造       |                 | 22161   |       |       |      | 1900年以降:HR   |
| b17      | Shop House      | 木造       |                 | 7716    | 11971 |       |      | 1870年代?:古写真  |
| b18      | Shop House      | 木造       |                 | 7045    | 12244 |       |      | 1870年代?:古写真  |
| b19      | Shop House      | 木造       | King-Post       | 11111   | 17213 | 3398  | 0.61 | 1900年以前?:古写真 |
| b20      | Shop House      | 木造       |                 | 5968    | 10002 |       |      | 1900年以前?:古写真 |
| b20      | Shop House      | コンクリート造  |                 |         |       |       |      |              |
| b21      | Shop House      | コンクリート造  | Collar          |         |       |       |      | 1900年以前?:古写真 |
| b21      | Shop House      | 木造       |                 | 7793    | 14636 | 2000  | 0.51 |              |
| b22      | Shop House      | コンクリート造  | Collar & rafter | 6015    | 16505 | 1440  | 0.48 | 1900年以降:HR   |
| b23      | Shop House      | コンクリート造  | Queen-Post      | 8607    | 19709 | 1336  | 0.31 | 1930年代以降:HR  |
| b24      | Public Building | コンクリート造  |                 | 7225    | 12927 |       |      | 1953年:HR     |
| b25      | Public Building | 木造       | Collar          | 8057    | 21069 | 2852  | 0.71 | 1860年代:HR    |
| b26      | Residence       | 木造       | King-Post       | 4880    | 14232 | 1981  | 0.81 | (1900年頃)     |
| b27      | Shop House      | 石造       |                 | 6121    | 12315 |       |      | 1860年代?:HR   |
| b27      | Shop House      | 木造       | King-Post       | 5195    | 9289  | 1850  | 0.71 |              |
| b27      | Shop House      | 木造       | Collar & rafter | 6386    | 12246 | 2259  | 0.71 | 1881年?:HR    |
| b28      | Shop House      | コンクリート造  |                 | 7809    | 13185 | 2324  | 0.60 |              |
| b29      | Shop House      | 木造       | Others          | 9856    | 13880 | 2510  | 0.51 | 1920年代以降:HR  |
| b30      | Shop House      | コンクリート造  |                 |         |       |       |      | 1900年以降:HR   |
| b31      | Public Building | コンクリート造  | King-Post       | 9106    | 26188 | 2041  | 0.45 | 1945年以降:HR   |
| b32      | Shop House      | コンクリート造  | Skillion        | 10420   |       | 1114  | 0.21 | 第2次世界大戦以降:HR |
| b33      | Shop House      | コンクリート造  | King-Post       | 7663    | 17148 | 2847  | 0.74 | 1890年以降:HR   |
| b34      | Residence       | 木造       |                 | 3553    | 7671  |       |      | 1878年?:HR    |
| b35      | Public Building | 木造       |                 | 4195    | 13439 |       |      | (20世紀前期)     |
| b36      | Public Building | 木造       | Collar & rafter | 6948    | 12410 | 2871  | 0.83 | (19世紀後期)     |
| b37      | Public Building | 木造       | Collar          | 3089    | 7370  | 1517  | 0.98 | (20世紀前期)     |
| b38      | Public Building | 木造       | Collar          | 5993    | 17746 | 2344  | 0.78 | (19世紀後期)     |
| ms01     | Residence       | 木造       | Collar & rafter | 3680    | 7266  | 1379  | 0.75 | (19世紀後期)     |
| ms02     | Residence       | 木造       |                 | 3442    | 7950  |       |      | 第1次世界大戦以前:HR |
| ms03     | Residence       | 木造       | Collar          | 4060    | 8611  | 1628  | 0.80 | 第1次世界大戦以前:HR |
| ms04     | Residence       | 木造       | Queen-Post      | 4924    | 11031 | 2139  | 0.87 | 1894年以前:古写真  |
| ms05     | Residence       | 木造       |                 | 4732    | 7955  | 2085  | 0.88 | 1894年以前:古写真  |
| ms06     | Residence       | 木造       | Single-frame    | 3022    | 5524  | 1212  | 0.80 | (20世紀中期)     |
| ms07     | Residence       | 木造       |                 | 6136    | 9175  |       |      | (20世紀中期)     |
| ms08     | Residence       | 木造       | Collar          | 3659    |       | 1531  | 0.84 | 1894年以前:古写真  |
| ms09     | Residence       | 木造       |                 | 4270    | 6605  |       |      | (20世紀前期)     |
| ms10     | Residence       | 木造       |                 | 4293    | 6076  |       |      | (20世紀前期)     |
| ms11     | Residence       | 木造       | King-Post       | 5273    | 14756 | 2000  | 0.76 | 1894年以前:古写真  |
| ms12     | Residence       | 木造       |                 |         |       |       |      | 1894年以前:古写真  |



|      |                 |         |                 |       |       |      |      |                |
|------|-----------------|---------|-----------------|-------|-------|------|------|----------------|
| ms13 | Residence       | 木造      |                 | 6952  | 8410  |      |      | (20世紀中期)       |
| ms14 | Residence       | 木造      |                 | 4284  | 12307 | 1462 | 0.68 | 1919年購入        |
| ms15 | Residence       | 木造      | Collar          | 4707  | 11006 | 1436 | 0.61 | (20世紀中期)       |
| ms16 | Residence       | 木造      |                 | 3902  | 4928  | 1112 | 0.57 | (20世紀前期)       |
| ms17 | Residence       | 木造      | King-Post       | 3665  | 5493  | 1390 | 0.76 | (19世紀後期)       |
| ms18 | Shop House      | 木造      | King-Post       | 9119  | 10817 | 2006 | 0.44 | 1900年以降:HR     |
| ms19 | Residence       | コンクリート造 | King-Post       | 8652  | 8978  | 1579 | 0.37 | (20世紀中期)       |
| ms20 | Public Building | 石造      |                 | 7319  | 27528 |      |      | 1890年代:HR      |
|      | Public Building | 木造      | Collar          | 6130  | 9157  | 1672 | 0.55 | (1900年頃)       |
|      | Public Building | 木造      |                 | 6407  | 11023 | 2828 | 0.88 | (1900年頃)       |
| ms21 | Residence       | 木造      | Collar & rafter | 3687  | 6939  | 1447 | 0.78 | (20世紀前期)       |
| ms22 | Residence       | 木造      |                 | 3981  | 8090  | 1412 | 0.71 | (20世紀前期)       |
| ms23 | Public Building | 木造      | Collar          | 2532  | 4855  | 1518 | 1.20 | 20世紀初期:HR      |
| ms24 | Public Building | 木造      | Collar          | 8461  | 13076 | 3055 | 0.72 | 1879年:HR       |
| ms25 | Residence       | 木造      |                 | 4678  | 12672 | 1848 | 0.79 | (19世紀後期)       |
| ms26 | Residence       | 木造      |                 | 6395  | 9548  |      |      | 1900年以後:HR     |
| ms27 | Residence       | 木造      |                 | 5490  | 7324  |      |      | 1894年:HR       |
| mn01 | Public Building | 石造      | Collar & rafter | 9820  | 25318 | 1691 | 0.34 | 1869年:HR       |
|      |                 | 石造      |                 | 5251  | 13565 |      |      | 1882年?:HR      |
|      |                 | 木造      | King-Post       | 7856  | 14410 | 1227 | 0.31 | (20世紀中期)       |
|      |                 | 木造      |                 | 7124  | 8331  | 2917 | 0.82 | (19世紀後期)       |
| mn02 | Public Building | 木造      | Single-frame    | 6099  |       | 1139 | 0.37 | 第2次世界大戦以前      |
| mn03 | Public Building | コンクリート造 |                 |       |       |      |      | 1924年:HR       |
| mn04 | Public Building | 石造      | King-Post       | 10458 | 22018 | 3842 | 0.73 | 1898年:HR       |
| mn05 | Public Building | 木造      |                 | 7716  | 10866 |      |      | 1904年:HR       |
| mn06 | Residence       | 木造      |                 | 4649  | 9777  |      |      | (20世紀前期)       |
| mn07 | Residence       | 木造      |                 | 3692  | 9078  | 1955 | 1.06 | (19世紀後期)       |
| mn08 | Residence       | 木造      |                 | 9805  | 11016 | 2640 | 0.54 | 1949年以前:古写真    |
| mn09 | Residence       | 木造      |                 | 3555  | 7896  |      |      | (20世紀前期)       |
| mn10 | Residence       | 木造      |                 | 5380  | 9079  | 971  | 0.36 | 1949年以前:古写真    |
| mn11 | Residence       | 木造      |                 | 3075  | 9152  | 977  | 0.64 | 1949年以前:古写真    |
| mn12 | Residence       | 木造      |                 | 6455  | 10172 |      |      | 1900年以後:HR     |
|      |                 | 木造      | Queen-Post      | 8814  | 8755  | 2241 | 0.51 | 1900年以後:HR     |
| mn13 | Residence       | 木造      |                 | 4983  | 10510 |      |      | (19世紀後期)       |
| mn14 | Residence       | 石造      |                 | 5251  | 13565 |      |      | 1870年代以降:HR    |
| mn15 | Residence       | 木造      |                 | 4787  | 9753  |      |      | 1900年頃:HR      |
| mn16 | Residence       | 木造      | Skillion        |       |       |      |      | 1949年以前?:古写真   |
| mn17 | Residence       | 木造      | Collar          | 7532  | 14360 | 1604 | 0.43 | 1900年以前:HR     |
| mn18 | Residence       | 木造      |                 | 5160  | 15333 |      |      | 19世紀:古写真       |
| mn19 | Public Building | コンクリート造 | Others          | 8910  | 15250 | 2091 | 0.47 | 1940年代:HR      |
| mn20 | Shop House      | 木造      | Queen-Post      | 8375  | 13900 | 1850 | 0.44 | 1900年頃:HR      |
| mn21 | Residence       | 木造      |                 | 4235  | 6177  | 1217 | 0.57 | 1920年頃:HR      |
| mn22 | Residence       | 木造      | Single-frame    | 4262  | 6137  | 1439 | 0.68 | 1920年頃:HR      |
| mn23 | Residence       | 木造      | King-Post       | 4257  | 6141  | 1667 | 0.78 | 1920年頃:HR      |
| mn24 | Residence       | 木造      | common          | 4059  | 8045  | 1342 | 0.66 | 1880年代:HR      |
| mn25 | Residence       | 木造      | Single-frame    | 4003  | 5942  | 1268 | 0.63 | (20世紀前期)       |
| mn26 | Public Building | 木造      |                 | 7154  | 38829 |      |      | (20世紀中期)       |
| mn27 | Residence       | 木造      | King-Post       | 7317  | 10426 | 2222 | 0.61 | (20世紀中期)       |
| mn28 | Residence       | 木造      |                 | 4025  | 5595  |      |      | 1967年以前:古写真    |
| mn29 | Residence       | 木造      |                 | 3850  | 6900  |      |      | 1949年以前:古写真    |
| mn30 | Residence       | 木造      | Single-frame    | 5694  | 11083 | 861  | 0.30 | 1967年以前:古写真    |
| mn31 | Residence       | 木造      |                 | 5978  | 8130  |      |      | 1967年以前:古写真    |
| n01  | Residence       | 木造      | King-Post       | 4307  | 9063  | 1116 | 0.52 | 1949年以前:古写真    |
| n02  | Residence       | 木造      |                 | 4130  | 8922  |      |      | 1949年以前:古写真    |
| n03  | Residence       | 木造      | King-Post       | 5153  | 9024  | 1972 | 0.77 | 1900年頃:HR      |
| n04  | Residence       | 木造      |                 | 4986  | 14494 |      |      | 1949年以前:古写真    |
| n05  | Residence       | 木造      | King-Post       | 4715  | 11205 | 2055 | 0.87 | 1895年以前:古写真    |
| n06  | Residence       | 木造      | Queen-Post      | 4665  | 11406 | 1375 | 0.59 | 1895年以前:古写真    |
| n07  | Residence       | 木造      |                 | 5258  | 12665 |      |      | 1895年以前:古写真    |
| n08  | Public Building | 石造      | King-Post       | 7797  | 13750 | 2727 | 0.70 | 1862年:HR       |
| n09  | Residence       | 木造      | Collar          | 3615  | 6143  | 1049 | 0.58 | 1895年以前:古写真    |
| n10  | Residence       | 木造      |                 | 7272  | 9207  |      |      | 1985-1921年:古写真 |
| n11  | Residence       | 木造      |                 | 4906  | 13385 |      |      | (1900年以降)      |
| n12  | Residence       | 木造      |                 | 5370  | 12160 |      |      | (20世紀前期)       |
| n13  | Residence       | 木造      |                 | 3710  | 10636 |      |      | (19世紀後期)       |
| n14  | Residence       | 木造      | Single-frame    | 4400  | 8556  | 2409 | 1.10 | (20世紀前期)       |
| n15  | Residence       | 木造      |                 | 4172  | 9246  | 1905 | 0.91 | (20世紀前期)       |
| n16  | Residence       | 木造      |                 | 4172  | 9233  | 1774 | 0.85 | (20世紀前期)       |
| n17  | Residence       | 木造      | Others          | 4480  |       | 916  | 0.41 | (20世紀前期)       |
| n18  | Residence       | 木造      | Collar & rafter | 4639  | 11317 | 1562 | 0.67 | 1872年以前:古写真    |
| n19  | Public Building | コンクリート造 | Queen-Post      | 10414 | 27005 | 903  | 0.17 | 1966年:HR       |
| n20  | Residence       | 木造      |                 | 9881  | 16570 |      |      | 1904年以降:古写真    |
| n21  | Public Building | 木造      | Queen-Post      | 6827  | 14166 | 2232 | 0.65 | (20世紀前期)       |
|      |                 | 木造      | Collar          | 4352  | 7911  | 1493 | 0.69 | (20世紀前期)       |
|      |                 | 木造      | Collar          | 5651  | 15735 | 1732 | 0.61 | (20世紀前期)       |
|      |                 | 木造      | Single-frame    | 5582  | 11126 | 1086 | 0.39 | (20世紀前期)       |
| n22  | Residence       | 木造      | Collar          | 4523  | 12867 | 1910 | 0.84 | 1900年頃:HR      |
| n23  | Residence       | 木造      | Collar          | 4920  | 13377 | 1936 | 0.79 | 1870年代:古写真     |
| n24  | Residence       | 木造      | King-Post       | 6193  | 13190 | 1550 | 0.50 | (20世紀前期)       |
| n25  | Public Building | コンクリート造 | King-Post       | 9309  | 17419 | 2396 | 0.51 | 1904年:HR       |
| n26  | Shop House      | コンクリート造 | Skillion        | 12835 | 9145  | 1782 | 0.28 | 1957年:HR       |
| n27  | Residence       | 木造      | Collar          | 3624  | 7592  | 1167 | 0.64 | (1900年頃)       |
| n28  | Shop House      | 木造      | King-Post       | 5873  | 7055  | 2014 | 0.69 | 1920年代:HR      |
| n29  | Public Building | 石造      | King-Post       | 8669  | 16310 | 3034 | 0.70 | 1860年代:HR      |





Fig.2-33 壁板で補強された小屋組

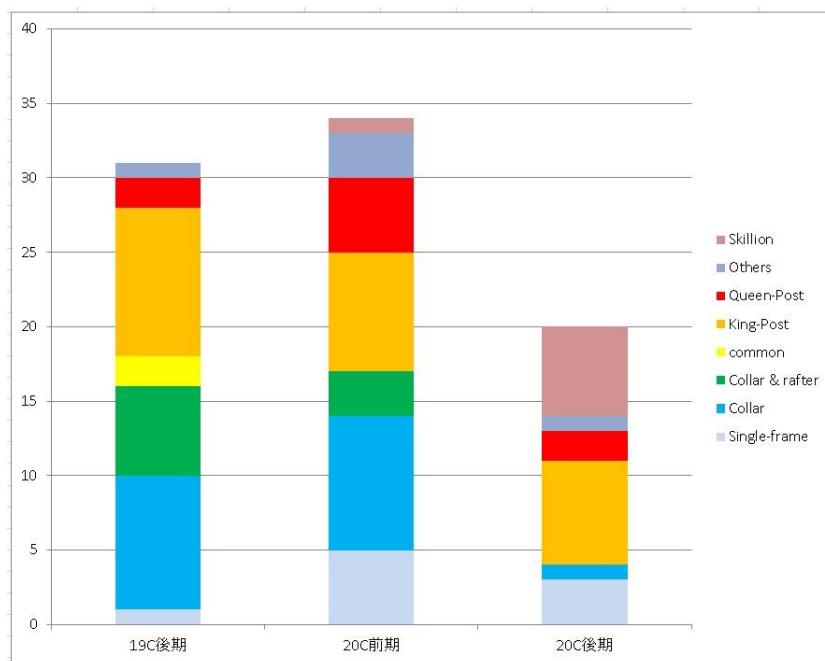


Fig.2-34 年代別に見た小屋組みの割合

Table.2-7 は Table.2-6 の⑤で示した梁間と桁行、屋根勾配の小屋組みの種類ごとの平均である。梁間規模で見ると、トラス型、合掌型、小梁型、二重梁型、対束型、真束トラス型、片流れの順で大きくなる。また屋根勾配では片流れ型が極端に緩やかで、対束型、トラス型、合掌型、二重梁型、真束トラス型、小梁型の順で傾斜が急になる。

また屋根構造の種類を年代順に並べると Fig.2-34 のようになる。小梁型、トラス型、二重梁型は 19 世紀後期には多く見られるが、時代が下るごとに減少している。真束トラス型と対束型は年代に関わらず広く用いられており、片流れ型は近年に増加している。この理由について、屋根勾配と梁間規模の変化から考察を行う。

Table.2-7 小屋組みの分類ごとの梁間、高さ、傾きの平均

|    | 合掌型     | 小梁型     | 二重梁型    | 真束<br>トラス型 | 対束型     | 片流れ型     | トラス型    | その他     |
|----|---------|---------|---------|------------|---------|----------|---------|---------|
| 梁間 | 4571.13 | 5378.53 | 6282.50 | 7319.72    | 7164.33 | 10897.50 | 3781.00 | 8560.20 |
| 高さ | 1322.40 | 1781.40 | 1836.50 | 2231.40    | 1719.80 | 1217.50  | 1353.50 | 2694.40 |
| 傾き | 0.62    | 0.71    | 0.62    | 0.63       | 0.52    | 0.11     | 0.72    | 0.61    |

(i)屋根勾配

Fig.2-35 は建物の年代と屋根勾配の関係を示したグラフである。グラフを見ると、年代が下るほど屋根勾配が緩やかになる傾向が見られる。

このグラフを小屋組みの種類ごとに分類すると Fig.2-36(1~7)になる。なおグラフ化する上でトラス型は数が少ないためその他と共に計上している。

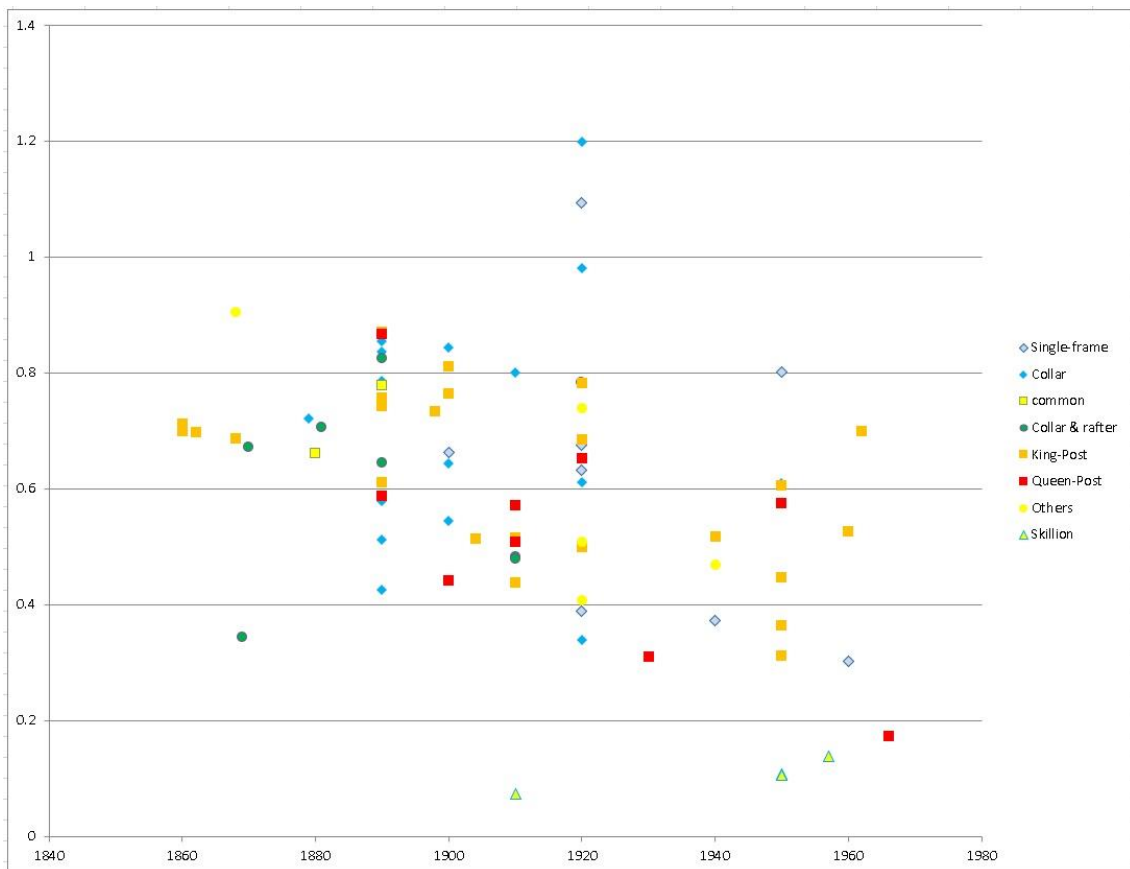


Fig.2-35 屋根勾配のトラスごとの変遷

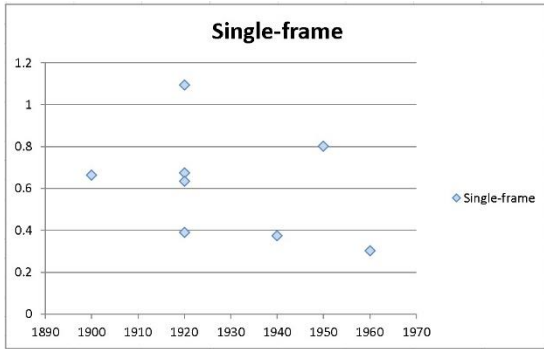


Fig.2-36(1) 合掌型

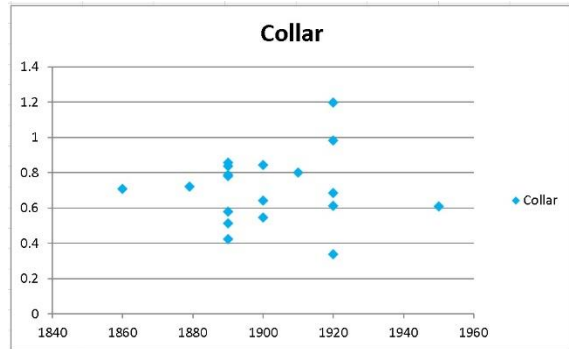


Fig.2-36(2) 小梁型

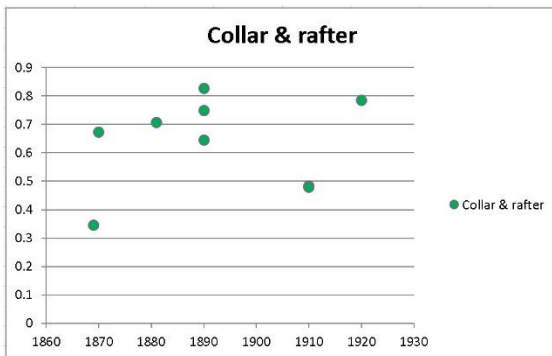


Fig.2-36(3) 二重梁型

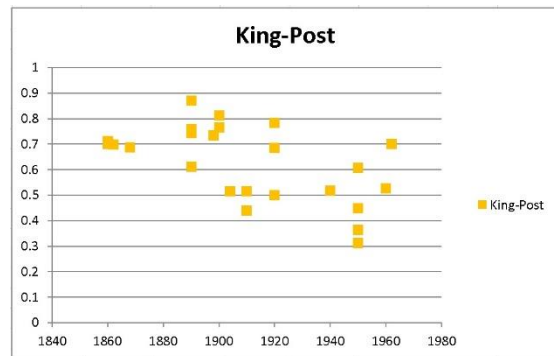


Fig.2-36(4) 真東トラス型

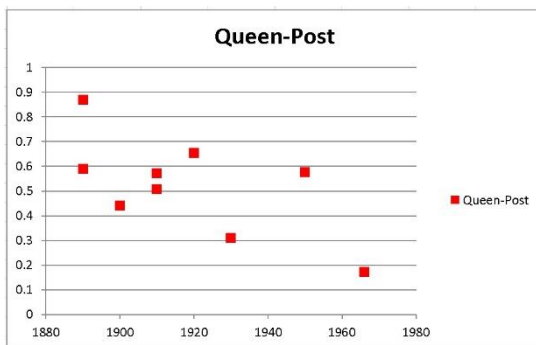


Fig.2-36(5) 対束型

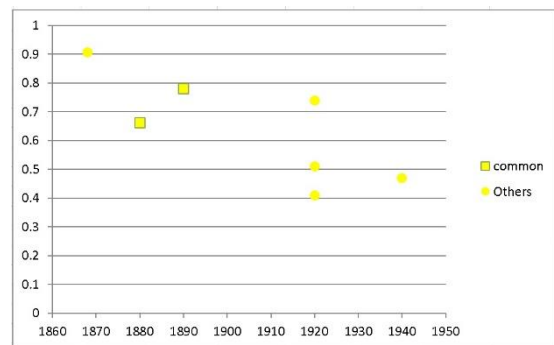


Fig.2-36(6) トラス型、その他

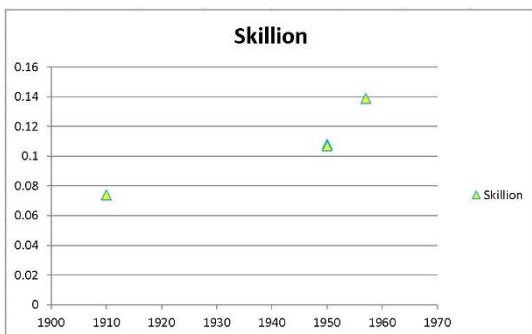


Fig.2-36(7) 片流れ型

合掌型、真束トラス型、対束型では屋根勾配の減少が見られる一方で、小梁型は減少率が低く、二重梁型では増加傾向が見られる。これは陸梁と棟木の上に小梁を入れるための高さが必要なためである。

屋根の高さが低い場合、小梁を入れる必要はなくなる。このため屋根勾配の減少と共に小梁型、二重梁型が減少していると考えられる。

レブカの屋根勾配が緩やかになる理由について、台風等の強風対策が考えられる。フィジーの伝統住居ブレでは、ハリケーンの強風対策のために建設時に急遽屋根を低くするという対策がとられている(注 2-6)。このことから、レブカでも同様に強風対策のために勾配を緩やかにする傾向があったと考えられる。

また、現在の屋根葺き材は主に波板鉄板を用いているが、古写真を見ると 1900 年前後にはタウン内にも草葺きの建物が複数見られることから、屋根葺き材の変化も関係していると推測される。

## (ii) 梁間

Fig.2-37 は年代と梁間の関係を示したもので、緩やかではあるが年代が下るほど梁間規模が大きくなる傾向が見られる。梁間規模と建物規模は比例しており、梁間が大きくなるほど建物全体の規模も大きくなる。このグラフを屋根構造ごとに分類すると Fig.2-38 (1~7)になる。

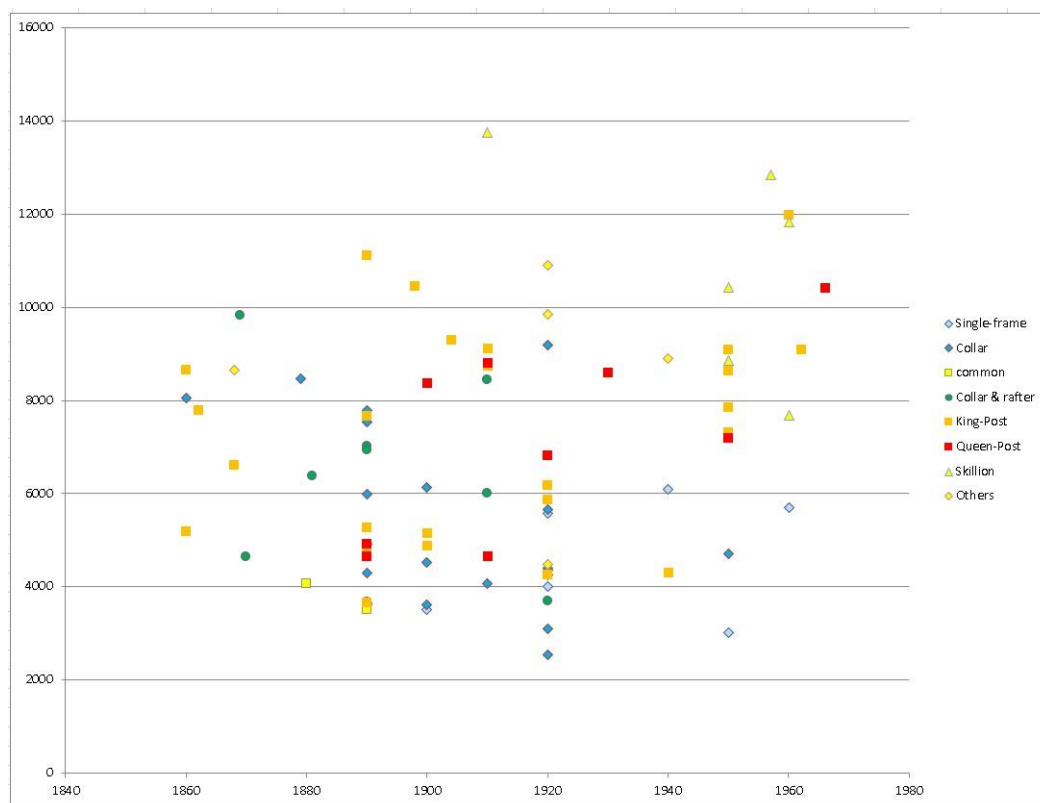


Fig.2-37 梁間のトラスごとの変遷

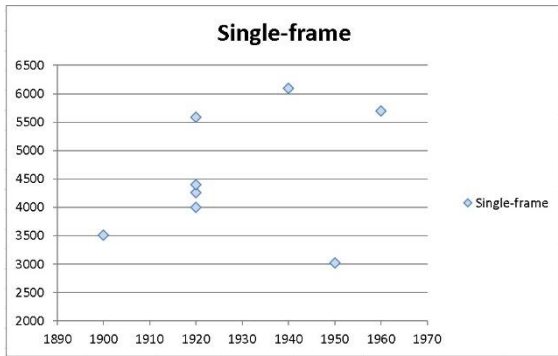


Fig.2-338(1) 合掌型

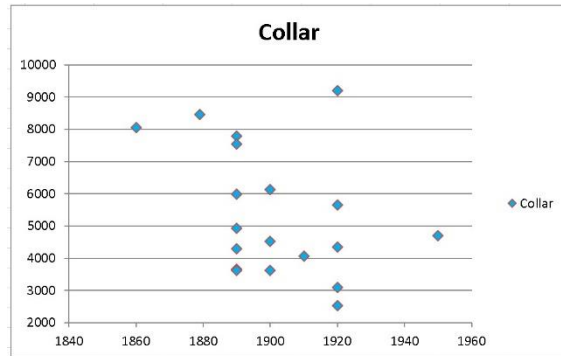


Fig.2-38 (2) 小梁型

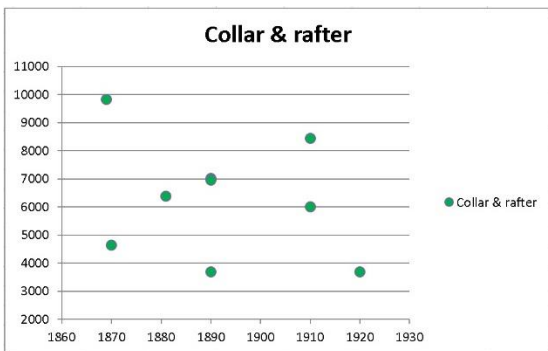


Fig.2-38 (3) 二重梁型

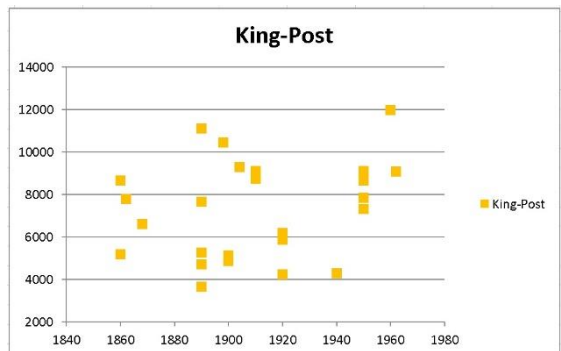


Fig.2-38 (4) 真束トラス型

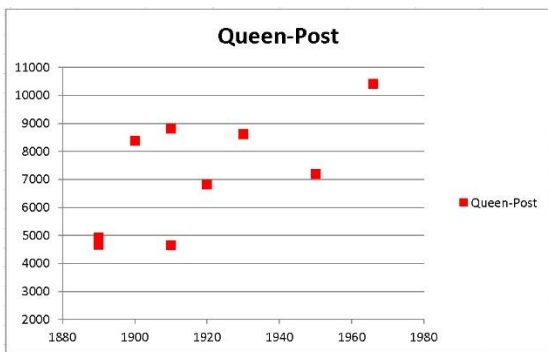


Fig.2-38 (5) 対束型

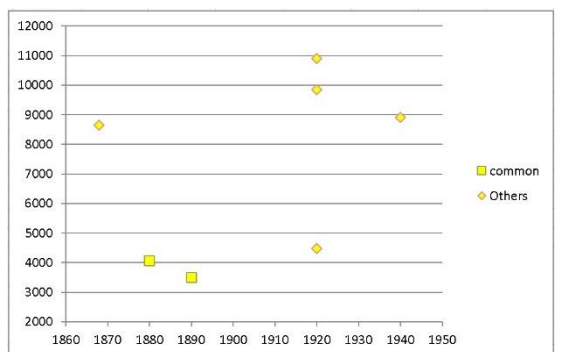


Fig.2-38 (6) トラス型、その他

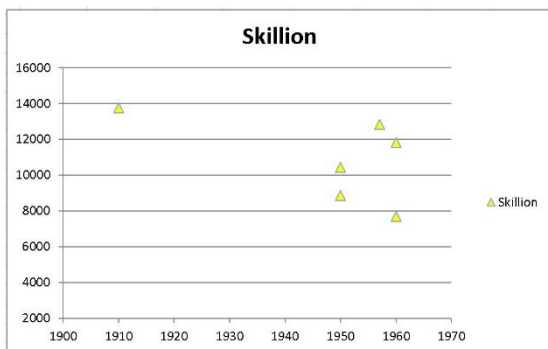


Fig.2-38 (7) 片流れ型



合掌型、真束トラス型、対束型では梁間規模が大きくなるのに対し、小梁型と二重梁型では梁間規模が小さくなっている。柱で支えられる陸梁とは異なり、小梁は途中で継ぐことが難しいため梁間を大きくするという傾向には不利であったと推測される。

(i)(ii)から、レブカの建物は時代が下るほど梁間が大きくなり、建物が大規模になっている。また強風対策のために屋根勾配を緩やかにする傾向がある。小梁のために高さや梁間に制限があった二重梁型と小梁型は減少し、屋根勾配が緩やかで梁間を広く取れる片流れが増加した。

## (2)用途別の傾向

屋根構造について用途別に分類する。Fig.2-39は用途ごとの梁間と桁行、高さの平均である。梁間、桁行、高さ全てにおいて町家建築が最も大きく、次いで公共建築、戸建住居である。町家建築は商売を営んでいるため、金銭的な余裕があり、また店舗のために建物を広く取る必要があったと考えられる。

また、屋根構造と建物用途の関係についてFig.2-40に示す。

戸建住居は全ての小屋組みが見られるが、町家建築では合掌型とトラス型は見られない。Table.2-6から、合掌型とトラス型は小規模な建物に用いられる形式である。町家建築は建物規模が大きいため、梁間を広く取れる真束トラス型や片流れを多く用いたと考えられる。

また公共建築では小梁型が多く片流れが見られない。片流れは比較的新しい形式で小梁型は近年に減少している事から、公共建築は比較的古い建物が多く近年ではあまり建てられていないと言える。

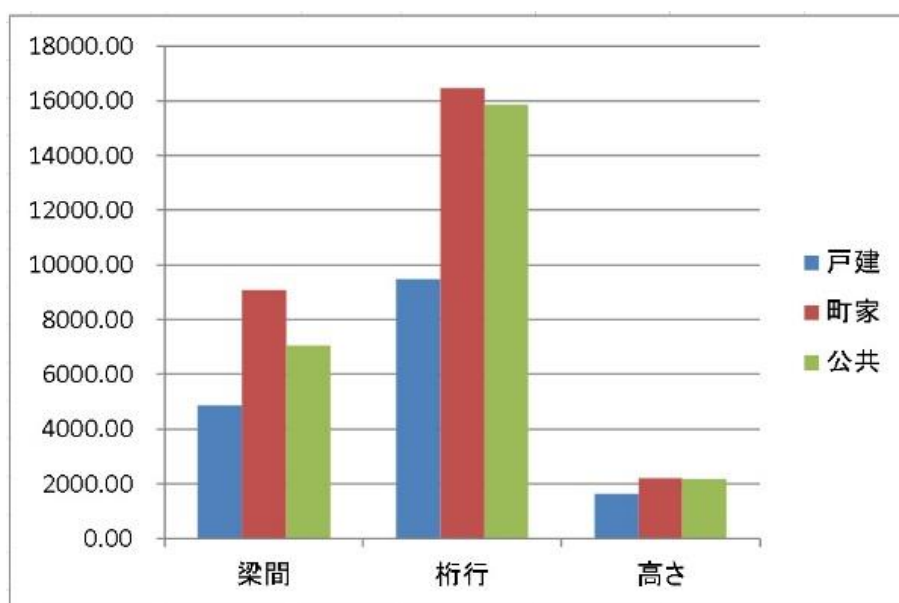


Fig.2-39 用途ごとの梁間、桁行、高さ

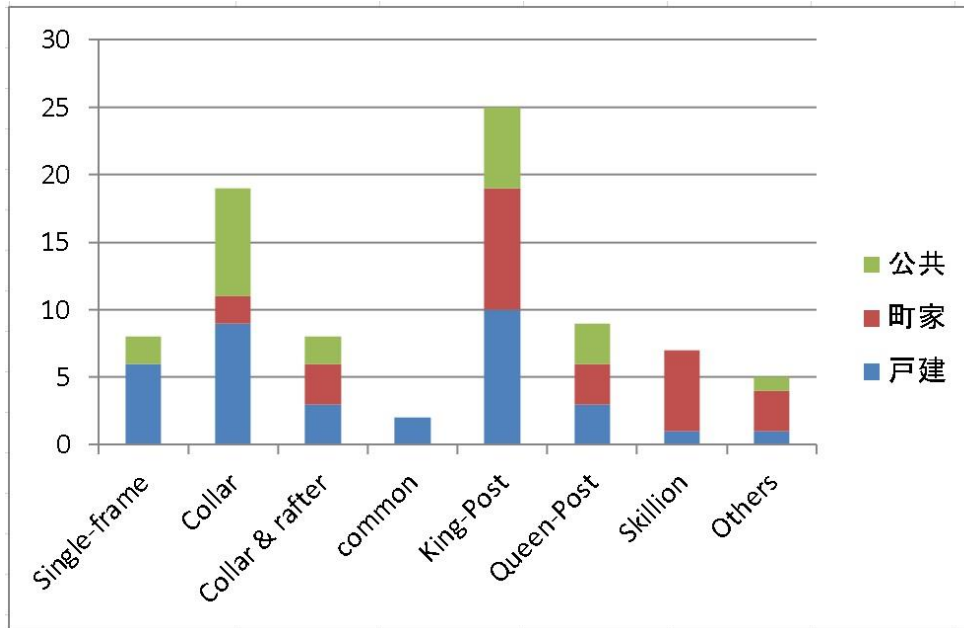


Fig.2-40 屋根構造別の建物用途

#### 2-4. 下屋の構造

バンガロー型の建物は身舎の周囲に広い下屋を持つ。下屋部分はトラスではなく垂木を身舎桁に架けるだけのシンプルな構造で、その他の材で補強しているものは殆ど確認できない。しかし一部で Fig.2-41 のように身舎の桁下から下屋の垂木を架ける建物が 5 件確認できた。この場合、垂木は柱もしくは桁に釘で打ち付ける。また一部の建物では、身舎の壁面に設けた垂木掛けの下から垂木を打ち付けている建物も確認できた。

この工法は垂木の浮き上がりを防ぐ目的があると考えられる。下屋部分は古くは開放されたベランダだったため、外からの風で上に煽られないよう下から施工したと考えられる。

垂木と共に軒桁にも上方向の荷重がかかるため、軒桁の接合方法にも浮き上がりを防ぐ工夫が見られた。

桁は通常柱に突付けで接合するが、下屋側の軒桁は突付けで接合する場合(Fig.2-42 の A)と、柱を切欠いて接合する(Fig.2-42 の B)2 つが見られる。突付けは上から垂直方向に釘を打つが、切欠は水平方向に釘を打つため、下からの荷重に対応できる。また、町家では下から打ち付けた垂木を軒桁に掛けるのではなく軒桁に接合している下屋が見られた(Fig.2-43)。このことから、これらの工夫が浮き上がりを防ぐ目的であったことを示すと考えられる。

レブカではこの工法が多く見られ、現地の大工への聞き取りから、主にベランダに用いる方法とされる。建物の年代から、突付けの方が古い手法であることが明らかになった。

また、同じ建物でも前方と後方の下屋で軒桁の接合方法が異なる場合が見られた。特に切欠は表側に多く確認できる。

普通は同じ建物で異なる構法を用いることはないが、レブカでは台風により下屋が度々消失している事が確認されており、下屋の軒桁も当初のままではない可能性がある。

レブカには台風が多く、2016年のウィンストンでは下屋部分が消失した建物が多く見られた(Fig.2-44)。また、1895年にも台風により甚大な被害があった事が分かっている。この時の古写真でも、下屋部分が消失した建物が確認できる(Fig.2-45)。

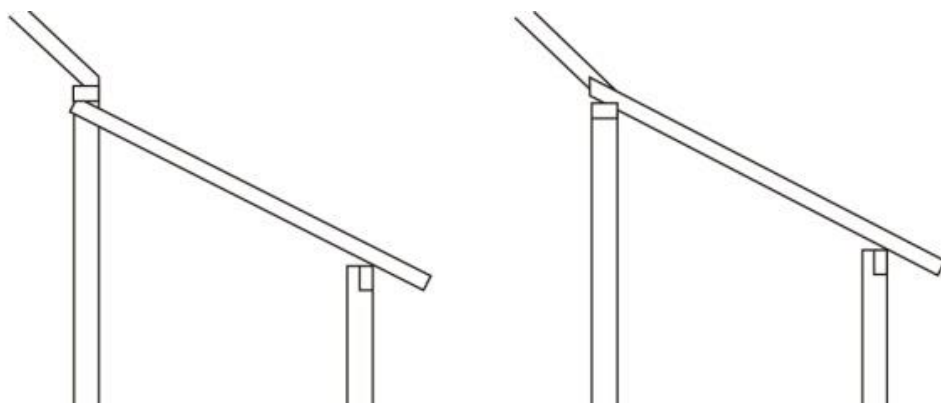


Fig.2-41 下屋の垂木の架構方法

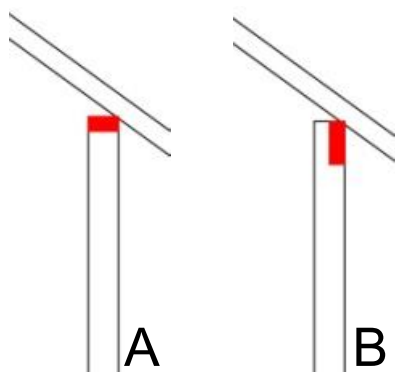


Fig.2-42 突付(右)と切欠(左)



Fig.2-43 軒桁に接合された垂木

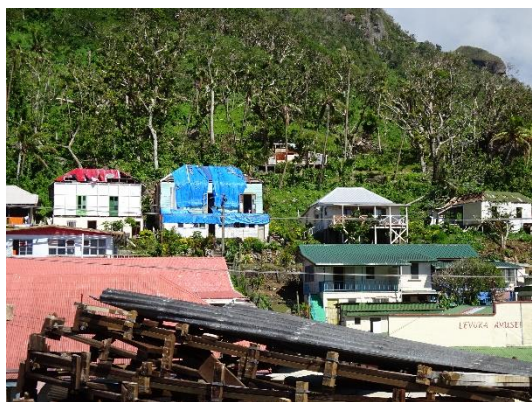


Fig.2-44 2016年ウィンストン後



Fig.2-45 1895年台風後

## 2-5.レブカの歴史的建造物の年代判定における基準について

以上の調査からレブカに残る歴史的建造物の年代について、下記の特徴が見られた。

石造は19世紀後期の建築でのみ確認された。またコンクリート造は壁式構造と骨組構造の2種類が見られ、骨組構造は20世紀前期または20世紀中期でのみ確認された。

木造建築については、ライトフレーム工法を基本とし、スタッドには100×100mm、75×100mm、50×100mmの寸法が用いられる。また19世紀後期に建築された建物の一部では、100×125mmまたは125×125mmの寸法のスタッドが身舎の隅柱部分に確認された。さらに、1900年前後から20世紀初頭にかけて建てられた建物の一部では100×150mmまたは150×150mmの寸法のスタッドが身舎の隅柱部分に確認された。

一方ライトフレーム工法のスタッドについて、1953年に国際規格が変更され、寸法が50×100mmから45×95mmに変わっている。レブカでも新築建物や増築部分に新規格が用いられている。

また、縦羽目板張で用いられる胴縁に面取りが施された建物が確認される。この面取りが施された胴縁は19世紀後期から1900年前後の建物で確認された。

以上から、本研究ではレブカの歴史的建造物の年代の特徴について、下記の基準で年代を推定した。

- ・石造：19世紀後期
- ・コンクリート造(骨組構造)：20世紀前期から中期
- ・身舎の隅柱の寸法が100×125mmまたは125×125mm：19世紀後期
- ・身舎の隅柱の寸法が100×150mmまたは150×150mm：1900前後から20世紀初頭  
(身舎の隅柱に125mm角と150mm角を併用する場合は1900年前後とする)
- ・胴縁に面取り：19世紀後期から20世紀初頭
- ・身舎の隅柱の寸法が45×95mmまたは95×95mm：20世紀中期

また木造建築の復原方法について、ベランダの痕跡を下記のようにまとめる。

- ・床に水勾配をもつ
- ・身舎の床と下屋の床に高低差を設ける
- ・下屋の妻側上部に垂れ壁
- ・手すり
- ・身舎と周辺室の境の壁に下見板を用いる

## 2-6.構造における特徴と編年について

以上の調査から、レブカの歴史的建造物における構造的特徴について以下のことが明らかになった。

レブカの歴史的建造物は8割が木造で、コンクリート造や石造は公共建築と町家建築で多く用いられる。石造は19世紀に用いられて以降は建築されておらず、古い形式である。またコンクリート造は古くは壁式構造であったが、近年では骨組構造が多く用いられている。

レブカの木造建築はバンガロー型で、古くは開放されたベランダを持っており、柱や壁には痕跡が残っている。レブカに残るバンガロー型の初期の形状は長方形の身舎にベランダを設けるシンプルな形状で、オセアニアにおける比較的初期のバンガローの形式を残している。

木造建築の構造はライトフレーム工法を用いており、柱は2×4(inch)、2×3(inch)、4×4(inch)の木材規格が用いられている。壁は下見板と縦羽目板の2種がみられ、壁の種類によって構造が異なる。レブカでは木材の入手が困難だったと推測され、二重壁を省略する、あるいはより柱を少なくできる縦羽目板張が多用されている。

19世紀には西洋からさまざまな様式がもたらされたが、石造やこけら葺など大量生産ができず高い技術を必要とするものは現地に定着せず、西洋人が減少した20世紀以降には用いられなくなった。

また建物は時代が下るほど屋根の高さを低くし、傾斜を緩やかにする傾向が見られる。下屋には垂木の浮き上がりを防ぐ工夫も見られ、レブカの屋根構造が台風等の強風に対する工夫を取っている事が明らかになった。

以降の章では本項で算出した編年を元に各建物の用途別の変化を明らかにする。



注釈

注 2-1 : 石造 9 棟のうち 5 棟は壁厚を 400mm 以下とするが、一方で壁厚が 500mm を超える建物が 3 棟確認される。この 3 棟は構造躯体が確認できないが、コンクリート造とするには壁厚が大きすぎることから本研究では石造に分類した。

注 2-2 : 『建築大辞典第 2 版』 彰国社 1993 年 より

注 2-3 : 『QUEENSLAND DEPOSIT BANK AND BUILDING SOCIETY(参考文献 59)』、『Cottage Home (参考文献 62)』、『Hudson's "Ready-Cut" homes(参考文献 64)』、『OLD NEW ZEALAND HOUSES 1800-1940(参考文献 73)』 参照

注 2-4 : アメリカで最初に木材の規格が設定されたのは 1919 年の American Lumber Congress で、それ以前は生産地域により木材の大きさにバラつきがあった。その後第二次世界大戦の木材需要により、この基準を満たさない粗悪品が大量に生産されたため、改めて 1953 年に生木と乾燥材における基準が制定された(「History of Yard Lumber Size Standards (参考文献 1)」 参照)

注 2-5 : 八百板季穂「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究(参考文献 32)」 2006 年 p46

注 2-6 : 小林広英「フィジー伝統木造建築・ブレにみる在来建築技術に関する調査研究(参考文献 51)」 参照



# 第 3 章

## 戸建住居について

### 3. 戸建住居

本項ではレブカの歴史的建造物のうち戸建住居に分類された82件を対象とし、その間取の特徴と変遷を明らかにする。特にフィジーの伝統文化や生活習慣に着目し、間取や構造の変化にどのような影響を与えたかを考察する。

戸建住居82件のうち、断面図を作成したものが80件、復原図を作成したものが62件、聞き取りを行ったものが57件である。この調査結果の分析と考察をTable3-1に示す。

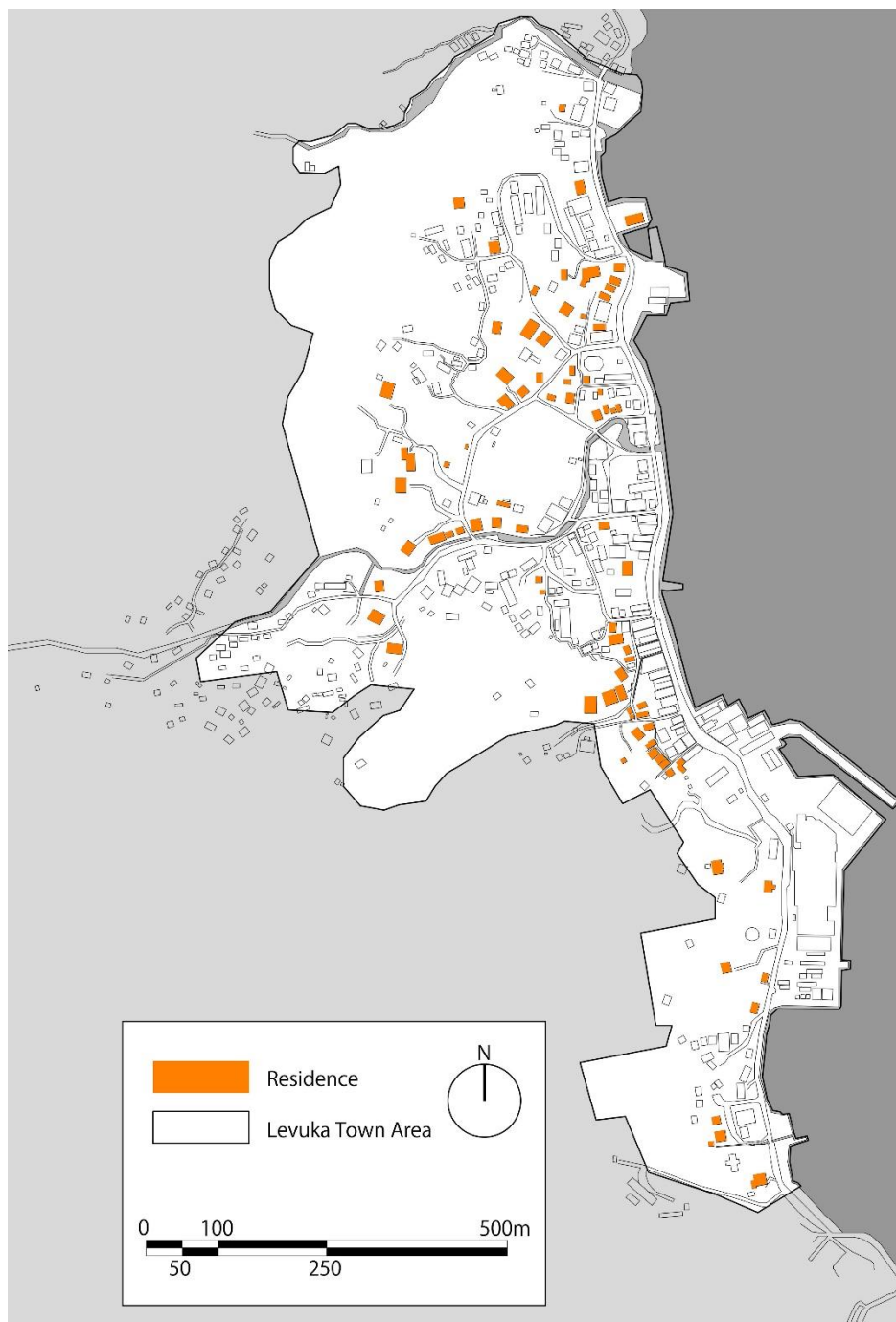


Fig.3-1. Levuka Town, Republic of Fiji





|      |                                   |      |      |                |       |       |    |    |     |       |      |   |
|------|-----------------------------------|------|------|----------------|-------|-------|----|----|-----|-------|------|---|
| mn14 | Mrs. Robinson's Residence         | Wood | ハンガロ | 1870年代以降:HR    | 四方型   | 3     | 別棟 | 別棟 | 四方型 | 3     | (4)  |   |
| mn15 | Mr. Robert Patterson's Residence  | Wood | ハンガロ | 1900年頃:HR      | 三方型   | 3     | 接続 | 接続 | 三方型 | 3     | (2A) | ○ |
| mn16 | Anthony Sahai                     | Wood | ハンガロ | 1949年以前:古写真    | 前     | 2     | 別棟 | 別棟 | 前   | 2     | (3)  |   |
| mn17 | BOBBY WILLIAMS                    | Wood | ハンガロ | 1900年以前:HR     | 前     | 2     | 接続 | 接続 | 前   | 2     | (3)  |   |
| mn18 | Mrs Dora Patterson's Residence    | Wood | ハンガロ | 19世紀:古写真       | 異     | 異     | 室内 | 室内 | 異   | 異     | (3)  |   |
| mn21 | cottage near market(sea)          | Wood | ハンガロ | 1920年頃:HR      | 前     | 2     | 接続 | 接続 | 前   | 2(廊下) | (3)  | ○ |
| mn22 | cottage near market(middle)       | Wood | ハンガロ | 1920年頃:HR      | 前     | 2     | 接続 | 接続 | 前   | 2     | (3)  |   |
| mn23 | cottage near market(hill)         | Wood | ハンガロ | 1920年代:HR      | 前     | 2     | 接続 | 接続 | 前   | 2     | (2A) | ○ |
| mn24 | House opposite The Royal          | Wood | ハンガロ | 1880年代:HR      | 前     | 2(廊下) | ○  | 室内 | 前   | 1     | (3)  | ○ |
| mn25 | VILOMENA BHARI                    | Wood | ハンガロ | (20世紀前期)       | 前     | 異     | 別棟 | 別棟 | 前   | 異     | (3)  |   |
| mn27 | Inohe Dilega                      | Wood | 他    | (20世紀中期)       | 前     | 3     | 室内 | 室内 | 前   | 3     | (3)  | ○ |
| mn28 | Jelame Bogi                       | Wood | ハンガロ | 1967年以前:古写真    | 前     | 2     | 接続 | 接続 | 前   | 2     | (3)  | ○ |
| mn29 | EST. George Bower                 | Wood | ハンガロ | 1949年以前:古写真    | 四方型   | 2     | 接続 | 接続 | 四方型 | 2     | (3)  | ○ |
| mn30 | QRRS 34                           | Wood | 他    | 1967年以前:古写真    | 異     | 異     | ○  | 室内 | 別棟  | 異     | (3)  | ○ |
| mn31 | Vadei houseCottage 7d             | Wood | 他    | 1967年以前:古写真    | 異     | 異     | ○  | 室内 | 別棟  | 異     | (3)  | ○ |
| n01  | George Gibson                     | Wood | ハンガロ | 1949年以前:古写真    | 前     | 異     | 接続 | 接続 | 前   | 2     | (3)  | ○ |
| n02  | Bobby Warbrooke                   | Wood | ハンガロ | 1949年以前:古写真    | 四方型   | 2     | 接続 | 接続 | 四方型 | 2     | (3)  | ○ |
| n03  | EST. Wainigolo                    | Wood | ハンガロ | 1900年頃:HR      | 四方型   | 1     | 接続 | 別棟 | 四方型 | 1     | (3)  | ○ |
| n04  | Willy Wilson's House              | Wood | ハンガロ | 1949年以前:古写真    | 前     | 3     | 別棟 | 別棟 | 前   | 3     | (3)  |   |
| n05  | FEA Mission House                 | Wood | ハンガロ | 1895年以前:古写真    | 四方型   | 2(廊下) | ○  | 接続 | 四方型 | 2(廊下) | (3)  | ○ |
| n06  | Suli's House                      | Wood | ハンガロ | 1895年以前:古写真    | 四方型   | 3     | 接続 | 別棟 | 四方型 | 3     | (2B) | ○ |
| n07  | Josephine Williams                | Wood | ハンガロ | 1895年以前:古写真    | 四方型   | 3     | 接続 | 接続 | 四方型 | 3     | (2A) | ○ |
| n09  | NAVOKA HOUSE                      | Wood | ハンガロ | 1895年以前:古写真    | 前     | 異     | 接続 | 接続 | 前   | 異     | (3)  | ○ |
| n10  | Baptist Mission                   | Wood | ハンガロ | 1895-1921年:古写真 | 三方型   | 2(廊下) | ○  | 接続 | 三方型 | 2(廊下) | (2A) | ○ |
| n11  | Filipe Dinau                      | Wood | ハンガロ | (1910年代)       | 前     | 3     | 接続 | 接続 | 前   | 3     | (2A) | ○ |
| n12  | Crows Nest                        | Wood | ハンガロ | (20世紀前期)       | 前     | 3     | 室内 | 接続 | 前   | 2     | (3)  | ○ |
| n13  | Henry Patterson                   | Wood | ハンガロ | (19世紀後期)       | 三方型   | 2(廊下) |    | 別棟 | 三方型 | 2(廊下) | (3)  | ○ |
| n14  | Delana Primary Teacher's Quarters | Wood | ハンガロ | (20世紀前期)       | 前     | 2     | 接続 | 接続 | 前   | 2     | (3)  | ○ |
| n15  | Mavida Cottage                    | Wood | ハンガロ | (20世紀前期)       | 前     | 2(廊下) | ○  | 別棟 | 前   | 2     | (3)  | ○ |
| n16  | Max Olsen                         | Wood | ハンガロ | (20世紀前期)       | 前     | 2(廊下) | ○  | 接続 | 前   | 2     | (3)  | ○ |
| n17  | Stiveni Uminaceva                 | Wood | ハンガロ | (20世紀前期)       | 異(廊下) | 異(廊下) | ○  | 室内 | 異   | 異     | (3)  | ○ |
| n18  | Former Patterson Family Residence | Wood | ハンガロ | 1872年以降:古写真    | 前     | 異     | ○  | 室内 | 前   | 2(廊下) | (2)  | ○ |
| n20  | Venice Raddock                    | Wood | ハンガロ | 1904年以降:古写真    | 三方型   | 異     | 室内 | 室内 | 三方型 | 1     | (4)  | ○ |
| n22  | Methodist Teachers' Hostel        | Wood | ハンガロ | 1900年頃:HR      | 三方型   | 4     | 接続 | 接続 | 前   | 3     | (2)  | ○ |
| n23  | Mr. Dunkan's House                | Wood | ハンガロ | 1870年代:古写真     | 前     | 3     | 接続 | 別棟 | 前   | 3     | (3)  | ○ |
| n24  | Anglican Vicarage                 | Wood | ハンガロ | (1910年代)       | 三方型   | 3     | 接続 | 接続 | 三方型 | 1     | (1)  | ○ |
| n27  | Nan Borodanu                      | Wood | ハンガロ | (1900年前後)      | 前     | 2(廊下) | ○  | 接続 | 前   | 2(廊下) | (2)  | ○ |

※1

①: 全面ベランダタイプ (Open Veranda Type)

②: 後方周辺室タイプ (Inclosed Back Veranda Type)

③: 片面ベランダ型 (Open side veranda)、B:片側周辺室型 (Open and inclosed Side veranda)、C:側面周辺室型 (Inclosed side veranda)

④: 全面周辺室タイプ (Inclosed Veranda Type)

※2: 詳細不明 (Unknown)

カッコ () 表記は、断定ではないがその可能性が高いものを示す

### 3-1.戸建住居の特徴

レブカの戸建住居は平地から高台にかけ広く分布する。高台の大規模住宅は白人が住んでいたとされ、また平地には労働者のための住居と伝えられる小規模住宅が並ぶ。主要構造は木造79件、コンクリート造2件、石造1件と、木造が9割以上を占め(Table.3-1の②「Material」参照)、またバンガロー型が82件中75件と多数を占める。

Fig.3-2はバンガロー型の戸建住居の平面図と復原図である。バンガロー型の建物は長方形の身舎と周囲の下屋で構成される。

下屋には連続した窓を配し、主に居室として利用している。またバンガロー型は屋根の形状から、身舎の前後に下屋を持つ前後型、身舎の三方向に下屋を回す三方型、身舎の四方に下屋を回す四方型の3つに分けられる(Table.3-1の⑤「下屋の形状」、およびTable.3-2参照)。前後型は小規模のものが多く、最も件数が多い。四方型と三方型は規模が大きく高台を中心に分布しており、富裕層の住宅である。

なお本稿では海もしくは敷地接続道路に面する方向を前方、その反対側を後方と呼称する。

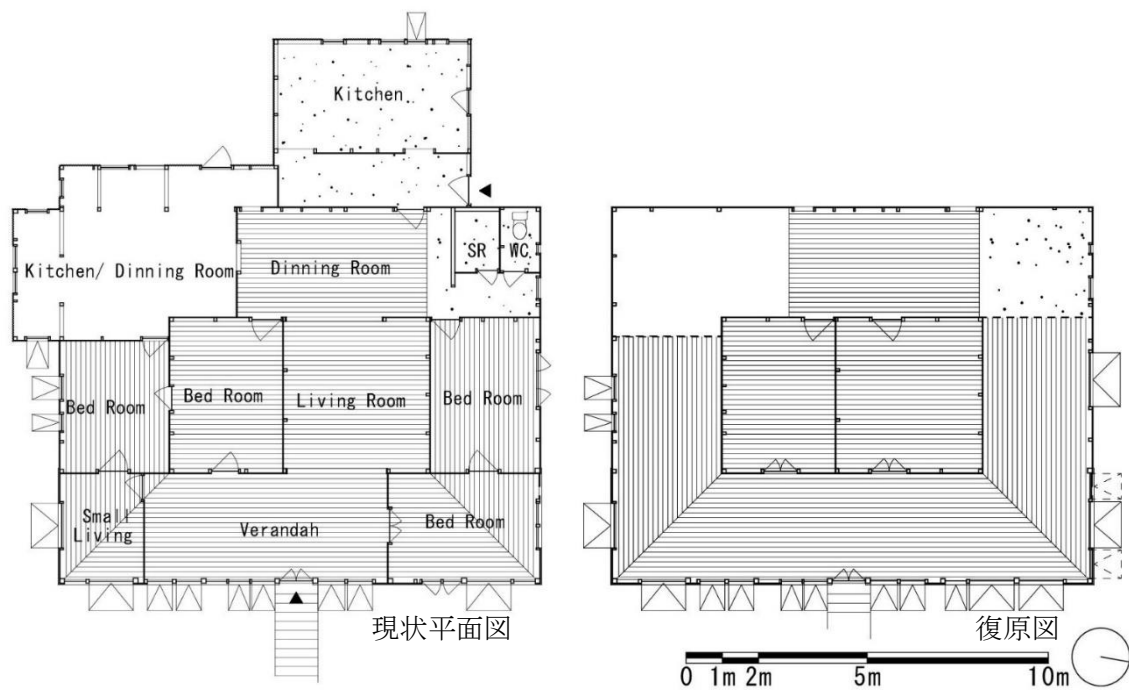
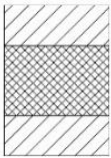
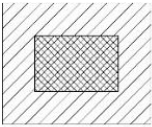
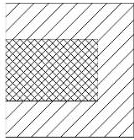


Fig3-2.戸建住居s07の現状平面図と復原図



Fig.3-3. 高台に建つ四方型のバンガロー

Table.3-2 下屋の分類

| 下屋分類 | パターン・形状   | 特徴                                   | 件数   |
|------|---|--------------------------------------|------|
| 前後型  |   | 身舎の前後もしくは片側に下屋がある。<br>下屋は身舎の桁行方向に付く。 | 38 件 |
| 四方型  |  | 身舎の 4 方に下屋が回る。                       | 18 件 |
| 三方型  |  | 身舎の 3 面に連続して下屋がある。<br>切妻、寄棟の両方にみられる。 | 15 件 |

### 3-2. レブカの戸建住居の変遷

2-2-1. 「ベランダについて」で述べたように、レブカのバンガロー型は身舎の周囲のベランダを室内に取り込んで現在の形状になった。またレブカの戸建住居について、作成した現状平面図と復原図から「ベランダの室内化」のほか、「リビングの拡張」「部屋の細分化」「廊下の発生」などの特徴が見られた。

間取の変化について本章では、上記4点についての特徴の考察を行う。

#### 3-2-1. ベランダの室内化

##### (1) 建築当初の形状とバンガロー

周辺室がベランダだった当時は身舎にしか部屋がなく、建物は1室から3室の部屋で構成されていた(注3-1)。当時の利用方法については、リビングと寝室であったと考えられ、現在でも同様の機能をもつ平面構成の小規模住宅がある(Fig3-4)。また1930年にシドニーで発行された住宅カタログにも同様の間取りが見られる(Fig3-5)。

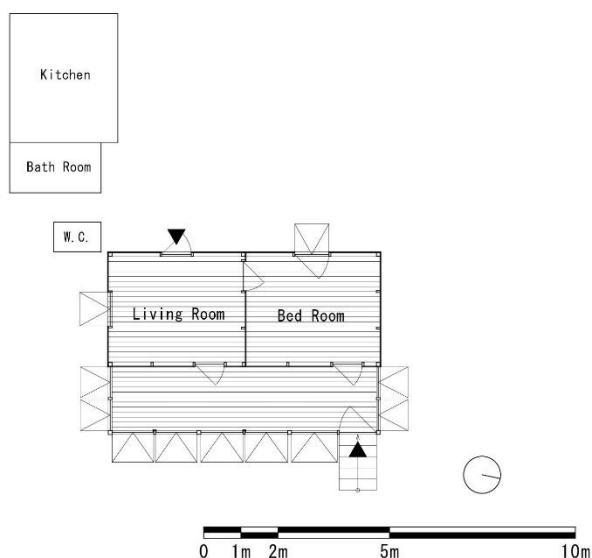


Fig.3-4 s02平面図

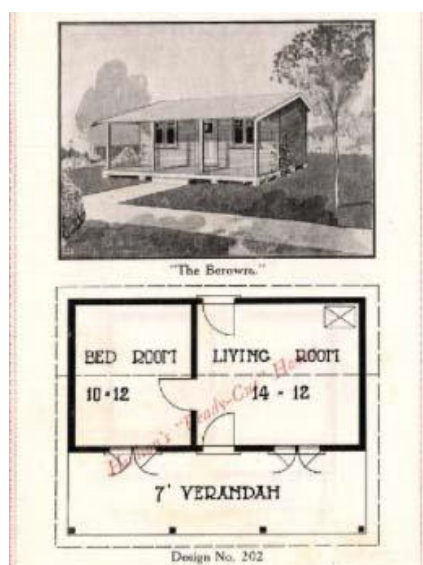


Fig.3-5 住宅カタログに見られる小規模住宅の間取り

また身舎が1室で構成される建物は小規模住宅だけでなく大規模住宅でも見られ、最も広い部屋では70㎡を超える身舎全てを1部屋としている。これはレブカの戸建住居の1室あたりの平均面積である21.8㎡の3倍以上の広さを持つ(Fig.3-6)。一般的な生活には適さない大規模な1室型のバンガローについては、フィジーの原住民の伝統的な住居である『ブレ』との関係が考えられる。

ブレは丸太を縄で繋いだ草葺の住居である(Fig.3-7)。長方形あるいは円形の1室型で、台所と風呂は別棟に設けられる。フィジーは島嶼国家であり各島によって形式はそれぞれ異なるが、古くはポリネシア全土に似た形式の伝統住居が散見される(注3-2)。特に Vale Levu



と呼ばれる首長の家は他のブレに比べ規模が大きく、集落の儀式や接客にも用いられていた(注3-3)。現在の村ではコミュニティハウスや教会にも代用されている。

このことから、身舎1室で構成された大規模住宅はブレを模した接客空間のために大きく作られていたのではないかと推測される。レブカのバンガロー型の住居は主に白人によって使用されていたが、レブカの植民地化は、他の植民地都市と比べると比較的穏やかな譲渡だったとされる(注3-4)。大規模な接客空間は当時の白人たちの居住形式には確認できず、入植した白人たちが現地の風習を踏襲した形でブレの間取を構成したのではないかと推測する。

これらの大規模住宅の1室型は現状では例証が少なく十分に明らかにすることができなかったため、今後の課題としたい。

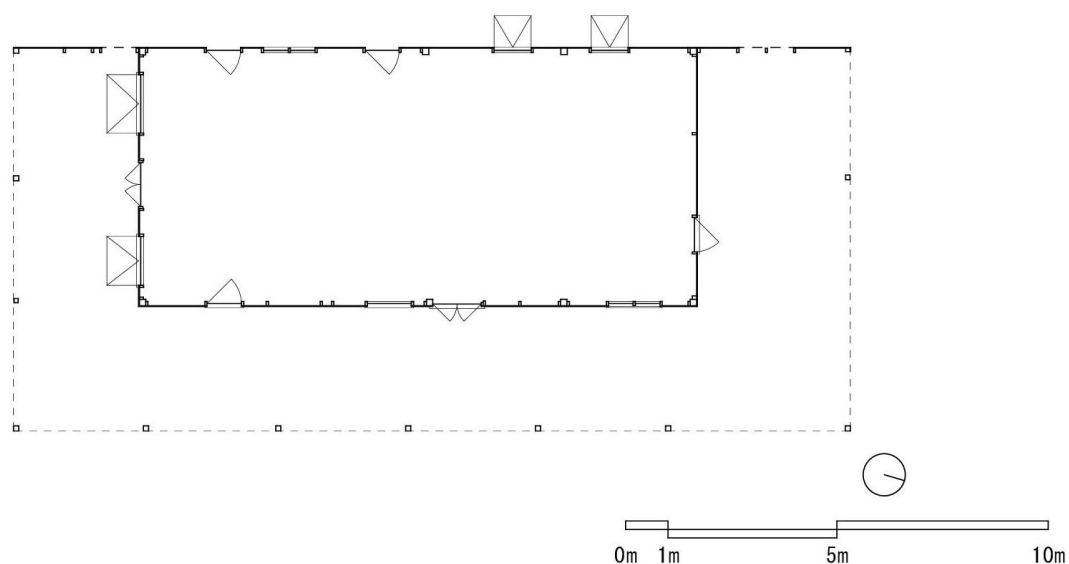


Fig.3-6 n24復原図



Fig.3-7 フィジーの伝統的な住居「ブレ」



(2)ベランダから周辺室への変化について

i. 初期形状からの変遷

復原から、レブカにおける戸建住居は建築当初の下屋の形状により全面ベランダタイプ、後方周辺室タイプ、全面周辺室タイプの3つに分類できる(Table.3-1の⑦「ベランダの形式」参照)。全面ベランダタイプは下屋を全てベランダとし、全面周辺室タイプは全ての下屋を周辺室とする住居である。後方周辺室タイプは後方および側面の下屋を周辺室とし、前方の下屋をベランダとする。さらに下屋四方形における後方周辺室タイプでは、身舎の側面の下屋をベランダとする側面ベランダ型、側面を周辺室とする側面周辺室型、片側側面を周辺室、反対側の側面をベランダとする片側周辺室型に分類される(Table.3-3参照)。

下屋三方型の後方周辺室タイプでも側面ベランダ型と側面周辺室型の2種類に分類できるが、本調査では三方型において側面周辺室型が確認できなかったため、Table.3-3では三方型における後方周辺室タイプは側面ベランダ型のみ記載している

また前方を周辺室とし、且つ後方をベランダとする建物は確認できなかった。

ベランダの形式による分類と年代の関係をTable.3-3に示す。なお建築年代を「Late19C」「Around 1900」「Early 20C」「Middle 20C」とする建物については詳細な建築年代が不明なため、便宜上Late19Cを1890年代、Around 1900を1900年代、Early 19Cを1920年代、Middle 19Cを1940年代の欄に記載した。また初期のベランダの形式が断定できない物件についてはカッコ()内にその数を示した。

Table.3-3 ベランダの形式による分類と年

| 下屋およびベランダの形式            |  |   | 年代    |       |                   |       |       |                    |       |                     |
|-------------------------|--|---|-------|-------|-------------------|-------|-------|--------------------|-------|---------------------|
| 四方形<br>All Around       | 後方周辺室タイプ<br>Inclosed Back Veranda Type | 全面ベランダタイプ<br>Open Veranda Type          | (1)   |       | 1(1)              |       |       |                    |       |                     |
|                         |  | 側面ベランダ型<br>Open side veranda            |       |       | 1                 |       |       |                    |       |                     |
|                         |  | 片側周辺室<br>Open and inclosed Side veranda |       |       | 1                 | (1)   |       | 1                  |       |                     |
|                         |  | 側面周辺室型<br>Inclosed side veranda         |       |       |                   |       |       |                    | 1     |                     |
|                         |  | 全面周辺室タイプ<br>Inclosed Veranda Type       |       |       | 2                 | 1     |       |                    | 1     | 2                   |
| 三方型<br>Three directions |  | 全面ベランダタイプ<br>Open Veranda Type          |       |       |                   |       | 1     |                    |       |                     |
|                         |  | 後方周辺室タイプ<br>Inclosed Veranda Type       |       | 1     | 1                 | 1(1)  | 1     |                    |       |                     |
|                         |  | 全面周辺室タイプ<br>Inclosed Veranda Type       |       |       | 1                 |       |       | 1                  |       |                     |
| 前後型<br>Front and Back   |  | 全面ベランダタイプ<br>Open Veranda Type          |       |       | (1)               |       |       |                    |       |                     |
|                         |  | 後方周辺室タイプ<br>Inclosed Veranda Type       | 1     |       | 4                 | 2     | 1     | (1)                | 1     |                     |
|                         |  | 全面周辺室タイプ<br>Inclosed Veranda Type       |       |       | 7                 | 2     | 1     | 11                 |       | 5                   |
|                         |  |   | 1870s | 1880s | 1890s<br>Late 19C | 1900s | 1910s | 1920s<br>Early 20C | 1930s | 1940s<br>Middle 20C |

全面ベランダタイプは19世紀後期を中心にみられ、後方周辺室タイプは1970年代から20世紀中期にかけて広くみられる。レブカに白人が多く滞在するようになったのは1850年代からとされ、バンガローがもたらされたのもこの頃と考えられる。1860年に書かれたイギリス人の手記(注3-5)に新しく建設する家について「家は木造の草葺きで、周囲にベランダを回す」と述べられていることから、当時の白人達の住居にバンガローが用いられていた事が分かる。

19世紀末から全面周辺室タイプが確認されるようになる一方、全面ベランダタイプは1900年代以降みられなくなる。このことから、19世紀末から下屋が周辺室になる傾向があったと考えられる。

また古写真の分析から、1870年代にはベランダを持つ戸建住居が多く写っているが(Fig3-8)、1921年の写真ではほとんどの建物が前方の下屋を周辺室としていることが分かる(Fig3-9)。痕跡調査による復原から、前方のみ周辺室とする建物や後方のみベランダとする建物が確認できないため、これらの建物は全面周辺室タイプと考えられる。

またTable.3-3において後方周辺室タイプの四方形をみると、側面ベランダ型、片側周辺室型、側面周辺室型の順に年代が下っていることが分かる。例証が少ないため断定には至らないが、ベランダは後方周辺室から室内化されたことが推測される。

以上から、レブカの戸建住居は19世紀後期にはベランダを設ける形式が主流であったが、20世紀初頭にかけてベランダを周辺室にする変化が起こったと考えられる。

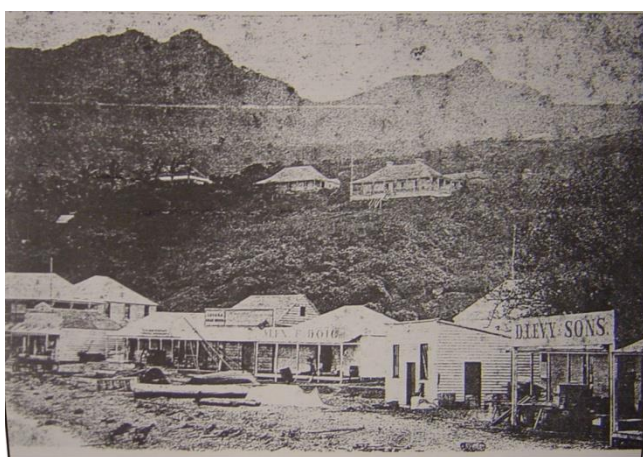


Fig.2-8 1870年代ベランダ



Fig.2-9 1921年下屋の外観

ii. 改造による変遷

全面ベランダタイプ、後方周辺室タイプ、全面周辺室タイプの3種のうち、ベランダを持つバンガローに区分されるのは全面ベランダタイプと後方周辺室タイプである。全面ベランダタイプと後方周辺室タイプの19件は現在すべての建物でベランダを周辺室に変更している(注3-6)。その変化は下記のようなと考えられる。

(i)各建物の変化

全面ベランダタイプ2件のうち、ms27(Fig3-10)を例としてみる。ms27は身舎の四方に下屋を回す四方形で、身舎と前方周辺室をつなげて広い1室とし、周囲の下屋に寝室と台所を配す。また後方周辺室の背面に風呂を設ける。

痕跡調査による復原から、建築当初は身舎に2室を配し、周囲は全てベランダだった(Fig3-11.左図)ことが分かった。その後ベランダを周辺室に変更している(Fig3-11.右図)。現在は中央の壁が撤去され、前方周辺室との間の壁に大きな開口部を設けて1室のリビングとしている。また背面の風呂部分は後の増築である。

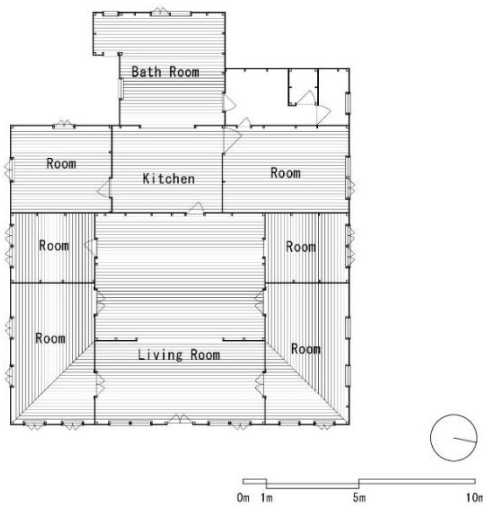


Fig.3-10. ms27現状平面図

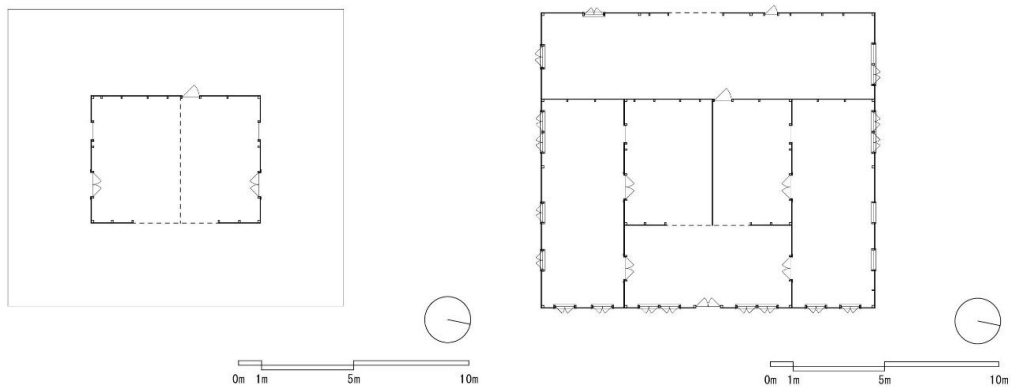


Fig.3-11 ms27第1期復原図(左図)および第2期復原図(右図)

後方周辺室タイプである ms02(Fig3-12)を例として見る。ms02 は身舎の三方向に下屋を回す三方型で、身舎に 2 室を設ける。現在は空家であるため利用方法は不明であるが、後方周辺室には風呂を設け、主屋後方に別棟で設けた台所を屋根で接続している。

痕跡調査から、建築当初は身舎に 2 室を配し、三方向ある下屋のうち後方を周辺室、前方と側面の下屋をベランダとしていたことが分かった。後方の台所は増築とし、前方と側面のベランダは周辺室に変更されている。周辺室の内部には壁を設け、小さな部屋に分割されている。

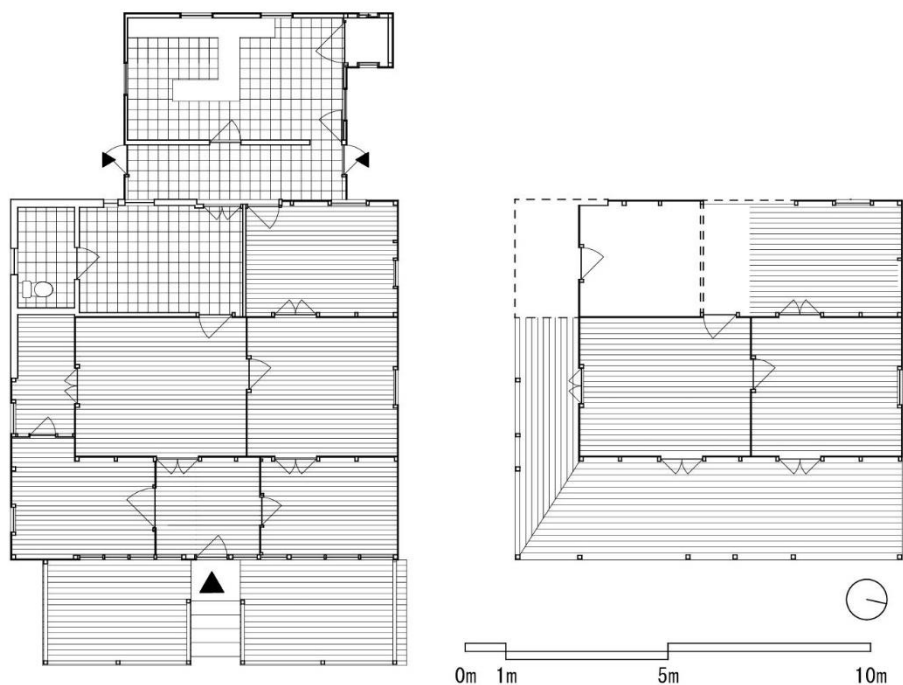


Fig.3-12 ms02平面図と復原図。前方ベランダと後方周辺室

以上の分析から、レブカのバンガローがベランダを室内化して周辺室とする変化が確認され、レブカの現在の戸建住居はバンガローからの発展した形式を持つといえる。また年代から、ベランダは後方から室内化されたと考えられる。

### (3) 前方周辺室と後方周辺室について

前項で、ベランダが後方から室内化された可能性を指摘した。この変化について、後方周辺室と前方周辺室の利用方法に着目して考察する。

前方周辺室はリビングなどの日常の居室としての利用が多く、前方にリビングまたはそれに準ずる部屋(後述)を設ける家は45件である。リビングや寝室等に用いられる周辺室の外壁部分には連続した窓が設けられ、周辺室にはウィンドシャッターと呼ばれる木製の跳ね上げ窓が連続して設けられ(Fig.3-13)、開放的な空間になっている。この跳ね上げ窓は近年ではガラスルーバー窓に変更されている。これは通風と明るさ、眺望を求めた結果と考えられ、前方の周辺室は特に住環境の良さが重視されている事が分かる。

下屋がベランダだった当時の利用方法は現在では不明だが、古写真やレブカ以外の地域に残るベランダの利用方法から、交流や日中の寛ぐための場所、エントランス等に用いられていたと予想される。

古写真にはベランダに椅子やテーブルを並べている姿が写っている。またレブカ以外の村では前方にベランダをもつ住居が比較的多数現存しており、日中は住民がベランダに寝ころびながら寛ぐ姿が見られる(Fig.3-14)。またレブカの戸建住居を見ると、ms03とms04は建築当初、前方の下屋をベランダとし、階段を設けていたことが確認された(Fig.3-16)。この階段は現在は撤去されており、住民は後方の台所から出入している(注3-7)。また前方ベランダを周辺室に変更した後、さらにベランダを増築している家も見られ、住民が日中を過ごす場所として使用している。

このことから前方周辺室はベランダだった当時から日常的に寛ぐための空間として利用されており、雨や風を避けるために室内化されたと考えられる。



Fig.3-13 連続窓



Fig.3-14 ベランダでくつろぐ人々  
Vanua Levu島、Urata村





Fig.3-15 ms04外観写真



Fig.3-16 ms04古写真。表に階段がある  
(1894年に撮影された古写真を拡大)

一方、後方の周辺室は寝室、ダイニング、台所、風呂、トイレなどに用いられている。前方周辺室のように連続した窓を設ける家はms22の1件のみで、前方周辺室に比べて窓が少なく閉鎖的である(Fig.3-17)。これは後方周辺室に台所や風呂などプライベートな空間が多いためと考えられる。

レブカのトイレ、台所は主屋後方に設けられ、その配置から別棟型、接続型、一体型の3種に分類できる(Table.3-1の⑤「トイレ」および「台所」の項を参照)。別棟型は主屋後方に別棟で台所や風呂を設けており、接続型は主屋の後方に下屋を伸ばして台所、風呂等を設ける。一体型は完全に室内に取り込まれた形式である(Fig3-18参照)。

調査の結果、現在一体型の建物は復原すると別棟型だったことが明らかになった。また元々別棟型だった付属屋の間に屋根を設けて接続型にする住居(mn10等)も確認できる。

後方周辺室に連続した窓を設ける ms22(Fig.3-19)は台所と風呂を別棟型とし後方周辺室を居室として使用している。このため、台所やトイレが取り込まれる以前は後方周辺室も居住のための空間で、風呂やトイレが室内に取り込まれる過程で後方周辺室が閉鎖的になったと考えられる(Fig.3-18)。

このことから、風呂や台所は元々は主屋の後方に別棟で建てられており、Fig18のように接続型、一体型へ変化したと考えられる。



Fig.3-17 後方周辺室の台所

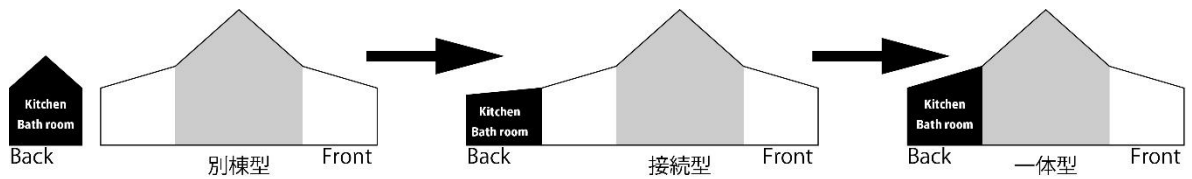


Fig.3-18 後方ベランダの変遷



Fig.3-19 後方周辺室に設けられた連続窓

以上から、レブカの戸建住居はバンガローを起源とし、ベランダを室内に取り込む形で現在の形状になったことが分かった。レブカにバンガローがもたらされた 19 世紀後期は全面ベランダタイプと後方周辺室タイプが混在しており、20 世紀前期頃から全面周辺室タイプが主流になったと考えられる。

### 3-2-2. リビングの拡張

レブカではベランダが周辺室に変化したあと、身舎と周辺室をつなげて1室のリビングとする改造が多く見られ、82件中28件で確認された(Table.3-1の⑦「リビング拡張」参照、Fig3-20、Fig22)。一部の住居では、拡張されたリビングの身舎部分をLiving roomまたはSitting roomと呼び、下屋部分をVerandaと呼んでいる(Fig3-20)。

リビングは居間または客間の機能を持つ部屋で、家の中で最も大きな部屋である。リビングを拡張している家の多くはこのリビングから各室にアクセスできるようになっており、リビング中心の平面構成となっている。

ベランダが周辺室になると、身舎に設けられた窓や扉から得られる風や光が減少し、身舎の室内環境は悪化する。このため身舎のLiving roomまたはSitting roomと周辺室のVerandaをつなげて大きな部屋を作ることによって採光と通風を確保し、室内環境を向上させたと考える。またVerandaは正面に出入口が設けられ、周辺室により外部から分離された身舎への客の動線を確認する機能をもつと考えられる。

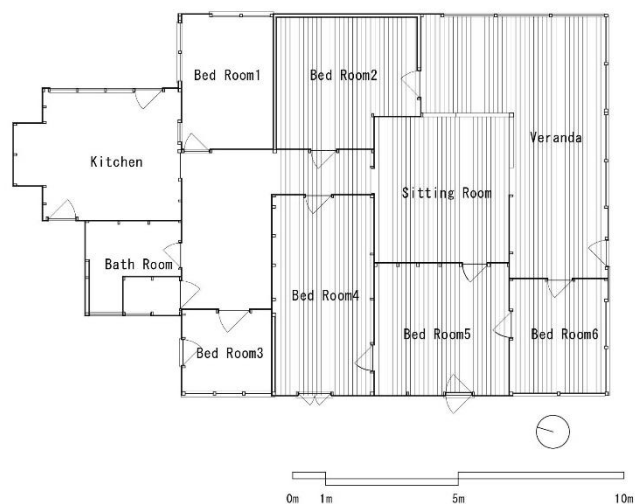


Fig.3-20 リビングとして利用されるベランダ



Fig.3-21 リビングとして利用されるベランダ



Fig.3-22 身舎と周辺室の間に設けられた開口部

### 3-2-3. 部屋の細分化

#### (1)下屋の細分化

痕跡調査及び作成した復原図の分析から、ベランダから周辺室に変化した初期の頃は周辺室も広い1室だったことが分かった(mn13、Fig.3-23)。このことから、部屋を増やすために周辺室にしたのではなく、周辺室になってから部屋が増えていることが分かる。

現在は3-2-1.「ベランダの室内化」で述べたように、周辺室はリビング、寝室、ダイニング、風呂、台所など様々な用途に用いられており、これらの用途に対応するため小さな部屋に区切られている。特に寝室が増えていることが確認され、下屋の細分化は居住人数の増加に対応した変化であったと考えられる。

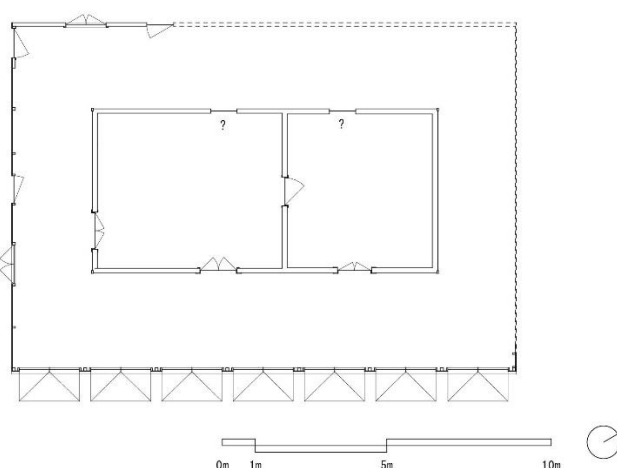


Fig.3-23 mn13復原図

#### (2)身舎の細分化

戸建住居の身舎はリビング、寝室、廊下に用いられており、風呂や台所といった利用方法は見られない。これは元々周囲が開放されたベランダだった時には部屋が身舎にしかなく、風呂や台所が別棟であったためと考えられる。

戸建住居では下屋だけでなく、身舎にも新しい壁を設けて部屋数を増やしている建物が見られる。前述したように、後から増築された壁はFig.3-24のように天井まで施工されず上部が空いている。

増やされた部屋は「3-2-2.リビングの拡張」のように周辺室とつなげてリビングとしたり、あるいは再び撤去される場合もある。一部では部屋ではなく廊下を作る家も見られる。廊下については次項目で述べる。

また、レブカでは一つの建物を2世帯以上の家族が利用する場合が複数見られる(Fig.3-25)。戸建住居では、1棟の建物を2世帯以上に貸す住居が12件確認できた。このことから、間取りの変化は生活の変化だけでなく利用者の変化によっても発生していることが分かる。

レブカの戸建住居は所有者が居住する家と、所有者が第三者に貸す家があり、所有者が居住する場合は家族が増えた等の理由で寝室を増やすが、賃貸住宅の場合はより多くの人に

貸すために部屋を細分化する。これらの賃貸物件の利用者はレブカの南にある缶詰工場の労働者、学校の教員、教会関係者などで、オバラウ島外からの人が多い。

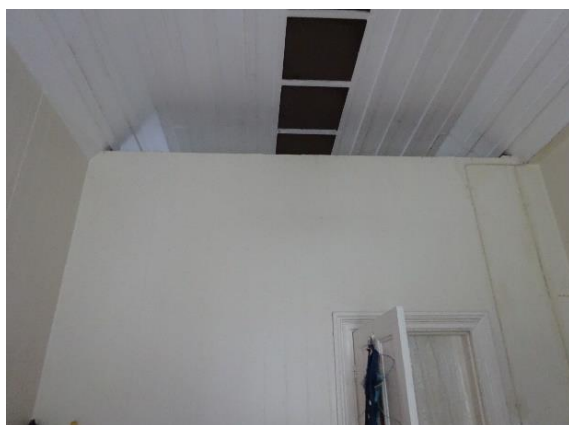


Fig.3-24 増築された壁

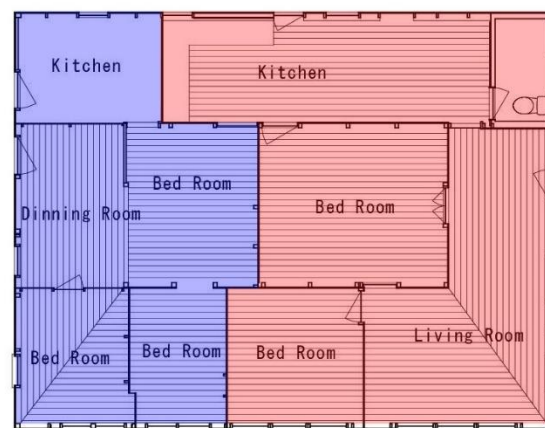


Fig.3-25 2世帯住宅に改造された  
四方形

さらに、レブカの大規模住宅の一部では、建具を付けないアーチ型の開口部を設けた部屋が確認できる(Fig.3-26、Fig.3-27)。この開口部は身舎に3室を配する家、あるいは2室の中央に廊下を持つ家でのみみられ、北側の部屋と中央の部屋または廊下をつなげて広い1室としている。レブカでは8件確認された(Table.3-1の⑥「連続客間」)。

この広い1室について、オーストラリアなどバンガローが普及していた他の地域の住居から、建築当時はリビングやダイニング等の接客空間として用いられていたと推測される(注3-8)。Fig3-28はオーストラリアで発行された住宅カタログで、ダイニングと居間(Sitting Room)の間に”Arch”と表記された開口部が記載されており、同様の形式を持っていたと考えられる。

また復原した建物の平面構成から、この部屋を持つ8件のうち5件が前方の下屋をベランダとしており、アーチ型の開口部を設けた部屋はベランダから直接出入りできる部屋であったことが分かった。またこの連続した2室は家の中で最も広い部屋で「外部から直接出入りできる最も広い部屋」という現在のリビングの特徴と一致する。

以上の2点から、このアーチ型の開口部を設けた連続した2室はリビングであったと考えられる。本稿では他のリビング等と区別するため、この形式をもつ部屋を連続客間と呼称する。連続客間を持つ8件のうち5件が19世紀後期の建築のため、連続客間は19世紀後期を中心に1900年前後まで用いられていたと考えられる。四方形や三方型など大規模な建物で多く用いられていることから、連続客間は19世紀の富裕層の住宅で多く用いられた形式と言える。オーストラリアにも見られる形式であることから、元々はイギリスからの文化であると考えられる。

現在の連続客間は開口部を塞いで2室に分けられ、多くは寝室として用いられている。





Fig.3-26 ms11の身舎に設けられたアーチ型の開口部。  
現在は閉鎖されている

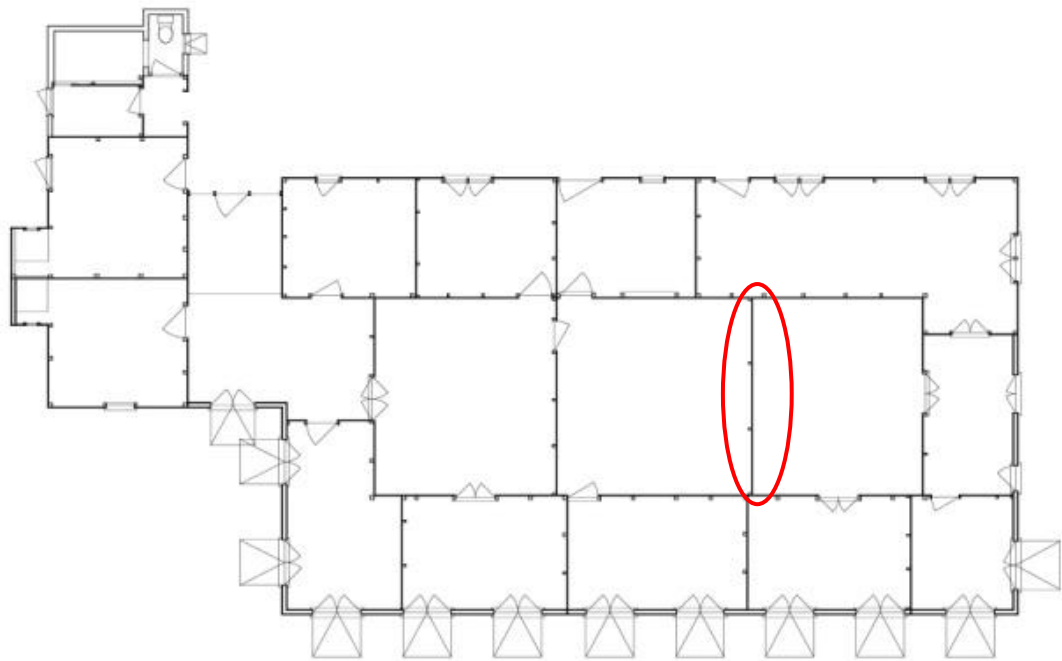


Fig.3-27 ms11平面図。枠部分がFig.3-26の開口部

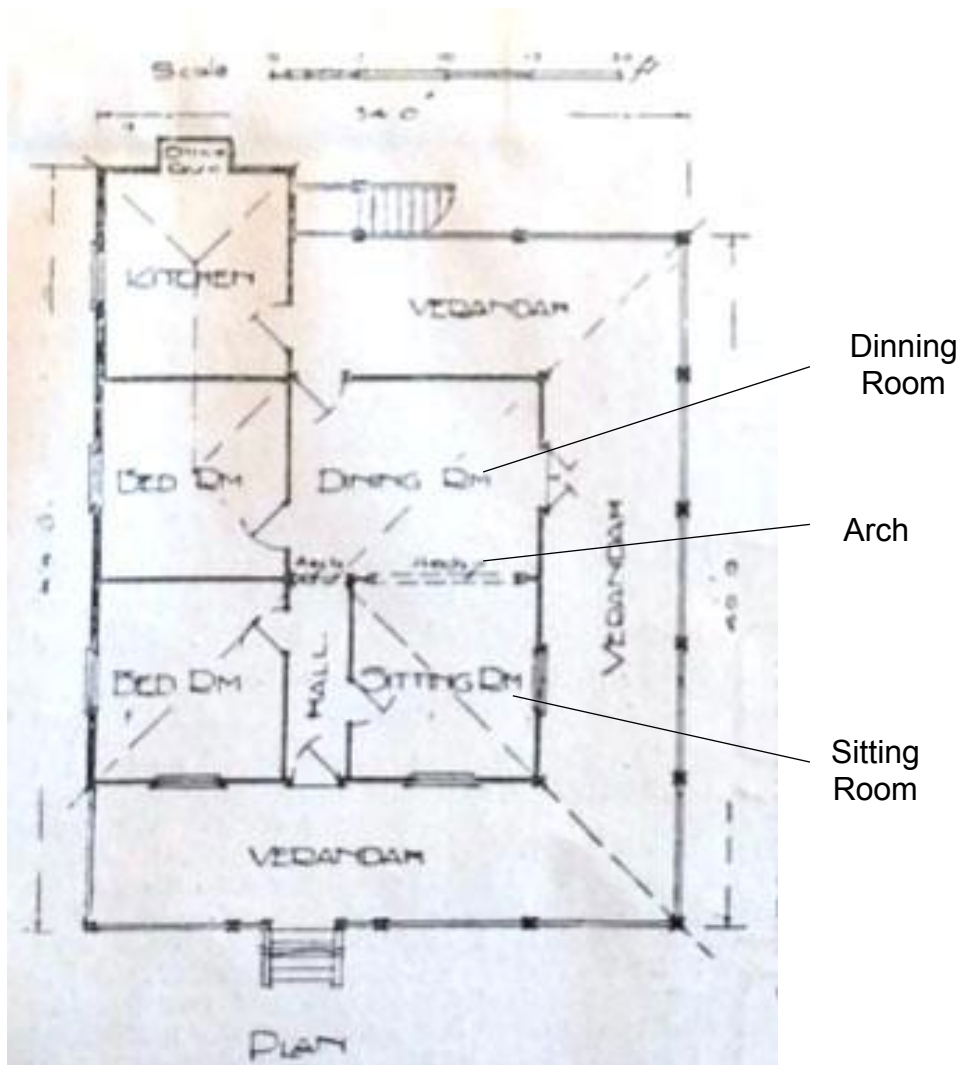


Fig.3-28 1918年のオーストラリアの住居

以上から、レブカの戸建住居における部屋の細分化について以下の事が言える。

レブカの戸建住居は元々ベランダだった下屋を室内化し、その後目的に応じて部屋を増やしていった。また古い大規模住宅では連続客間が身舎に設けられていたが、現在は間に壁を設けて2室とし建築当時の使い方をされていない。これは接客空間が下屋に設けられたリビングに移ったためと考えられる。

細分化によって増えた部屋の多くが寝室であることから、居住人数が増加していることが予想される。レブカでは賃貸として利用される建物も多く、2世帯以上が生活できるように改造されている建物が見られる。

#### 3-2-4. 廊下の発生

戸建住居では身舎に廊下を設ける家が18件確認された(Table.3-1の⑤「廊下」参照)。クイーンズランドで発行された住宅カタログには「Passage」ではなく「Hall」と記載されている建物もあり(注3-9、Fig3-28)、一部では玄関の役割も持っていたと推測される。

廊下を持つ18件のうち、復原から建築当初に廊下をもつ建物が7件確認された(Table.3-1の⑤「廊下」参照)。また、建築当初は廊下を設けていたが、現在は撤去された建物が1件ある。年代をみると、建築当初に廊下をもっていた8件のうち5件が19世紀後期に建てられていることが確認された。このため、レブカでは19世紀後期には廊下が用いられていたことが分かる。

一方、廊下を持つ18件のうち10件は廊下を後の増築とする。さらに、建築当初に廊下をもっておらず、後の改造で廊下を増築した後、さらにその後廊下を撤去した建物が2件確認された。これらの建築当初に廊下をもたず後の改造により廊下を増築した12件の建築年代をみると、12件中9件が20世紀前期の建築である。このことから、廊下が増築されたのは主に20世紀前期以降であると考えられる。

19世紀後期の廊下について、建築当初から廊下をもつ18は1872年の古写真にみられ、レブカに現存する最も古い戸建住居の一つである。またこの時期の廊下は新築物件のみに確認され、増築は見られない。このためレブカにおける廊下の形式は現地で発生したものではなく、外部の形式をそのまま持ち込んだ形式である可能性が高い。

さらに19世紀後期に既に成立していた廊下が20世紀前期以降に増築されていることから、レブカでは20世紀前期以降に廊下の需要が高まっていたと推測される。3-2-2. 「部屋の細分化」の項にて、戸建住居では建築当初よりも居住人数が増えている可能性を指摘した。このことから20世紀前期以降に廊下が普及した理由について、居住人数と部屋数の増加により、プライバシーとそのための動線を確保するためと推測される。

一方、廊下を撤去している家が3件確認される。これは3-2-2. 「リビングの拡張」で述べたように、現在はリビング中心の平面構成となったことで、廊下の必要性が減少したためと考えられる。

以上のように、レブカの廊下は19世紀後期に外部から持ち込まれた形式で、20世紀中期に居住人数の増加と共に需要が高まったが、現在はリビング中心の生活へ変化したためその必要性が減少したと考えられる。

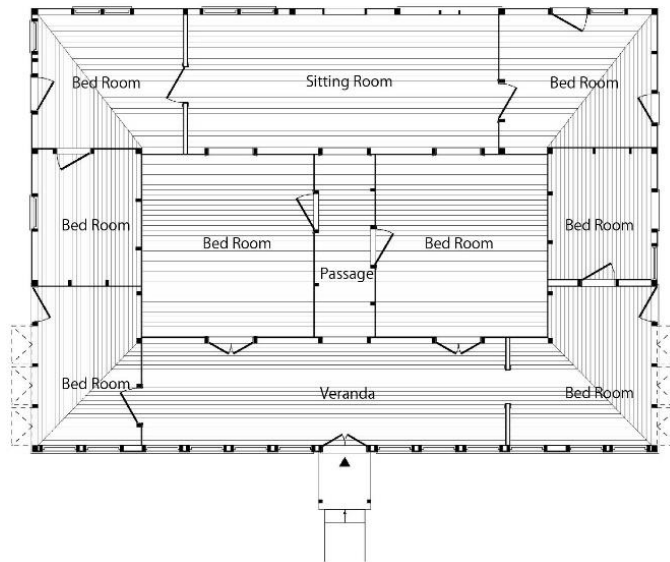


Fig.3-29 建築当初からの廊下

以上の結果から得られたレブカの戸建住居の変遷について下記のようにまとめる。

レブカの戸建住居はバンガロー型で、19世紀には開放されたベランダを持っていた。後方のベランダは比較的初期から室内化され、台所や風呂などを設ける。身舎にはリビングや寝室が置かれ、富裕層の住居では連続客間などの広い部屋が設けられていた。

19世紀末から20世紀初頭にかけて前方のベランダが室内化されると、周辺室によって身舎の採光と通風が得られなくなる。このため寝室を周辺室に移動し、リビングを周辺室に拡張して通風と採光の問題を解決した。また室内化された周辺室には寝室が増えており、居住人数の増加があったと推測される。

部屋の増加と居住人数の増加に伴い、部屋のプライバシーと動線のために廊下が増築されたが、現在では拡張されたリビングがその役割を担うため、廊下が衰退している。

### 3-3.戸建住居における特徴と変遷

以上から、レブカに残る歴史的建造物の戸建住居について以下の結果が得られた。

レブカの戸建住居はバンガローの形式を持ち、19世紀までは広いベランダを持っていた。ベランダは後方から室内化されたと考えられ、19世紀末から20世紀初頭にかけて前方のベランダも周辺室に変更された。

後方の下屋は元々別棟であった台所や風呂などの設備を取り込む形で室内化されたため、前方周辺室に比べ窓が少なく閉鎖的である。また前方周辺室はリビングや寝室などの居室に用いられ、連続した窓を配し、通風や採光など住環境の良さが重視されている。

周辺室がベランダだった当時は身舎に寝室やリビングがあり、大規模な住宅では連続客間などの接客空間も備えていた。また、一部では白人たちがフィジーの文化を踏襲していると考えられる1室型の接客空間を持つ家もあり、当時の人々がブレの形式を採用していた可能性がある。

現在はベランダが周辺室になったことで、身舎の通風と採光が減少したため、身舎と周辺室をつなげて広いリビングとしている。リビングが周辺室へ移動したため、連続客間は閉鎖され2室に分けられている。

またベランダが室内化された当初は周辺室は広い1室だったが、現在は細分化され様々な用途に用いられている。特に寝室が増えていることから、建築当初よりも居住人数が増加したことが考えられる。居住人数と部屋数の増加によってプライバシーと動線を確保するために、20世紀前期以降に廊下を増築している。

しかし現在は拡張されたリビングが動線の役割を担っているため、廊下は重視されなくなっている。



注 3-1：現在は改造により部屋数を増やしている

注 3-2：藪内芳彦：『ポリネシア(参考文献 81)』

注 3-3：『*THE FIJIAN WAY OF LIFE*(参考文献 69)』および『*FIJIAN MATERIAL CULTURE*(参考文献 66)』を参照

注 3-4：八百板季穂「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究(参考文献 32)」より

注 3-5：『*Ten Months in the Fiji Islands*(参考文献 57)』参照

注 3-6：n21 など、下屋全てがベランダのまま残っている建物が現存しているが、戸建住居ではないため本章では除外。

注 3-7：フィジーでは日常的な出入りに台所付近の出入り口を用いる習慣があり、またベランダから周辺室になったため前方周辺室がエントランスには不向きとなったことが考えられる。同様に前方周辺室に設けられていた正面出入り口を改造により撤去する家が複数見られた。

注 3-8：「風景画に見る植民地住居と平面・配置構成(参考文献 43)」、「20 世紀初頭のジャワにおけるコロニアル式住宅の特徴の一考察(参考文献 28)」参照。一部住宅ではドローイングルームとも呼ばれる。

注 3-9：『*Hudson's "Ready-Cut" homes*(参考文献 64)』および『*AT HOME IN FIJI*(参考文献 79)』参照

# 第4章

## 町家建築について

#### 4. 町家建築

レブカに残る歴史的建造物のうち町家建築に分類される建物は、倉庫、店舗、住居に用いられる複合的な機能を持つ建物で、多くは商業的な用途に用いられる。本研究では映画館などの娯楽施設や宿泊施設は公共建築に分類した。

町家建築の殆どはレブカタウンの海沿いに回るビーチストリートに面しており、細長い形状の敷地を有する。

レブカタウン内のビーチストリートは海沿いに南北に伸びており、建物は南部の港周辺を除き殆どが道の西側に東面して建つ。ビーチストリートの東側は樹木や広場等が設けられ、土曜日には市場が開かれている。

ビーチストリートに面する商店は道側に約2mの店下を設け、連続した通路を形成している。2階建の建物では2階部分を道側に張り出し通路としている。また店下を持たない倉庫などもある。店舗の道側にはガラス製のショーウィンドウを設け、夜間は防犯のために木製の扉で施錠する。店下の上方には木製のパラペットを設け、店の看板等に用いている。また歩廊は台風による破損が大きい柱がコンクリートに変更されている建物が確認できる。

本研究で対象とする町家建築はTable4-1の35件である。



Fig.4-1 町家建築外観

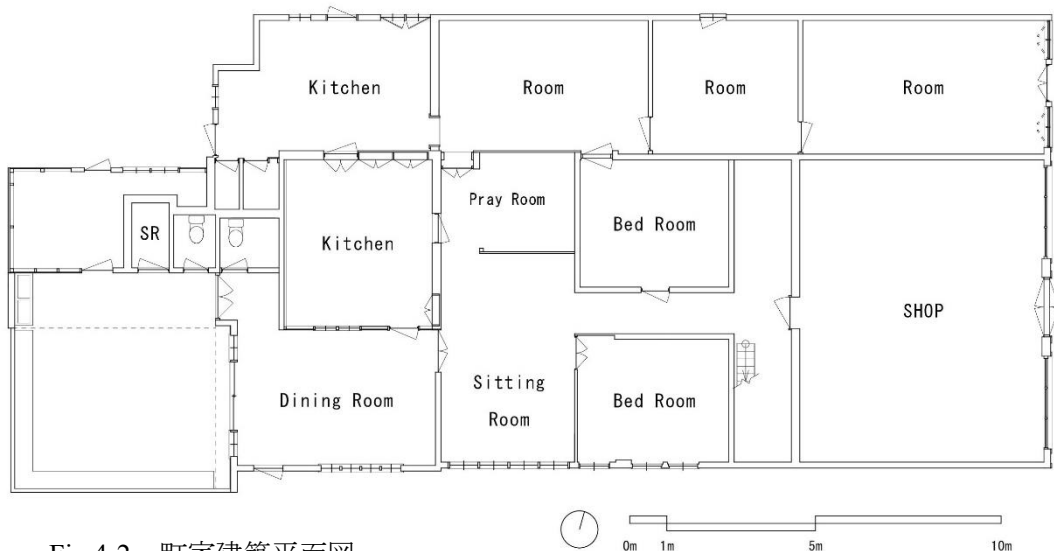


Fig.4-2 町家建築平面図

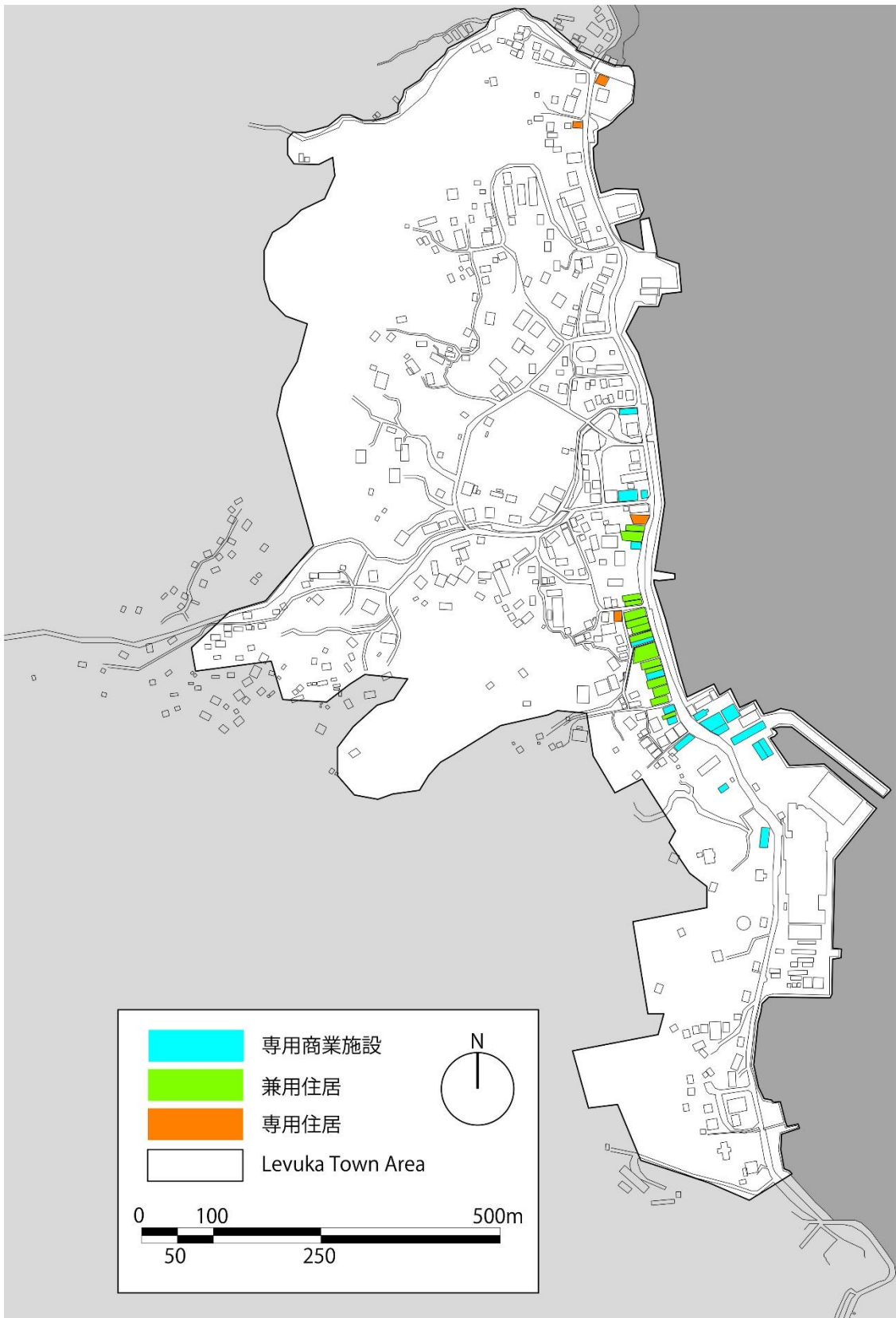


Fig.4-3 町家建築 配置図および用途別分類

Table4-1 町家建築一覽

| No.  | name  | Material | 年代           | ④ 現狀 |      |             | ⑤ 復原形式 |          |
|------|---|----------|--------------|------|------|-------------|--------|----------|
|      |   |          |              | 用途   | 屋根分類 | 階数<br>主屋 付屋 | 入口     | 用途       |
| s10  | Old Mobil Station                           | Wood     | 1960年代:様式から  | ①    | D    | 1           | 妻/平    |          |
| s11  | PAPCO old storage                           | Wood     | 1962:箇名取り    | ①    | D    | 1           | 妻      |          |
| s12  | FUJI PORT CORPORATION (HM HOMEMAKER)        | Wood     | 1920年:HR     | ①    | D    | 1           | 妻      | 倉庫型      |
| s14  | BEN NAIDU (OT&F)                            | RC       | 1950年代:HR    | ①    | C    | 2           | 妻/平    |          |
| s15  | LEVUKA COMMUNITY CENTER                     | RC       | 1868年:HR     | ①    | A    | 1           | 妻      | 一室型      |
| s16  | Strethouse                                  | RC       | 1868年?:HR    | ①    | D    | 中2階         | 妻      |          |
| s16  | NATIONAL TRUST OF FIJI                      | Wood     | 1868年?:HR    | ①    | A    | 2           | 妻      | 二階建型     |
| b01  | LEVUKA SERVICE STATION                      | RC       | 1900年以降:HR   | ①    | D    | 中2階         | 妻      |          |
| b06  | Morris Hedstrom SUPERMARKET (Supreme Store) | RC       | 1900年以降:HR   | ①    | A    | 中2階         | 妻      |          |
| b07  | LEVUKA AMUSEMENT CENTRE                     | RC       | 1900年以降:HR   | ①    | B    | 1?          | 妻/平    |          |
| b08  | KANG LEE STORE & BAKERY                     | RC       | 1960年初頭:HR   | ②    | C    | 2           | 平      |          |
| b09  | LOMAVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK   | RC       | 20世紀中期:HR    | ①    | A    | 2           | 妻      | 他        |
| b10  | Gulabdas & Sons Store                       | RC       | 1900年以前:HR   | ②    | B    | 中2階         | 妻      | ① 小規模一室型 |
| b11  | Courts Supermaket                           | RC       | 1960年初頭:HR   | ②    | C    | 2           | 平      | ② 他      |
| b12  | R. K. SINGH STORE                           | Wood     | 1900年以降:HR   | ②    | C    | 1           | 平      |          |
| b13  | Kim's Restaurant                            | RC       | 20世紀初頭:HR    | ①    | A    | 2           | 妻      | ① 二階建型   |
| b14  | R. Damodar & Sons                           | Wood     | 1900年以降:HR   | ②    | A    | 1           | 妻      |          |
| b15  | Vallabh & Sons                              | Wood     | 1900年以降:HR   | ②    | B    | 中2階         | 妻      | ② 小規模一室型 |
| b16  | KISHORE INVESTMENTS LTD                     | Wood     | 1900年以降:HR   | ②    | B    | 1           | 妻      |          |
| b17  | Whale's Tale Restaurant                     | Wood     | 1870年代?:古写真  | ①    | A    | 1           | 妻      | ① 小規模一室型 |
| b18  | Narsey & Sons                               | Wood     | 1870年代?:古写真  | ②    | A    | 2           | 妻      |          |
| b19  | S.A. Kishore & Sons                         | Wood     | 1900年以前?:古写真 | ②    | A    | 中2階         | 妻      | ① 一室型    |
| b19  | Narson                                      | Wood     | 1900年以前?:古写真 | ②    | A    | 1           | 妻      |          |
| b20  | Nelson Supurmarket                          | Wood     | 1900年以前?:古写真 | ②    | B    | 1           | 妻      | ① 小規模一室型 |
| b20  | LOMAVITI STUDIO                             | Wood     | 1900年以前?:古写真 | ②    | B    | 2           | 妻      |          |
| b21  | Seaside Restaurant                          | RC       | 1900年以前?:古写真 | ②    | B    | 2           | 妻      |          |
| b22  | PREM SINGH                                  | Wood     | 1900年以降:HR   | ②    | A    | 1           | 妻      | ① 二階建型   |
| b22  | SAINIMERE CIKAMATANA                        | RC       | 1930年代以降:HR  | ②    | B    | 1           | 妻      |          |
| b23  | Ivan Bakery                                 | BLOCK    | 1860年代?:HR   | ②    | A    | 1           | 妻      | ① 他      |
| b27  | Sing Mar Bakery                             | BLOCK    | 1860年代?:HR   | ①    | A    | 中2階         | 妻      |          |
| b28  | Ambalal & Co Shoe Shop                      | Wood     | 1881年?:HR    | ②    | A    | 中2階         | 妻      | ① 小規模一室型 |
| b28  | Ambalal & Co General Store                  | RC       | 1881年?:HR    | ②    | A    | 1           | 妻      | ① 小規模一室型 |
| b29  | Katundrau Store                             | Wood     | 1920年代以降:HR  | SH   | A    | 2           | 妻      | ① 小規模一室型 |
| b30  | JHON LEE                                    | RC       | 1900年以降:HR   | ③    | A    | 中2階         | 妻      |          |
| b32  | Ministry of Primary Industry                | RC       | 第2次世界大戦以降:HR | ①    | C    | 2           | 妻/平    | ① 他      |
| b33  | TakiMai Factory                             | RC       | 1890年以降:HR   | ①    | D    | 1           | 妻      | ① 倉庫型    |
| ms18 | Narayan Homestead                           | Wood     | 1900年以降:HR   | ③    | A    | 1           | 妻      | ② 他      |
| mn20 | Patterson Bros Office                       | Wood     | 1900年頃:HR    | ①    | A    | 1           | 妻      | ① 小規模一室型 |
| n26  | Naidu's Store                               | RC       | 1957年:HR     | ③    | C    | 2           | 平      | ② 他      |
| n28  | Len Wong Bakery                             | Wood     | 1920年代:HR    | ③    | B    | 1           | 妻      | ① 小規模一室型 |

※ ①: 専用商業施設 ②: 兼用住居 ③: 専用住居



#### 4-1. 形状による分類、考察

町家建築は大きく2つの部分に大別する事が出来る。道側に面した主屋部分と、その周囲に配される付属屋部分である。

主屋部分の多くは木造平屋建の切妻造とし、主として妻入とする。町家建築35件のうち平入は6件のみで、いずれも片流れであった。6件中5件が1950年以降の建築とされることから、レブカでは片流れの町家建築は比較的新しい形式と言える。

町家建築は屋根形状から以下の4種類に分類できる(Table4-1.および Table4-2.参照)。





- Aタイプ：主屋を切妻もしくは寄棟とし、妻入りで道側に店下を持つ。主屋の後方に付属屋を配す。35件中18件で確認され、レブカの町家建築で最も一般的な形状である。
- Bタイプ：主屋を切妻もしくは寄棟とし、妻入りで道側に店下を持つ。主屋の後方と平側に付属屋を配す。35件中7件で確認できる。
- Cタイプ：主屋を片流れとし、平入で道側に店下を持つ。建物の後方には付属屋を配す。35件中6件で確認できる。片流れは比較的新しい形状であり、1件を除いてすべてコンクリート造である。
- Dタイプ：切妻の主屋のみで構成される。倉庫などに多く、付属屋を持たない。35件中6件で確認できる。

##### 4-1-1. タイプ別の現状平面の特徴

町家建築は主にビーチストリート沿いに分布しており、間口平均10m、奥行き平均22mの細長い敷地を持つ。建物は道に面した店舗部分の主屋と、その周囲に増築された住居部分で構成される。殆どの建物は中庭を持たないが、兼用住居の一部では後方に水回りのためのバックヤードを設ける。

本項では分類した屋根形状のタイプ別の変化について述べる。

Table4-2. 町家建築の分類

|             |     |      |  |  |   |
|-------------|-----|------|--|--|---|
| 店<br>下<br>型 | 妻入  | 下屋なし | 18   |    | A |
|             |     | 下屋あり | 7  |    | B |
|             | 片流れ | 4    |  | C  |   |
| 切妻型         |     |      | 6  |  | D |

### (1)Aタイプ

分類したAタイプは主屋規模を梁間平均8.3m桁行平均15.7mとし、切妻造または寄棟造の妻入りとする。主屋の後方には西下りの片流れを設ける。主に商業施設として用いられ、Aタイプの半数は住居を併設する。道側の主屋部分に店舗、後方の付属屋部分に住居を置く。

主屋は主として平屋建で、Aタイプ18件のうち主屋が2階建のものは4件のみ確認できる(Table4-1.参照)。また主屋が平屋建の建物のうち、主屋後方寄りに中2階を設ける建物が5件見られる。この中2階は主に物置として用いられている。主屋と付属屋に中庭は無く、採光は主として前方のショーウィンドウと出入口から得ている。一部の建物では高窓や天窗を設ける。近年では出入口からの採光が届かない建物後方には蛍光灯を用いている。また2階建の場合、2階部分ではガラス製の窓を設けて採光を得る。

主屋後方の付属屋は住居として用いられる場合が多く、主屋を平屋建とし、付属屋を2階建とする場合もある。後方には風呂や洗濯のためのバックヤードを設ける家が8件確認できた。このバックヤードは複数世帯が共有して用いている場合が見られる。また敷地後方を道路と接している建物ではバックヤードを駐車場として用いていたこともあるが、現在では車を所有している家は見られなかった。

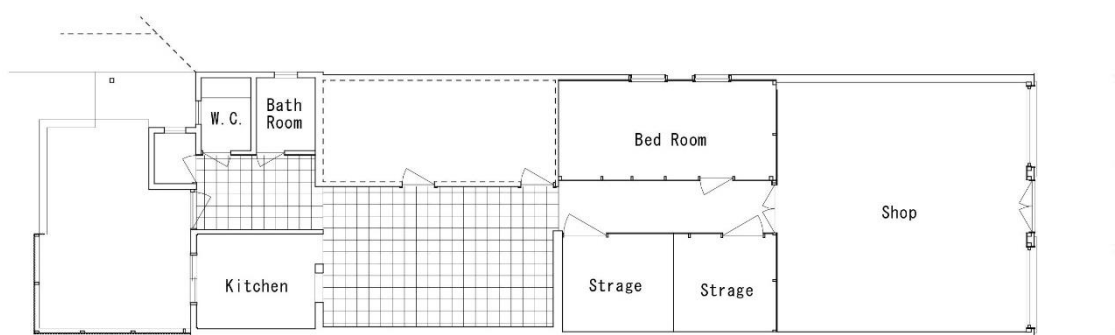


Fig.4-4 町家建築 A タイプ 平面図

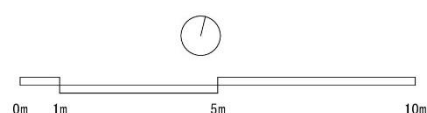


Fig.4-5 Aタイプの平屋建(左)と2階建(右)



Fig.4-6 中2階部分

## (2)Bタイプ

建物は主屋規模を梁間平均9.5m桁行平均11.3mとし、切妻造または寄棟造の妻入りとする。主屋後方と主屋の桁行方向に付属屋を配する。主として住居を併設した商業施設として用いられ、道側の主屋部分に店舗、後方の付属屋部分に住居を置く。また桁行方向の付属屋は各建物によって使用方法が異なり、住居として用いる建物や、主屋とつなげて同一の店舗とする建物、主屋と付属屋で利用者が異なる建物が見られた。

Bタイプの主屋はAタイプとほぼ同じで、主として平屋建とし、Bタイプ7件のうち主屋が2階建のものは1件のみである(Table4-1.参照)。また主屋が平屋建の建物の中で中2階を設ける建物が2件見られる。採光は前方のショーウィンドウと出入口からの光を主とし、一部の建物では高窓や天窓、蛍光灯を用いている。またBタイプでは桁行方向の付属屋の場合、ガラス製の窓を設けて採光を得る場合がある。



Fig.4-7 Bタイプ外観

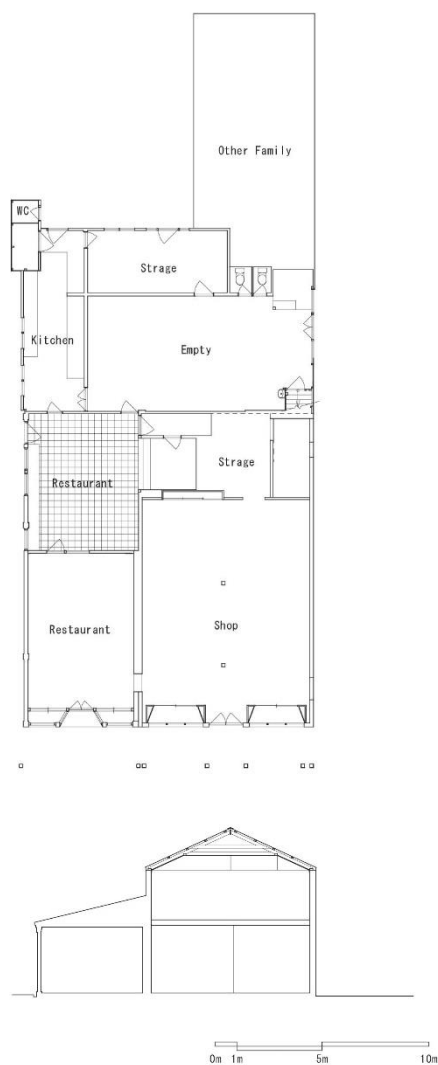


Fig.4-8 Bタイプ 平面図、断面図

### (3)Cタイプ

Cタイプの主屋は梁間平均9.6m桁行平均10.6mとし、片流れの棟を道に平行して建つ。A、Bタイプと同様、主屋の後方に付属屋を設けるが、屋根の方向や形状は一定ではない。Cタイプ6件のうち1件を除いてすべてコンクリート造の2階建である(Table4-1参照)。「2章 構造」から、片流れ型は屋根勾配が非常に緩やかであることが分かっている。このことから、2階建のために屋根勾配を緩やかにし、強風に備えたと考えられる。Cタイプ6件の利用方法はそれぞれ異なり、1階を店舗とし2階を住居として利用する建物や、主屋を店舗または事務所とし付属屋を住居や倉庫として利用する建物、1階と2階で所有者が異なる建物が見られる。

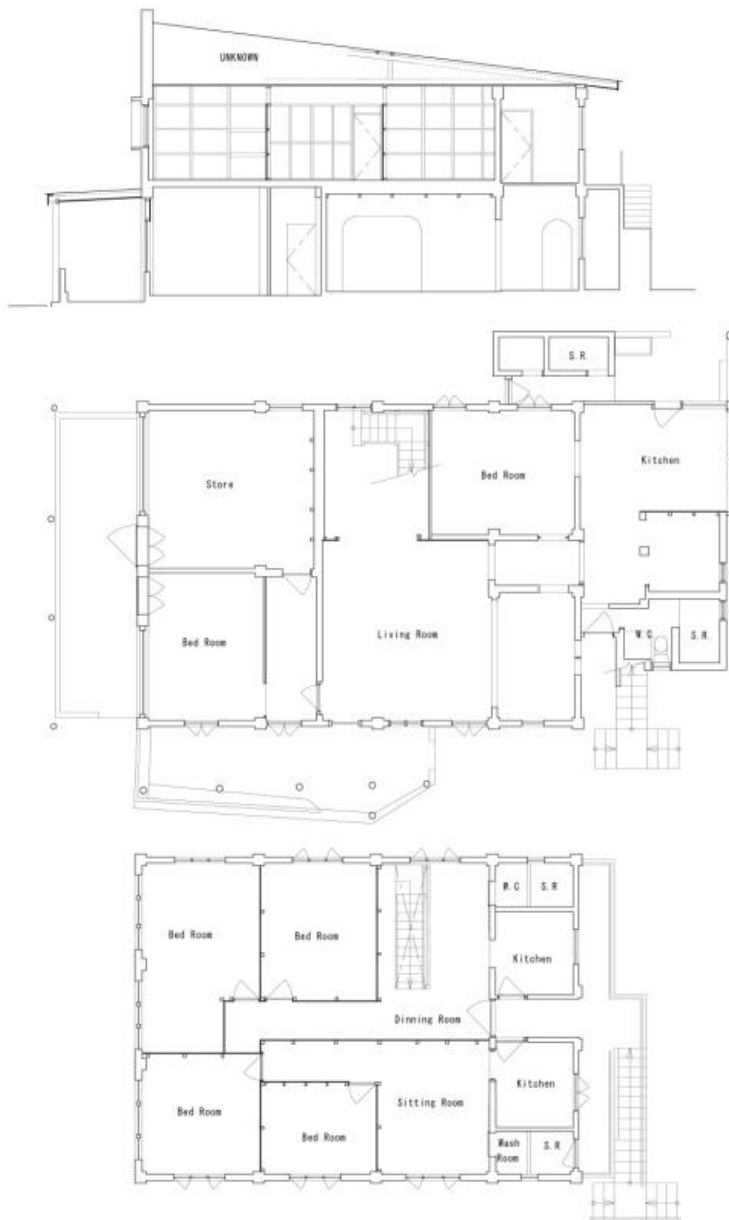


Fig.4-9 町家建築 Cタイプ 平面図、断面図



#### (4)Dタイプ

Dタイプは主屋のみで構成され、梁間平均8.9m、桁行26.7mである。Dタイプ6件のうち、木造3件、コンクリート造3件である(Table4-1.参照)。規模の大きい建物では切妻の屋根を並列に2列もしくは3列に並べる。建物は平屋建てで、トイレや事務室などの小室はあるが、基本的に室内は広い1室とする。

Dタイプは現在様々な用途に用いられているが、住居として用いられている建物はなく、店舗2件、倉庫2件、工場と幼稚園が1件ずつである。

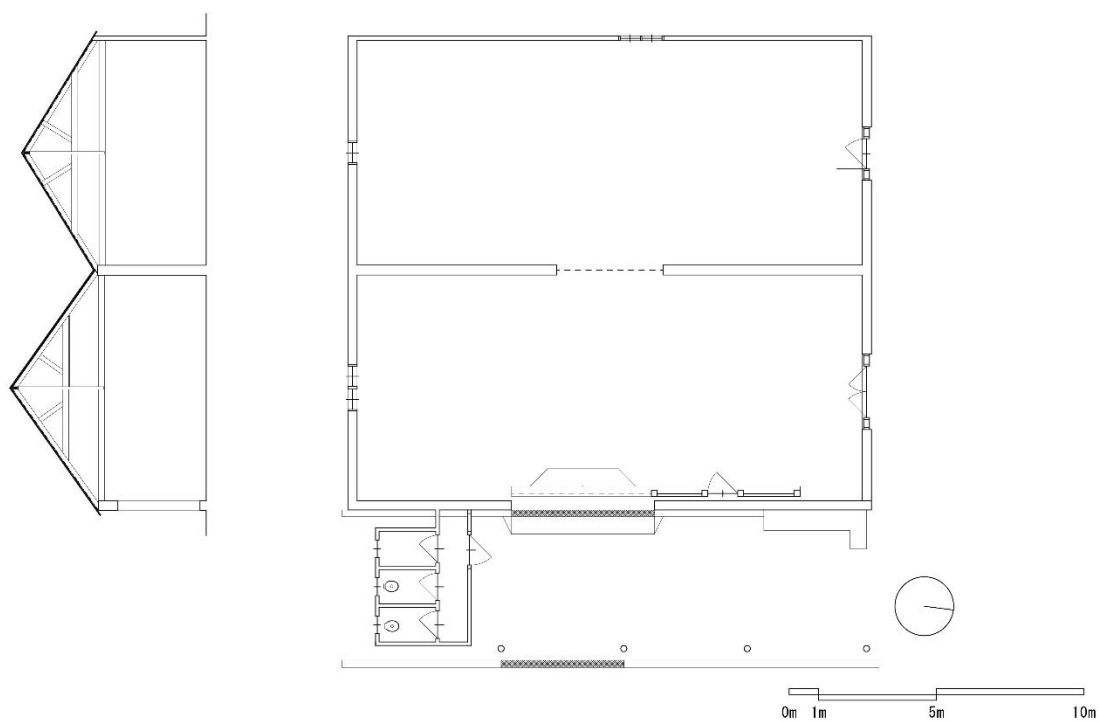


Fig.4-10 町家建築Dタイプ 平面図、断面図

#### 4-1-2. タイプ別の初期形状について

町家建築は増改築が多く、復原については詳細不明のものもある。しかし痕跡調査の結果から、ほとんどの建物が付属屋部分を後補とし、復原すると1室で構成された主屋のみになることが分かった。

##### (1)AタイプおよびBタイプ

Aタイプは建築当初は主屋部分のみで、後方の付属屋部分は増築であることが明らかになった。後方付属屋の改造は複数回行われており、一部では既存の付属屋を撤去してコンクリート造の2階建を新築している。

また痕跡調査の結果からBタイプの建築当初の形式もAタイプと同様、主屋部分のみで構成されていた。



Fig.4-11 Bタイプ後方の付属屋  
コンクリート造の付属屋を増築している



Fig.4-12 Fig.4-11を拡大  
主屋後方の壁面に残るペンキ

Fig.4-13はAタイプの現況平面図と復原平面図である。現況平面図では道路側に平屋建の主屋を設け店舗とし、後方の付属屋を住居や事務所として用いている。南側の建物は主屋西端に中2階を設け倉庫として用いる。

痕跡調査から、建築当初は2棟とも道路側の主屋のみとし、後方の付属屋は後の増築であることが分かった。主屋は間仕切りのない1室で構成されており、住居部分やその他の部屋を持たない。主屋後方に設けられる中2階は使用されている材が比較的新しいため、後の改造と推測される。また別の店舗では天井に設けられたシャンデリアベースを塞ぐように設けられている建物(Fig.4-14)が確認できることから、Aタイプにおける中2階は建築当初からの形式ではないと考えられる。

主屋を2階建とする場合も同様に、主屋部分が建築当初のもので、後方の付属屋を後補とする。Fig.4-15は2階建Aタイプの平面図と復原図で、この建物は後方に付属屋が増築されておらず、比較的当初の形状を保っている。室内の間仕切りは後補で、建築当初は平屋建と同様広い1室で構成されていた。

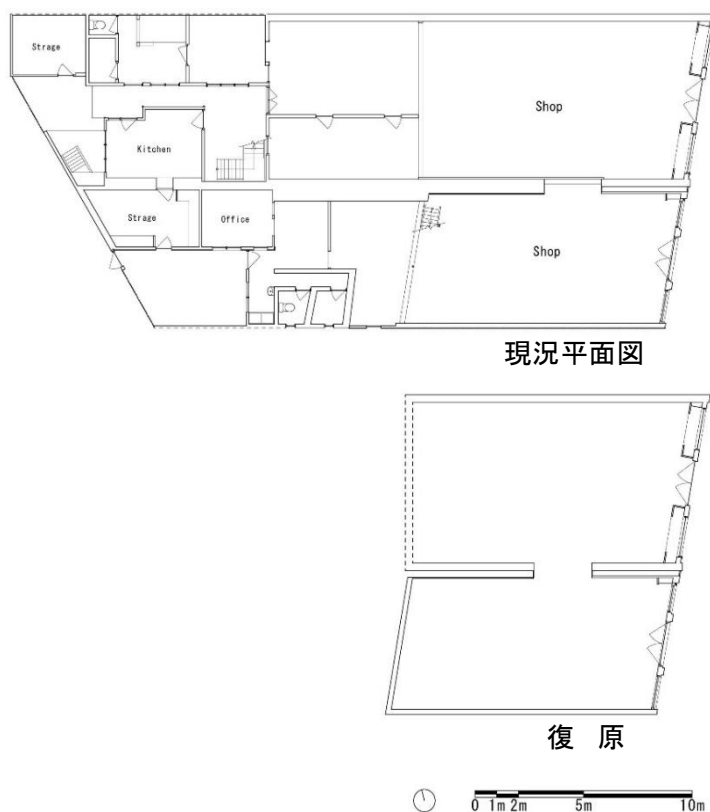


Fig.4-13 町家建築 A タイプ 平面図、復原図



Fig.4-14 中2階で塞がれたシャンデリアベースの痕跡

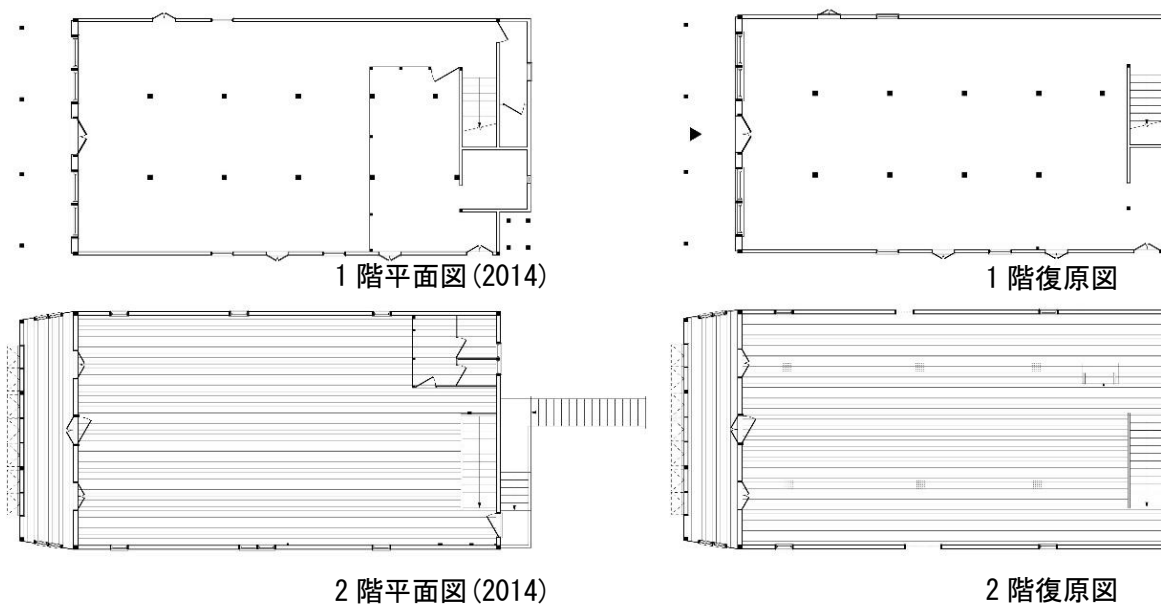


Fig.4-15 Aタイプ2階建 平面図、復原図

また、Bタイプの初期の形状と変遷についてFig.4-16に示す。Fig.4-16はBタイプの現況平面図と復原図である。建築当初は小規模一室型で、その後後方の2階建と桁行方向の付属屋を増築している。聞き取りから、この建物では後方付属屋と桁行側の付属屋の増築はほぼ同時期であると考えられる。さらにその後、主屋と桁行側付属屋の後方に増築を行っている。主屋と下屋は現在別々の家族が所有しており、どちらも道側の部屋を店舗、後方を住居として用いている。

一部では主屋と付属屋の間の壁に窓の痕跡が残る建物も確認できた(Fig.4-17)。またBタイプは主屋を木造とするが、増築された付属屋部分をコンクリート造とする建物が2件見られた。

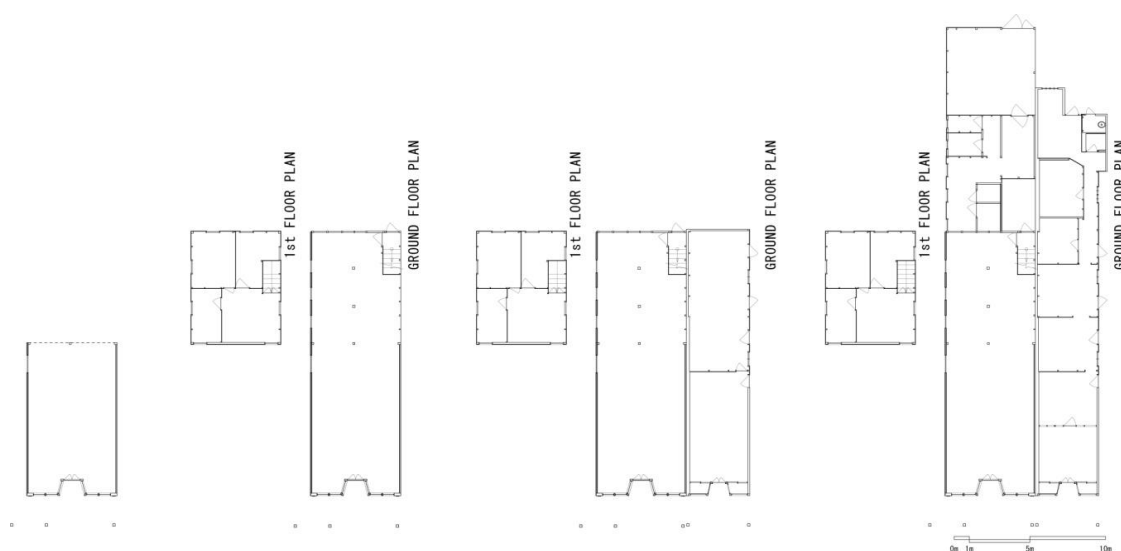


Fig.4-16 町家建築 B タイプ変遷



Fig.4-17 室内に残る窓



以上から町家建築におけるAタイプおよびBタイプの建築当初の形状について、建築当初は主屋のみで構成され、後に付属屋を増築して現在の形状になったことが分かった。建築当初の主屋は広い1室とし住居部分を持っておらず、現在は増築された付属屋を住居とする。主屋の形状には平屋建と2階建の2種類が見られる。

本研究では建築当初の町家建築の形状について、Fig.4-13のように平屋建の1室とするものを小規模一室型、Fig.4-15のように建築当初から2階建だった建物を二階建型と呼称する。

Aタイプでは小規模一室型が9件、二階建型が3件確認できた。またBタイプでは小規模一室型が3件、二階建型が1件確認できた(Table4-1.参照)。

また小規模一室型と二階建型は古写真でその形状を確認できる。Fig.4-18は19世紀のレブカのビーチストリートの様子である。写真では小規模一室型とみられる建物が確認でき、後方に付属屋等は見られない。また、バヌアレブ島およびフィジー本島のビチレブ島でFig.4-19のような建物が現存している。これと似た形状の建物がカタログハウスに記載されている事から、同様の形式はオセアニア全体で見られると推測される。

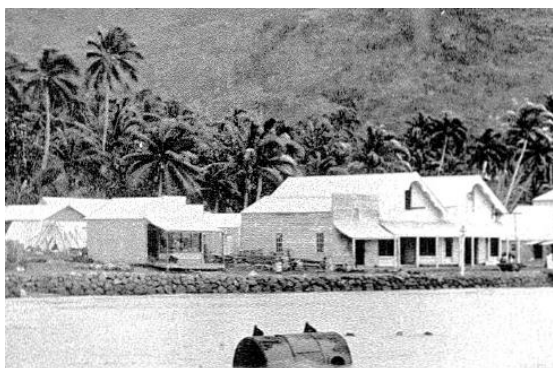


Fig.4-18 19世紀レブカの初期町家建築と見られる建物



Fig.4-19 小規模な町家建築  
バヌアレブ島



Fig.4-20 19世紀のクイーンズランドで発行された住宅カタログ



Fig.4-14 b18 と推測されるレブカの  
2階建町家建築



Fig.4-15 町家建築 b18 外観写真

### (2) Cタイプ

Cタイプは6件中5件が1950年代以降に建てられた比較的新しい形式である。主屋には大規模な改造は見られず、室内に間仕切りを増やすのみである。

主屋の後方に設けられた付属屋は住居や倉庫に用いられており、建築当初からのものと増築の2種類がある。このため、Cタイプが建てられた1950年代以降は町家建築に住居の機能が求められていたと考えられる。

また、これらはHubbard Reportより4件の設計者が同じとされる。八百板は「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究(参考文献32)」で、伝統的な特徴を持たない、景観を損なう形状であると指摘している。

### (3) Dタイプ

Dタイプは現状も主屋のみで構成され、付属屋をもたない。痕跡調査による復原から、建築当初は広い1室で構成され、間仕切りや中2階の増築が見られるが、大きな変更は行われていないことが分かった。

また6件のうち3件は古いコブラ倉庫と伝えられており、現在でも倉庫としての用途がみられる。このことから、Dタイプは建築当初から倉庫としての用途に用いられており、現在もその機能を有していると考えられる。

本研究では建築当初の形状について、下屋や付属屋を持たず、広い1室の主屋のみで構成される建物を倉庫型とする。

以上から、レブカの町家建築の各タイプの特徴と変化について以下の事が分かった。

AタイプとBタイプは建築当初は小規模一室型または二階建型で、室内は広い1室で構成されていた。その後、桁行方向や建物後方に付属屋を増築して現在の形状になった。付属屋は主に住居や倉庫として用いられている。

また小規模一室型はレブカ以外の都市でもその形状を残すものが確認でき、オーストラリアでも書籍に同様の形式の町家建築が確認された。このことから、小規模一室型の町家建築もオセアニア周辺で普及していた形式と考えられる。これは小規模商業建築に一定の形式があり、その形式が広く普及していた可能性を示している。よって、町家建築もまた特定の形式を持ち、バンガローと同様各国に普及していたと考えられる。

Cタイプは片流れで、コンクリート造の2階建が多い。AタイプやBタイプのように付属屋を増築する場合と、建築当初から付属屋を持つ場合がある。近年の建築が多く、主屋の改造は間仕切りを増築する程度で大きな変更は見られない。

Dタイプは主として倉庫に用いられる建物が多く、Dタイプの半数はコプラ貿易のために建てられたものである。現在でも倉庫として用いられている建物が、内部に間仕切りを追加しているが、増築などの大きな変更は見られない。

Aタイプ、Bタイプは比較的古い形式で、19世紀の古写真でもその存在を確認できる。またレブカの町家建築のうち、A、B、Dタイプでは建築当初の建物に住居部分が見られない。

このことから、レブカの町家建築ではコプラ貿易以前は住居を持たない専用商業施設だったと推測される。

## 4-2. 用途別の分類

### (1) 各建物の建物内の使用方法の構成について

町家建築は主に商業施設として利用され、一部では住居の機能を持つ。町家建築は大きく2種類の機能に分類される。商業的な空間である「ショップエリア」と、住居機能を持つ「ハウスエリア」である。なお、ショップエリア、ハウスエリアにはそれぞれ下記の要素が含まれる。

- ・ショップエリア：店（オフィス、レストラン含）、倉庫、工場、台所(レストラン時のみ)
- ・ハウスエリア：リビング、ダイニング、寝室、風呂トイレ、台所(レストランでない場合)

この分類から、本項では町家建築をショップエリアのみで構成される「専用商業施設」、ショップエリアとハウスエリアの両方で構成される「兼用住居」、ハウスエリアのみで構成される「専用住居」の3種に分類し、考察を行う。

- ・専用商業施設：商業目的のみで利用され、店舗や倉庫、オフィス、レストランに用いられる。
- ・兼用住居：店舗と住居の機能を持つもの。ビーチストリートに面する道側に店舗、後方に住居部分を配する。
- ・専用住居：商業機能を持たない住居のみに利用される建物。戸建型住居ではなく町家建築に分類される4件は、以前は商業施設だったことが聞き取りや既往研究から明らかになっている。

屋根形状の分類と建物の用途別の分類はTable4-3のようになる。Aタイプは専用商業施設、兼用住居、専用住居全てで最も多く、B、Cタイプは兼用住居で多く見られた。また、Dタイプは全て専用商業施設であり、住居部分を持たない。

Table4-3 用途別からみた分類ごとの数

|        | A | B | C | D |
|--------|---|---|---|---|
| 専用商業施設 | 8 | 1 | 1 | 6 |
| 兼用住居   | 8 | 5 | 3 | 0 |
| 専用住居   | 2 | 1 | 1 | 0 |

(i)専用商業施設

レブカの町家建築35件中16件が専用商業施設として用いられる(Table4-1.およびTable4-4参照)。このうち建物の主たる用途が倉庫および工場である建物は3件、事務所3件、商店及びレストランが11件である。

倉庫または工場に用いられる3件は建物全体を同じ用途に用いるが、事務所または商店に用いられる建物14件では、倉庫や台所など複数の用途に分けられている。

これらの建物では、主たる用途である事務所または商店など、不特定多数の人間が出入りするパブリックな空間を道に面する前方に置き、倉庫や台所など比較的プライベートな空間は建物奥に配される。また専用商業施設では中2階型3件、2階建が2件確認され、1階と2階で利用者が異なる場合を除き、2階と中2階は倉庫にのみ利用されている。

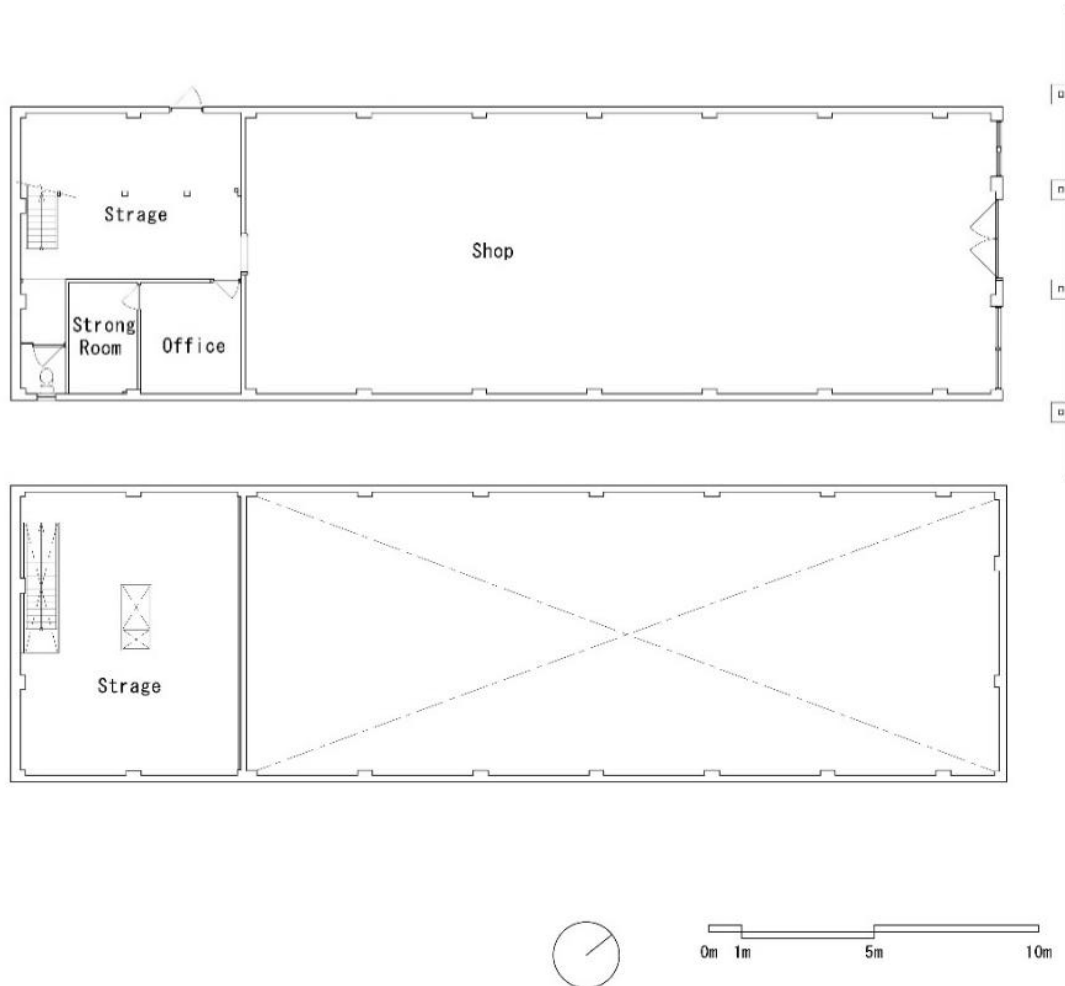


Fig.4-23 専用商業施設



Table4-4 專用商業施設一覽

| Number | name  |     | 用途配置    |         |
|--------|---|-----|---------|---------|
|        |   |     | 1階      | 2階・中2階  |
| s10    | Old Mobil Station                           | 1   | strage  |         |
| s11    | PAFCO old storage                           | 1   | strage  |         |
| s12    | FIJI PORT CORPORATION (HM HOMEMAKER)        | 1   | Shop    | office  |
| s14    | BEN NAIDU (OT&T)                            | 異   | Office  | Shop    |
| s15    | LEVUKA COMMUNITY CENTER                     | 1   | Shop    | strage  |
|        | Strehouse                                   | 中2階 | strage  | strage  |
| s16    | NATIONAL TRUST OF FIJI                      | 2   | Shop    | strage  |
| b01    | LEVUKA SERVICE STATION                      | 中2階 | Shop    | Strage  |
| b06    | Morris Hedstrom SUPERMARKET (Supreme Store) | 中2階 | Shop    | Office  |
| b07    | LEVUKA AMUSEMENT CENTRE                     | 中2階 | Shop    | Kitchen |
| b09    | LOMAIVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK  | 2   | Office  | Strage  |
| b13    | Kim's Restaurant                            | 2   | Office  | Shop    |
| b17    | Whale's Tale Restaurant                     | 1   | Shop    |         |
| b27    | Sing Mar Bakery                             | 中2階 | Shop    | Kitchen |
| b32    | Ministry of Primary Industry                | 2   | Shop    | strage? |
| b33    | TakiMai Factory                             | 1   | Office  | strage? |
| mn20   | Patterson Bros Office                       | 1   | Factory | Office  |
|        |   | 1   | Office  | strage  |

## (ii)兼用住居

レブカの町家建築35件のうち、兼用住居として用いられている建物は15件である(Table4-1およびTable4-4参照)。兼用住居はショップエリアとハウスエリアで構成され、道に面する前方にショップエリア、建物後方にハウスエリアを配置する。

ショップエリアは商店またはレストランとして用いられ、専用商業施設と同様、店舗/レストラン、倉庫/台所の順で配置される。

一方、ハウスエリアは主にリビング(L)、寝室(B)、台所(K)の3つの要素に分類できる。この3点の配置を見ると、店舗側から寝室(B)、リビング(L)、台所(K)の順に並ぶ建物が15件中7件で確認され、兼用住居では最も一般的な配置となることが明らかになった。

建物全体が道側にパブリックな空間、建物後方にプライベートな空間を配する一方、ハウスエリアでは最もプライベートな空間である寝室が店舗近くに置かれていることとなる。これはバックヤード等の外部に台所などの水回りを配置することを優先しているためと考えられる。

このため、町家建築の兼用住居では寝室の独立性を守るために廊下が用いられている建物が多い。

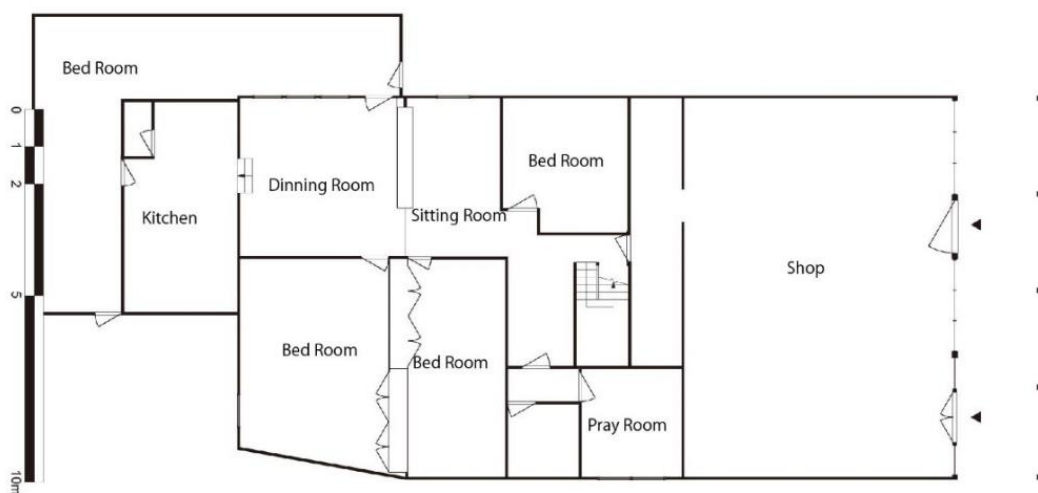


Fig.4-24 兼用住居

Table4-5 兼用住居一覽

| Number | name                       |     | 用途配置 |            |            |           |
|--------|----------------------------|-----|------|------------|------------|-----------|
|        |                            |     | 1階   |            | 2階・中2階     |           |
| b08    | KANG LEE STORE & BAKERY    | 2   | Shop | Strage     | Kitchen    | House(X)  |
| b10    | Gulabdas & Sons Store      | 中2階 | Shop |            | House(BLK) |           |
| b11    | Cour'ts Supermarket        | 2   | Shop | Strage     | House(X)   | House(X)  |
| b12    | R. K. SINGH STORE          | 1   | Shop | Strage     | House(BKL) |           |
| b14    | R. Damodar & Sons          | 1   | Shop | Strage     | House(BLK) |           |
| b15    | Vallabh & Sons             | 中2階 | Shop | House(BLK) |            | strage    |
| b16    | KISHORE INVESTMENTS LTD    | 1   | Shop | strage     |            | House(X)  |
| b18    | Narsey & Sons              | 2   | Shop | House(X)   |            | House(X)  |
| b19    | S A Kishore & Sons         | 中2階 | Shop | House(X)   |            | 撤去        |
|        | Narson                     |     | Shop | House(BLK) |            | House(B)  |
| b20    | Nalson Supermarket         | 1   | Shop | Strage     | House(?)   | House(LB) |
|        | LOMAIVITI STUDIO           |     | Shop | House(LBK) |            |           |
| b21    | Seasite Restaurant         |     | Shop | Shop       | Kitchen    |           |
| b22    | PREM SINGH                 | 2   | Shop | strage     |            | House(LB) |
| b23    | SAINIMERE CIKAMATANA       | 1   | Shop | House(BLK) |            |           |
|        | Ivan Bakery                | 1   | Shop | Shop       | House(KLB) |           |
| b28    | Ambalal & Co Shoe Shop     | 中2階 | Shop | Strage     |            | strage    |
|        | Ambalal & Co General Store | 1   | Shop | Strage     |            | House(X)  |
| b29    | Katundrau Store            | 中2階 | Shop | strage     |            | House(LB) |

×:住居部分調査不可

### (iii)専用住居

レブカの町家建築35件のうち、専用住居として用いられている建物は4件確認できた(Table4-1.参照)。これらの建物は元々店舗として用いられており、平面図にもその痕跡が見られる。

建物内部は大きく改造しており、4件とも1つの建物を複数世帯が利用している。このため平面図は非常に複雑であるが、リビングを中心に配置する傾向があり、戸建型住居と同様リビング中心の生活を行っていると思われる。

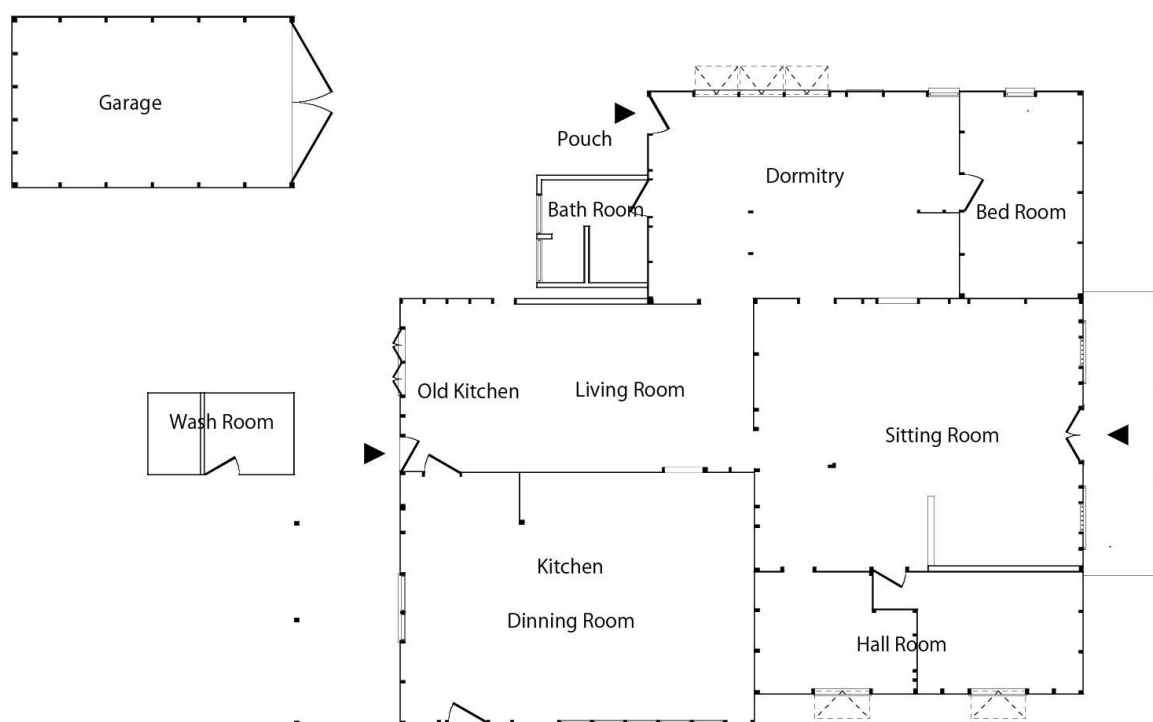


Fig.4-25 専用住居

### (2) レブカタウン内における配置

専用商業施設、兼用住居、専用住居のレブカタウン内の配置(Fig.4-3)を見ると、専用商業施設は南部に集中し、専用住居は北部に多く見られる。これはレブカタウンの南部にあるキング&クイーン埠頭のためと考えられる。キング&クイーン埠頭は現在レブカで唯一の港であり、周辺には公共建築やPAFCOがある。またタウンの南部は建物の背後に山が迫り、住居を増築する土地的な余裕がないことも原因の一つと考えられる。

専用商業施設と兼用住居が南部に集中していることから、レブカの経済的な中心地はレブカタウンの南部に集中していると言える。

#### 4-3. 古写真による検討と年代考察

町家建築の変化については、古写真から推測できる。1869年に撮影された古写真(Fig.4-26)では、ビーチストリートに戸建型住居で見られたようなバンガロー形式が多く並んでいることが確認できる。

その後首都として選定された1880年代に撮影された写真(Fig.4-27)では間口の狭い建物が増え、ベランダが張り出した二階建型と同様の形式が増える。また当時はレブカタウンの北部まで町並みが続いており、町全体が発展していたことが分かる。八百板の研究によれば、現在のような間口の狭い細長い形状の敷地はこの首都期に形成されたとされる(注4-1)。八百板の研究から、当時の建物は新聞社やホテルなど公共性の高いものが多く、初期のレブカの町家建築は住居部分を持たなかったという推測と一致する。

その後、1895年の台風でレブカは甚大な被害を受け、建物が多く倒壊したと伝えられる。この当時は首都がスバに移された時期で、レブカはコプラ貿易により栄えていた。このため、住居部分を持たない小規模1室型の一部は倉庫としての役割を持っていたのではないかと推測される。コプラ貿易が衰退した1950年代以降は住居や店舗として改修され、後方に増築されたと考える。



Fig.4-26 1869年に撮影されたビーチストリート

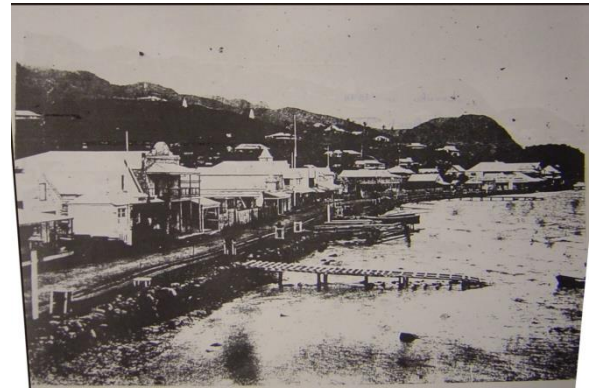


Fig.4-27 1880年代に撮影されたビーチストリート



#### 4.4.町家建築における特徴と変遷

以上から、レブカの歴史的建造物における町家について以下のことが明らかになった。

現在のレブカに残る町家建築は、元々は店舗部分のみの1室型で住居を持たず、増築を繰り返して現在の形状になった。現在は店舗と住居を併設した建物が多いが、初期は専用商業施設として用いられており、現在も住居部分を持たない建物がある。

首都期以前のレブカでは現在のような町家建築は少なく、バンガロー形式の建物がビーチストリートに並んでいた。首都期前後で町が発展してくると、細長い形状の建物が増え、現在の2階建の町家建築も見られるようになる。ビーチストリート沿いの建物はレブカタウンの南から北まで広く続いていた。またこの時期の建物について、レブカ以外の都市にも同様の形式が広く見られることから、小規模商業建築もバンガローと同様一定の形式があり、その形式が普及していた可能性を示している。よって、町家建築もまた特定の形式を持ち、バンガローと同様オセアニア周辺で普及していたと考えられる。

首都移転後、レブカはコプラ貿易により発展した。店下を持たない倉庫型の町家建築の多くはこの当時のものと伝えられる。また初期の1室型の町家建築もコプラ貿易期のものが多いと推測される。コプラ貿易が衰退して以降、住居部分を増築したと考えられる。

現在は町の中心が港のあるレブカタウン南部に移動し、北部にある町家建築は専用住居に変化している。

注 4-1：八百板季穂「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究(参考文献 32)」より



# 第 5 章

## 公共建築について

## 5. 公共建築

公共建築は1件に複数棟持つ建物が多く、建物は24件、32棟である。公共建築24件には役場7件、教会5件、娯楽施設4件、学校3件、ホテルが2件、集会所、病院、市場が1件ずつである。また役場の一つであるタウンホールが集会所の役割も持つ。

建物は32棟中、コンクリート造6棟、石造6棟、木造20棟である。これらを年代別にみると、19世紀には石造が多く、20世紀前期には木造建築が増える。また20世紀中期以降にはコンクリート造が増えている。木造建築はバンガロー型を主とする。また一部では元々住居だった建物を買い取ってホテルや教会にしている。

バンガロー型の公共建築は住居と異なり変更が少なく、病院にはレブカで唯一の下屋が全てベランダの建物が残っている。

Table5-1 公共建築一覧

|      | name                          | Material | 形式    | 階高 | 用途    | 年代          |
|------|-------------------------------|----------|-------|----|-------|-------------|
| s13  | Post Office/Customs Authority | Wood     | バンガロー | 1  | 郵便局   | 1870年代後半:HR |
| b03  | PATRICIA RILEYS               | Wood     | バンガロー | 1  | 教会    | 1900年頃:LHR  |
| b24  | Old Capital Inn               | RC       | 骨組構造  | 2  | ホテル   | 1953年:HR    |
| b25  | Sacred Heart Church           | Wood     | 他     | 1  | 教会    | 1860年代:HR   |
| b31  | Former Cinema                 | RC       | 骨組構造  | 2  | 娯楽施設  | 1945年以降:HR  |
| b35  | Water Authority               | Wood     | バンガロー | 1  | 水道局   | (20世紀前期)    |
| b36  | Lomaiwiti Provincial Complex  | Wood     | 他     | 1  | 役場    | (19世紀後期)    |
| b37  | Social Welfare Office         | Wood     | バンガロー | 1  | 福祉事務所 | (20世紀前期)    |
| b38  | Court House                   | Wood     | 他     | 1  | 裁判所   | (19世紀後期)    |
| ms20 | Marist Convent Complex        | Masonry  |       | 2  | 学校    | 1890年代:HR   |
|      | 付属屋A                          | Wood     | バンガロー | 1  |       | (1900年頃)    |
|      | 付属屋B                          | Wood     | バンガロー | 1  |       | (1900年頃)    |
| ms23 | Police station                | Wood     | バンガロー | 1  | 警察署   | 20世紀初期:HR   |
| ms24 | Levuka Public School Complex  | Wood     | バンガロー | 2  | 学校    | 1879年:HR    |
|      | Royal Hotel                   | Masonry  |       | 2  | ホテル   | 1869年:HR    |
| mn01 | CAPTAIN ROBBIES HOUSE         | Masonry  | バンガロー | 1  |       | 1882年?:HR   |
|      | Winiferd                      | Wood     | 他     | 1  |       | (20世紀中期)    |
|      | CAPTAIN VOLK                  | Wood     | バンガロー | 1  |       | (19世紀後期)    |
| mn02 | Levuka Bowling Club           | Wood     | 他     | 1  | 娯楽施設  | 第2次世界大戦以前   |
| mn03 | Lodge Polynesia Masonic Hall  | RC       | 骨組構造  | 1  | 会堂    | 1924年:HR    |
| mn04 | Levuka Town Hall              | Masonry  |       | 1  | 町役場   | 1898年:HR    |
| mn05 | Ovalau Club                   | Wood     | バンガロー | 1  | 娯楽施設  | 1904年:HR    |
| mn19 | Levuka Market Building        | RC       | 骨組構造  | 1  | 市場    | 1940年代:HR   |
| mn26 | Levuka Crafts Centre          | Wood     | 他     | 1  | 学校    | (20世紀中期)    |
| n08  | NABOKA METHODIST CHURCH       | Masonry  |       | 1  | 教会    | 1862年:HR    |
| n19  | Levuka Club                   | RC       | 壁式構造  | 1  | 娯楽施設  | 1966年:HR    |
| n21  | Lomaiwiti Hospital Complex-a  | Wood     | バンガロー | 1  | 病院    | (20世紀前期)    |
|      | Lomaiwiti Hospital Complex-b  | Wood     | バンガロー | 1  |       | (20世紀前期)    |
|      | Lomaiwiti Hospital Complex-c  | Wood     | バンガロー | 1  |       | (20世紀前期)    |
|      | Lomaiwiti Hospital Complex-d  | Wood     | 他     | 1  |       | (20世紀前期)    |
| n25  | Anglican Church & School      | RC       | 骨組構造  | 1  | 教会    | 1904年:HR    |
| n29  | Levuka Koro Methodist Church  | Masonry  |       | 1  | 教会    | 1860年代:HR   |

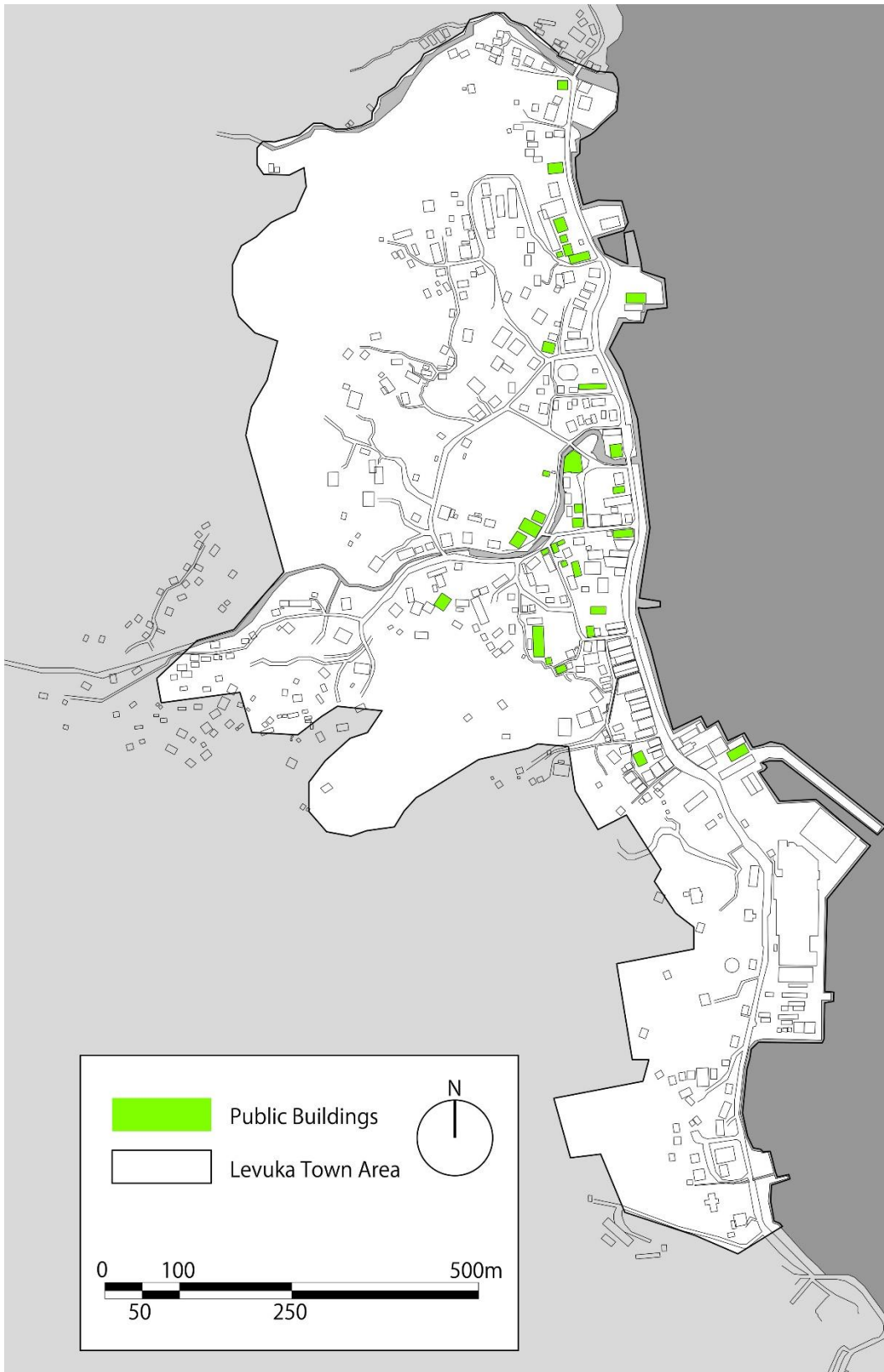


Fig.5-1 公共建築 配置図



## 5-1. 各用途別の特徴

### (1)役場

7件ある役場はそれぞれ町役場、郵便局、裁判所、水道局、福祉事務所、フィジー東部州事務所、警察署に用いられている。集会所の機能を持つ町役場以外はすべて木造で、比較的小規模の建物である。

建築年代を見ると、役場に用いられる建物は1件を除いて遷都後に建てられた建物である。これは、町としての機能が遷都後に整えられたことを示す。複数の日誌から首都としての発展は望めないと指摘されており、かつ首都であった期間もわずか8年であることから、レブカの機能は首都としてではなく、地方都市の州都としての役割が強いと言える。

### (2)教会

教会5件のうち、宗派が同じものは2件のみである。

**Sacred Heart Church** はフィジーで最も古いカトリック教会で、1860年代に建てられた。カーペンターゴシック様式(注 5-1)が用いられた木造の東端にコンクリート造の時計塔を持つ。この時計塔は1900年頃に木造からコンクリート造に変更された(注 5-2)。教会の南西にはフィジーで最古のカトリック系学校である **Marist Convent Complex** が建つ。この学校は19世紀には病院としても使用された。

また1860年代にはレブカタウン内に2件のメソジスト教会が建てられている。1件はレブカタウンのもの、もう1件は北隣のレブカビレッジのための教会である(注 5-3)。2件とも石造のゴシック様式が用いられる。メソジスト教会はフィジーに最も早く入った宗派で、フィジー人のキリスト教徒のうち62%がメソジストとされる(注 5-4)。近隣の村でも同じ形状が多く見られ、木造の場合も教会の形状はほぼ同じである。

レブカの北部にはイギリス国教会の **Anglican Church** がある。1904年(注 5-5)に建てられたコンクリート造のゴシックリバイバル様式である。敷地内には学校を併設し、**Sacred Heart Church** と同様、教育機関としての役割を担う。

レブカタウンの南部にある FEA 発電所から南西に約 50m の斜面には末日聖徒イエス・キリスト教会がある。これは元々住居として使用されていた建物を転用しており、教会建築の中で唯一バンガロー型である。

教会建築はそれぞれ宗派が異なるが、住居から転用された1件を除いて建物はゴシック様式の派生が用いられており、19世紀イギリスの流行が見られる。学校や病院と関係する建物もあり、宗教だけではなくレブカの公共福祉において重要な役割を果たしている。

また教会5件のうち3件は首都以前の建物である。八百板の指摘から(注 5-6)、教会は初期のレブカの土地形成に非常に重要な役割を果たしており、現在でもレブカの土地の30%以上を教会が保有している(注 5-7)。教会への土地の寄進から始まった経緯とも関係すると考える。



Fig.5-2 公共建築 事務所外觀



Fig.5-3 公共建築 教会外觀

### (3) 娯楽施設

レブカの公共建築のうち、娯楽施設に分類されるものは4件ある。この4件のうち3件がクラブ、1件が映画館である。建築年代から見ると、首都期以前のものはなく、また4件中3件が20世紀中期の建築で、比較的近年に増えていることが分かる。また大規模建築が多く、コンクリート造を用いる。

役場と同様、レブカが遷都後に町の機能を整え、豊かになっていったことを示すと考えられる。

### (4) 学校

学校に区分される3件のうち、2件は19世紀に建てられた。教会の付属である **Marist Convent Complex** はフィジーの最も古いカトリックミッション学校である。一方 **Levuka Public School Complex** は非宗教系の学校で、フィジーで最も古い公立学校である。

また20世紀に建てられた **Levuka Crafts Centre** は、元々は市民の集会のために建てられた。現在は小学校の教室として利用されている。

### (5) ホテル

ホテルに区分される建物は **Royal Hotel** と **Old Capital Inn** の2件である。**Royal Hotel** は対象物件4棟を持ち、うち2棟は住居からの転用である。

**Royal Hotel** 本館は南太平洋で最も古いホテルのひとつとされ、レブカだけでなく南太平洋において重要な価値を持つ。

**Old Capital Inn** は1953年に建てられ、現在は住居に利用されている。

レブカには多くのホテルがあったが、当時のホテルで現在残っているのは **Royal Hotel** だけ。オーストラリア資本の **Madina** ホテルと個人経営のホームステイやドミトリーが複数ある。戸建型住居では賃貸のための建物も多く見られた。

### (6) 集会所

集会所の機能を持つ建物は **Lodge Polynesia Masonic Hall** と町役場である。

**Lodge Polynesia Masonic Hall** はコンクリート造で、南太平洋で最初のフリーメイソンのためのロッジである。現在はほぼ空き家状態で利用されていない。

町役場は石造で、集会所の機能と役場としての機能を持つ。レブカで集会が行われる場合はこの町役場を用いることが多い。



Fig.5-4 公共建築 クラブ外観



Fig.5-5 公共建築 学校外観



Fig.5-6 公共建築 ホテル外観



Fig.5-7 公共建築 集会所内観



### (7)病院

Lomaiviti Hospital Complex は4棟の歴史的建造物を持つ。4棟は20世紀前期の木造で、うち3棟はバンガロー型である。現在の病院の機能はコンクリート造の新館が担っており、木造の4棟は事務所や倉庫に用いられる。

木造の公共建築は住居と異なり、比較的変更が少ない。レブカで唯一ベランダのバンガローが残っている。

### (8) 市場

1940年代のコンクリート造で、現在は周囲に増築されて閉鎖的になっているが、元々は開放されたフィジーの伝統的な市場の形式を持っていた。現在は市場ではなく店での買い物が増えている。HRではこの変化は50年代から60年代に起こったとされている。



Fig.5-8 公共建築 病院外観



Fig.5-9 公共建築 市場外観

以上から、レブカの公共建築は役場などの行政施設のほか、教会や教育機関、娯楽施設等様々な用途が見られる。役場はスバに遷都されて以降の建物が多く、都市としての機能は遷都後に整えられている事から、レブカの公共建築は首都というより州都としての性質が強いと言える。

教会は宗教施設のほか、教育機関や病院としての役割を持っていた建物も見られ、都市機能に重要な役割を果たしている。

娯楽施設や役場が遷都後に増えている事から、レブカの都市としての発展が遷都後であったことが窺える。





Fig.5-10 は公共建築における主要構造別の年代と梁間の関係を表したグラフである。

グラフから、石造は 19 世紀に多く、1900 年代前後には木造、20 世紀中期にはコンクリート造と時代ごとに主要構造が変化していることが分かる。また梁間規模から、石造とコンクリート造は大きく、木造は次第に小さくなる傾向が見られる。

木造の公共建築についてみると、比較的小規模な建物が多い。下見板の使用率が木造全体で 3 割程度(2 章参照)に対し、公共建築では木造 20 棟に対して 10 棟が下見板を用いている。また二重壁は公共建築、富裕層、町家型建築でのみ見られ(2 章参照)、木造の公共建築 20 棟のうち 6 棟が二重壁である。下見板は縦羽目板に比べ柱を多く必要とし、また二重壁が多く見られることから、木造建築は小規模が多いが、金や手間をかけた丁寧な造作と言える。

また Table.5-1 より、木造のほとんどが役場や病院、学校の付属屋である。木造が増える 1900 年前後は首都が移転した後の時代で、コブラ貿易により栄えていた時代である。役場や病院など町の機能が整えられた時期であることが分かる。小規模な木造建築が用いられていることから、首都としてではなく地方の州都としての機能が求められていたと考えられる。

また 20 世紀中期にはコンクリート造が増え、規模が大きくなる。20 世紀のコンクリート造は娯楽施設とホテル、市場で構成され、レブカが豊かになっていった時期と考えられる。

このことから、レブカの公共建築の建築材料における特徴は、首都期以前の公共建築は外国人技術者による石造など高い技術が必要な建物が多く、遷都後は小規模な木造が増える。しかし小規模木造建築でも、二重壁を用いる等、民間の建物よりも金や手間をかけた建物が多く見られる。20 世紀中期には町の発展と共に娯楽施設などの大規模建築が増えている。

### 5-3.結論

以上からレブカの歴史的建造物の公共建築は、戸建型住居や町家型建築などの民間の建物と異なり、石造や二重壁など手間や費用のかかる建物が多く見られる。

木造は戸建型住居と同様バンガロー型を主とする。住居と異なり変更が少ないためより初期の形状を見ることができる。

また用途別でみると役場や教会が多く見られる。首都になる前はレブカの町の初期の都市形成にかかわる教会が増えている。教会はゴシック様式の派生型が用いられており、19 世紀イギリスの流行が見られる

首都期の 8 年間からコブラ貿易が衰退する 20 世紀前期までには役場が増えている。また病院も中期と見られ、町としての機能はこの時期に整えられていることが分かる。20 世紀中期以降は娯楽施設が増えており、町の機能が変化している。

注釈

注 5-1 : カーペンターゴシック様式

19 世紀のアメリカで流行した、木材によるゴシックリバイバル様式の 1 種。アメリカ以外でもカナダやニュージーランド、オーストラリアで多く用いられた。(Jack C. Whytock, (2012), :*Carpenter Gothic*, The Encyclopedia of Christian Civilization, Wiley Online Library 参照)

注 5-2 : 19 世紀の古写真では木造の尖塔が確認できる

注 5-3 : 教会のコミュニティと世界遺産の範囲が異なるため、住民からは世界遺産の範囲に疑問を抱く声もある

注5-4 : 『*Fiji: an ENSYCLOPEDIC ATLAS*(参考文献78)』参照

注 5-5 : 「*TOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY*(参考文献 3)」より

注 5-6 : 八百坂季穂「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究(参考文献 32)」より

注 5-7 : *Levuka Heritage Management Plan* 参照



# 第 6 章

## 結論



## 6.結論

### 6-1.建物の特徴

以上から、レブカの歴史的建造物における特徴について以下のことが明らかになった

レブカの歴史的建造物はバンガローと呼ばれる形式を持つ戸建住居と、レブカの経済的な中心である町家建築、フィジー東部地域の中心地としての機能を担う公共建築によって構成される。

建物は約8割が木造で、コンクリート造や石造は公共建築や町家建築に多く見られる。木造建築は2×4工法が用いられており、壁は下見板張と縦羽目板張が用いられている。

レブカの戸建住居はバンガローの形式を持ち、元々外部に開放されたベランダを持っていた。当時のバンガローは経済的に余裕のあった白人たちによって建てられたもので、接客空間や廊下を備えた格式の高い建物が見られる。また屋根には高い技術を用いた柿葺きが用いられており、発展した形式を備えていたことが推測される。

一方で身舎を広い1室とし、周囲を解放されたベランダで構成するシンプルな形状の建物も見られる。これはフィジーの伝統的な接客空間を踏襲したものと推測され、当時の西洋人たちが原住民であるフィジー人と友好的な関係を築いていたことが伺える。

またレブカに残る町家建築の多くは元々住居部分を持っておらず、小規模な1室型だったと推測される。この1室型はコブラ貿易の頃の店舗や倉庫だったと考えられ、コブラ貿易が衰退した1950年代以降、建物は住居部分を増築して現在の形状になった。

屋根構造では時代が下るほど勾配を緩やかにする傾向が見られ、梁間も大きくなっている。レブカでは元々屋根構造に小梁を多用していたが、勾配を緩やかにする、梁間を広く取るという点で不利なことから、近年では小梁型や二重梁型は用いられなくなっている。

また下屋には垂木の浮き上がりを防ぐ工夫が見られ、レブカの屋根構造が台風等の強風に対する工夫を取っている事が明らかになった。

### 6-2.建物の変遷

以上の研究から、レブカの歴史的建造物に関する年代の変遷をまとめると次のようになる。

西洋人の入植以前はフィジーの伝統的な住居ブレが用いられており、西洋人の増加と共にバンガロー形式がもたらされた。1860年代から1870年代にレブカは都市として発展し、ビーチストリートには建物が密集し、細長い町家建築が増加する。1874年に首都に選ばれた当時はホテルや事務所など公共的な建物が多かったとされる。

1882年に遷都されて以降は、レブカはコブラ貿易により発展を続けた。このコブラ貿易は1950年代に工場が移転するまで続き、複数のコブラ倉庫が建てられた。

1895年の台風ではレブカは甚大な被害を受け、多くの建物が倒壊した。この頃からバンガローのベランダが室内に取り込まれ、現在ではほとんどのベランダは周辺室に変更されている。室内化したベランダは細分化され、部屋数を増やしている。特に寝室が増えている

ことから、戸建住居では建築当初よりも居住人数が増えたと考えられる。

またベランダが室内になったことで身舎の採光や通風が減少するため、リビングを周辺室へ拡張することで室内環境の改善を図り、且つ外部からの出入りを確保している。

また 20 世紀後半には構造的に不利な制限のある小梁が屋根構造に用いられなくなり、屋根勾配を緩やかにするなど風に対する工夫が用いられている。下屋には風による垂木の浮き上がりを防ぐ工夫も見られ、レブカでは台風への対策が非常に重要であったことが伺える。

1950 年代以降はコプラ貿易が衰退し、町家建築では住居部分を増築し現在の形状となった。

### 6-3. まとめ

レブカの歴史的建造物については、これまで植民地時代の遺構が残ることについては知られていたが、その初期の形状およびその発展の経緯については明らかになっていなかった。本研究によって、レブカにおける初期の歴史的建造物について以上の内容を明らかにすることができた。

これらの結果から、レブカの戸建住居がバンガローの特徴を持ち、住民の変化や要求によって平面構成を変化させてきたことを実証的に明らかにすることができた。バンガローはオセアニア地方ではその発展した形式を確認することができるが、初期のバンガローの詳細やその後の変遷、各国へのバンガローの普及経路については明確になっていない。本研究によりレブカの戸建住居はオセアニアに残るバンガローの中でも比較的初期の形状を残していることが明らかになった。これらの結果は今後オセアニアにおける初期バンガローの形状や平面構成の発展を考察する上で重要な意味を持つと考える。

また町家建築ではその変遷から都市の発展の影響を受けていることが明らかになった。特に二階建型は首都期の発展した形式を残しており、首都期のレブカの遺構と言える。また小規模一室型についてはレブカで初期の形状を残すものは少ないが、痕跡からその変化を明らかにすることができた。またレブカ以外の都市でその形状を残すものが確認でき、オーストラリアでも書籍に同様の形式の町家建築が確認された。このことから、小規模一室型の町家建築もオセアニア周辺で普及していた形式と考えられる。これは小規模商業建築に一定の形式があり、その形式が広く普及していた可能性を示している。よって、町家建築もまた特定の形式を持ち、バンガローと同様各国に普及していたと考えられる。

本調査ではレブカにおける歴史的建造物の平面構成の変化がどのような要因によって発生したのかを明らかにするまでには至らなかった。これらは所有者の変化や経済的な理由も推測されることから、今後は人種の変遷や人口の変化、社会情勢をより詳細に調査する必要がある、今後の課題とする。

またオセアニアにおけるバンガローの普及について、レブカにバンガローの形式が導入

されている事は明らかになったが、その普及経路はいまだ明らかになっておらず、今後の課題と言える。町家建築についても同様に、ある特定の形式を持つことは明らかになったが、それがどの程度普及しており、どこからもたらされた形式であるかは不明である。

今後はオセアニアを中心に、バンガローや町家建築の様式とその普及状況についてより詳細な調査を行いたい。

#### 謝辞

本研究の一部は 2015 年度日本学術振興会研究助成費(16H05758、代表：江面嗣人)海外基盤 B、H28~H30「歴史的港湾都市レブカにおける住宅等の歴史的建造物の起源と発展に関する実証的研究」並びに公益財団法人大林財団「2017 年度奨励研究助成」の助成を受けたものです。ここに謝意を表明します。

また、本研究において調査にご協力をいただき、既往研究の調査データをご提供いただきました北海道大学西山徳明教授、岡山理科大学八百板季穂准教授、久留米工業大学成田聖准教授に厚くお礼を申し上げ、感謝する次第です。そして、本稿の作成にあたってご意見を頂きました岡山理科大学後藤義明教授、岡山理科大学平山文則教授、清心女子大学上田恭嗣教授に心よりお礼申し上げます。

また現地での調査にご協力いただき、多大なるお心遣いをいただきました Suliana Sundy 氏ならびに Levuka Town Council 及び Heritage Office の職員の皆様に深く感謝を申し上げます。

最後に、本研究を進めるにあたり、多大な助言を賜りました岡山理科大学工学部の江面嗣人教授に、厚く感謝を申し上げます。

## 使用絵図一覧

### ・第1章 序

Fig.1-1 google map を基に筆者作成

Fig.1-2 2018 年筆者撮影

Fig.1-3 2016 年筆者撮影

Fig.1-4 九州大学が作成した地図を基に筆者編集

Fig.1-5 2016 年筆者撮影

Fig.1-6 2016 年筆者撮影

Fig.1-7 2017 年筆者撮影

Fig.1-8 2018 年筆者撮影

Fig.1-9 2018 年筆者撮影

Fig.1-10 2018 年筆者撮影

Fig.1-11 2016 年筆者撮影

Fig.1-12 2018 年筆者撮影

Fig.1-13 Fiji national Archive 所蔵 : M5525 COPY PHOTO OF FIJI TIMES BUILDING, LEVUKA

Fig.1-14 出典 Anthony D. King 『The Bungalow(参考文献 70)』 pp.26～27

Fig.1-15. 出典 「*The Origins and Development of the Queensland House* (参考文献 2)」

Fig.1-16 2018 年筆者撮影(オーストラリア連邦シドニー)

Fig.1-17 2018 年筆者撮影(フランス領ニューカレドニア島ヌメア)

### ・第2章 主要構造別の分析と小屋組みについて

Fig.2-1 2016 年筆者撮影

Fig.2-2 2016 年筆者撮影

Fig.2-3 2016 年筆者撮影

Fig.2-4 筆者作成

Fig.2-5 筆者作成

Fig.2-6 筆者作成

Fig.2-7 筆者作成

Fig.2-8 筆者作成

Fig.2-9 2016 年筆者撮影

Fig.2-10 2016 年筆者撮影

Fig.2-11 2016 年筆者撮影

Fig.2-12 筆者作成

Fig.2-13 出典 『*Machine Made Cottages*(参考文献 94)』

Fig.2-14 2018 年筆者撮影

Fig.2-15 2014 年江面嗣人撮影

Fig.2-16 1895 年撮影写真を拡大 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)  
Fig.2-17 2016 年筆者撮影  
Fig.2-18 2016 年筆者撮影  
Fig.2-19 2018 年筆者撮影  
Fig.2-20 筆者作成  
Fig.2-21 2016 年筆者撮影  
Fig.2-22 2018 年筆者撮影  
Fig.2-23 2017 年大森洋子(久留米工業大学)撮影  
Fig.2-24 2018 年筆者撮影  
Fig.2-25 2016 年筆者撮影  
Fig.2-26 筆者作成  
Fig.2-27 2018 年筆者撮影  
Fig.2-28 2018 年筆者撮影  
Fig.2-29 2018 年筆者撮影  
Fig.2-30 筆者作成  
Fig.2-31 2016 年筆者撮影  
Fig.2-32 1870 年以前撮影写真 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)  
Fig.2-33 2016 年筆者撮影  
Fig.2-34 筆者作成  
Fig.2-35 筆者作成  
Fig.2-36(1)~(7) 筆者作成  
Fig.2-37 筆者作成  
Fig.2-38(1)~(7) 筆者作成  
Fig.2-39 筆者作成  
Fig.2-40 筆者作成  
Fig.2-41 筆者作成  
Fig.2-42 筆者作成  
Fig.2-43 2017 年筆者撮影  
Fig.2-44 2016 年筆者撮影  
Fig.2-45 1895 年撮影(Fiji museum 所蔵 八百板収集)

・ 第 3 章 戸建型住居

Fig.3-1 九州大学が作成した地図を基に筆者編集  
Fig.3-2 筆者作成  
Fig.3-3 2017 年筆者撮影  
Fig.3-4 筆者作成



Fig.3-5出典: *Hudson's "Ready-Cut" home*, 1930(参考文献64参照)

Fig.3-6 筆者作成

Fig.3-7 2015 年江面嗣人撮影

Fig.3-8 1921 年撮影 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)

Fig.3-9 1870 年代撮影 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)

Fig.3-10 九州大学作成図面を基に筆者加筆

Fig.3-11 筆者作成

Fig.3-12 筆者作成

Fig.3-13 2017 年大森洋子(久留米工業大学)撮影

Fig.3-14 2019 年筆者撮影

Fig.3-15 2007 年九州大学撮影

Fig.3-16 1894 年撮影写真を拡大 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)

Fig.3-17 2018 年筆者撮影

Fig.3-18 筆者作成

Fig.3-19 2018 年筆者撮影

Fig.3-20 九州大学作成図面を基に筆者加筆

Fig.3-21 2008 年江面嗣人撮影

Fig.3-22 2016 年筆者撮影

Fig.3-23 筆者作成

Fig.3-24 2018 年筆者撮影

Fig.3-25 筆者作成

Fig.3-26 2016 年筆者撮影

Fig.3-27 九州大学作成図面を基に筆者加筆

Fig.3-28 出典: *Newstead Homes*, 1918(参考文献 63)

Fig.3-29 九州大学作成図面に室名を追加

#### ・ 第 4 章 町家型建築

Fig.4-1 2016 年筆者撮影

Fig.4-2 筆者作成

Fig.4-3 筆者作成

Table4-2. A :2016 年筆者撮影

B :2016 年筆者撮影

C :2016 年筆者撮影

D :2016 年筆者撮影

Fig.4-4 筆者作成

Fig.4-5 2017 年筆者撮影

Fig.4-6 2018 年筆者撮影  
Fig.4-7 2017 年筆者撮影  
Fig.4-8 九州大学作成図面を 2016 年再調査により筆者加筆  
Fig.4-9 筆者作成  
Fig.4-10 筆者作成  
Fig.4-11 2016 年筆者撮影  
Fig.4-12 2016 年筆者撮影  
Fig.4-13 九州大学作成図面を 2018 年再調査により筆者加筆  
Fig.4-14 2017 年江面嗣人撮影  
Fig.4-15 九州大学作成  
Fig.4-16 九州大学作成図面を 2017 年再調査により筆者加筆  
Fig.4-17 2018 年筆者撮影  
Fig.4-18 18 世紀撮影写真を拡大(Fiji museum 所蔵、八百板収集)  
Fig.4-19 2019 年筆者撮影  
Fig.4-20 出典: *Newstead Homes*, 1918(参考文献 63)  
Fig.4-21 古写真(撮影年不明)を拡大(Fiji museum 所蔵、八百板収集)  
Fig.4-22 2018 年筆者撮影  
Fig.4-23 筆者作成  
Fig.4-24 九州大学作成図面に室名を追加  
Fig.4-25 九州大学作成図面に室名を追加  
Fig.4-26 1894 年撮影写真を拡大 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)  
Fig.4-27 1880 年代撮影写真を拡大 (Fiji museum 所蔵、八百板収集)

・ 第 5 章 公共建築

Fig.5-1 筆者作成  
Fig.5-2 2016 年筆者撮影  
Fig.5-3 2008 年江面嗣人撮影  
Fig.5-4 2016 年筆者撮影  
Fig.5-5 2018 年筆者撮影  
Fig.5-6 2016 年筆者撮影  
Fig.5-7 2017 年大森洋子(久留米工業大学)撮影  
Fig.5-8 2016 年筆者撮影  
Fig.5-9 2016 年片山撮影  
Fig.5-10 筆者作成

参考文献

・論文

- 1) Smith, L. W., Wood, L. W. (1964), *History of Yard Lumber Size Standards*, Forest Products Laboratory Forest Service U. S. Department of Agriculture.
- 2) Peter Newell, L/F. R. A. I. A., A. C. I. V. (1979), *THE ORIGINS AND DEVELOPMENT OF THE QUEENSLAND HOUSE*, Delivered before a meeting of the Society, pp18-28
- 3) Timothy Hubbard, Peter James, (1994), *TOWN OF LEVUKA HERITAGE STUDY*
- 4) David V. Burley, (2003), *Toward the Historical Archaeology of Levuka*, International Journal of Historical Archaeology, Vol.7, No.4,
- 5) Margaret Purser, (2003), *The view from the verandah*, International Journal of Historical Archaeology, pp 293-314.
- 6) Monteyne, D., (2004), *Framing the American Dream*, The Journal of Architectural Education, Vol. 58, No. 1, pp.24-33.
- 7) Robbin Chatan, (2003), *The Govenor's vale levu: Architecture and Hybridity at Nasova House, Levhka, Fiji Islands*, International Journal of Historic Archeology, Vol.7, No.4, pp.267-292
- 8) John R. Campbell, (2006), *Traditional disaster reduction in Pacific Island communities*, GNS Science Report 2006
- 9) Ayako Fujieda, Hirohide Kobayashi, (2013), *The Potential of Fijian Traditional Housing to Cope with Natural Disasters in Rural Fiji*, Journal of Disaster Research, pp18-27
- 10) Ayako FUJIEDA, Hirohide KOBAYASHI, (2013), *Building Disaster Resilience with Indigenous knowledge in Rural Fiji*, Journal of Disaster Research, pp123-124
- 11) Ayako FUJIEDA, Hirohide KOBAYASHI, (2013), *Locally Based Housing Alternatives to Cope with Natural Disasters in Rural Fiji*, Proceeding of GCOE-ARS Final Symposium 2013, pp58-59
- 12) ICOMOS International Secretarist, (2013). *Levuka Historical Port Town (Fiji) No 1399*, 2013 Evaluations of Nominations of Cultural and Mixed Properties to World Heritage List, pp 87-96.
- 13) Bhishna Bajracharya, Anoma Kumarasuriyar, Nur Demirbilek, (2014), *Vernacular Architecture in Queensland, Australia*, QUT ePrints, Open-access archive of QUT research liture
- 14) エルリン・ジョハン「インドネシアにおけるコロニアル住居に関する研究 (その1.コロニアル・スタイルの形成過程)」1983年日本建築学会大会学術講演梗概集 pp2831-2832
- 15) 泉田英雄「シンガポール都市計画とショップハウス 東南アジアの植民地都市と建築に関する研究 その1」1990年日本建築学会計画系論文集 第413号 pp161-172
- 16) 青木隆男「植民地時代の西サモアの建築について」1994年日本建築学会大会学術梗概集 pp1201-1202
- 17) 泉田英雄、黄俊銘「屋根付テラスと連続歩廊の街並み景観について 東南アジアの植民地都市と建築に関する研究 その2」1994年日本建築学会計画系論文集 第458号 pp145-153
- 18) 青木隆男「西サモアの伝統建築について」1995年 日本建築学会東海支部研究報告 pp733-736
- 19) 青木隆男「西サモアにおける居住形態の変遷について」1996年日本建築学会東海支部

研究報告書 第 34 号 pp821-824

- 20) 岡本美樹、小林克弘「オーストラリア建築研究Ⅱ —コロニアル住宅建築に於けるパターン、ブックの引用に関する研究—」1996 年日本建築学会大会学術講演梗概集 pp449-450
- 21) 鷹野智子、羽生修二、友田博通、福川裕一、平幸夫「コロニアル・スタイル町家の分布とファサードの類型について—ベトナム・ホイアンの町並保存に関する調査研究、その10—」1996 年日本建築学会大会学術講演梗概集 pp943-944
- 22) 青木隆男「南太平洋地域の島国におけるコロニアル建築について」1997 年 日本建築学会東海支部研究報告書 第 35 号 pp857-860
- 23) 岡本美樹、小林克弘「ニューサウスウェールズ州植民地住宅の比較分析-ヴェランダの平面形式および規模を中心に-」1997 年日本建築学会計画系論文集 第 499 号 pp223-229
- 24) 坂上みつ子、安藤典子、荻原正三「フィジーの集落形態と住居における伝統とその近代化」1998年 農村計画学会誌 Vol.17, No.2, pp95-106
- 25) 鷹野智子、羽生修二「ベトナム・ホイアンにおけるコロニアル風建築に関する研究 —その建築的特徴と編年—」1998 年日本建築学会大会学術講演梗概集 pp187-188
- 26) 泉田英雄「オズバート・チャドウィックの報告書から見た旧香港植民地の居住改善事業 東南アジアの植民地都市と建築に関する研究 その 3」2003 年日本建築学会計画系論文集 第 567 号 pp179-186
- 27) 西山理沙「植民地時代後期におけるコロニアル式住宅に関する基礎的研究 ～インドネシア・スマランにおけるケーススタディ～」2003 年日本建築学会大会学術講演梗概集 pp215-216
- 28) 西山理沙「20 世紀初頭のジャワにおけるコロニアル式住宅の特徴の一考察」2004 年 日本建築学会東海支部研究報告書集 第 42 号 pp797-800
- 29) 軸丸雅訓、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その1 レブカの歴史とHubbard Report追加調査に関する分析」2005年 日本建築学会九州支部研究報告第44号 pp617-620
- 30) Arif Sarwo WIBOWO、篠野志郎、斎藤敦「19 世紀中葉から 20 世紀初頭の産業化期におけるインドネシアの地方都市クドゥスのコロニアルハウスの特質」2006 年日本建築学会計画系論文集 第 605 号 pp189-197
- 31) 軸丸雅訓、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その2 ビーチストリート地区の現況景観分析」2006年 日本建築学会九州支部研究報告第45号 pp389-392
- 32) 八百坂季穂「歴史的港湾都市レブカにおける文化遺産マネジメントに関する研究」2006年
- 33) Arif Sarwo WIBOWO、篠野志郎、坪田慎介、守田正志「インドネシア・スマランに現存するコロニアルハウスとの比較によるクドゥスのネイティヴ・コロニアルハウスの平面形式の系譜」2007 年日本建築学会計画系論文集 第 615 号 pp215-222
- 34) 八百坂季穂、窪崎喜方、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 3 世界遺産登録に向けての取り組みと住民意識」2007 年 日本建築学会九州

支部研究報告第 46 号 pp337-340

- 35) 花岡拓郎、窪崎喜方、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 4 歴史的景観要素の把握から見た町並み景観の特性」2007 年 日本建築学会九州支部研究報告第 46 号 pp341-344
- 36) 成田聖、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 5 植民地時代における建築の現況と復原」2007 年 日本建築学会九州支部研究報告第 46 号 pp345-348
- 37) 岡田雄輝、横井秀紀、窪崎喜方、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 6 歴史資料による歴史的景観の復元シミュレーションに関する研究」2007 年 日本建築学会九州支部研究報告第 46 号 pp349-352
- 38) 持田皓、白石英巨、脇田祥尚「プノンペン(カンボジア)におけるコロニアル建築の空間構成 —その 1 ファサードデザインの特性—」2007 年 日本建築学会中国支部研究報告集 第 30 巻 pp577-580
- 39) 持田皓、白石英巨、脇田祥尚「プノンペン(カンボジア)におけるコロニアル建築の空間構成 —その 2 増改築による空間利用の変化—」2007 年 日本建築学会中国支部研究報告集 第 30 巻 pp581-584
- 40) 窪崎喜方、八百板季穂、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 7 ステークホルダーからみた遺産保全活動の取り組み」2008 年 日本建築学会九州支部研究報告第 47 号 pp385-388
- 41) 八百板季穂、窪崎喜方、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 8 町並みの形成」2008 年 日本建築学会九州支部研究報告第 47 号 pp389-392
- 42) 成田聖、西山徳明「フィジー諸島共和国旧首都レブカの町並みに関する研究 その 9 植民地時代の建築の現状と復元的考察」2008 年 日本建築学会九州支部研究報告第 47 号 pp393-396
- 43) 渡邊美樹「風景画に見る植民地住居と平面・配置構成-1788年から1850年のニューサウスウェールズにおいて-」2008年 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp393-394
- 44) 八百板季穂、窪崎喜方、西山徳明「南太平洋島嶼における近代都市としての景観の位置付け フィジー国旧首都レブカの文化遺産マネジメントに関する研究 その 1」2010 年 日本建築学会計画系論文集 第 75 巻 第 652 号 pp 1455-1462
- 45) 柴田岳 貝島桃代 土岐文乃 「クイーンズランダーの増築手法と領域構成による構え ブリスベンの市街地における木造戸建銃タックの増築手法と街並み形成(1)」2010 年 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp353-354
- 46) 柴田岳 貝島桃代 土岐文乃 「クイーンズランダーの構えの類型と街並み分析 ブリスベンの市街地における木造戸建銃タックの増築手法と街並み形成(2)」2010年 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp355-356
- 47) 柴田岳 貝島桃代 土岐文乃 大倉健「クイーンズランダー様式の定義と系統 移築から見たクイーンズランダー様式の継承(1)」2012年 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp577-578
- 48) 柴田岳 貝島桃代 土岐文乃 大倉健「移築タイプとクイーンズランダー様式の関係



- 移築から見たクイーンズランダー様式の継承(2)」2012年 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp579-580
- 49) 戸井田哲郎 金野千恵 塚本由晴 能作文徳 高橋寛 ホンソッピ 佐々木啓 Fass Guillaume 山道拓人「ベランダの変形から見たクイーンズランダーの構え」2012年 日本建築学会大会学術講演梗概集 pp541-542
- 50) 竹田美理 藤枝絢子 小林広英「フィジー村部落におけるエコツーリズムの実践と課題—ナタレイラ村・コロバ集落・ナバラ村の事例調査を通じて—」2014年 日本建築学会近畿支部研究発表会 pp289-292
- 51) 小林広英、藤枝絢子「フィジー伝統木造建築・ブレにみる在来建築技術に関する調査研究」2016年 日本建築学会計画系論文集 81巻 724号 pp1303-1313
- 52) 宮原真美子、土岐文乃「インド紅茶農園におけるバンガローの特性—ダージリン、ドアーズ、アッサム地方を事例として—」2016年 日本建築学会技術報告集 第22巻 第52号 pp1057-1060
- ・書籍
- 53) Asher Benjamin, (1797), *The Country Builder's Assistant*, COSIMO CLASSICS
- 54) Loudon, J.C. (1833), *An Encyclopedia of Cottage, Farm, and Villa Architecture and Furniture*, A. & R. SPOTTISWOOD London
- 55) J. C. Loudon, (1833), *An Encyclopaedia of Cottage, Farm, and Villa Architecture and Furniture*, A. & R. SPOTTISWOOD London,
- 56) Goodlet & Smith, (1855), *Victoria Stream Saw & Moulding Mills*, Sydney Living Museum所蔵
- 57) William James Smythe, (1864), *Ten Months in the Fiji Islands*, Oxford and London: John Henry and James Parker
- 58) Henry Britton, (1870), *FIJI IN 1870: The letters of "The Argus" Special Correspondent*, Melbourne: Samuel Mullen.
- 59) ALBERT BUILDINGS, (1887), *QUEENSLAND DEPOSIT BANK AND BUILDING SOCIETY*, BRISBANE, Queensland State Library 所蔵
- 60) Publisher Unknown, (1911), *Worker's Homes Type A-T*, Queensland State Library 所蔵
- 61) Publisher Unknown, (1914), *Cottage Designs Regional*, ジョン・ステイブン所蔵
- 62) George Hudson Limited, (1915), *Cottage Home*, Sydney Living Museum所蔵
- 63) Brown & Broad, (1918), *Newstead Homes*, Queensland State Library 所蔵
- 64) George Hudson Limited, (1930), *Hudson's "Ready-Cut" homes: the latest original design book of beautiful bungalows at small cost*, Sydney Living Museum所蔵
- 65) George Hudson Limited, (1950), *Some designs of Hudson's "Ready-Cut" homes*, Sydney Living Museum所蔵
- 66) Alan Richard Tippett, (1968), *FIJIAN MATERIAL CULTURE*, Bishop Museum Press
- 67) A. S. Alston, (1982), *Timbers of Fiji*, The Department of Forestry, Suva
- 68) Timothy J. Macnaught, (1982), *Fijian Colonial Experience*, The Australian National University

- 69) Asesela Ravuvu, (1983), *THE FIJIAN WAY OF LIFE*, University of the South Pacific.
- 70) Anthony D.King, (1984), *The Bungalow*, Oxford University Press, London.
- 71) Mc Carron, S. (1984), *CYCLOPEDIA OF FIJI*, FIJI MUSEUM HISTRIC REPRIENT
- 72) John Young, (1984), *Adventurous Spirits: Australian migrant society in pre-cession Fiji*, University of Queensland Press
- 73) Jeremy Salmond, (1986), *OLD NEW ZEALAND HOUSES 1800-1940*, Heinemann Reed.
- 74) Asesela Ravuvu, (1987), *The Fijian ETHOS*, University of the South Pacific.
- 75) Roger Boulay, R. (1990), *LA MAISON KANAK*, Collection Architectures traditionnelles
- 76) James Broadbent, (1997), *THE AUSTRALIAN COLONIAL HOUSE- Architecture and Society in New South Wales 1788-1842*, HORDERN HOUSE, Sydney
- 77) People of Levuka, (2001), *Levuka Living Heritage*, University of South Pacific
- 78) Crosbie Walsh, (2006), *Fiji: an ENSYCLOPEDIA ATLAS*, The Univercity of the South Pacific, Suva, Fiji
- 79) Cumming, C. F., (2010) *AT HOME IN FIJI*, A. C. Armstrong
- 80) Frédéric Angleviel (2014). *Maisons nouméennes - Patrimoine colonial d'hier et d'aujourd'hui*, Éditions Footprint Pacifique
- 81) 藪内芳彦『ポリネシア』1967年 大明堂
- 82) 太田博太郎ほか『民家のみかた調べかた』1970年 第一法規
- 83) マーガレット/アレクサンダー・ポーター 宮内哲 訳『絵でみるイギリス人の住まい』1984年 相模書房
- 84) 飯塚キヨ『植民都市の空間形成』1985年 大明堂
- 85) R. W. ブランスキル 片野博 訳『イングランドの民家』1985年 井上書院
- 86) 太田邦夫『東ヨーロッパの木造建築』1988年 相模書房
- 87) 太田邦夫『ヨーロッパの木造住宅』1992年 駸々堂
- 88) 藤森照信『日本の近代建築』1993年 岩波書店
- 89) C. F. ベイリ編 中村英勝 他訳『イギリス帝国歴史地図』1994年 東京書籍,
- 90) ジョン・モスグローヴ 飯田喜四郎 訳『世界 建築の歴史』1996年 西村書店
- 91) 岡本美樹『オーストラリア初期建築探訪 シドニー・ホバート・メルボルン』2000年 丸善株式会社
- 92) 熊谷圭知 片山一道『朝倉世界地理講座-大地と人間の物語- 15 オセアニア』2010年 株式会社朝倉書店
- 93) 地球の歩き方編集室『地球の歩き方：フィジー・トンガ・サモア』2015年 ダイアモンド社  
・ 出版年不明
- 94) George Hudson Limited, *Machine Made Cottages*, Sydney Living Museum所蔵
- 95) Saxton & Binns, LTD., *Cottage Homes*, Jonas & CO., Sydney Living Museum所蔵



# 添付資料 調査物件図面

ER-S01

Former Governor's Residence /(NASOBA HOUSE)



柿葺き



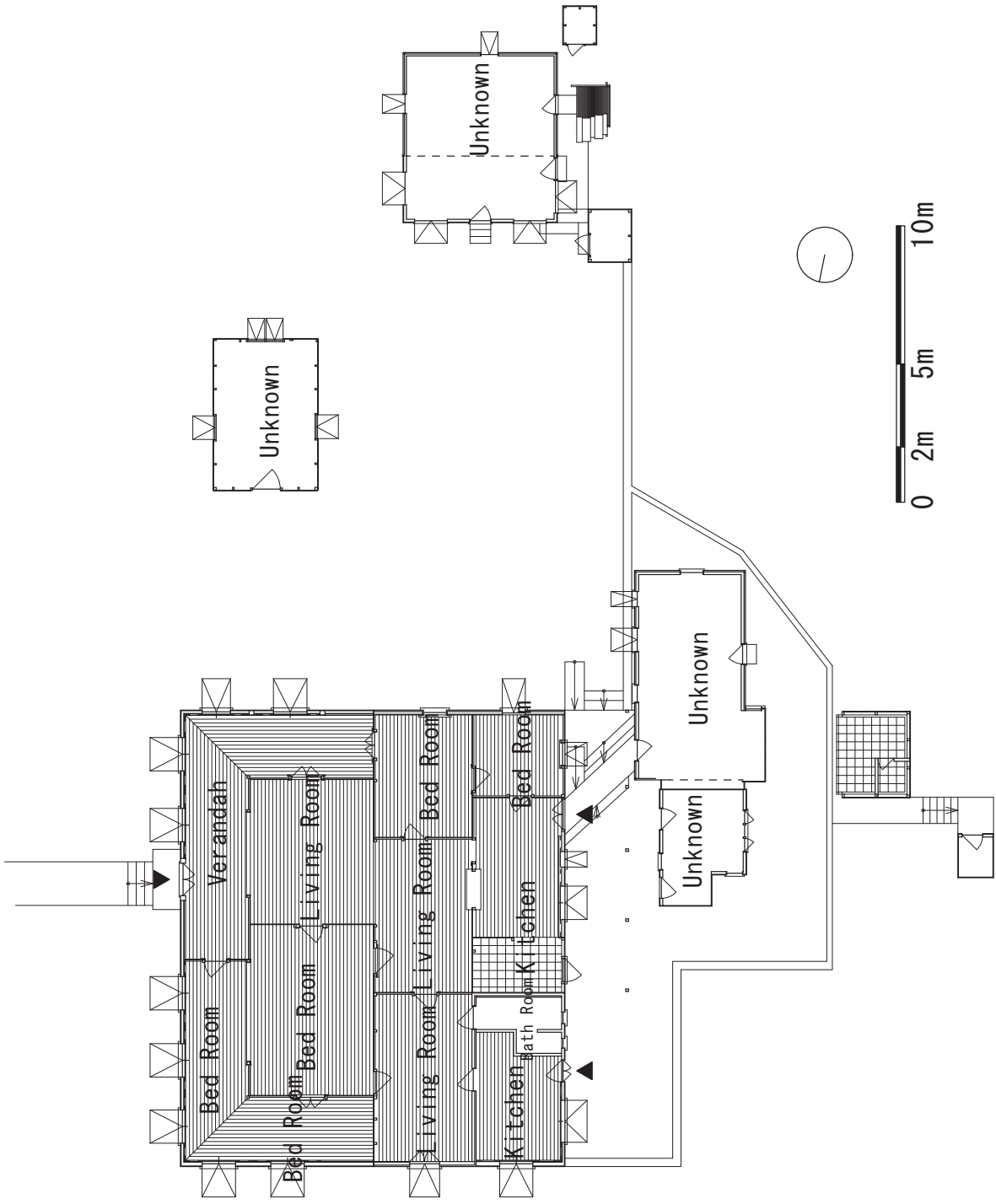
盛土



根太



拡張されたリビング



S01

**NASOBA HOUSE**  
Floor Plan

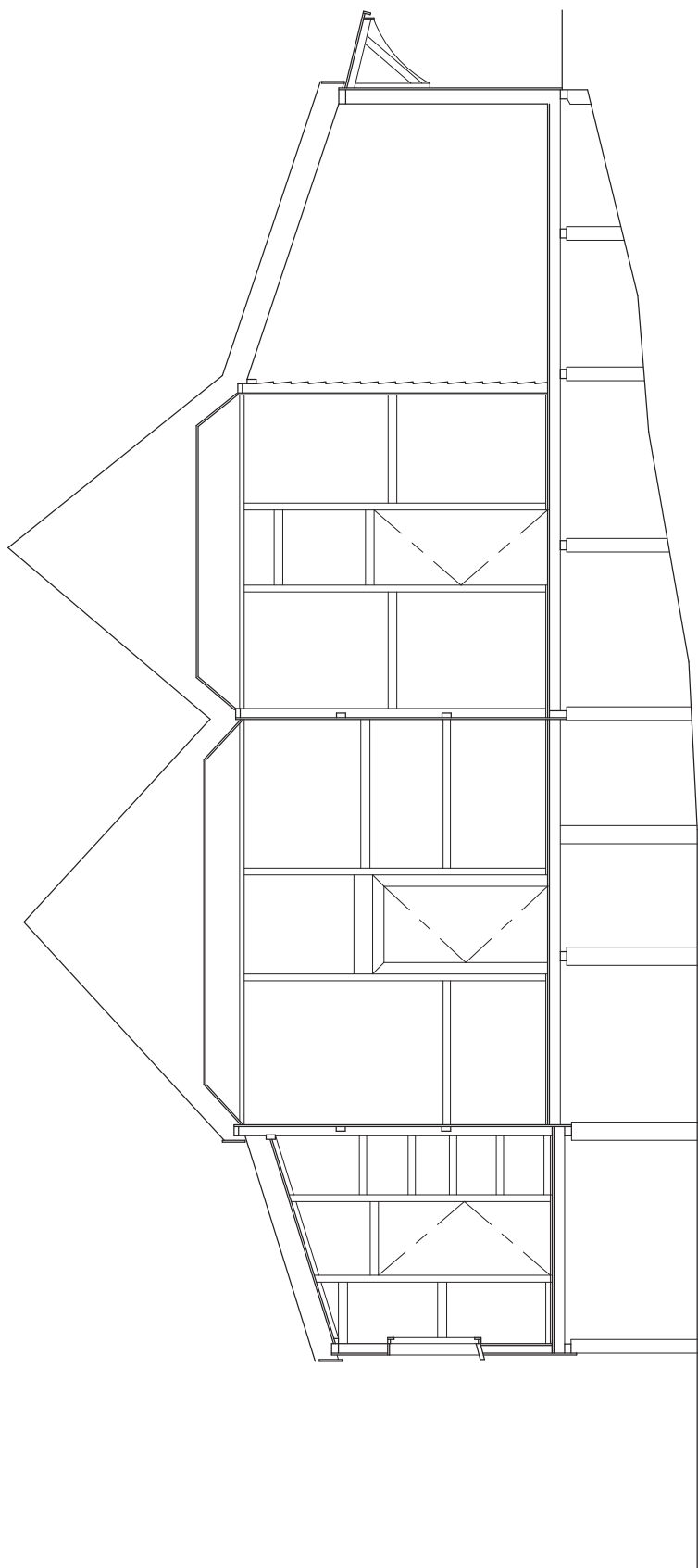
Date

Aug. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY





S01

**NASOBA HOUSE**

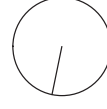
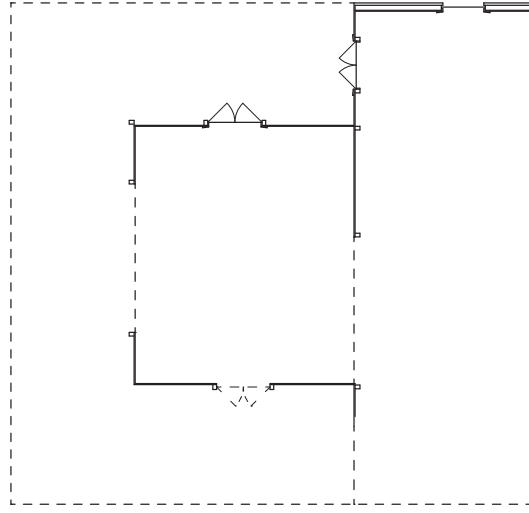
Section

Date

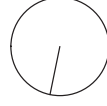
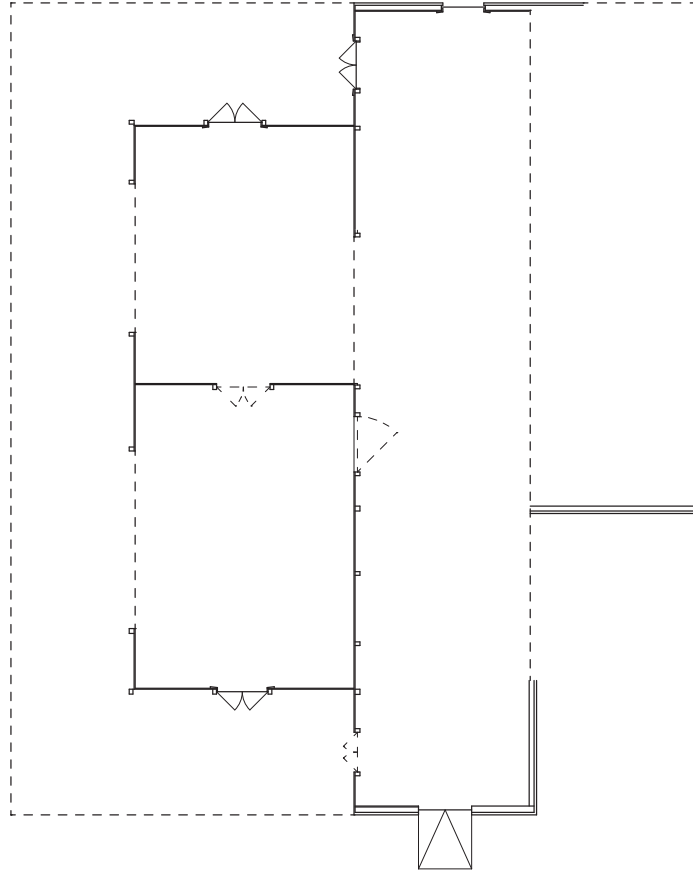
Aug. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



|     |                   |      |                               |
|-----|-------------------|------|-------------------------------|
| S01 | NASOBA HOUSE      | Date | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | 1st Original Plan |      |                               |



|     |                   |      |                               |
|-----|-------------------|------|-------------------------------|
| S01 | NASOBA HOUSE      | Date | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | 2nd Original Plan |      | Kyushu UNIVERSITY             |

ER:S02

Materiti Mateiwai



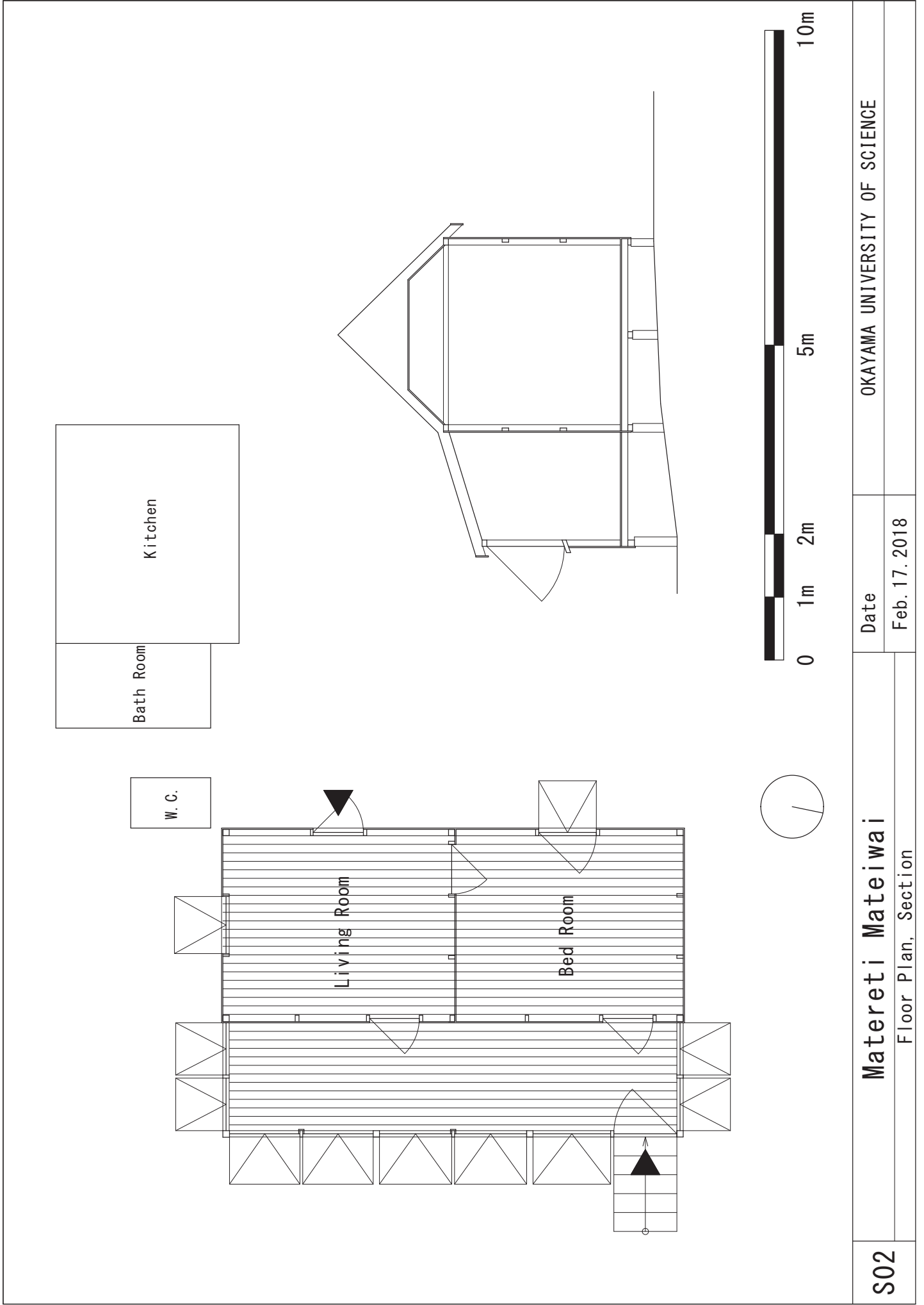
後方付属屋



リビング内観



ベランダ内観



S02

Matereti Mateiwai  
Floor Plan, Section

Date  
Feb. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:S03

Drano Salesi



リビング内観



寝室壁面

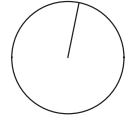
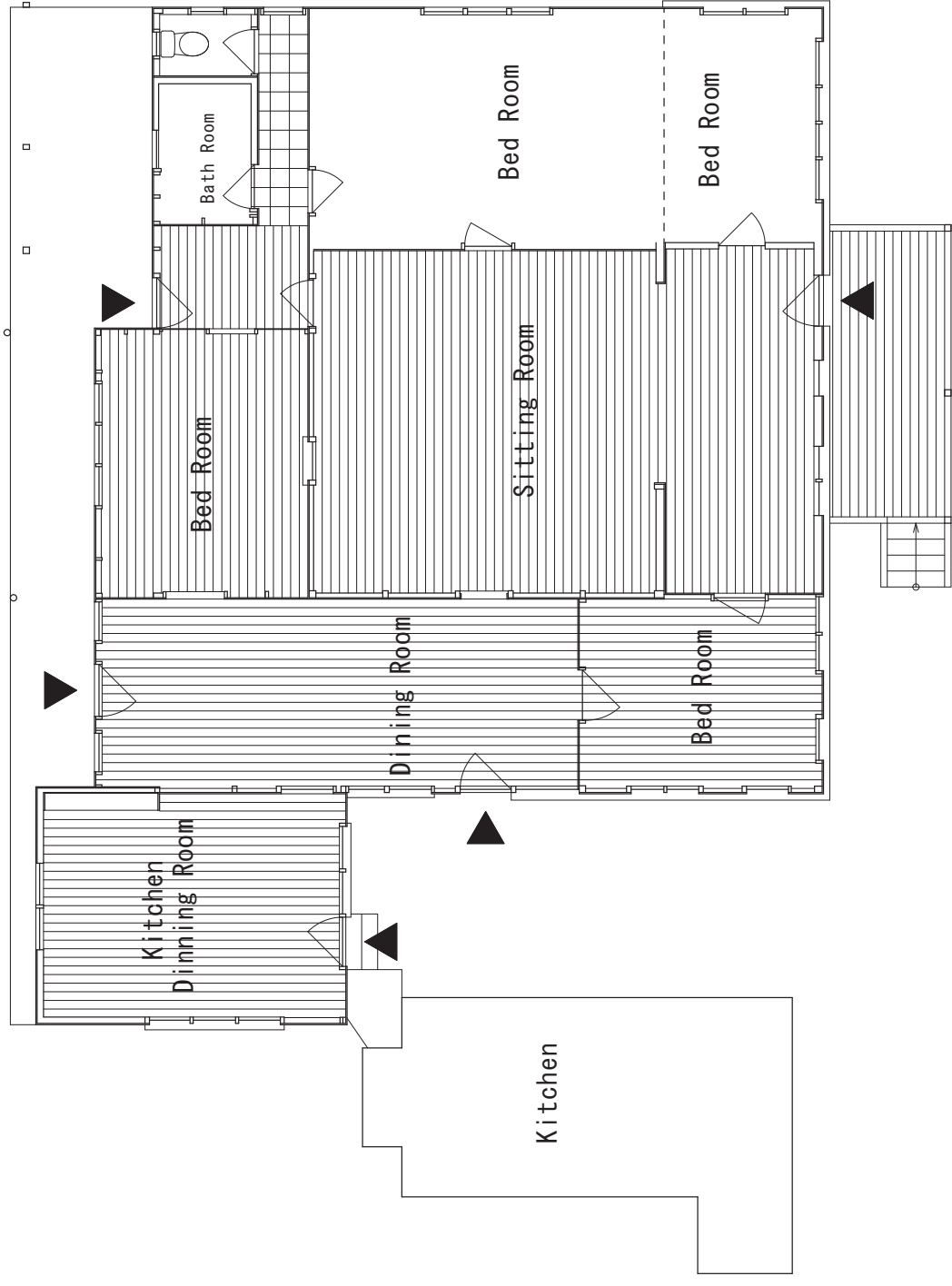


後方周辺室

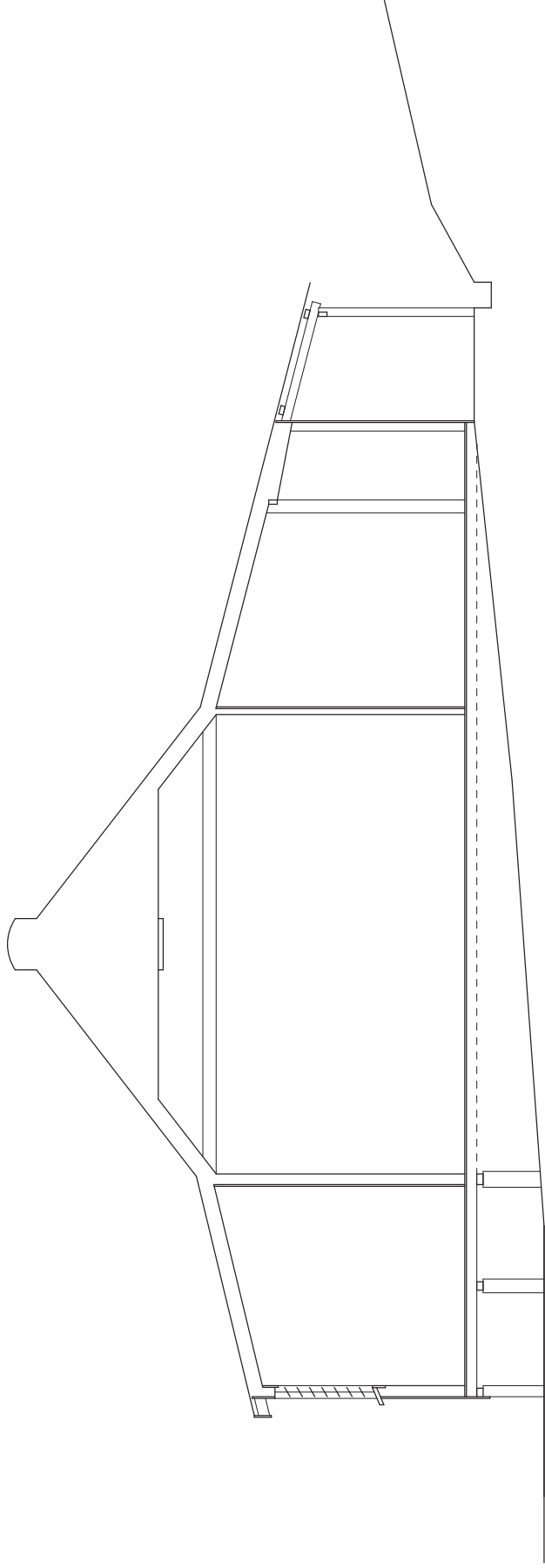


屋根外観





|     |              |               |                               |
|-----|--------------|---------------|-------------------------------|
| S03 | Drano Saresi | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | Floor Plan   | Feb. 17. 2018 |                               |



S03

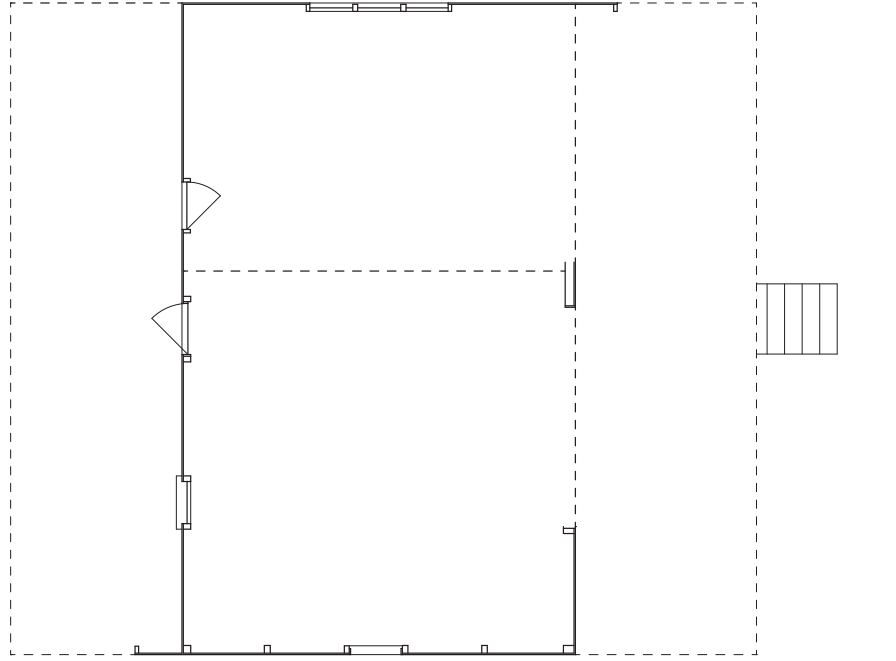
Drano Saresi

Section

Date

Feb. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



|     |               |               |                               |
|-----|---------------|---------------|-------------------------------|
| S03 | Drano Saresi  | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | Original Plan | Feb. 17. 2018 |                               |

ER:S04

Saimoni Dobui



リビング内観



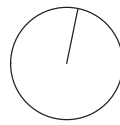
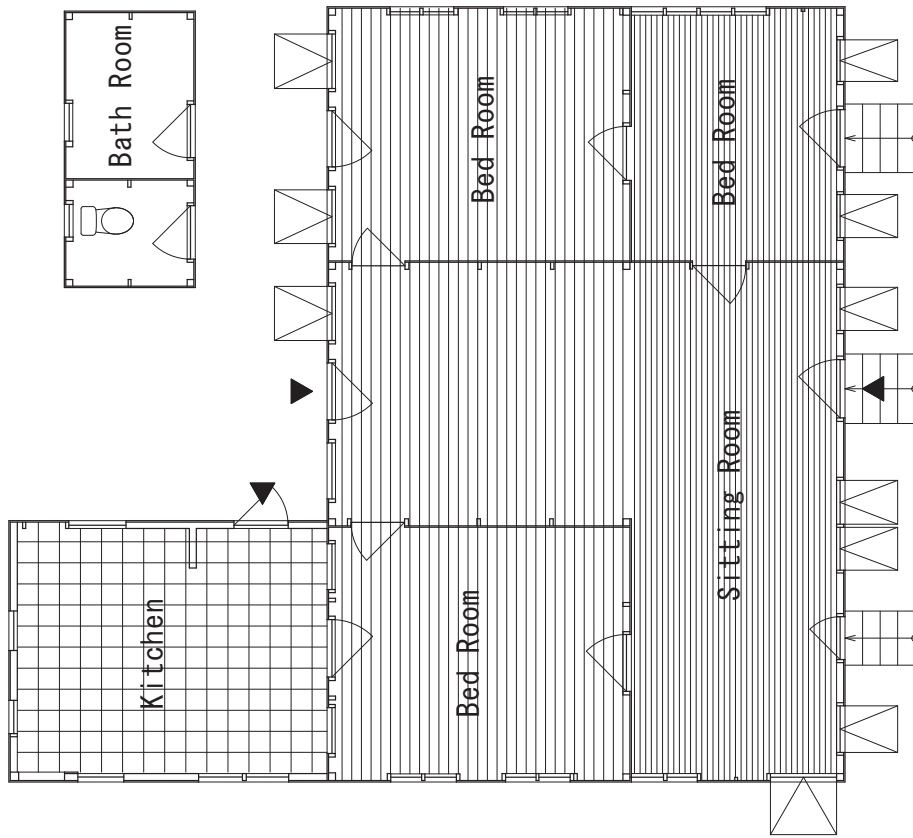
小屋組み



バックヤード



撮影年不明(Fiji Museum 所蔵)



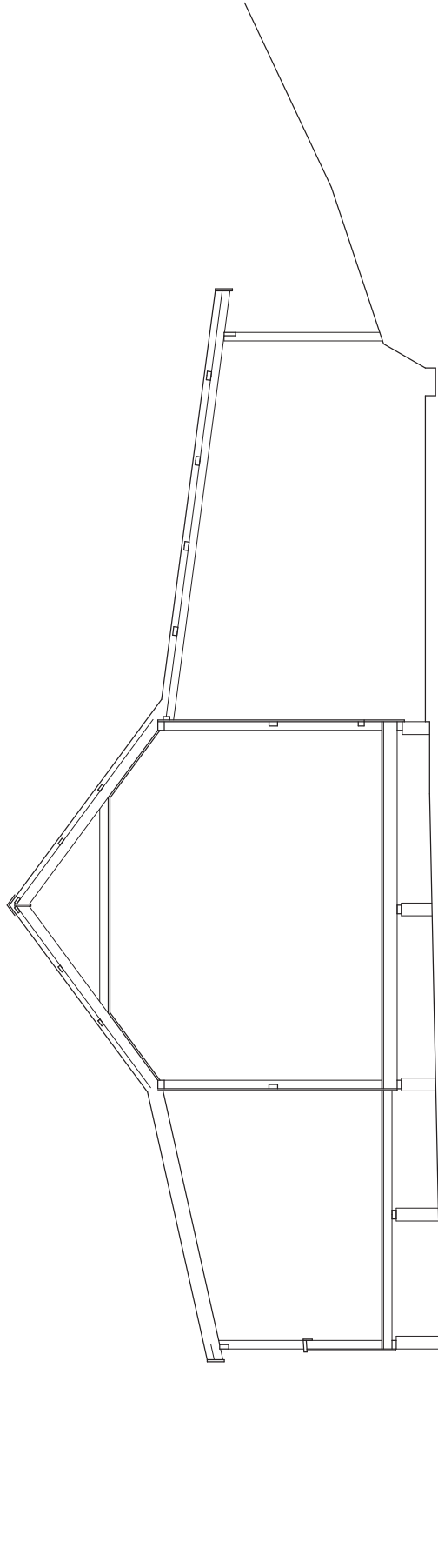
S04

Saimoni Dobui  
Floor Plan

Date

Feb. 18. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S04

Saimoni Dobui

Section

Date

Feb. 18. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:S5

Suliana Sandys



リビング内観



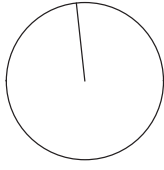
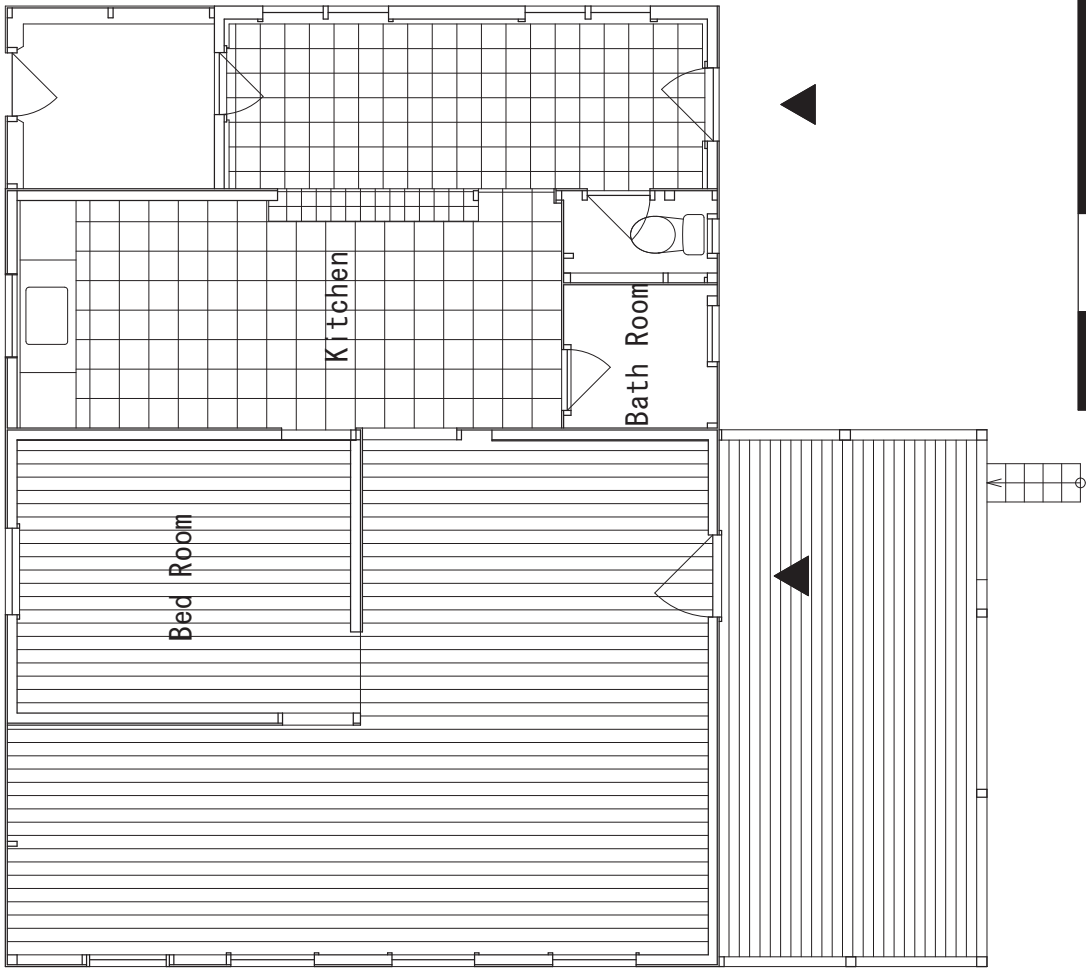
リビング内観



外観



後方外観



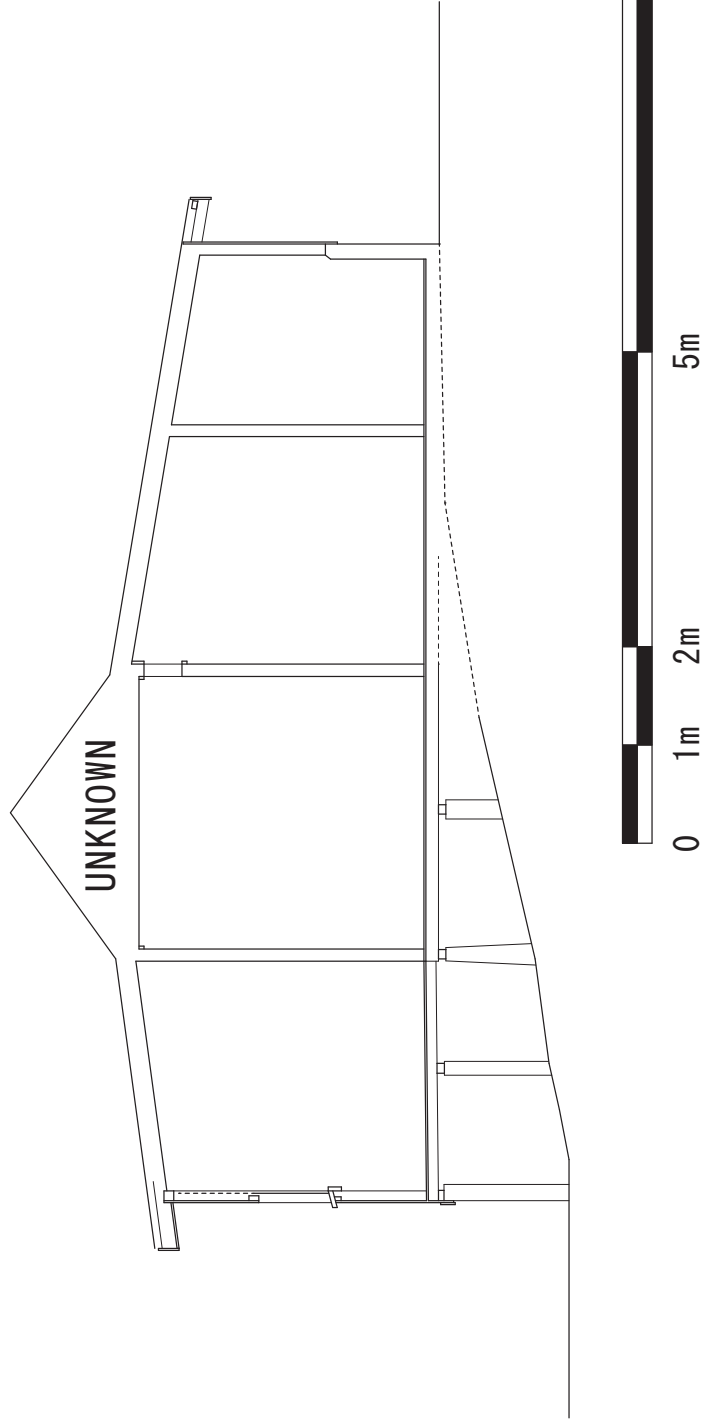
S05

Suliiana Sandy  
Floor Plan

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S05

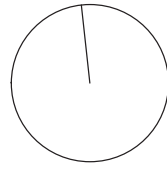
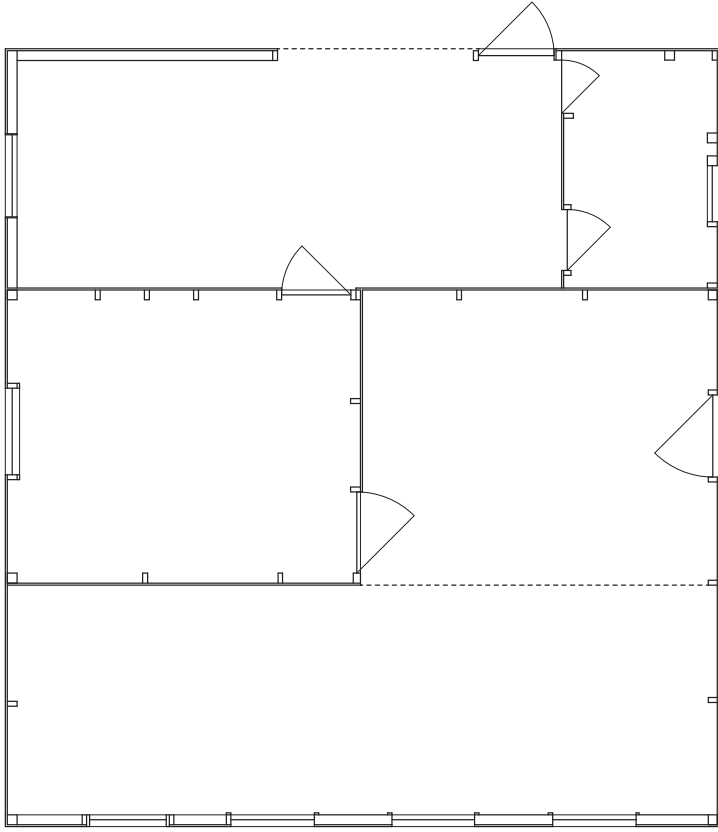
Suliana Sandy

Section

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S05

Suliana Sandy

Original Plan

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

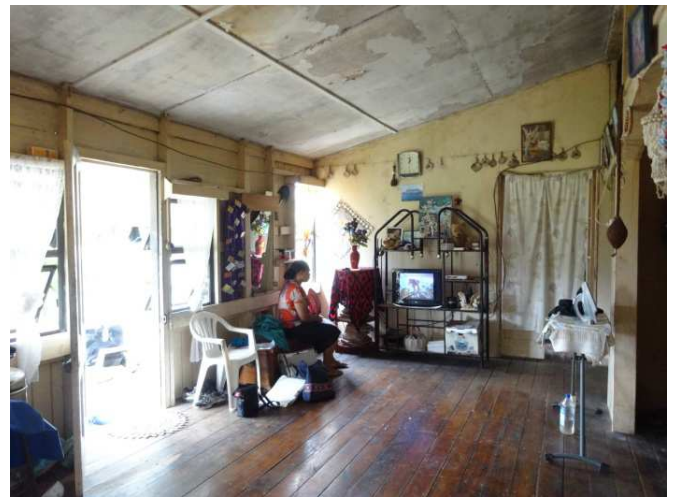


ER:S06

Eseta Vakatale



リビング内観



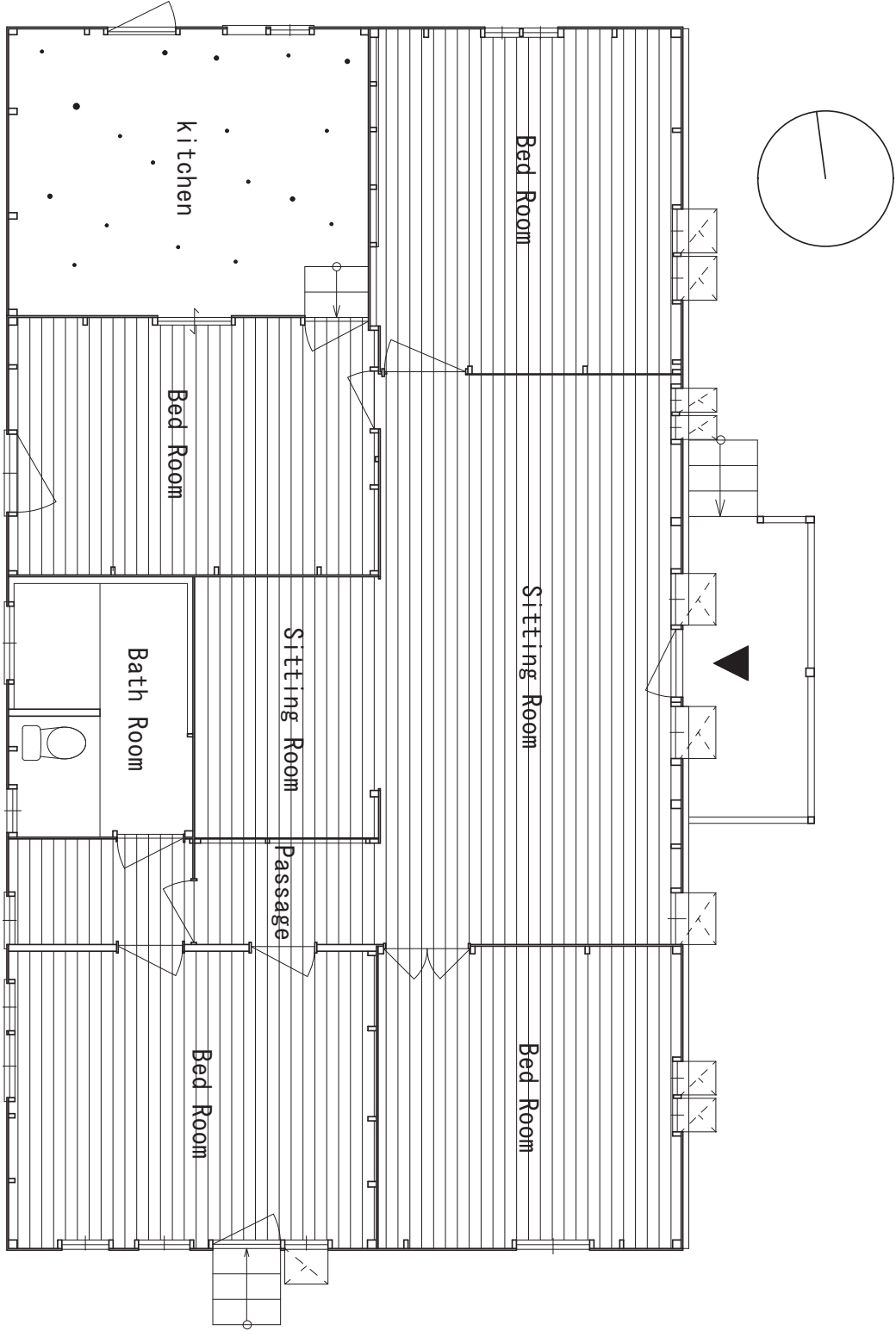
リビング内観



北側外観



寝室内観



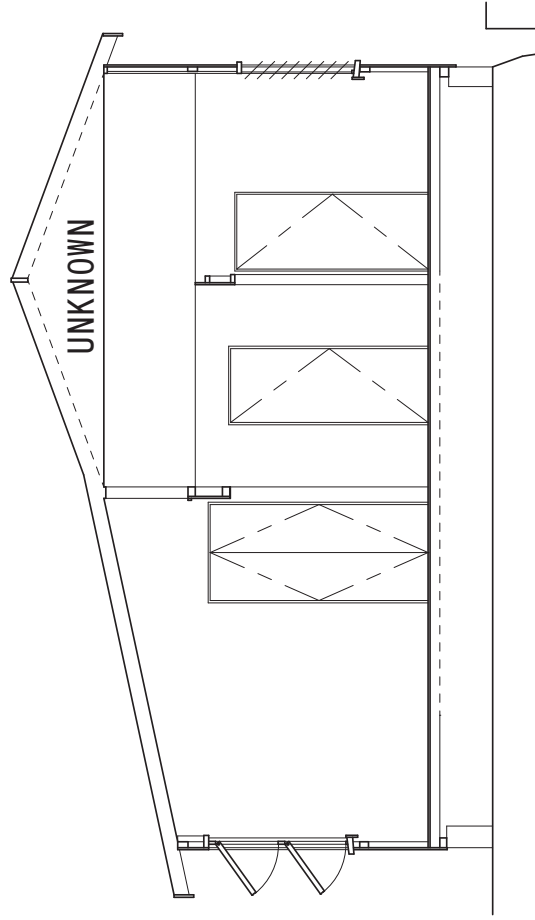
S06

Esta Vakatale  
Floor Plan

Date  
Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





S06

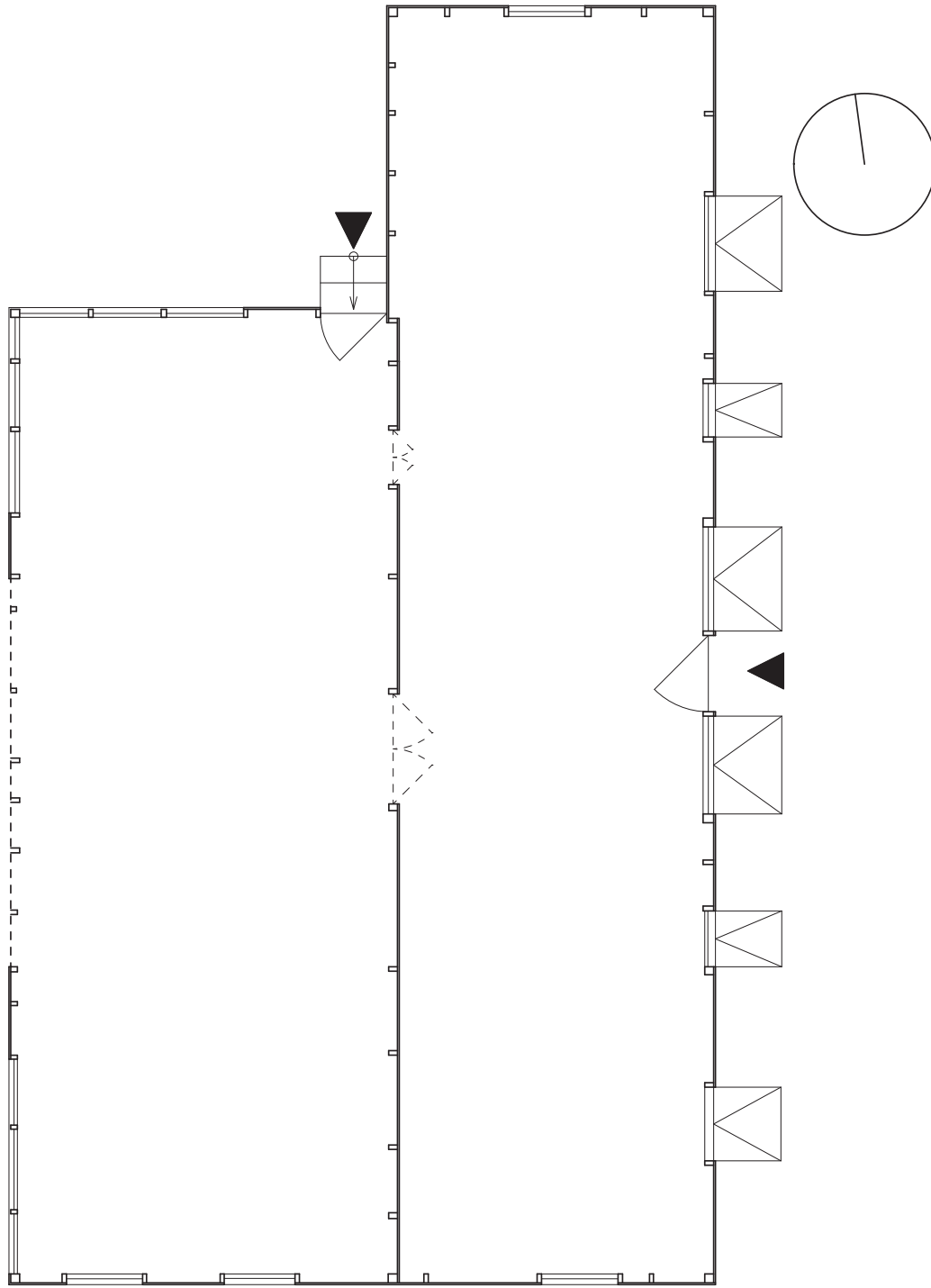
Esta Vakatale

Section

Date

Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S06

Esta Vakatale

Original Plan

Date

Feb. 22. 2017

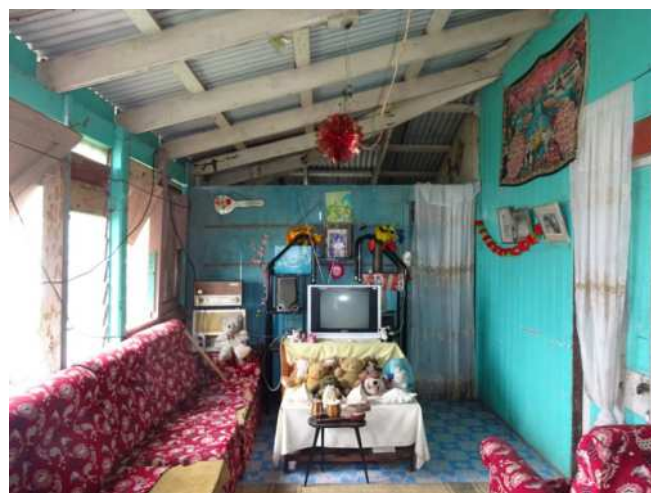
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-S07

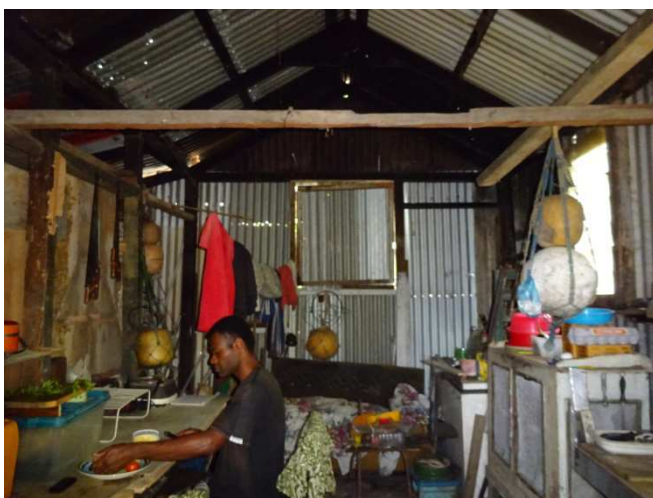
Albert Bechu



リビング内観



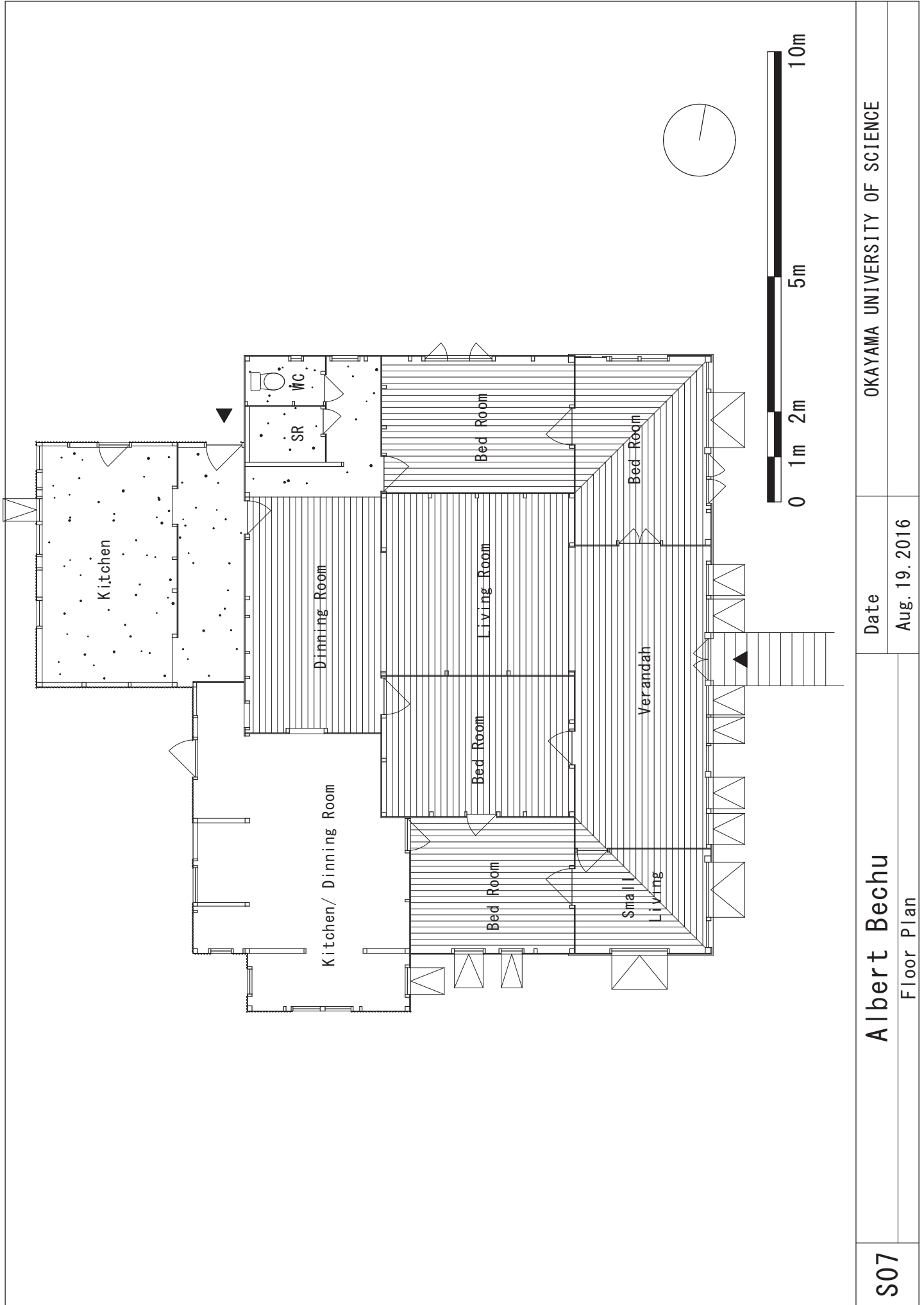
リビング内観



台所内観



屋根外観



S07

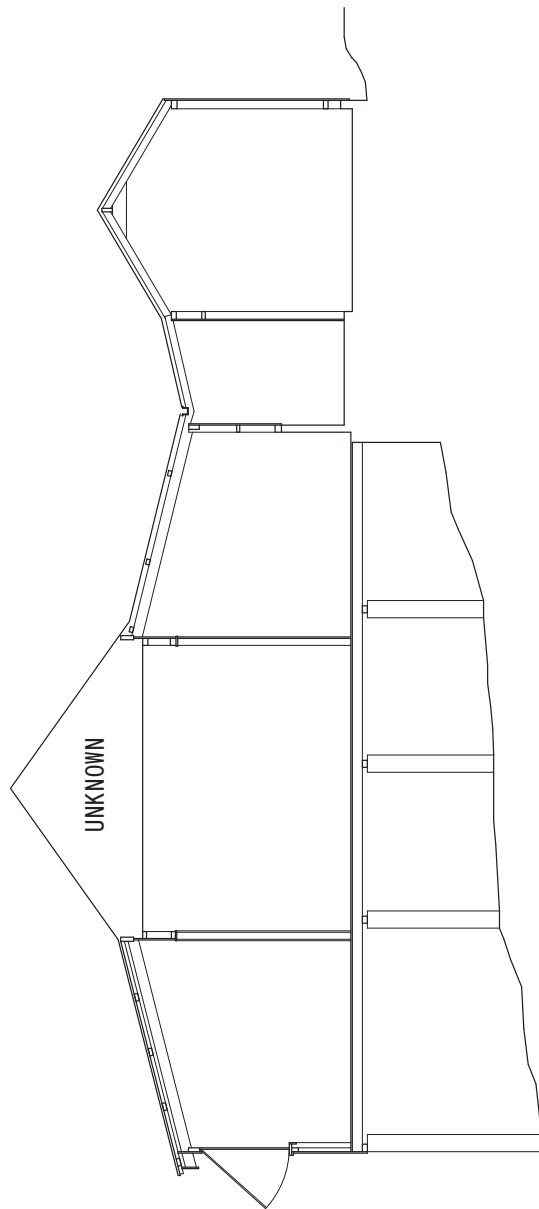
Albert Bechu

Floor Plan

Date

Aug. 19. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S07

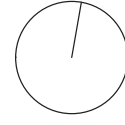
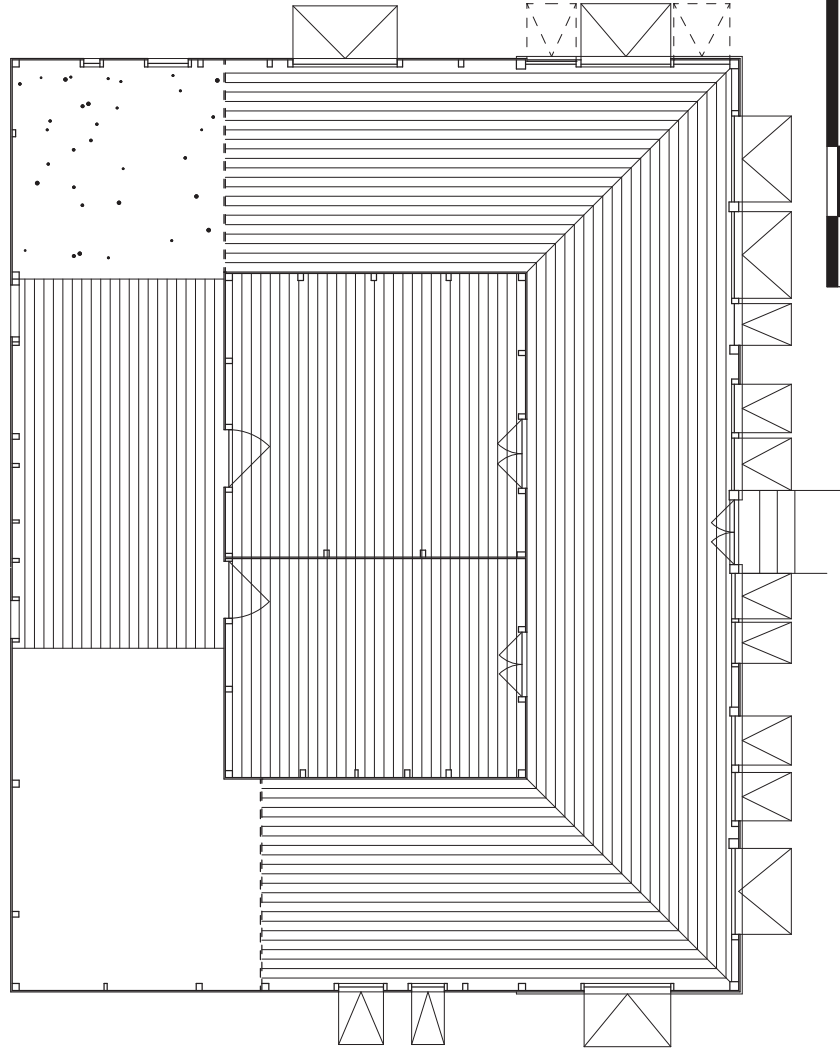
Albert Bechu

Section

Date

Aug. 19. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S07

Albert Bechu  
Original Plan

Date  
Aug. 19. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:S08

SAIMONI LUTU



正面出入口内観



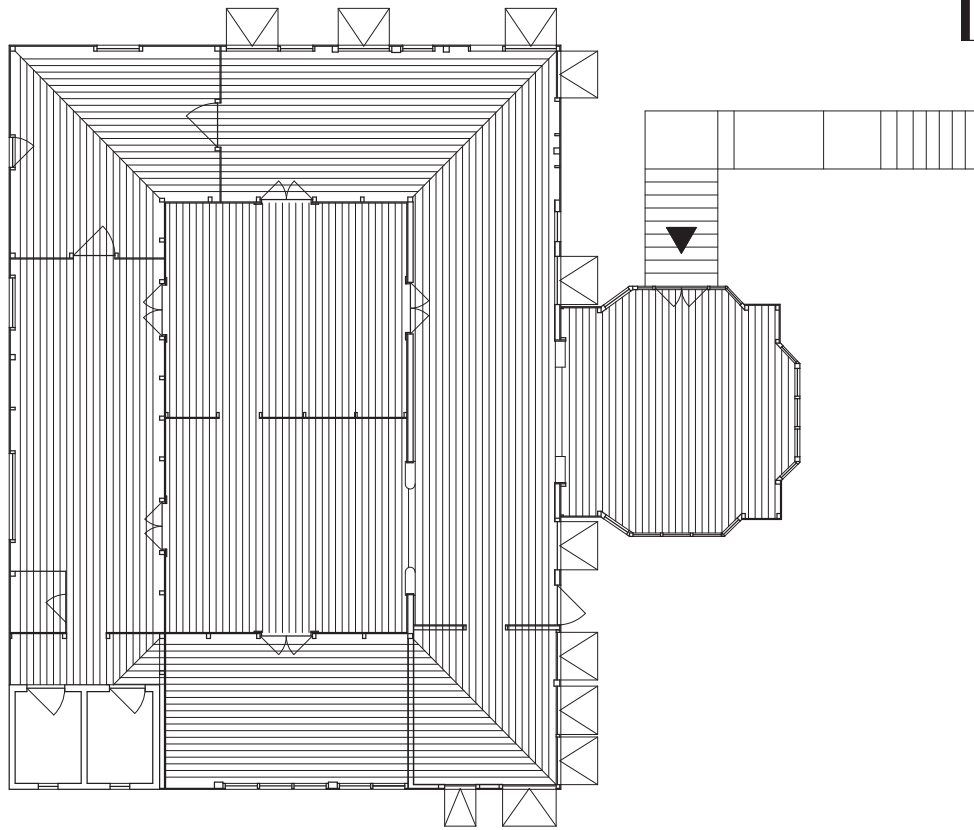
室内内観



後方周辺室内観



室内内観

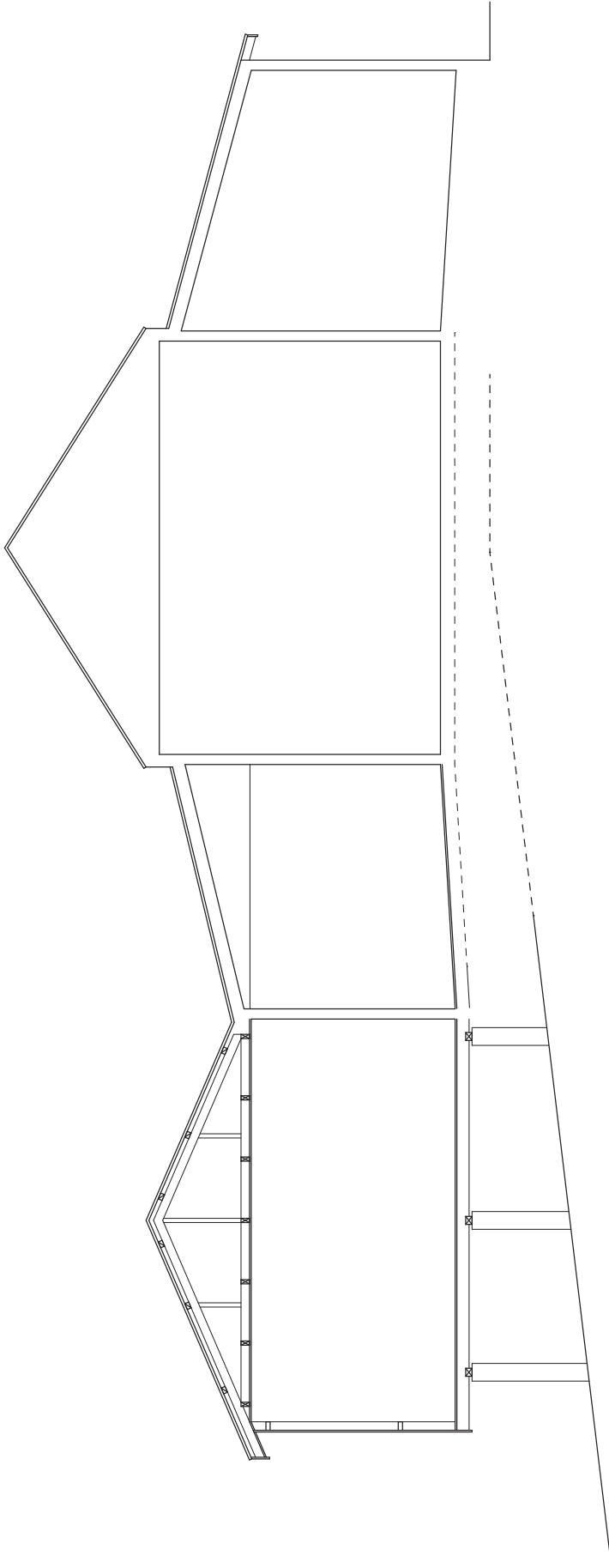


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 13. 2016

**SAIMONI LUTU**  
Floor Plan

**S08**



S08

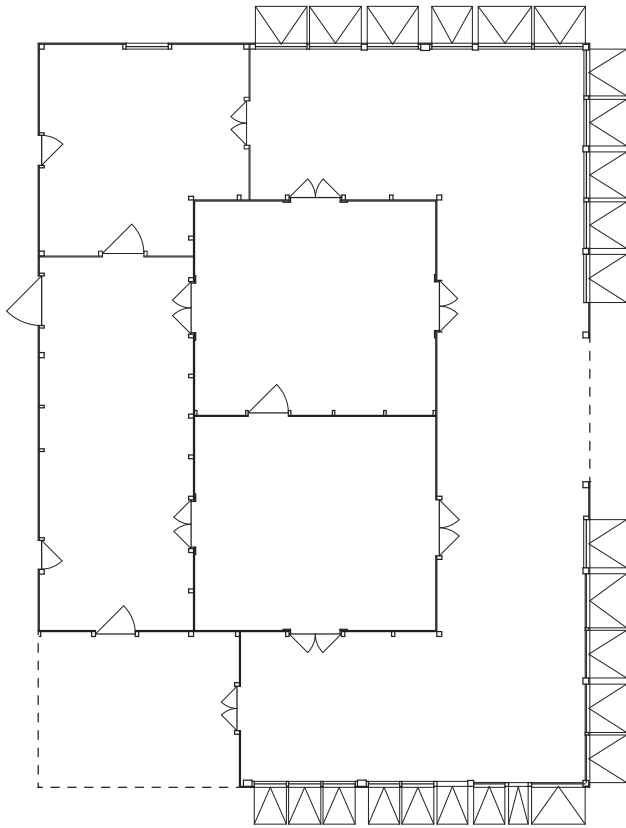
SAIMONI LUTU

Section

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S08

**SAIMONI LUTU**

Original Plan

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER-S09

Sinclair Residence / (NEMANI MARAIWAI)



ベランダ内観



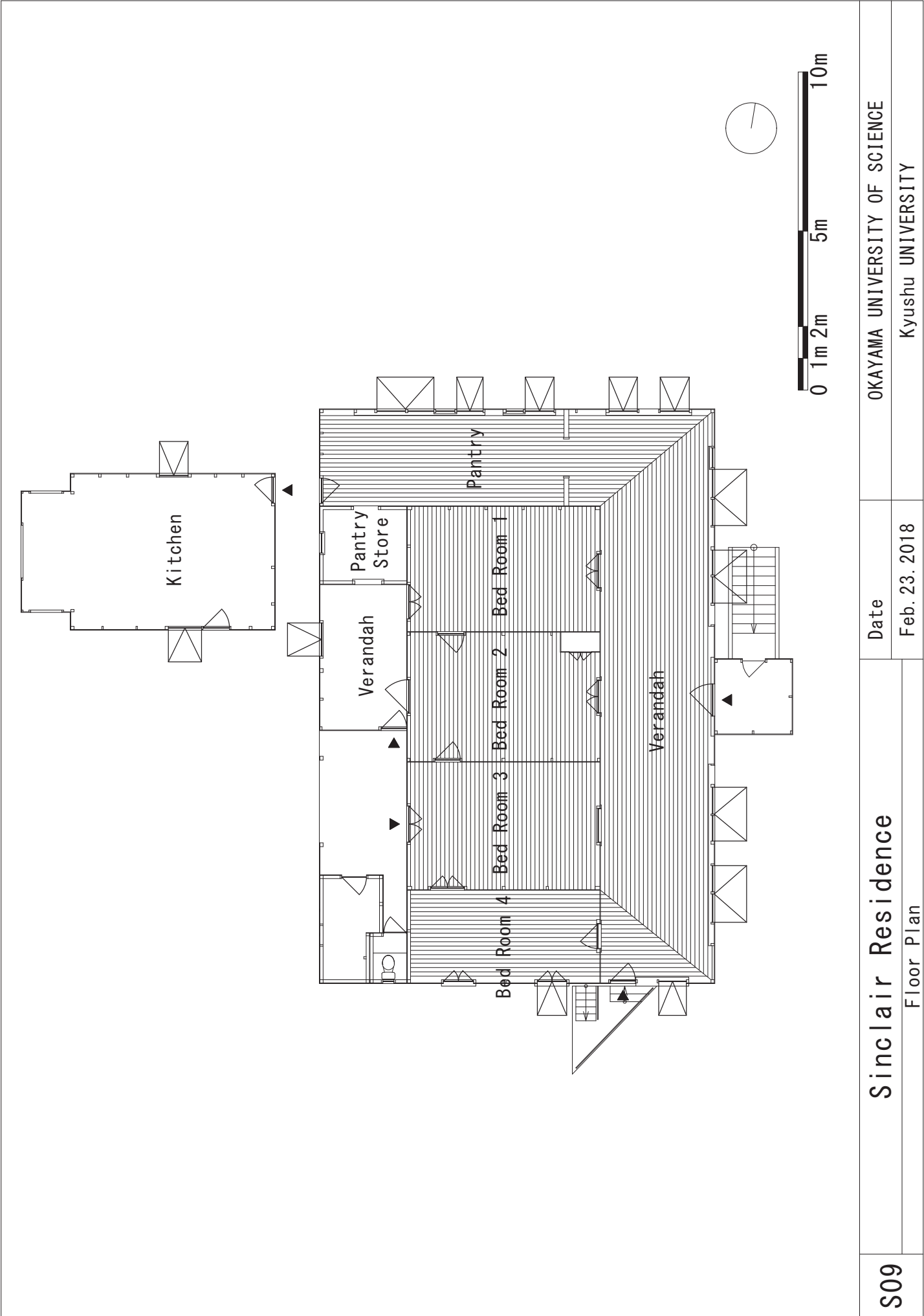
寝室内観



後方ベランダ



別棟台所内観



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

Date

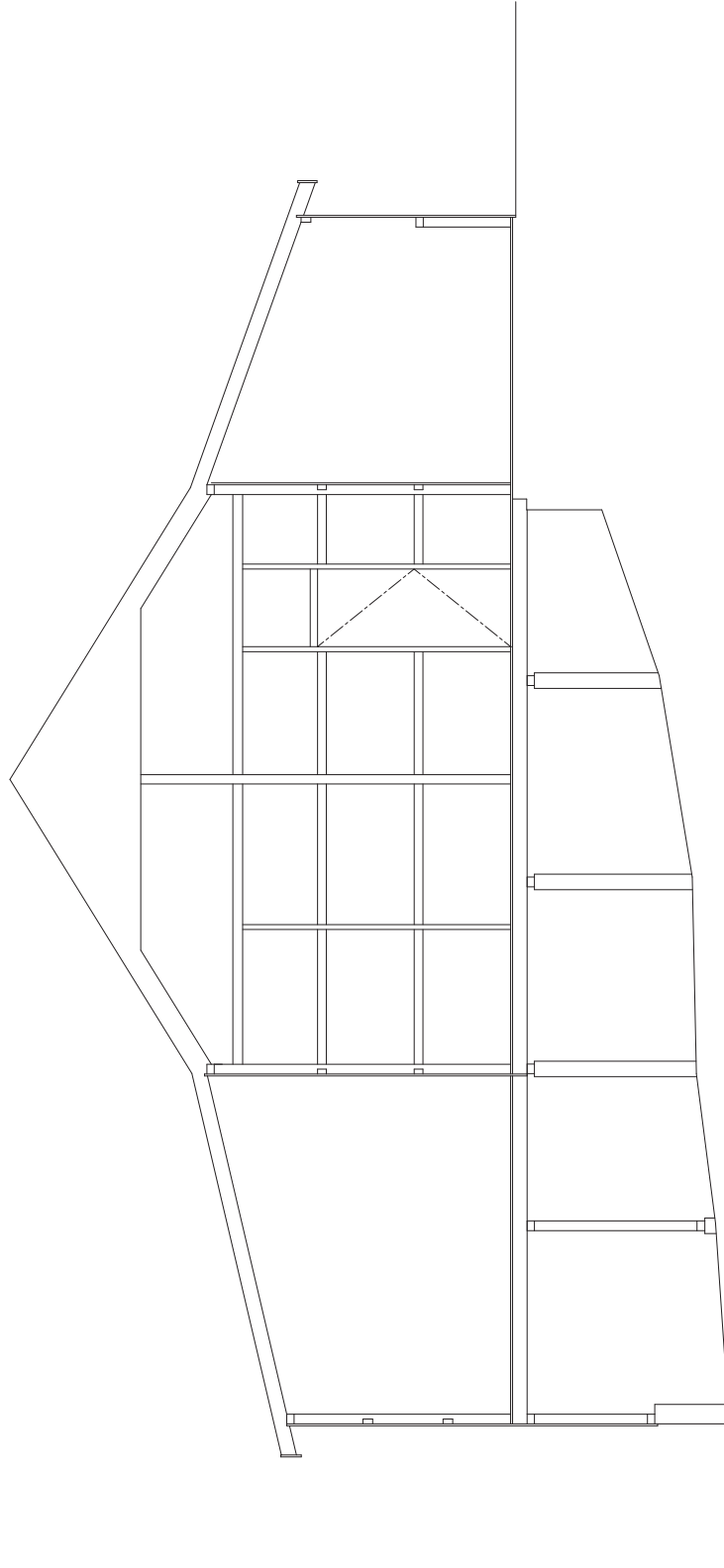
Feb. 23. 2018

Sinclair Residence

Floor Plan

S09





S09

Sinclair Residence

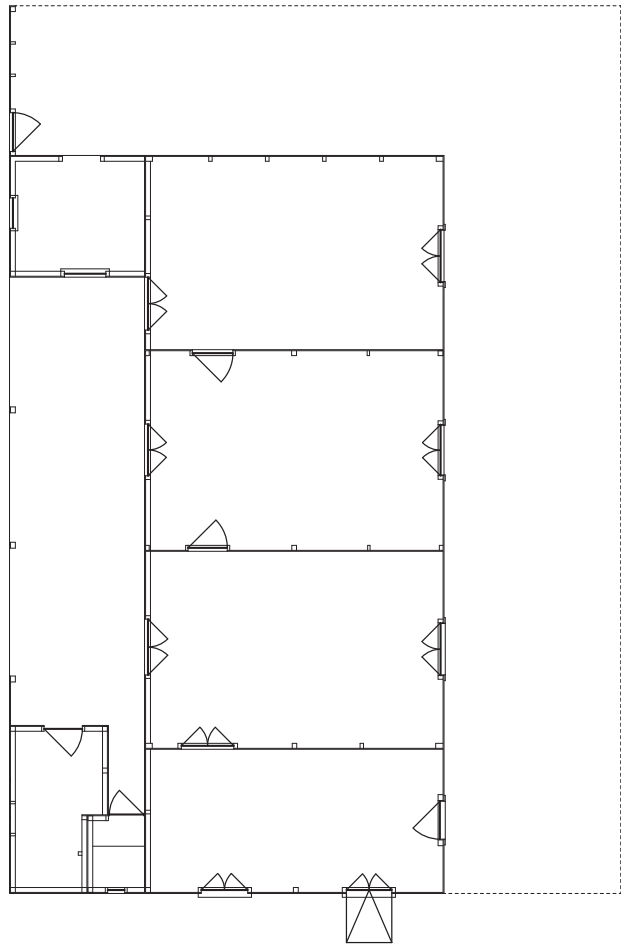
Section

Date

Feb. 23. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



S09

**Sinclair Residence**

Original Plan

Date

Feb. 23. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



内観



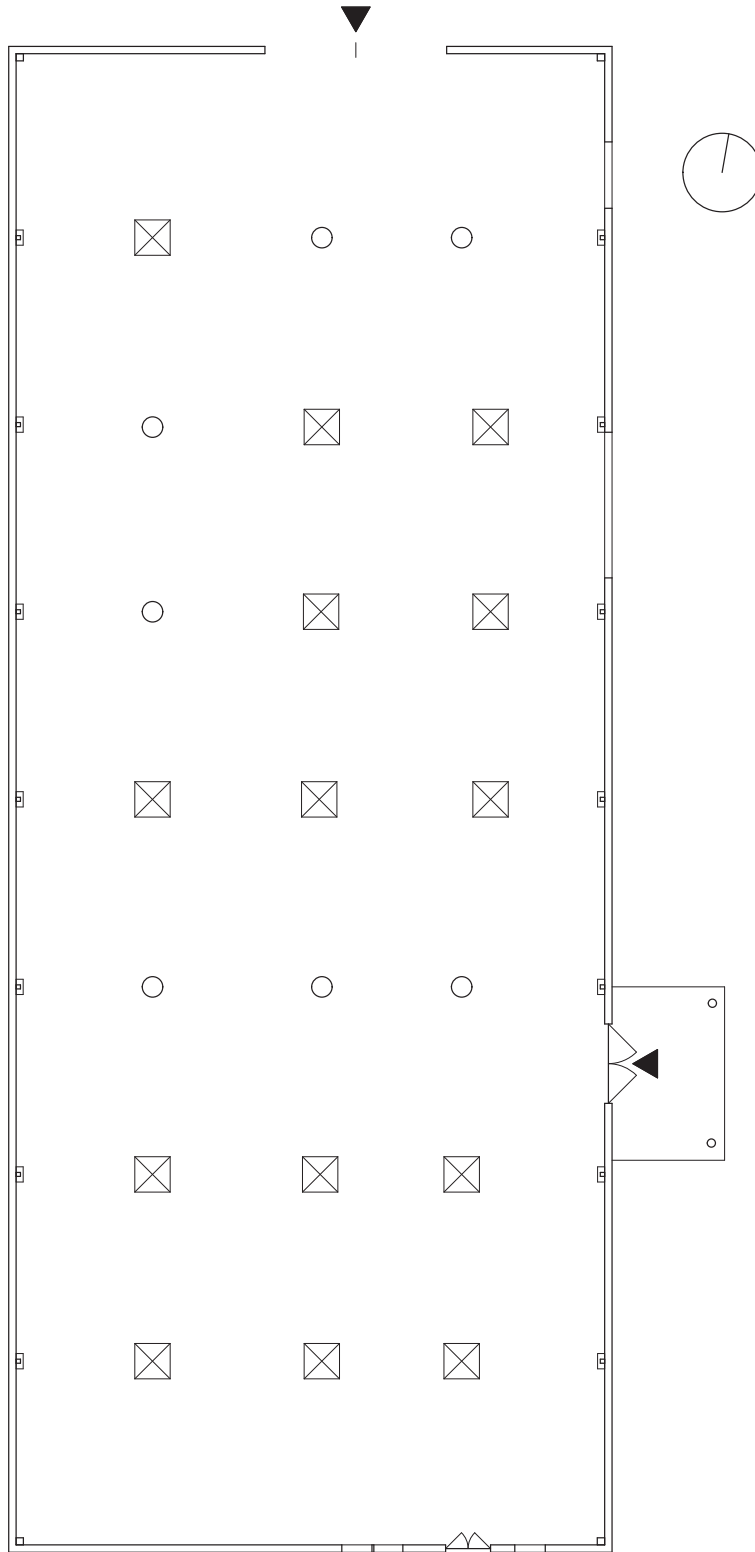
小屋組み



内観



外観



S10

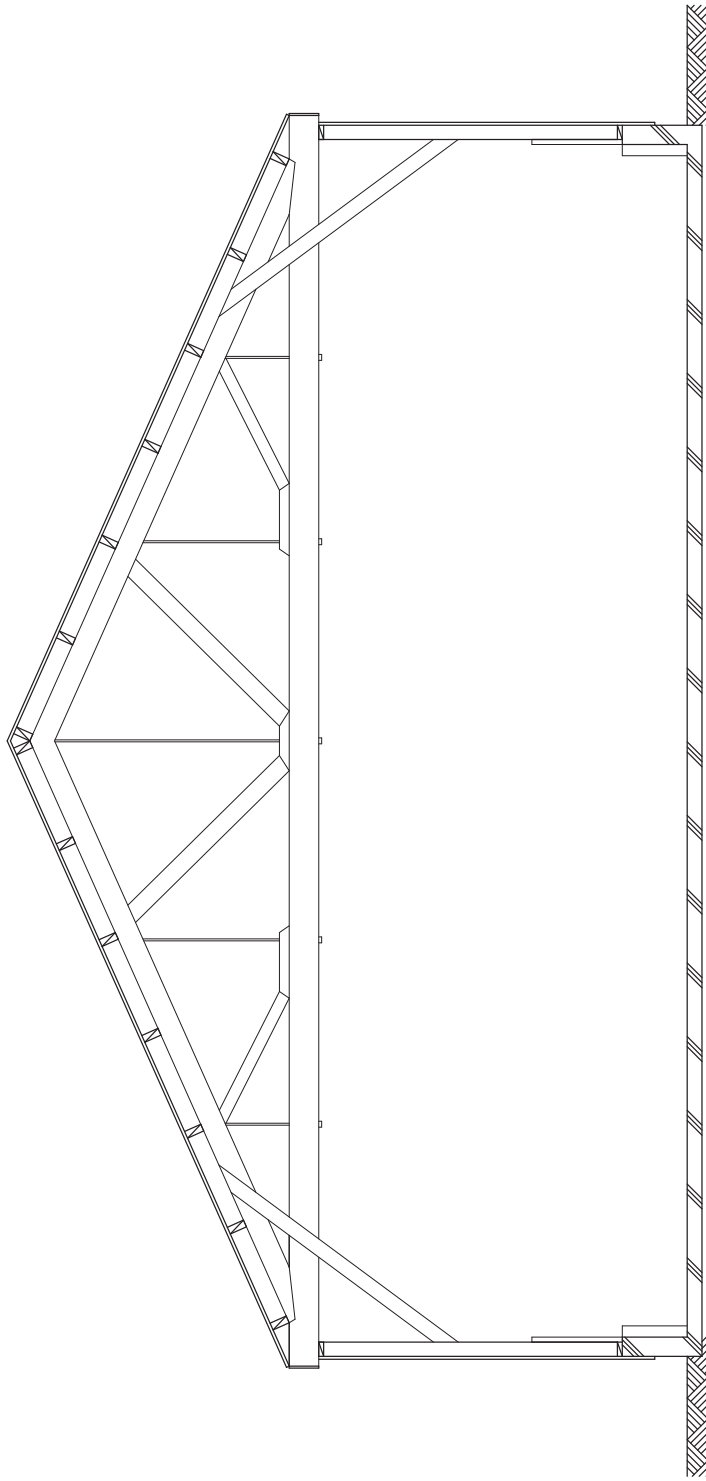
Old Mobil Station

Floor Plan

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S10

Old Mobil Station

Section

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER-S11

Former Burns Philip Copra Shed



東棟内観



北側外観

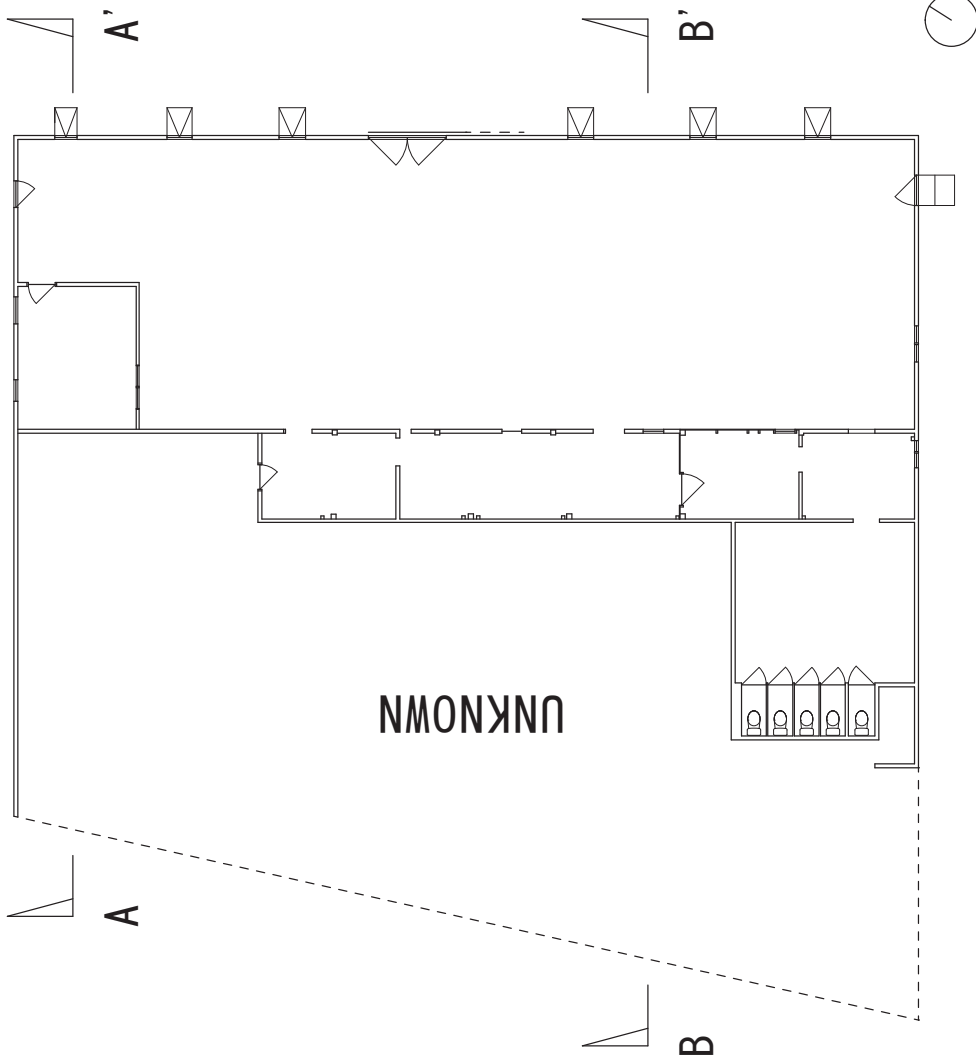


西棟小屋組み



1967年撮影(National Archive 所蔵)





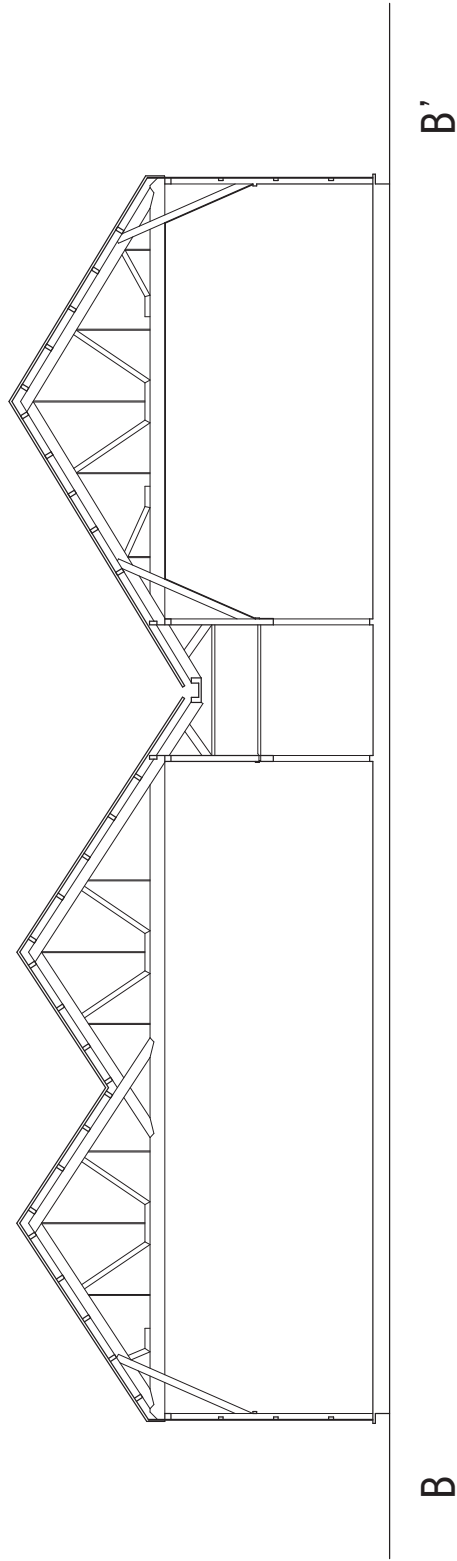
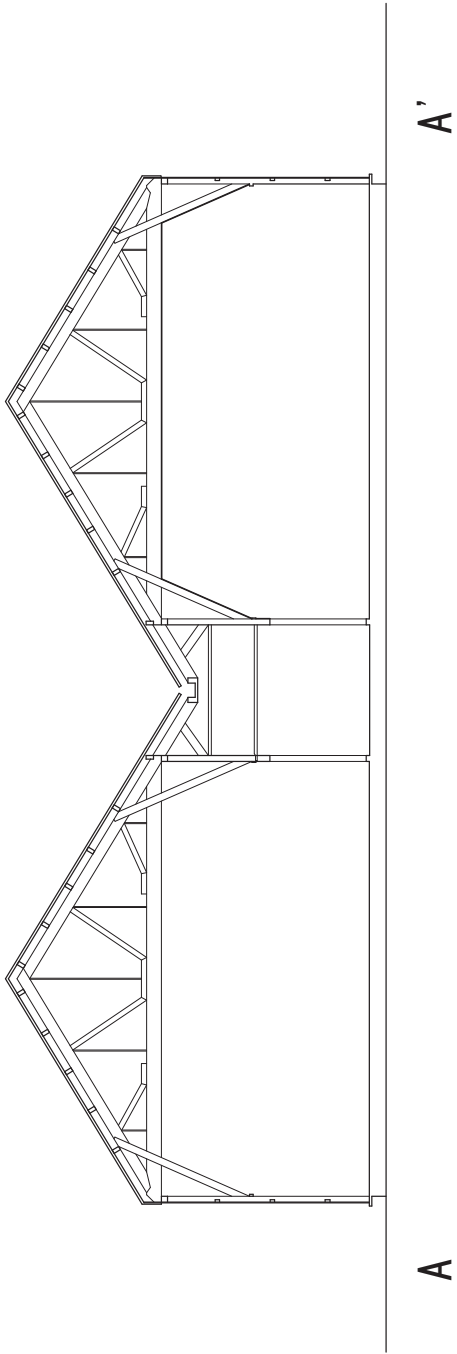
S11

PAFCO Old Strage  
Floor Plan

Date

Aug. 18. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



|     |                  |               |                               |
|-----|------------------|---------------|-------------------------------|
| S11 | PAFCO Old Strage | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | Section          | Aug. 18. 2016 |                               |

ER-S12

Ports Authority Building /

(FIJI PORT CORPORATION (HM HOMEMAKER))



倒壊前外観(2007年九州大学撮影)



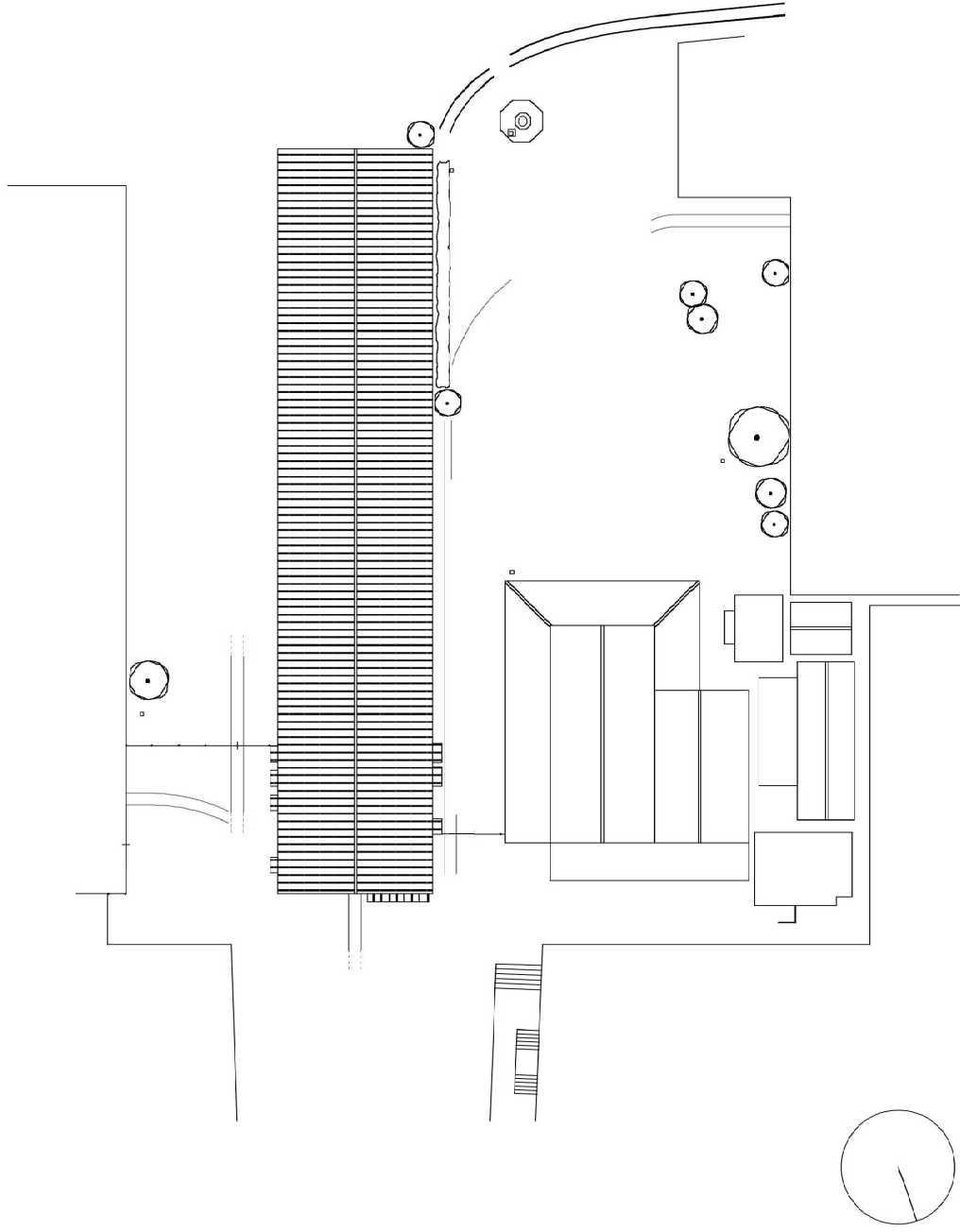
内観(2007年九州大学撮影)



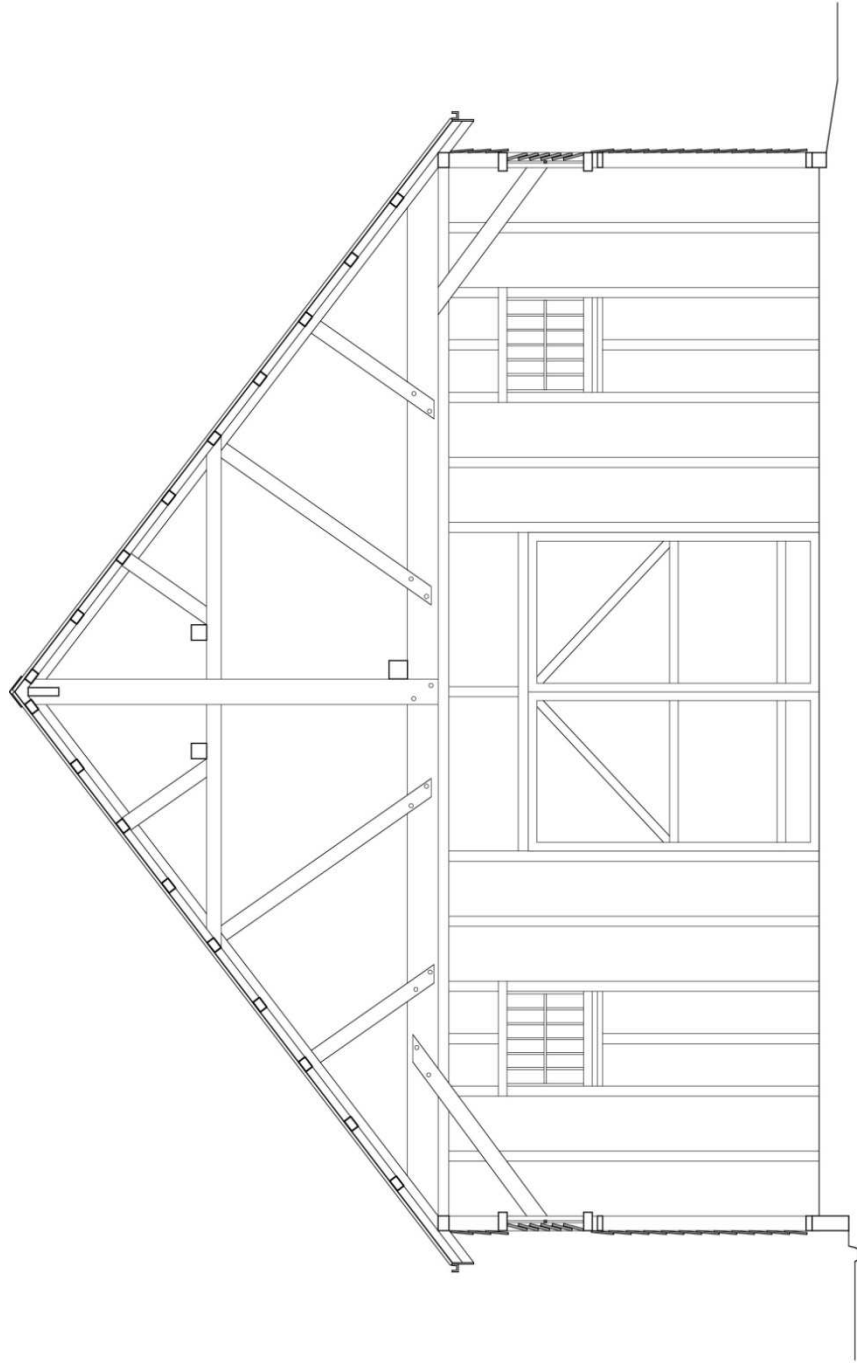
内観(2007年九州大学撮影)



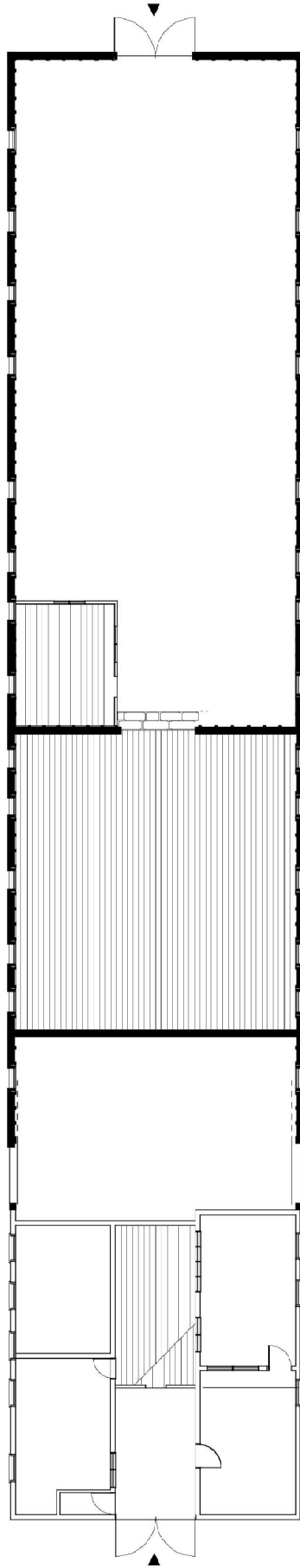
東側外観



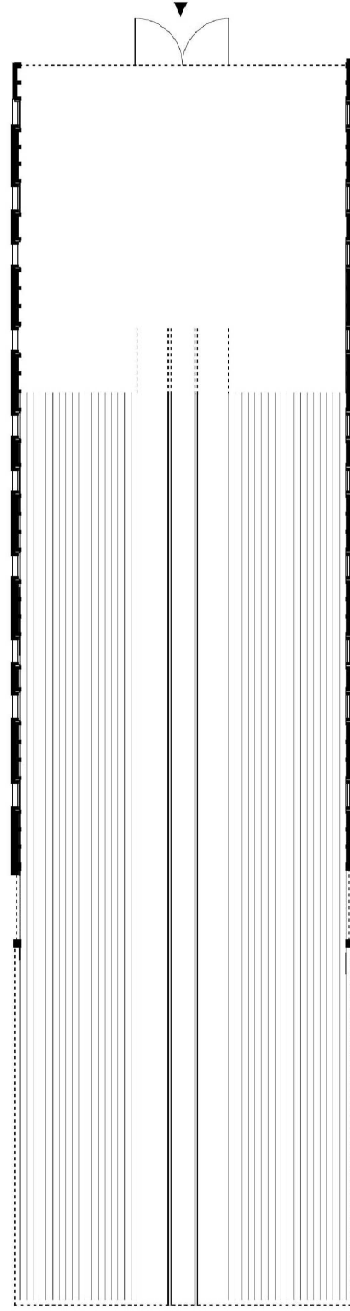
Site Plan



Section



Floor Plan



Original Plan



ER-S13

Post Office/Custom Authority



ベランダ内観(2007年九州大学撮影)



オフィス内観(2007年九州大学撮影)

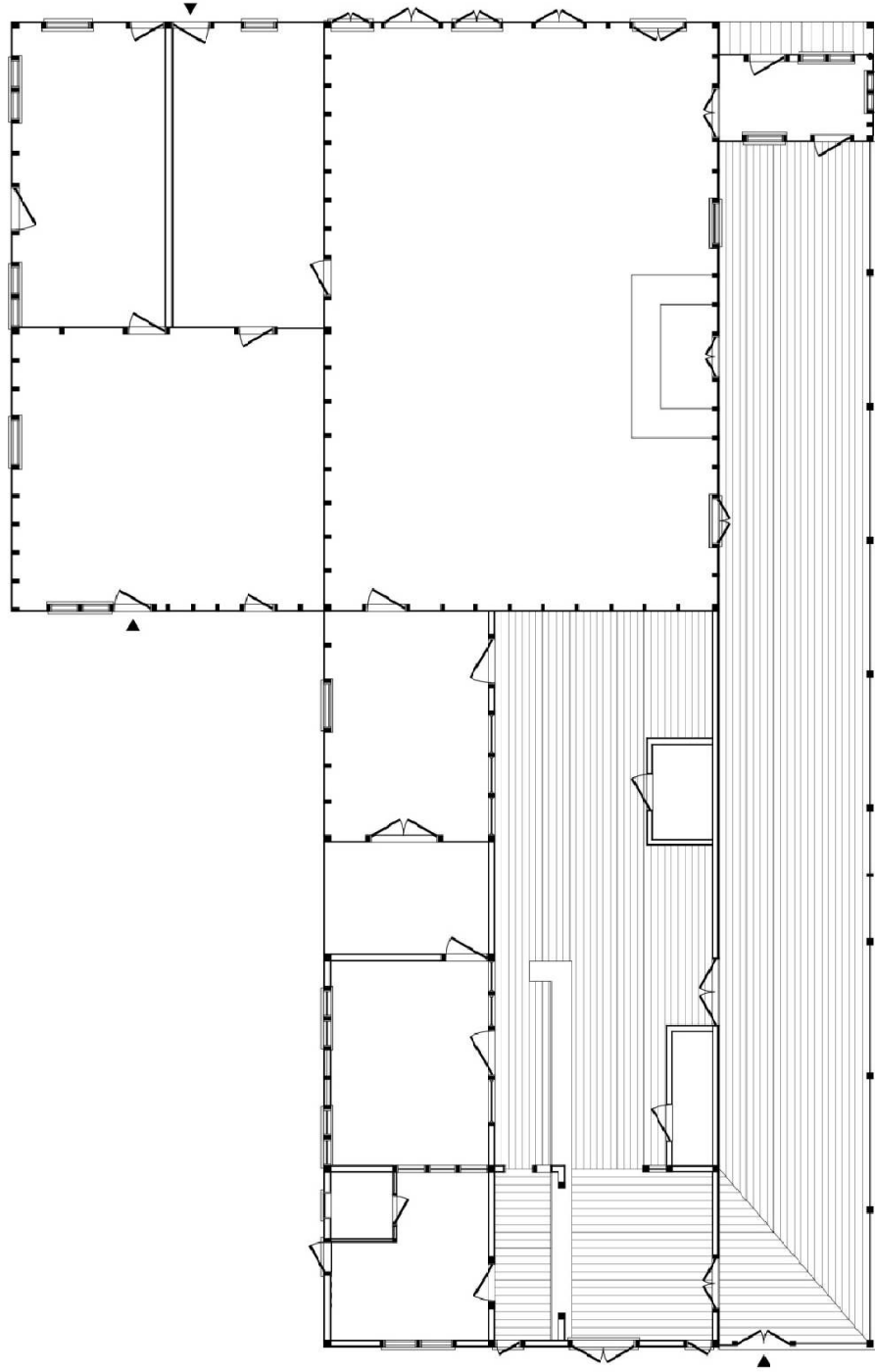


東側外観

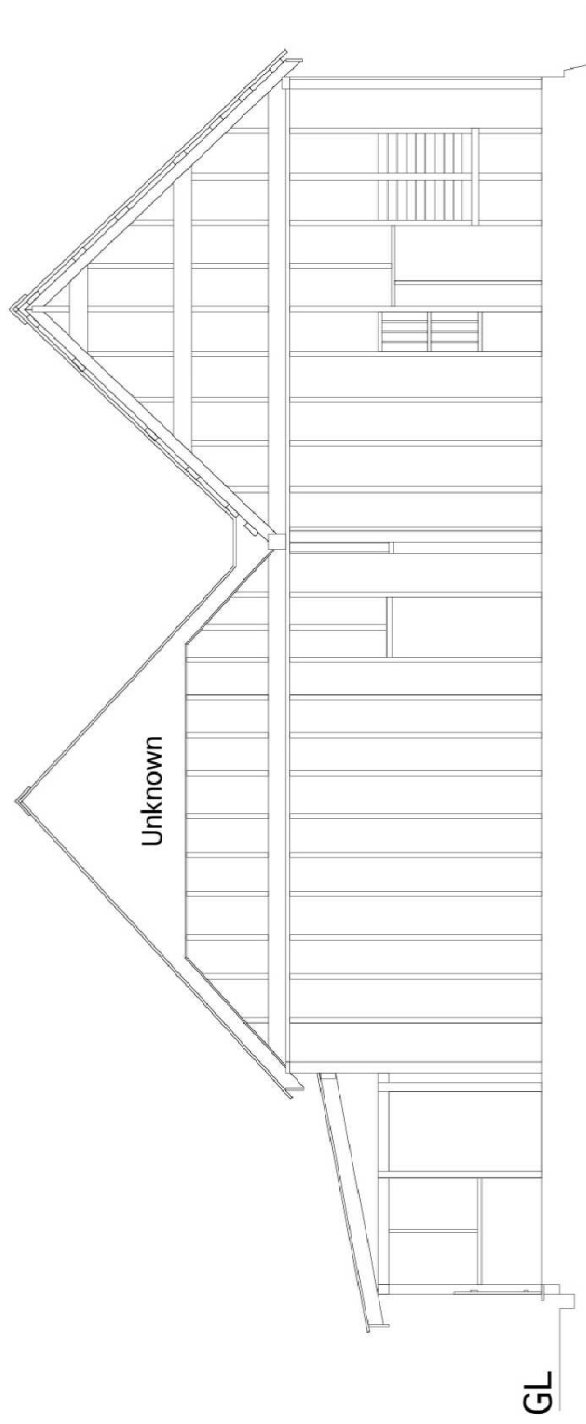


1949年撮影(National Archive 所蔵)

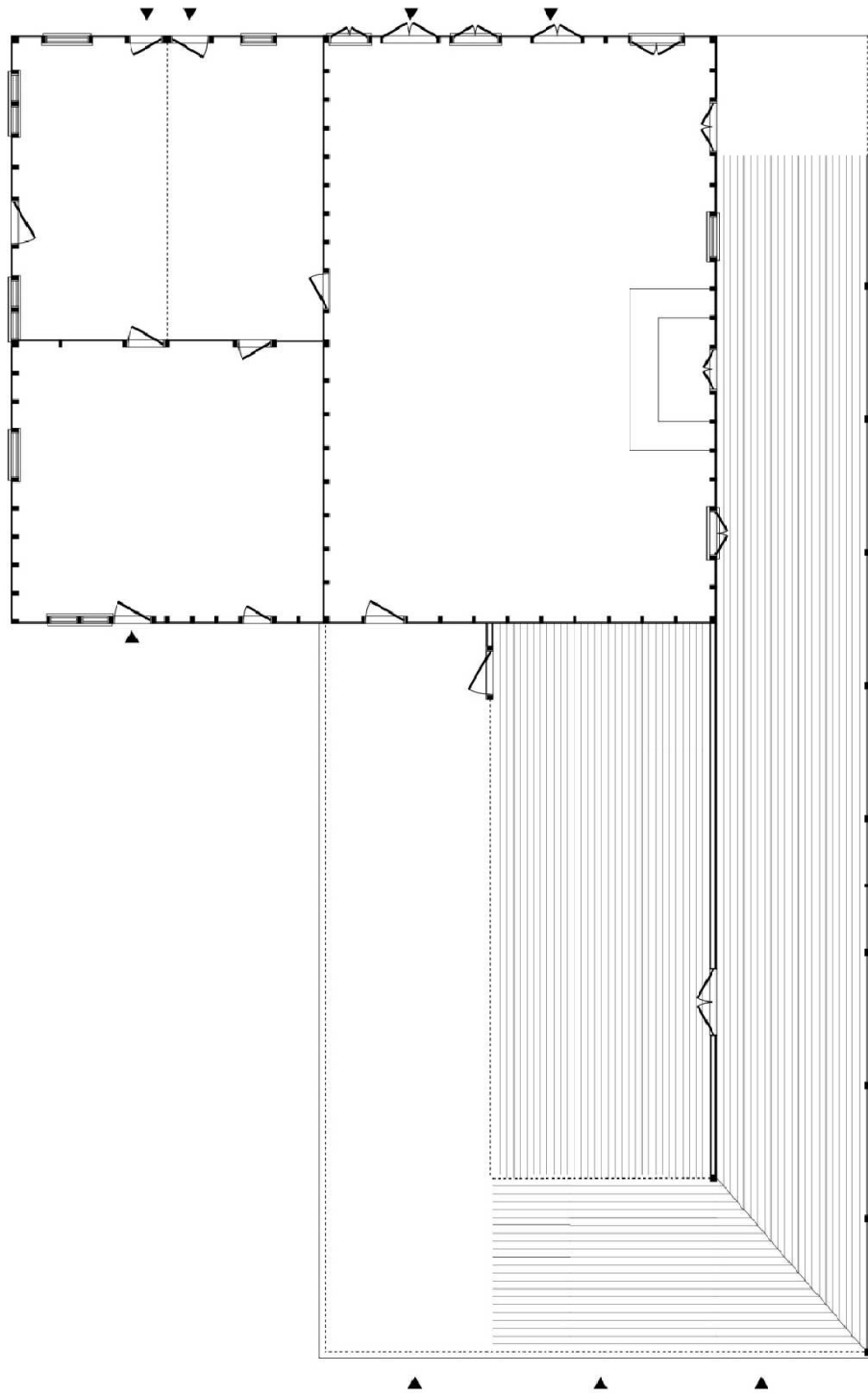
ER: S13 Post Office/Custom Authority 図面作製：九州大学



Floor Plan



Section



ER-S14

OBRL SUPERMARKET



オフィス内観



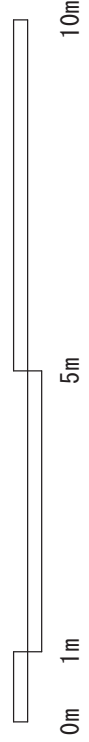
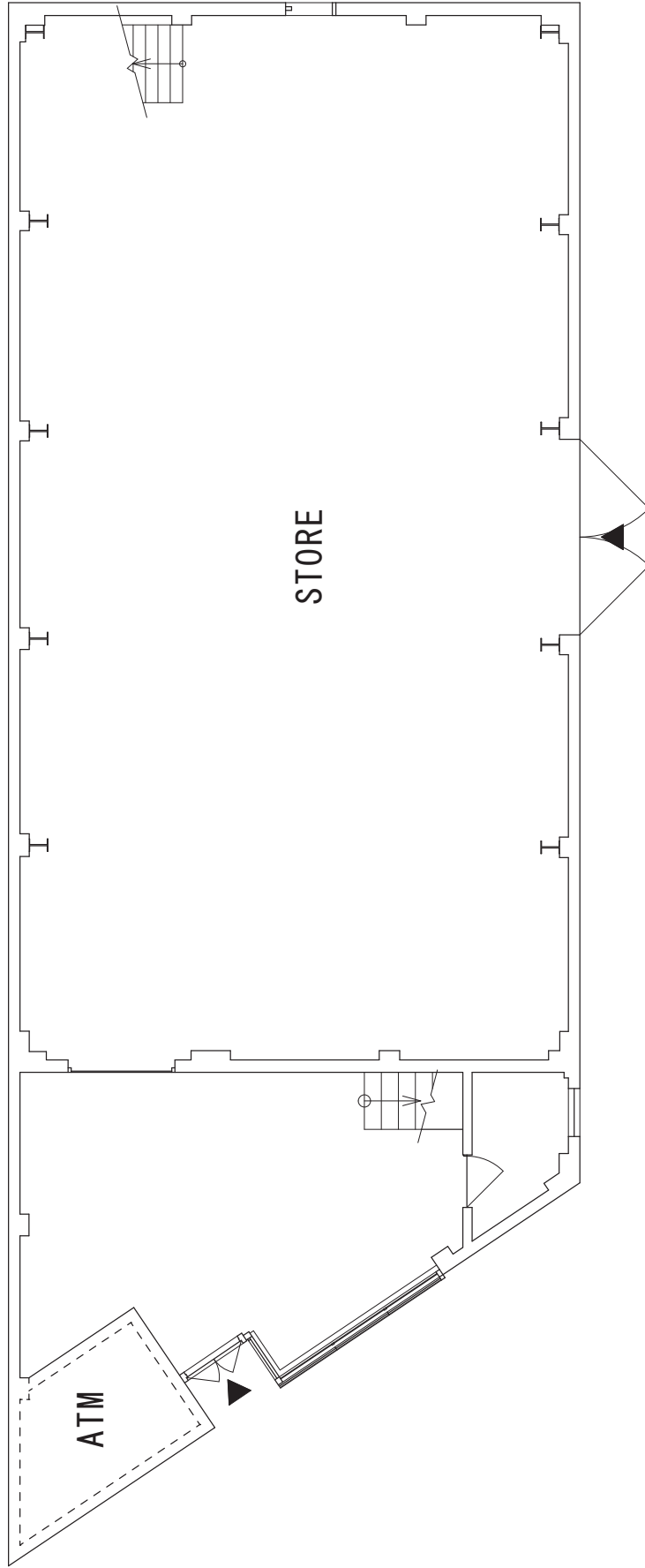
オフィス 2 階内観



店舗 2 階内観



南側外観



S14

**OBRL SUPERMARKET**

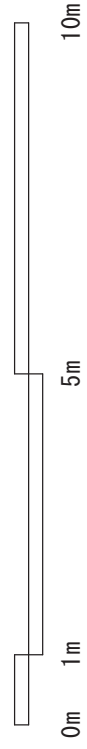
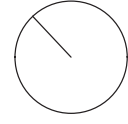
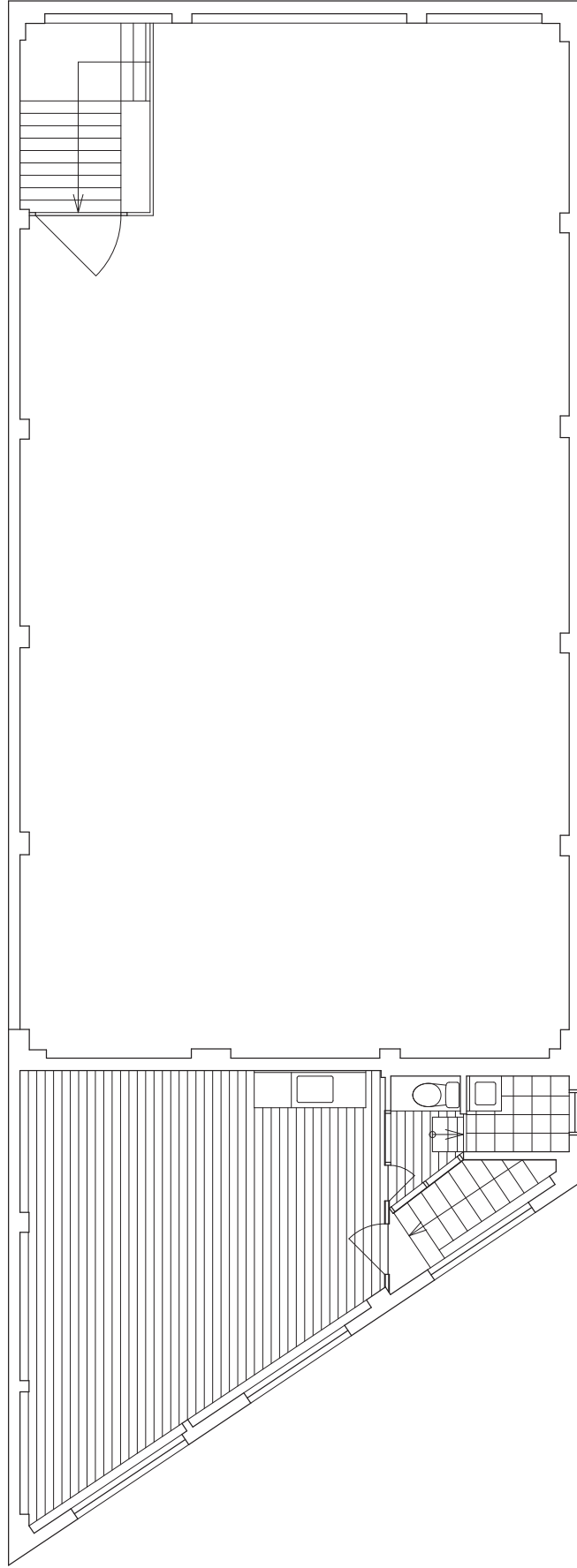
Ground Floor Plan

Date

Jun. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





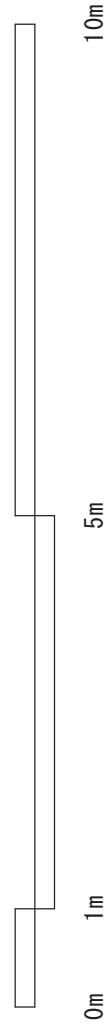
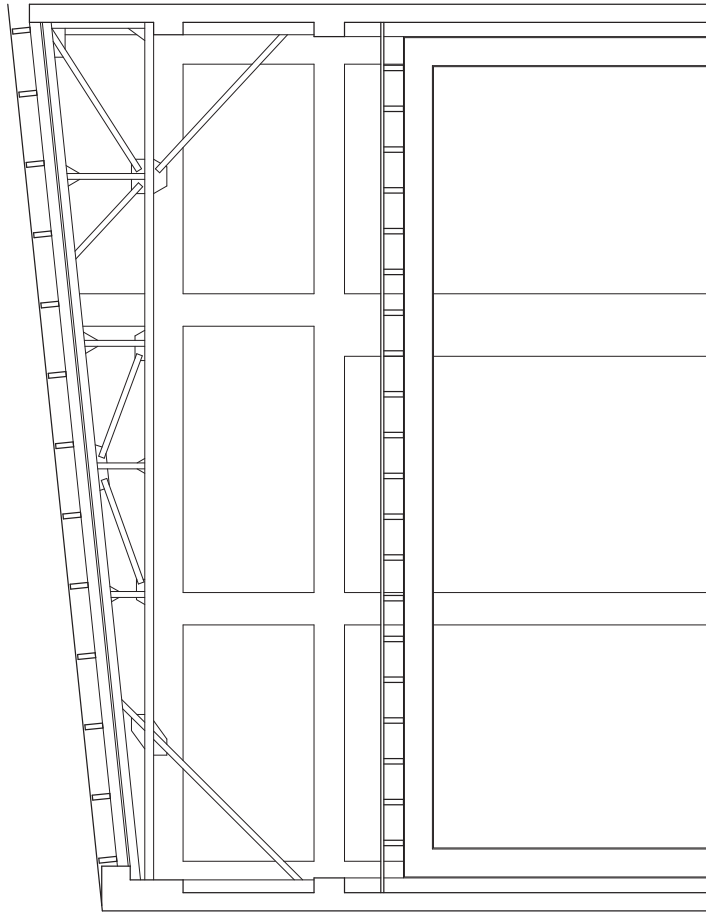
S14

**OBRL SUPERMARKET**  
First Floor Plan

Date

Jun. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



S14

OBRL SUPERMARKET

Section

Date

Jun. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-S15

Former Morris Hedstrom Store/ LEVUKA COMMUNITY CENTER



内観



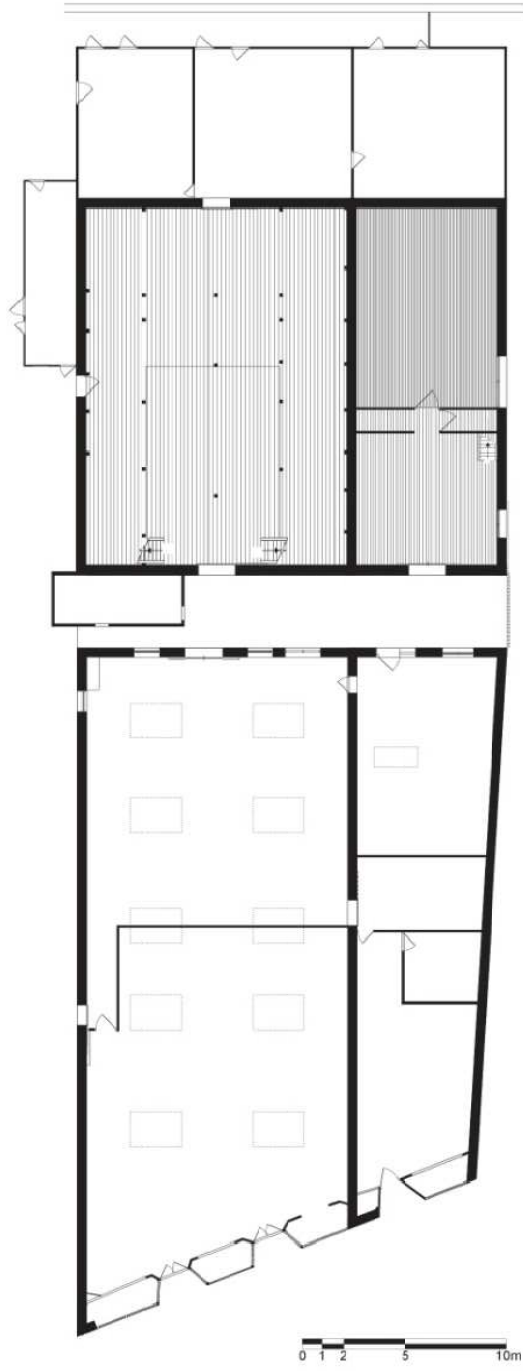
1949年撮影(National Archive 所蔵)



後方倉庫内観

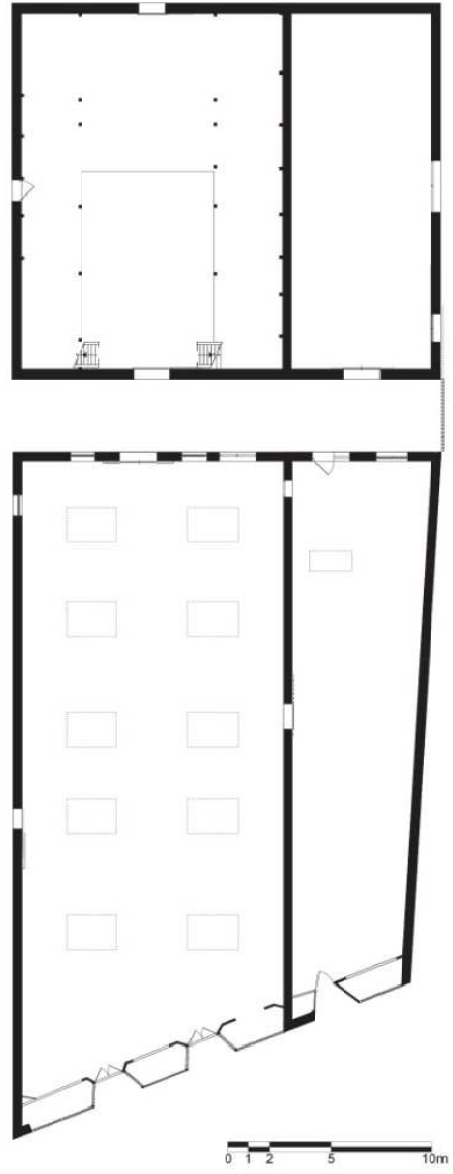


小屋組み(2014年九州大学撮影)



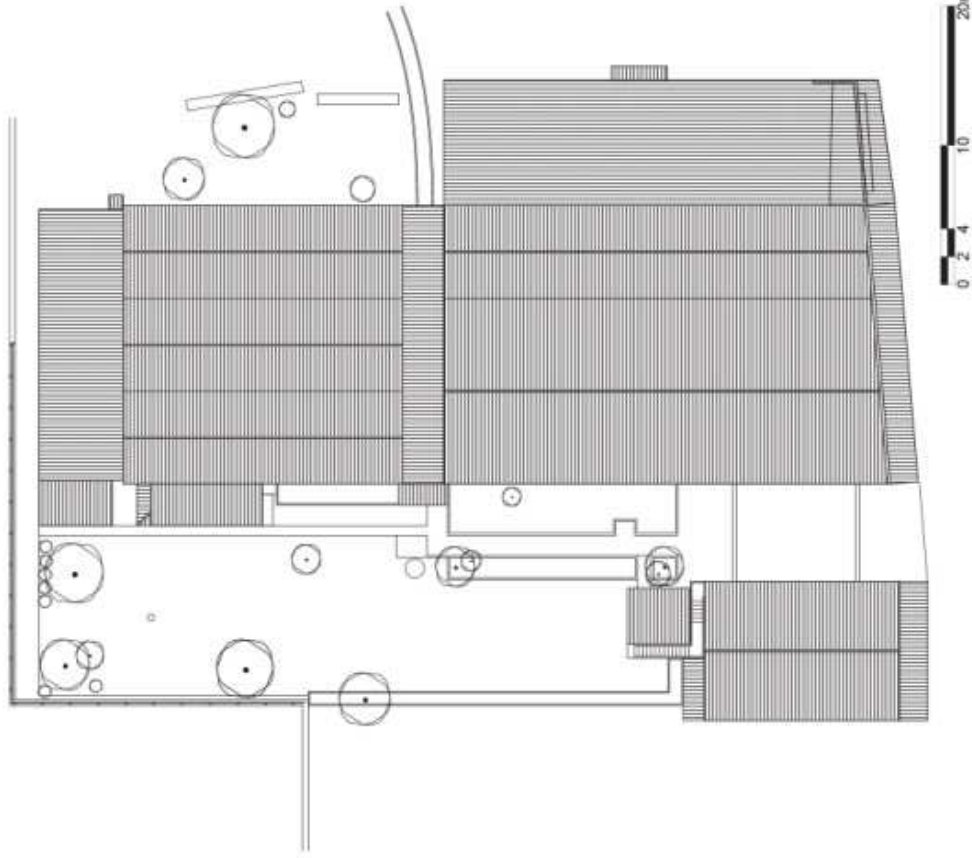
Floor Plan

Original Plan



Original Plan

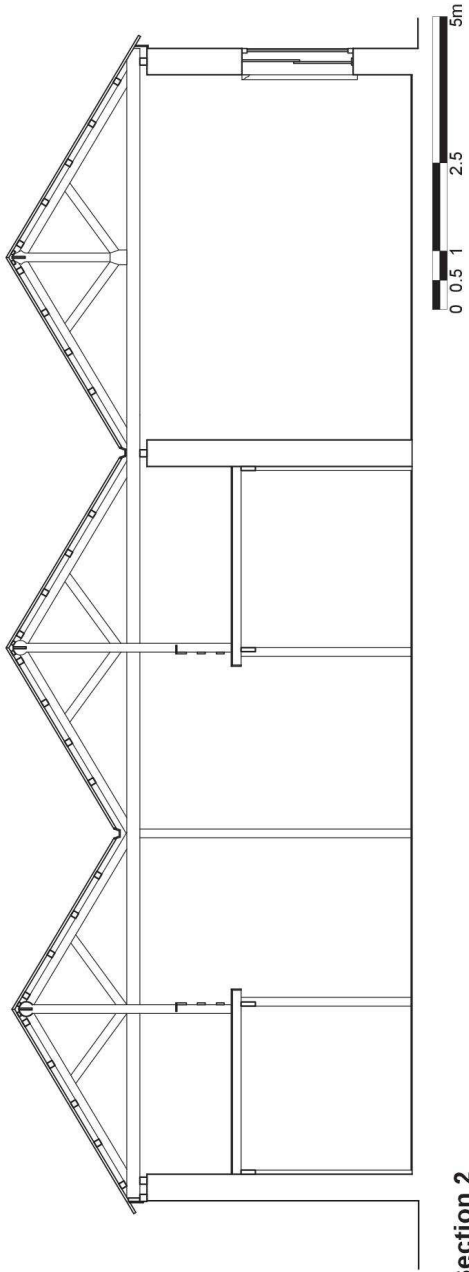
Former Morris Hedstrom Store/ LEVUKA COMMUNITY CENTER 図面作製：九州大学



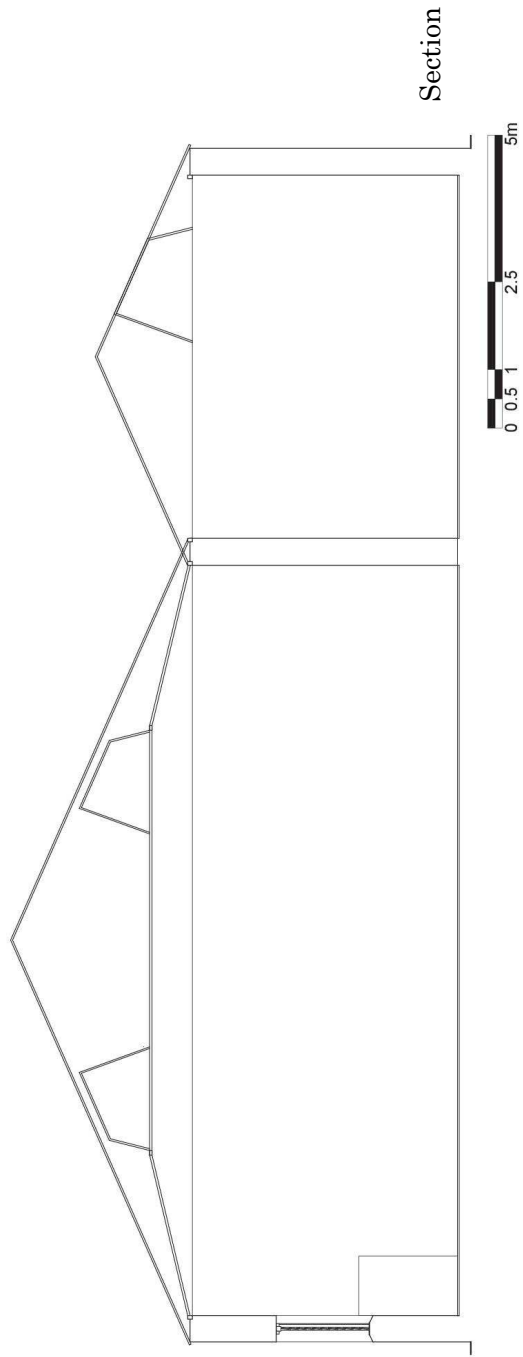
Site Plan

Former Morris Hedstrom Store/ LEVUKA COMMUNITY CENTER 図面作製：九州大学

Section 1



Section 2





Former Hedstrom Bond Store/ NATIONAL TRUST OF FIJI



倒壊前外観(2014年九州大学撮影)



2階内観(2007年九州大学撮影)

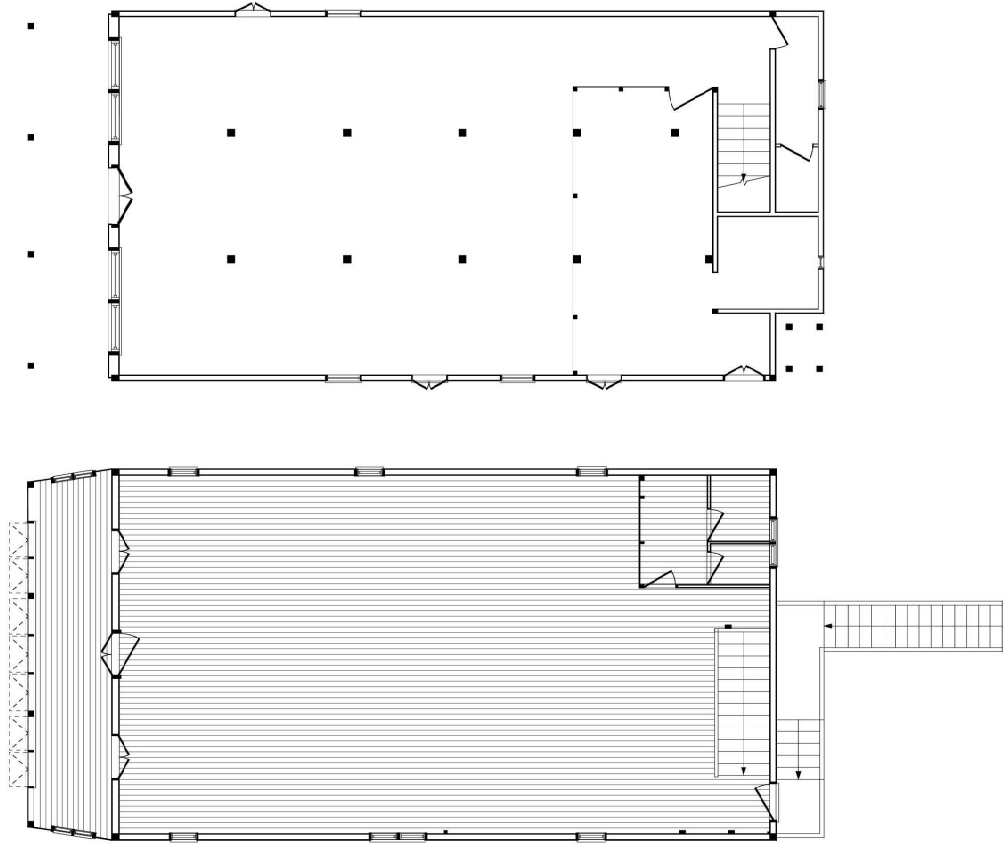


ベランダ痕跡(2014年九州大学撮影)

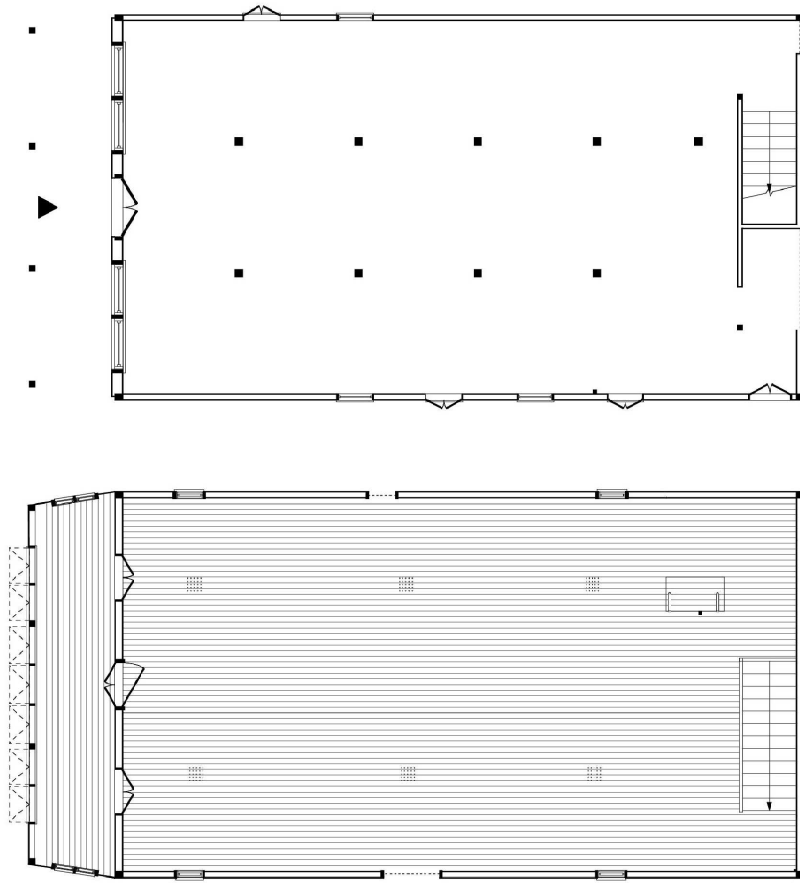


1900年頃撮影(Fiji Museum 所蔵)

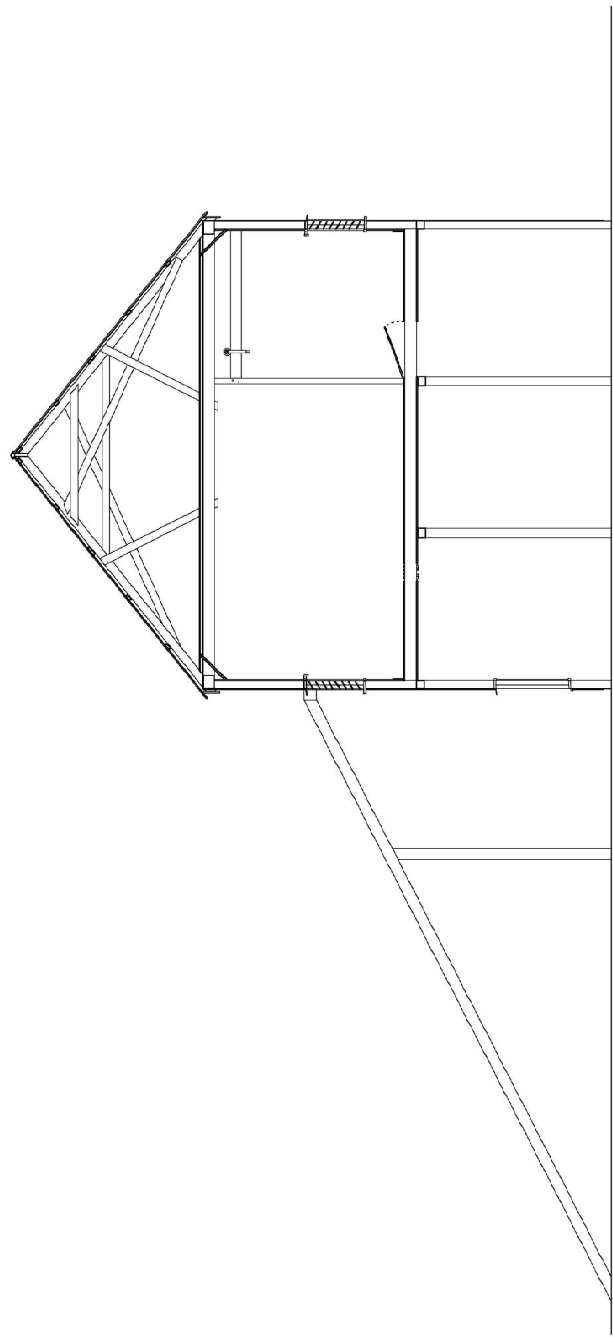
ER: S16 Former Hedstrom Bond Store/ NATIONAL TRUST OF FIJI 図面作製：九州大学



Floor Plan



Former Hedstrom Bond Store/ NATIONAL TRUST OF FIJI 図面作製：九州大学



Section



ER-B01

LEVUKA SERVICE STATION



店舗内観



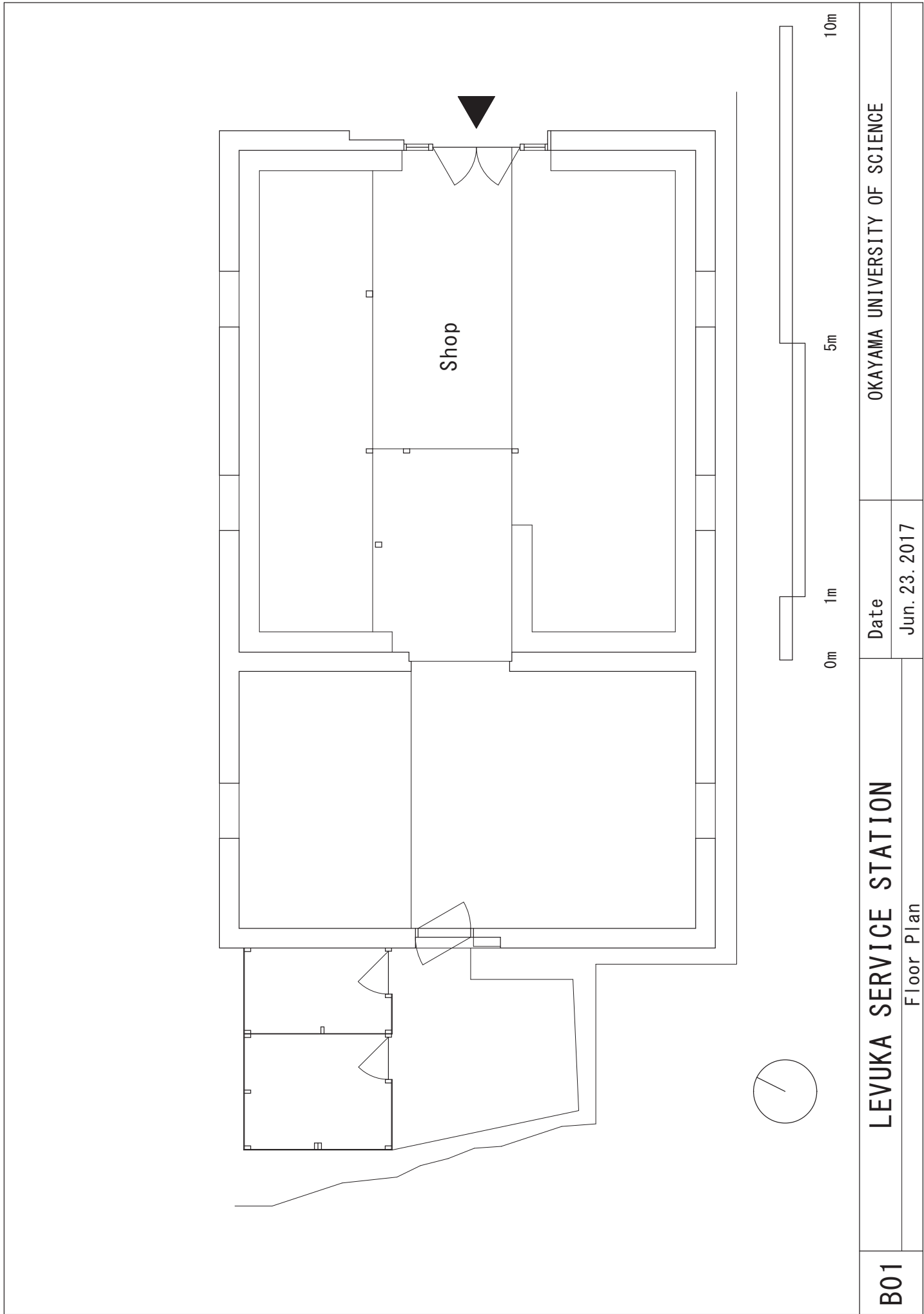
バックヤード



小屋組み



南側外観



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

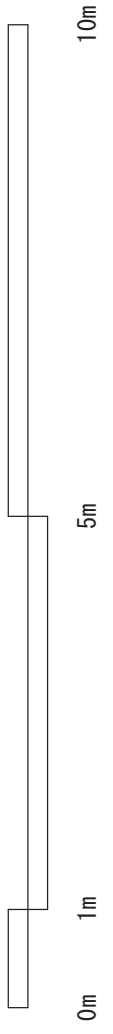
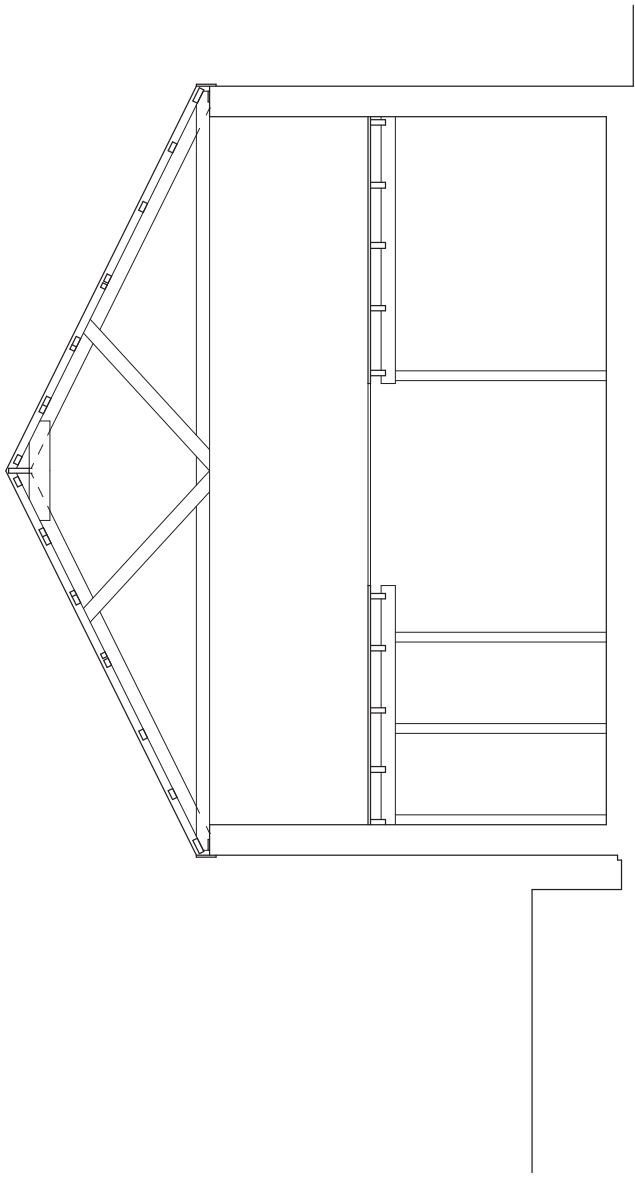
Date  
Jun. 23. 2017

LEVUKA SERVICE STATION

Floor Plan

B01





|            |                               |               |                               |
|------------|-------------------------------|---------------|-------------------------------|
| <b>B01</b> | <b>LEVUKA SERVICE STATION</b> | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|            | Section                       | Jun. 23. 2017 |                               |

ER-B02

Anne Valentine



リビング内観



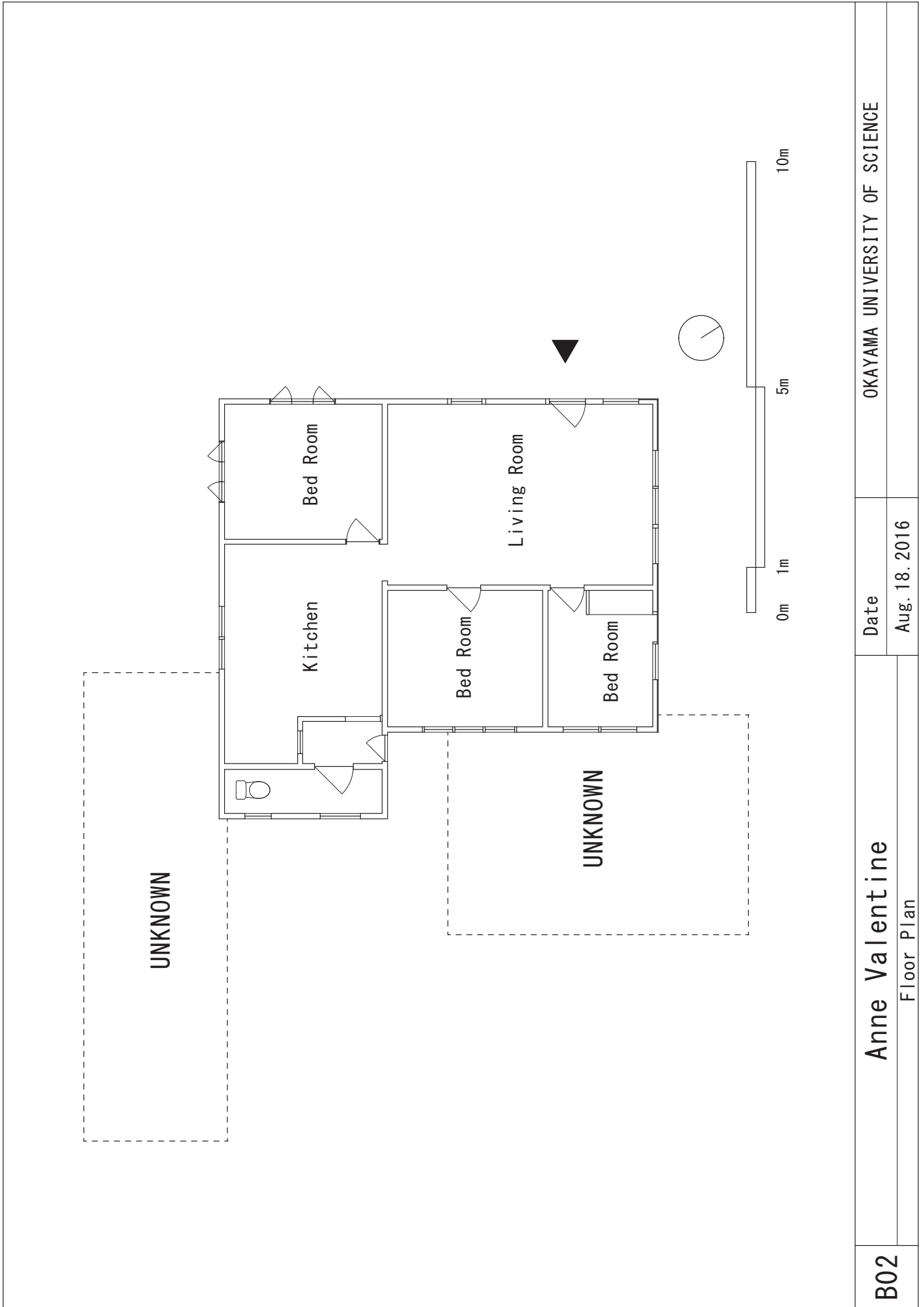
台所内観



小屋組み



南側外観



**B02**

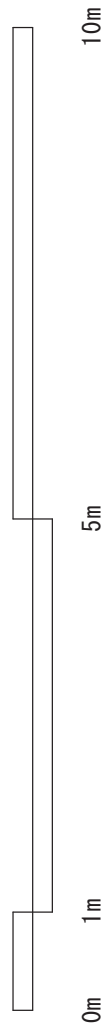
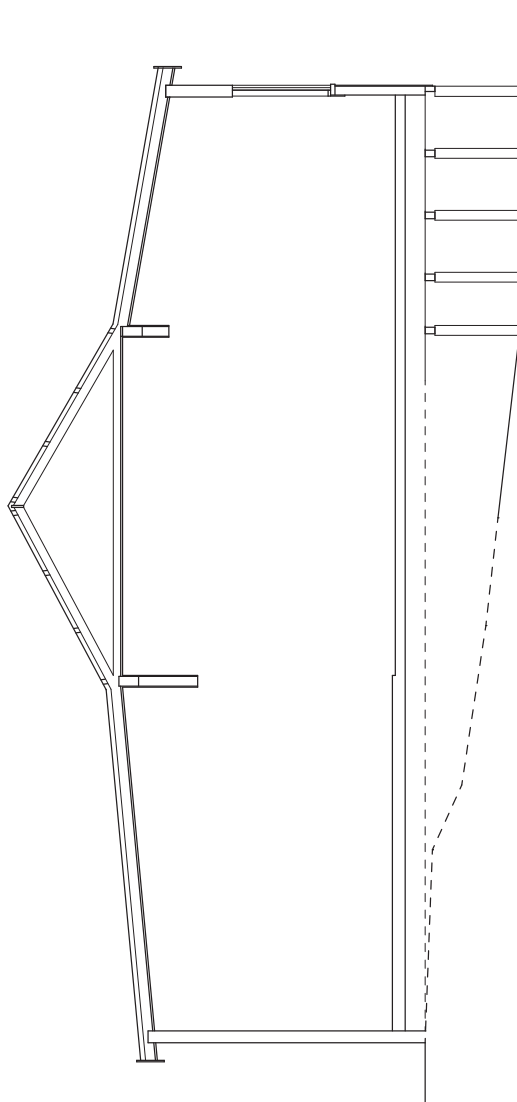
**Anne Valentine**

Floor Plan

Date

Aug. 18. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**B02**

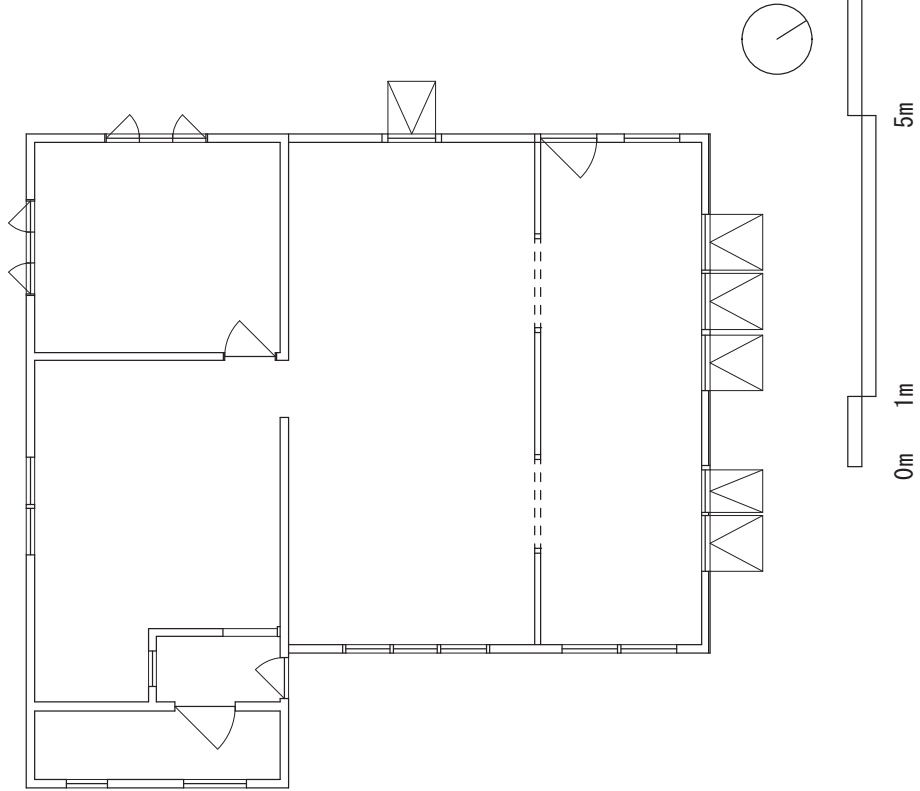
**Anne Valentine**

Section

Date

Aug. 18. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**B02**

**Anne Valentine**  
ORIGINAL PLAN

Date

Aug. 18. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





内観



小屋組

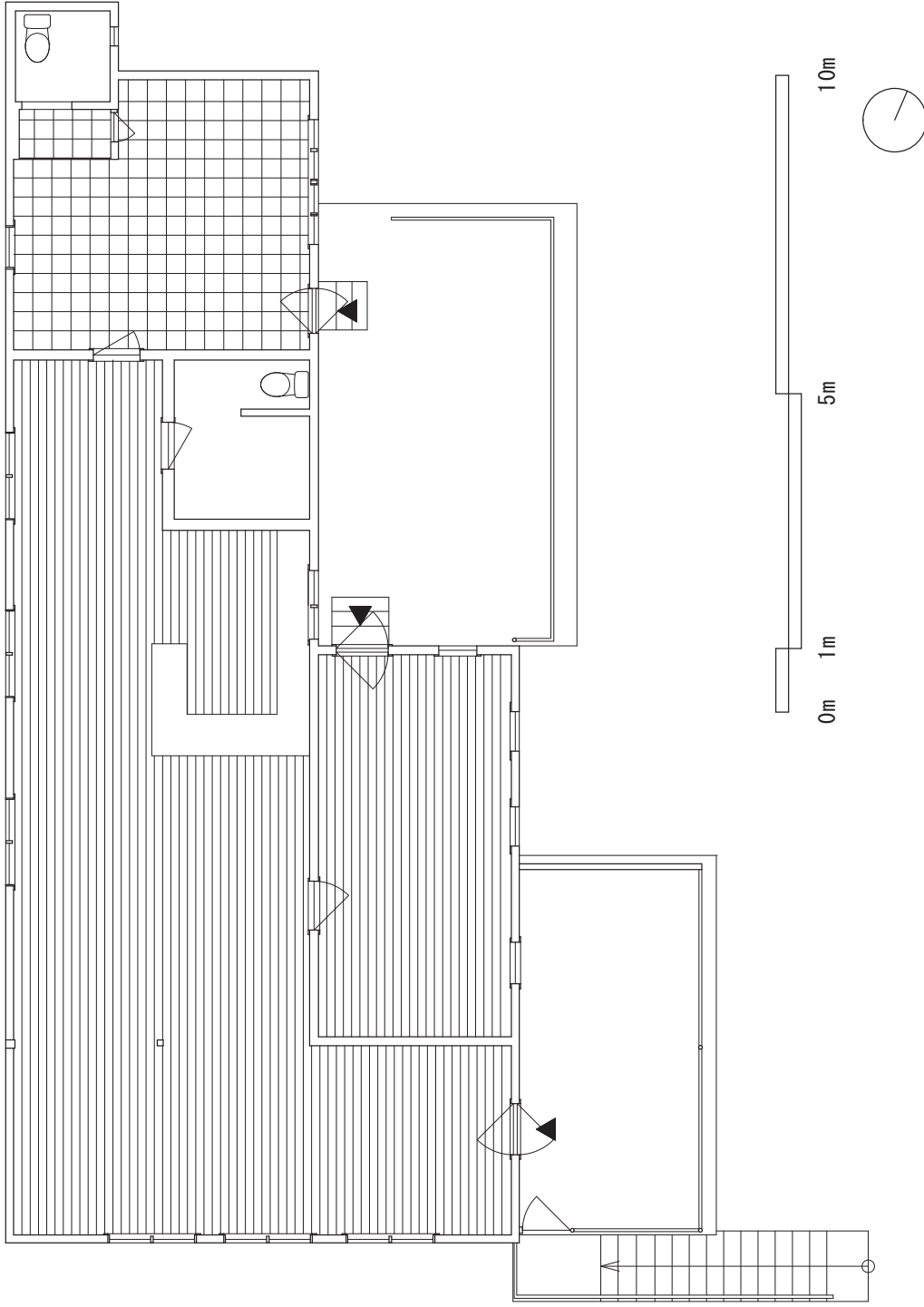


コンクリート地下階



地下階内観





B03

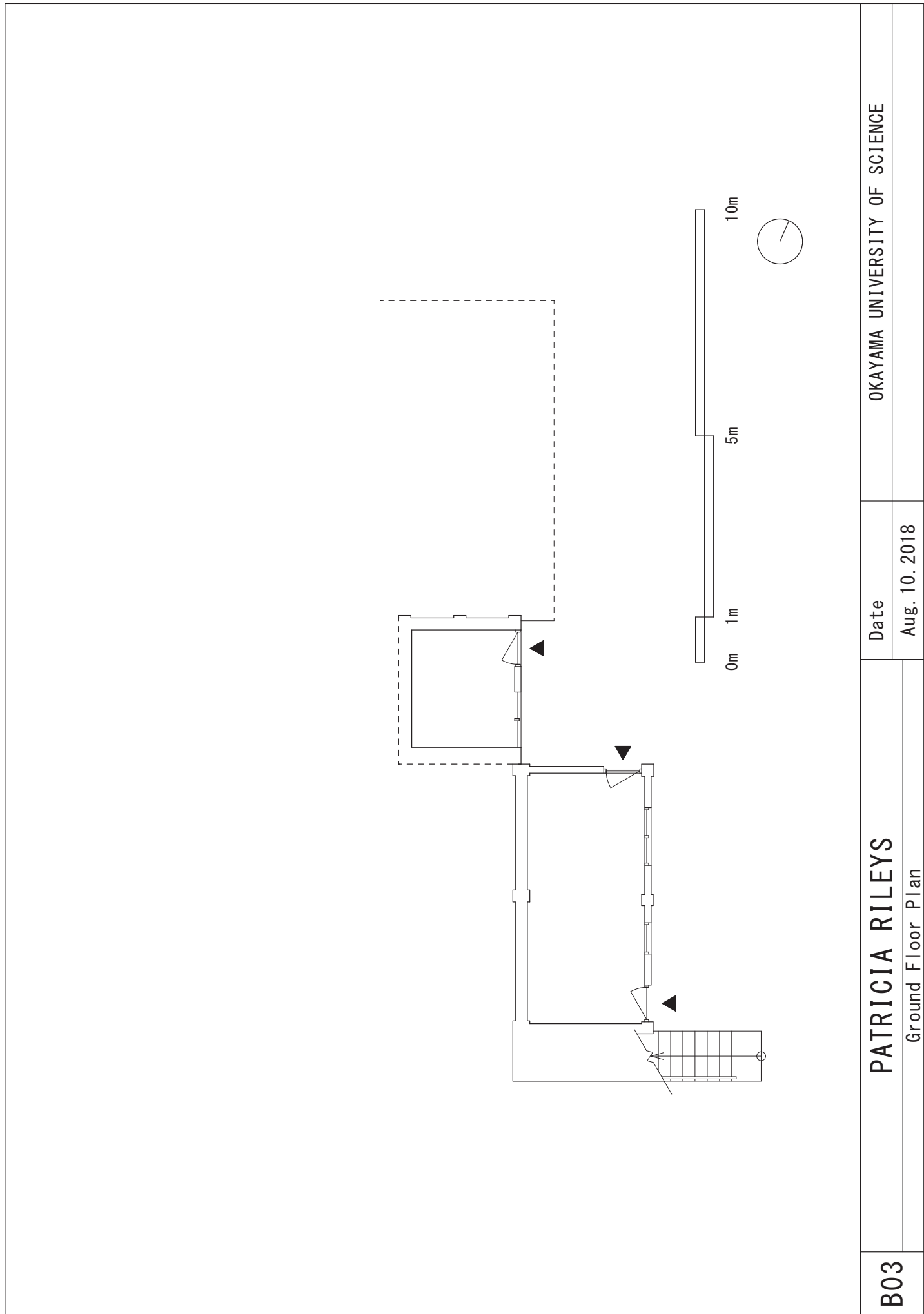
PATRICIA RILEYS

First Floor Plan

Date

Aug. 10. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

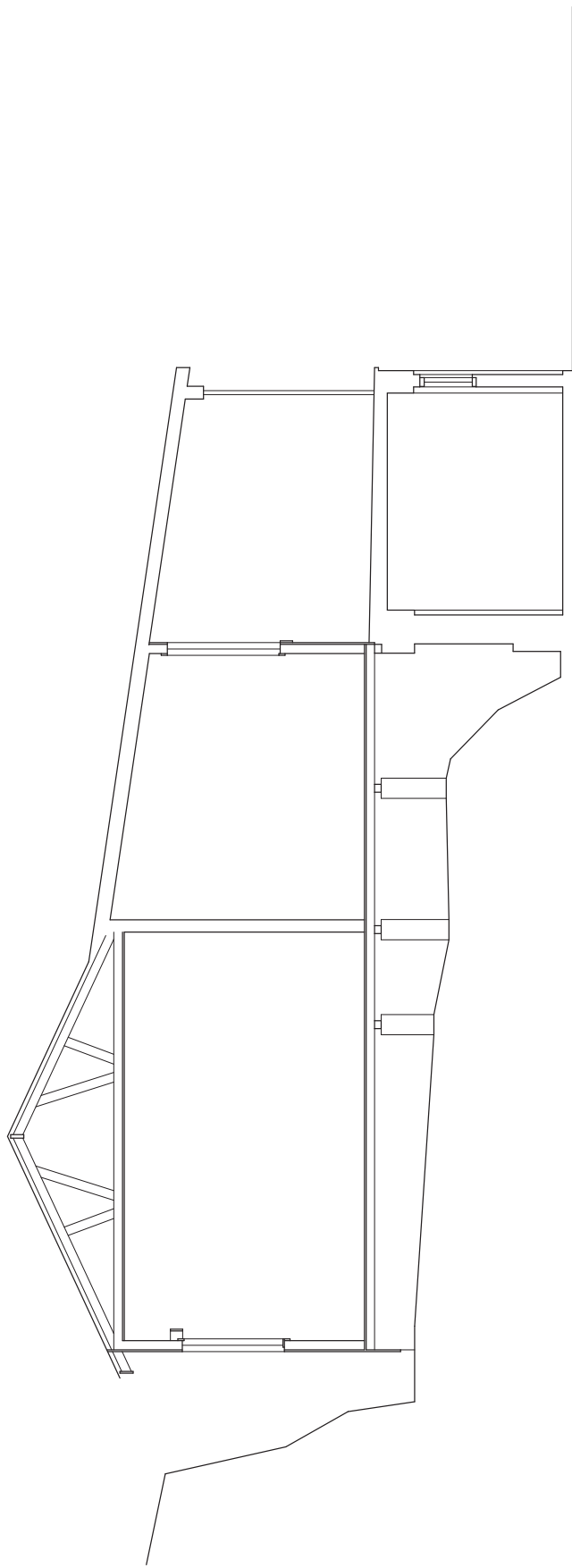
Date

Aug. 10. 2018

**PATRICIA RILEYS**

Ground Floor Plan

**B03**



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 10. 2018

PATRICIA RILEYS

Section

B03

ER:B04

June Murray



東側外観



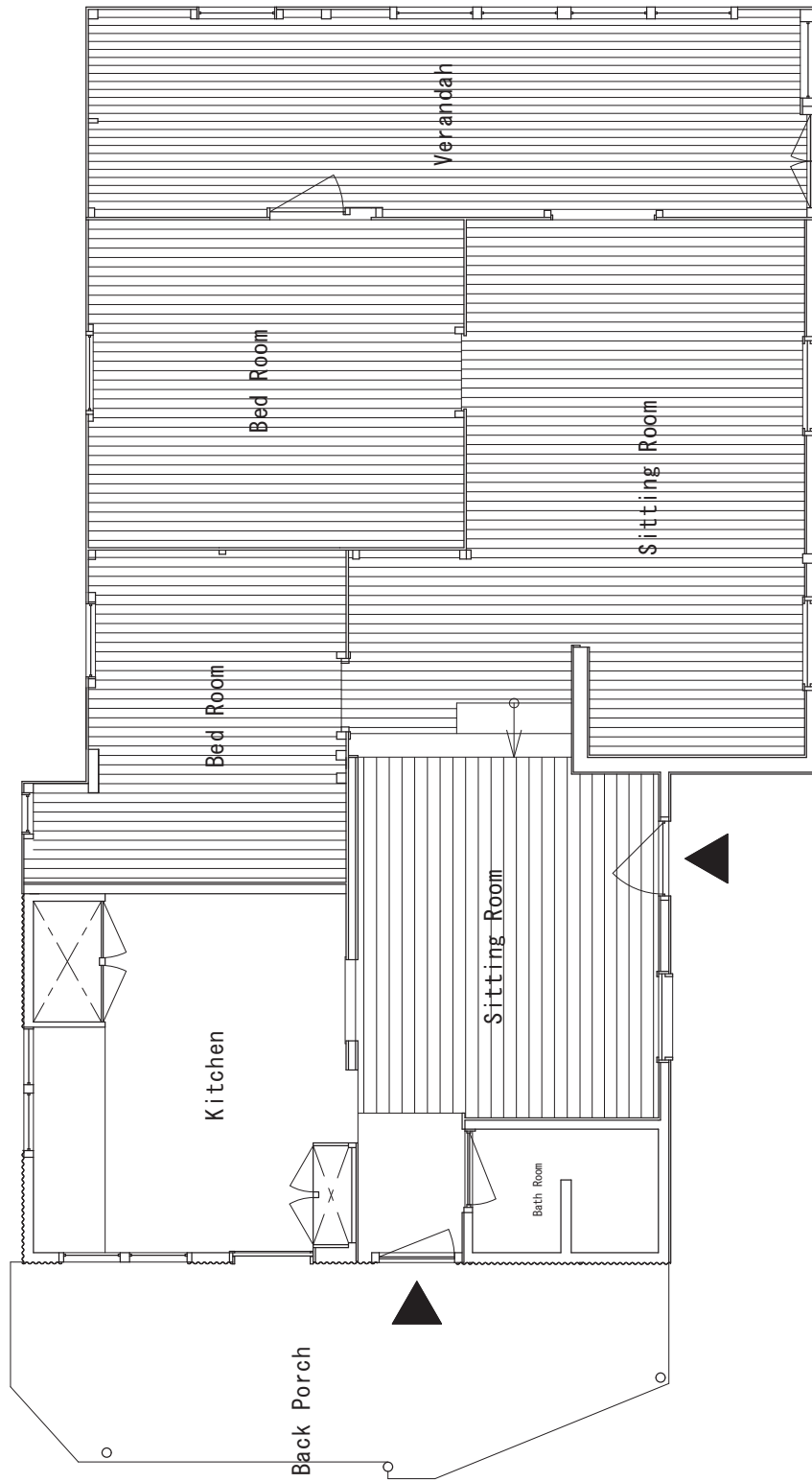
リビング内観



リビング内観



西側リビング内観

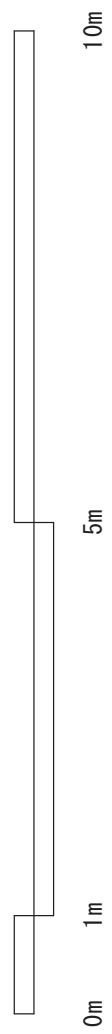
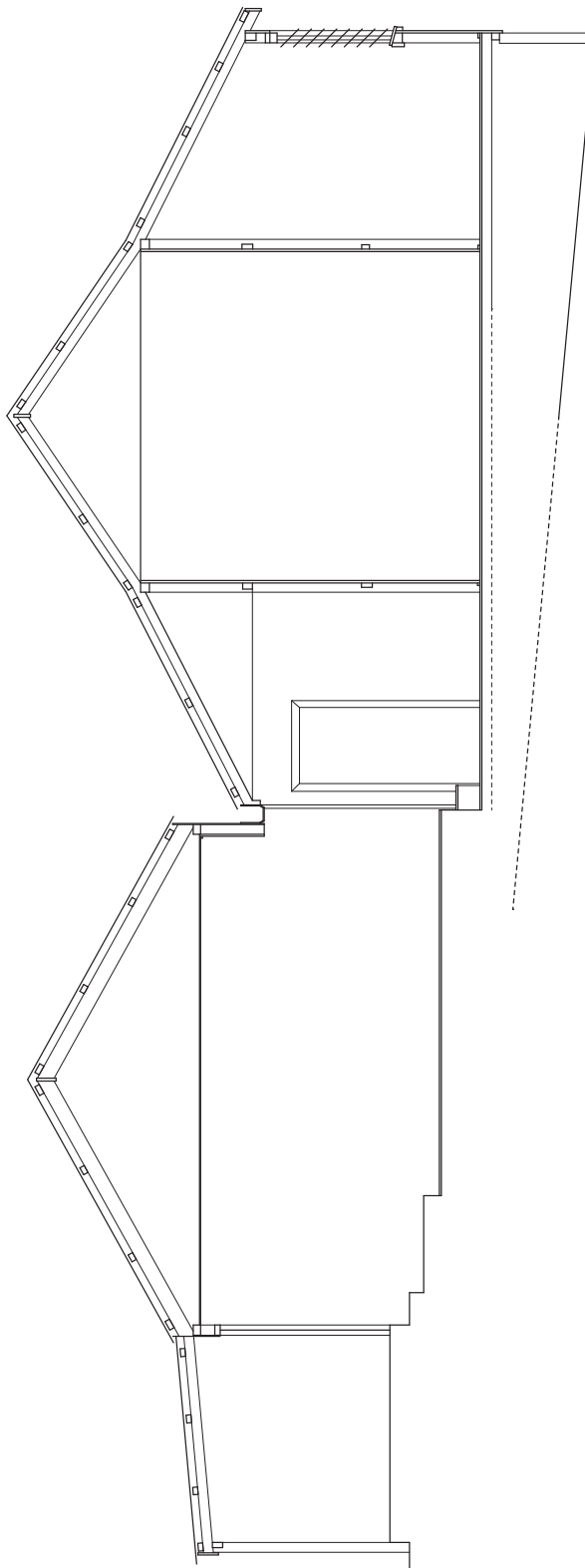


B04

June Murray  
Floor Plan

Date  
Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

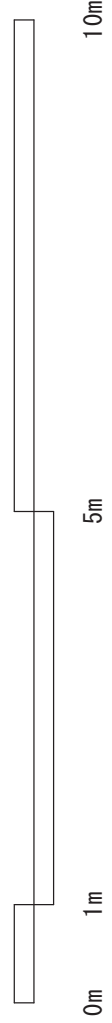
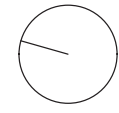
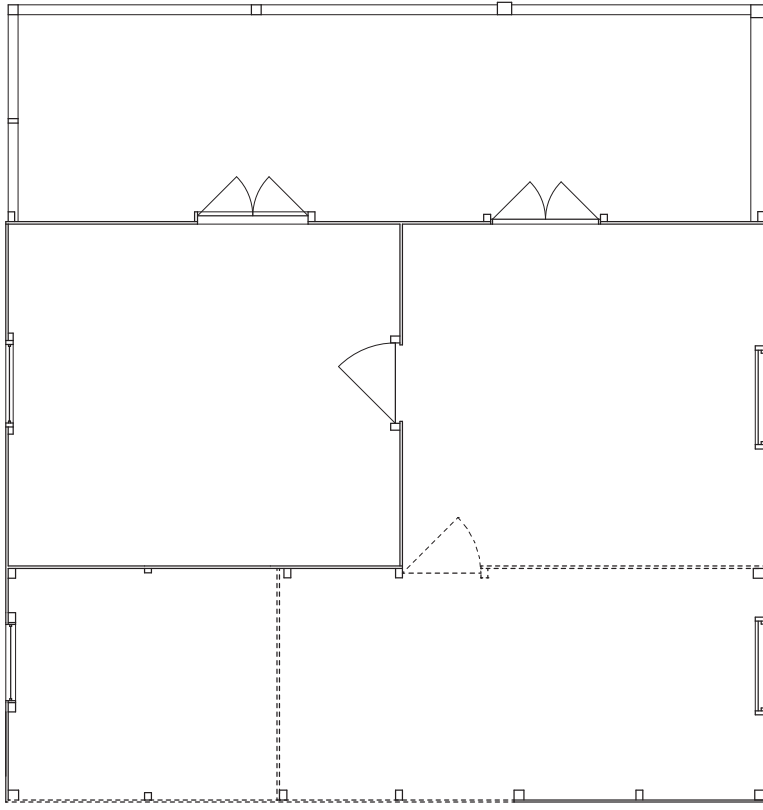
Jun. 24. 2017

June Murray

SECTION

B04





B04

June Murray  
ORIGINAL PLAN

Date

Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B05

Martin Joy



東側外観



リビング内観



台所内観



南側外観



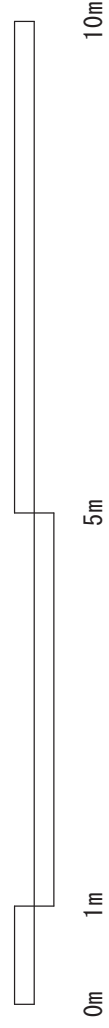
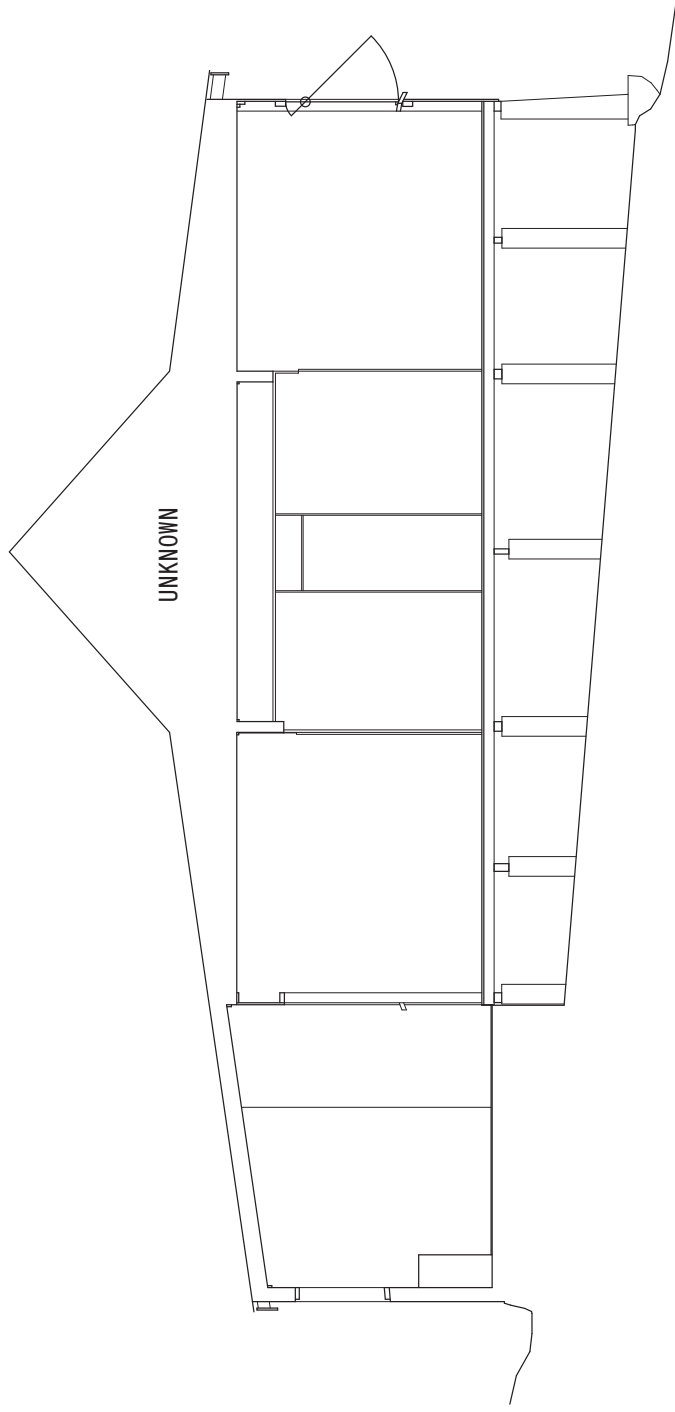
B05

Martin Joy  
Floor Plan

Date

Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B05

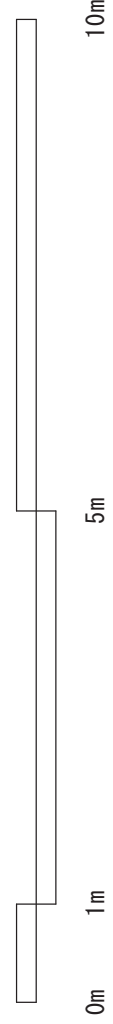
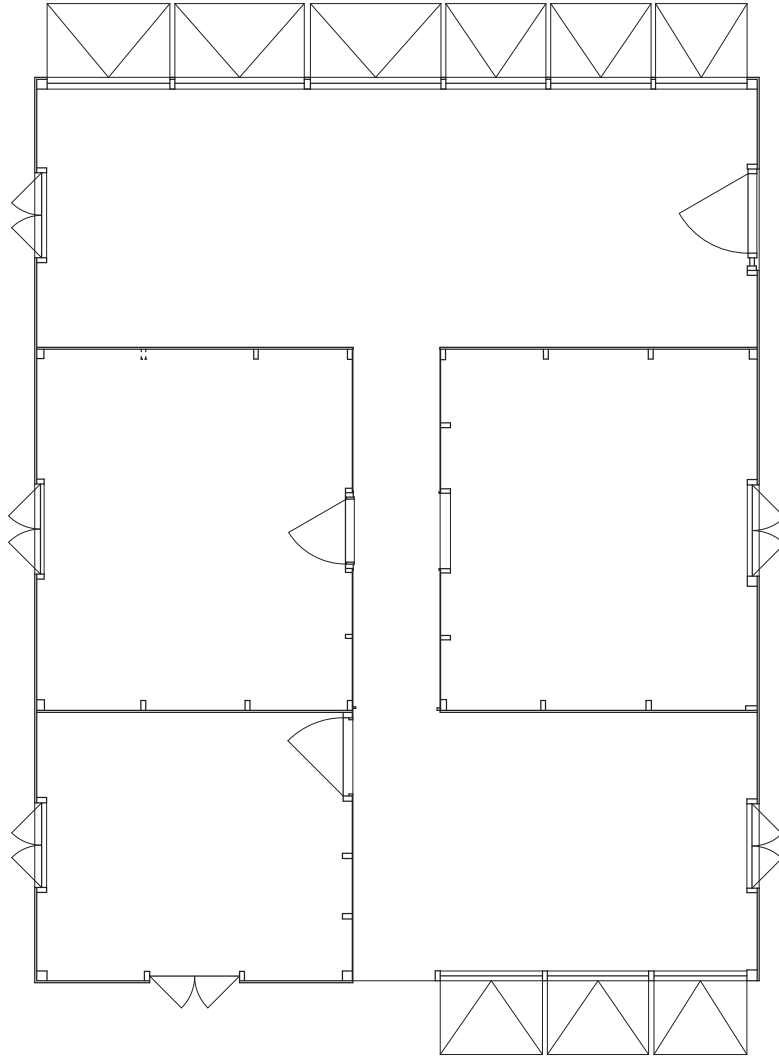
Martin Joy

SECTION

Date

Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**B05**

**Martin Joy**  
ORIGINAL PLAN

Date

Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER-B06

HR018: Former Morris Hedstrom Copra Shed



店舗内観



南側外観

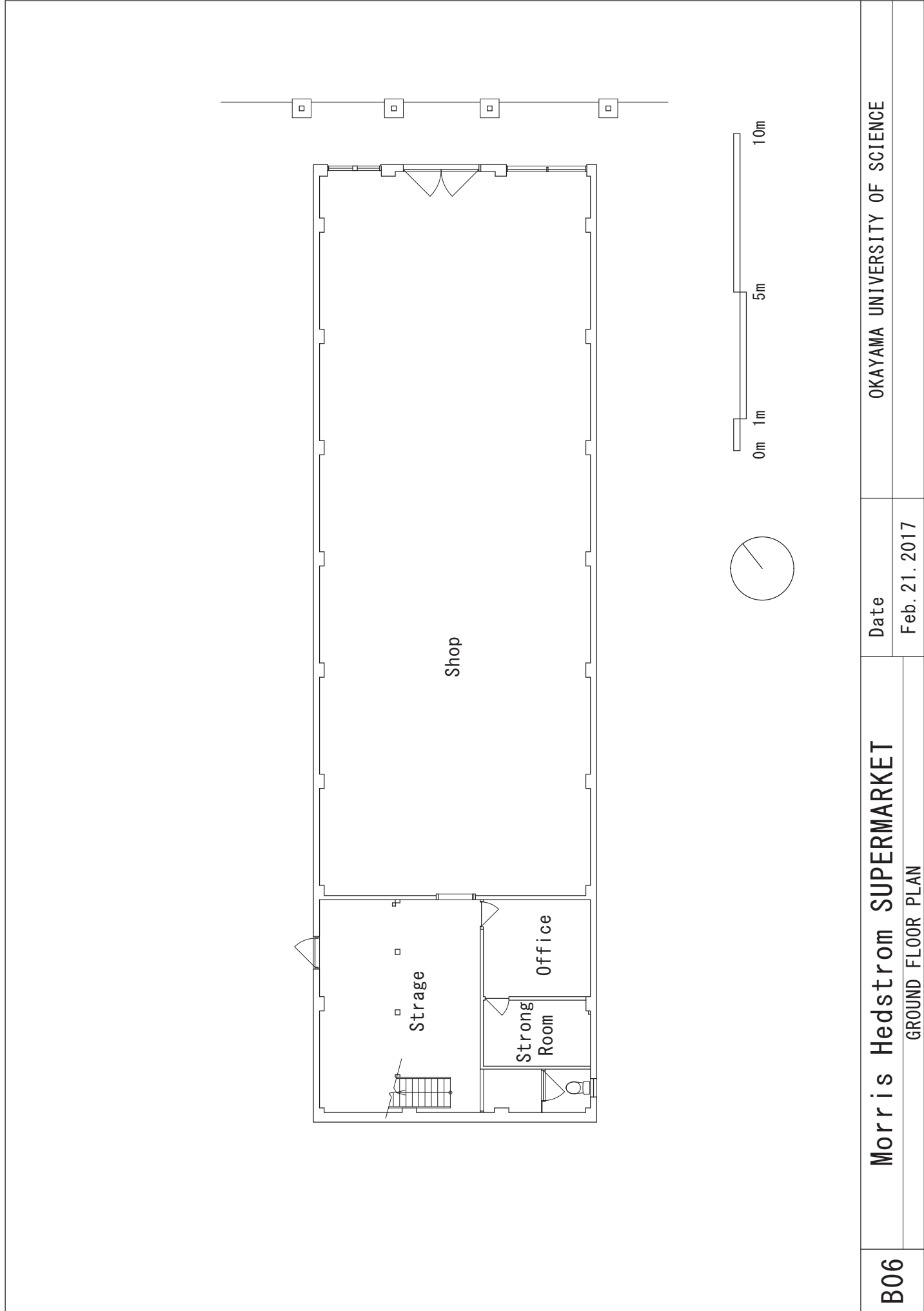


小屋組み



西側外観





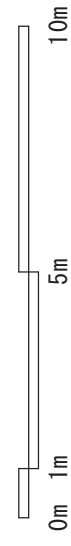
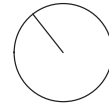
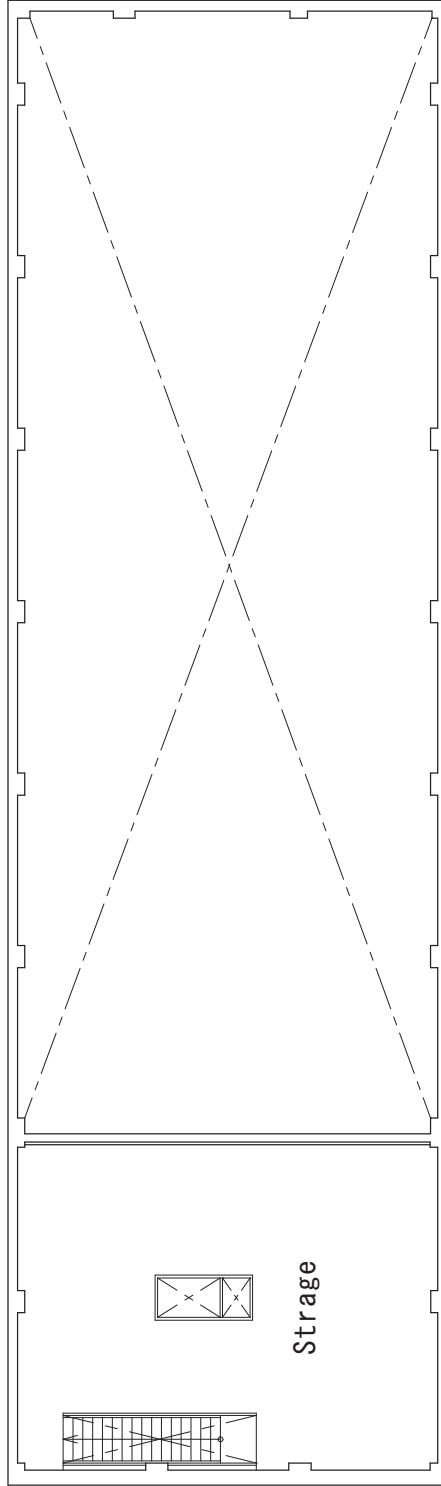
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 21. 2017

Morris Hedstrom SUPERMARKET

GROUND FLOOR PLAN

B06



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

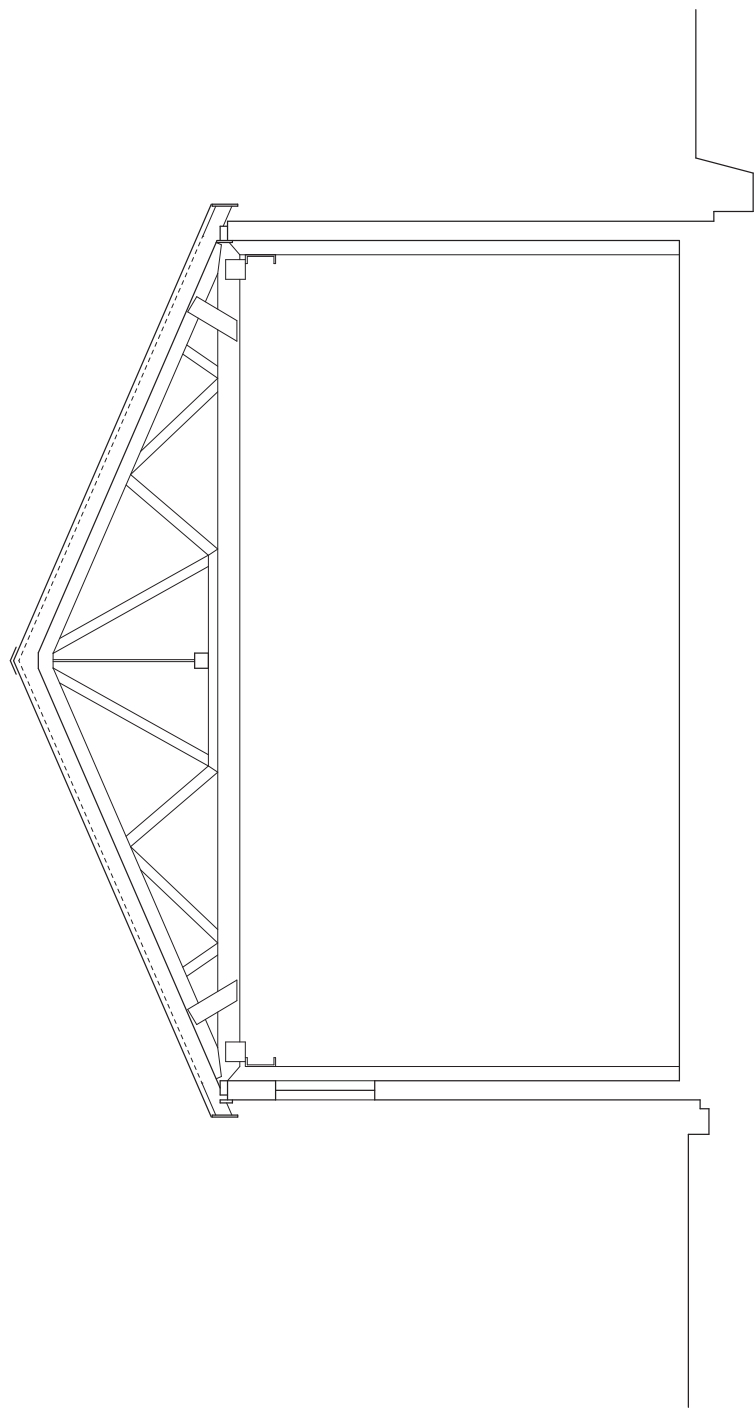
Date

Feb. 21. 2017

Morris Hedstrom SUPERMARKET

1st FLOOR PLAN

B06



|         |                             |                       |                               |
|---------|-----------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| B06     | Morris Hedstrom SUPERMARKET | Date<br>Feb. 21. 2017 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
| SECTION |                             |                       |                               |

ER-B07

RS Gounder & Sons store



店舗内観



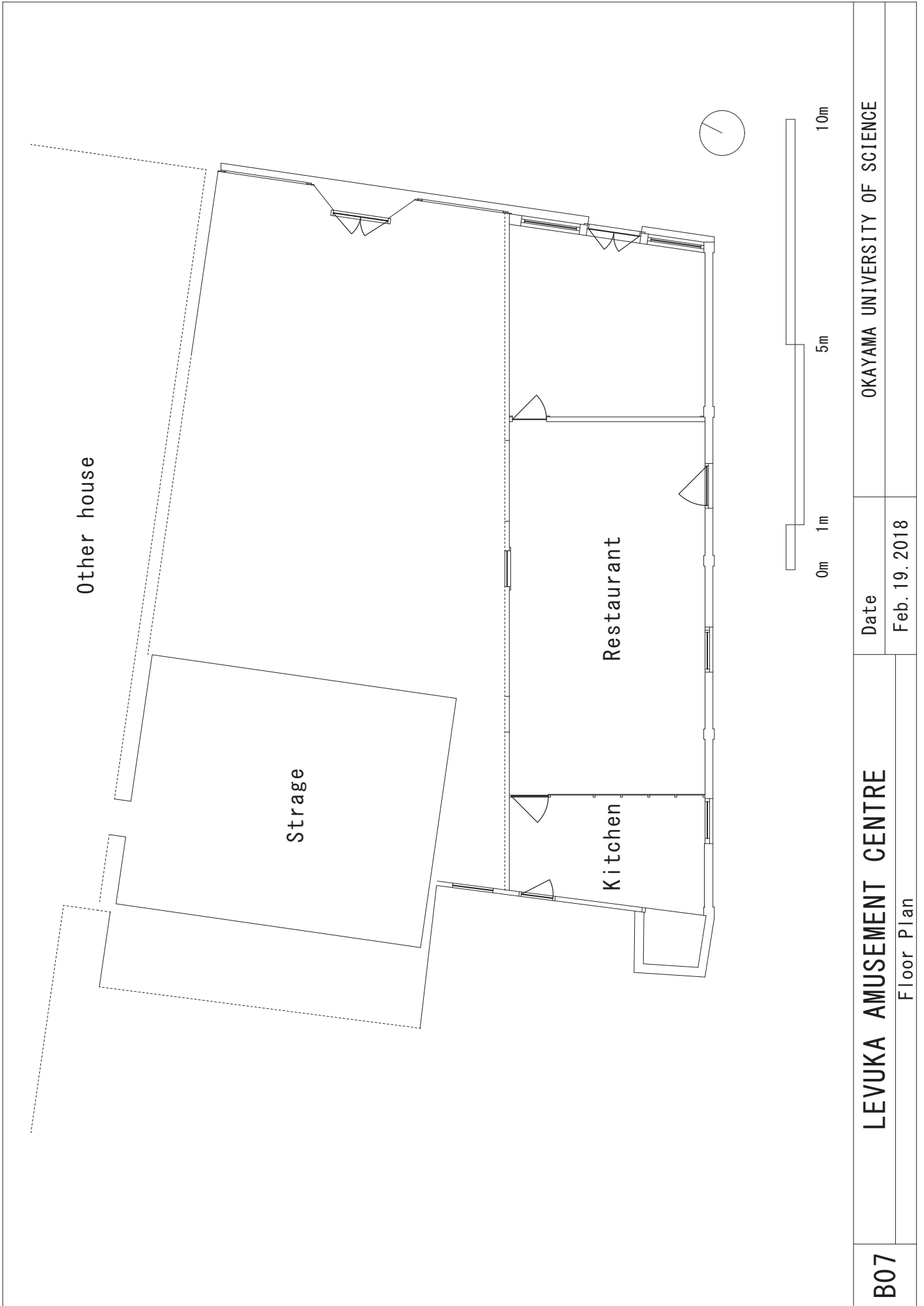
バックヤード



厨房内観



西側外観



B07

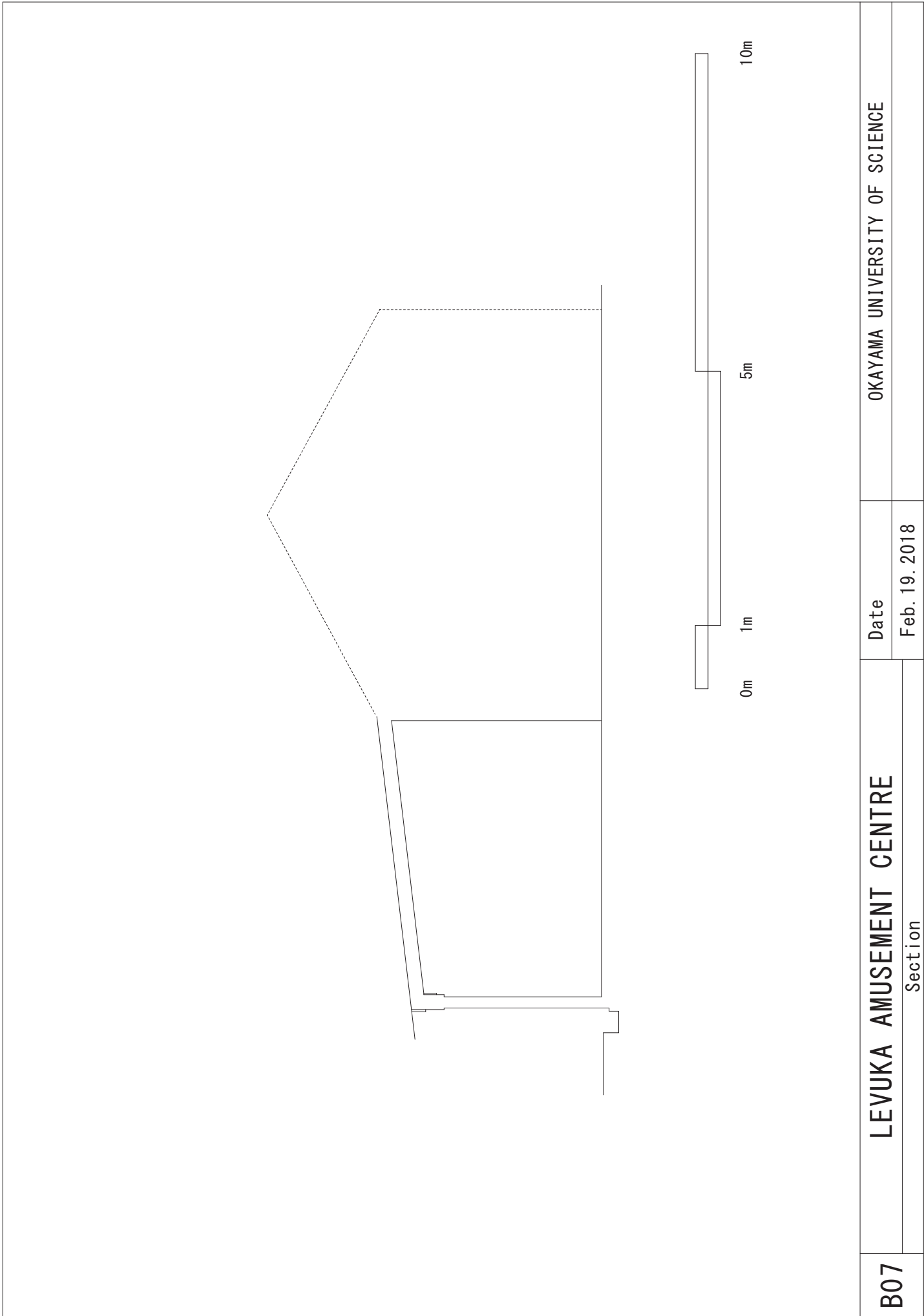
LEVUKA AMUSEMENT CENTRE

Floor Plan

Date

Feb. 19. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



|     |                         |                               |
|-----|-------------------------|-------------------------------|
| B07 | LEVUKA AMUSEMENT CENTRE | Section                       |
|     | Date                    | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | Feb. 19. 2018           |                               |



ER-B08

Kang Ping Yen Store



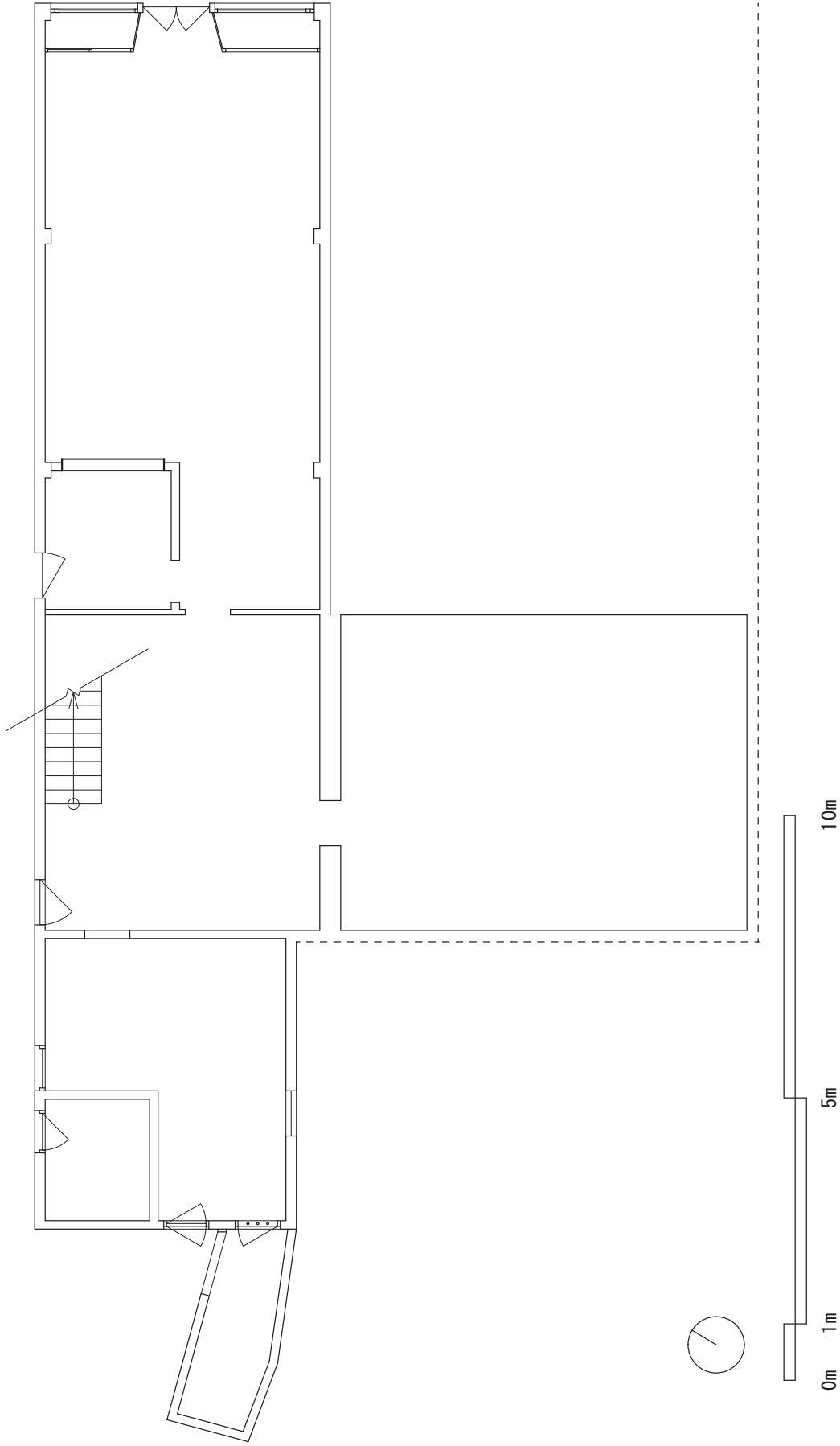
山側斜面からの外観



ビーチストリート側外観



店舗内観(所有者の意向により住居部分及び倉庫は撮影不可)



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

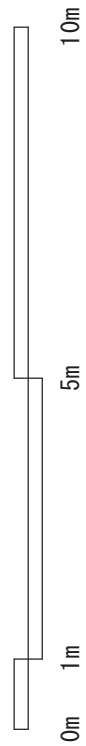
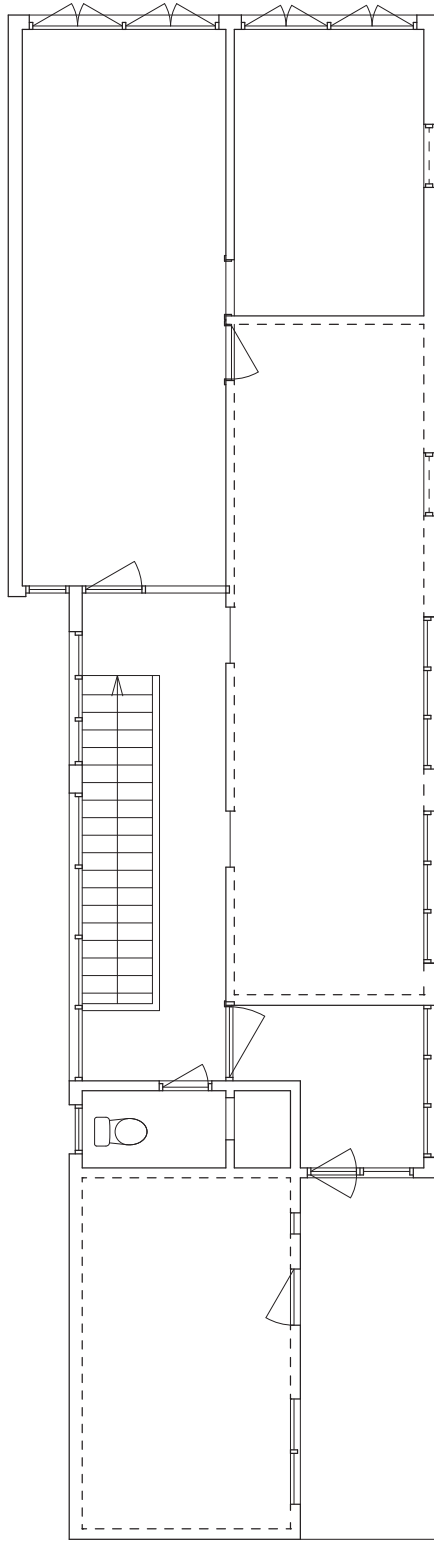
Date

Aug. 16. 2018

**KANG LEE STORE & BAKERY**

Ground Floor Plan

**B08**



**B08**

**KANG LEE STORE & BAKERY**

First Floor Plan

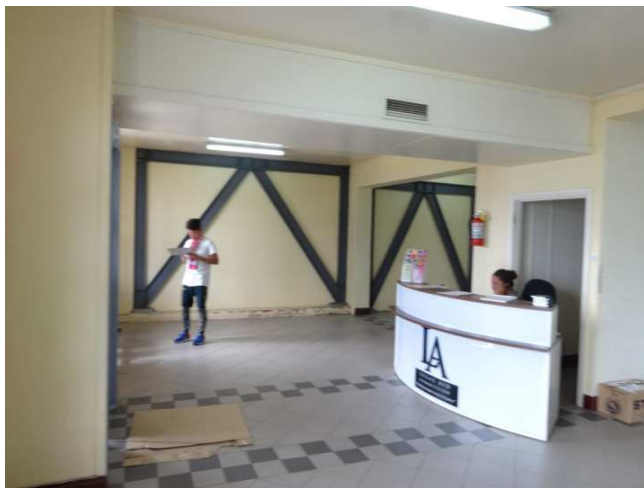
Date

Aug. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B09

LOMAIVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK



1階内観



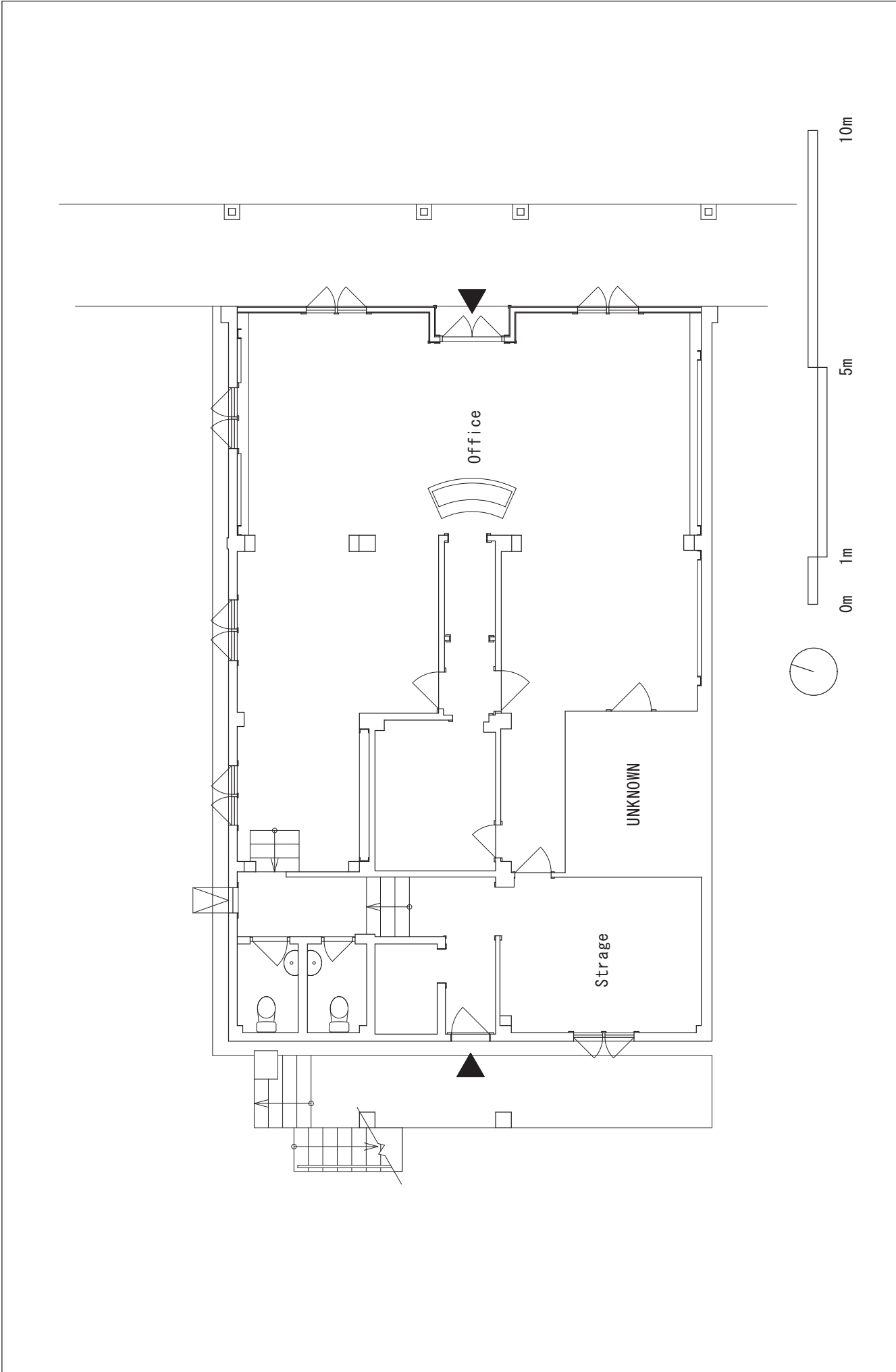
2階ベランダ内観



2階内観

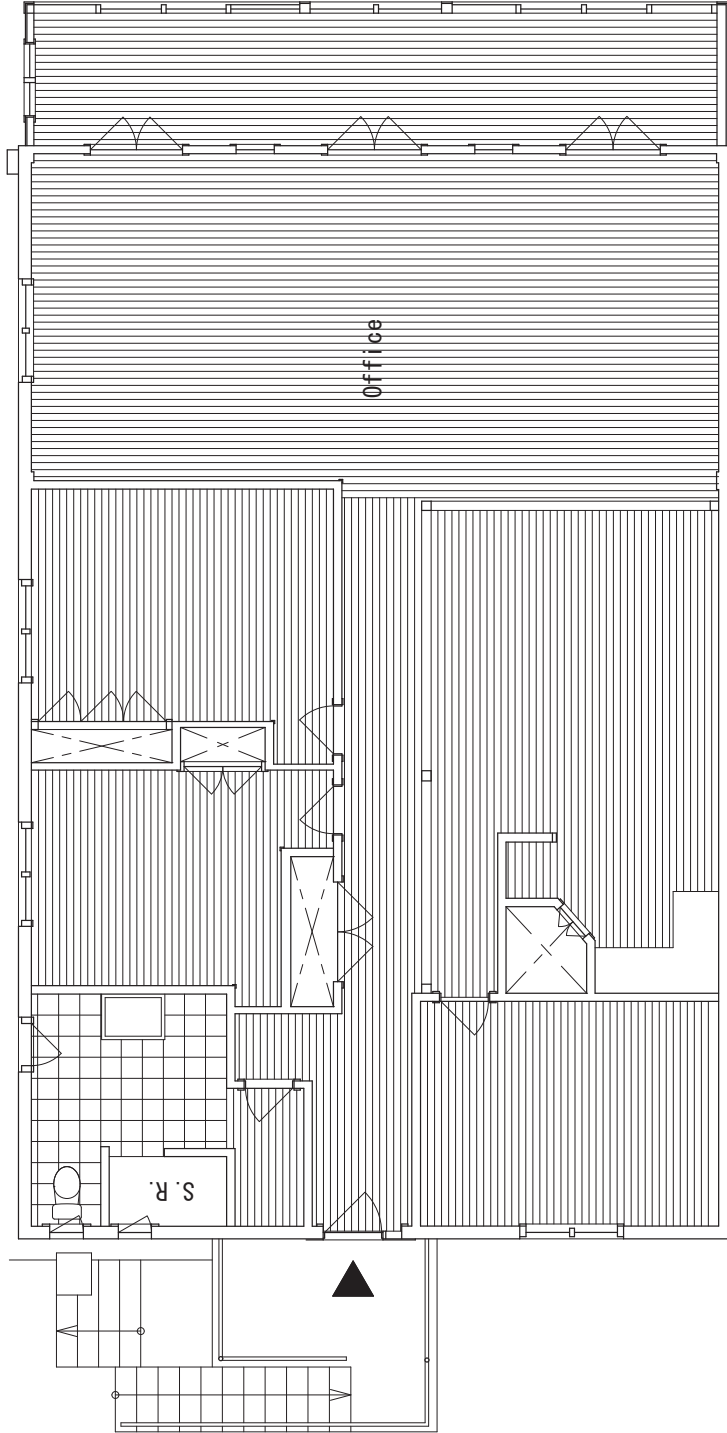


西側外観



|            |  |                       |                                      |
|------------|--|-----------------------|--------------------------------------|
| <b>B09</b> | <b>LOMAIVITI BUILDING WESTPAC &amp; COLONIAL BANK</b><br>Ground Floor Plan | Date<br>Aug. 17. 2018 | <b>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</b> |
|------------|--|-----------------------|--------------------------------------|





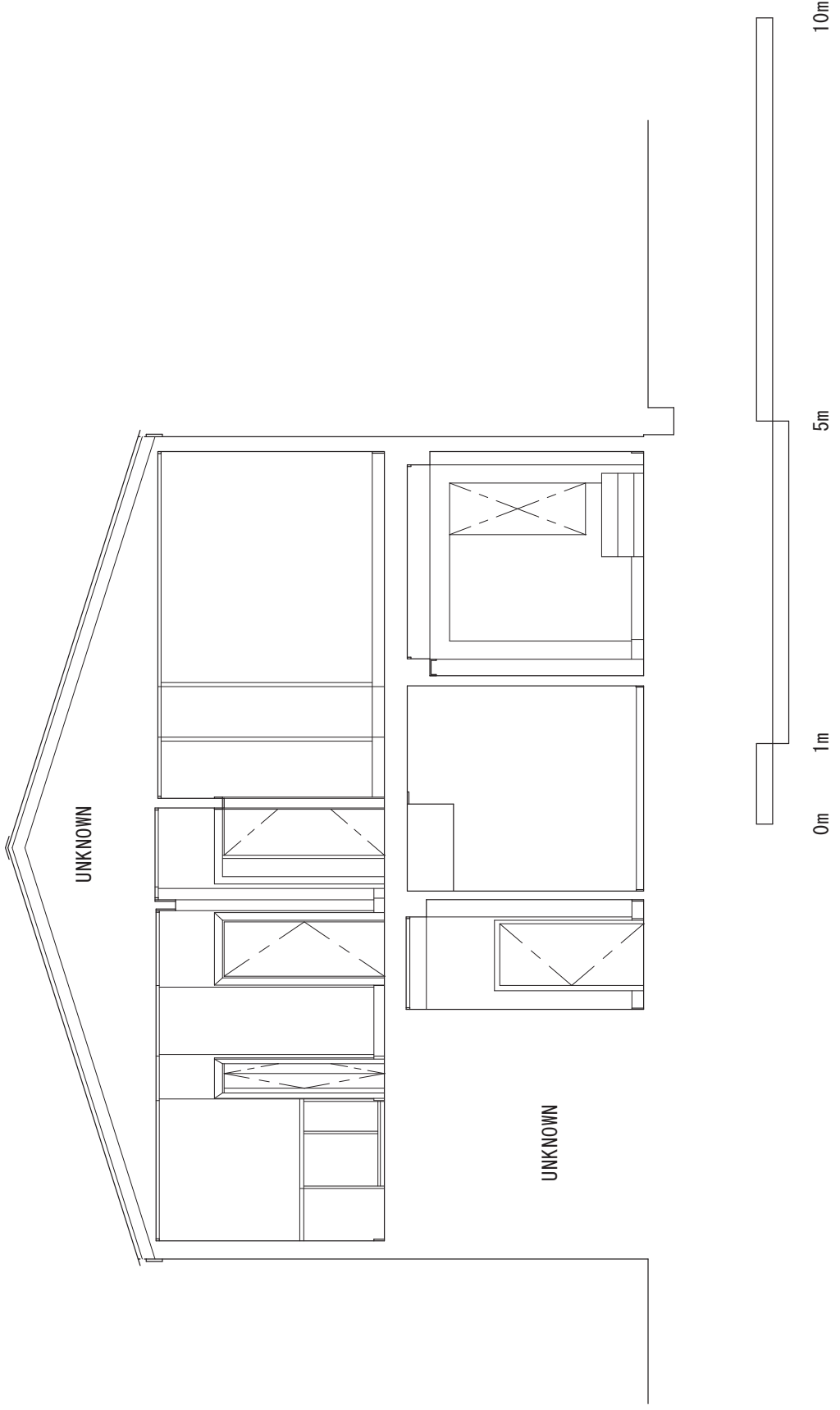
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 17. 2018

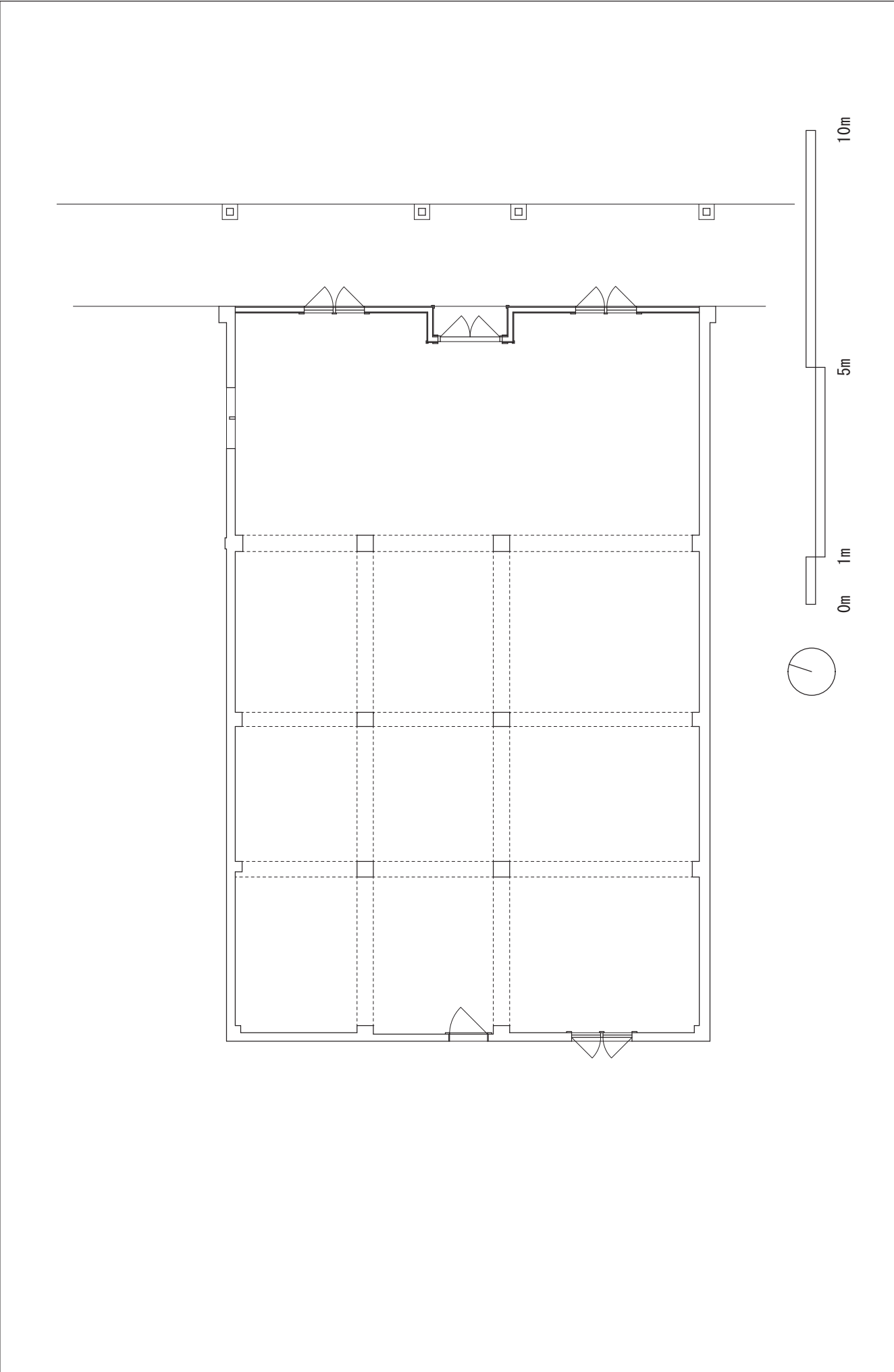
LOMAIVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK  
First Floor Plan

B09

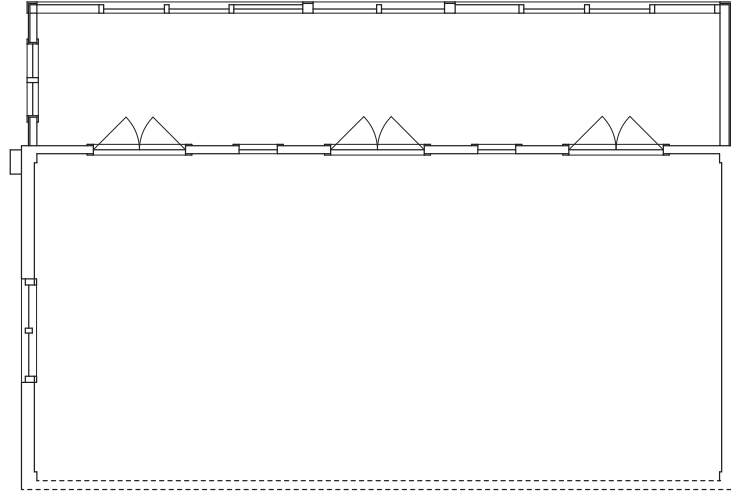




|            |   |                       |                               |
|------------|---|-----------------------|-------------------------------|
| <b>B09</b> | <b>LOMAIVITI BUILDING WESTPAC &amp; COLONIAL BANK</b> | Date<br>Aug. 17. 2018 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
| Section    |   |                       |                               |



|                              |   |                       |                                      |
|------------------------------|---|-----------------------|--------------------------------------|
| <b>B09</b>                   | <b>LOMAIVITI BUILDING WESTPAC &amp; COLONIAL BANK</b> | Date<br>Aug. 17. 2018 | <b>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</b> |
| Original Plan (Ground Floor) |   |                       |                                      |



0m 1m 5m 10m

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

Aug. 17. 2018

LOMAIVITI BUILDING WESTPAC & COLONIAL BANK

Original Plan (First Floor)

B09

ER-B10

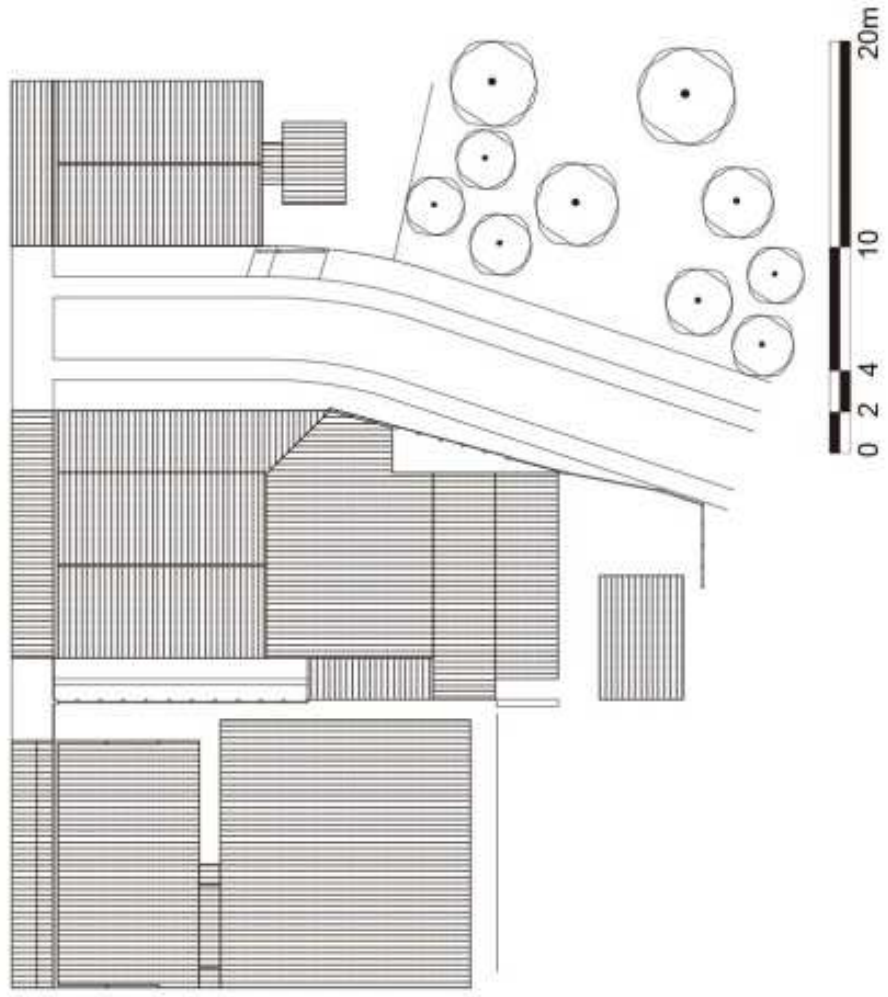
Gulabdas & Sons Store

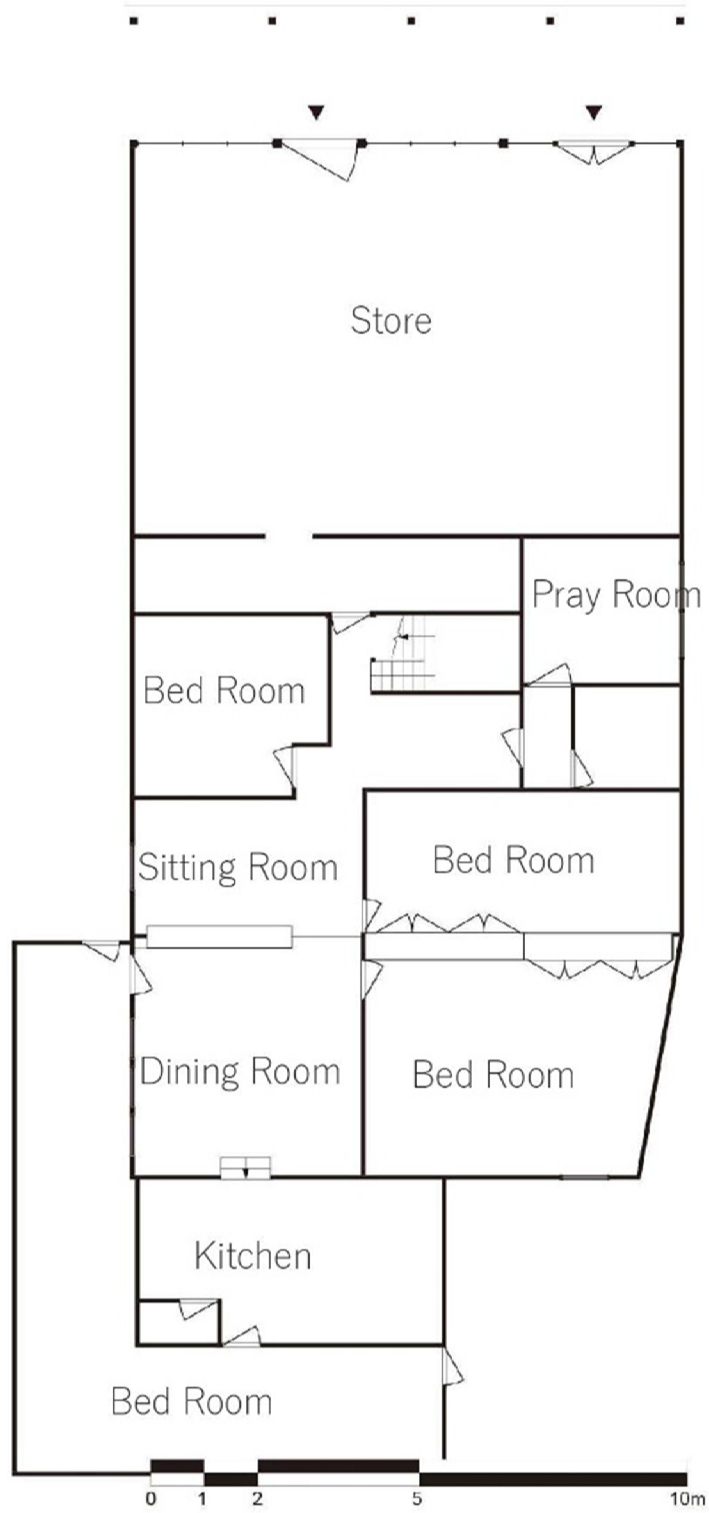


ビーチストリート俯瞰



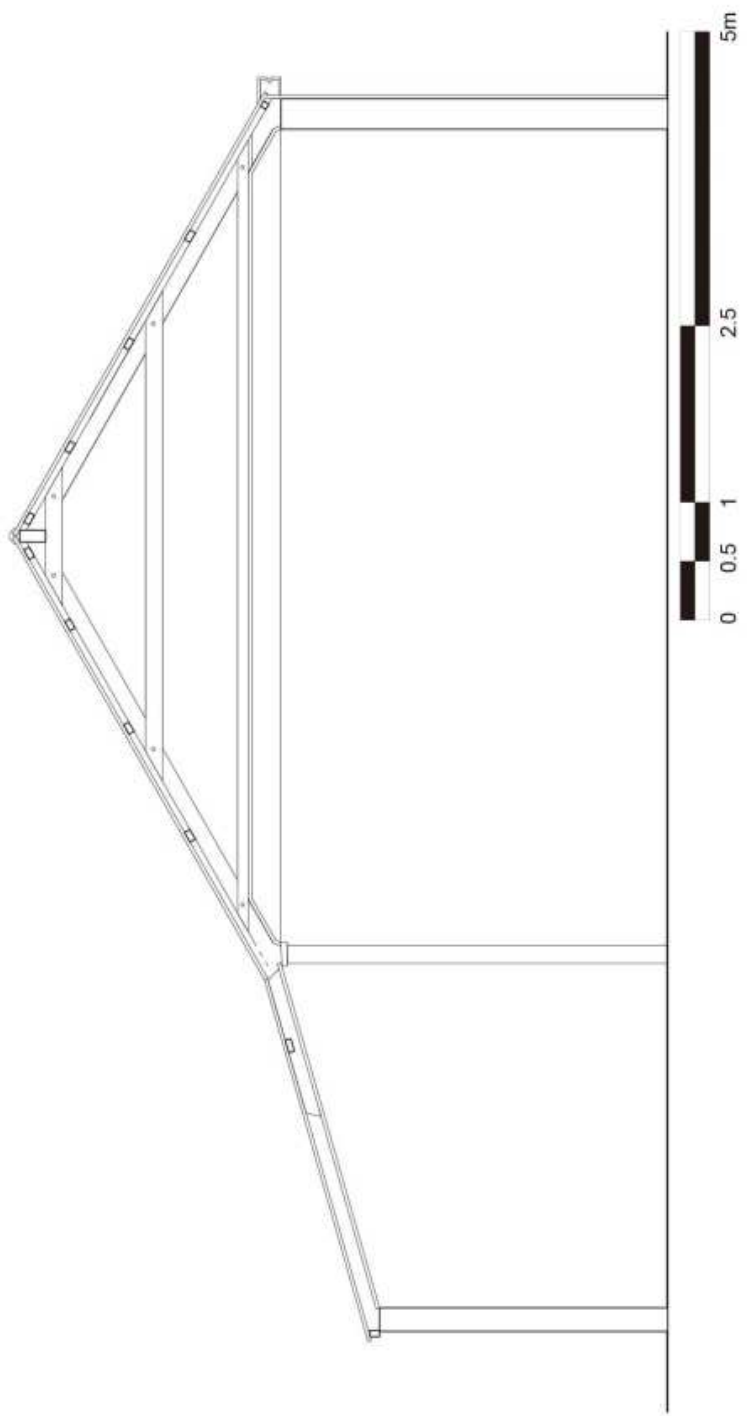
撮影年不明(Fiji Museum 所蔵)





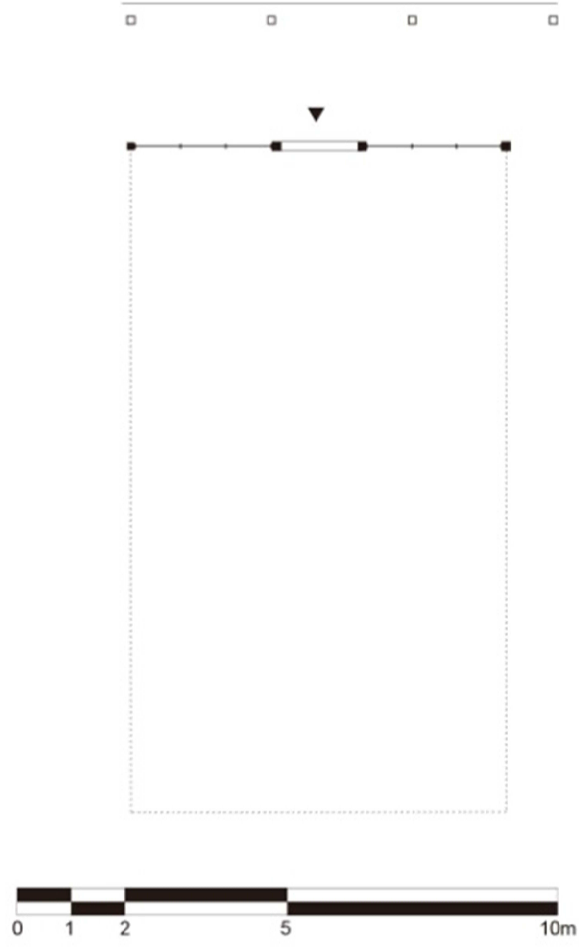
Floor Plan





Section

Gulabdas & Sons Store 図面作成：九州大学



Original Plan

ER-B11

Courts Supermaket



店舗内観



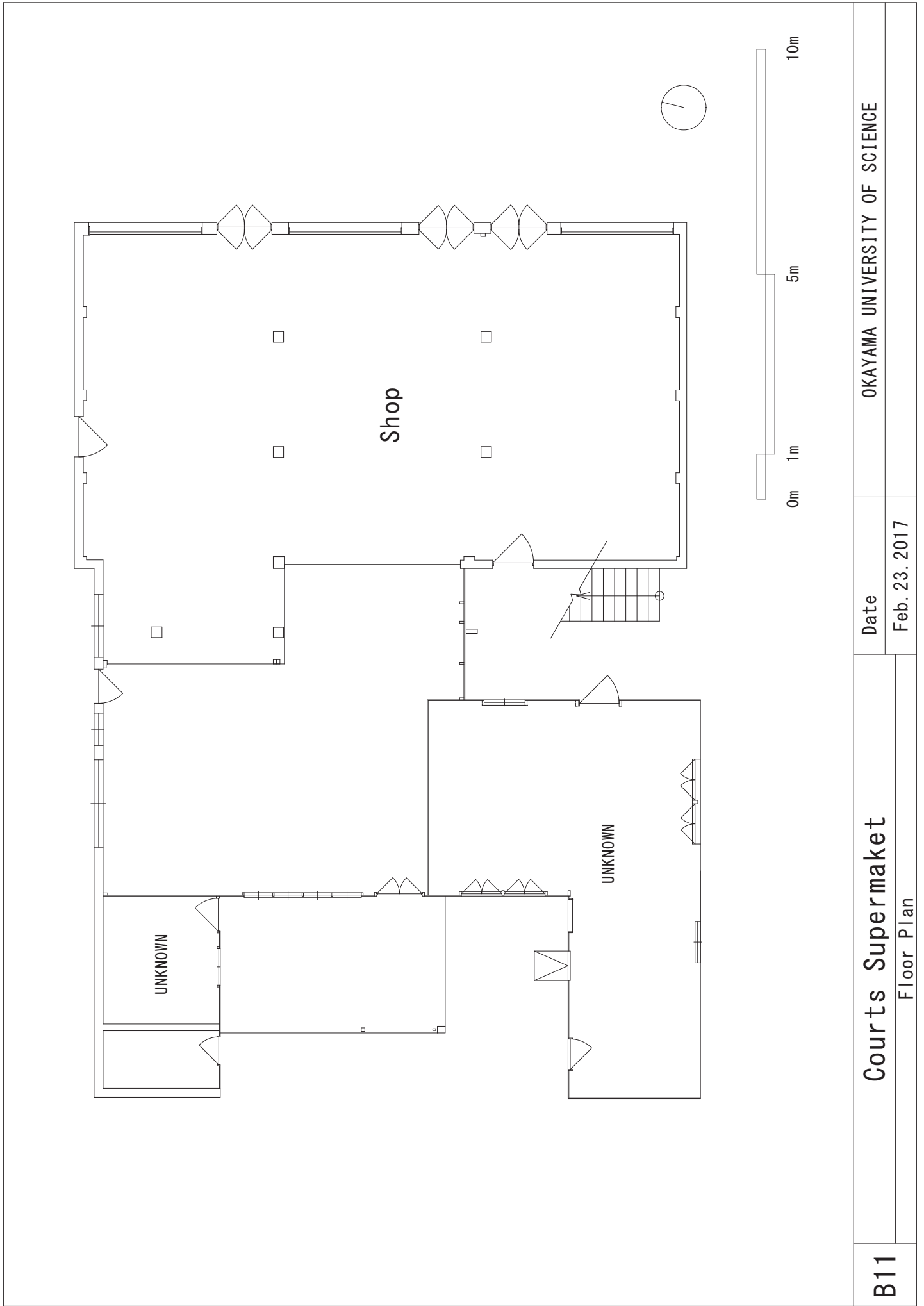
後方外観



バックヤード



北側外観



B11

Courts Supermarket  
Floor Plan

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B12

Former Paddy's Building



南側店舗内観



北側店舗内観

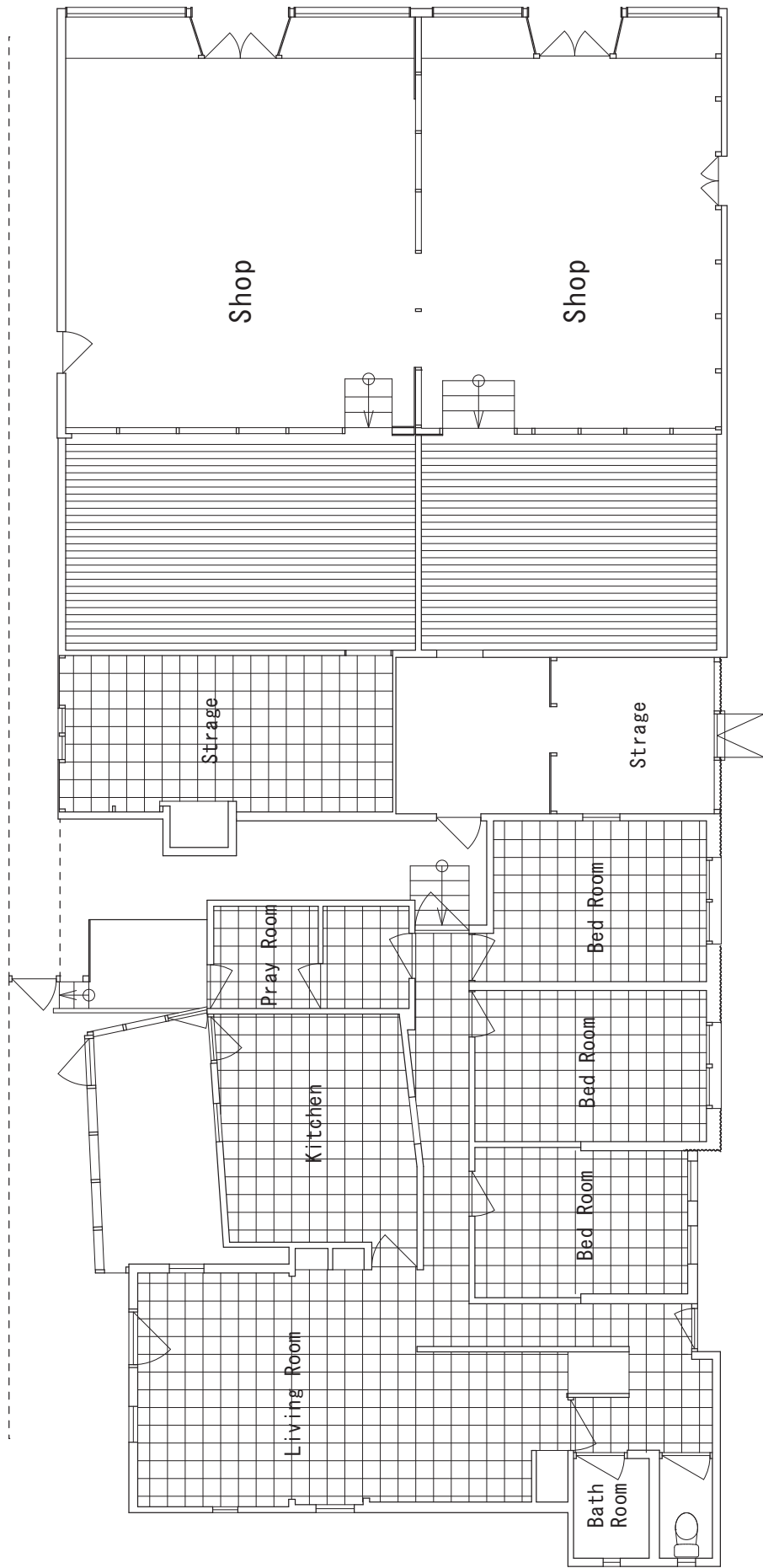


住居部分廊下



リビング





OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

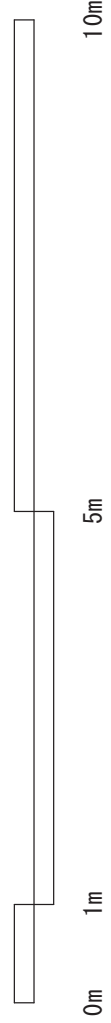
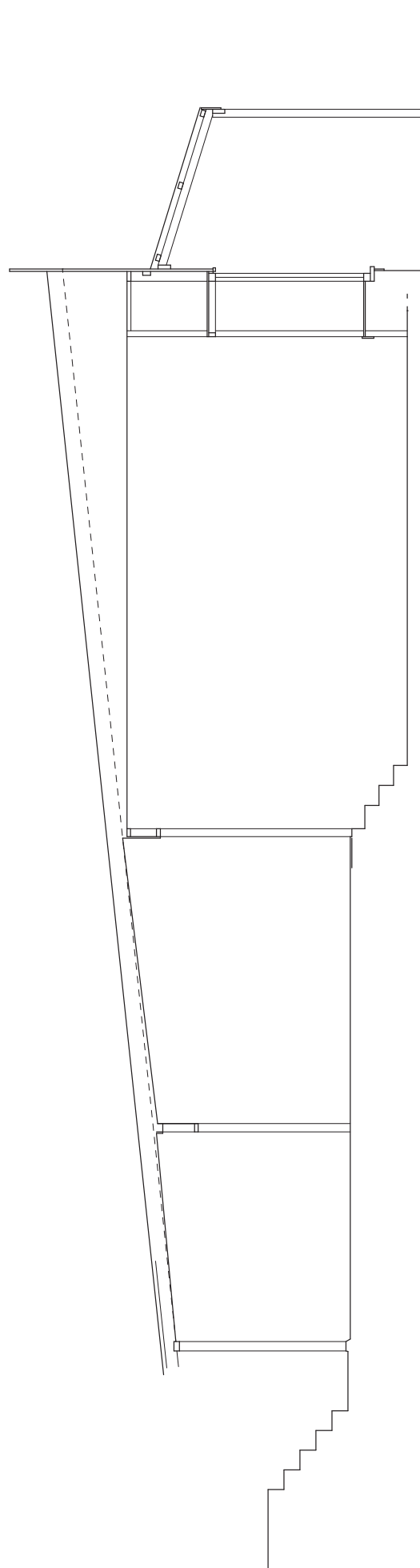
Aug. 06. 2018

R. K. SINGH STORE

Floor Plan

B12





**B12**

**R. K. SINGH STORE**

Section

Date

Aug. 06. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B13

Kumar Building/ Kim's Restaurant



2006年 ACCU 掲載写真



2006年 ACCU 掲載写真

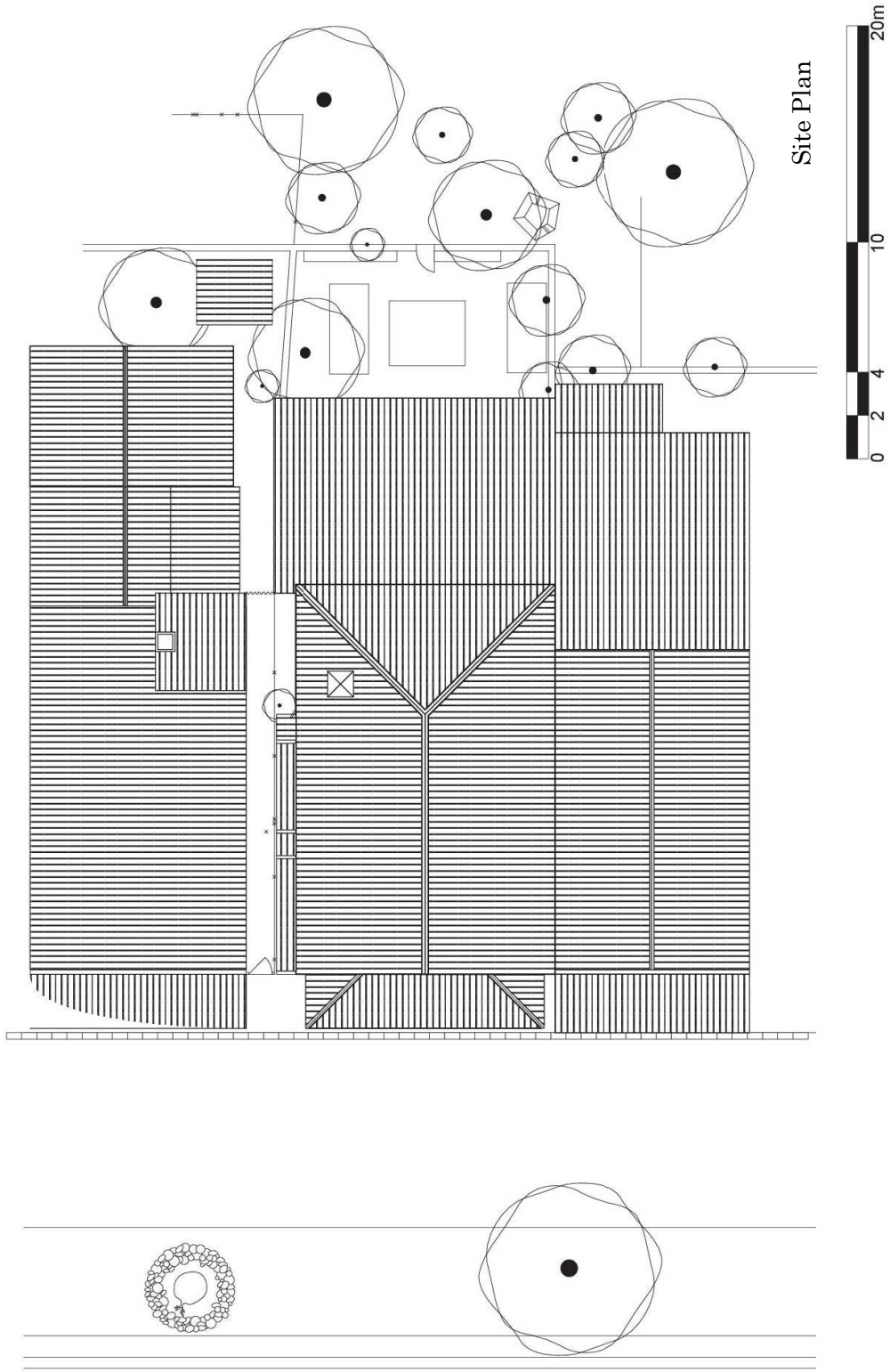


2006年 ACCU 掲載写真

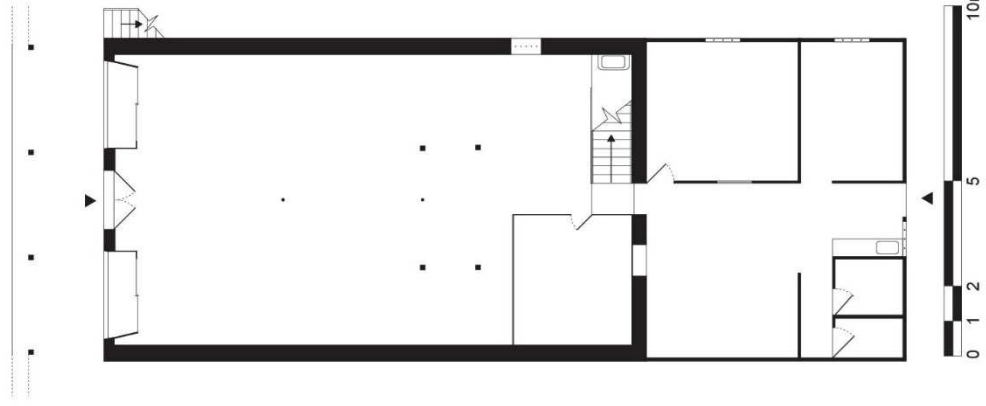


店下

ER-B13 Kumar Building/ Kim's Restaurant 图面作成：九州大学



1F Current Plan

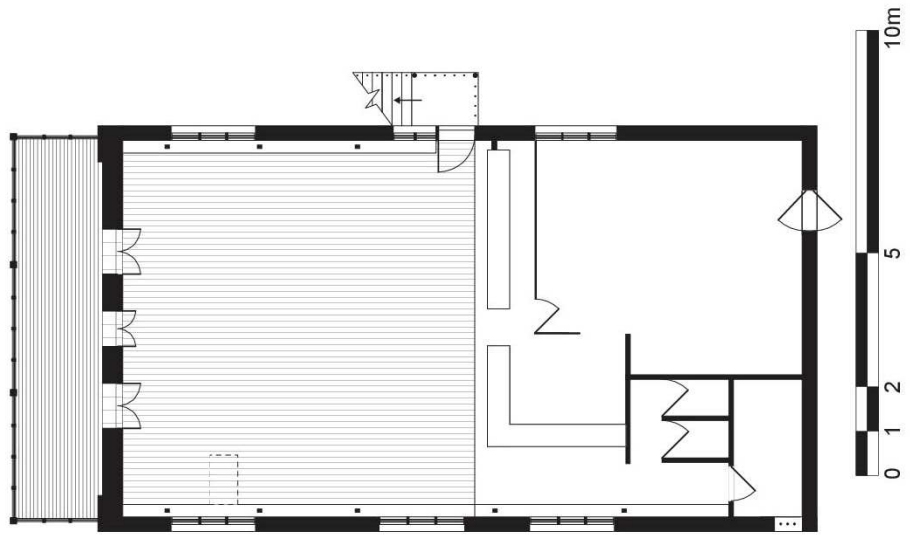


1F Original Plan



Floor Plan

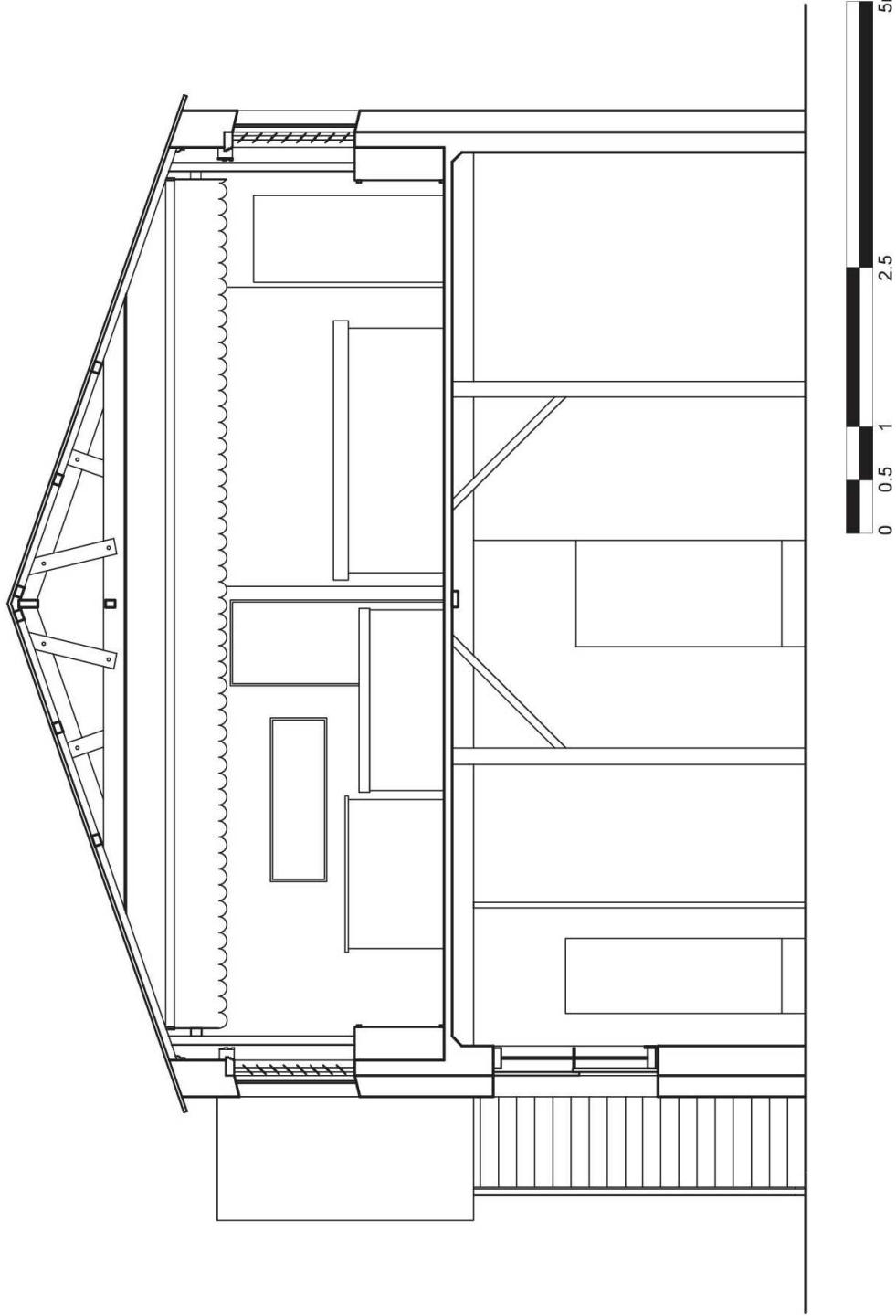
**2F Current Plan**



**2F Original Plan**



Kumar Building/ Kim's Restaurant 図面作成：九州大学



Section



ER-B14

R Domodar & Sons



山の中腹から(緑色の建物左側が該当物件)



店舗内観

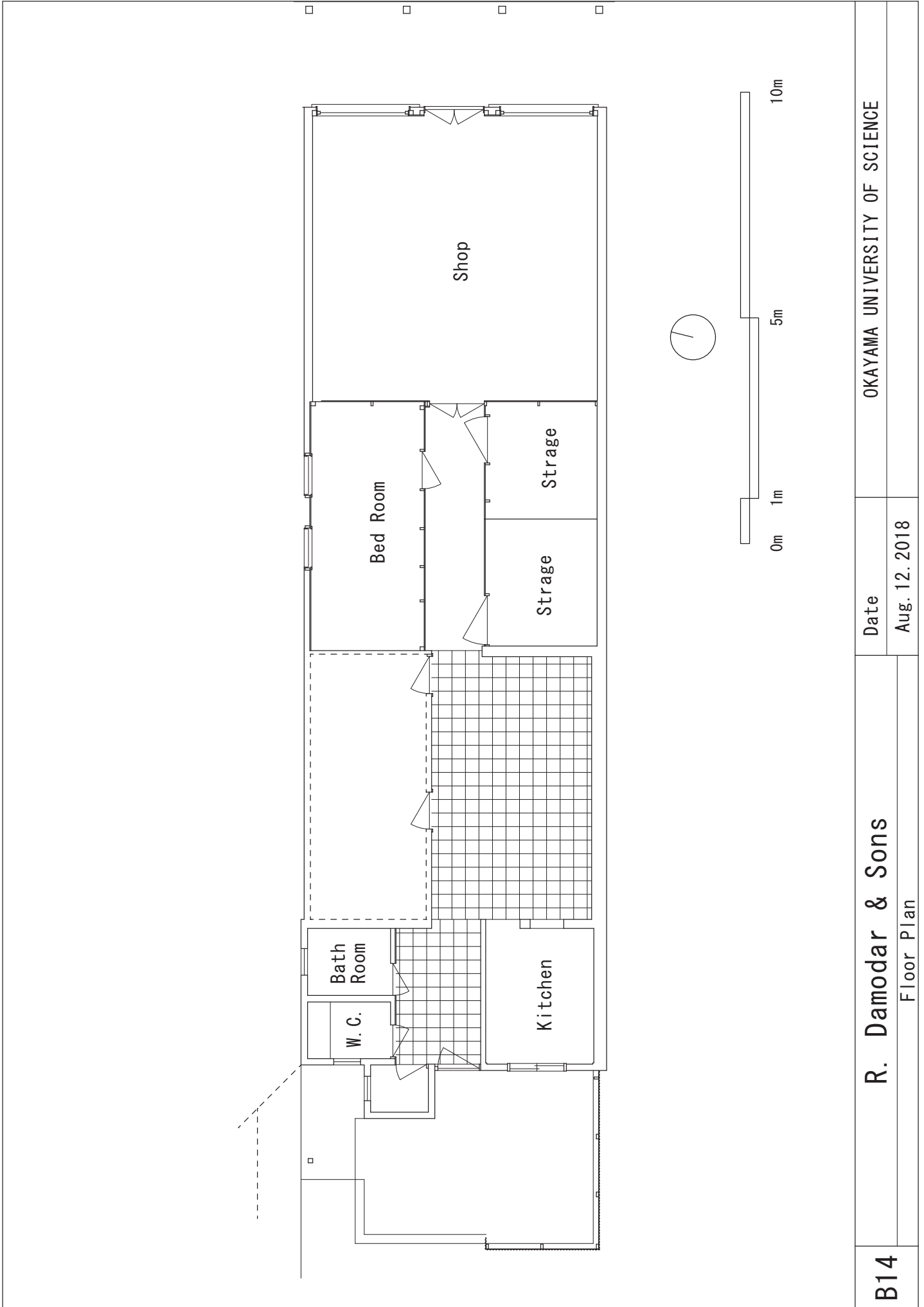


リビング



バックヤード

所有者の意向により店舗、リビング、バックヤード以外の撮影は不可

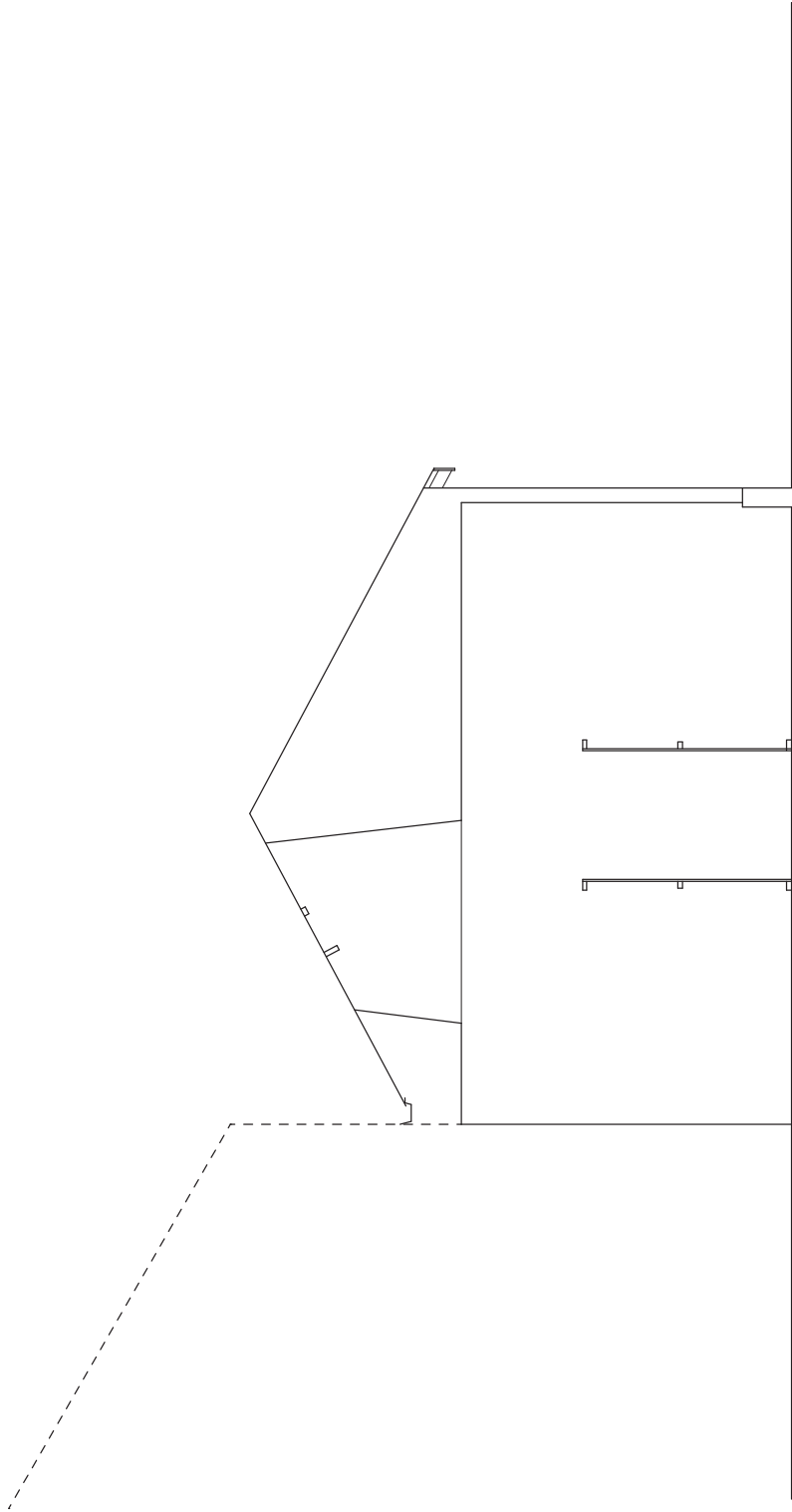


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 12. 2018

R. Damodar & Sons  
Floor Plan

B14



**B14**

**R. Damodar & Sons**

Section

Date

Aug. 12. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B15

Vallabh & Sons



店舗内観



店舗天井

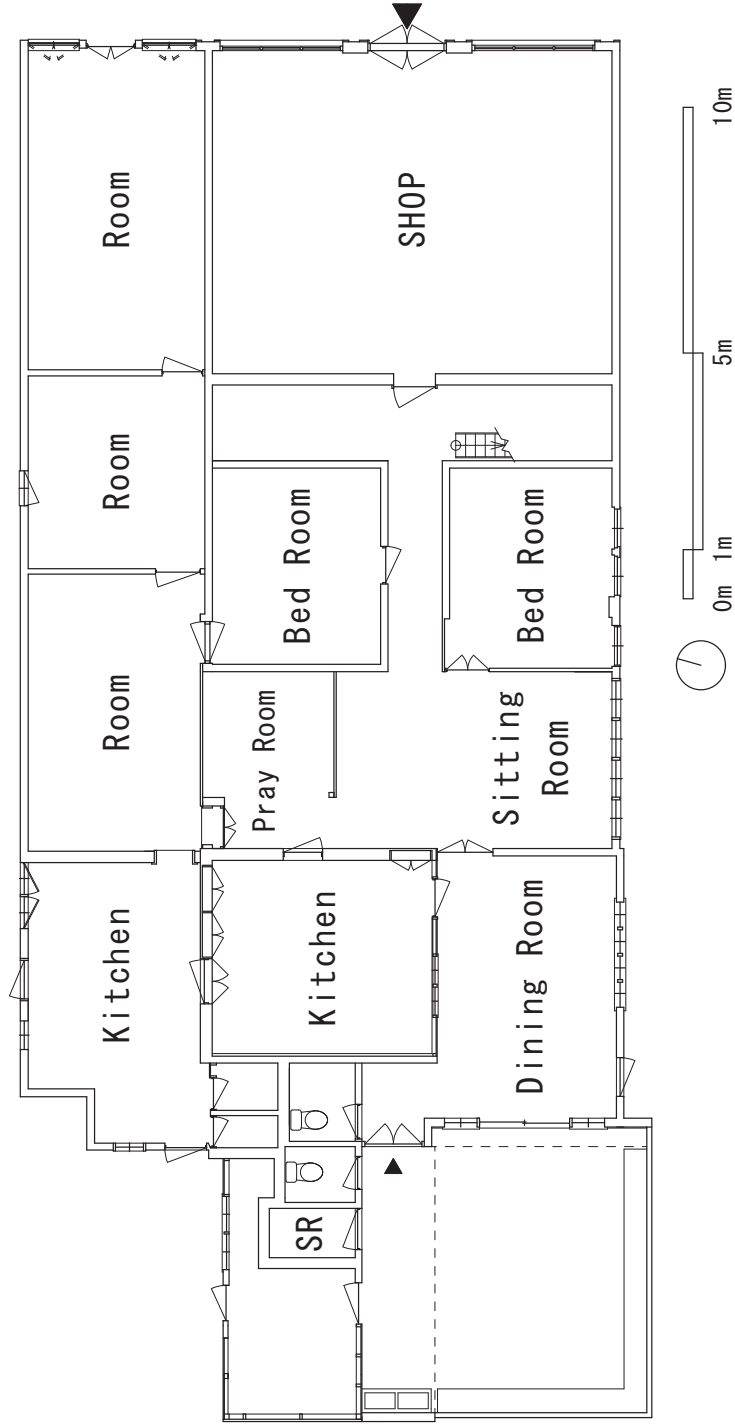


小屋組み



バックヤード



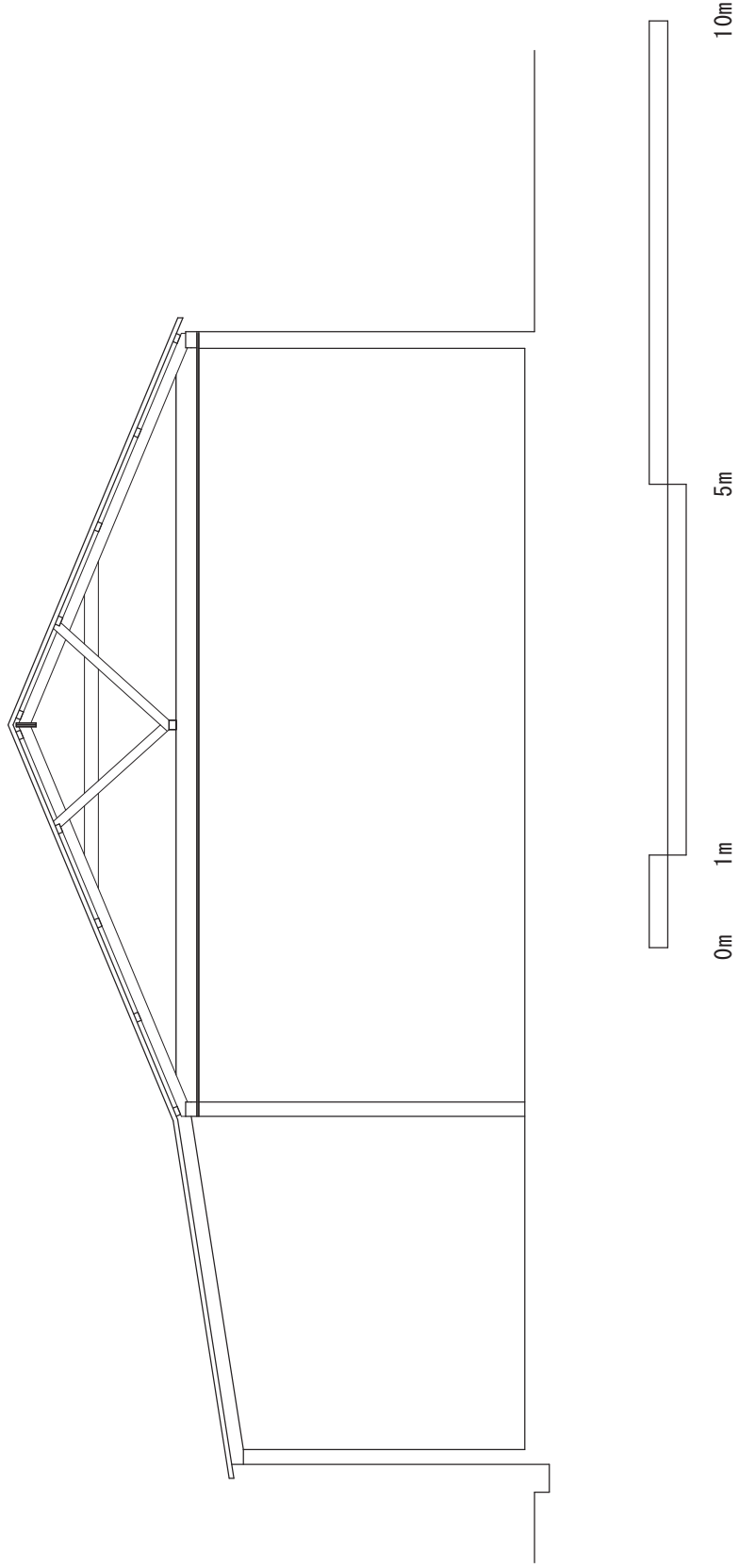


B15

Vallabh & Sons  
Floor Plan

Date  
Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B15

Vallabh & Sons

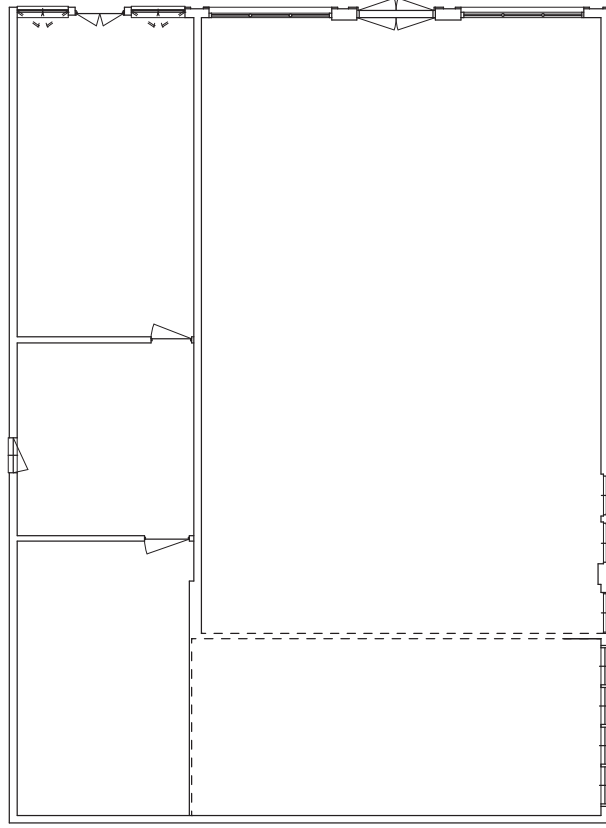
Section

Date

Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





B15

Vallabh & Sons  
Original Plan

Date

Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B16

Ranchod's Supermarket



店舗内観(2007年九州大学撮影)

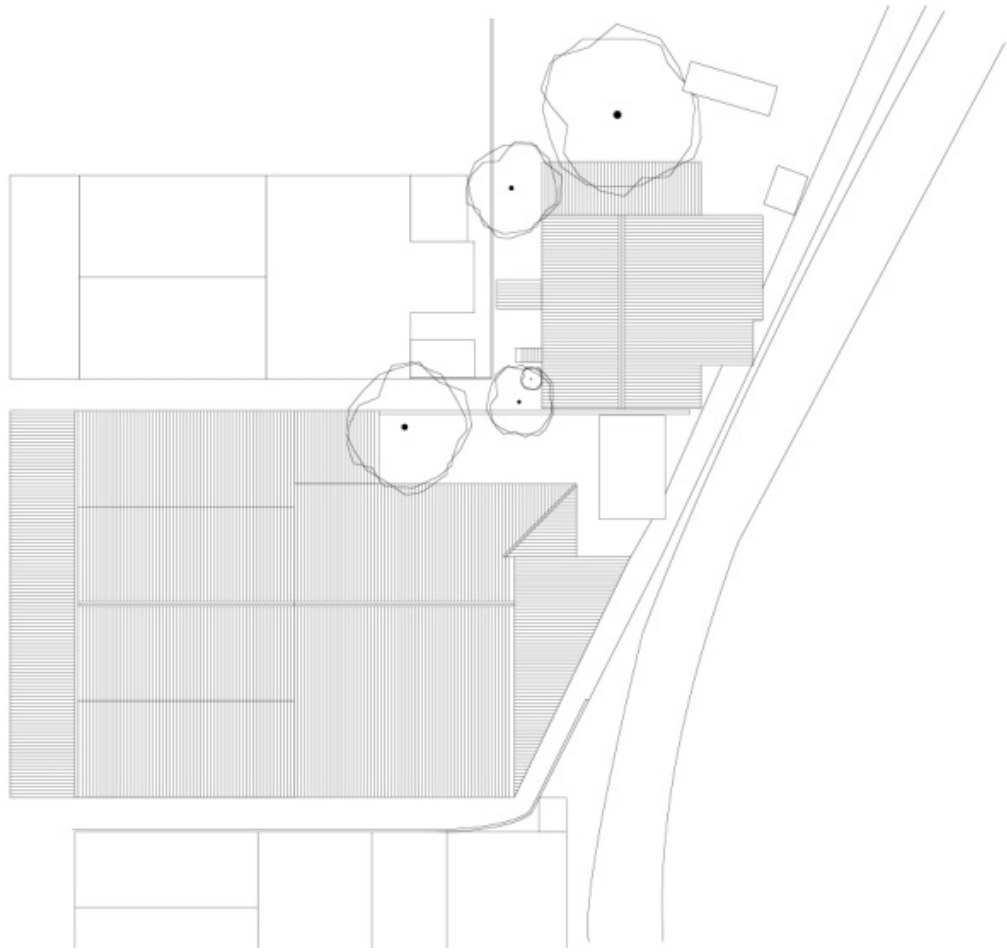


バックヤード増築時



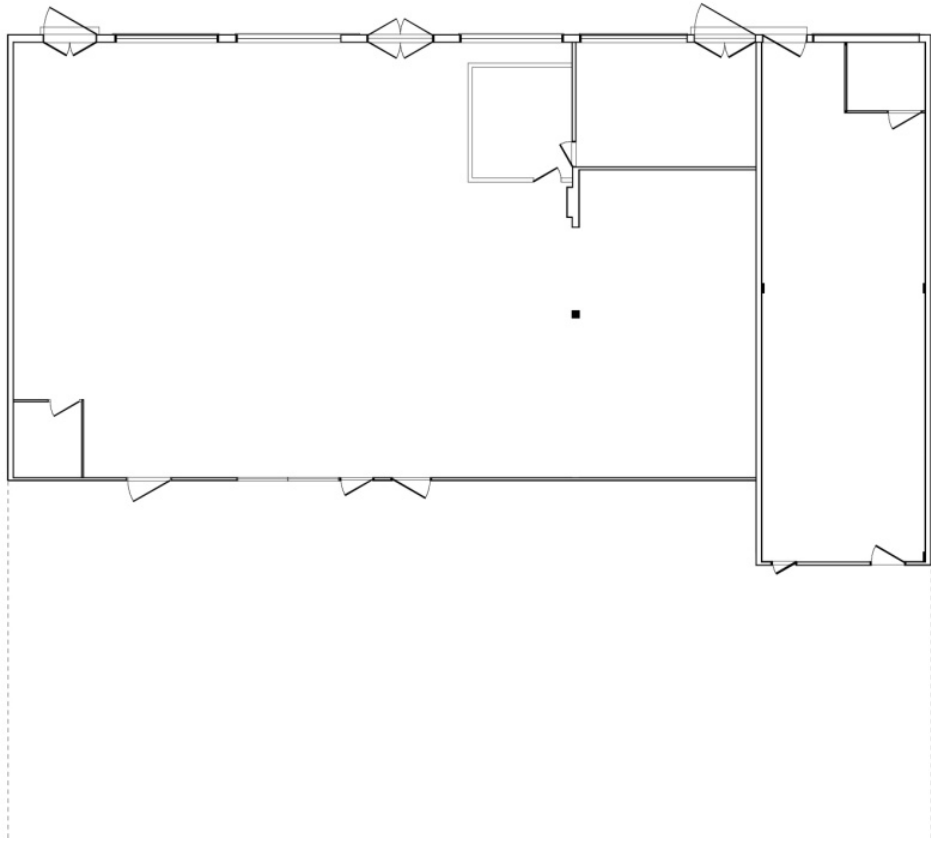
ビーチストリート俯瞰

ER:B16 Ranchod's Supermaket 図面作成：九州大学



Site Plan

Ranchod's Supermaket 図面作成：九州大学



Floor Plan



ER-B17

Whale's Tale Restaurant



2006年 ACCU 掲載写真



後方増築部外観

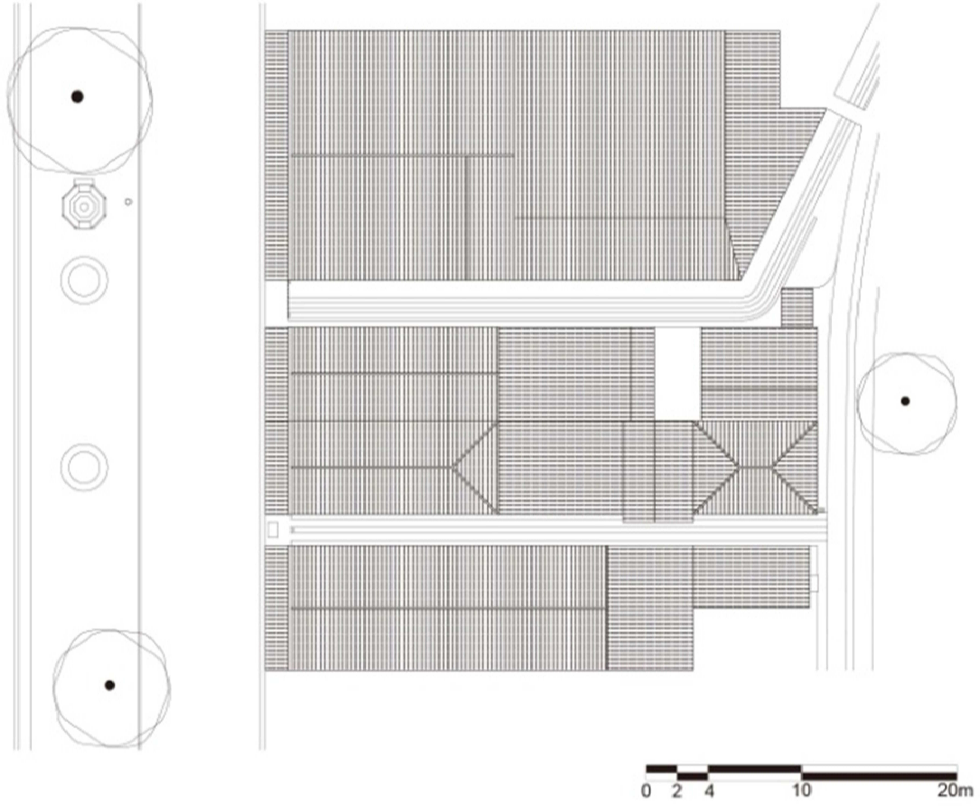


後方増築前

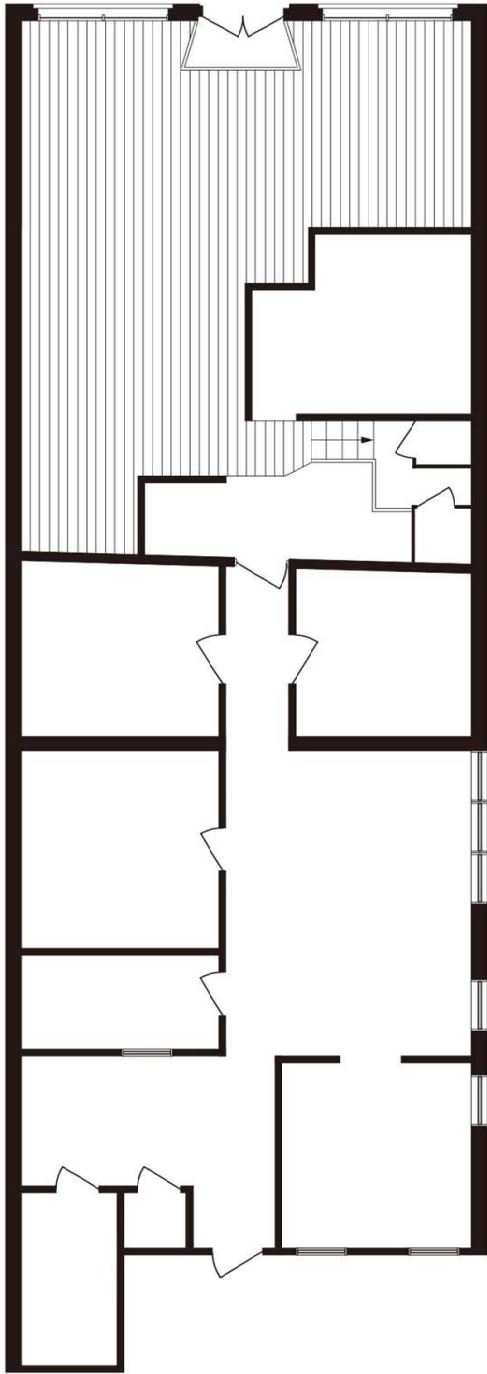


店下

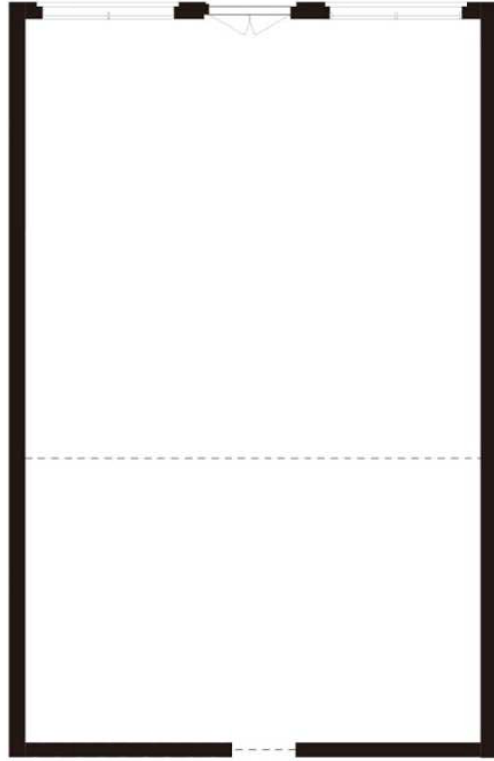
ER:B17 Whale's Tale Restaurant 図面作成：九州大学







Floor Plan



Original Plan



ER-B18

Narsey & Sons



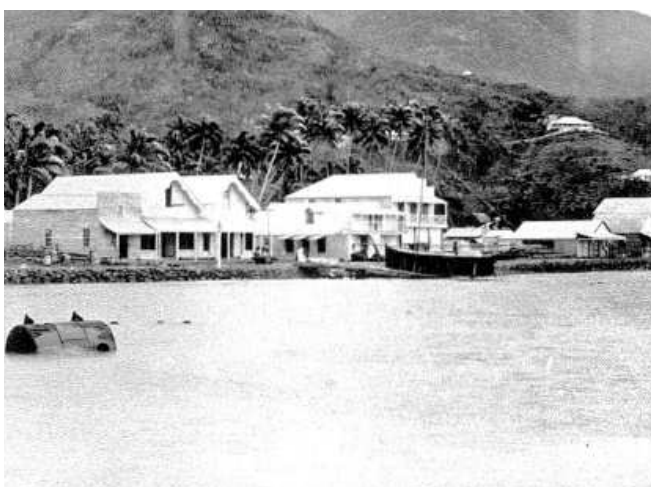
店舖內觀



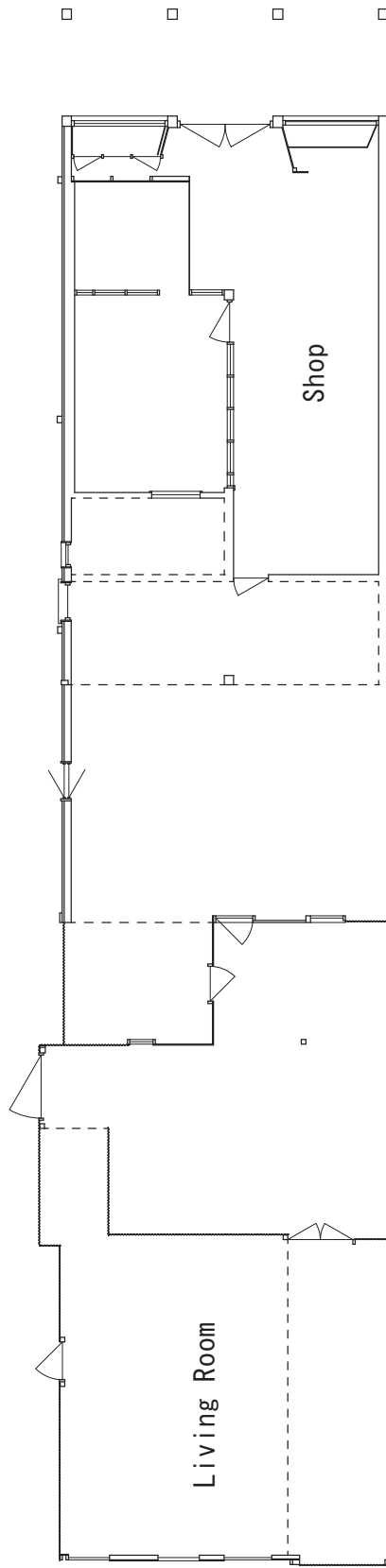
後方外觀



店舖內觀 2



19 世紀攝影(Fiji Museum 所藏)



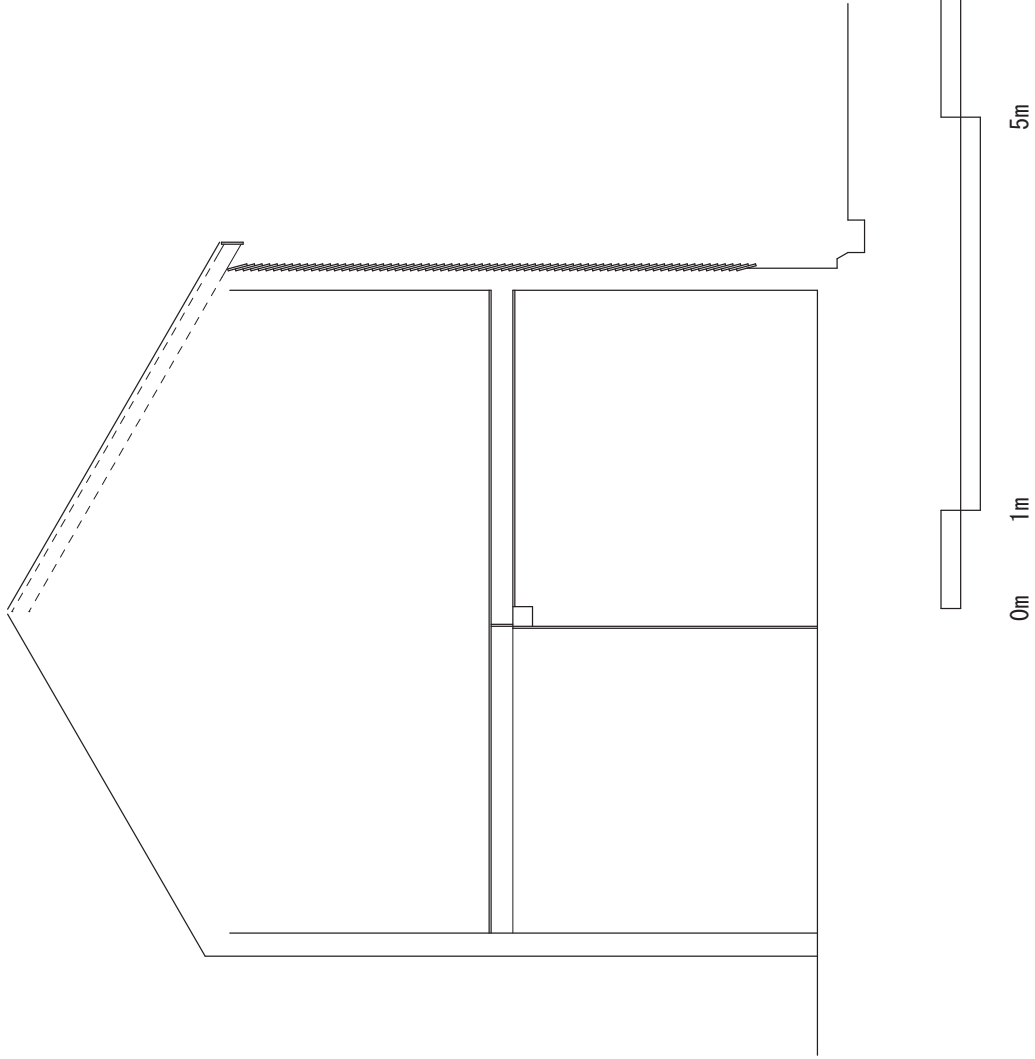
B18

Narsey & Sons  
Floor Plan

Date

Aug. 15. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B18

Narsey & Sons  
Section

Date

Aug. 15. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER-B19

S A Kishore & Sons/Katudrau



北側店舖内観



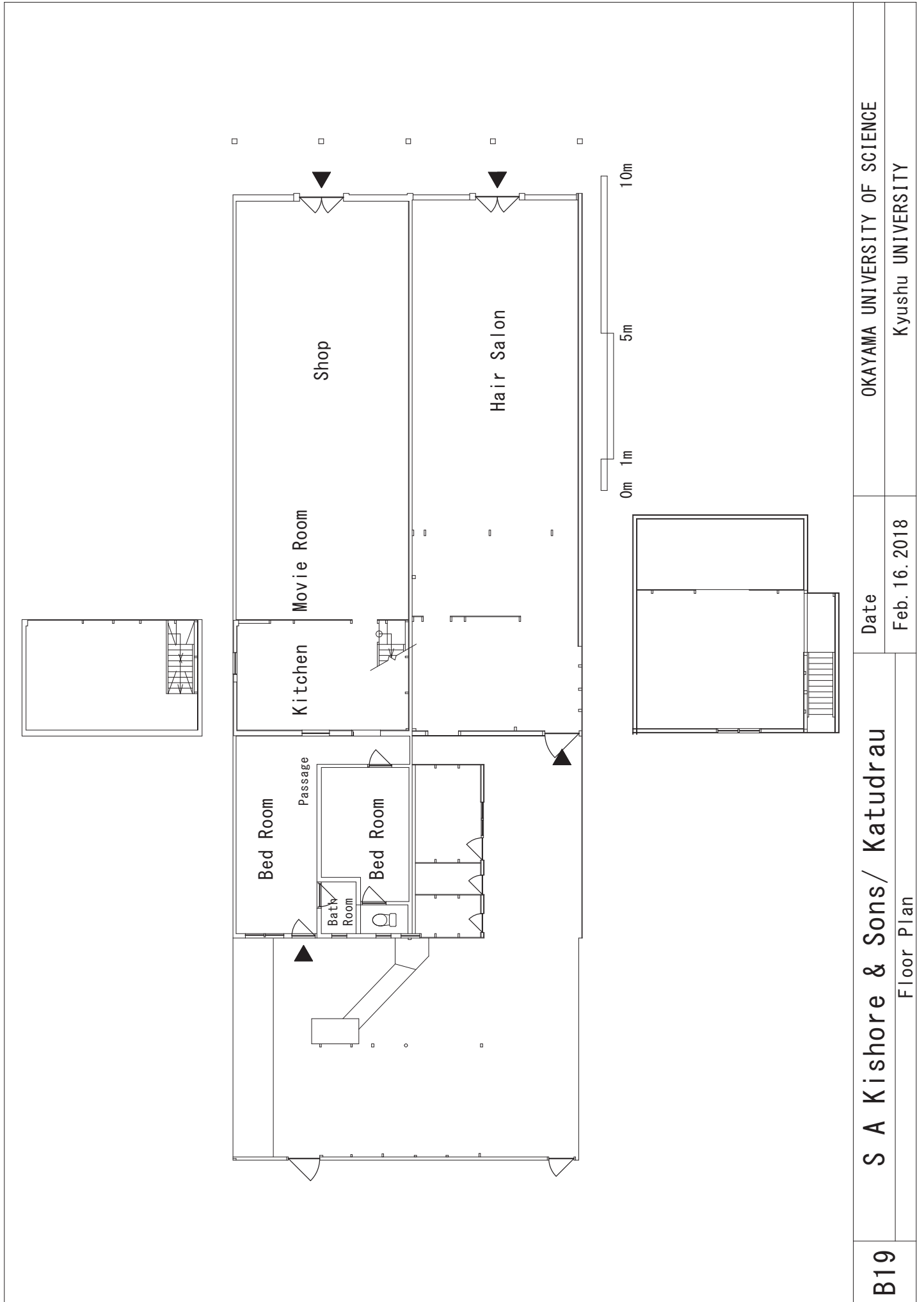
南側店舖内観(2007年九州大学撮影)



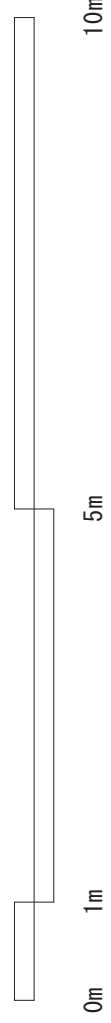
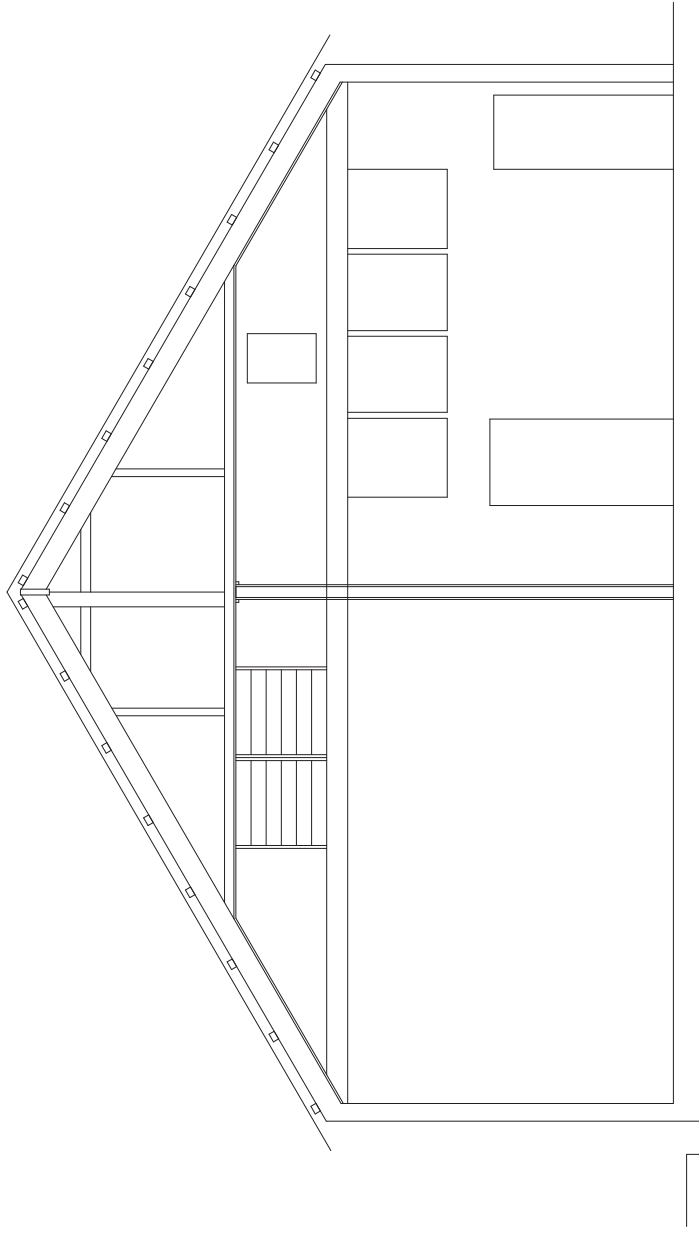
北側店舖中2階内観



西側外観







**B19**

**S A Kishore & Sons/ Katudrau**

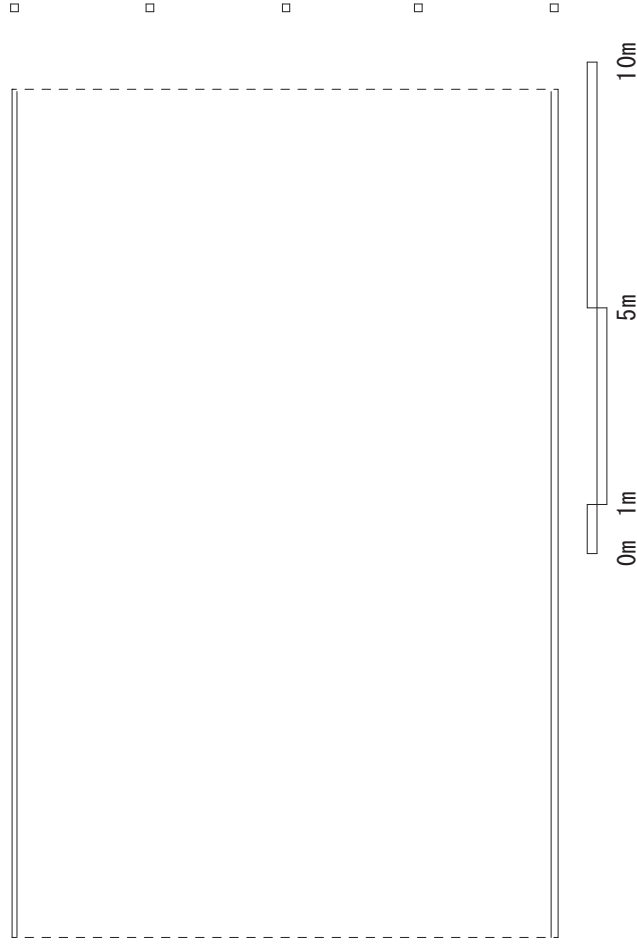
Section

Date

Feb. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



**B19**

**S A Kishore & Sons/ Katudrau**

Original Plan

Date

Feb. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

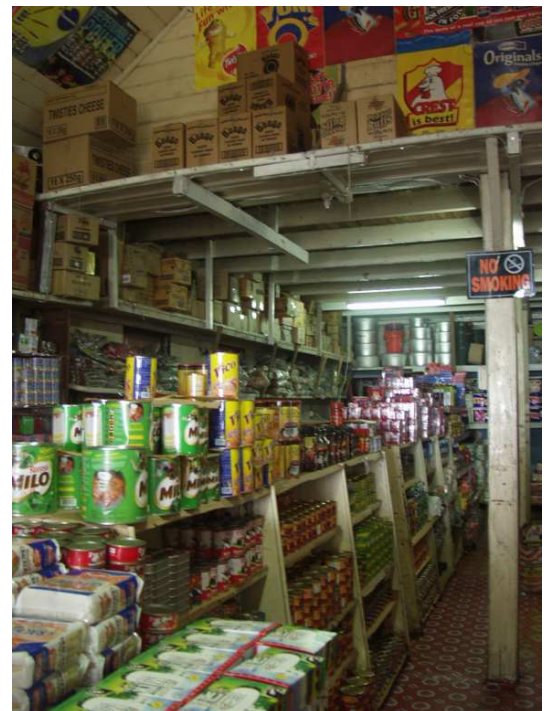
ER:B20

Nelson Supermarket

Indy photo/ LOMAIVITI STUDIO



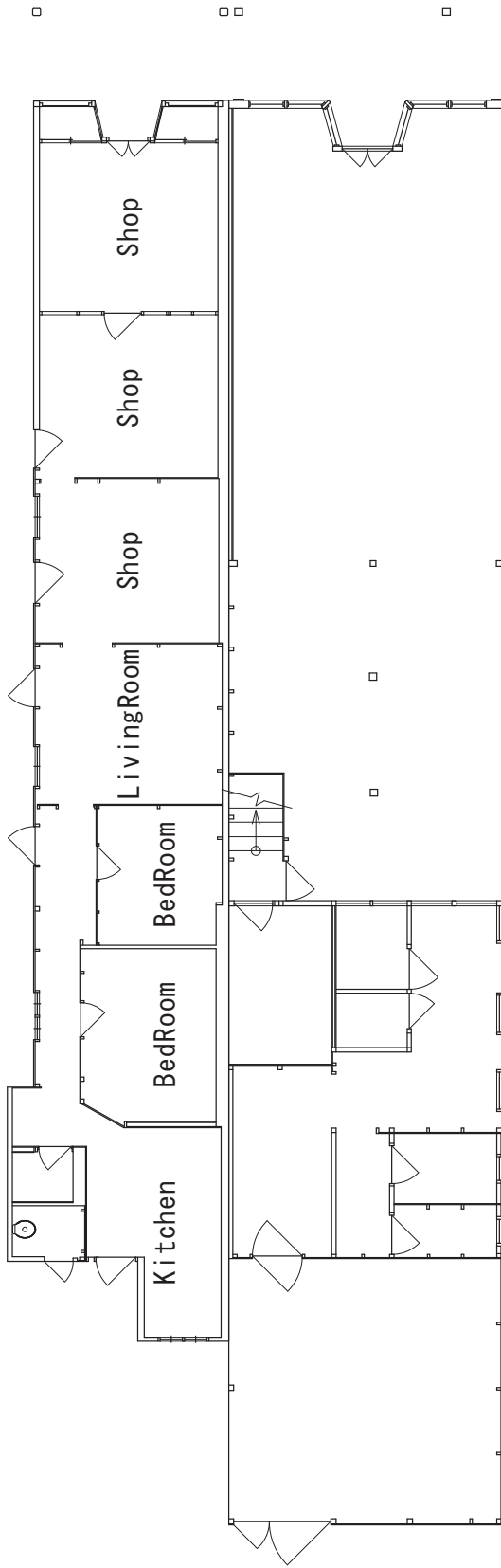
北側店舗内観



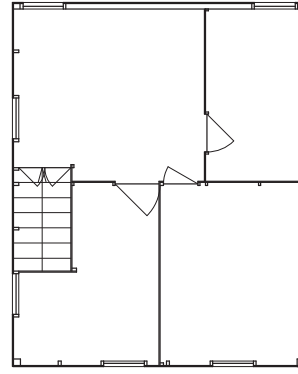
南側店舗内観(2007年九州大学撮影)



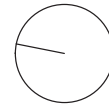
ビーチストリート俯瞰

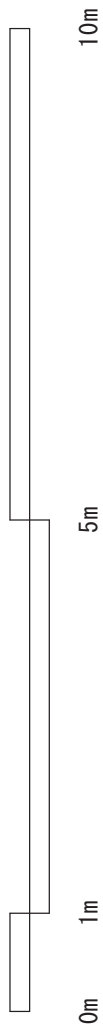
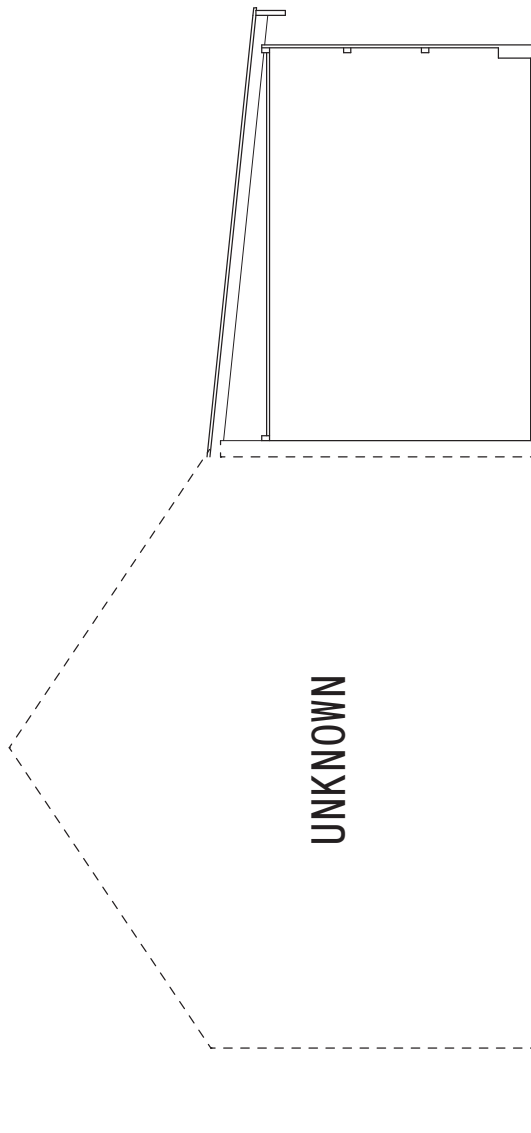


GROUND FLOOR PLAN



1st FLOOR PLAN





B20

Nalson Supermarket, LOMAIVITI STUDIO

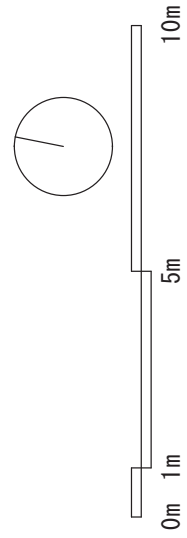
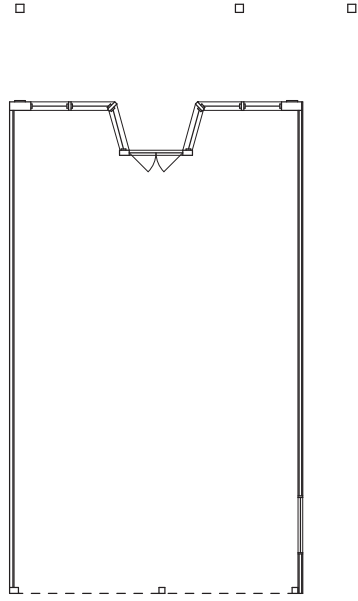
Section

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



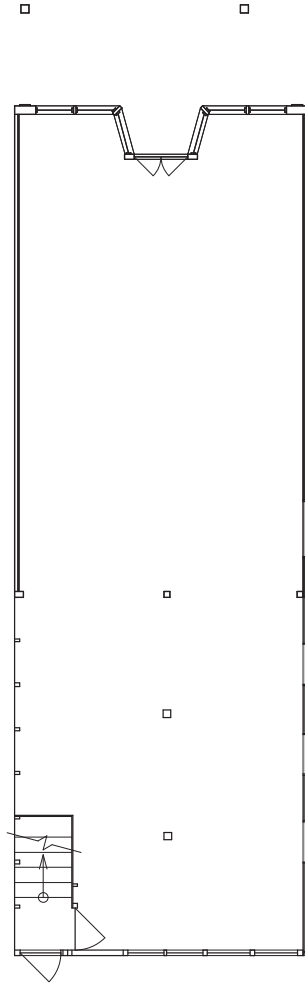
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE  
Kyushu UNIVERSITY

Date  
Aug. 16. 2016

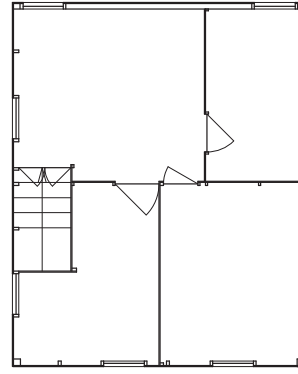
Nalson Supermarket, LOMAIVITI STUDIO  
1st Original Plan

B20

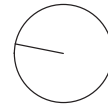


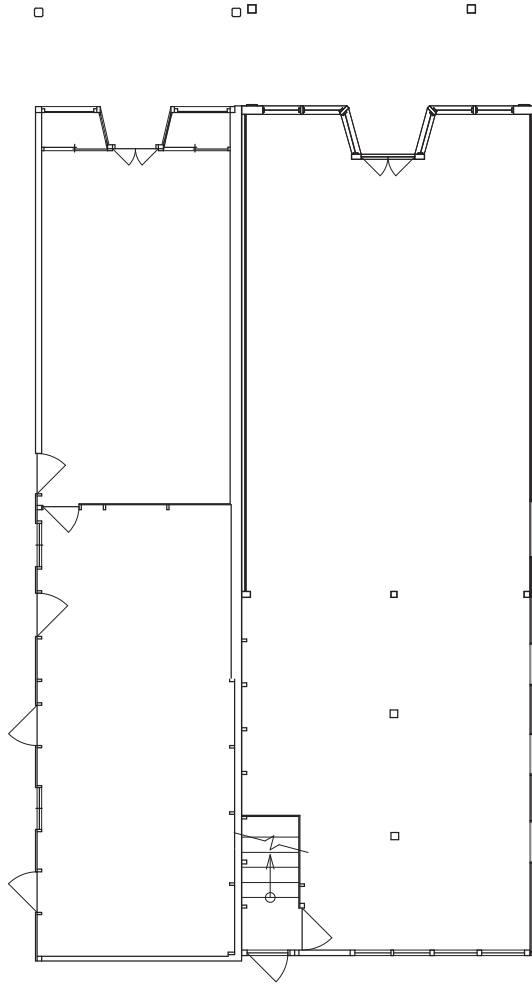


GROUND FLOOR PLAN

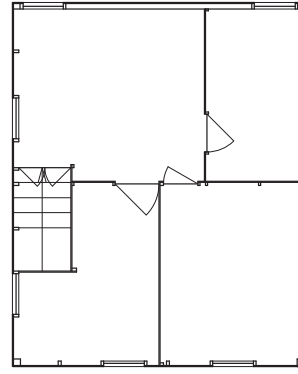


1st FLOOR PLAN

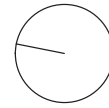




GROUND FLOOR PLAN



1st FLOOR PLAN



B20

Nalson Supermarket, LOMAIVITI STUDIO

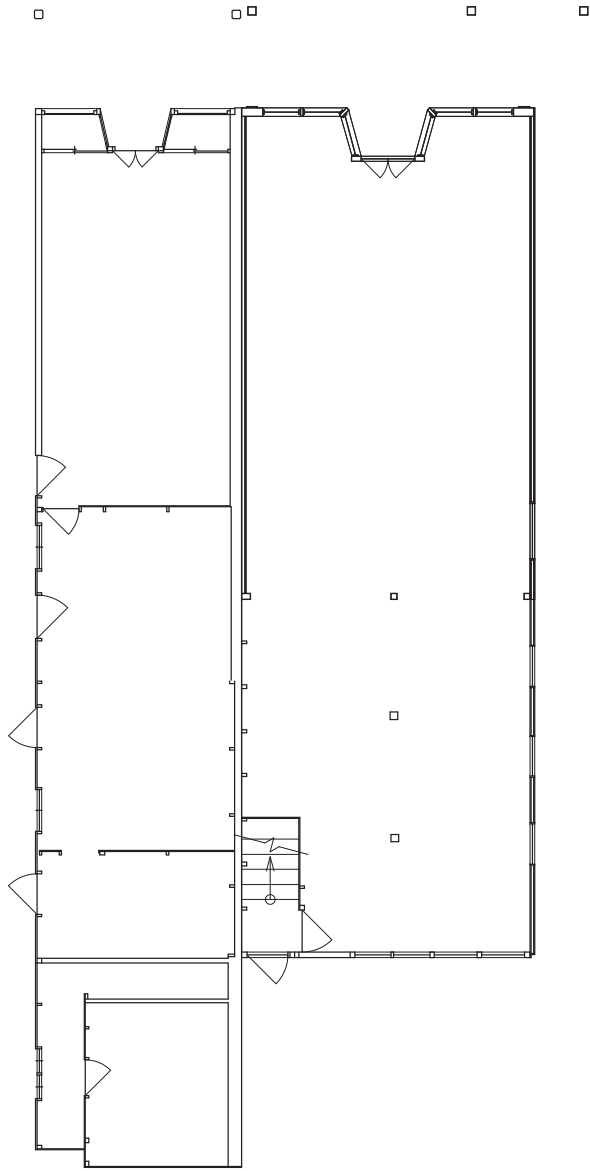
3rd Original Plan

Date

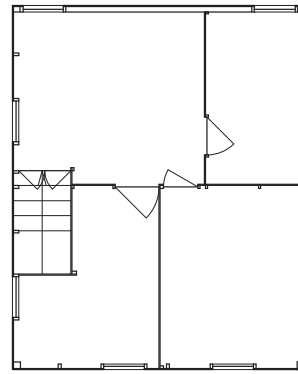
Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

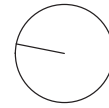
Kyushu UNIVERSITY



GROUND FLOOR PLAN



1st FLOOR PLAN



B20

Nalson Supermarket, LOMAIVITI STUDIO

4th Original Plan

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

ER-B21

Indy restaurant

Young Yet



南側店舗内観



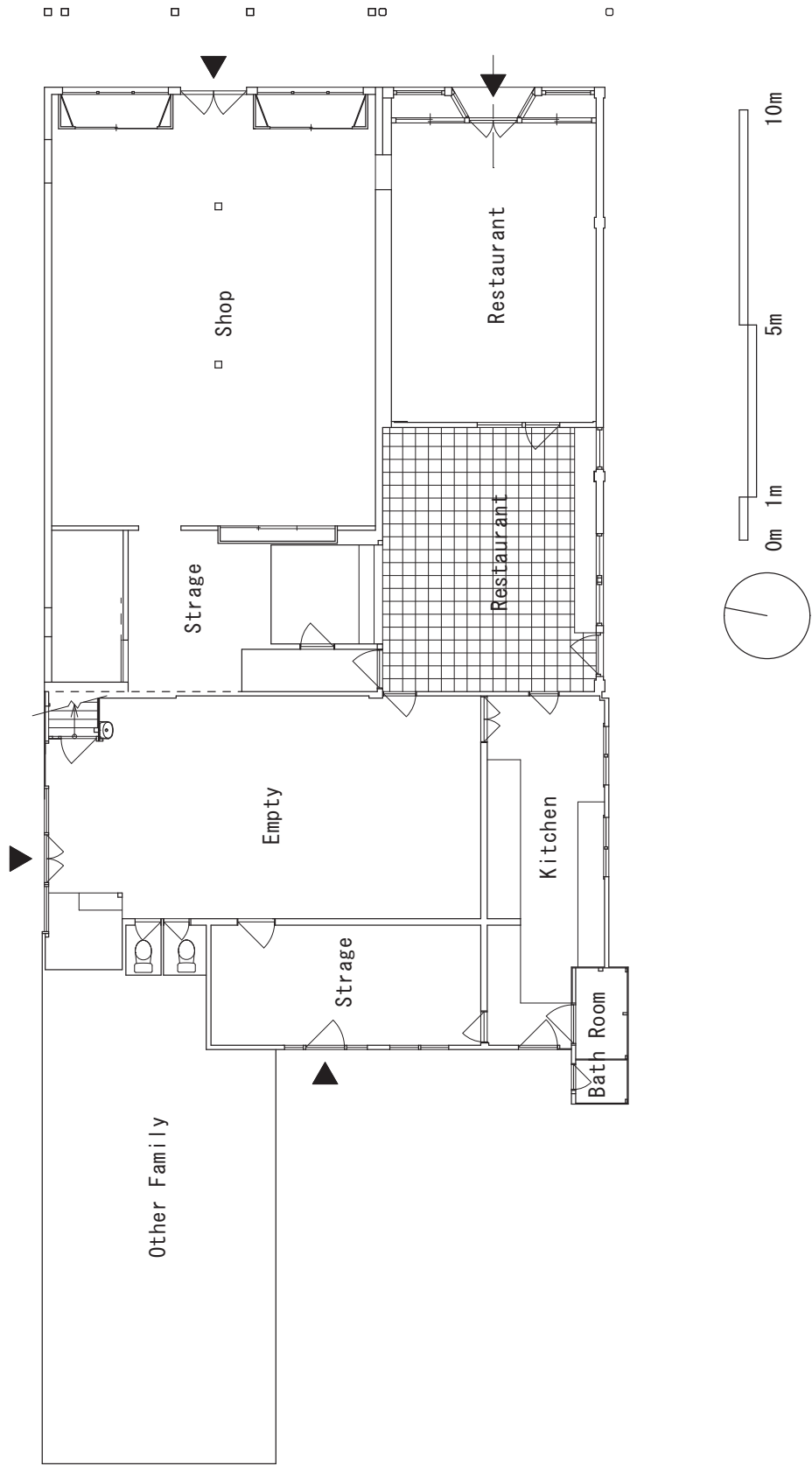
北棟 2 階住居内観



共有バックヤード



西側外観



B21

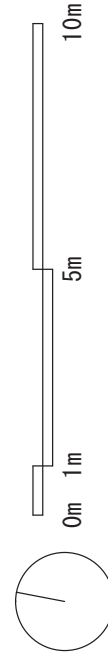
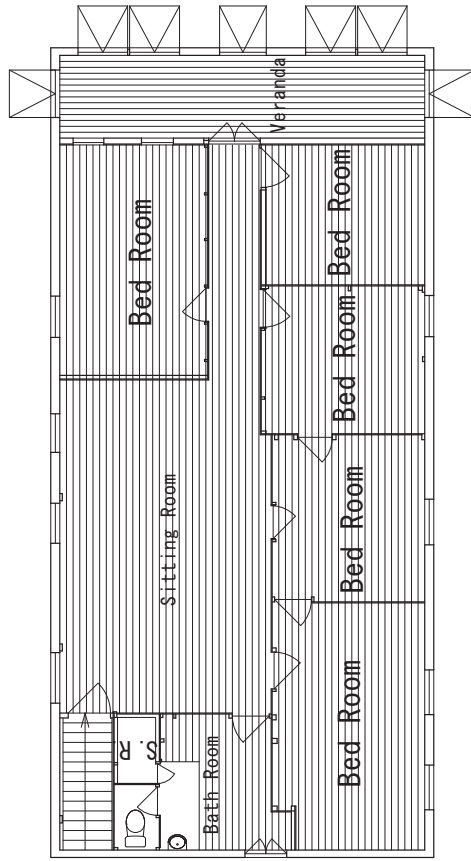
Seaside Restaurant, PREM SINGH  
Ground Floor Plan

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



B21

Seasite Restaurant, PREM SINGH  
First Floor Plan

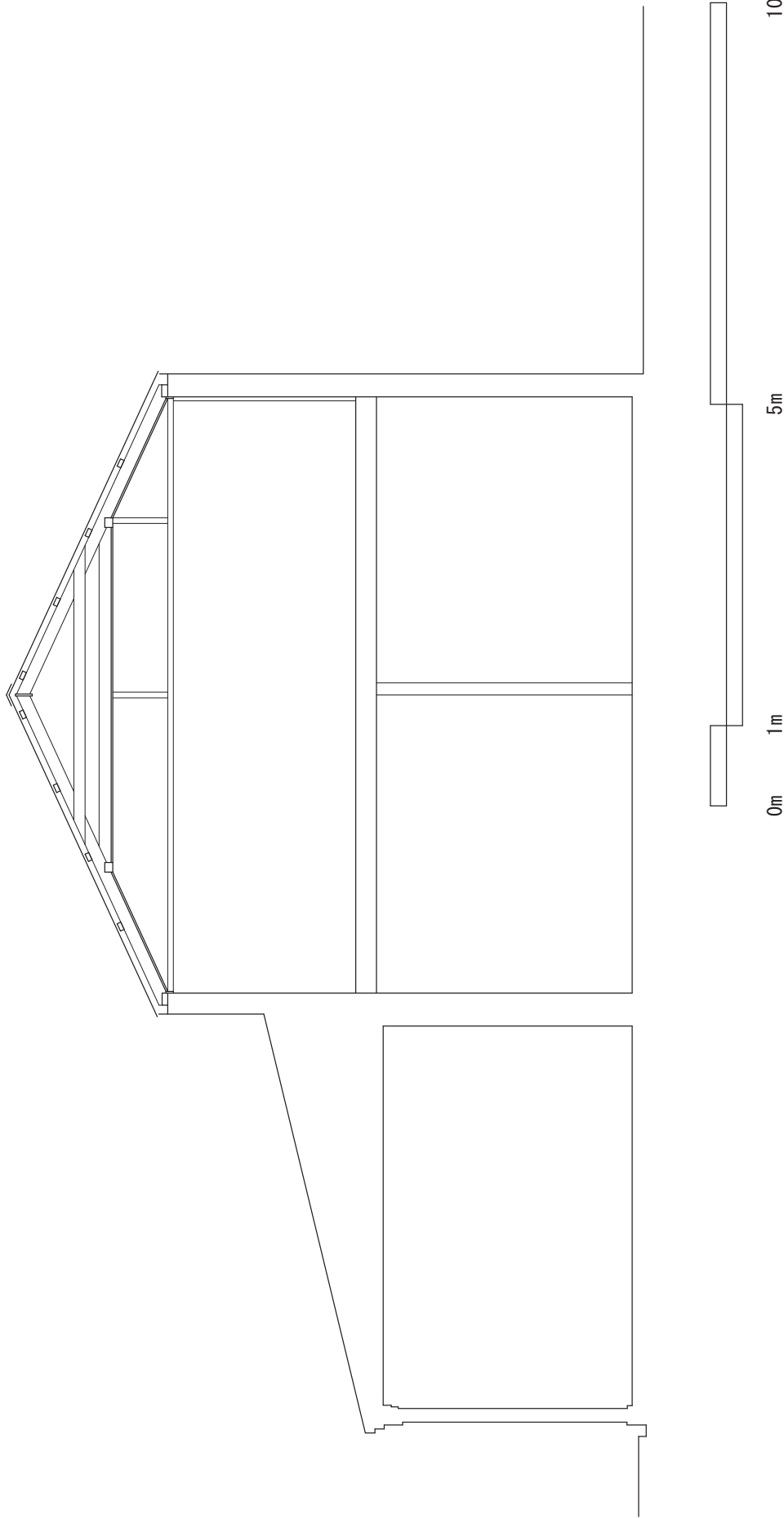
Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY





B21

Seasite Restaurant, PREM SINGH

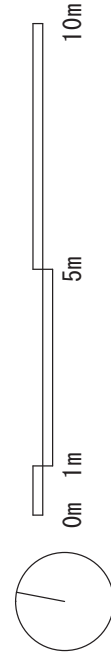
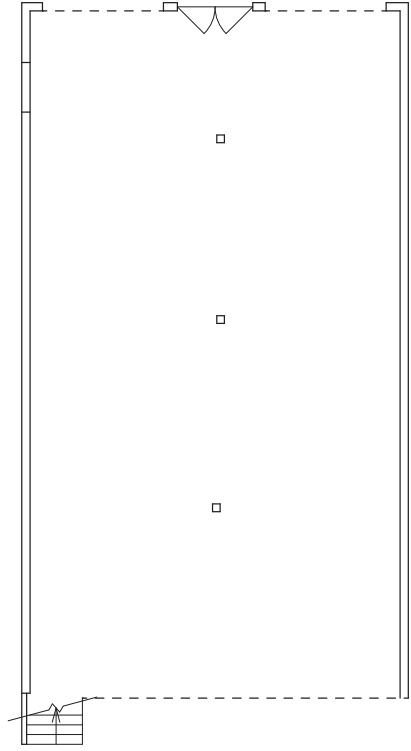
Section

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



B21

Seasite Restaurant, PREM SINGH

Original Plan

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

ER-B22

Y K Lum Milk Bar



店舗内観



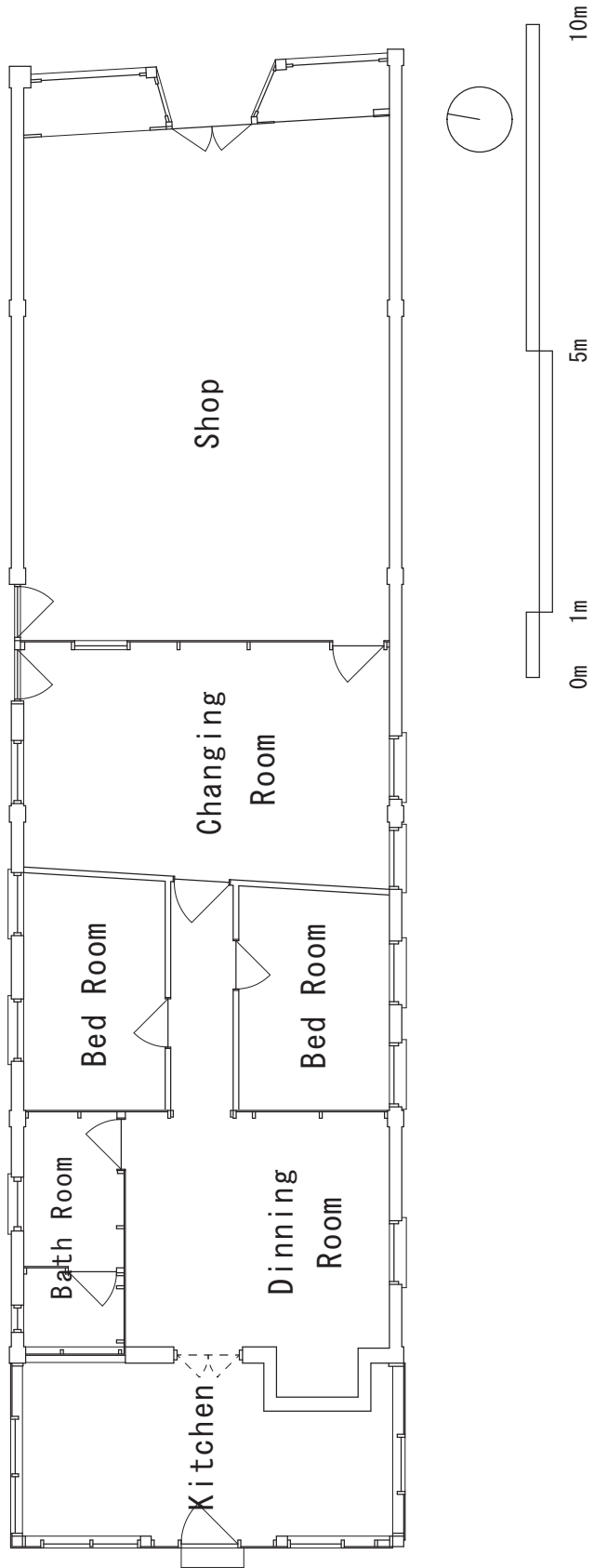
ダイニング内観



西側外観



北側外観



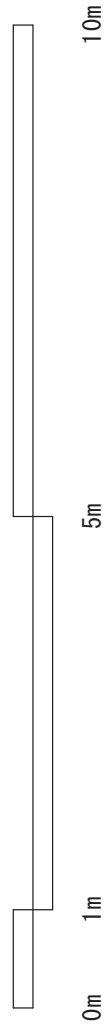
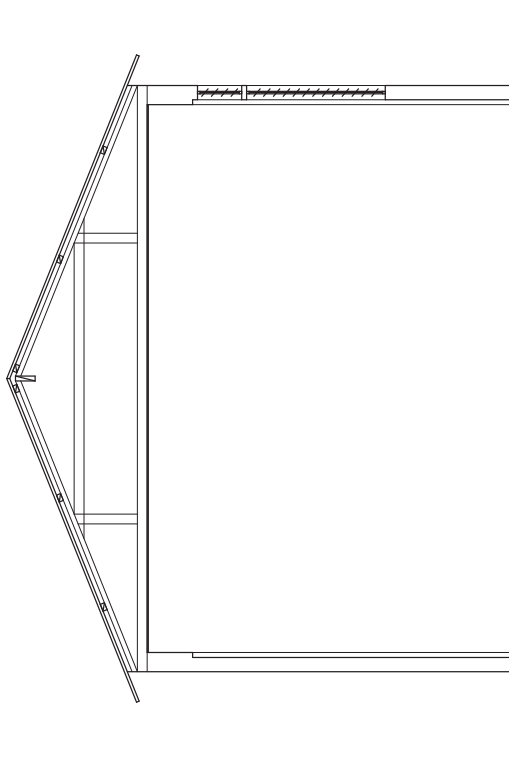
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 16. 2016

SAINIMERE CIKAMATANA

Floor Plan

B22



B22

SAINIMERE CIKAMATANA

Section

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B23

Ivan Bakery



ビリヤード場



店舗内観

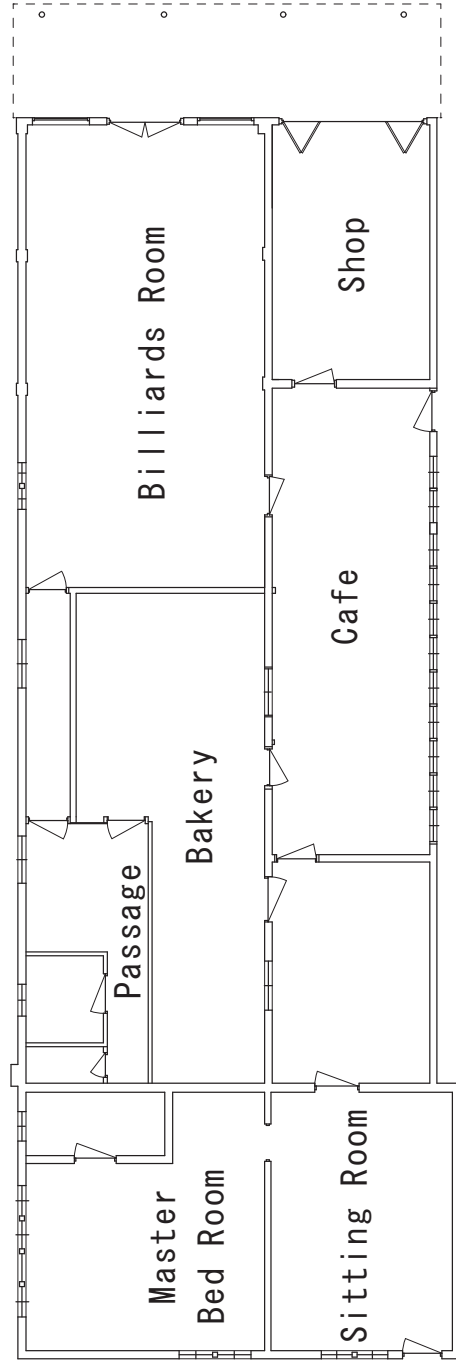


小屋組み



北側外観





B23

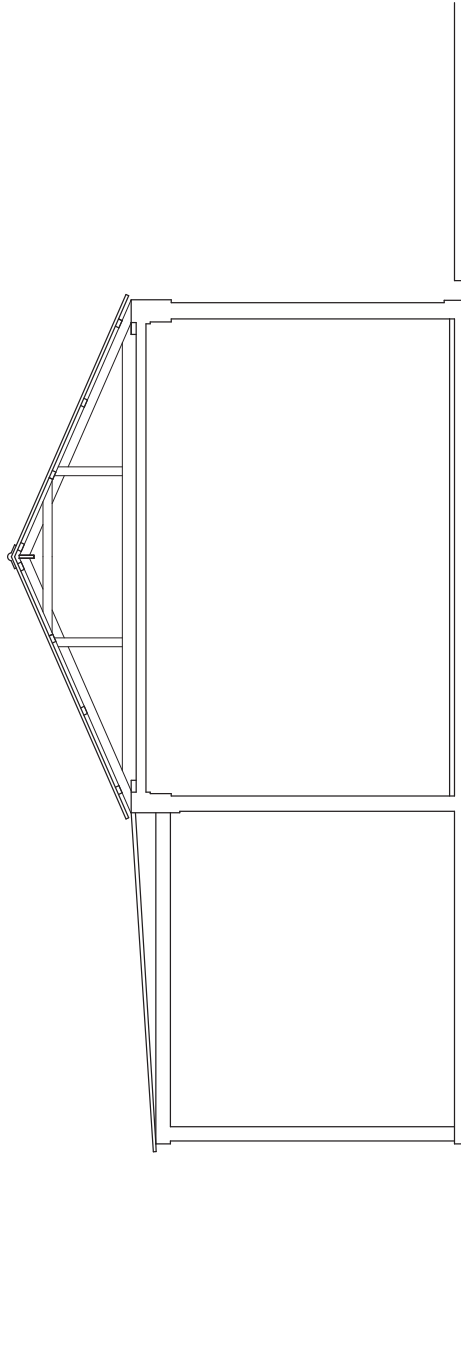
Ivan Bakery

Floor Plan

Date

Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

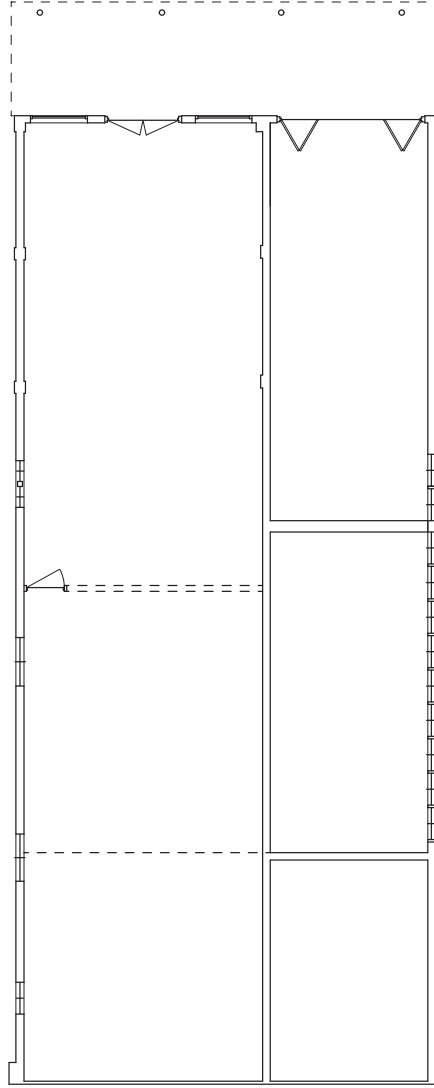


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 24. 2017

Ivan Bakery  
Section

B23



B23

Ivan Bakery  
Original Plan

Date

Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B24

Old Capital Inn



2階内観



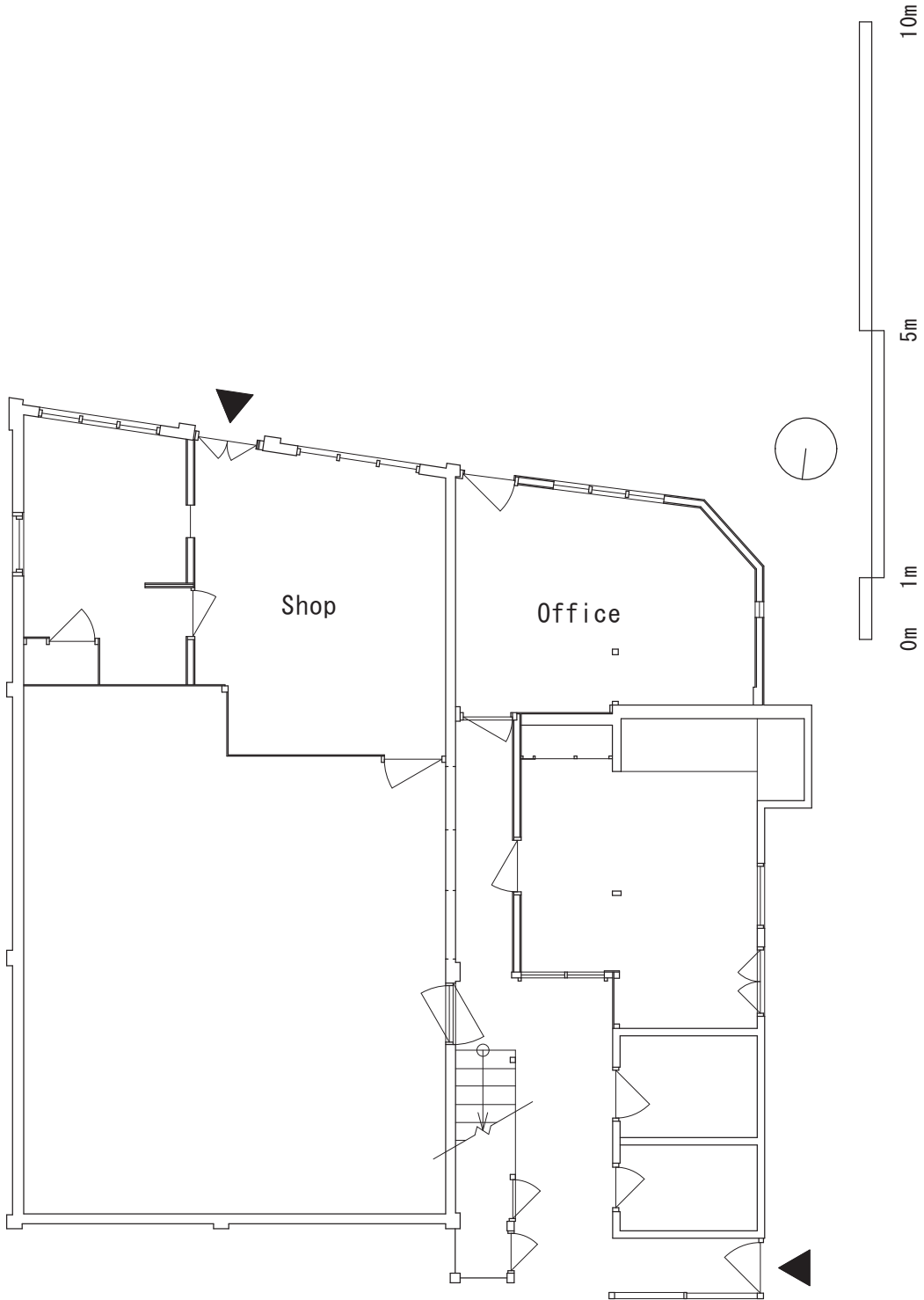
1階店舗内観



TOTOGA LANE からの外観



2階の外廊下

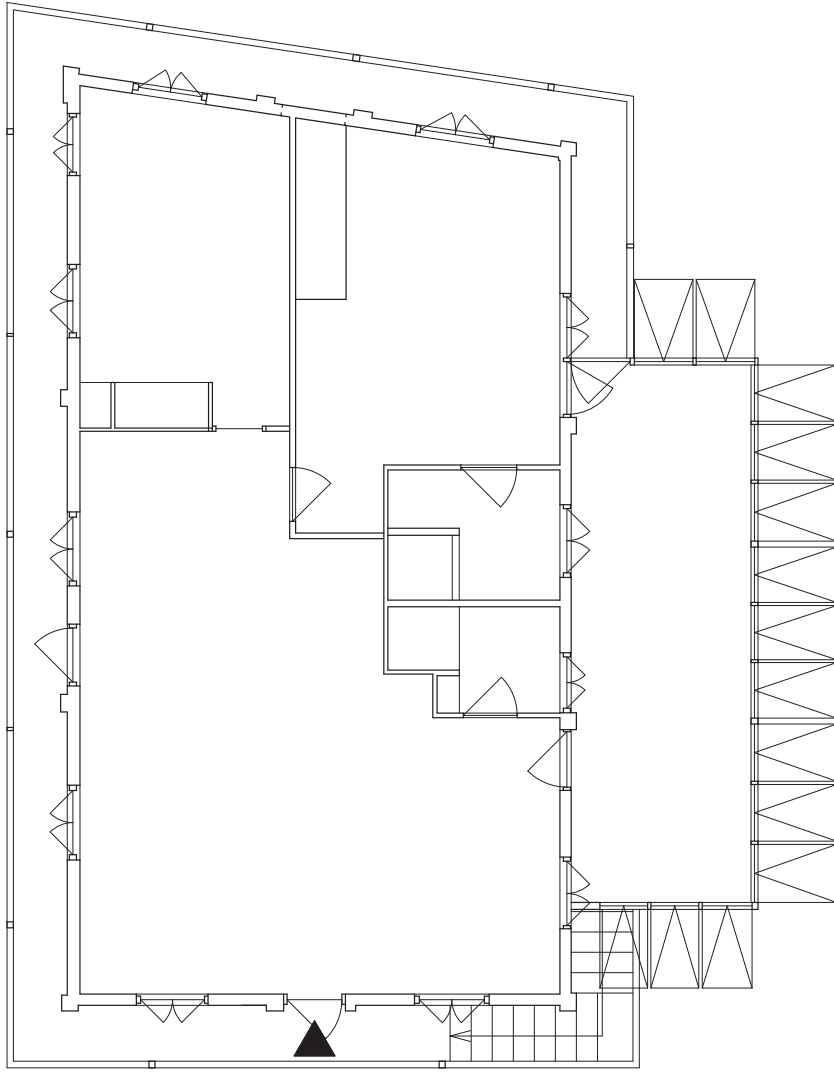


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 17. 2018

Old Capital Inn  
Ground Floor Plan

B24



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

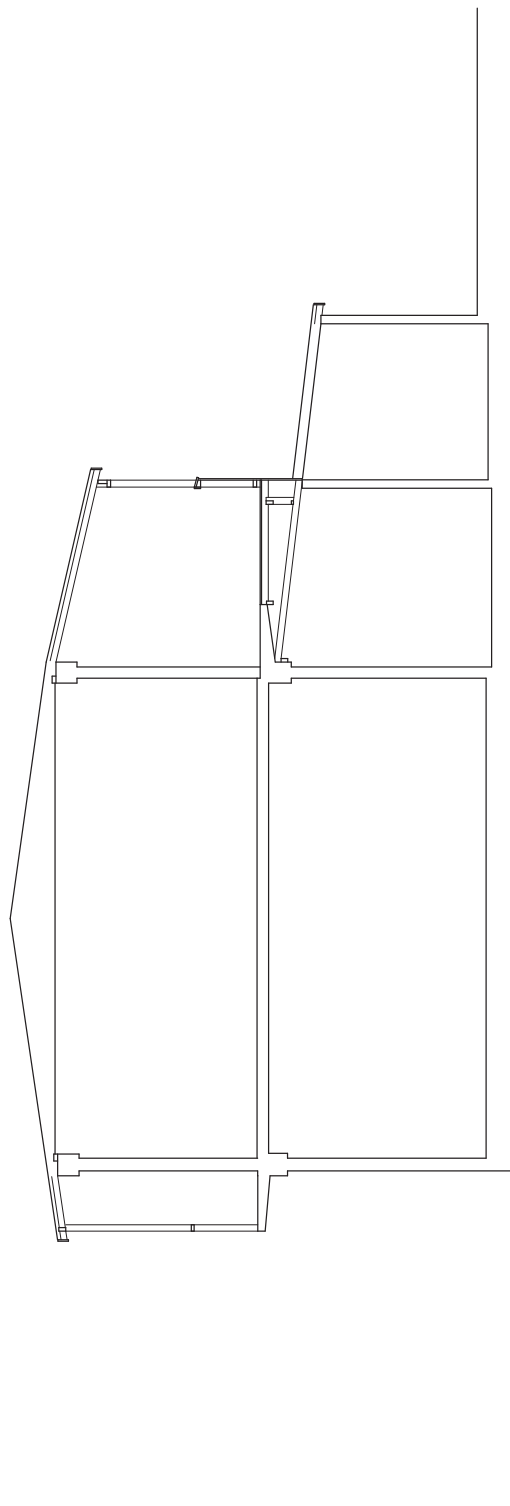
Aug. 17. 2018

Old Capital Inn

1st Floor Plan

B24





B24

Old Capital Inn

Section

Date

Aug. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:B25

Sacred Heart Church



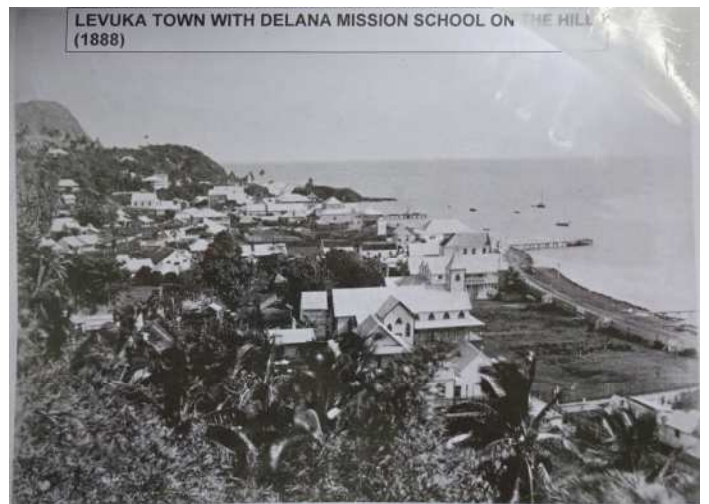
2006年 ACCU 掲載写真



2006年 ACCU 掲載写真

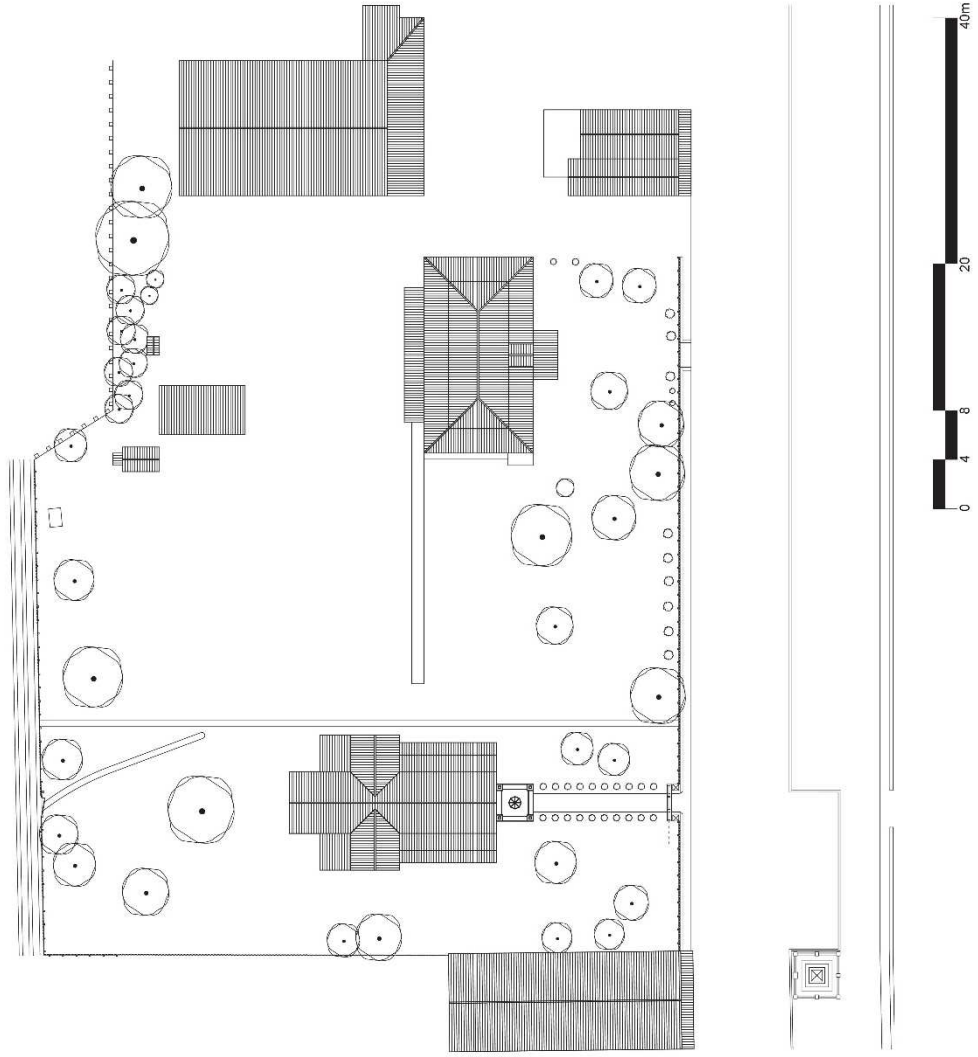


2006年 ACCU 掲載写真

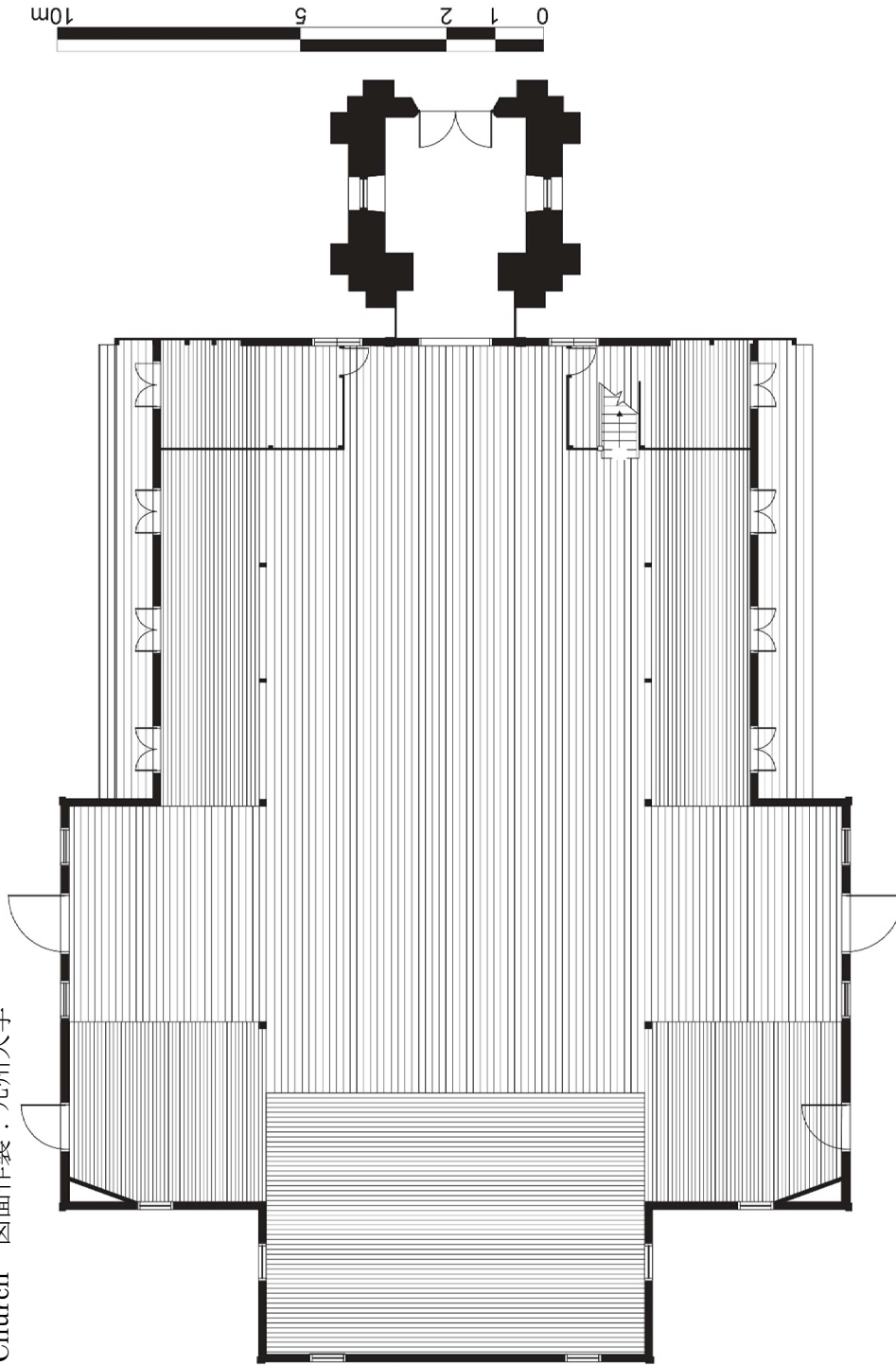


1880年撮影(Sitiveni Uminaceva 所蔵)

ER:B25 Sacred Heart Church 図面作製：九州大学

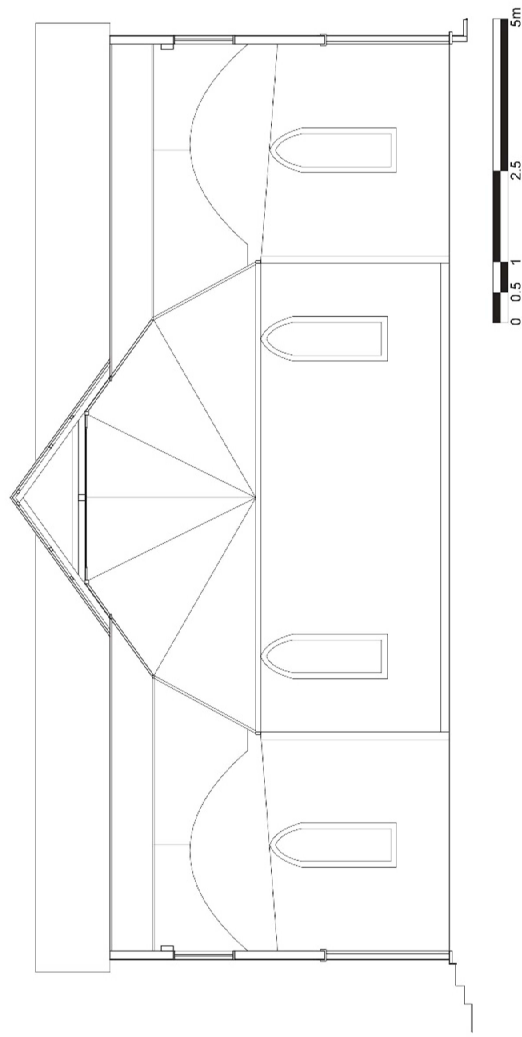


Sacred Heart Church 図面作製：九州大学

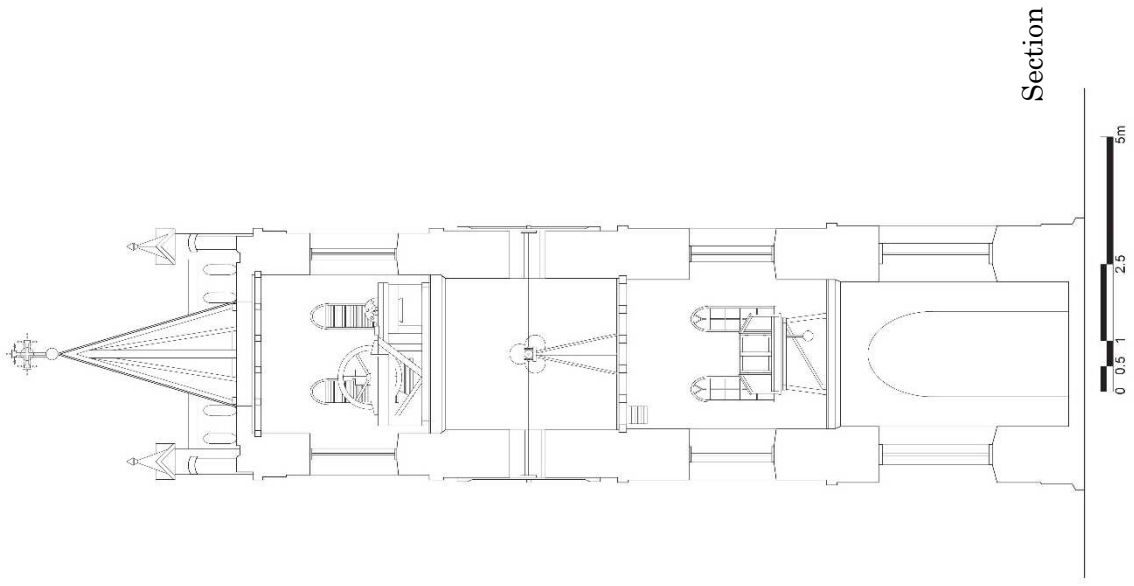


Floor Plan

Sacred Heart Church 図面作製：九州大学



Section



Section



ER:B26

Sacred Heart Presbytery



テレビルーム内観



寝室内観

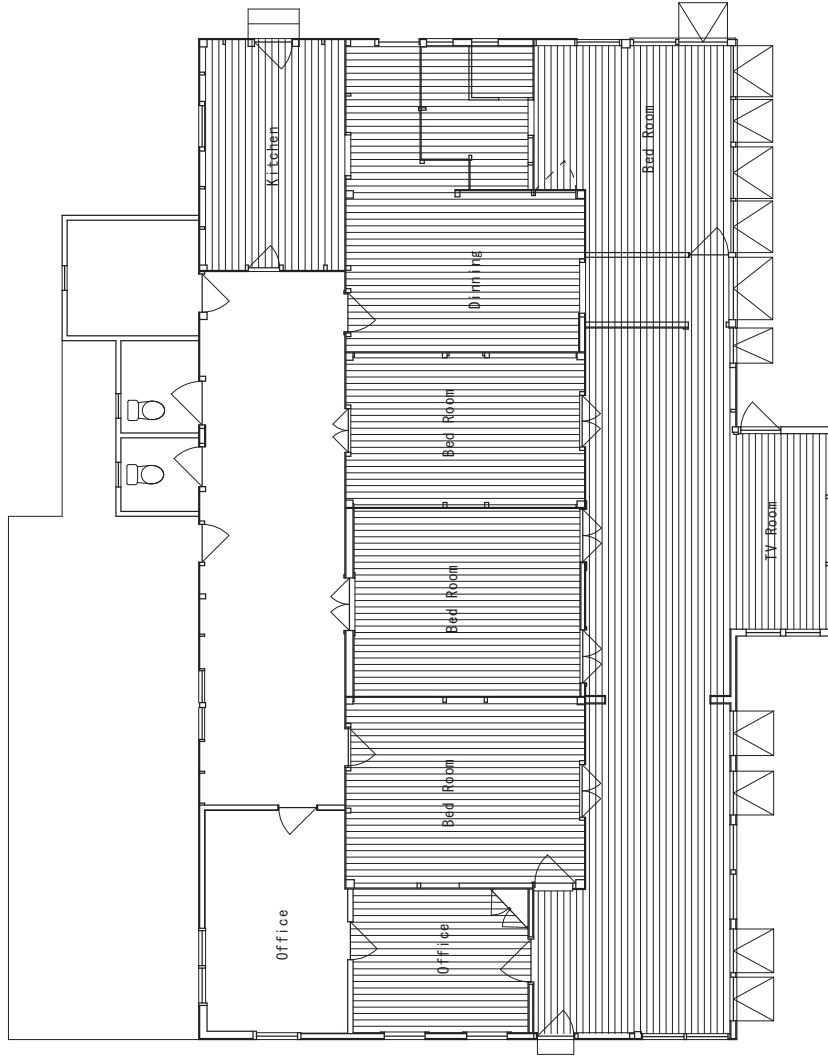


後方外観



後方ベランダ





OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

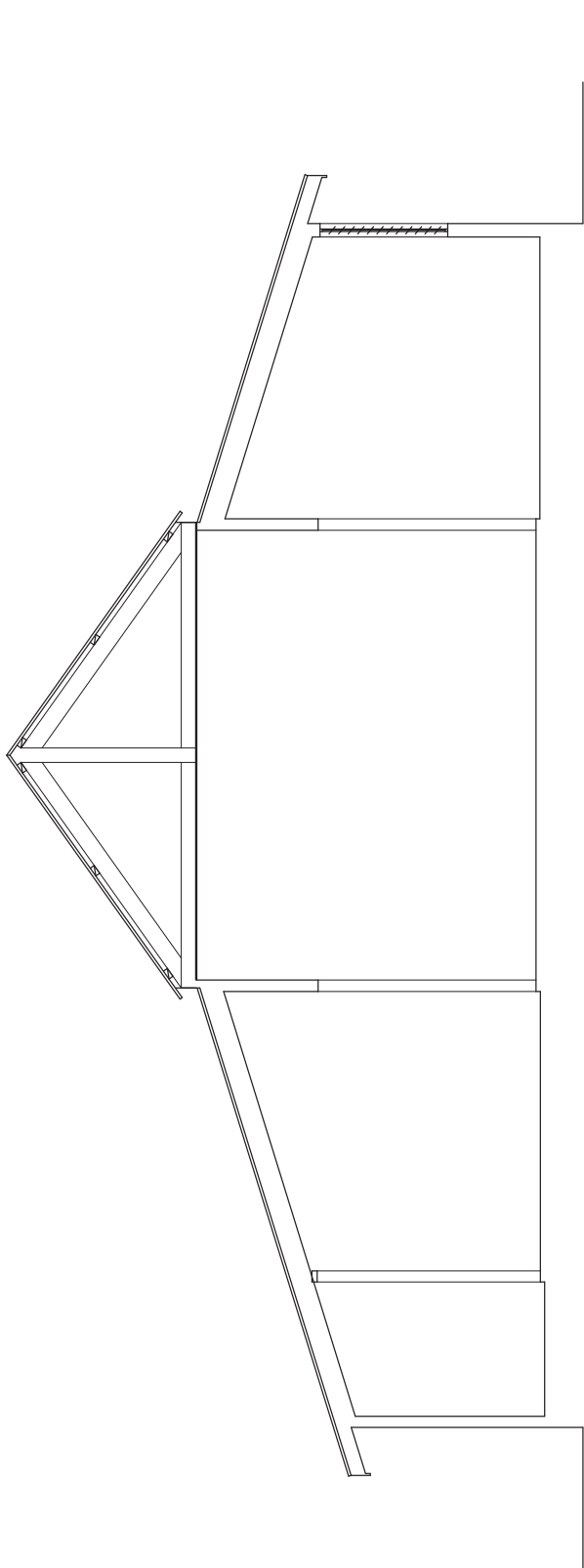
Date

Aug. 16. 2016

Sacred Heart Presbytery

Floor Plan

B26



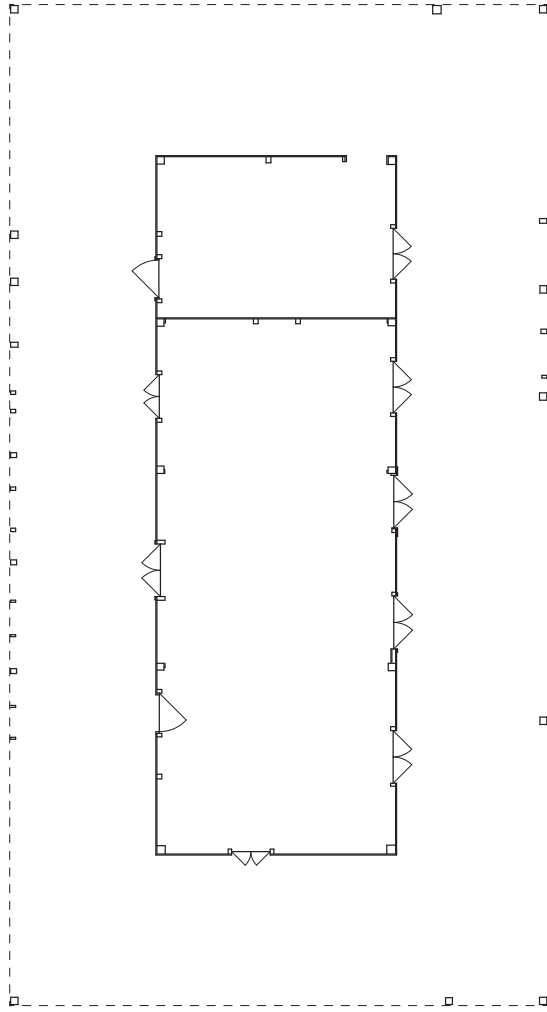
B26

Sacred Heart Presbytery  
Section

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



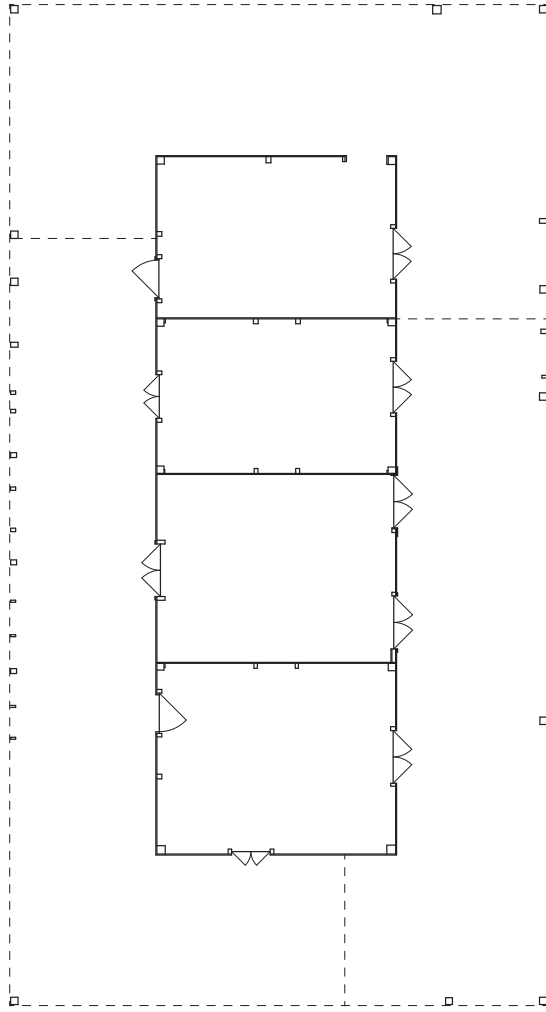
B26

Sacred Heart Presbytery  
1st Original Plan

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B26

Sacred Heart Presbytery  
2nd Original Plan

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B27

Bread Shop



南棟內觀



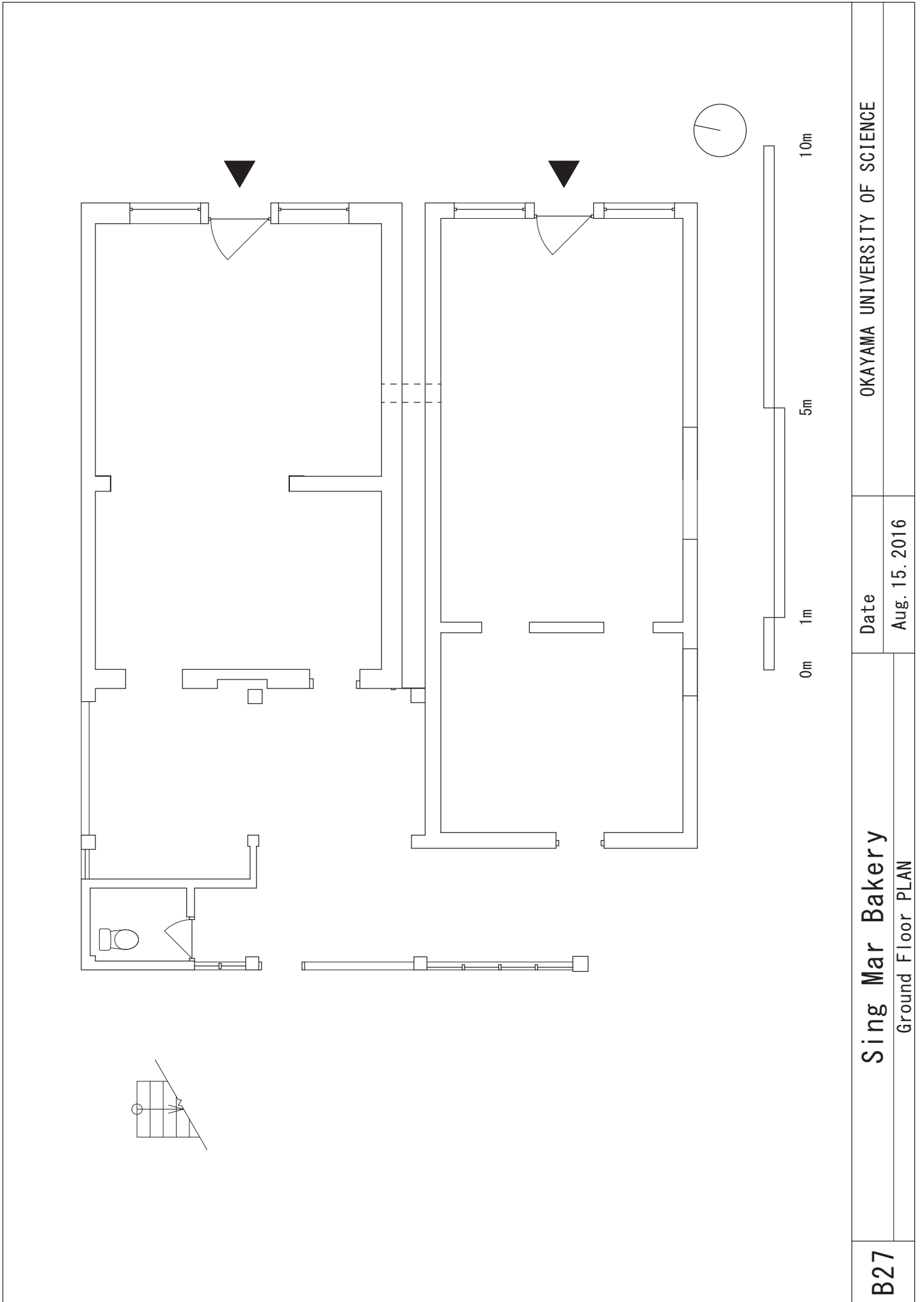
南側外觀



屋根外觀



西側外觀



**B27**

**Sing Mar Bakery**

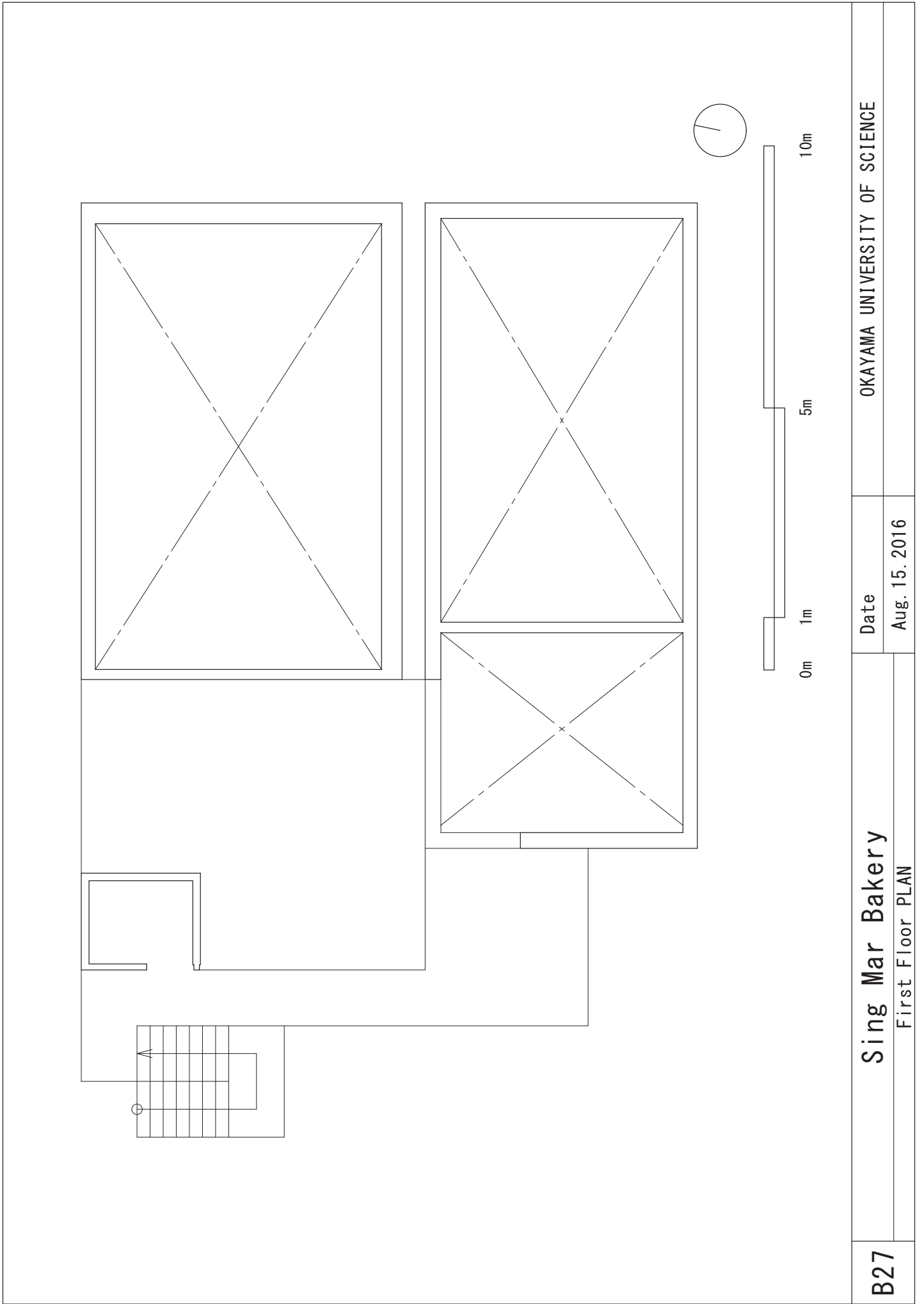
Ground Floor PLAN

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



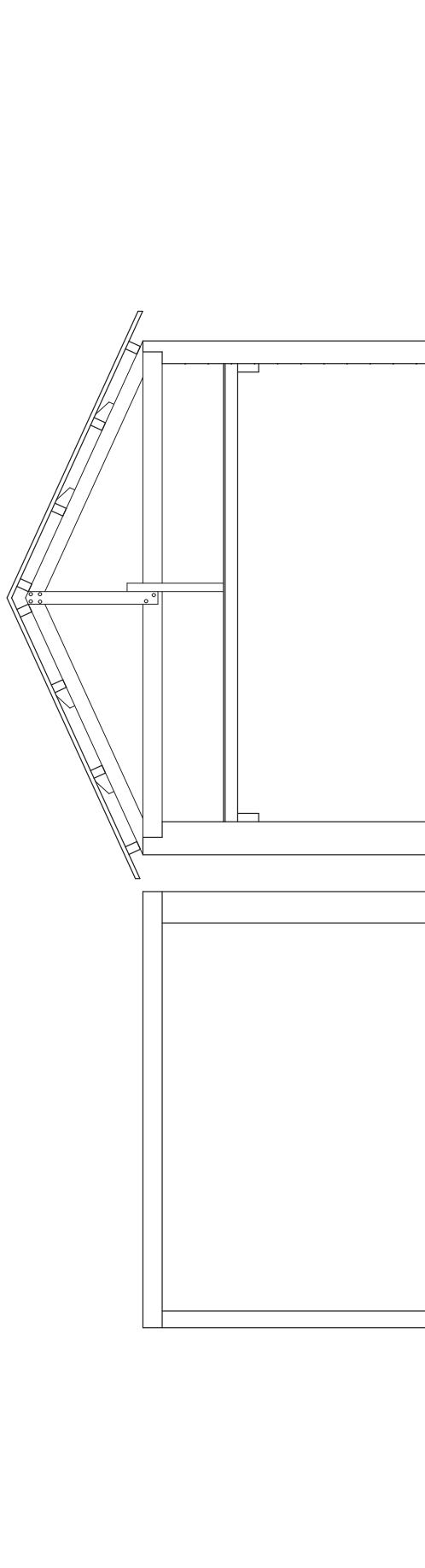


**B27**

**Sing Mar Bakery**  
First Floor PLAN

Date  
Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B27

Sing Mar Bakery  
SECTION

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B28

Ambalal & Co Shoe Shop

Ambalal & Co General Store



南側店舖內觀



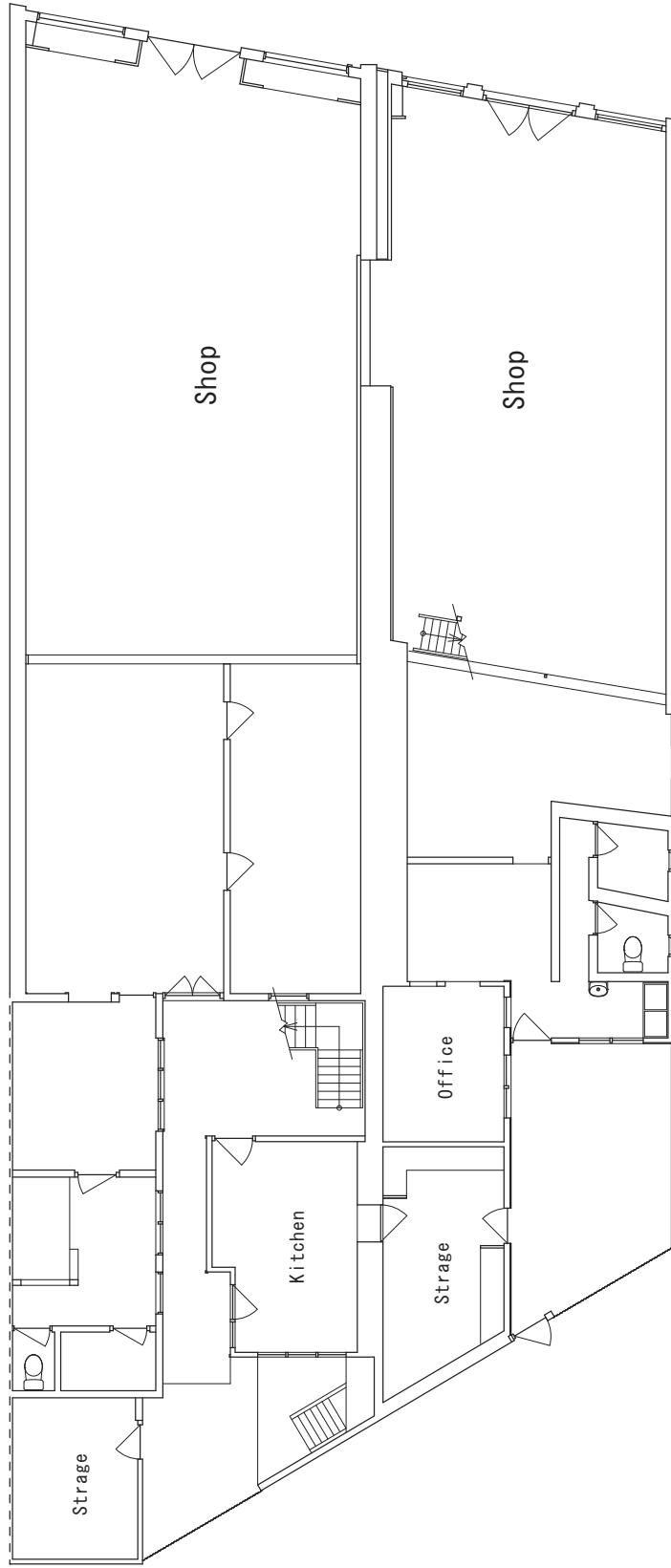
北側店舖內觀



南側店舖小屋組



北側建物中庭



B28

Ambalal & Co Shoe Shop

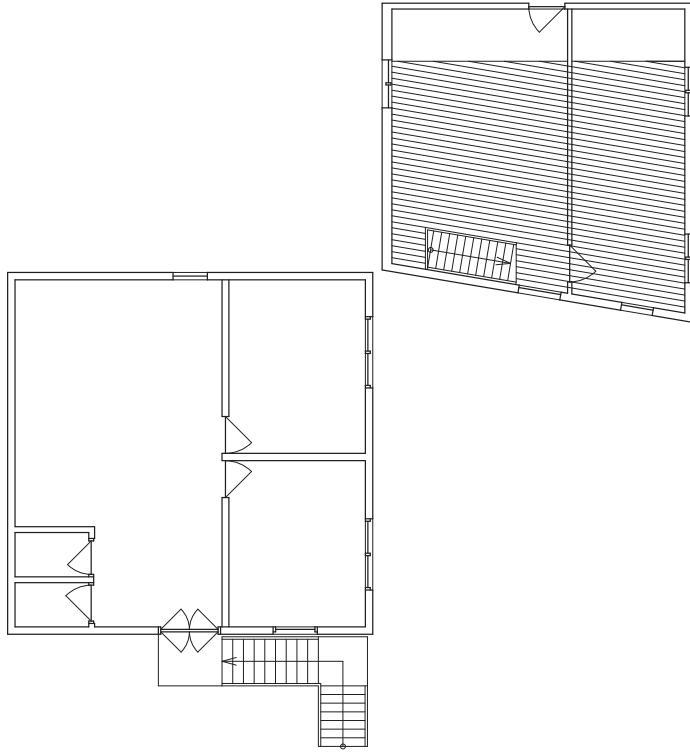
Ground Floor Plan

Date

Aug. 18. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



B28

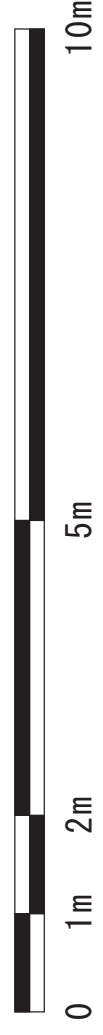
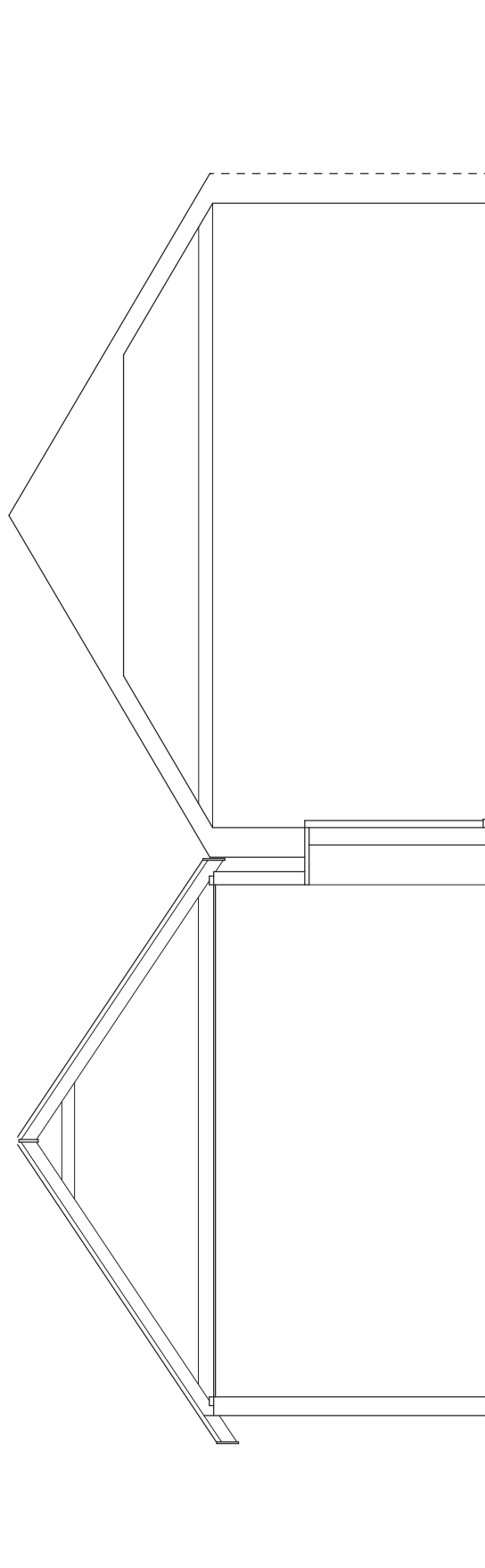
Ambalal & Co Shoe Shop  
First Floor Plan

Date

Aug. 02. 2007

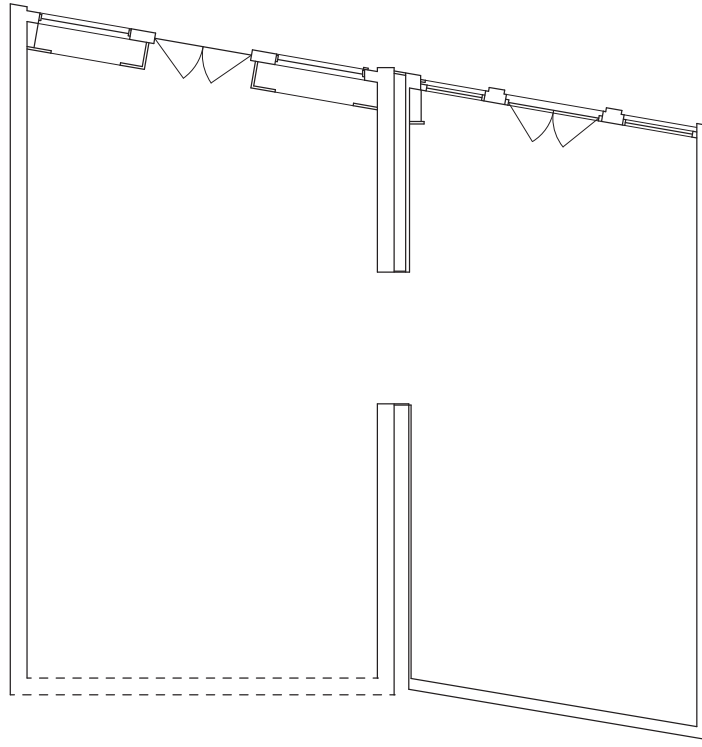
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



|         |                        |                       |  |
|---------|------------------------|-----------------------|--|
| B28     | Ambalal & Co Shoe Shop | Date<br>Aug. 18. 2018 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE<br>Kyushu UNIVERSITY |
| Section |                        |                       |  |





|     |   |                       |  |
|-----|---|-----------------------|--|
| B28 | Ambalal & Co Shoe Shop<br>Original Plan | Date<br>Aug. 18. 2018 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE<br>Kyushu UNIVERSITY |
|-----|---|-----------------------|--|

ER:B29

Katundrau Store



店舗内観(2007年九州大学撮影)



店舗内観(2007年九州大学撮影)

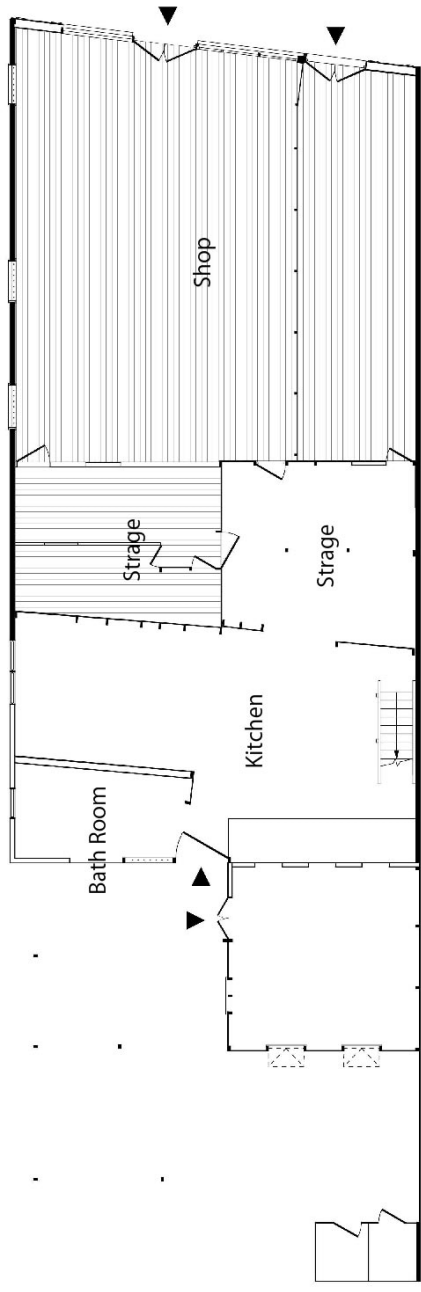


2階寝室内観(2007年九州大学撮影)

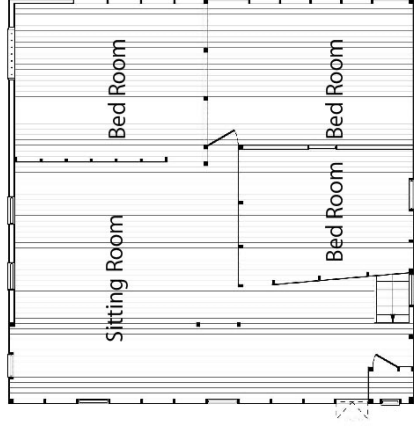


2階リビング内観(2007年九州大学撮影)

ER:B29 Katundrau Store 図面作製：九州大学

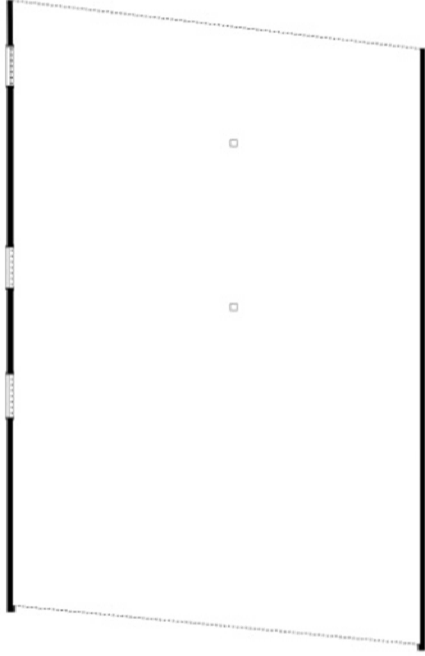


Ground Floor Plan

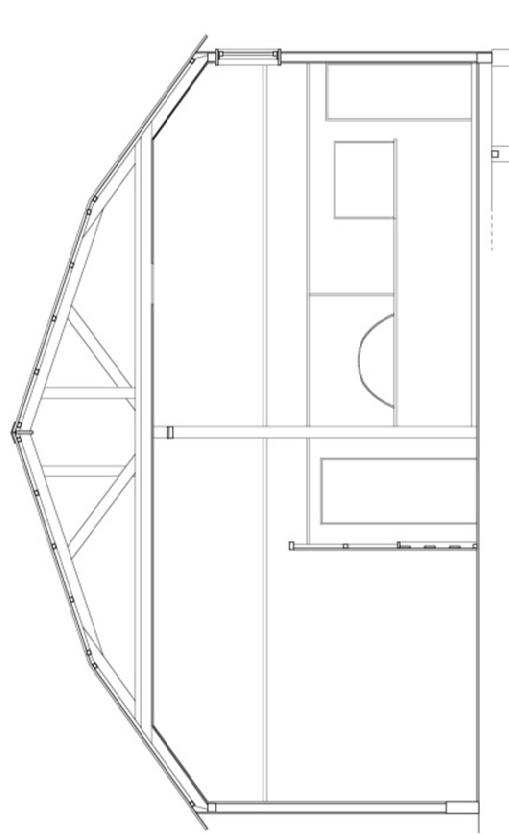


1st Floor Plan

Katundrau Store 図面作製：九州大学



Original Plan

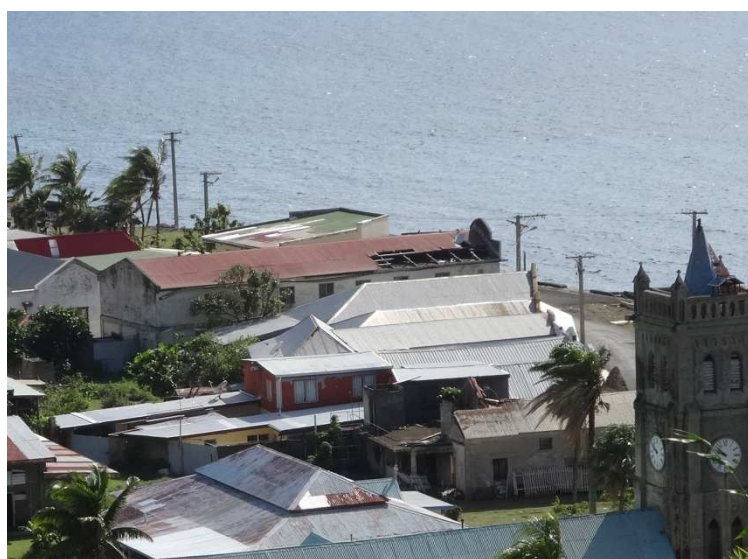


Section



ER-B30

Deepaks Restaurant



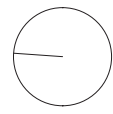
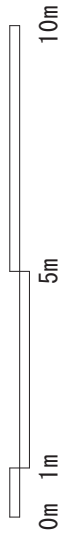
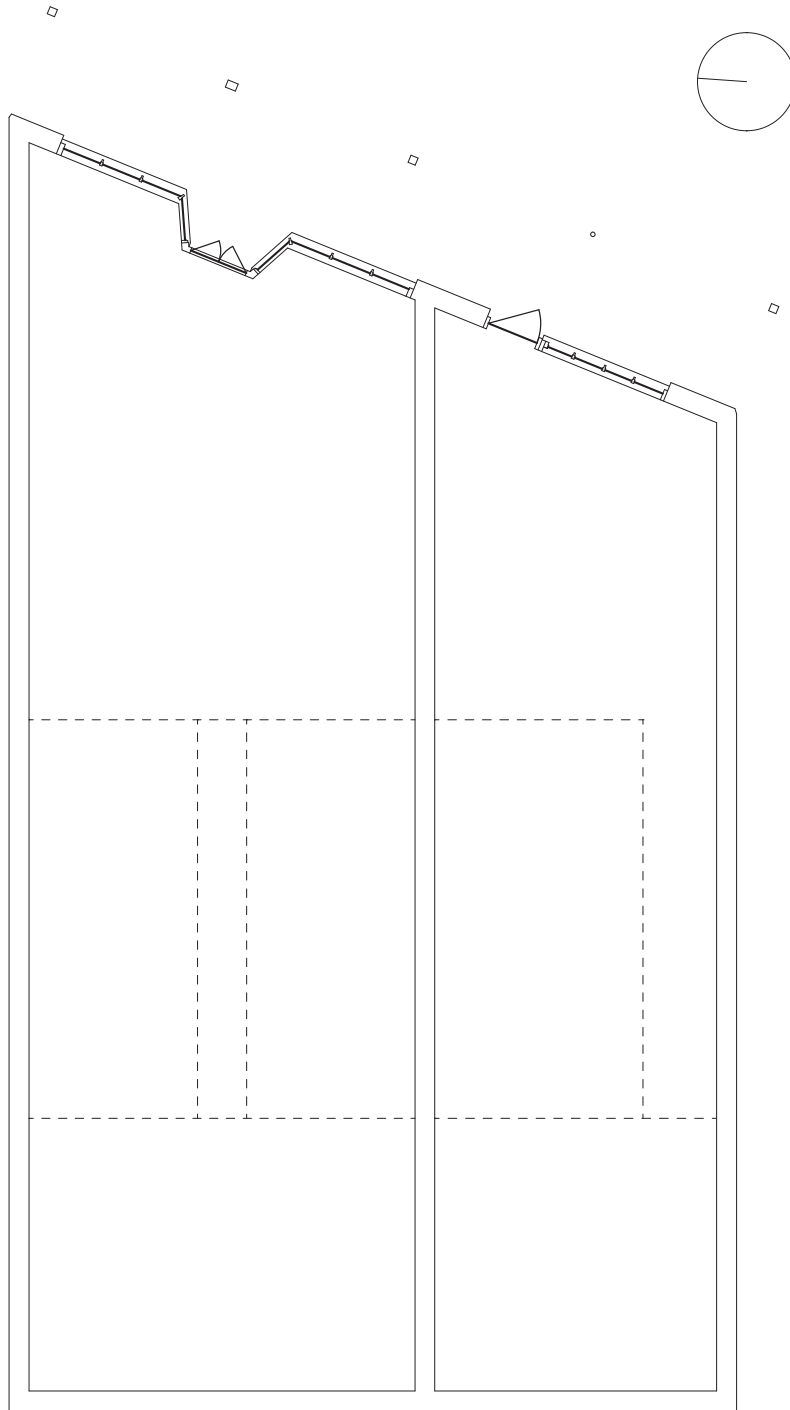
ビーチストリート俯瞰



撮影年不明(Caines Jannif 所蔵)



店下



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 14. 2018

**JHON LEE**  
Floor Plan

**B30**



ER-B31

Former Cinema s



内観



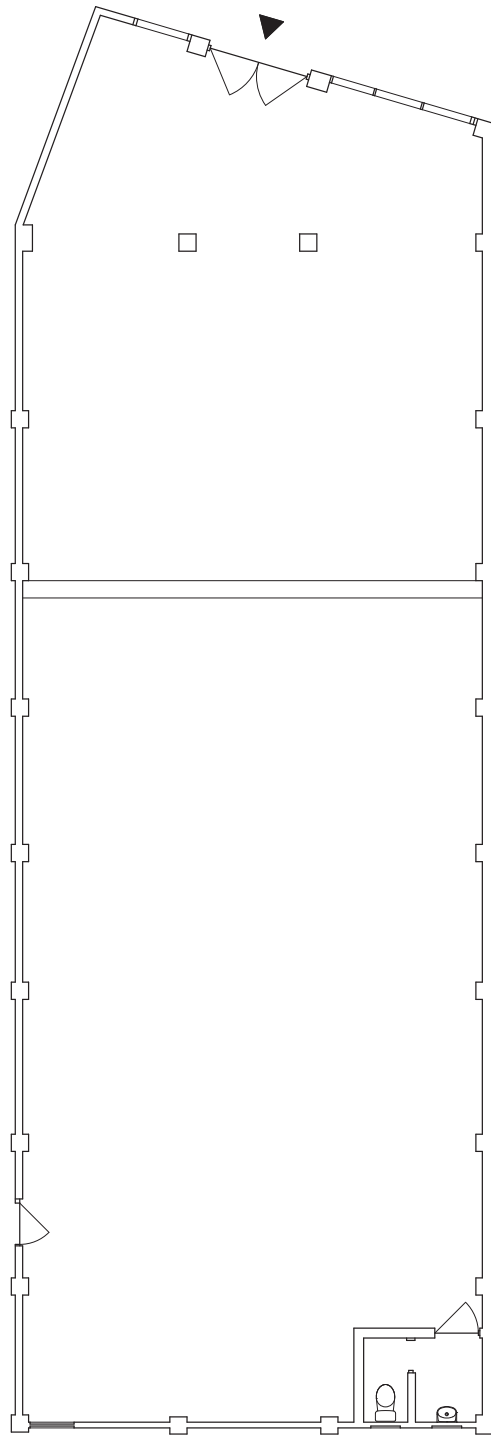
小屋組み



2階映写室内観



撮影年不明(National Archive 所蔵)

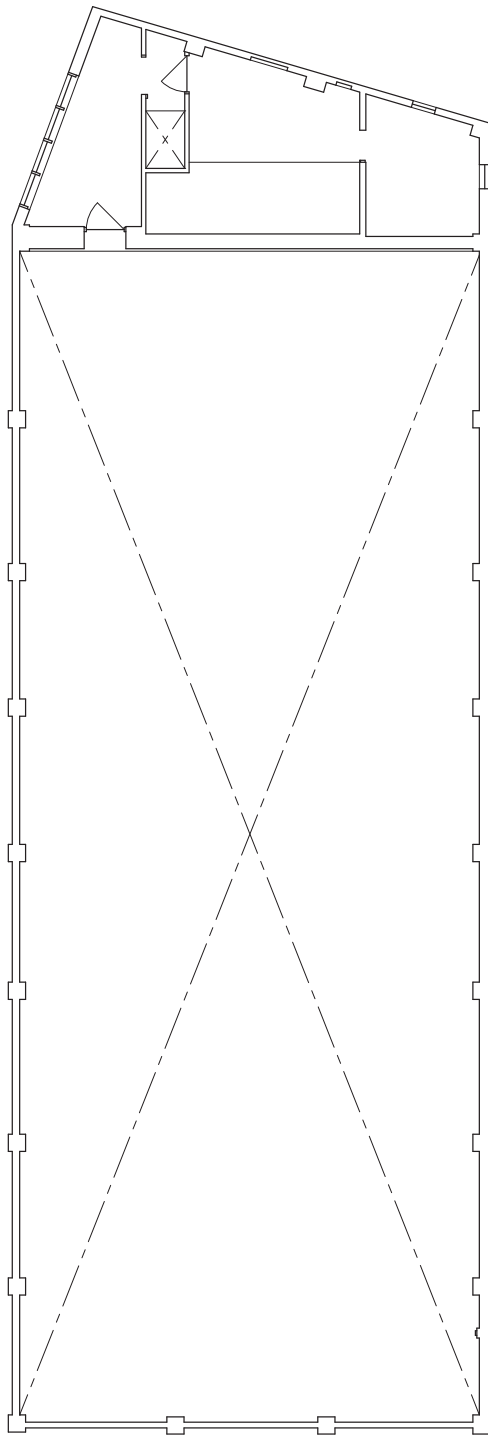


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 15. 2016

Former Cinema  
Ground Floor PLAN

B31

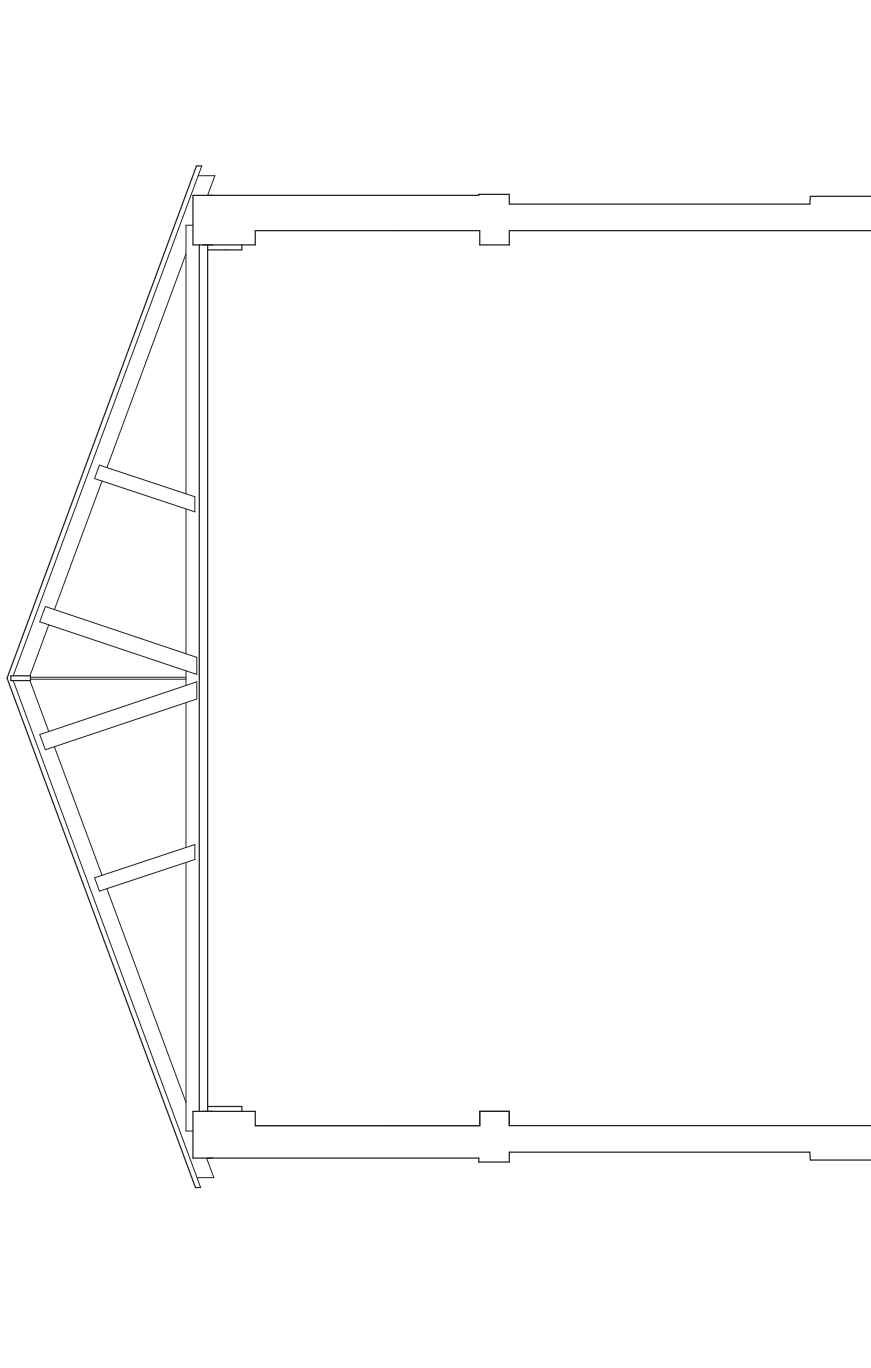


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 15. 2016

Former Cinema  
First Floor PLAN

B31



B31

Former Cinema

SECTION

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-B32

Ministry of Primary Industries



西側外觀



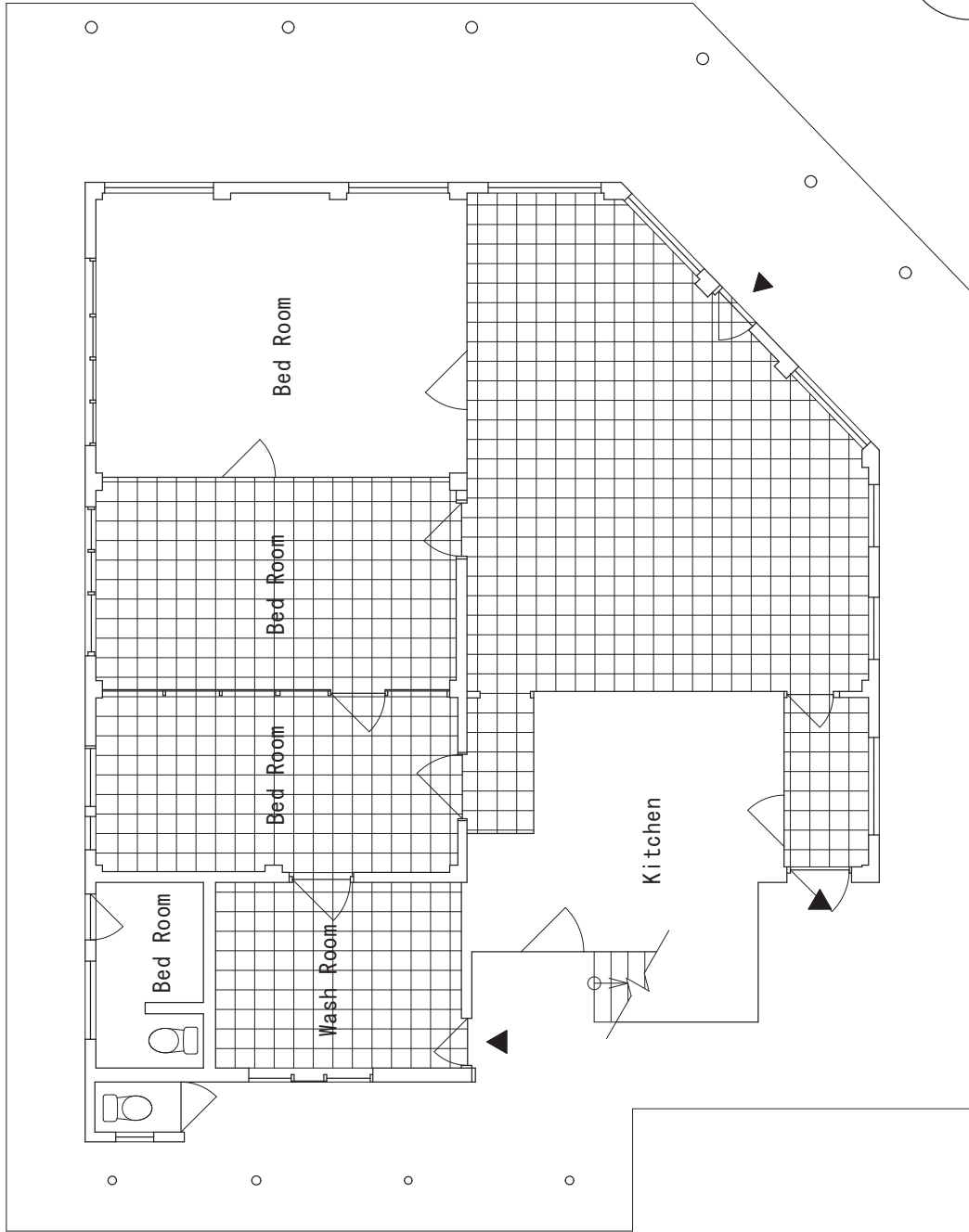
2階事務所内観



1階事務所内観



小屋組み



B32

Ministry of Primary Industry

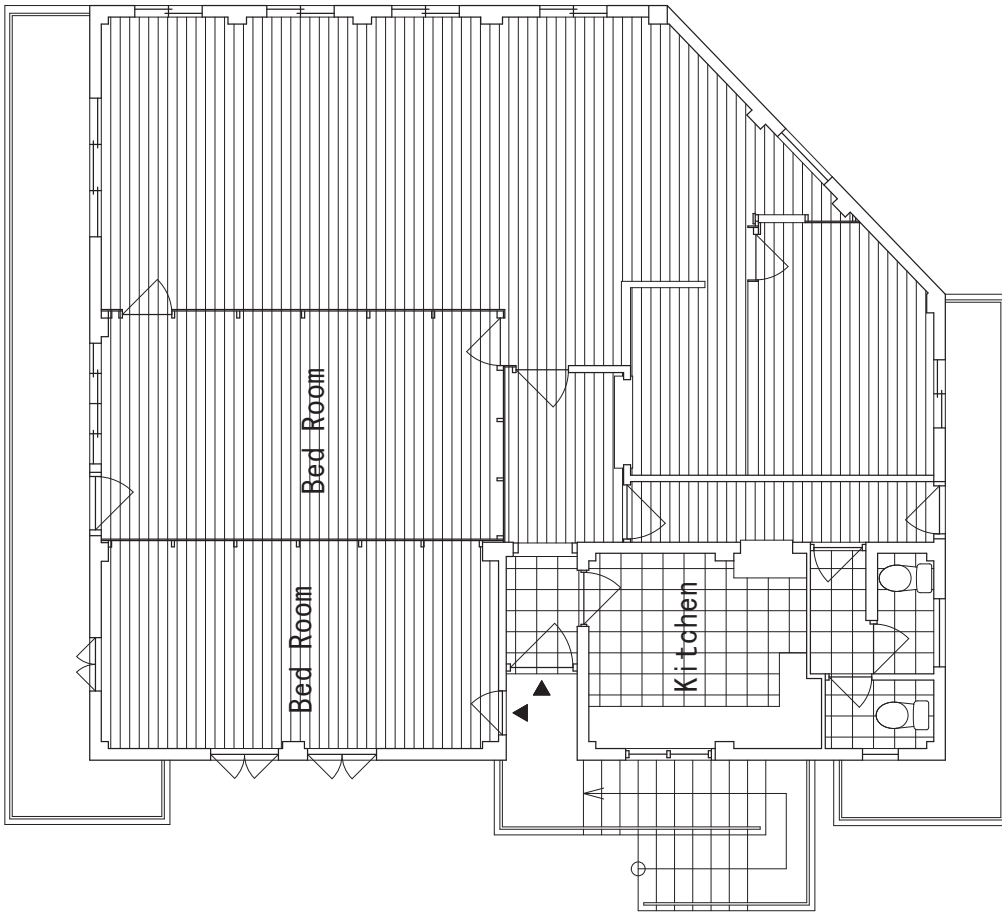
Ground Floor PLAN

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





B32

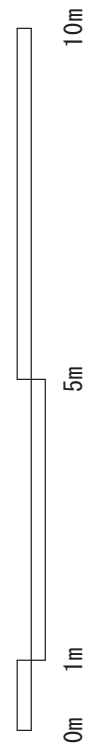
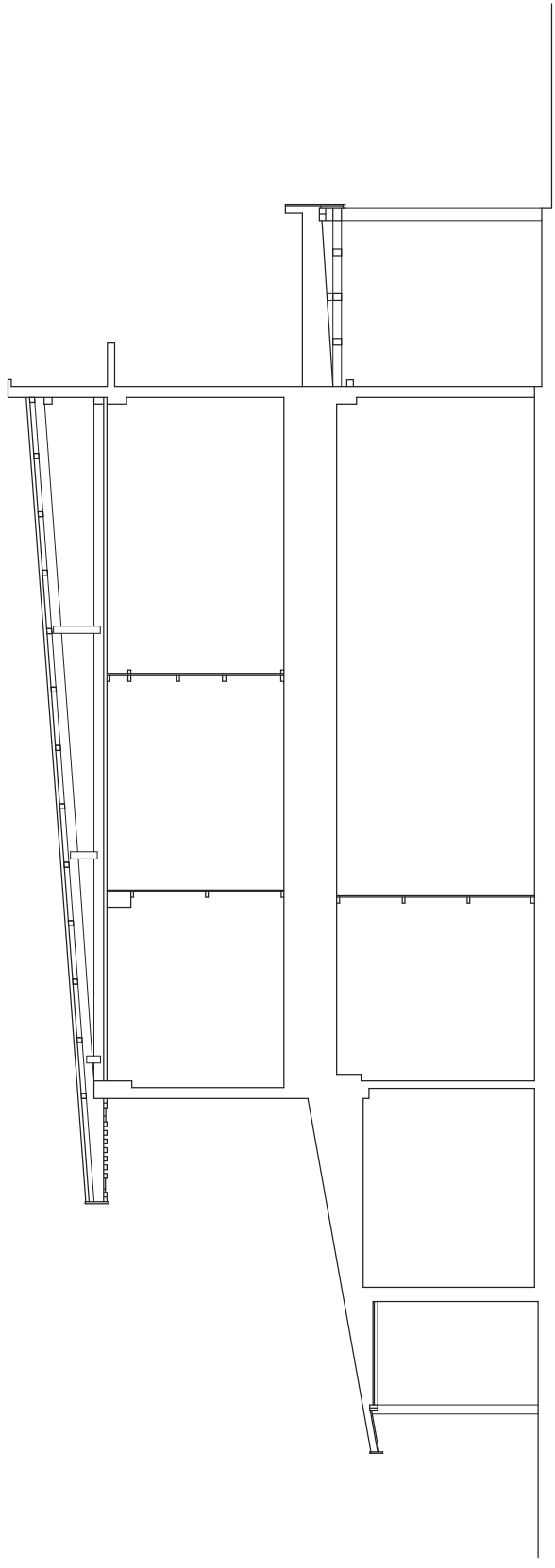
Ministry of Primary Industry

First Floor PLAN

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 15. 2016

Ministry of Primary Industry  
SECTION

B32

ER-B33

Concrete Copra Shed/ Taki Mai



南側外觀



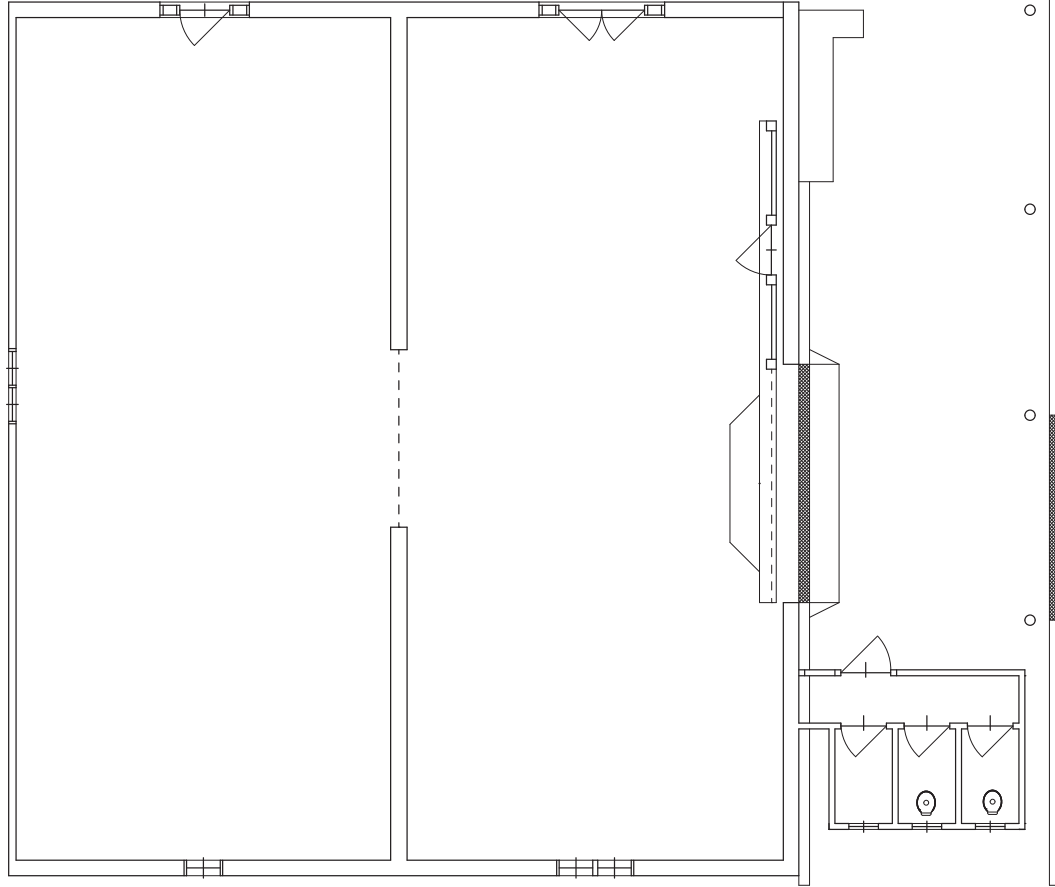
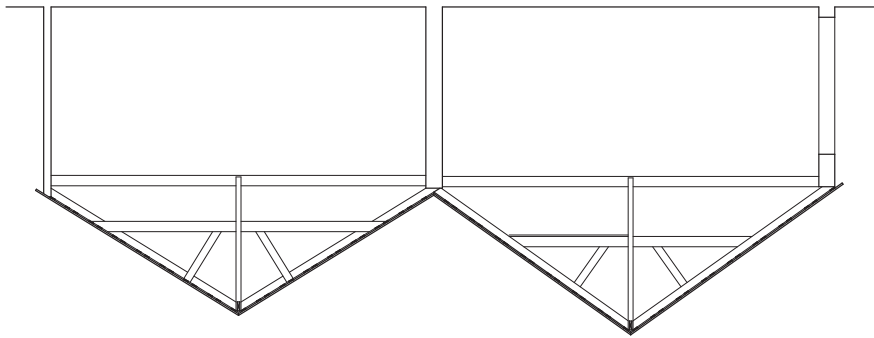
内観



小屋組み



西側外觀



B33

**TakiMai Factory**  
Floor PLAN and SECTION

Date

Aug. 15. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:B34

Former William Hennings Residence



台所内観(2007年九州大学撮影)



ベランダ内観(2007年九州大学撮影)

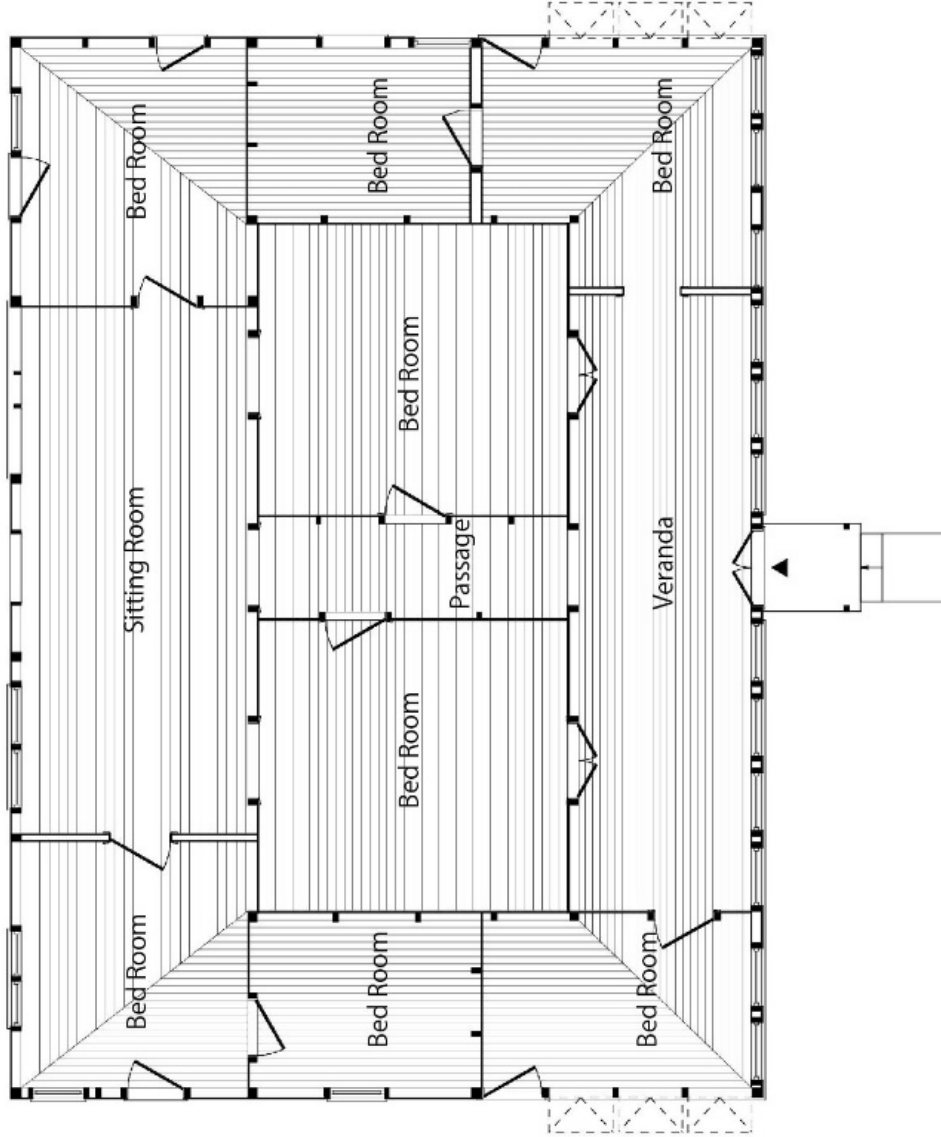


寝室内観(2007年九州大学撮影)



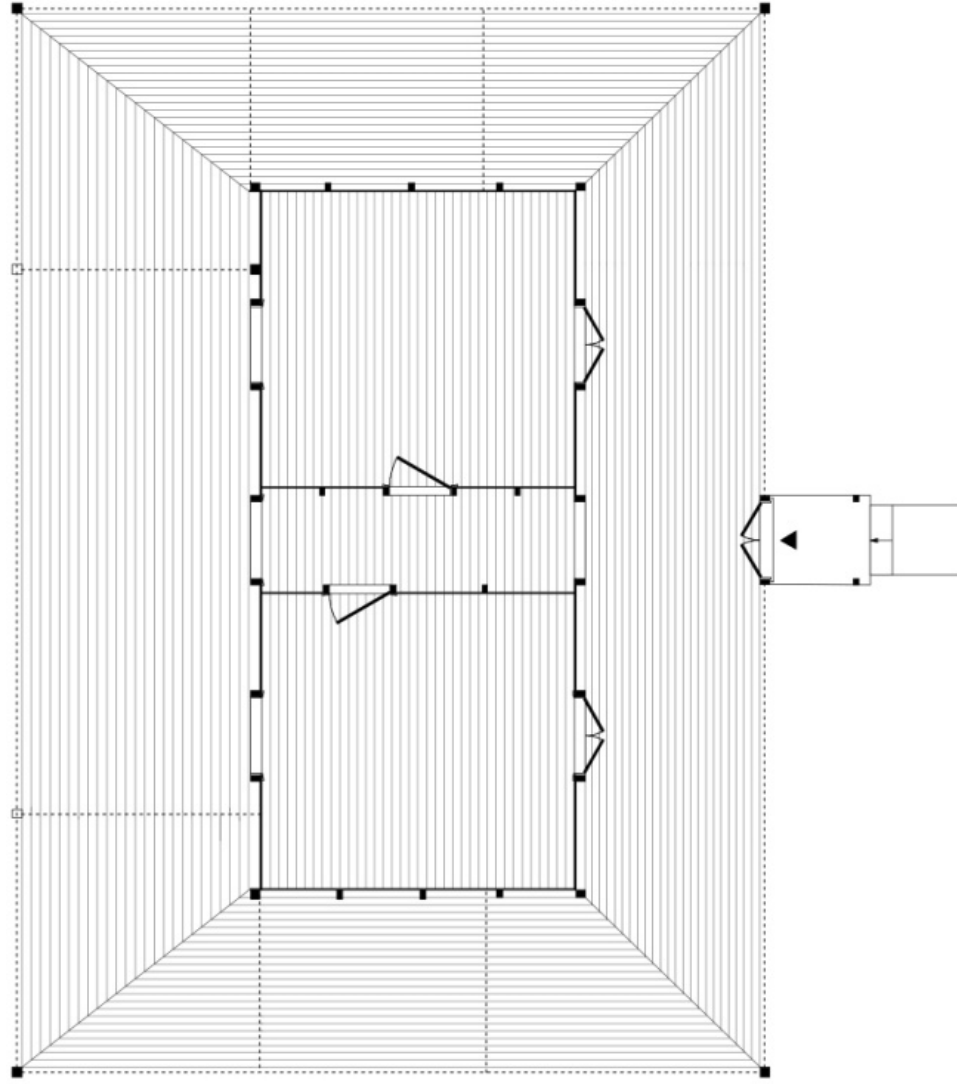
南側外観(2007年九州大学撮影)

ER-B34 Former William Hennings Residence 図面作製：九州大学



Floor Plan

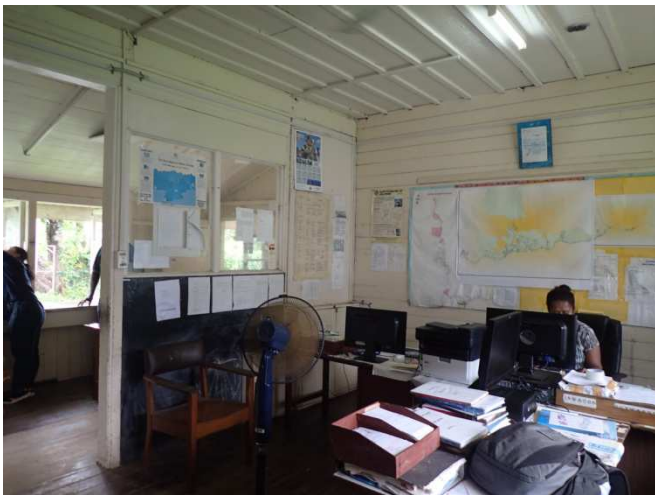




Original Plan

ER-B35

Water Authority



内観



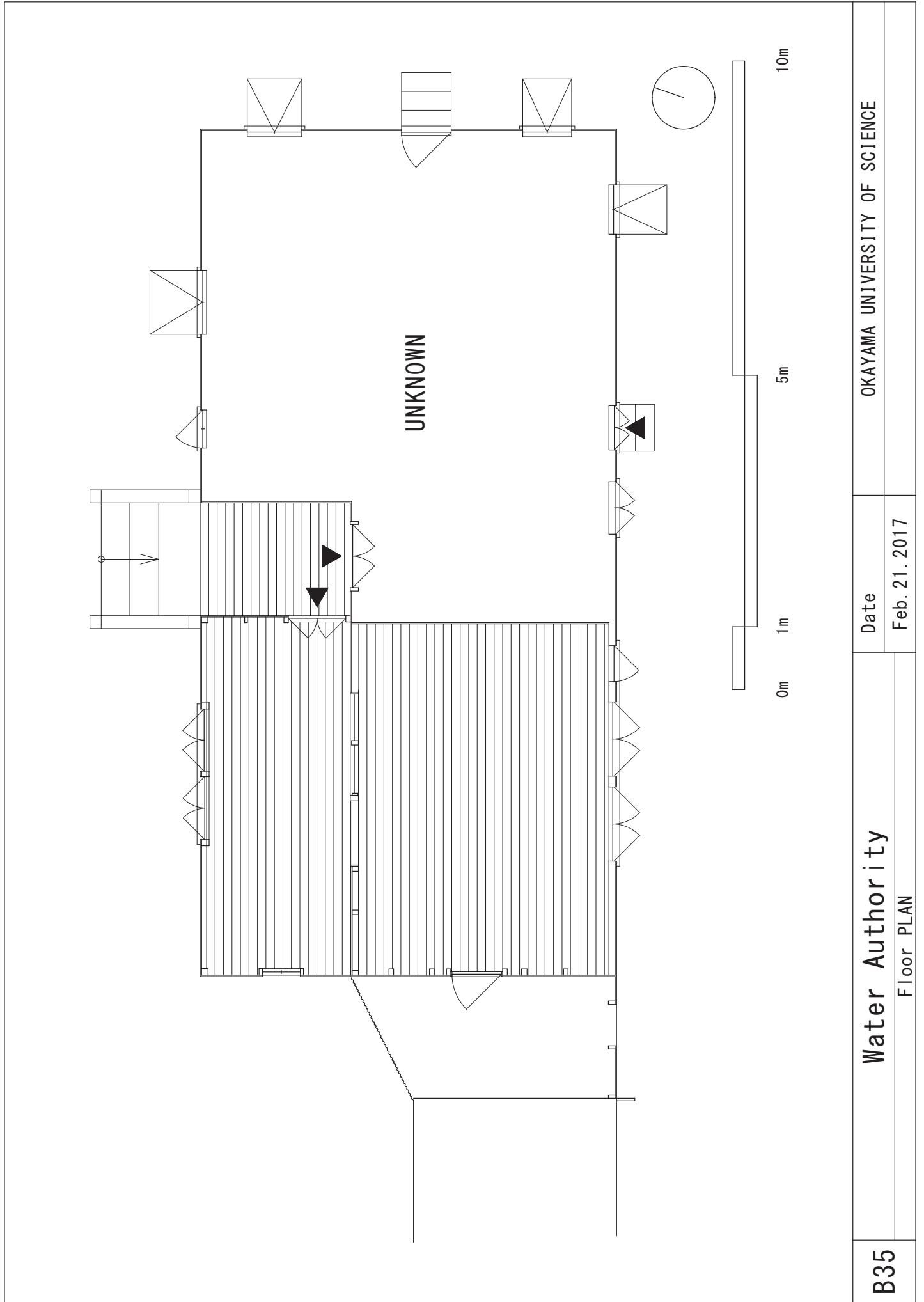
周辺室内観



南側外観



南側外観



B35

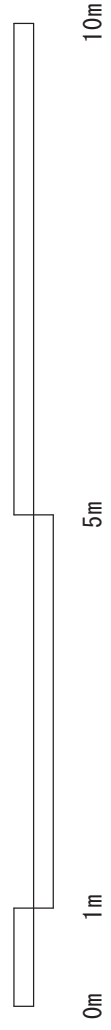
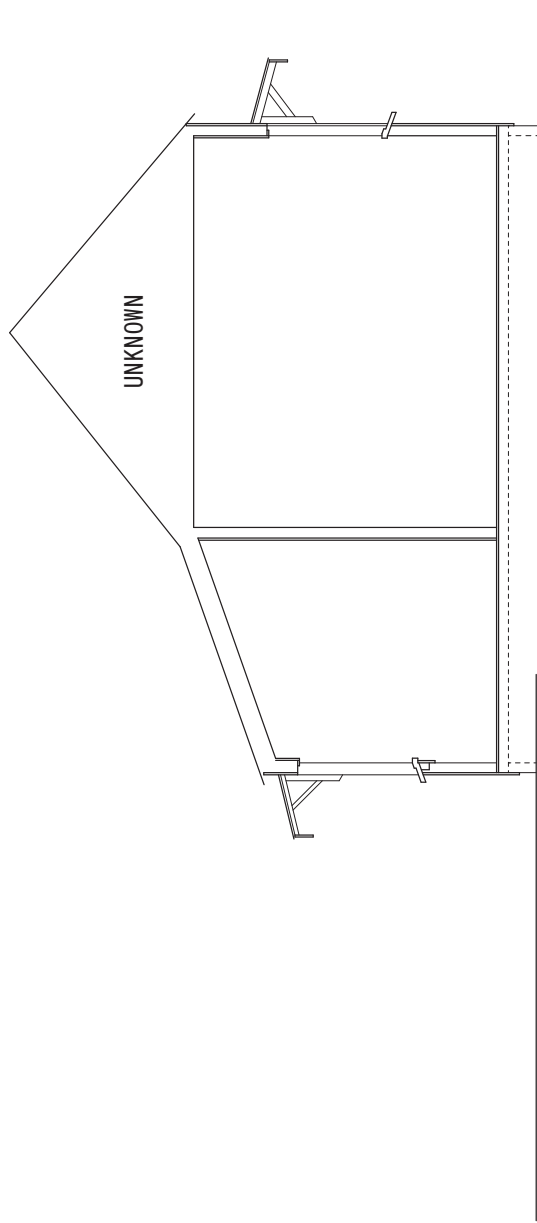
Water Authority

Floor PLAN

Date

Feb. 21. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B35

Water Authority

SECTION

Date

Feb. 21. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:B36

Lomaiviti Provincial Complex



内観(2007年九州大学撮影)



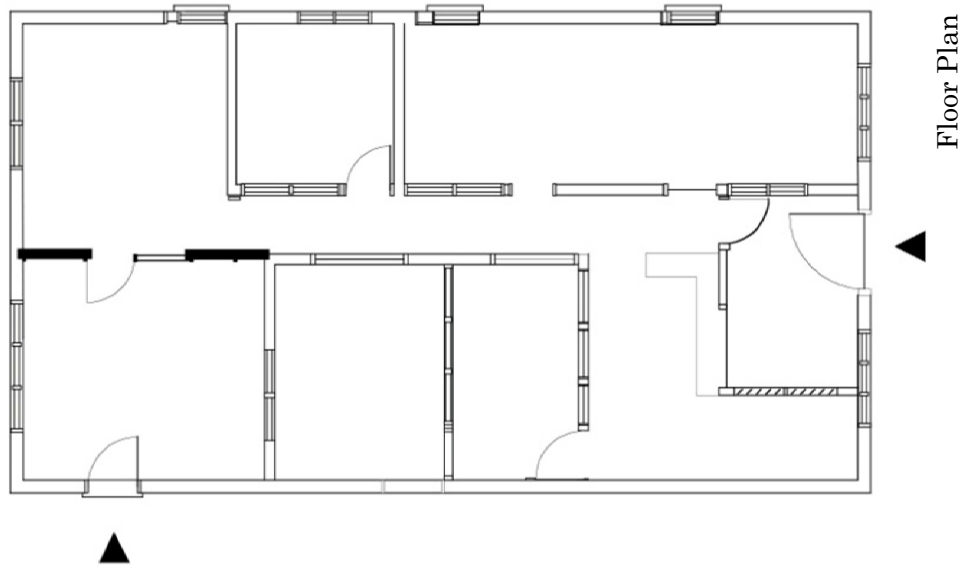
軒下(2007年九州大学撮影)



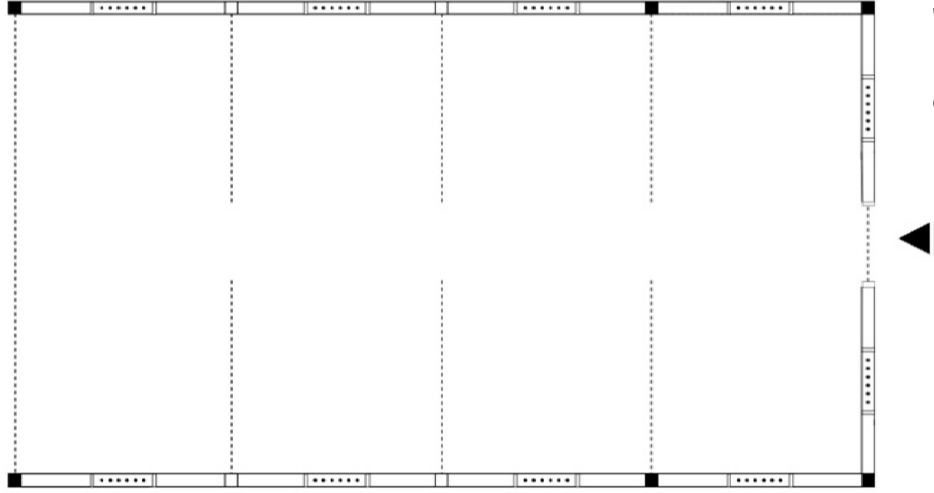
南側外観(2007年九州大学撮影)



1880年撮影(Sitiveni Uminaceva 所蔵)

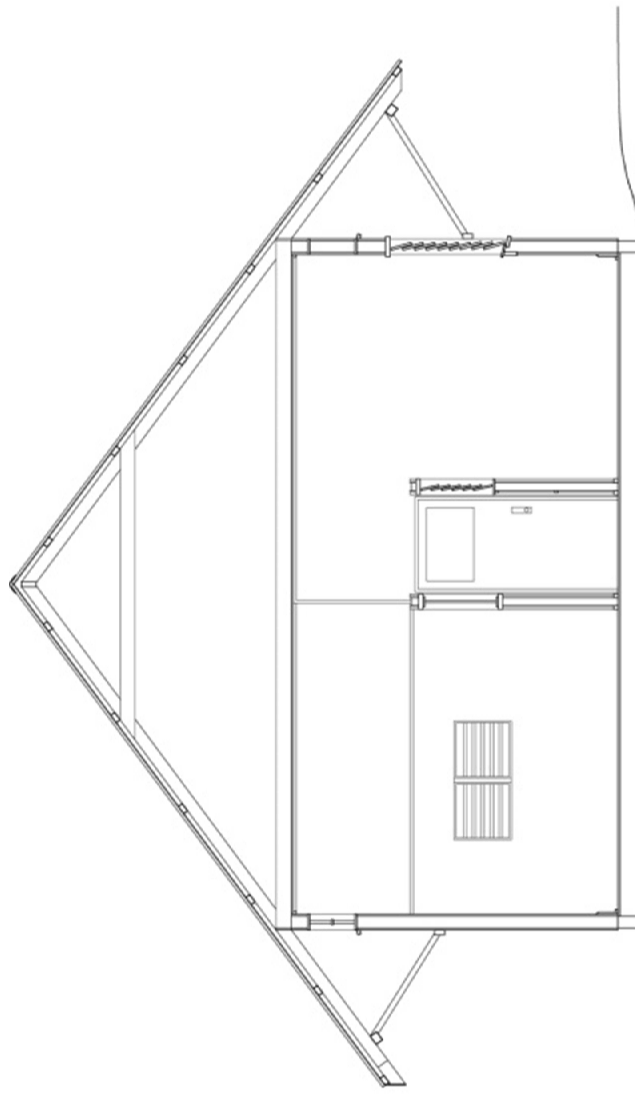


Floor Plan



Original Plan





Section

ER-B37

Social Welfare Office



周辺室内観



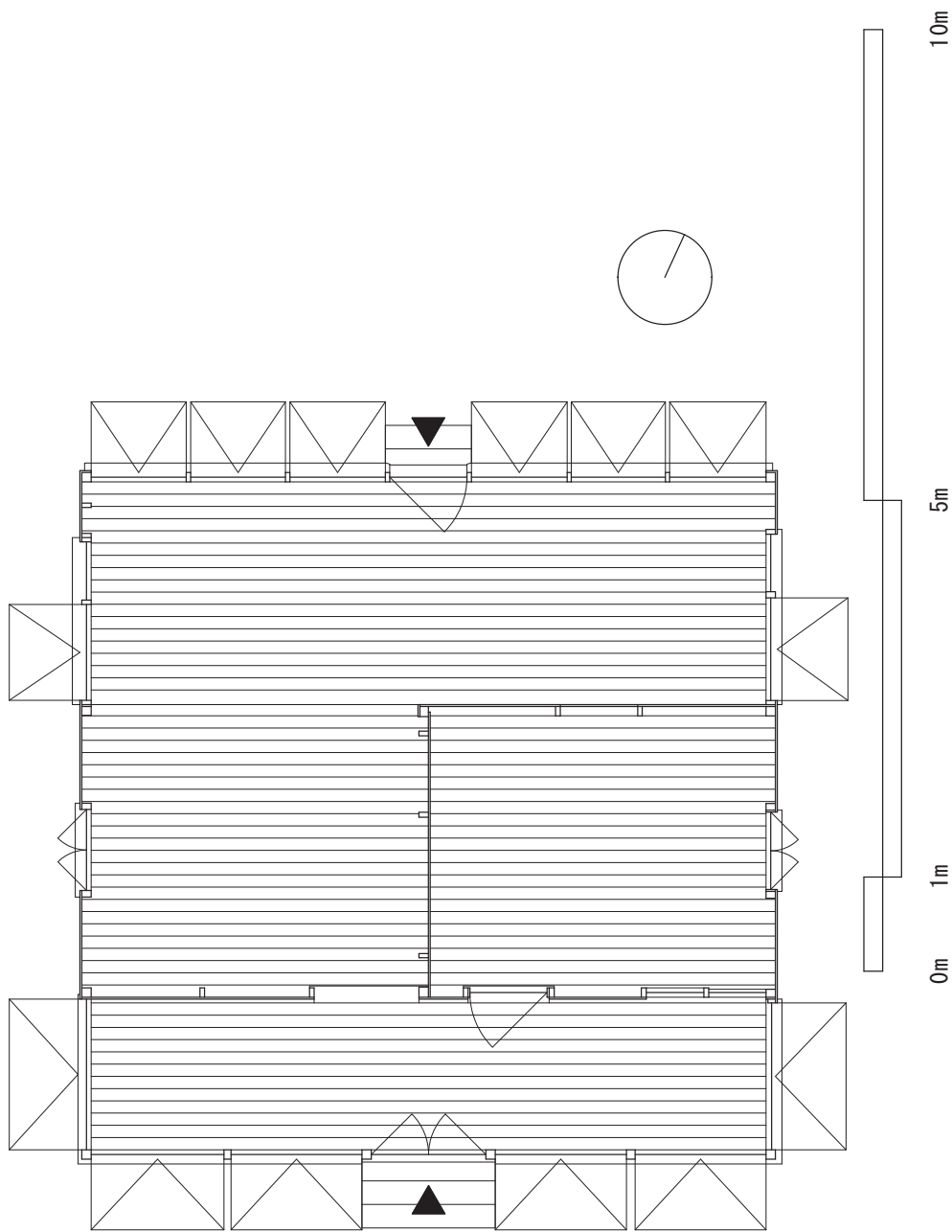
南側外観



内観



西側外観



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

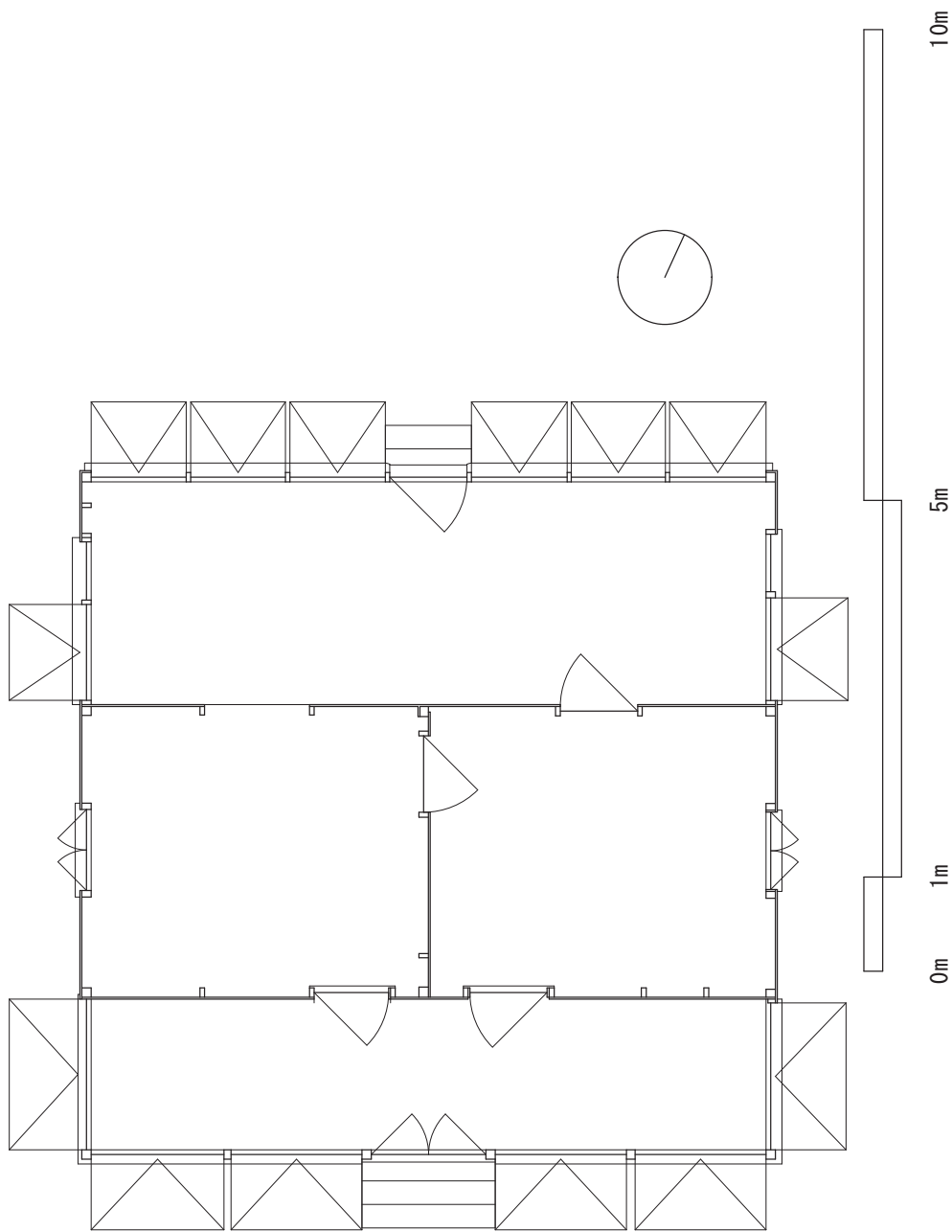
Date

Aug. 16. 2016

Social Welfare Office

Floor PLAN

B37



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

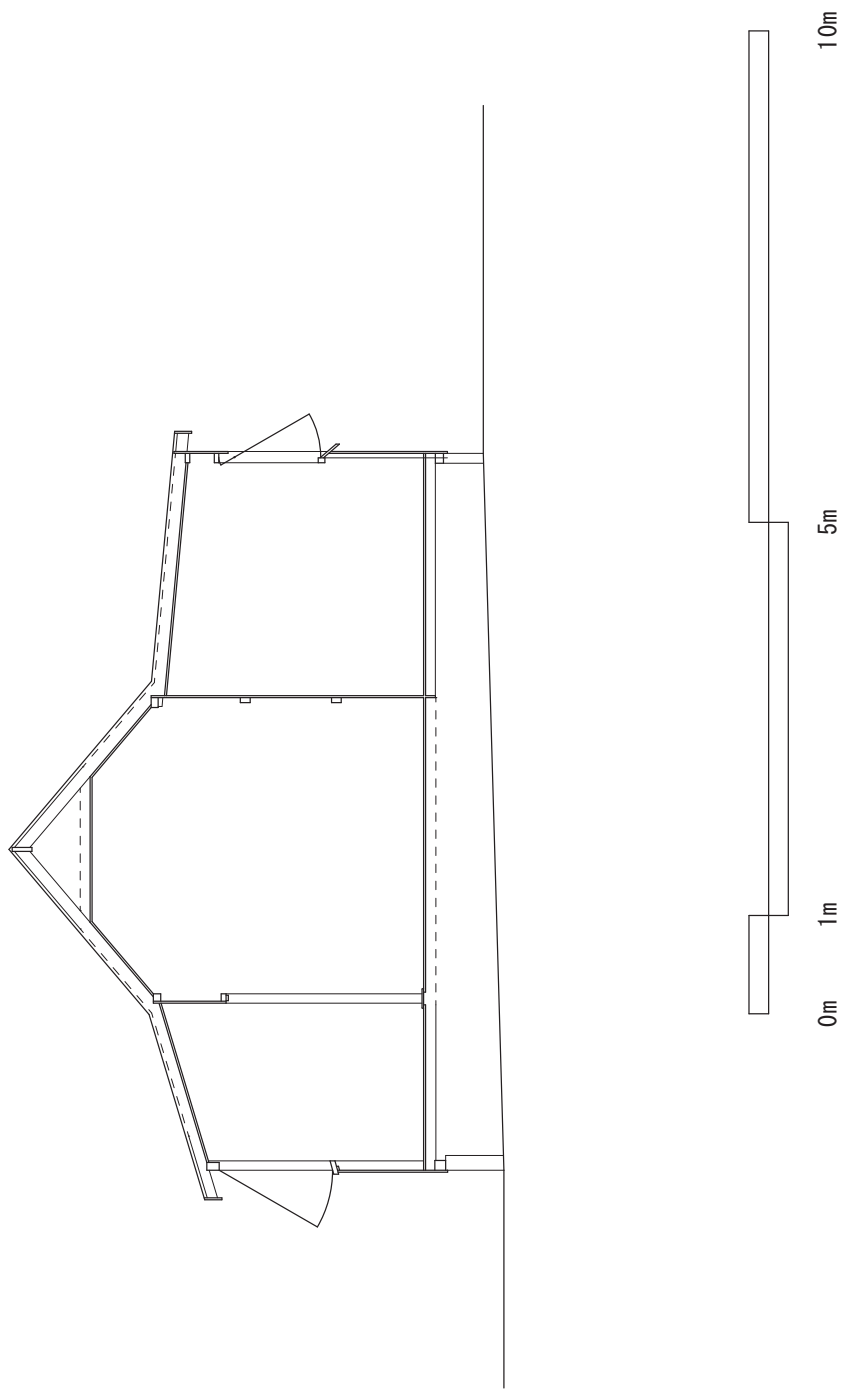
Date

Aug. 16. 2016

Social Welfare Office

Original PLAN

B37



B37

Social Welfare Office

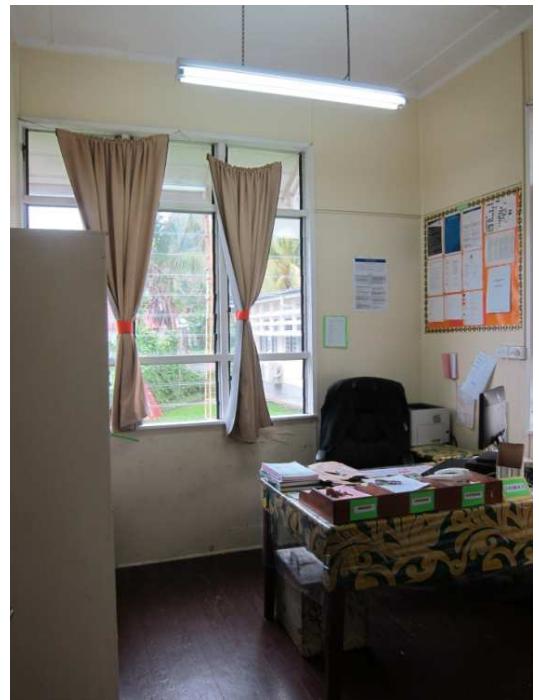
Date  
Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

SECTION

ER-B38

Court House



内観

事務所内観

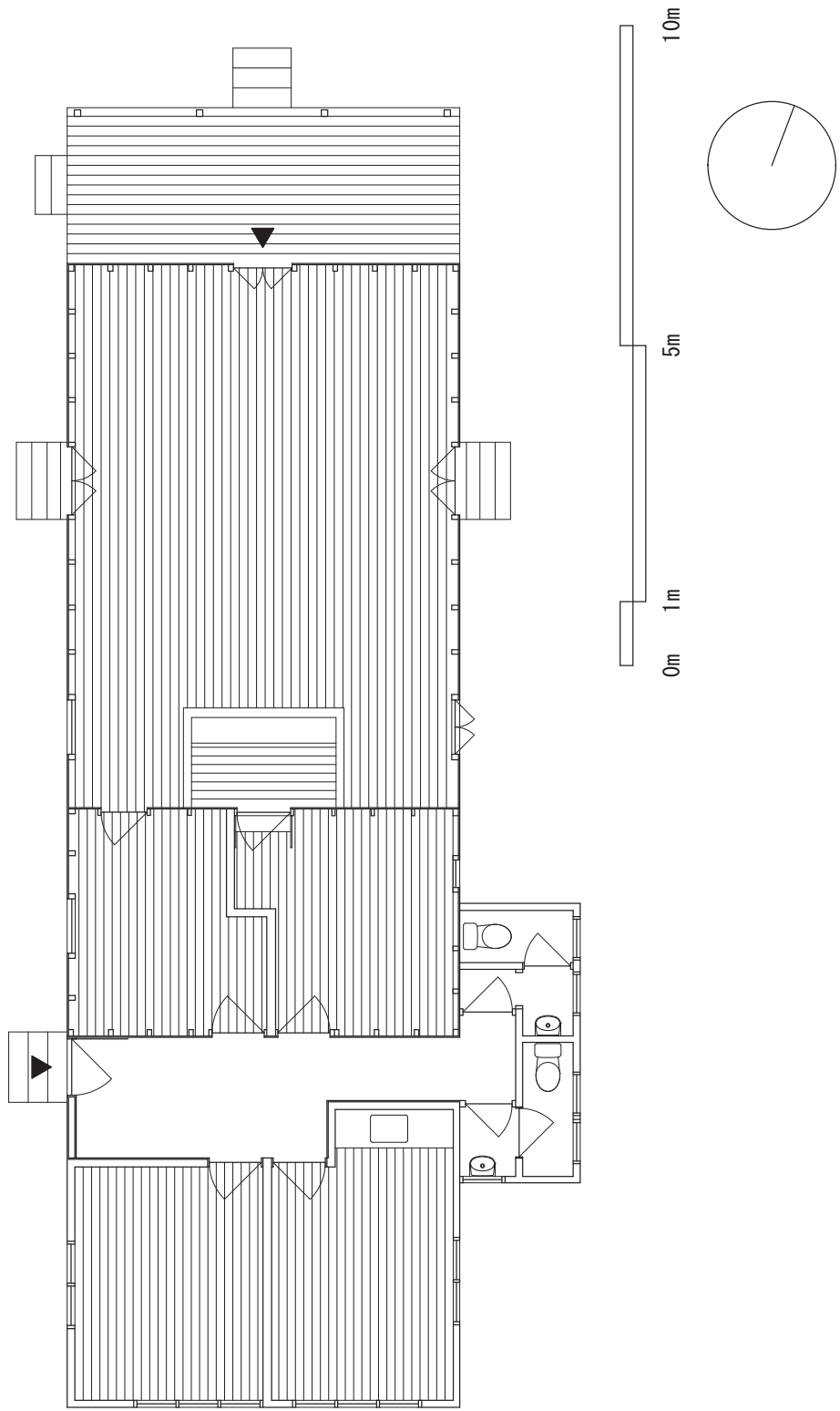


北側外観



撮影年不明(Caines Jannif 所蔵)





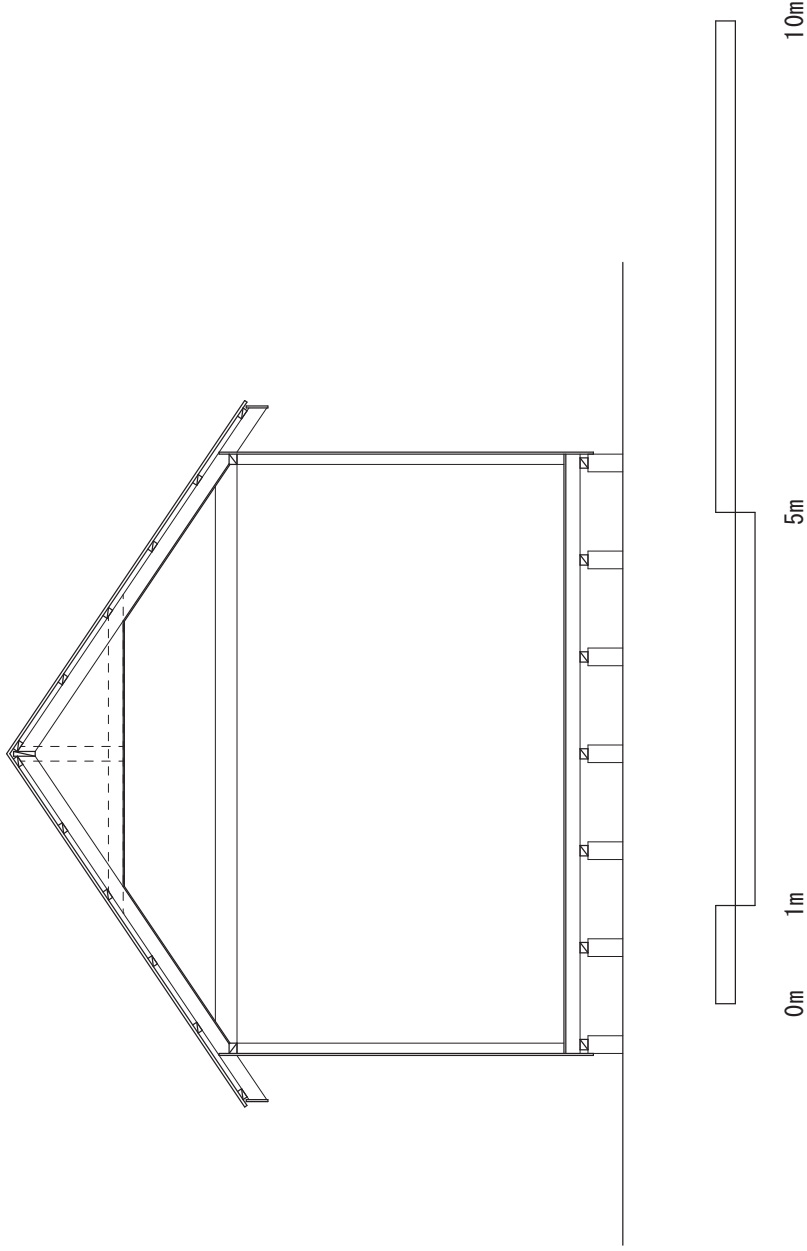
B38

Court House  
Floor PLAN

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



B38

Court House  
SECTION

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

MS01

Ben Naidu



北側周辺室内観



南側周辺室内観



小屋組み



地下階内観



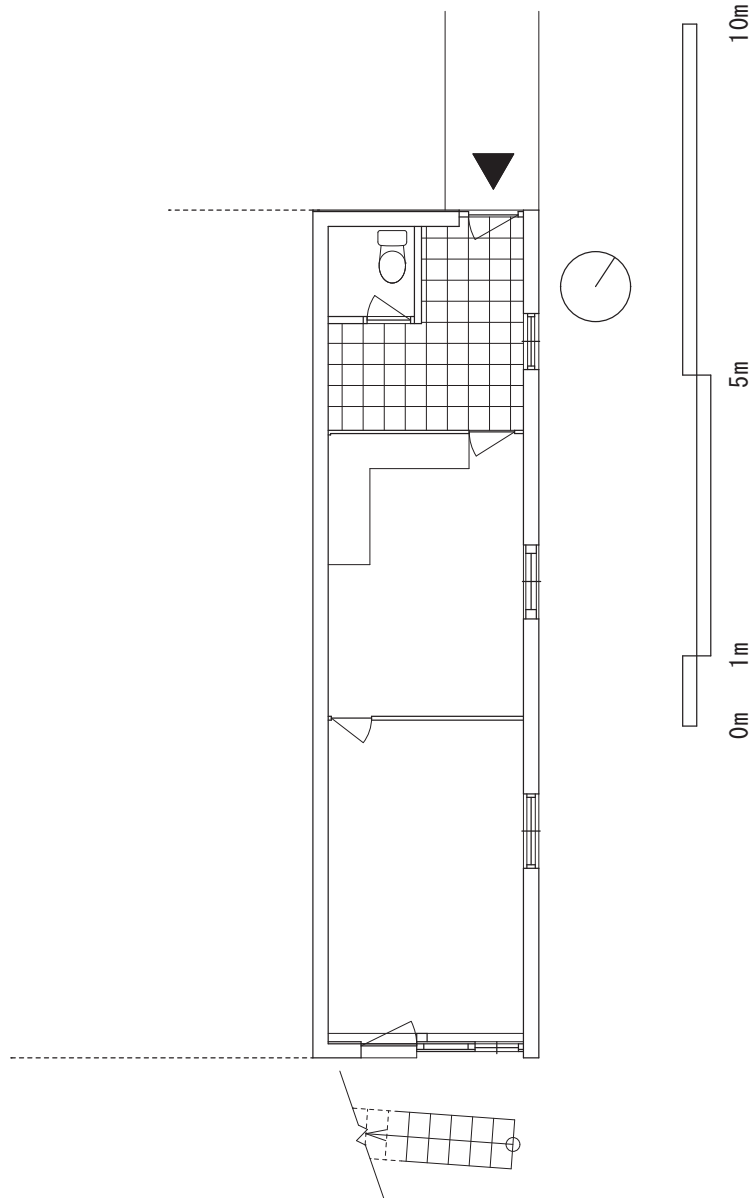
**MS01**

**Ben Naidu**  
1st Floor Plan

Date

Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



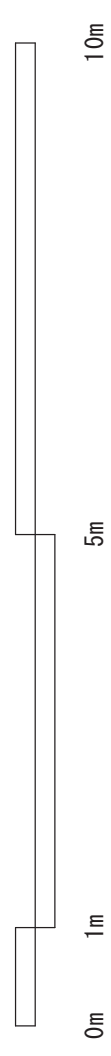
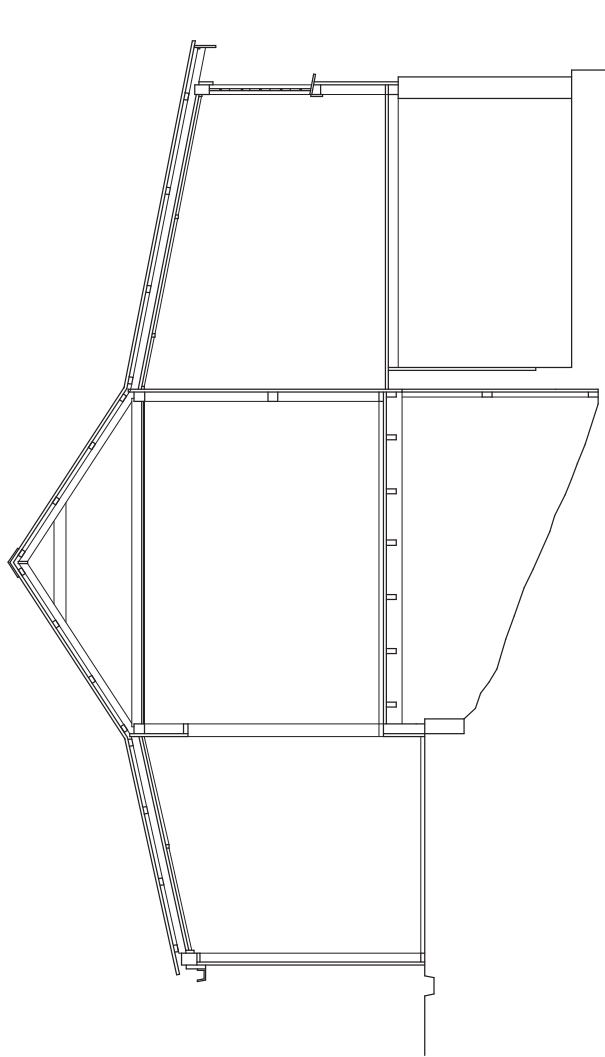
**MS01**

**Ben Naidu**  
Ground Floor Plan

Date

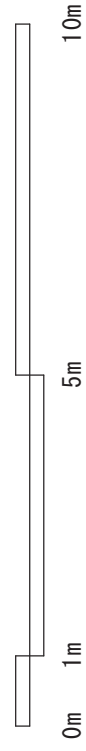
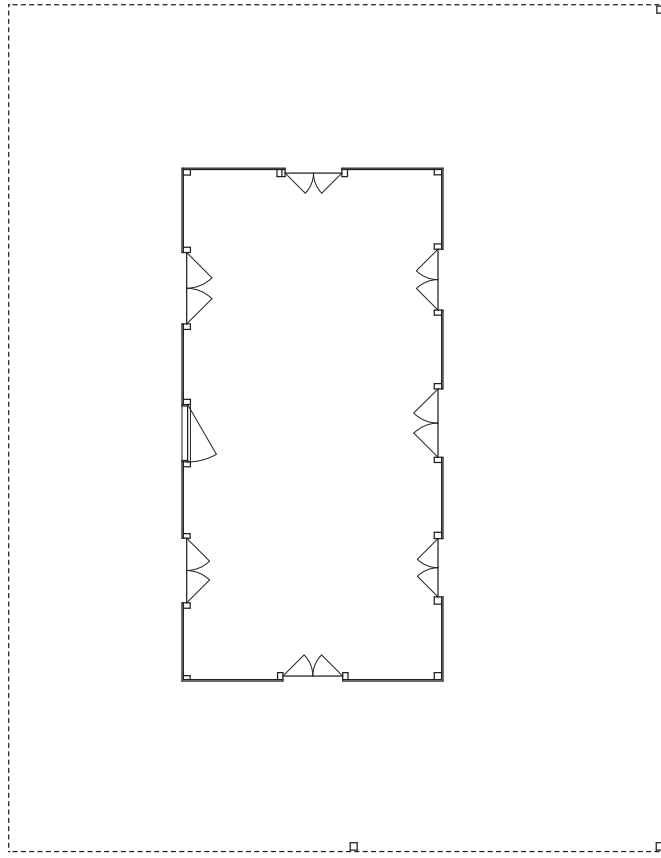
Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



|             |                  |               |                                      |
|-------------|------------------|---------------|--------------------------------------|
| <b>MS01</b> | <b>Ben Naidu</b> | <b>Date</b>   | <b>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</b> |
|             | Section          | Jun. 24. 2017 |                                      |





MS01

Ben Naidu  
Original Plan

Date

Jun. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MS02

WILLIAM GOUNDER



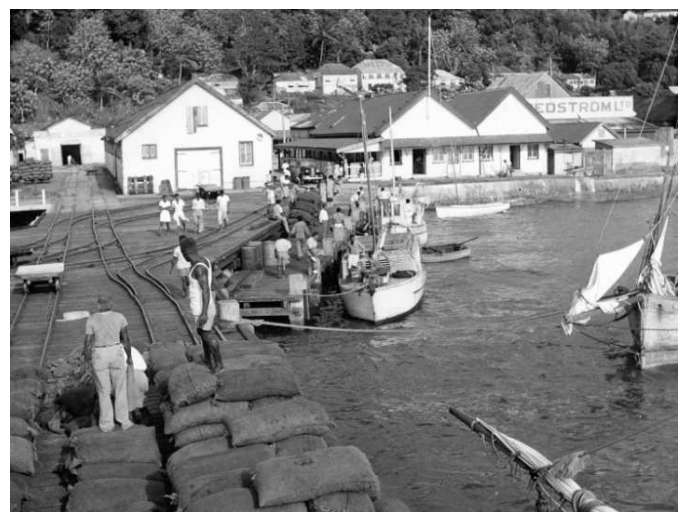
内観



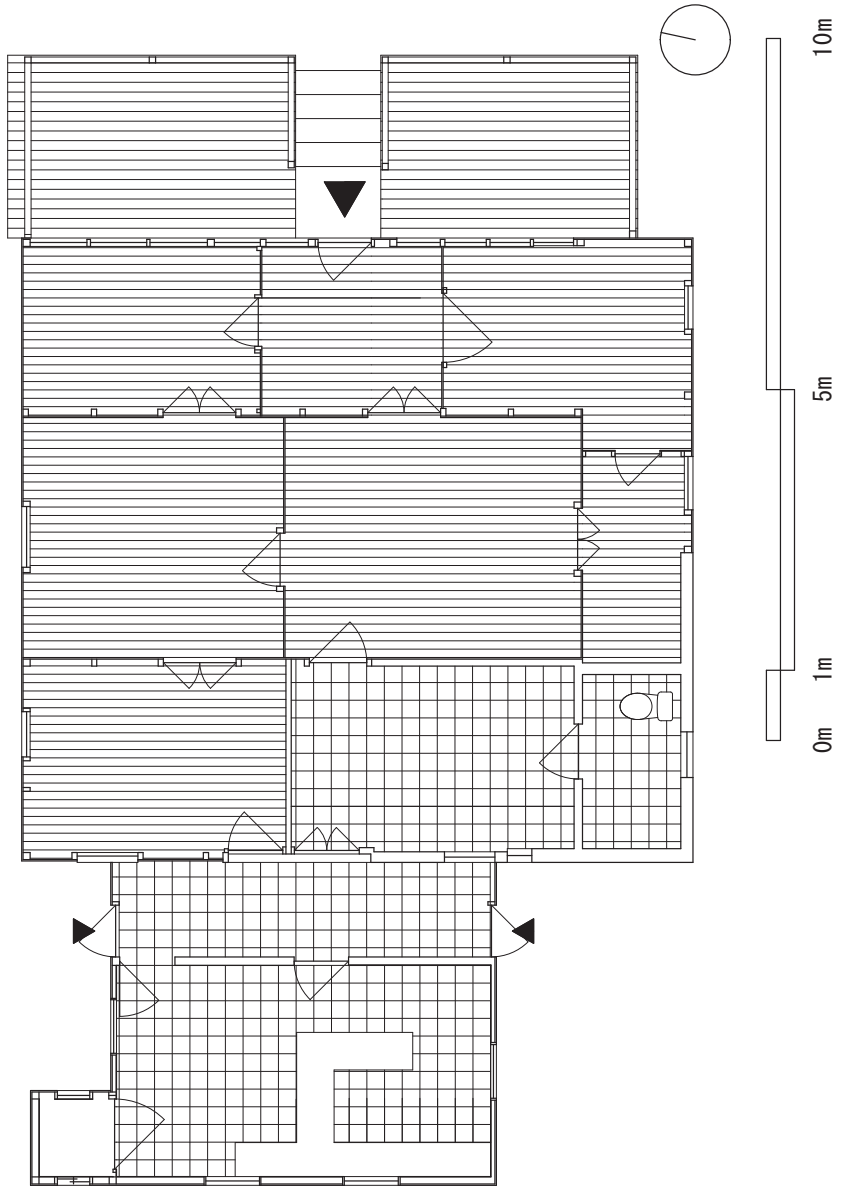
台所内観



ベランダ



1949年撮影(National Archive 所蔵)



**MS02**

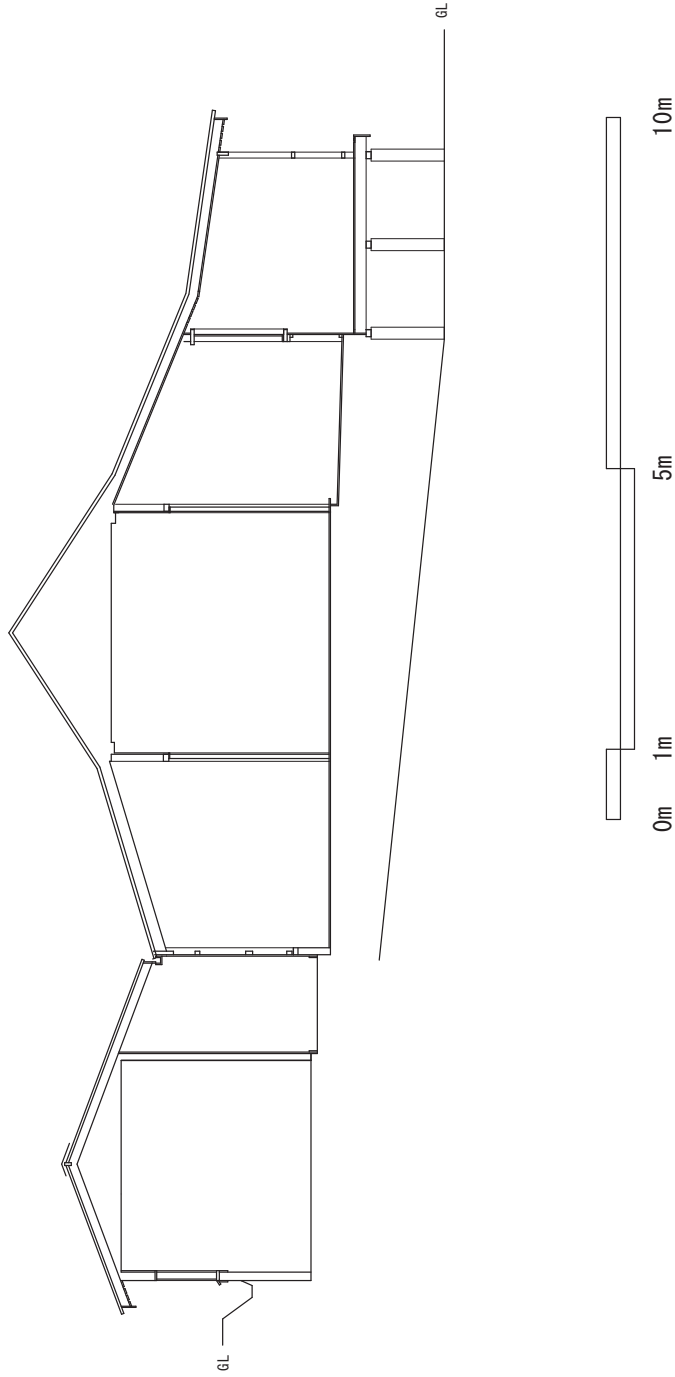
**WILLIAM GOUNDER**

Floor Plan

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS02

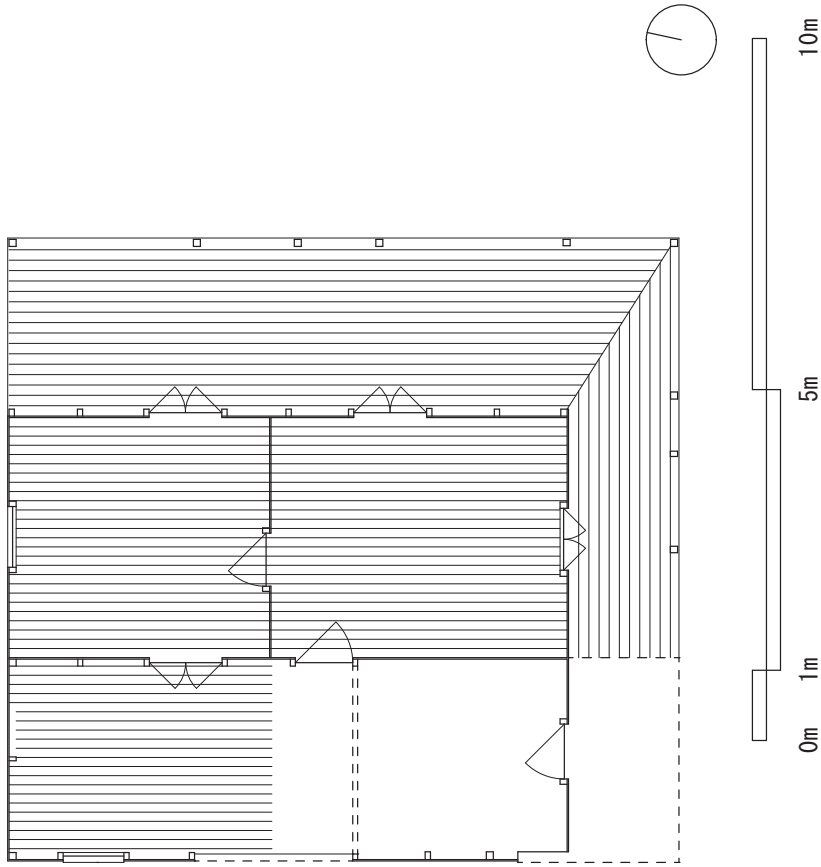
WILLIAM GOUNDER

Section

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS02

**WILLIAM GOUNDER**  
Original Plan

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MS03

GOUNDER LAI



室内内観



西側外観

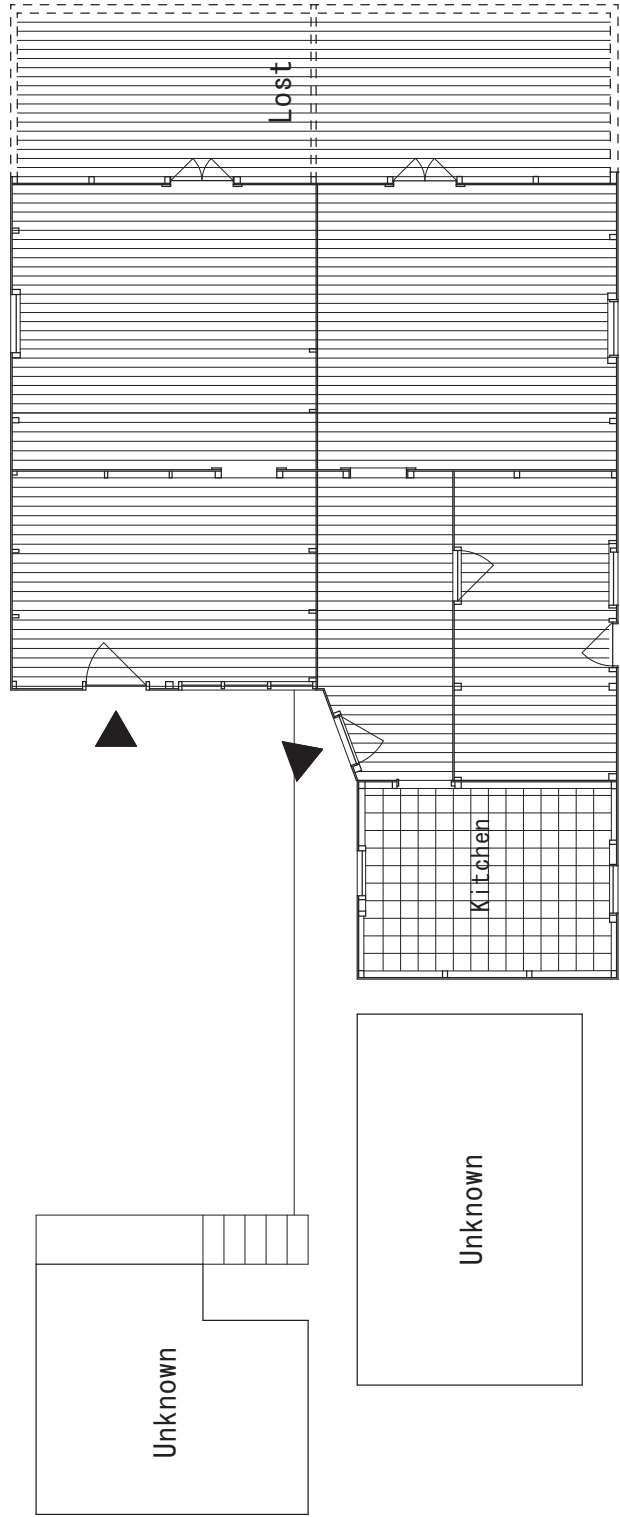


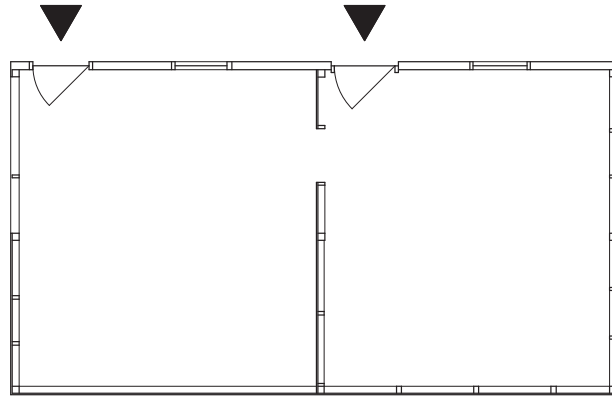
小屋組み



2016 年台風後







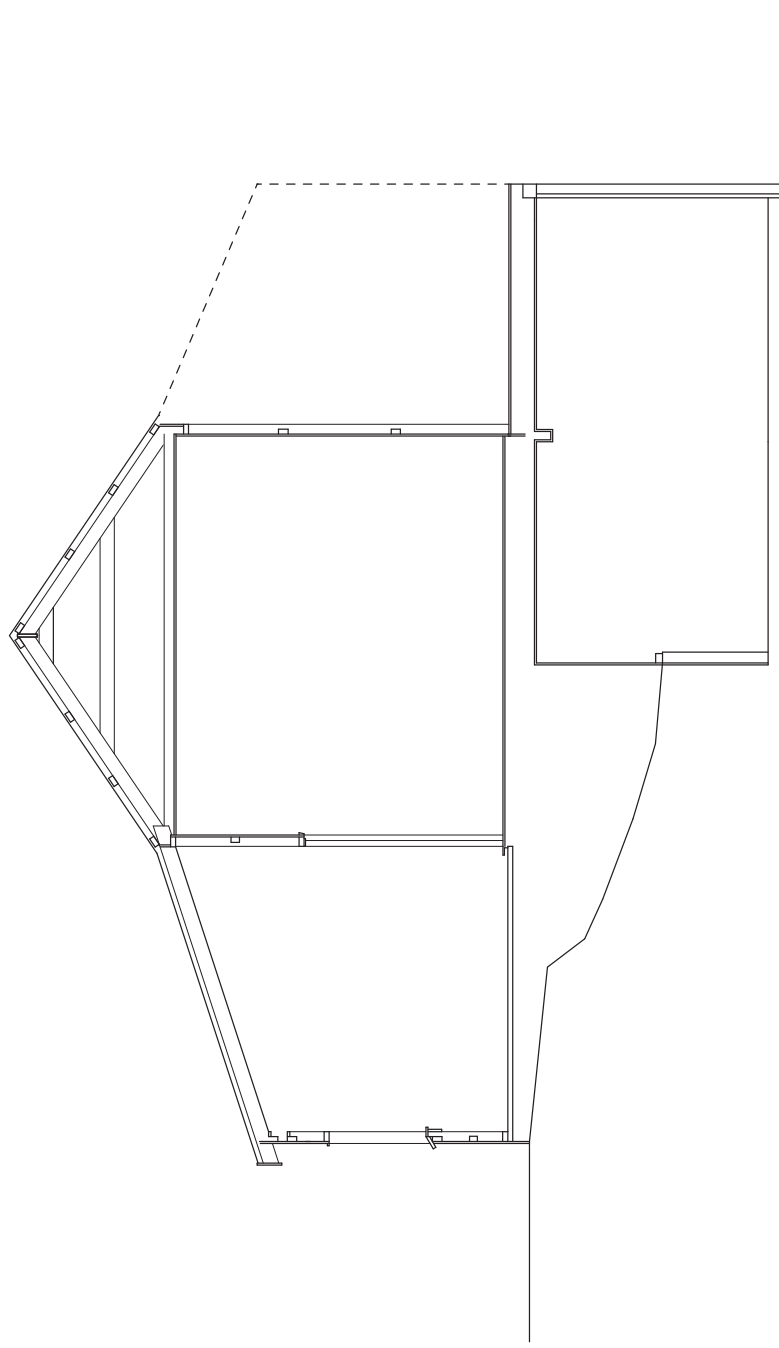
**MS03**

**GOUNDER LAI**  
GROUND FLOOR PLAN

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**MS03**

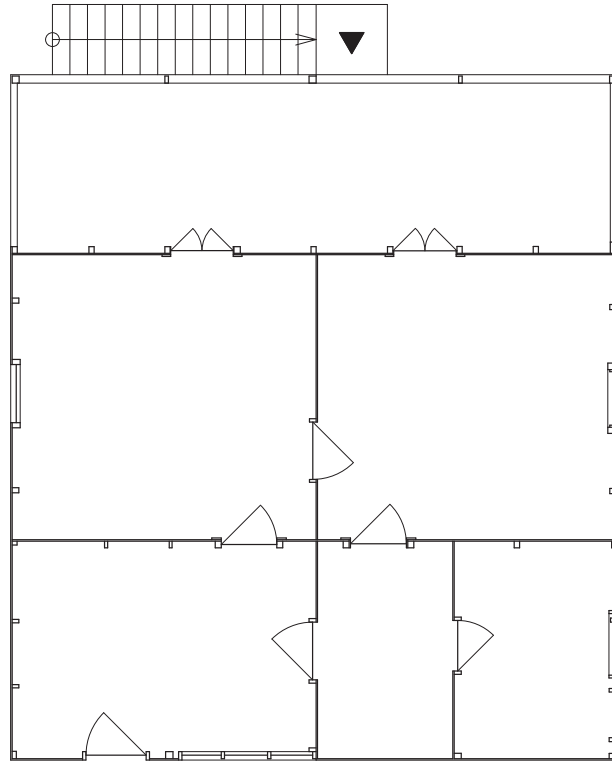
**GOUNDER LAI**

Section

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

Aug. 11. 2016

**GOUNDER LAI**

Original Plan

**MS03**

ER:MS04

ANNIE WILLIAMS



2016年台風前の外観(2007年九州大学撮影)



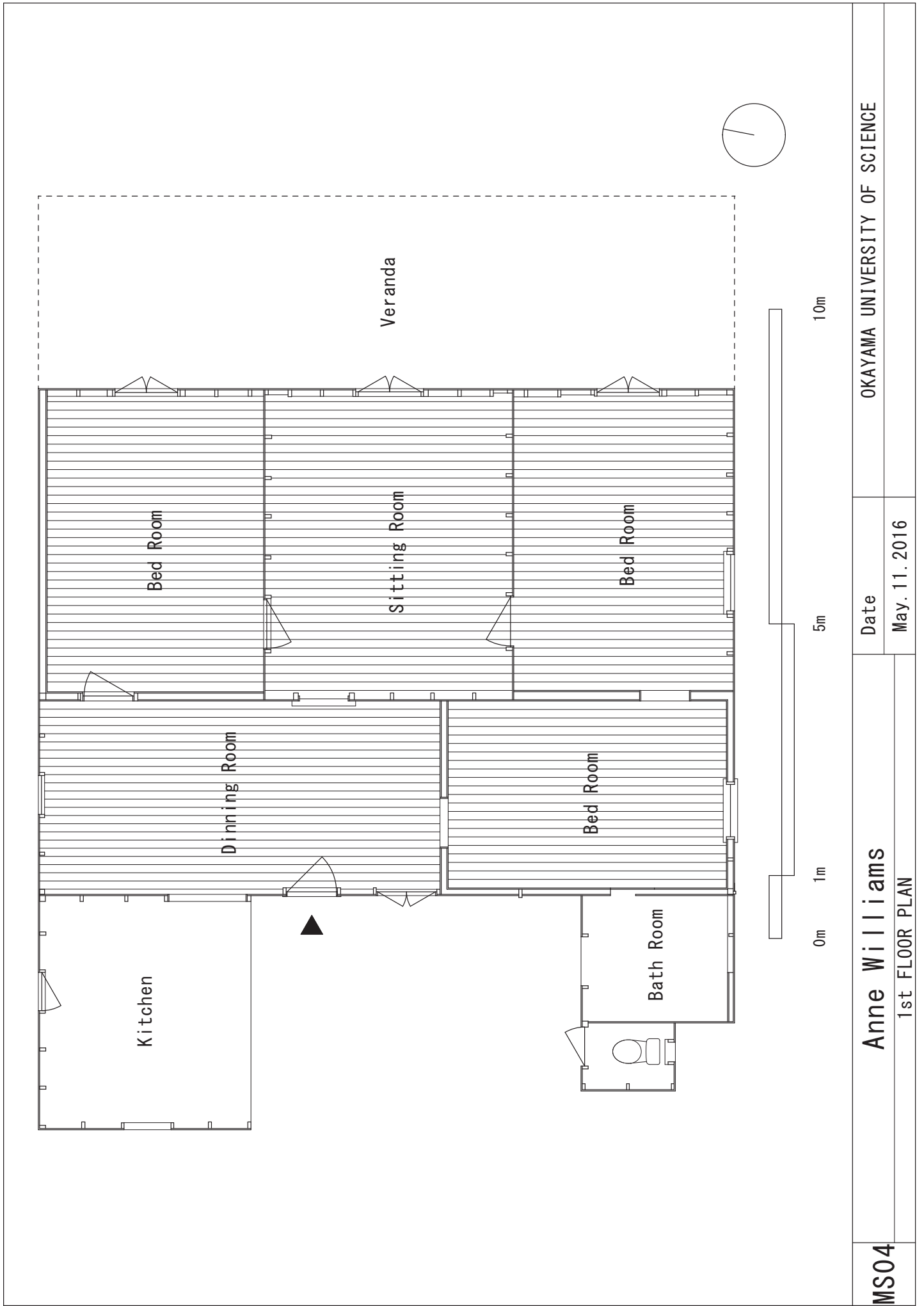
こけら葺



内観

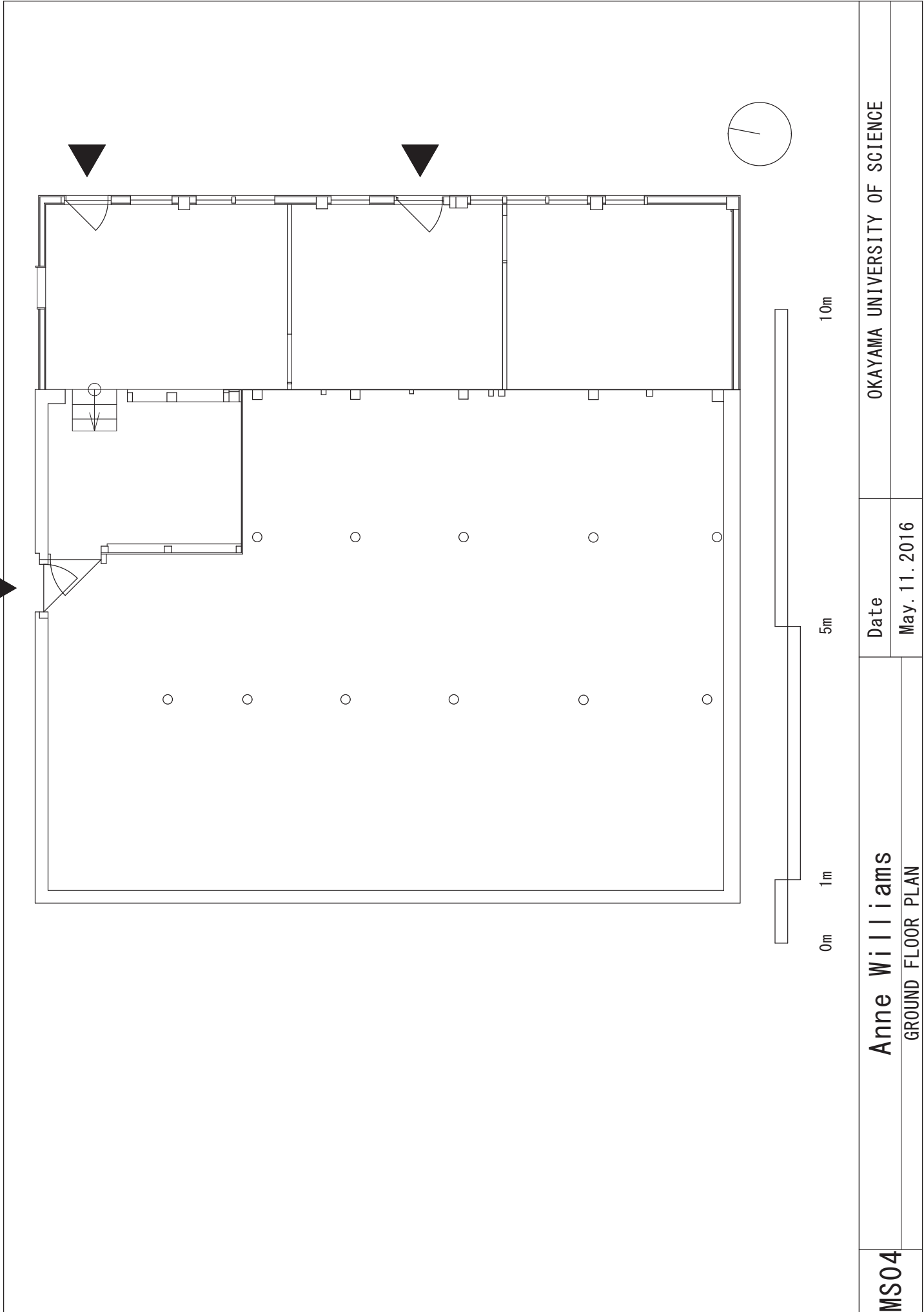


小屋組み

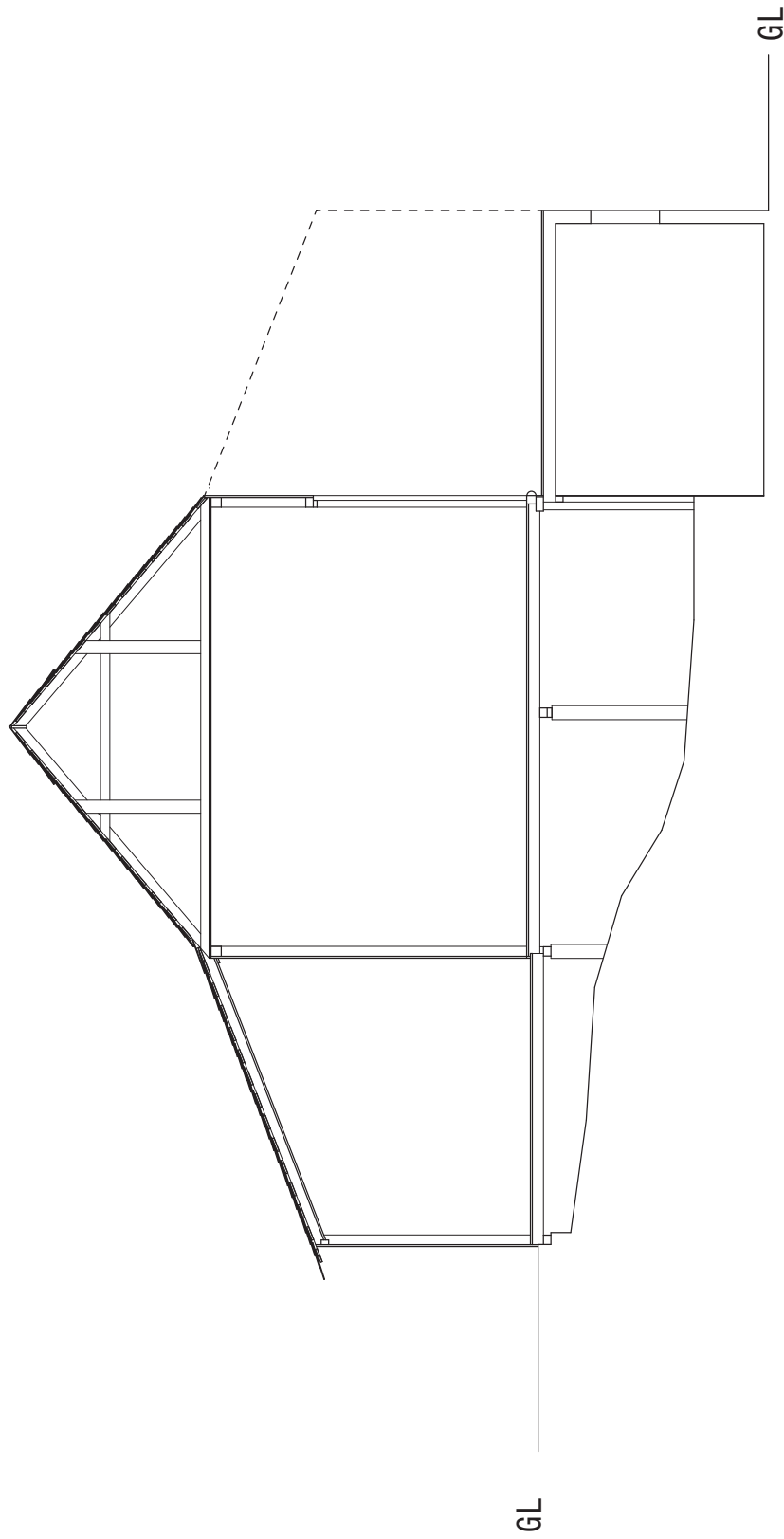


|      |                |  |                               |               |
|------|----------------|--|-------------------------------|---------------|
| MS04 | Anne Williams  |  | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |               |
|      | 1st FLOOR PLAN |  | Date                          | May. 11. 2016 |





|             |                          |                                      |
|-------------|--------------------------|--------------------------------------|
| <b>MS04</b> | <b>Anne Williams</b>     | <b>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</b> |
|             | <b>GROUND FLOOR PLAN</b> | <b>Date</b><br><b>May. 11. 2016</b>  |

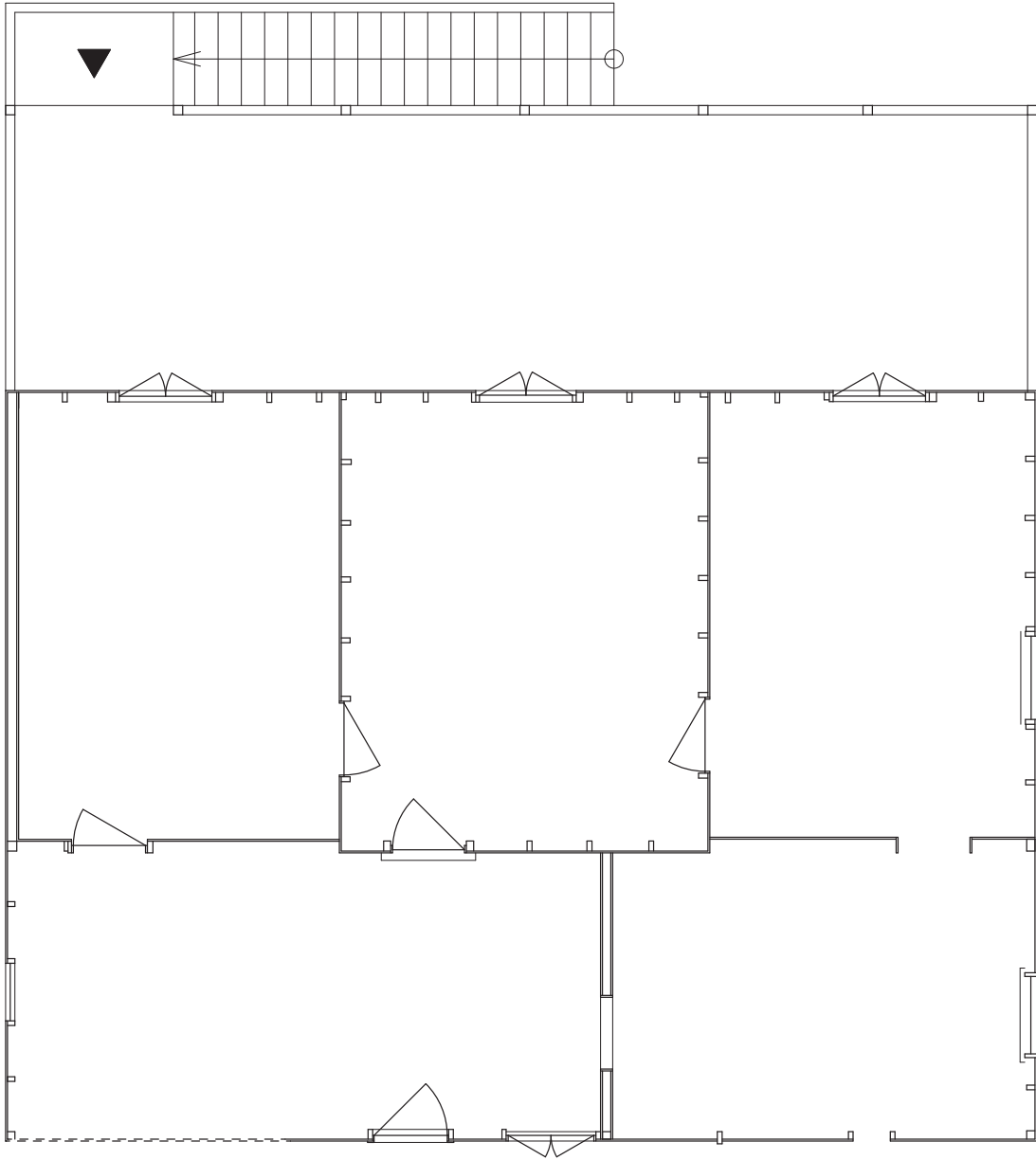


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
May. 11. 2016

Anne Williams  
Section

MS04



MS04

Anne Williams  
ORIGINAL PLAN

Date

May. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MS05

Ina Clow



周辺室内観



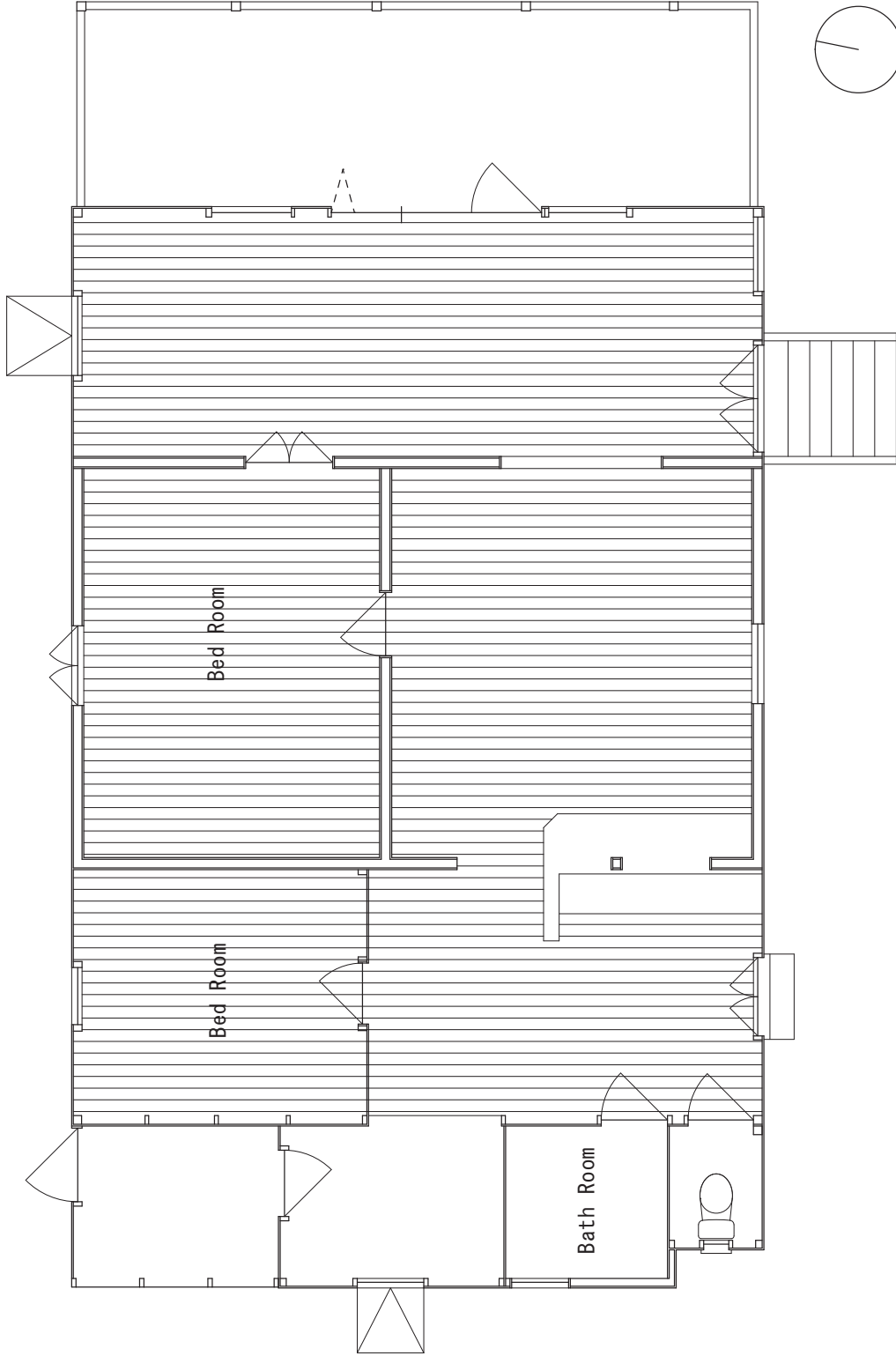
寝室内観



ベランダ



1900年頃撮影(Fiji Museum 所蔵)



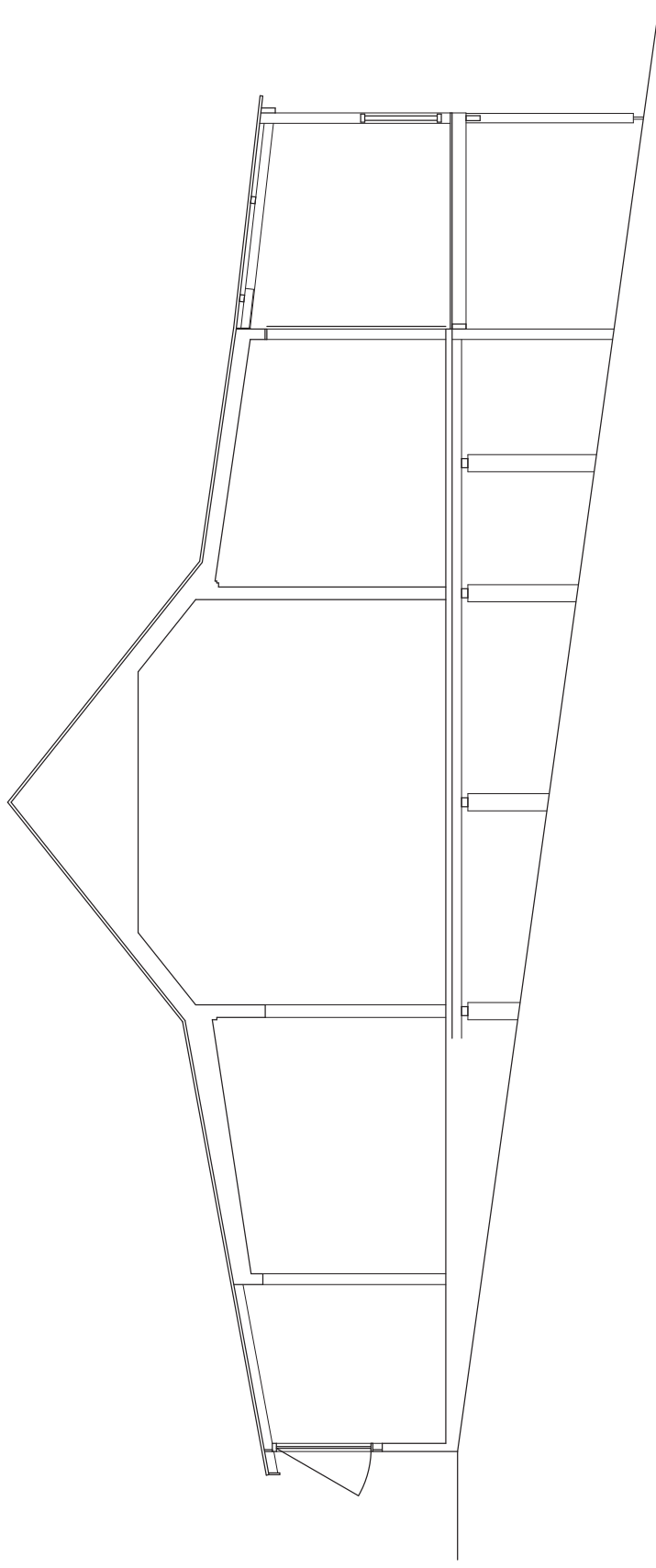
MS05

Ina Clow  
Floor Plan

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS05

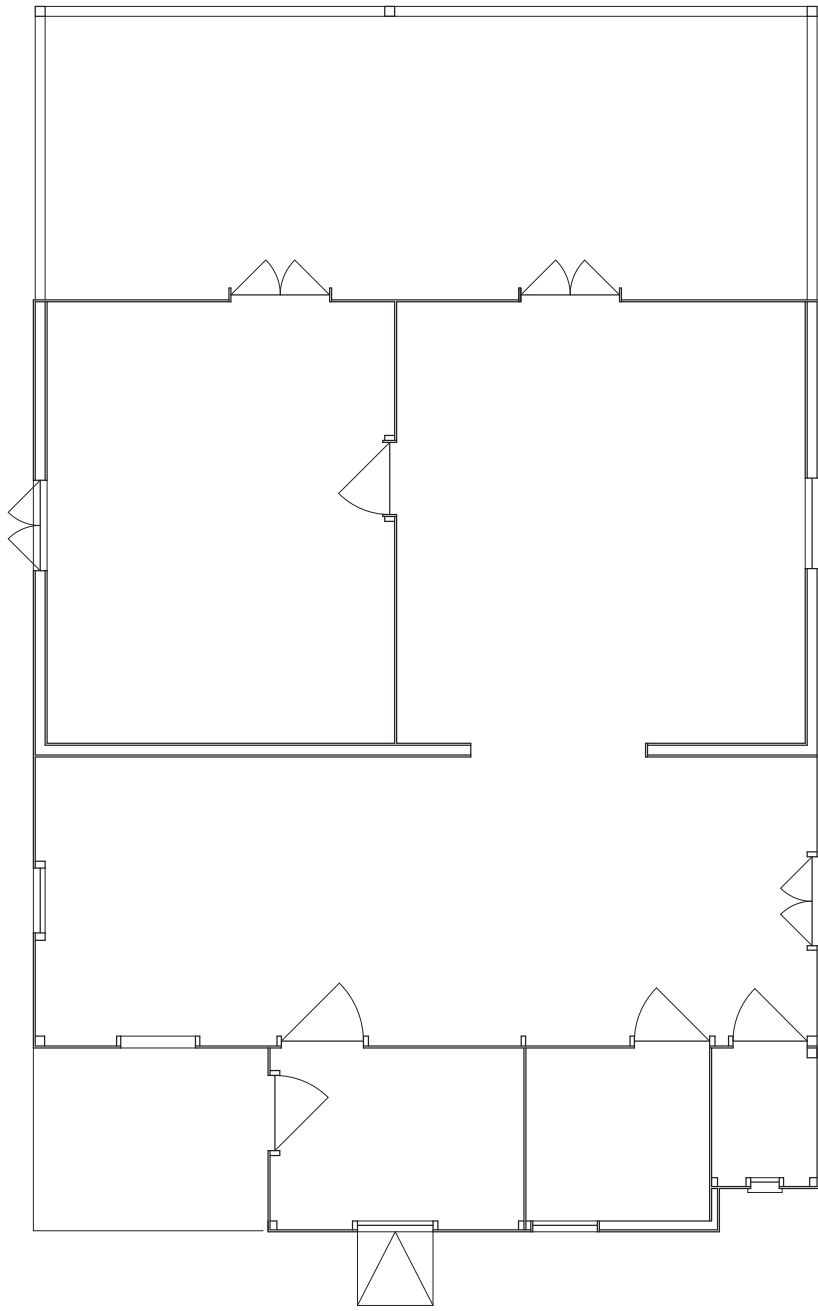
Ina Clow  
Section

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





MS05

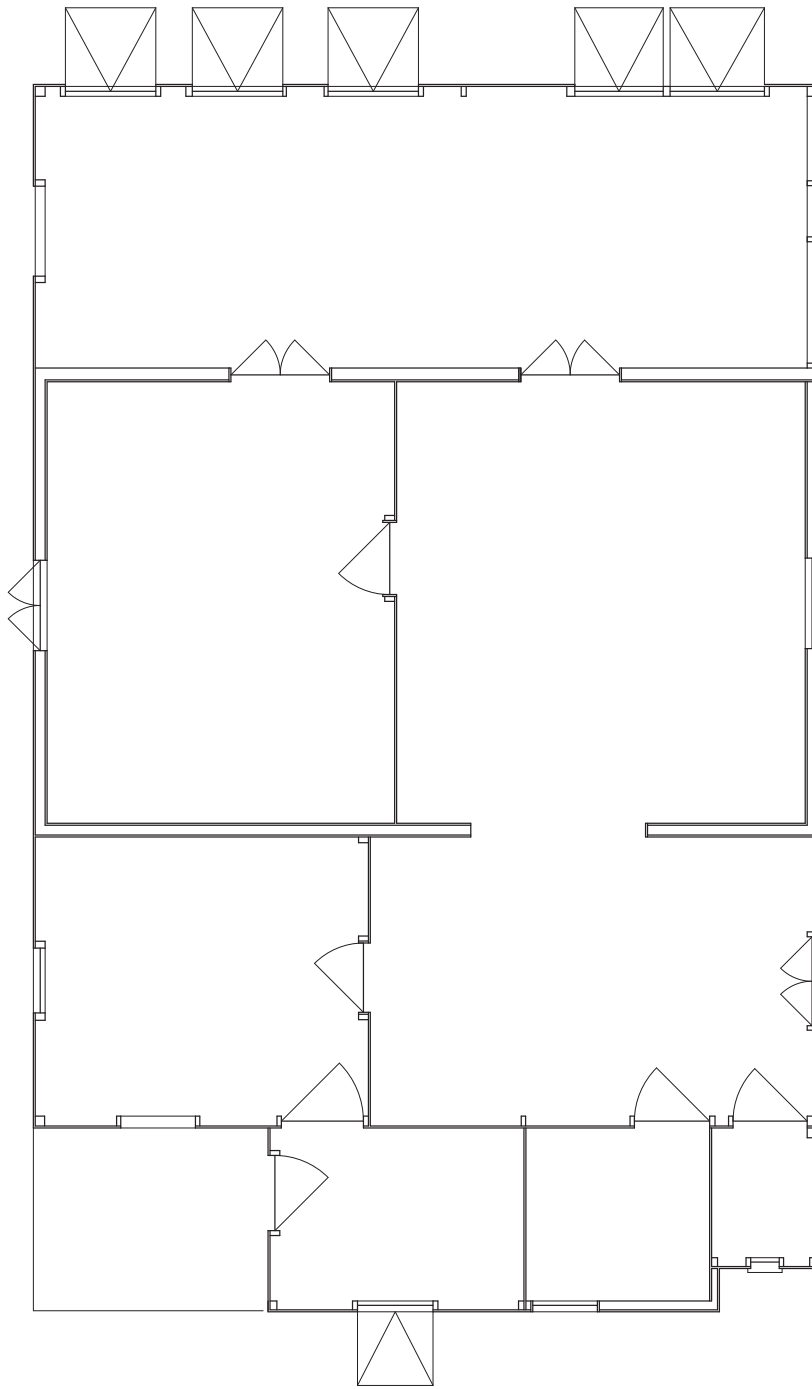
Ina Clow

1st Original Plan

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MS06

Bhupendra-Vadratau



2016年台風倒壊前外観(2007年九州大学撮影)



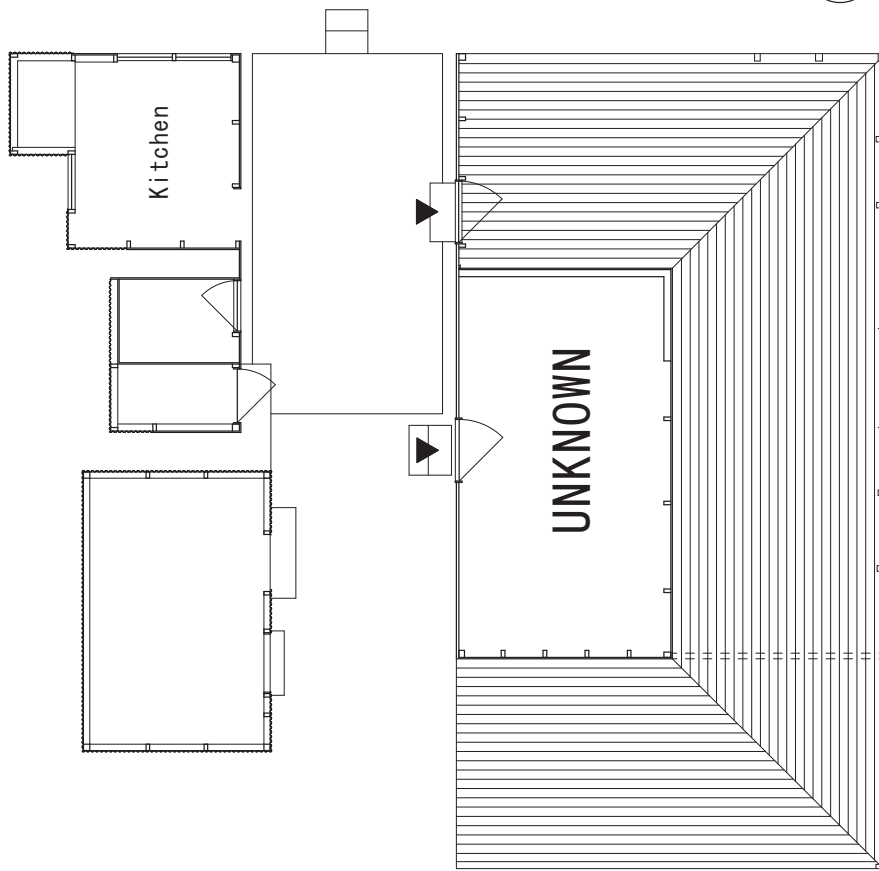
台所内観



室内内観



北側外観



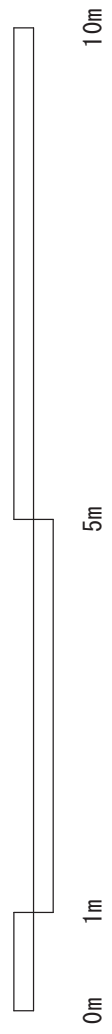
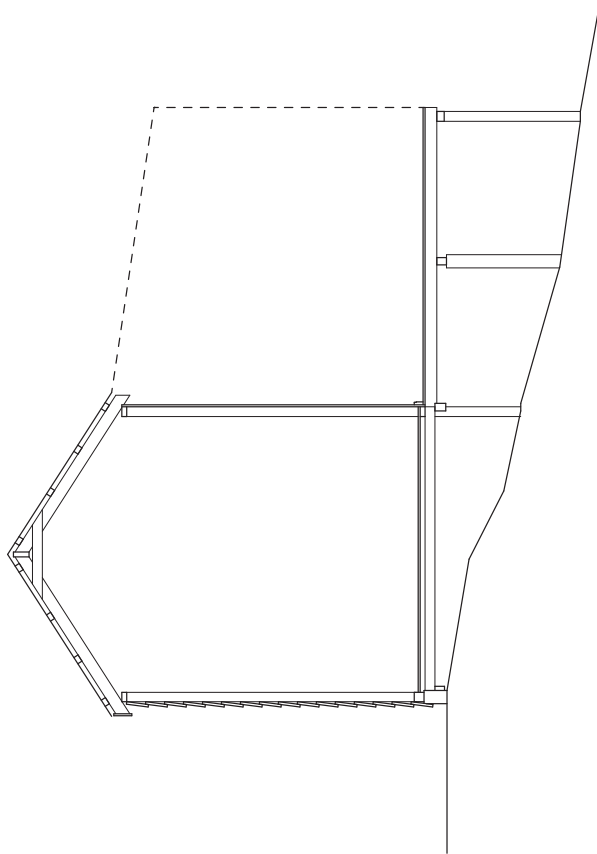
MS06

Bhupendra-Vadratau  
Floor Plan

Date

Aug. 08. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



|      |                               |                       |                               |
|------|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| MS06 | Bhupendra-Vadratau<br>Section | Date<br>Aug. 08. 2016 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|------|-------------------------------|-----------------------|-------------------------------|



ER:MS07

Ian Powell



リビング内観



寝室内観

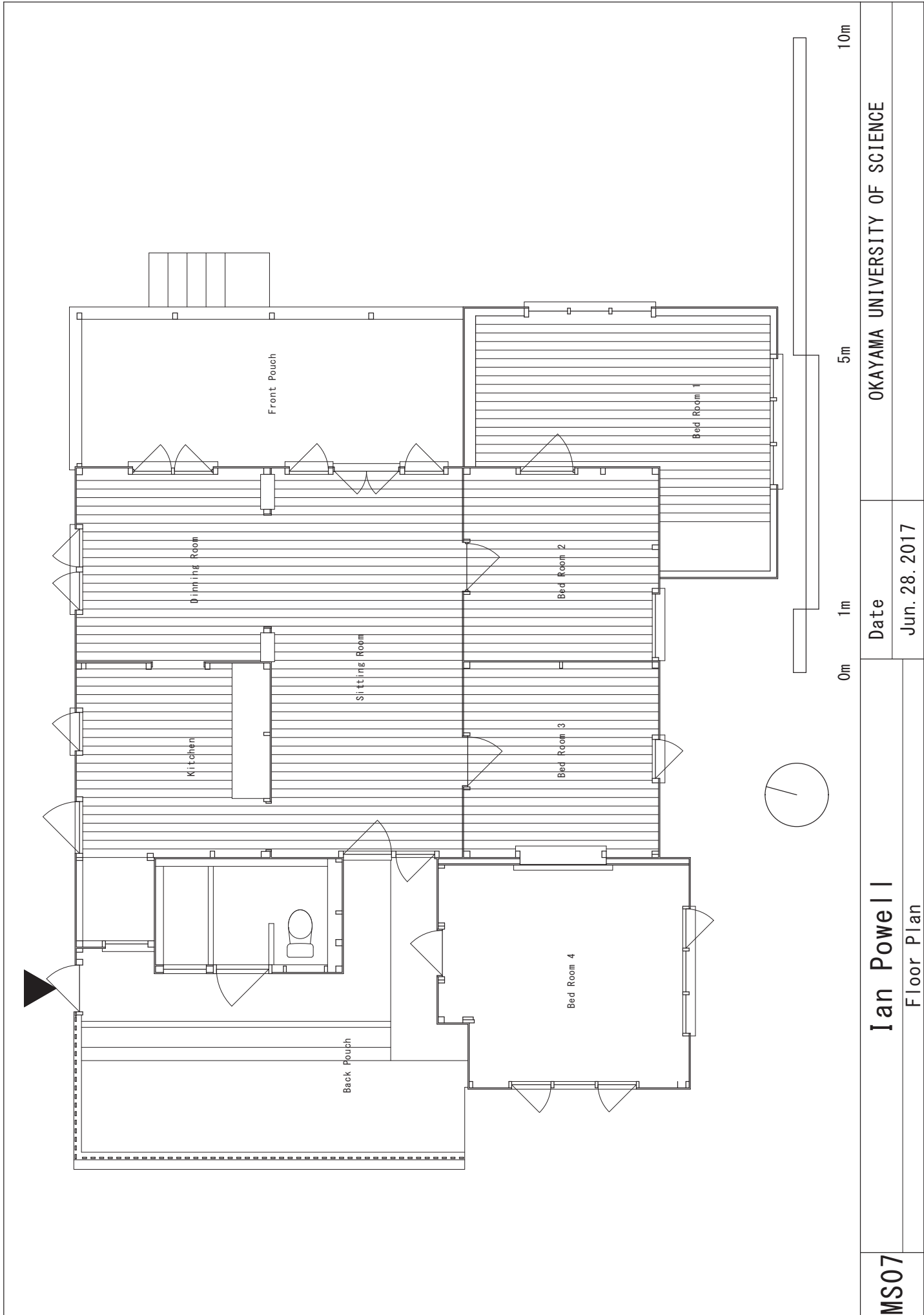


ベランダ



東側外観





MS07

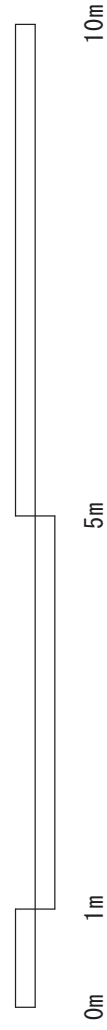
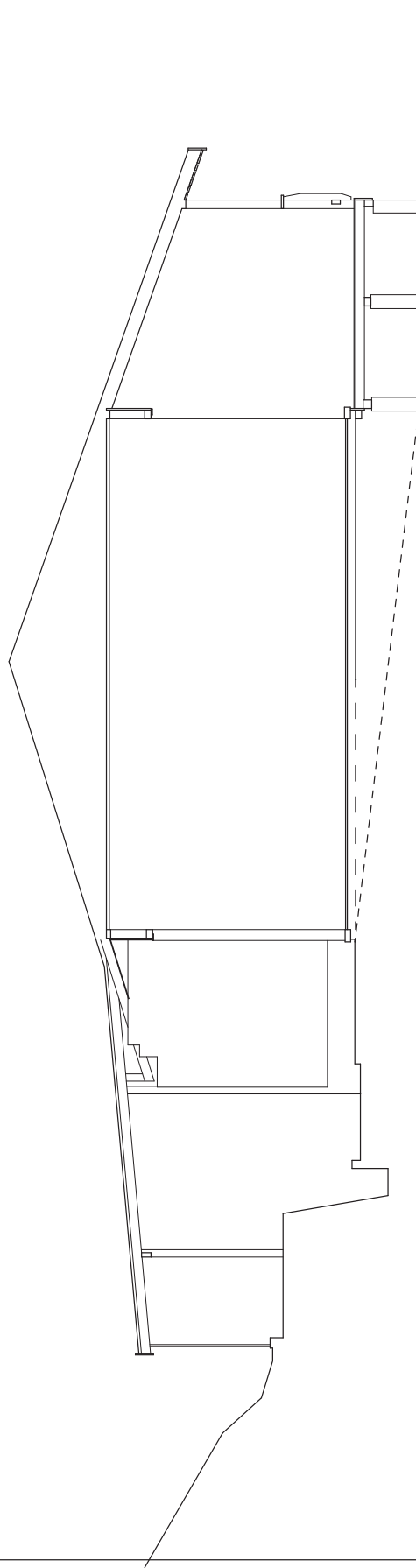
Ian Powell I

Floor Plan

Date

Jun. 28. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS07

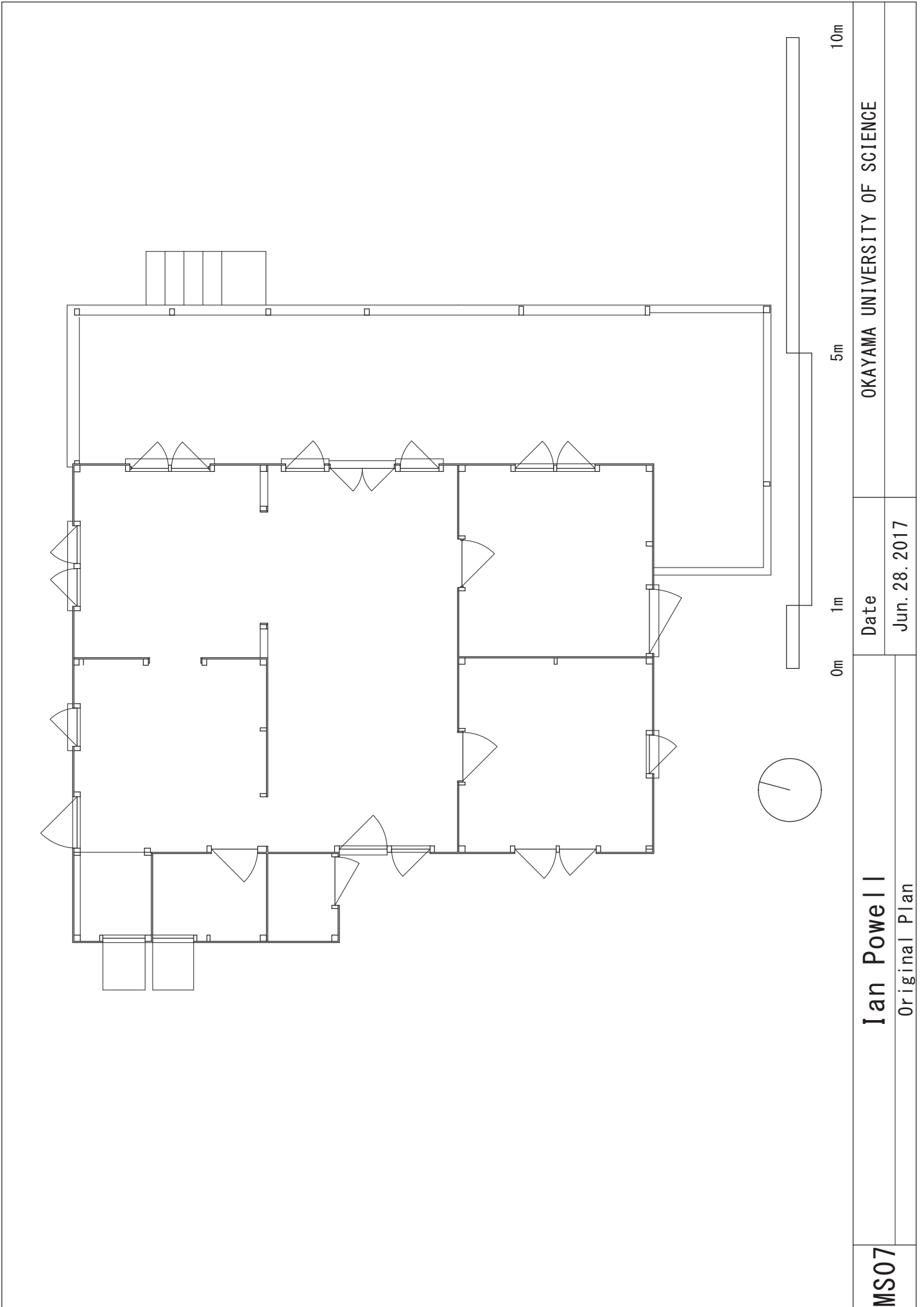
Ian Powell

Section

Date

Jun. 28. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





室内内観



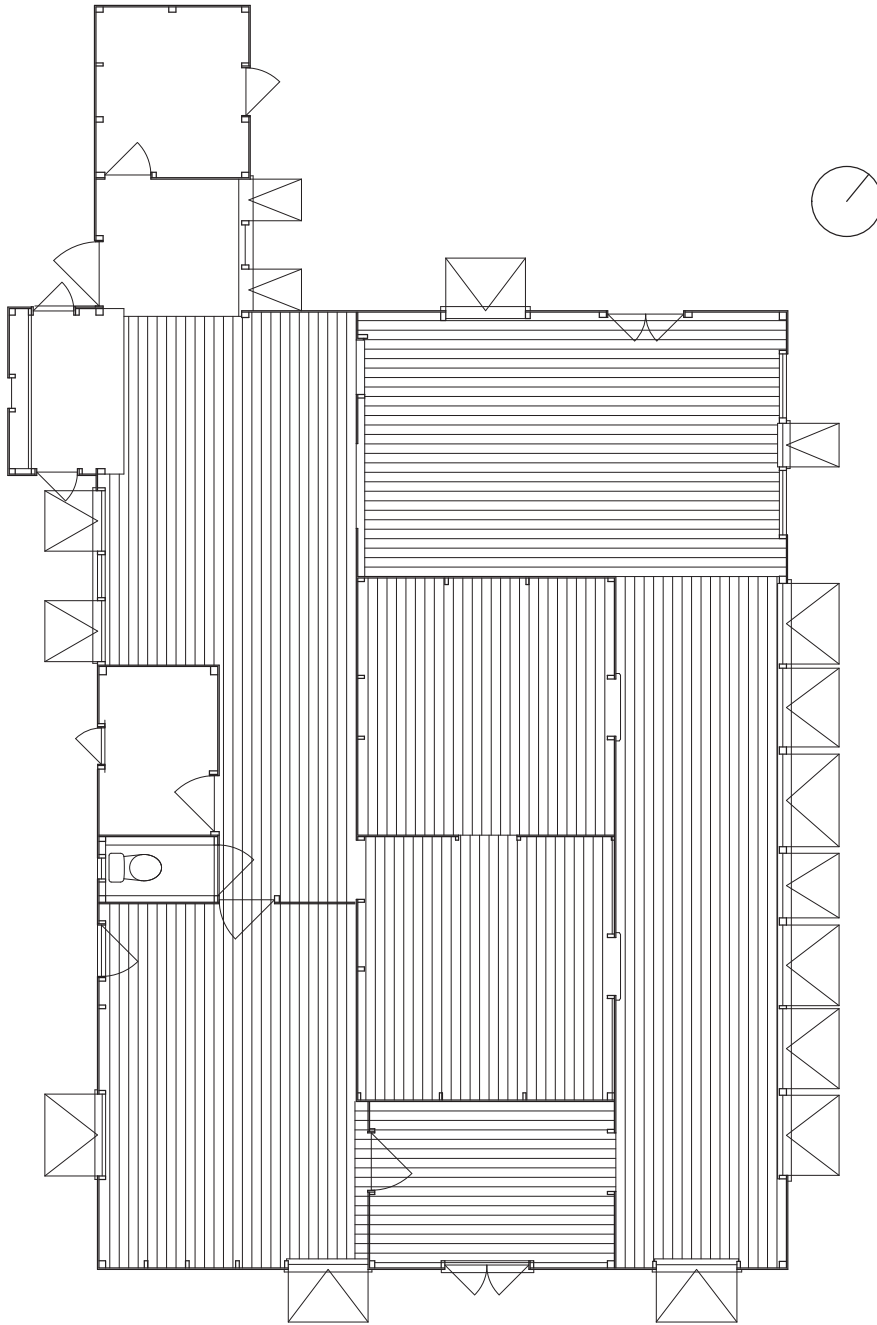
小屋組み



内観(2008年九州大学撮影)



外観(2008年九州大学撮影)



MS08

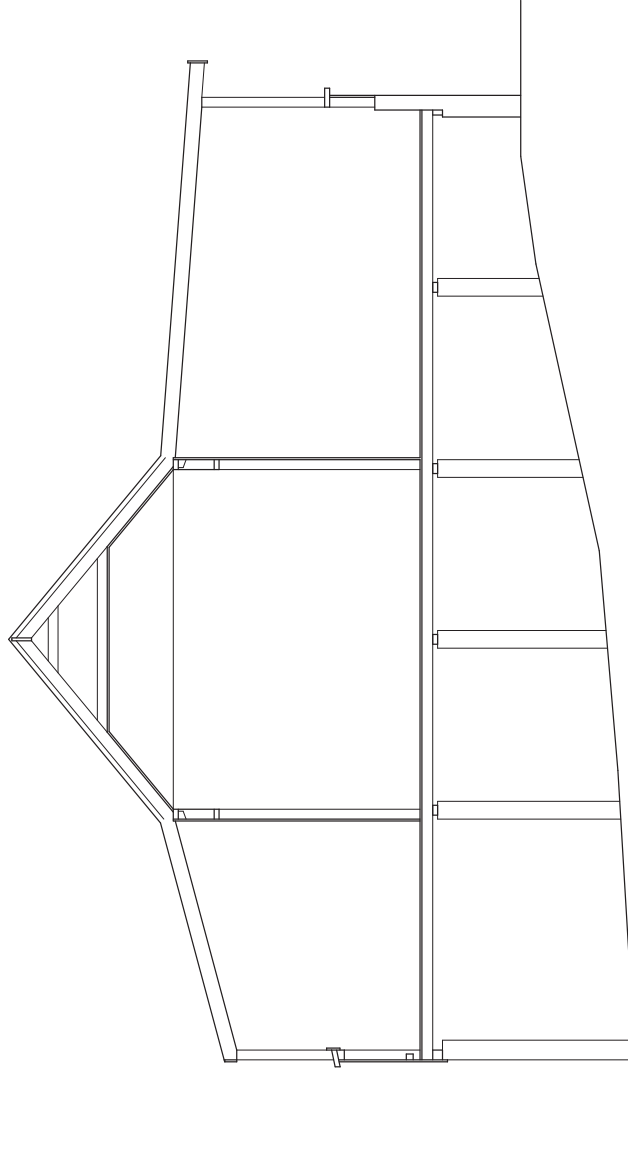
Mr. Stevens House  
Floor Plan

Date

May. 12. 2016

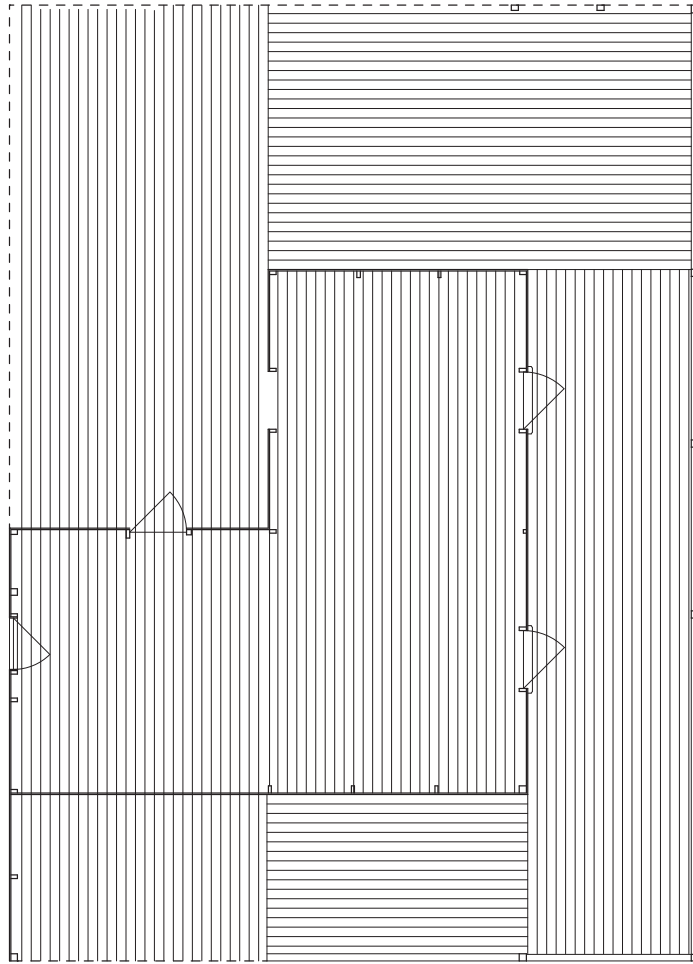
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

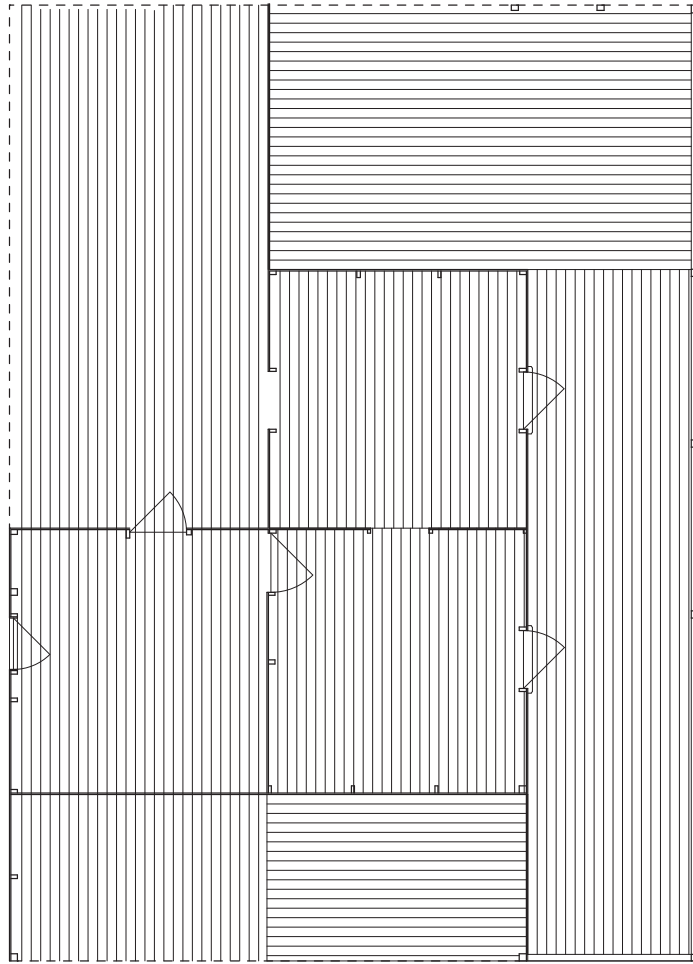


|      |                              |               |                               |
|------|------------------------------|---------------|-------------------------------|
| MS08 | Mr. Stevens House<br>Section | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      |                              | May. 12. 2016 | Kyushu UNIVERSITY             |





|      |                   |                               |
|------|-------------------|-------------------------------|
| MS08 | Mr. Stevens House | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | 1st Original Plan | Kyushu UNIVERSITY             |
|      | Date              |                               |
|      | May. 12. 2016     |                               |



|      |                   |               |                               |
|------|-------------------|---------------|-------------------------------|
| MS08 | Mr. Stevens House | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | 2nd Original Plan |               |                               |
|      |                   | May. 12. 2016 |                               |

ER-MS09

OKAMURA's HOUSE



リビング



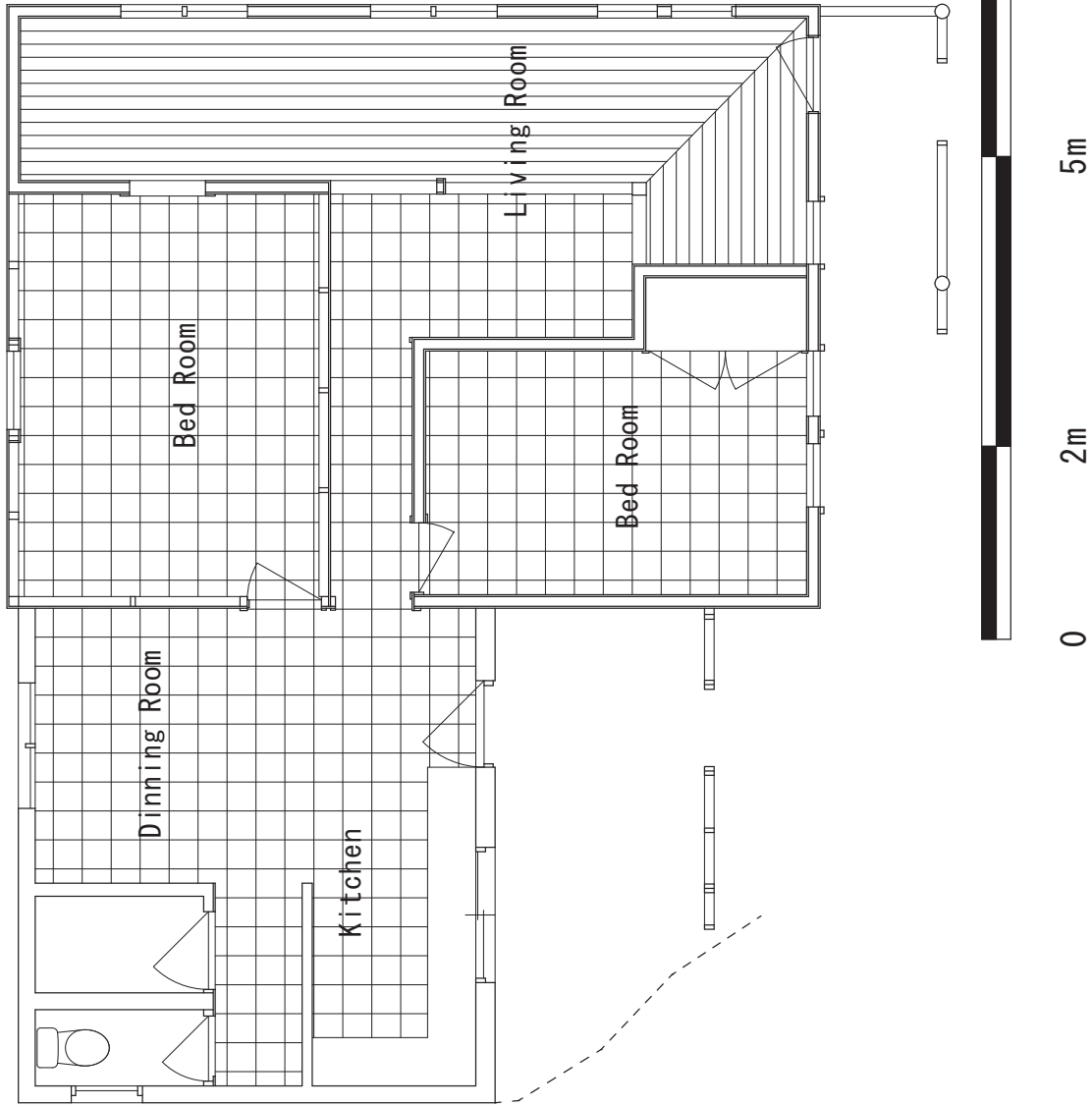
寝室



台所横の洗濯場



南側外観



MS09

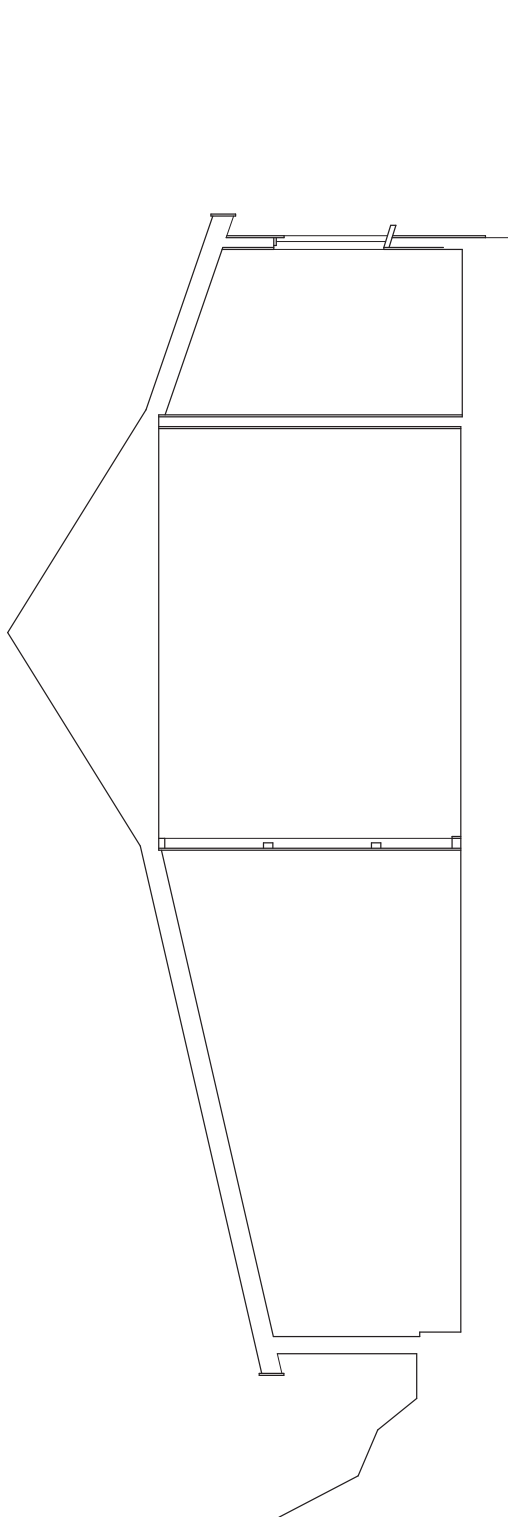
OKAMURA' s HOUSE

Floor Plan

Date

Aug. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



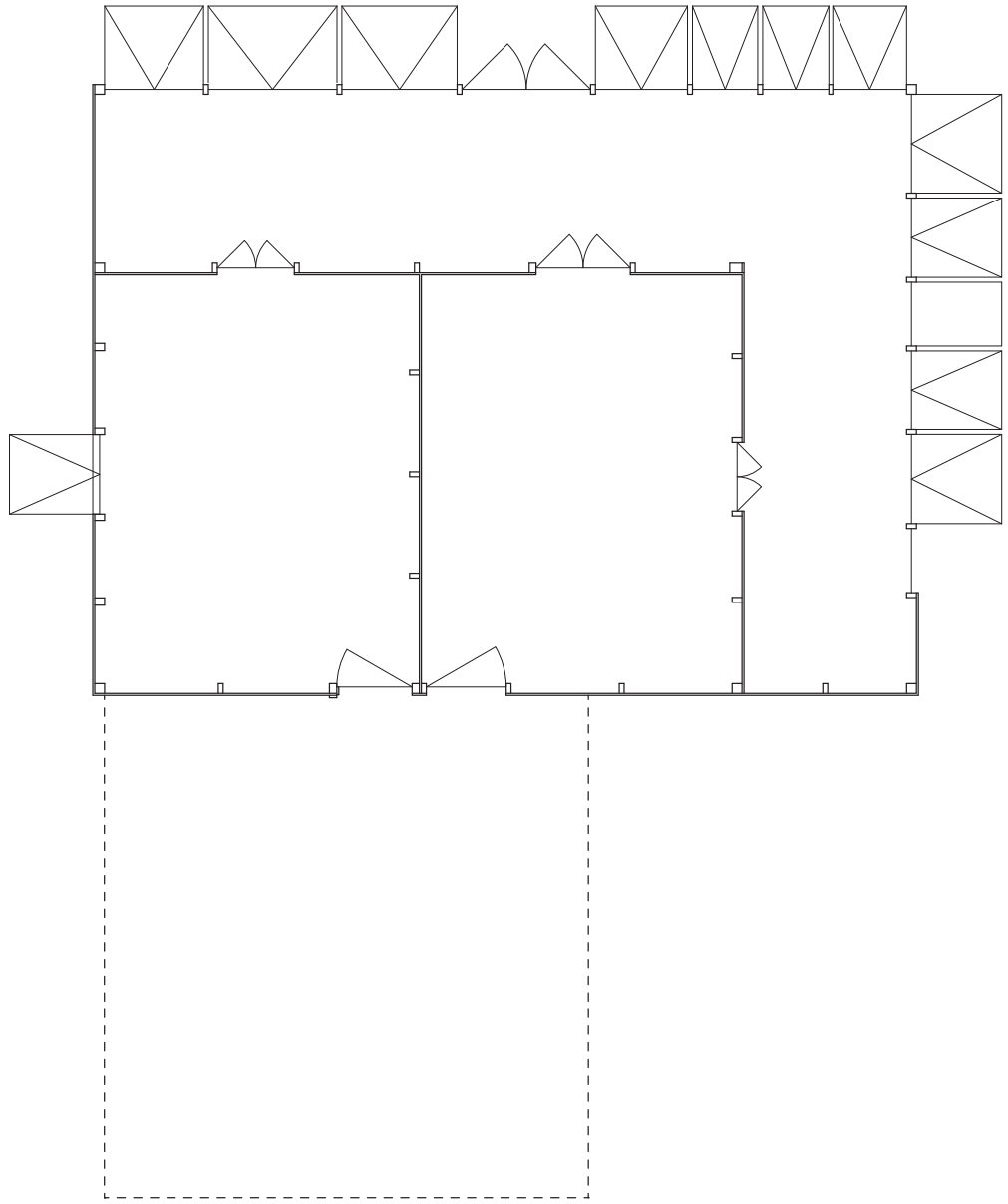
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 16. 2018

OKAMURA' s HOUSE

Section

MS09



MS09

OKAMURA' s HOUSE

Section

Date

Aug. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MS10

Mr. Ram



リビング



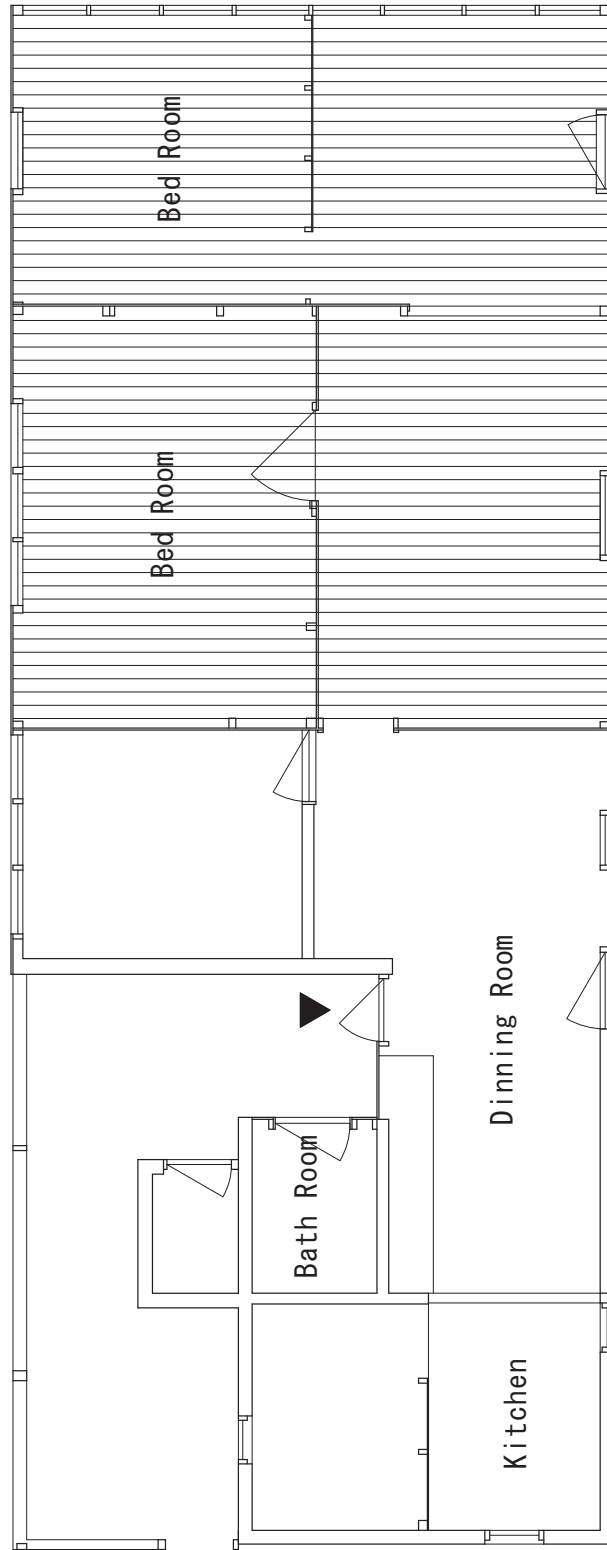
ベランダ窓



下屋の痕跡



台所



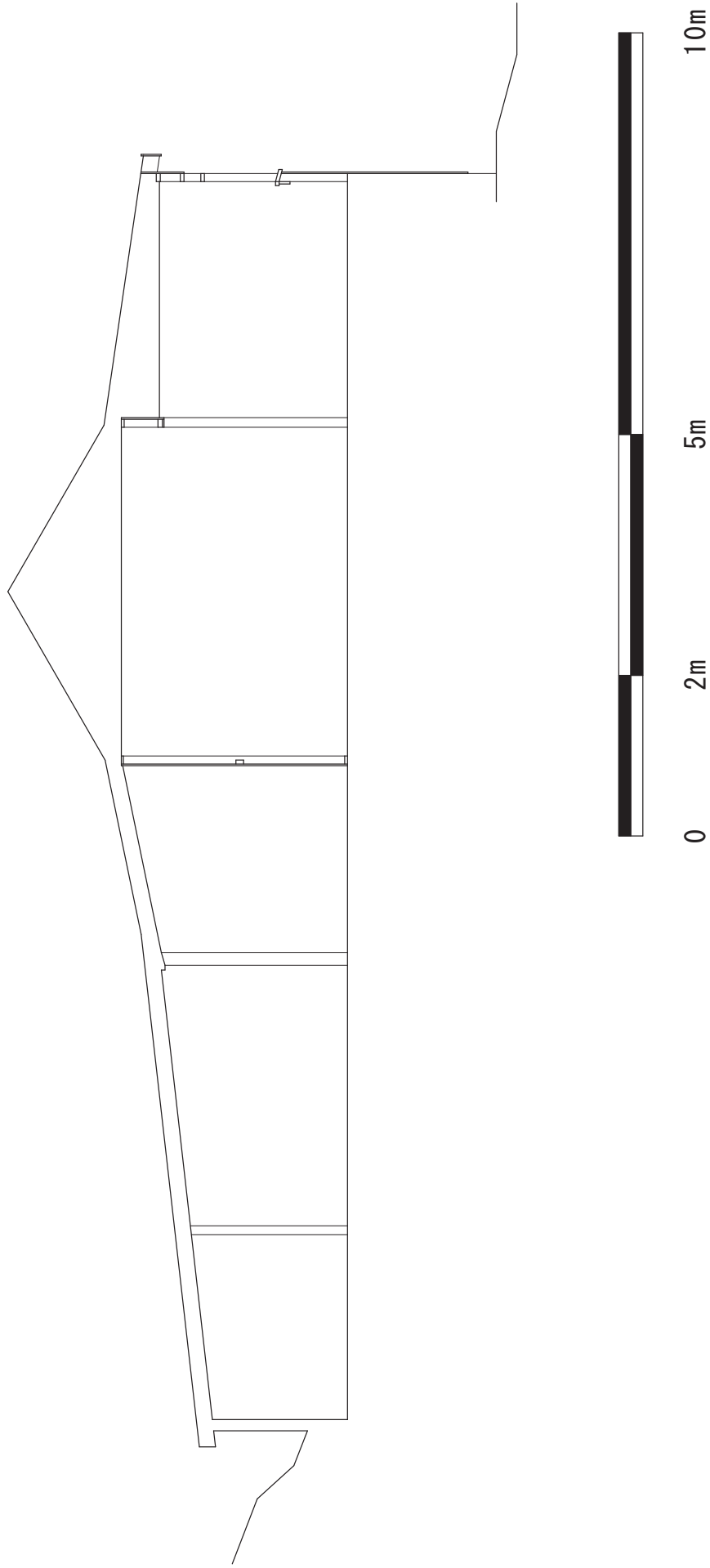
MS10

Mr. Ram  
Floor Plan

Date

Aug. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



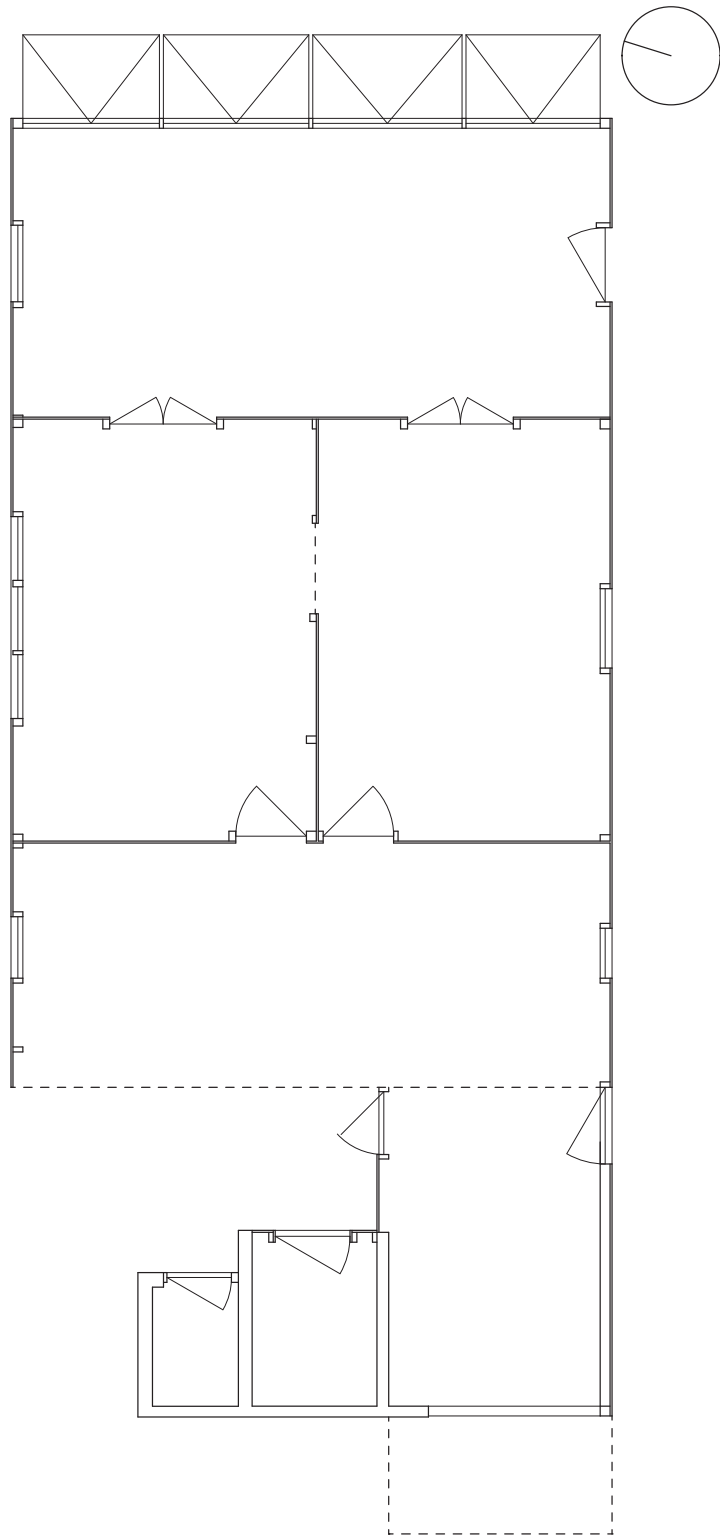
MS10

Mr. Ram  
Section

Date

Aug. 17. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

Aug. 17. 2018

Mr. Ram

Original Plan

MS10



ER:MS11

Lomalagi Government Quarters



北側外観



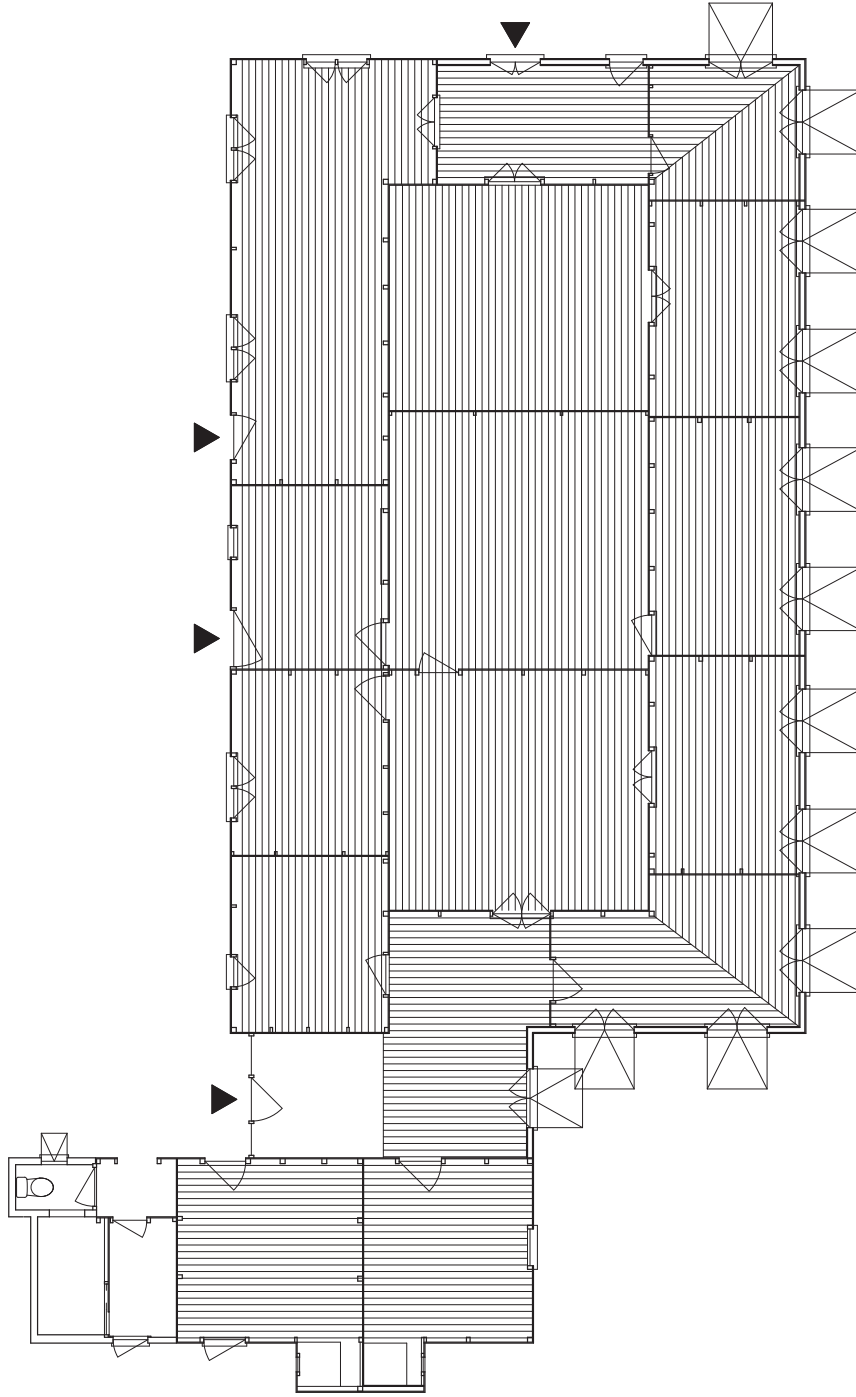
室内内観



こけら葺



小屋組み



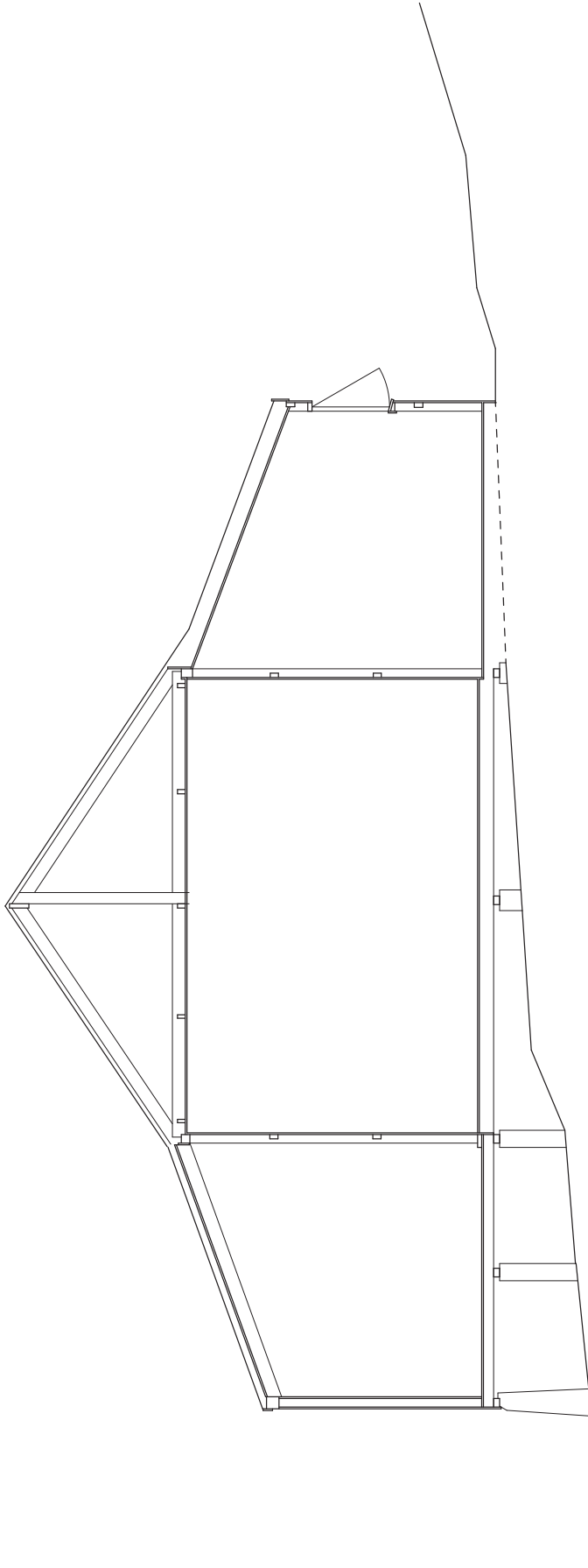
MS11

Lomalagi Government Quarters  
Floor Plan

Date  
May. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE  
Kyushu UNIVERSITY





MS11

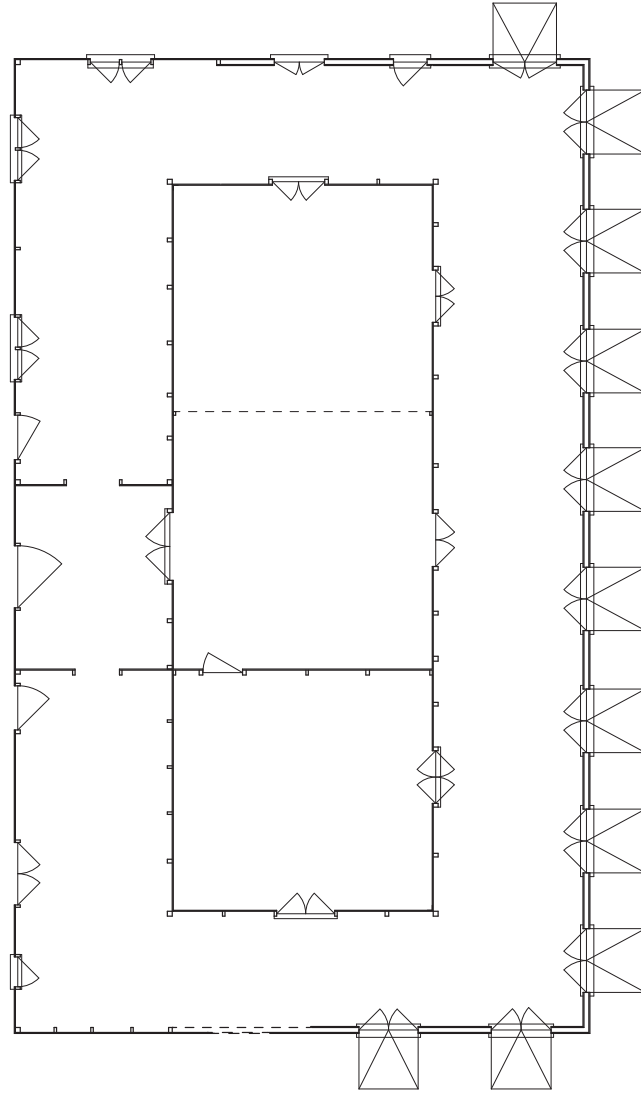
Lomalagi Government Quarters  
Section

Date

May. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

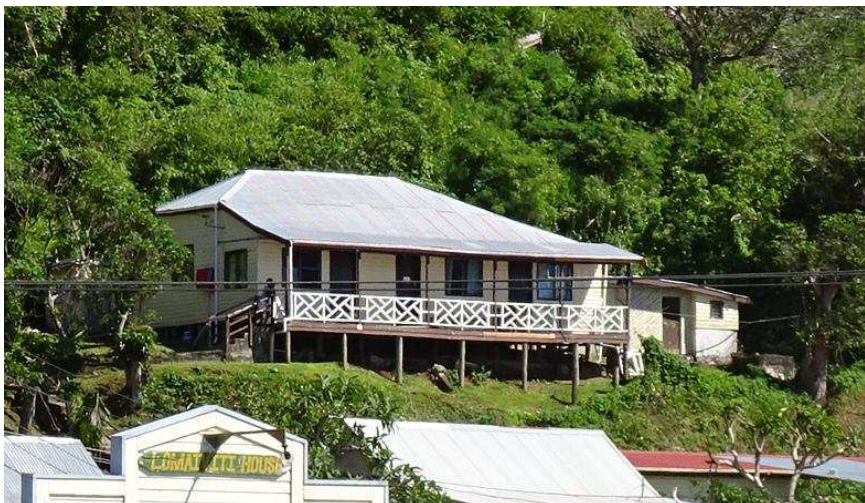


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE  
Kyushu UNIVERSITY

Date  
May. 12. 2016

**Lomalagi Government Quarters**  
Original Plan

MS11



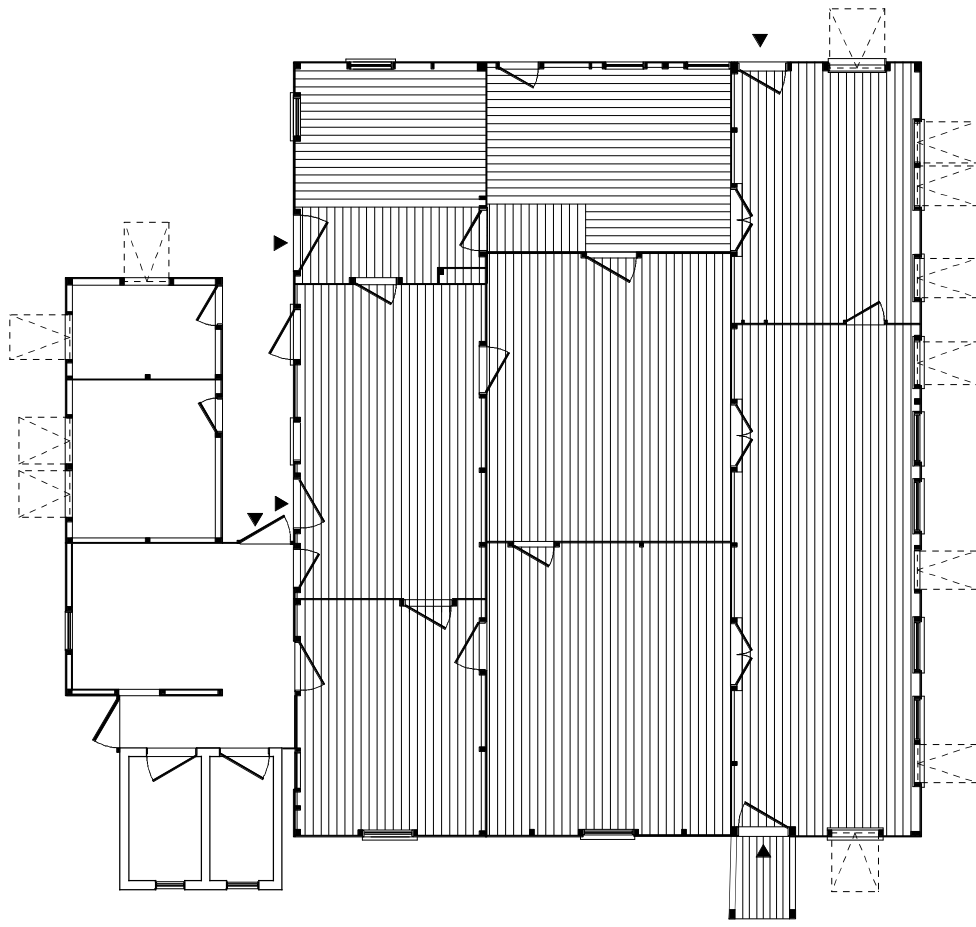
内観(2008年九州大学撮影)



内観(2008年九州大学撮影)

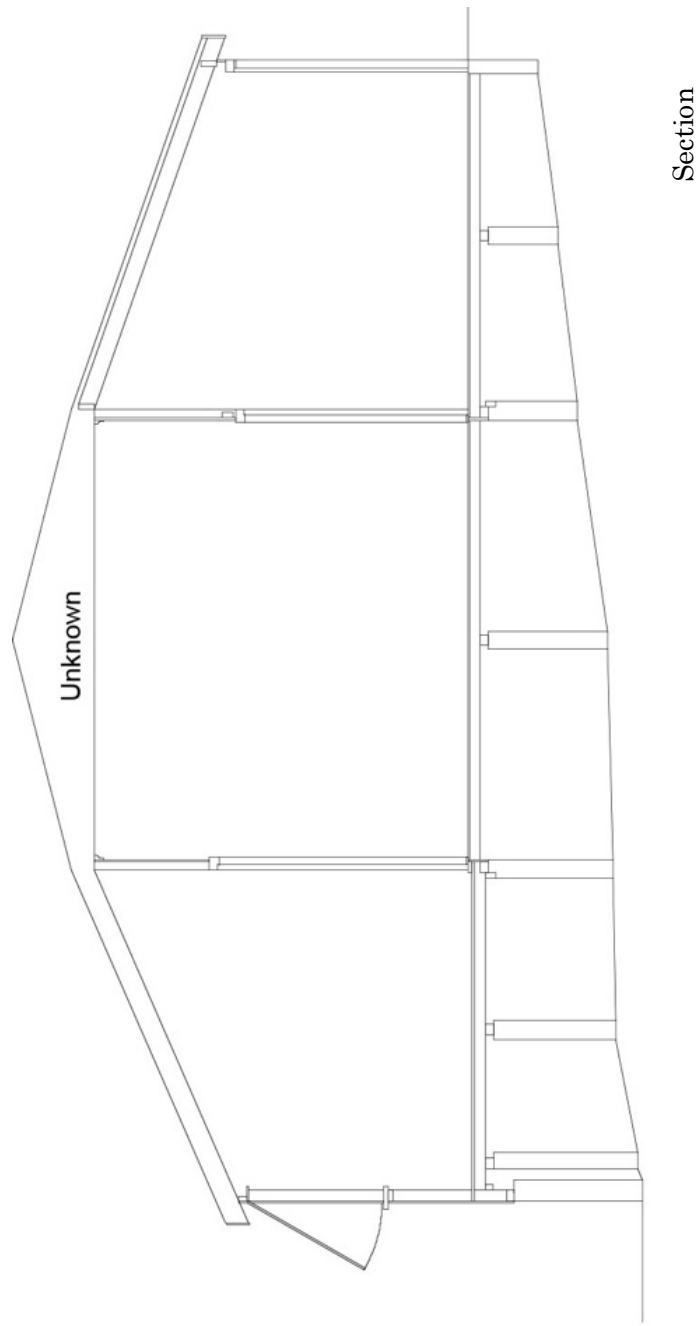


北側外観(2008年九州大学撮影)

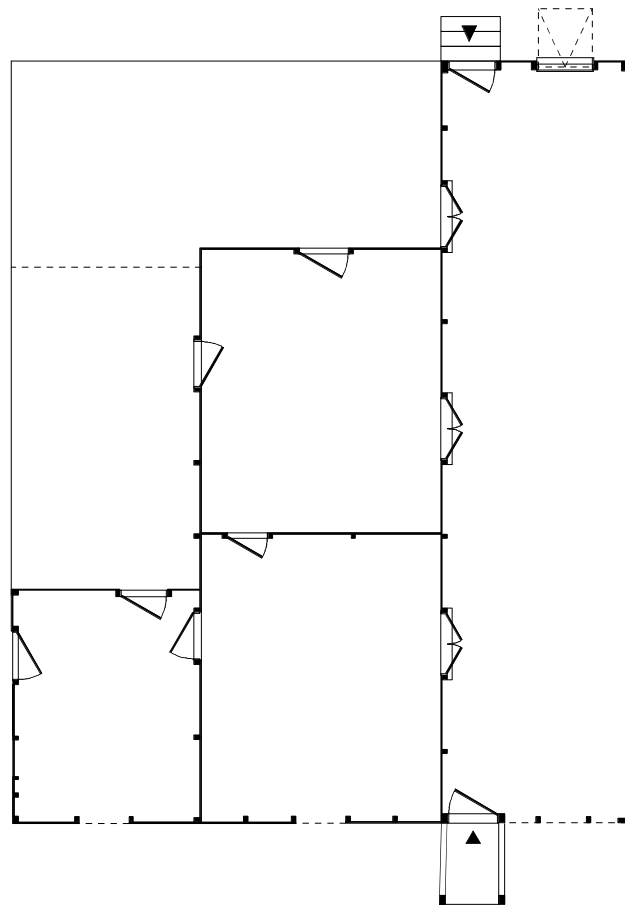


Floor Plan

Mr. Narai's Property 図面作製：九州大学



Mr. Narai's Property 図面作製：九州大学



Original Plan



ER:MS13

SHIU NARAYAN



南側外観



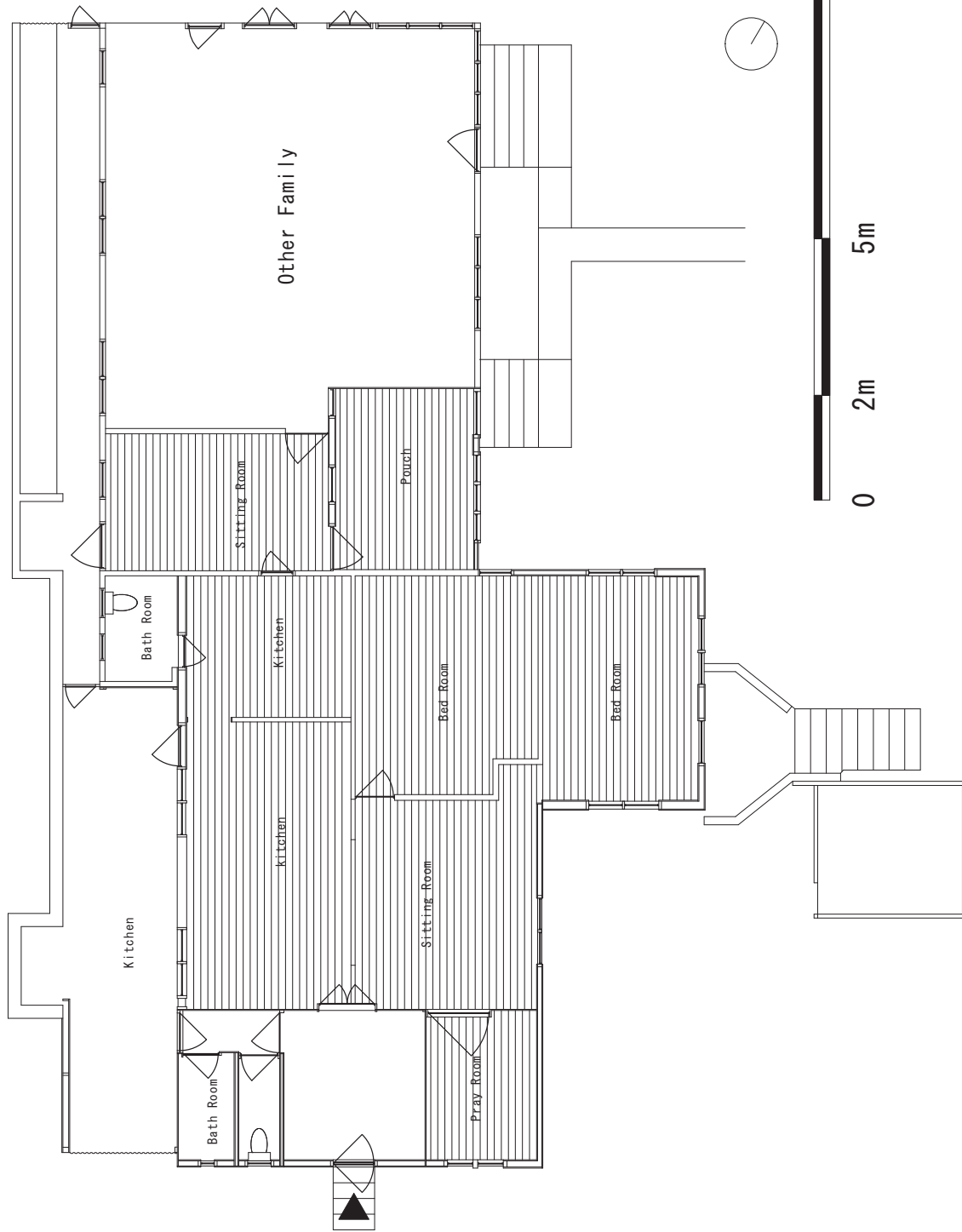
寝室内観

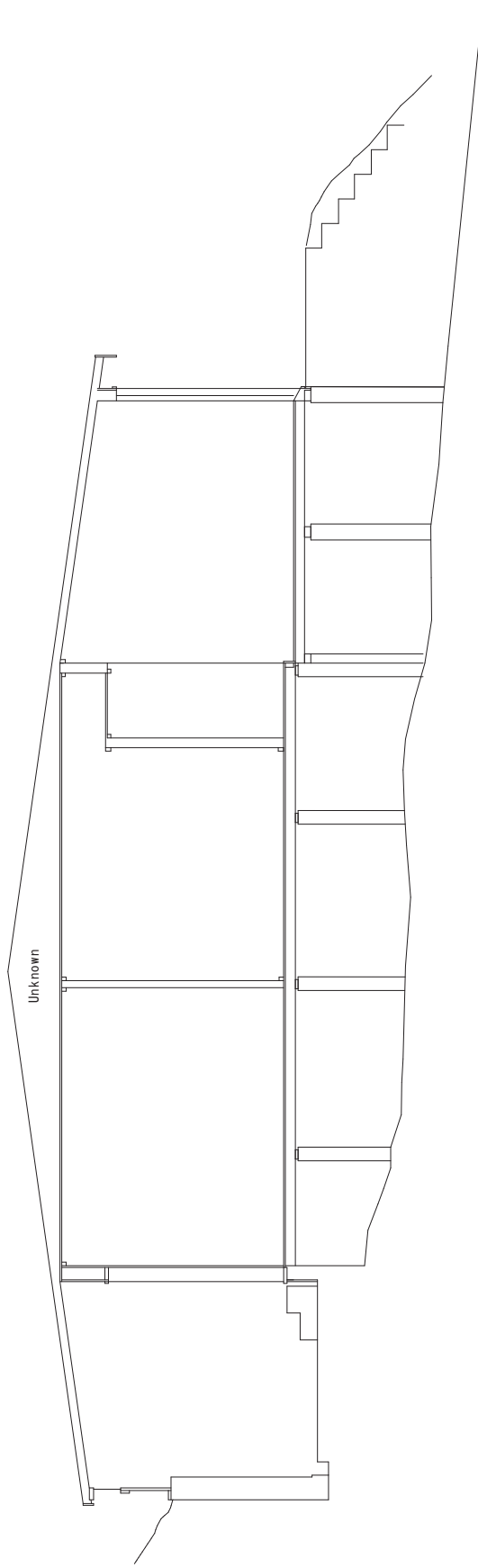


リビング内観



後方台所





0 2m 5m 10m

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

Jun. 29. 2017

SHIU NARAYAN

Section

MS13



ER::MS14

Majorie Sahai



ベランダ内観



東側外観

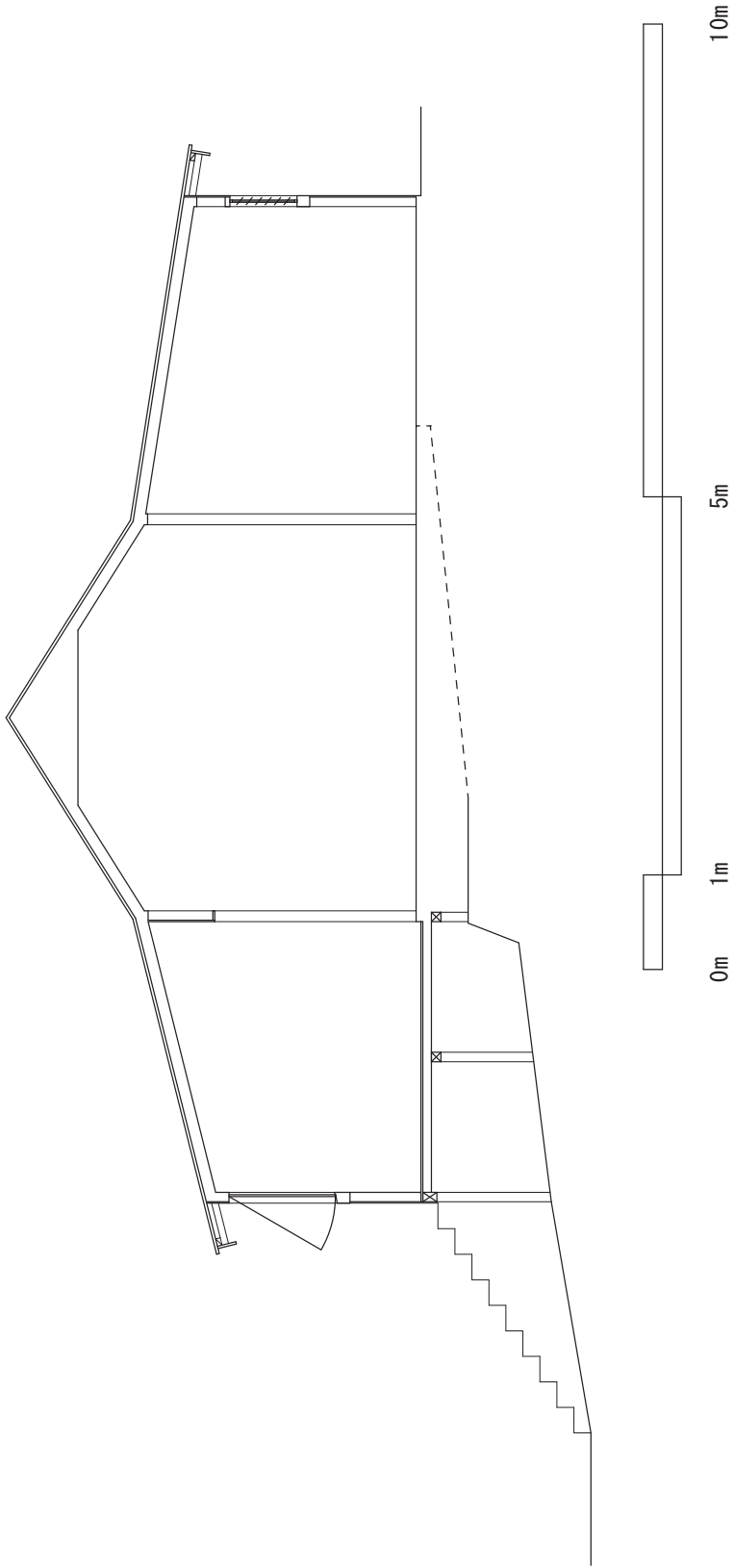


寝室内観



北側付属屋

|  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p>The floor plan shows a rectangular building with a central hallway. On the left side, there are three bedrooms and a veranda. The top-left corner contains a bathroom (WC) and a store room (SR). The top-right section includes a kitchen and another bedroom. A TV room is located in the center. A veranda runs along the bottom edge. A staircase is shown on the right side. A scale bar indicates dimensions of 0m, 1m, 5m, and 10m. A north arrow is also present.</p> | <p><b>MS14</b></p> <p><b>Majorie Sahai</b><br/>Floor Plan</p> <p>Date<br/>Aug. 11. 2016</p> <p>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</p> |
|--|--|--|



MS14

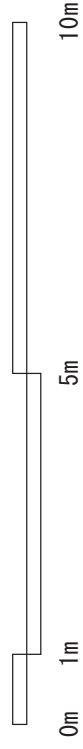
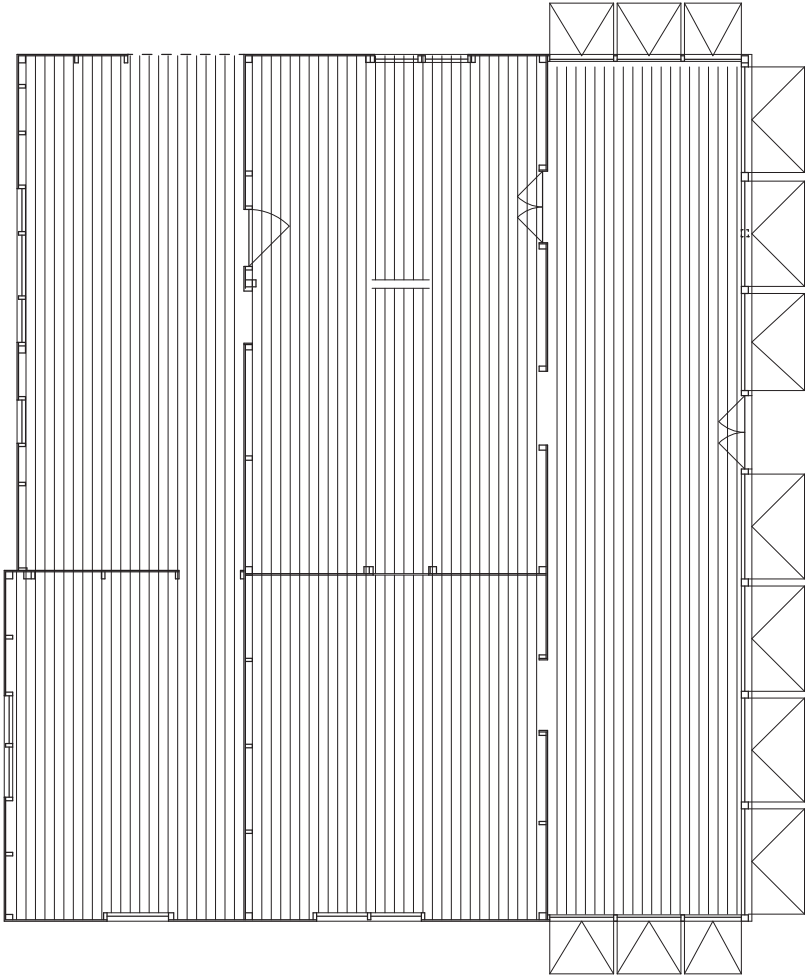
Major ie Sahai  
Section

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





MS14

**Major ie Sahai**  
Original Plan

Date  
Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MS15

1972



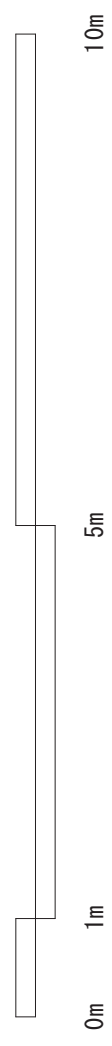
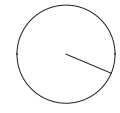
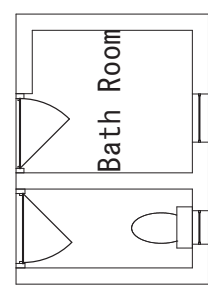
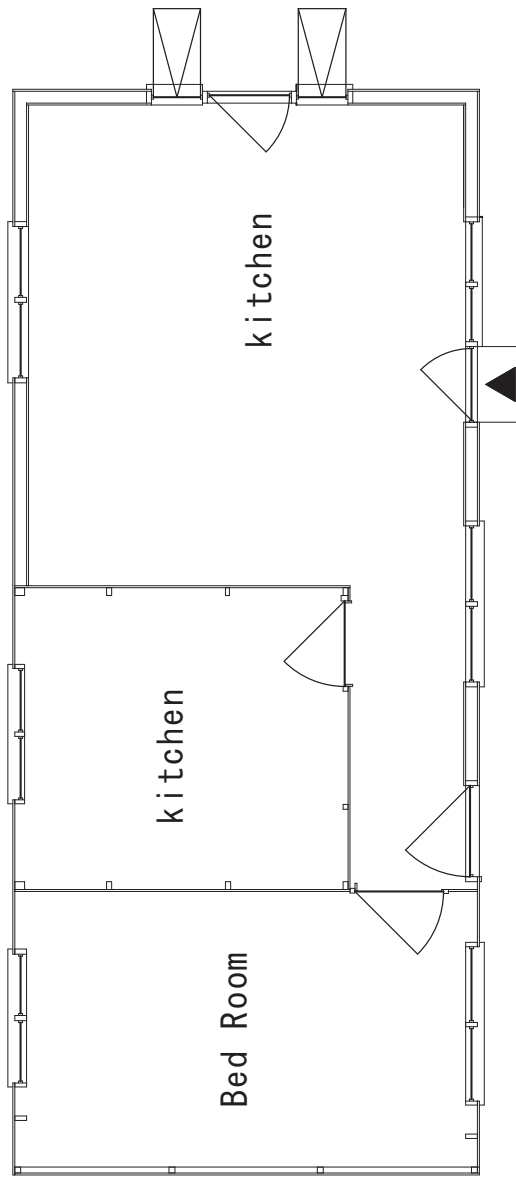
内観



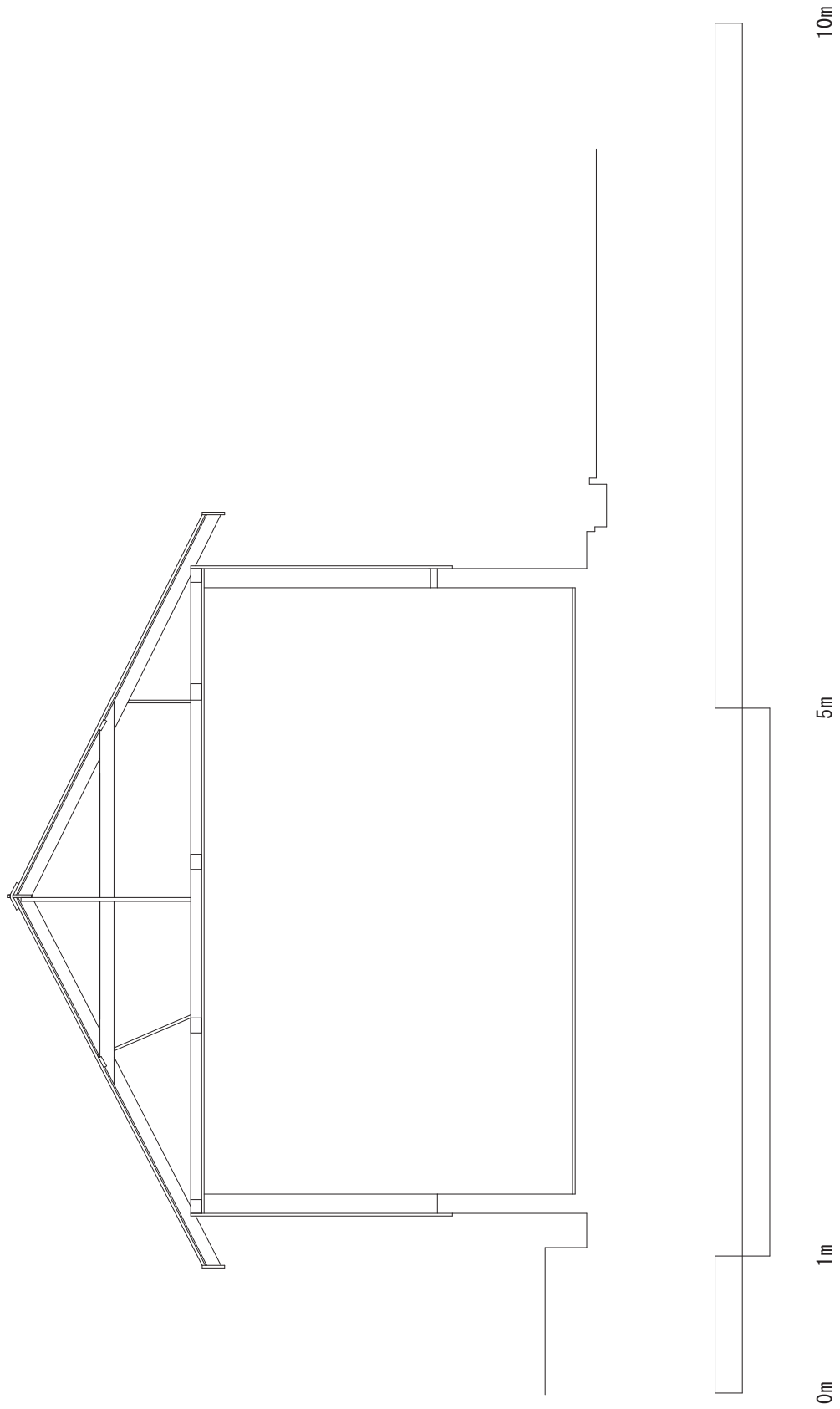
室内内観



小屋組み



|      |            |      |                               |
|------|------------|------|-------------------------------|
| MS15 | 1972年      | Date | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Floor Plan |      |                               |



|      |         |               |                               |
|------|---------|---------------|-------------------------------|
| MS15 | 1972年   | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Section | Jun. 29. 2017 |                               |



ER:MS16

RAM KRISHNA



リビング内観



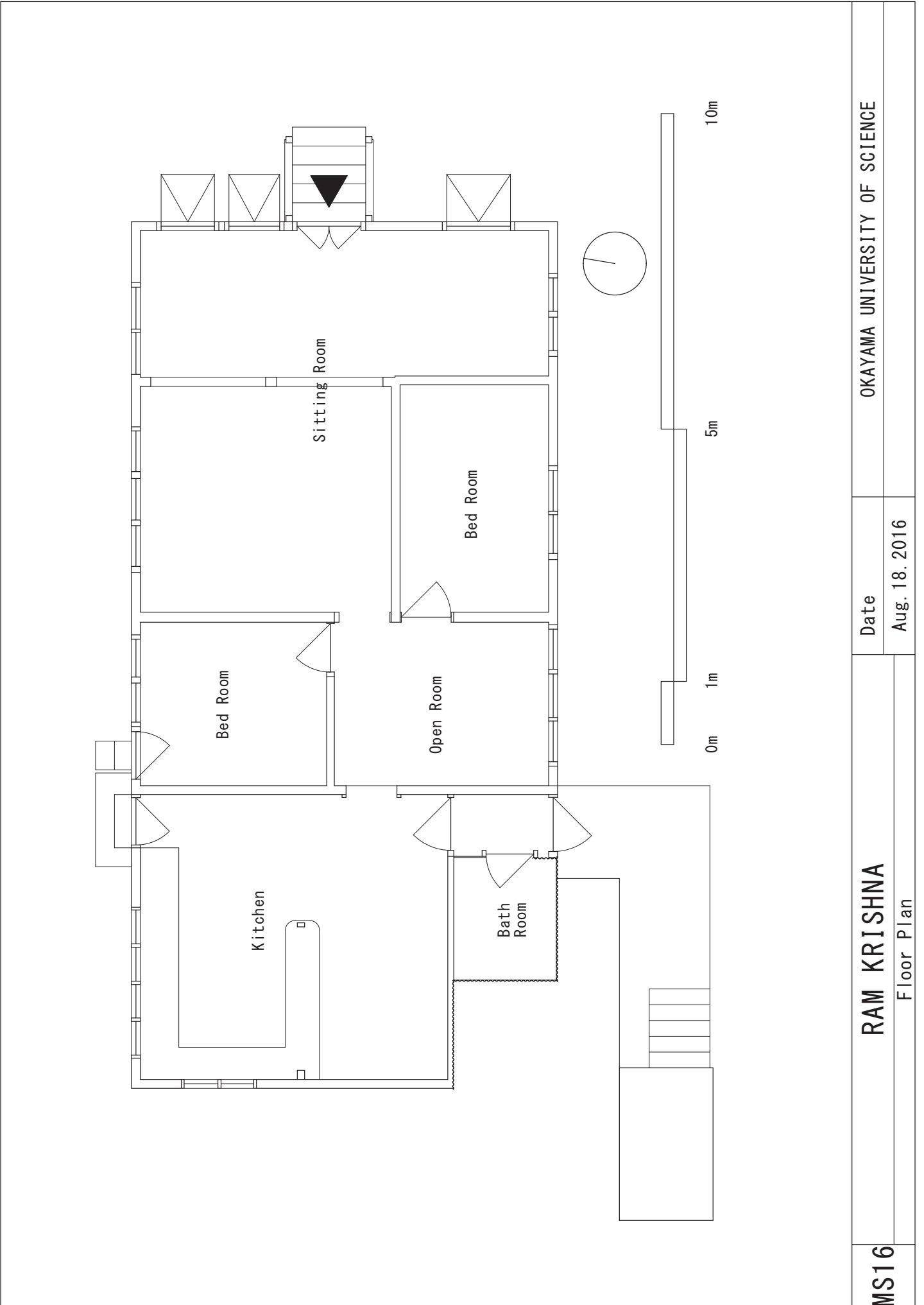
台所内観



北側外観



西側外観



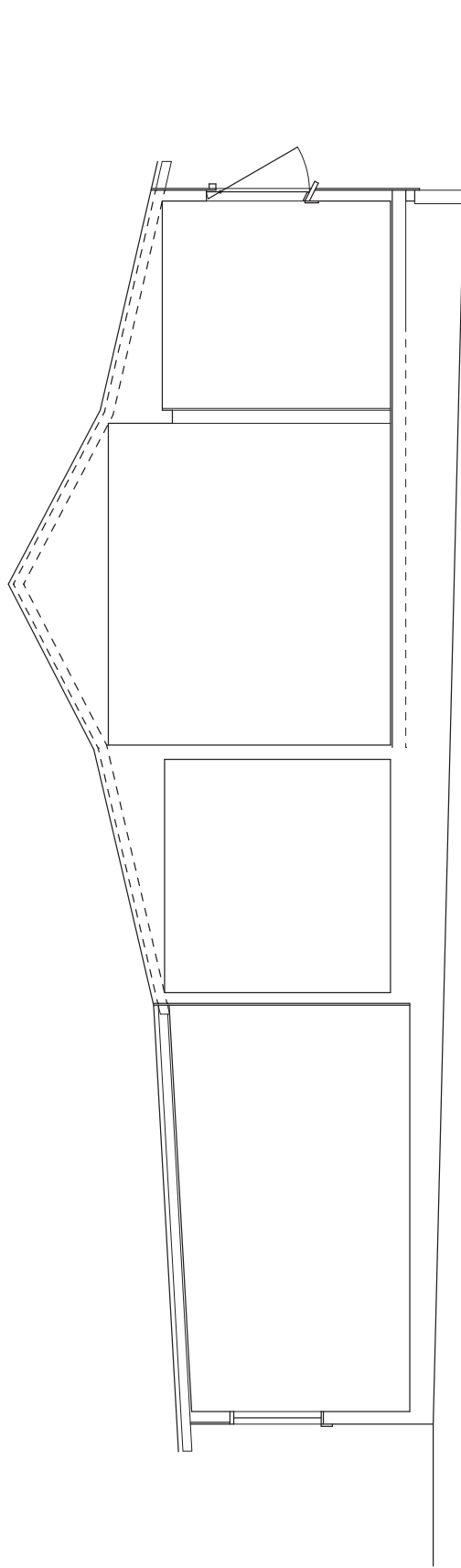
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 18. 2016

**RAM KRISHNA**  
Floor Plan

**MS16**





MS16

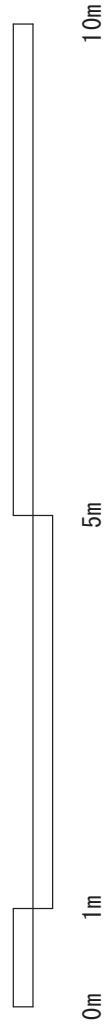
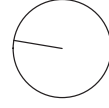
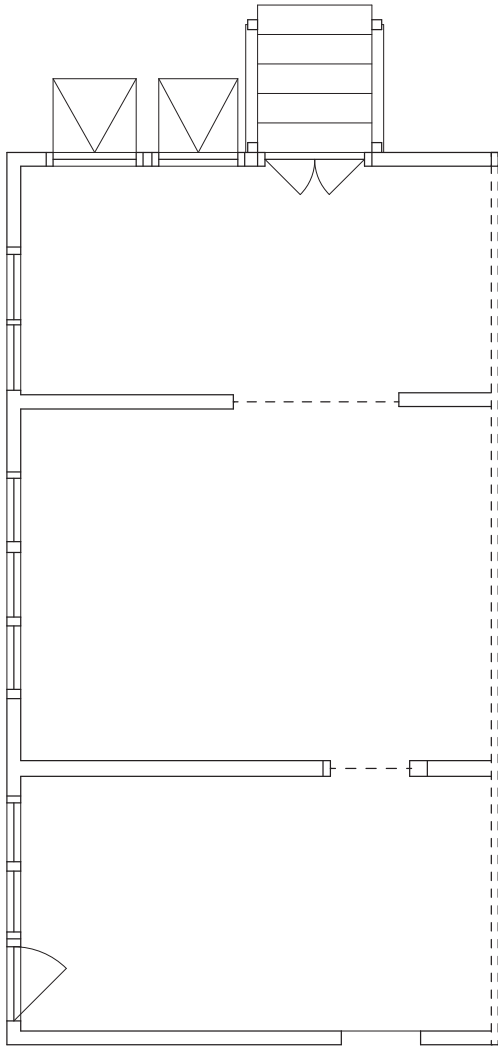
RAM KRISHNA

Section

Date

Aug. 18. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS16

RAM KRISHNA  
Original Plan

Date

Aug. 18. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-MS17

Ilisoni Serukalou



ベランダ



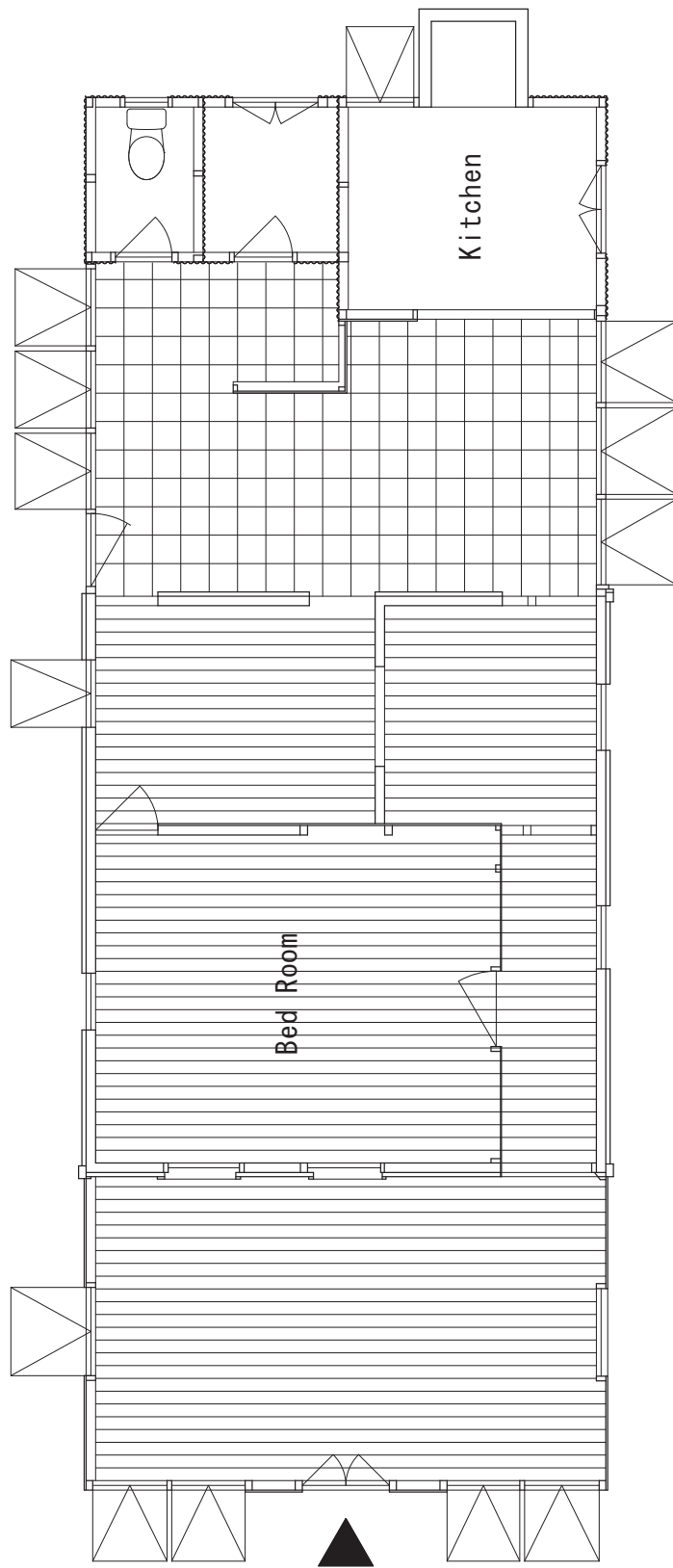
ベランダ



小屋組



台所



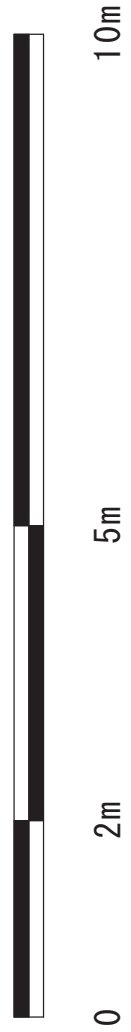
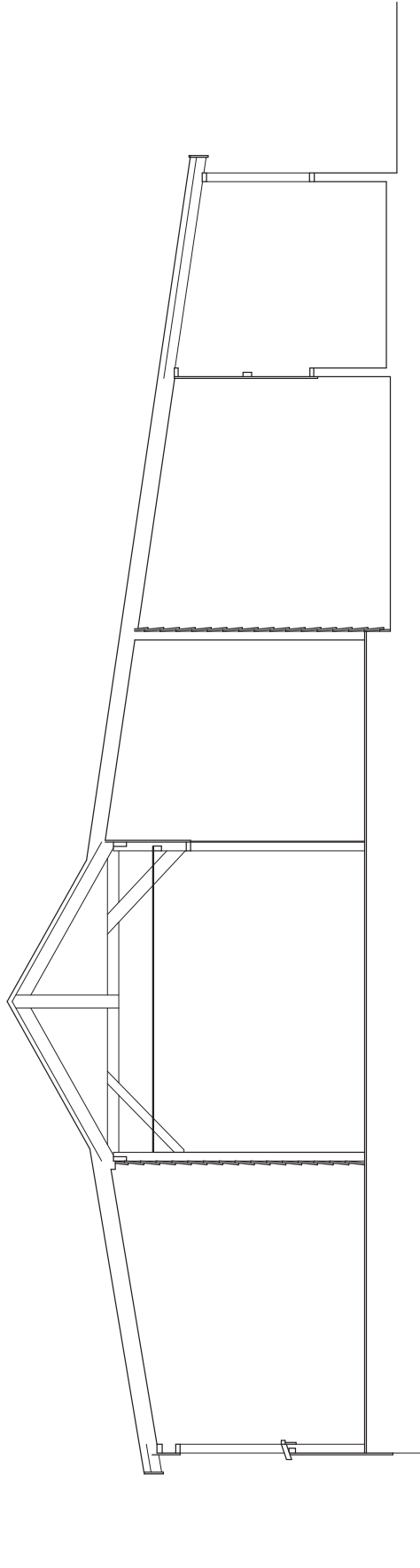
MS17

Ilisoni Serukalou  
Floor Plan

Date

Aug. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS17

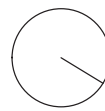
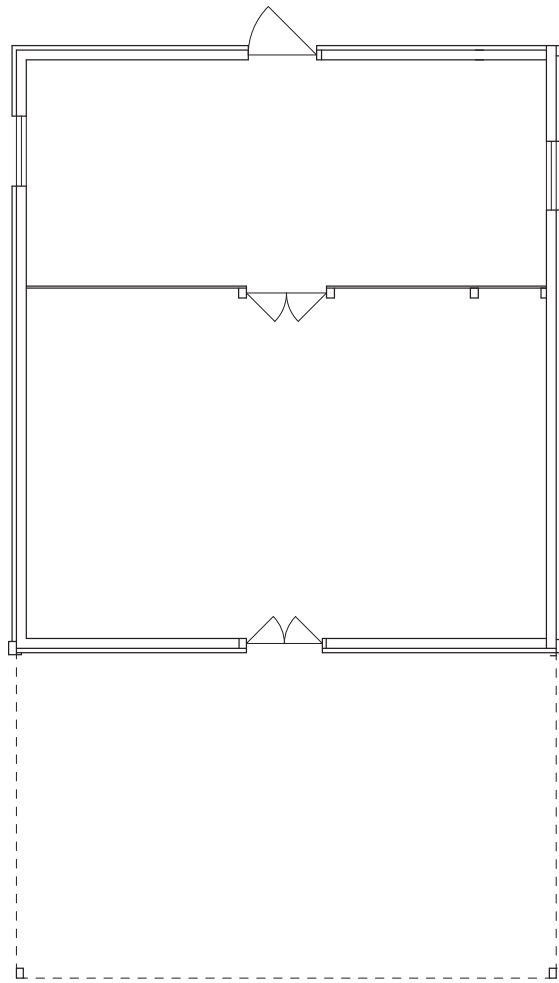
I l i s o n i S e r u k a l o u

Section

Date

Aug. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



0 2m 5m 10m

MS17

**I l i s o n i S e r u k a l o u**

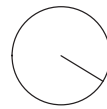
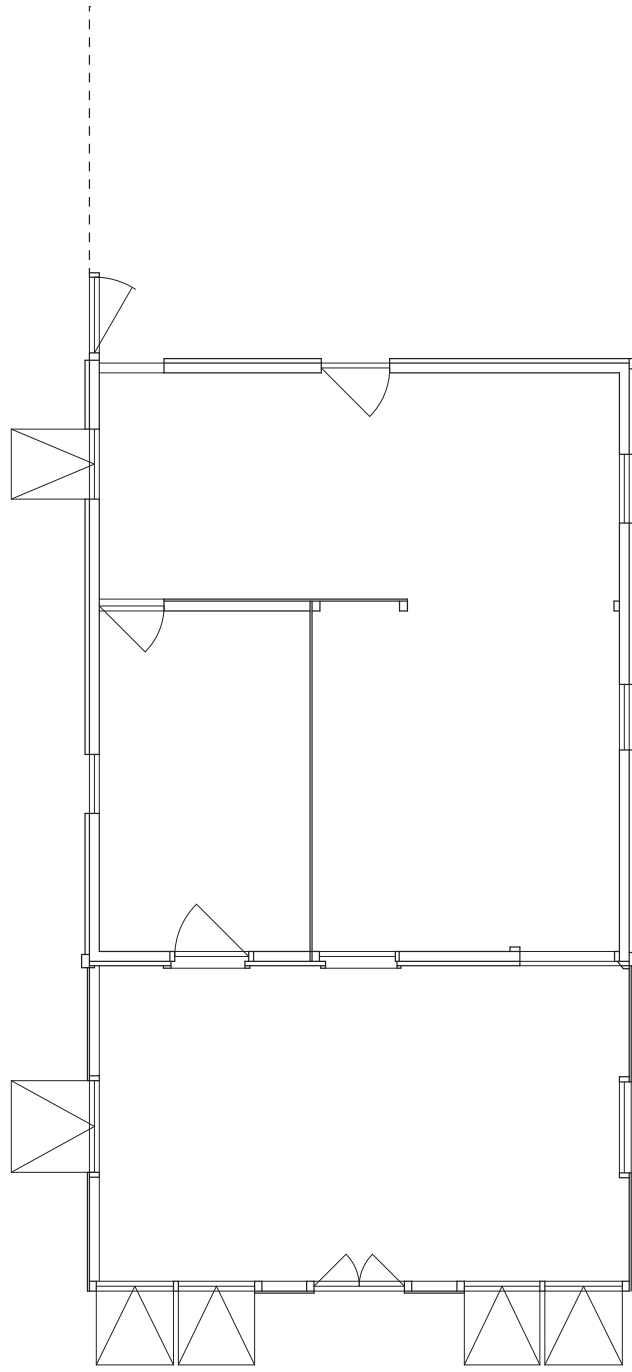
1st Original Plan

Date

Aug. 16. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





0 2m 5m 10m

MS17

**I l i s o n i S e r u k a l o u**  
2nd Original Plan

Date

Aug. 16. 2018

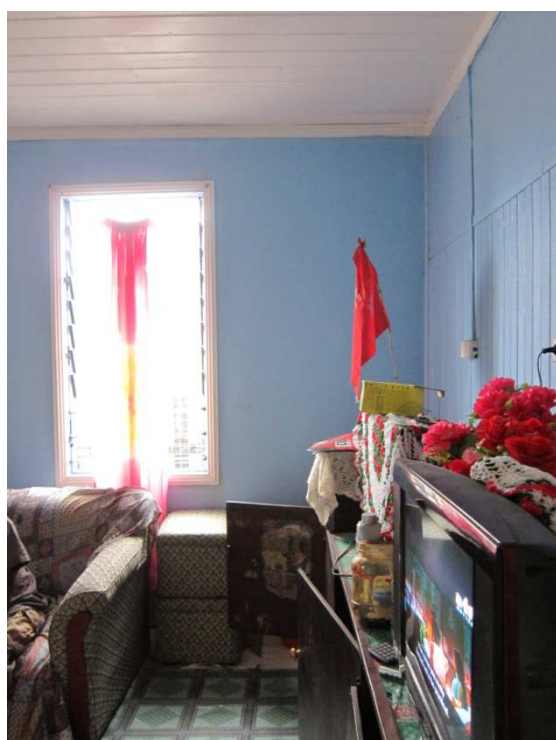
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MS18

Former General Store / Narayan Homestead



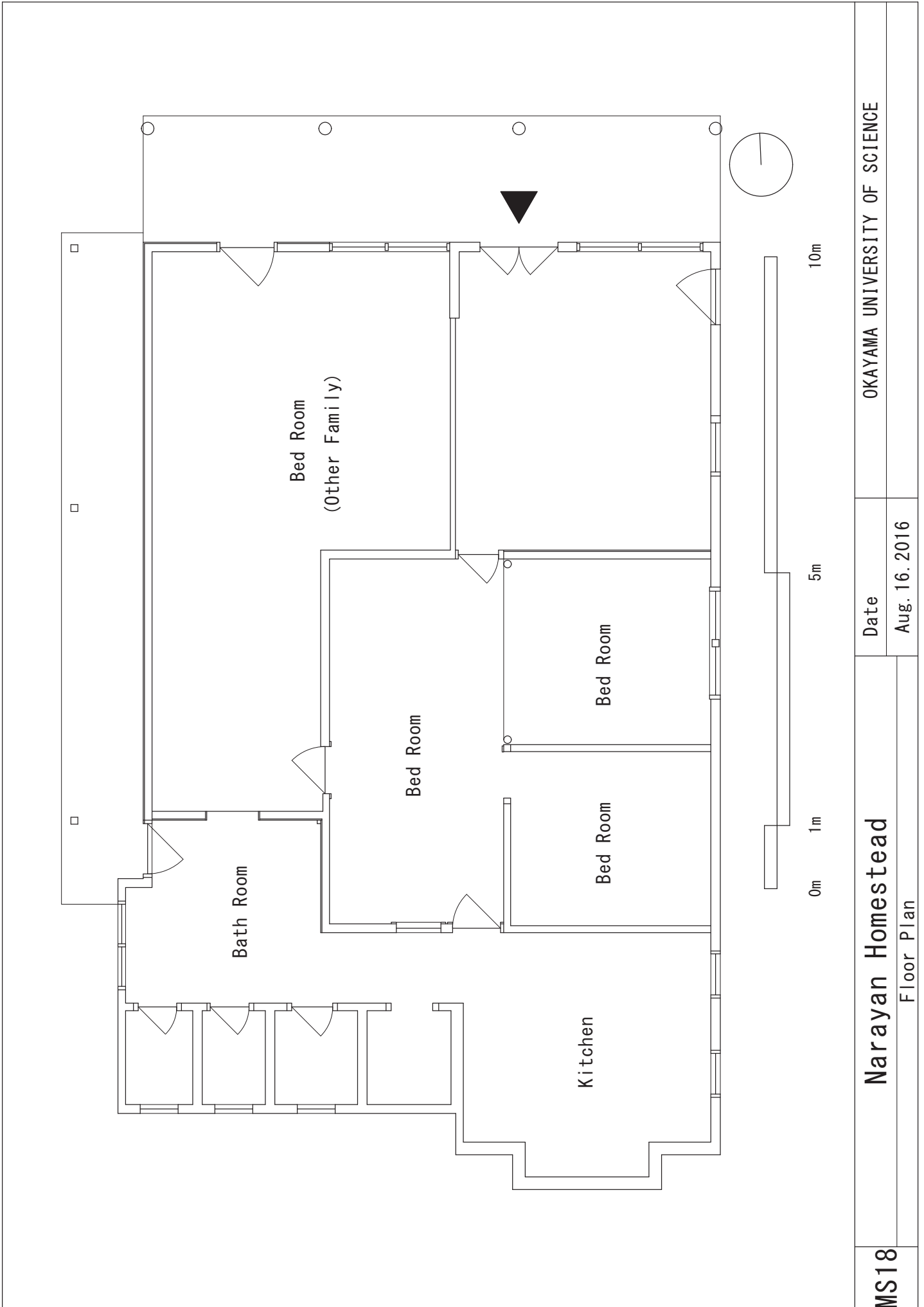
リビング内観



リビング内観



北側外観



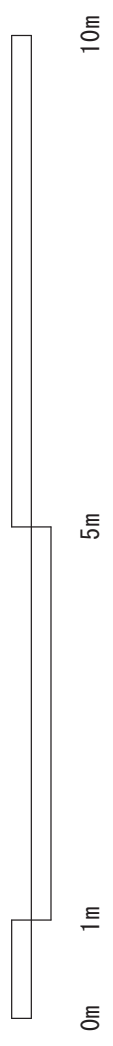
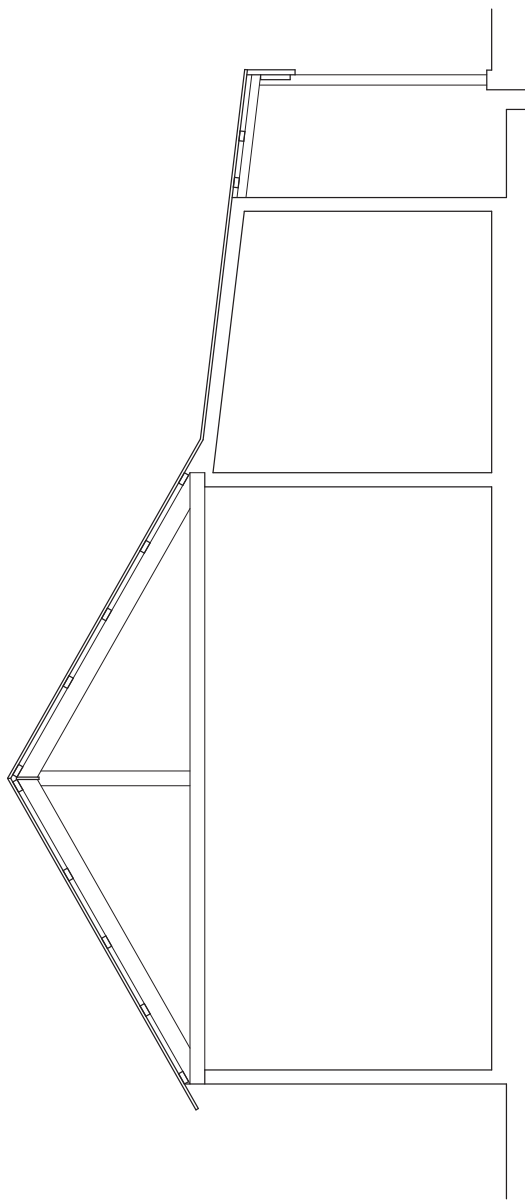
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 16. 2016

Narayan Homestead

Floor Plan

MS18



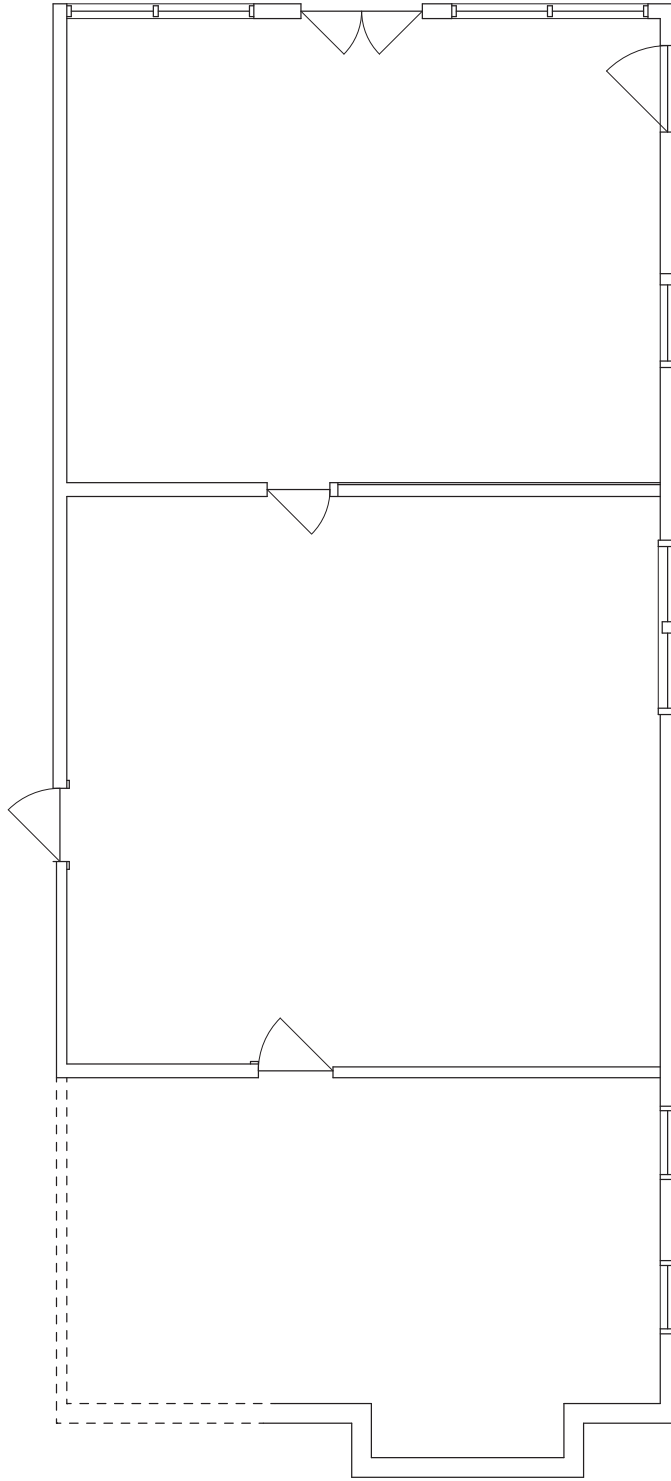
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 16. 2016

Narayan Homestead

Section

MS18



MS18

Narayan Homestead  
Original Plan

Date

Aug. 16. 2016

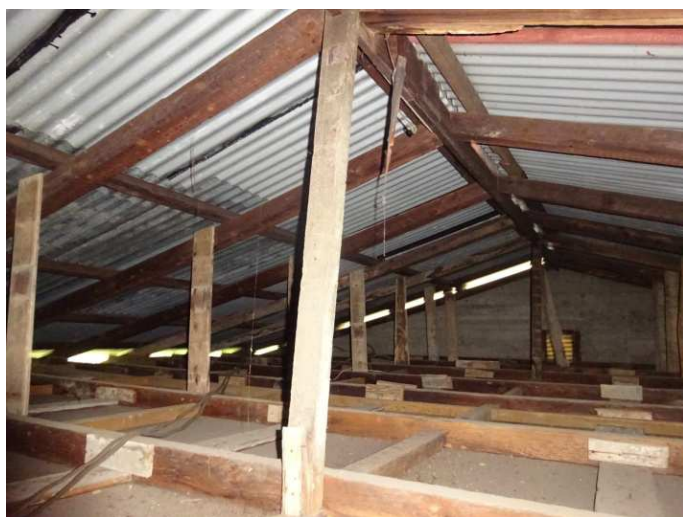
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MS19

Annie Taylor



リビング内観



小屋組み

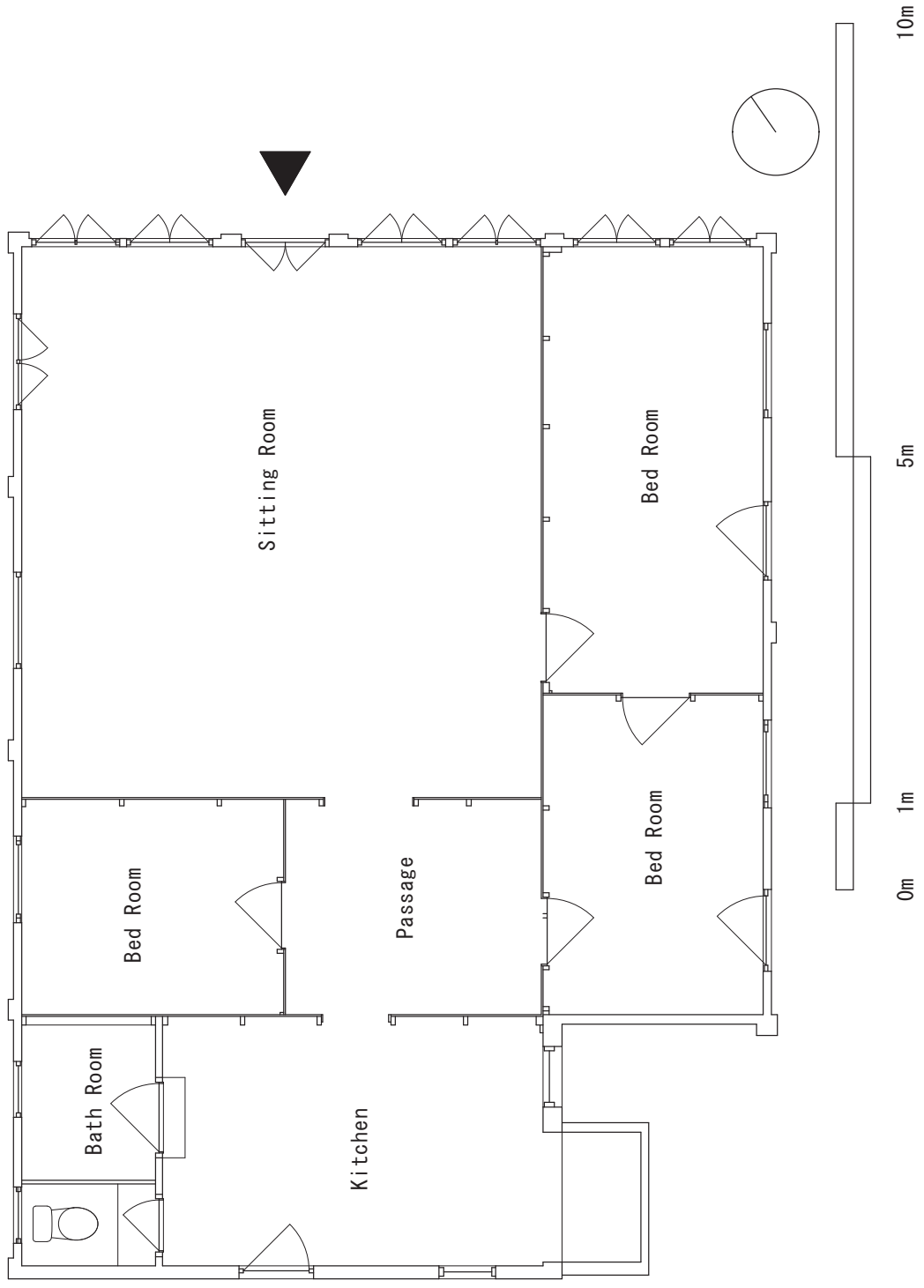


寝室内観



台所外観





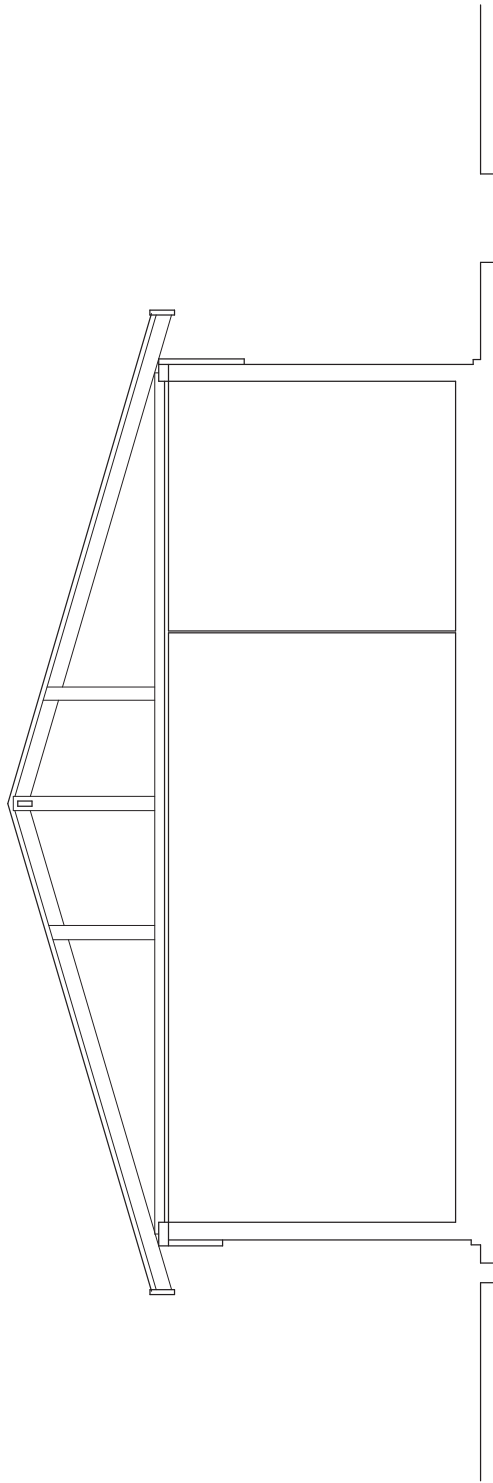
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 16. 2016

Annie Taylor

Floor Plan

MS19



**MS19**

**Annie Taylor**

Section

Date

Aug. 16. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MS20

Marist Convent Complex



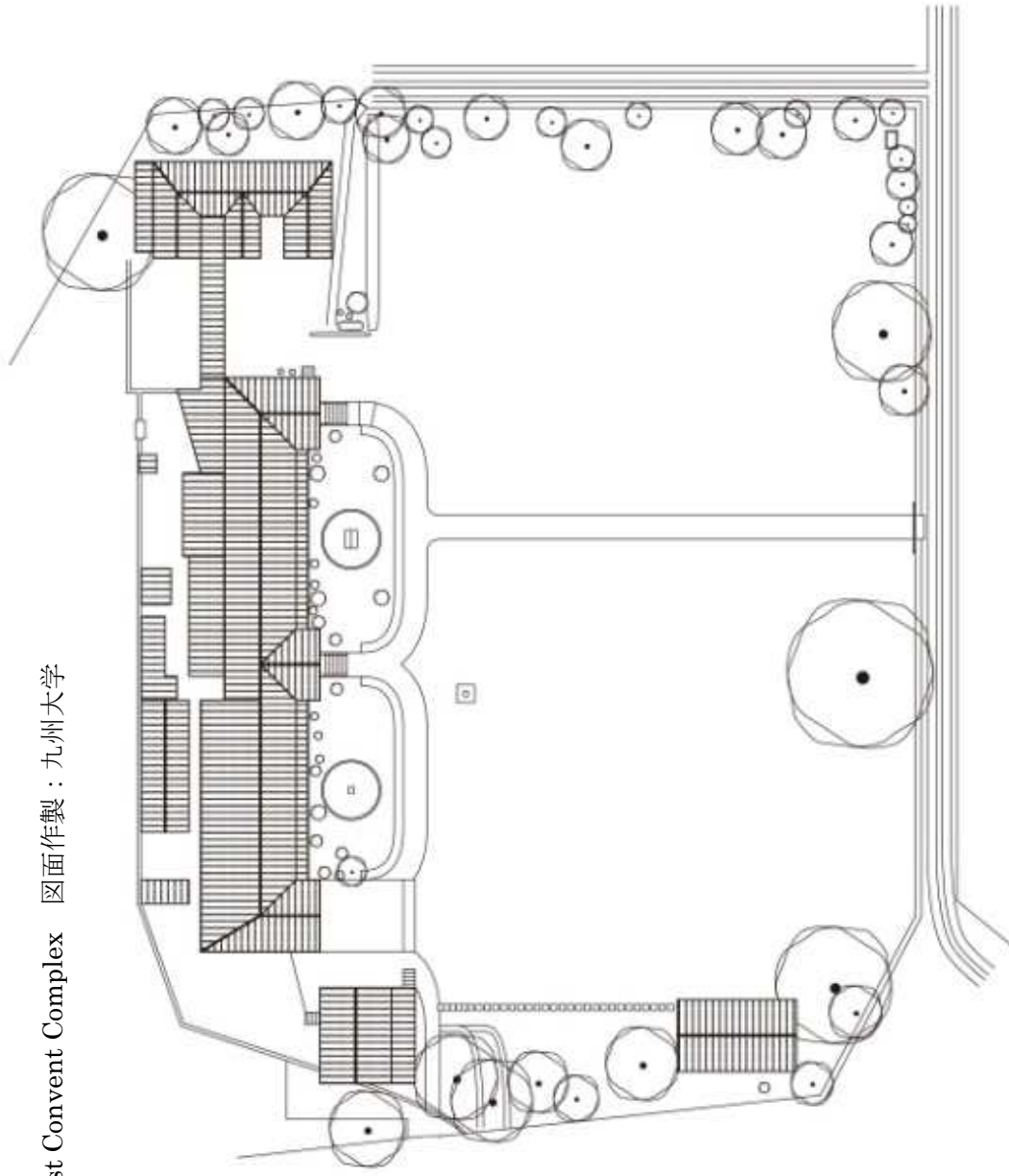
内観



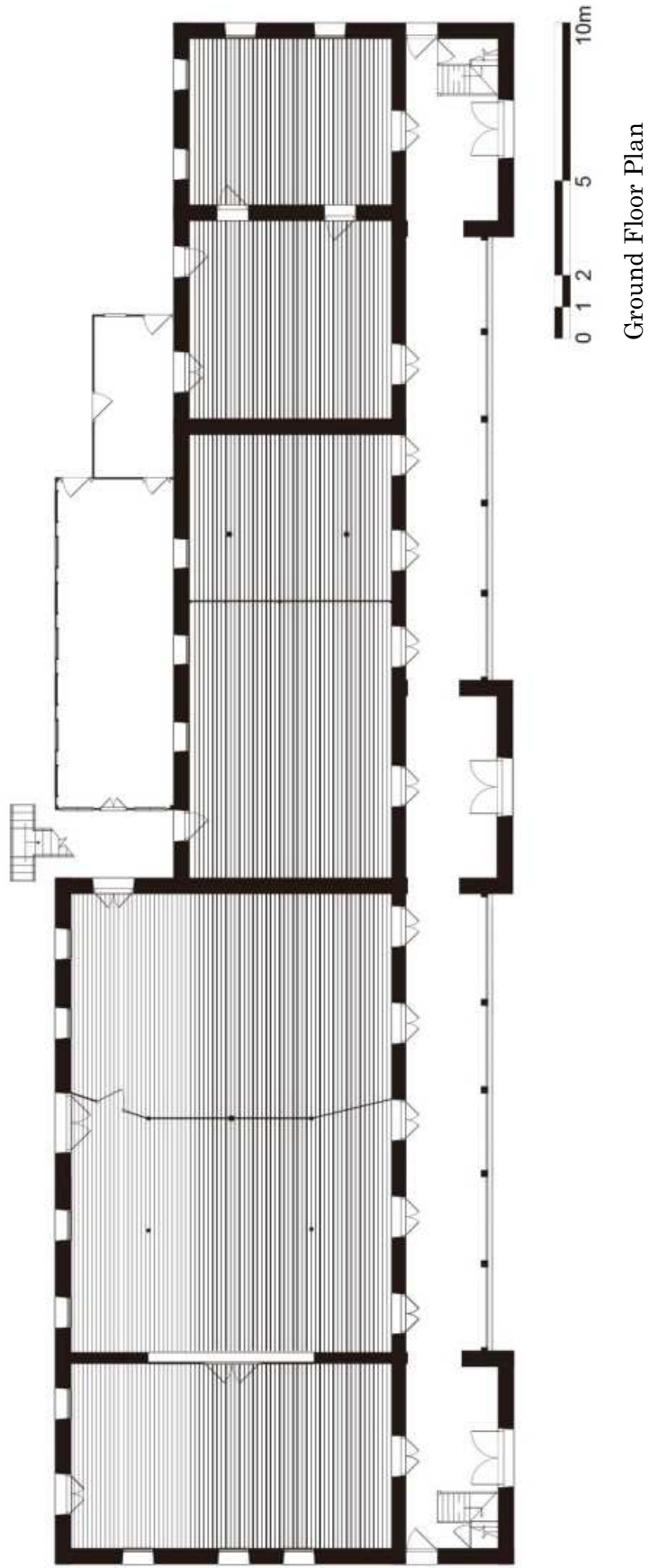
廊下

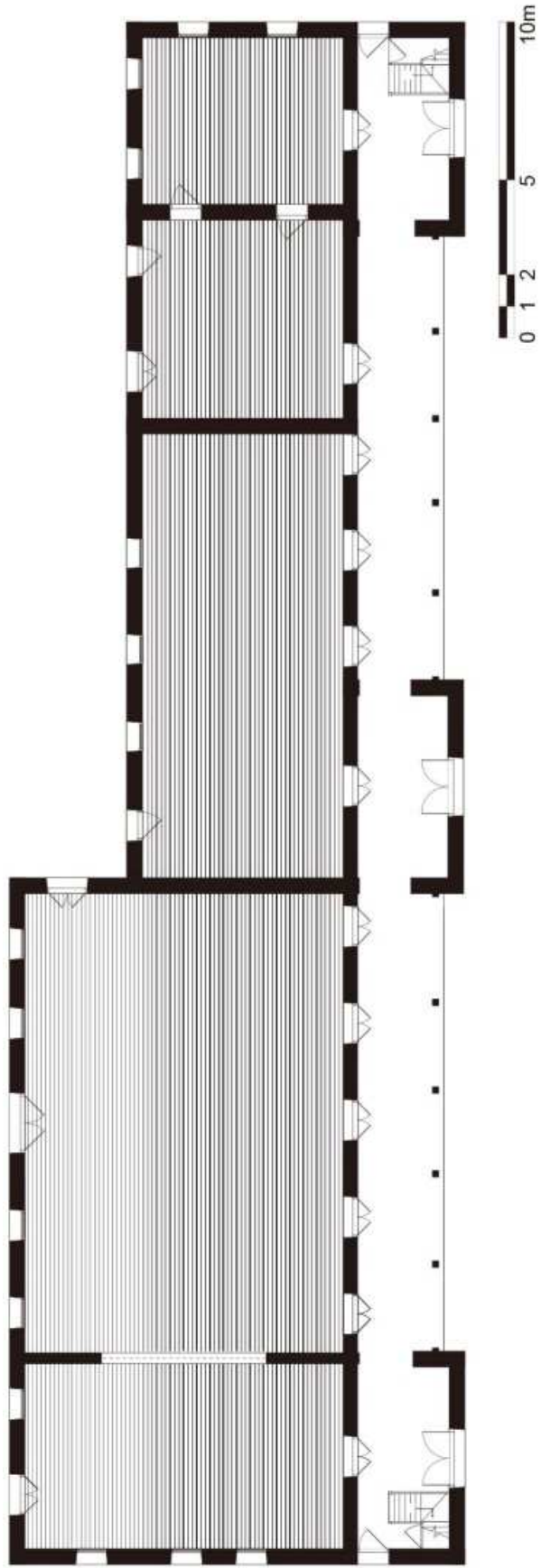


教室



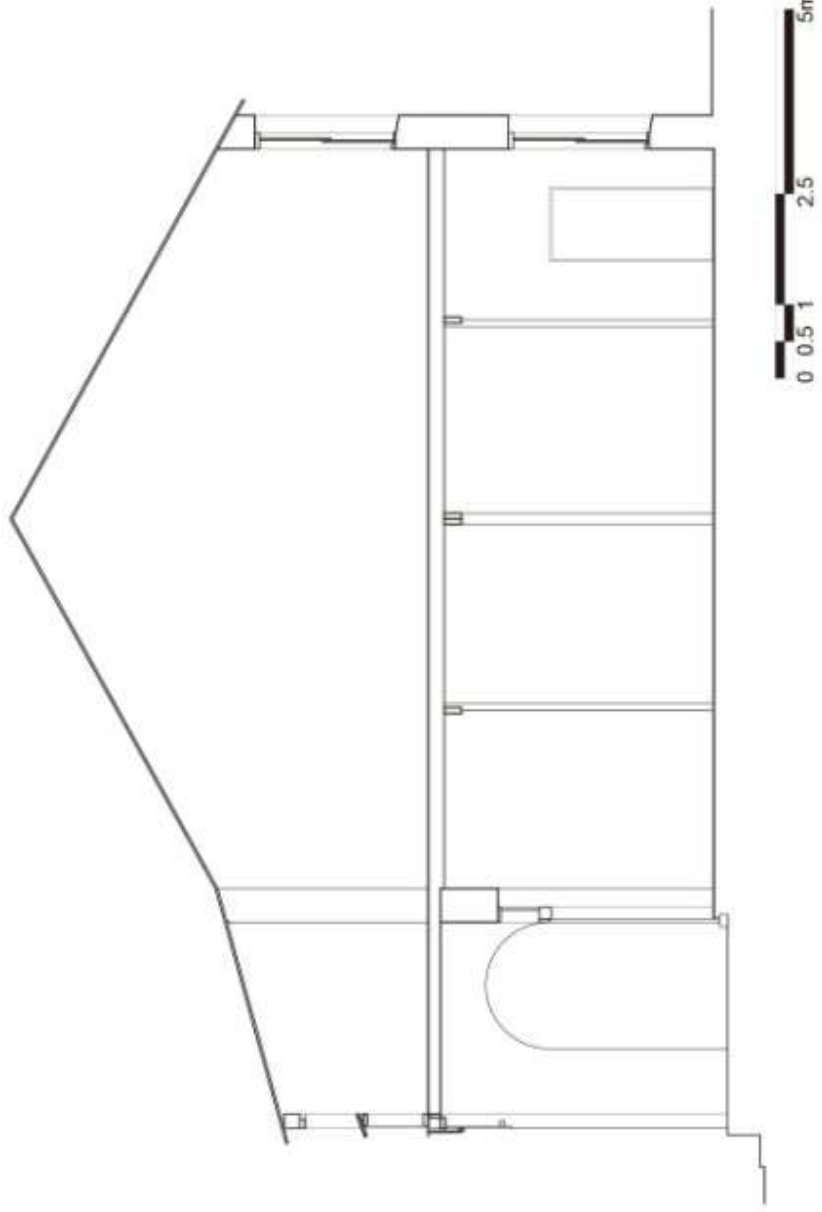
Site Plan





1st Floor Plan





Section

付属屋 Two annexes



西棟内観



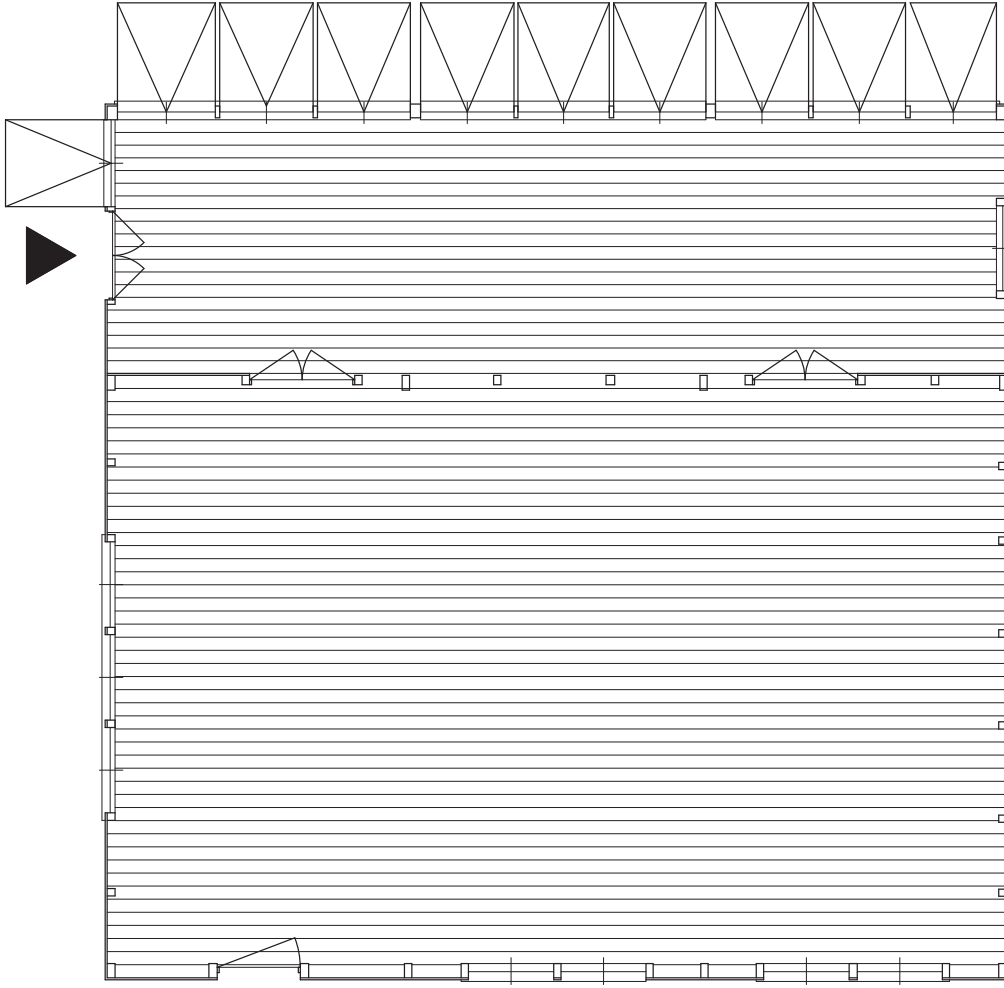
西棟内観



東棟内観



東棟内観



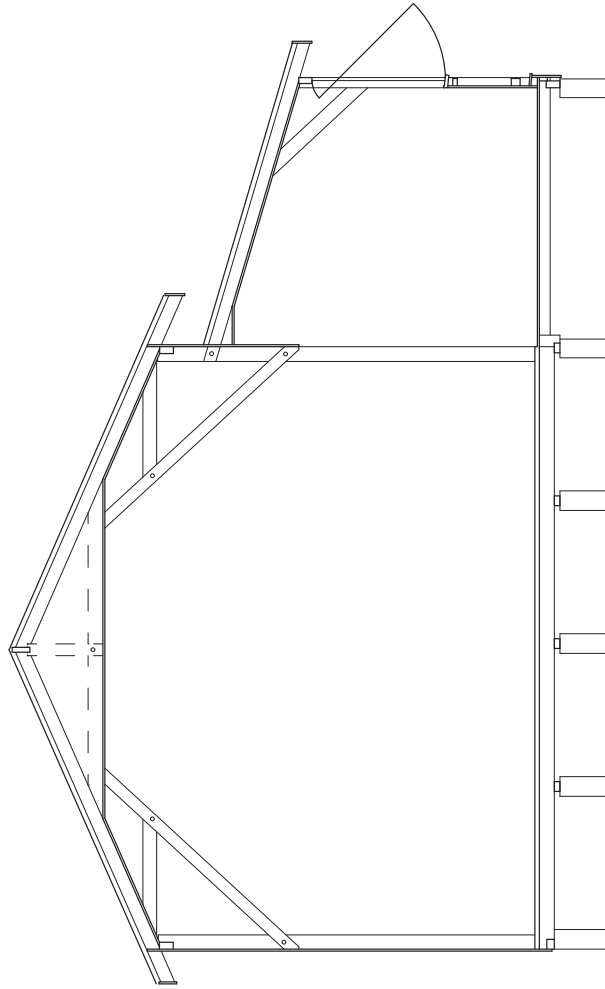
MS20

Marist Convent Complex-Annex A  
Floor Plan

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS20

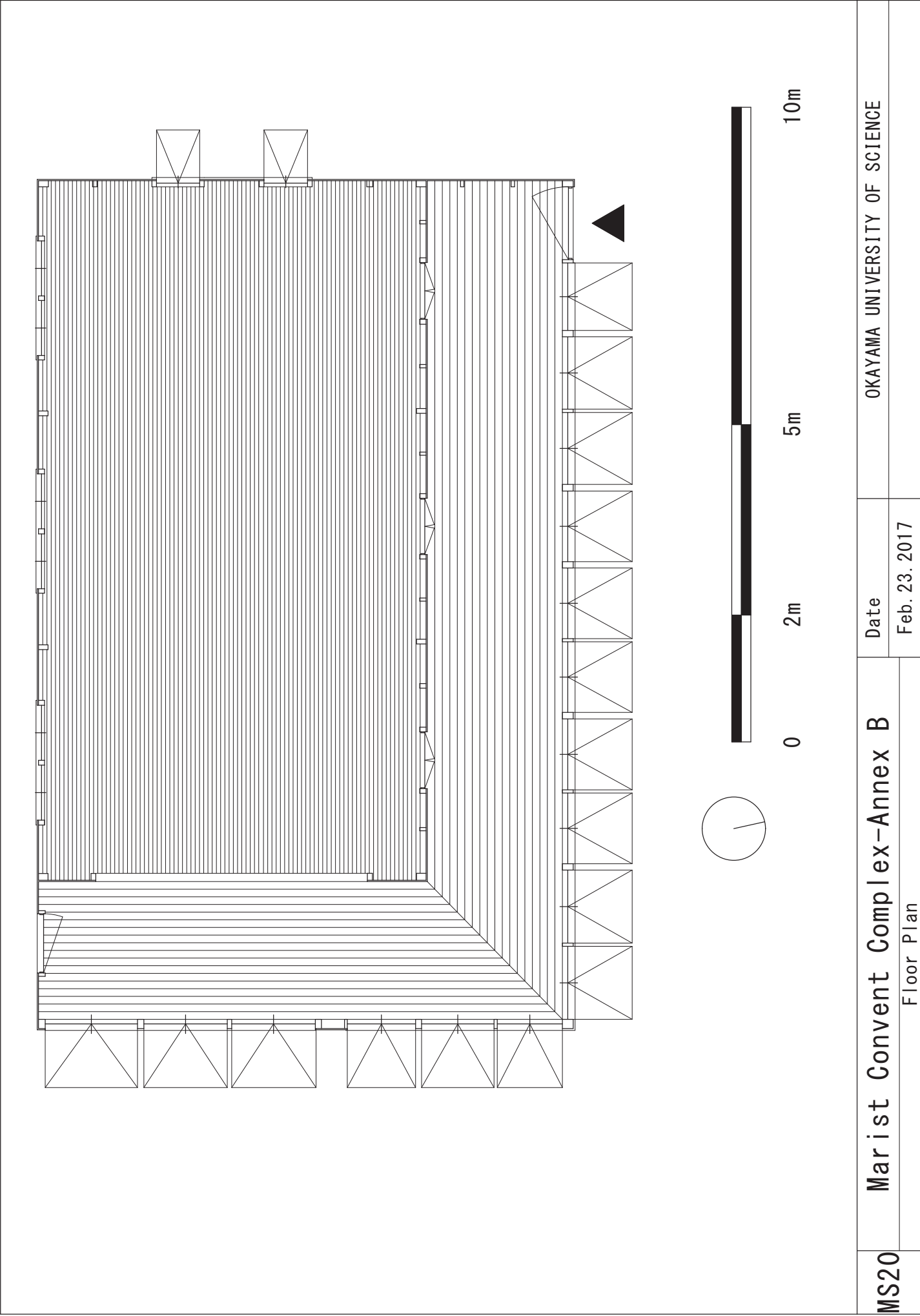
Marist Convent Complex-Annex A

Section

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS20

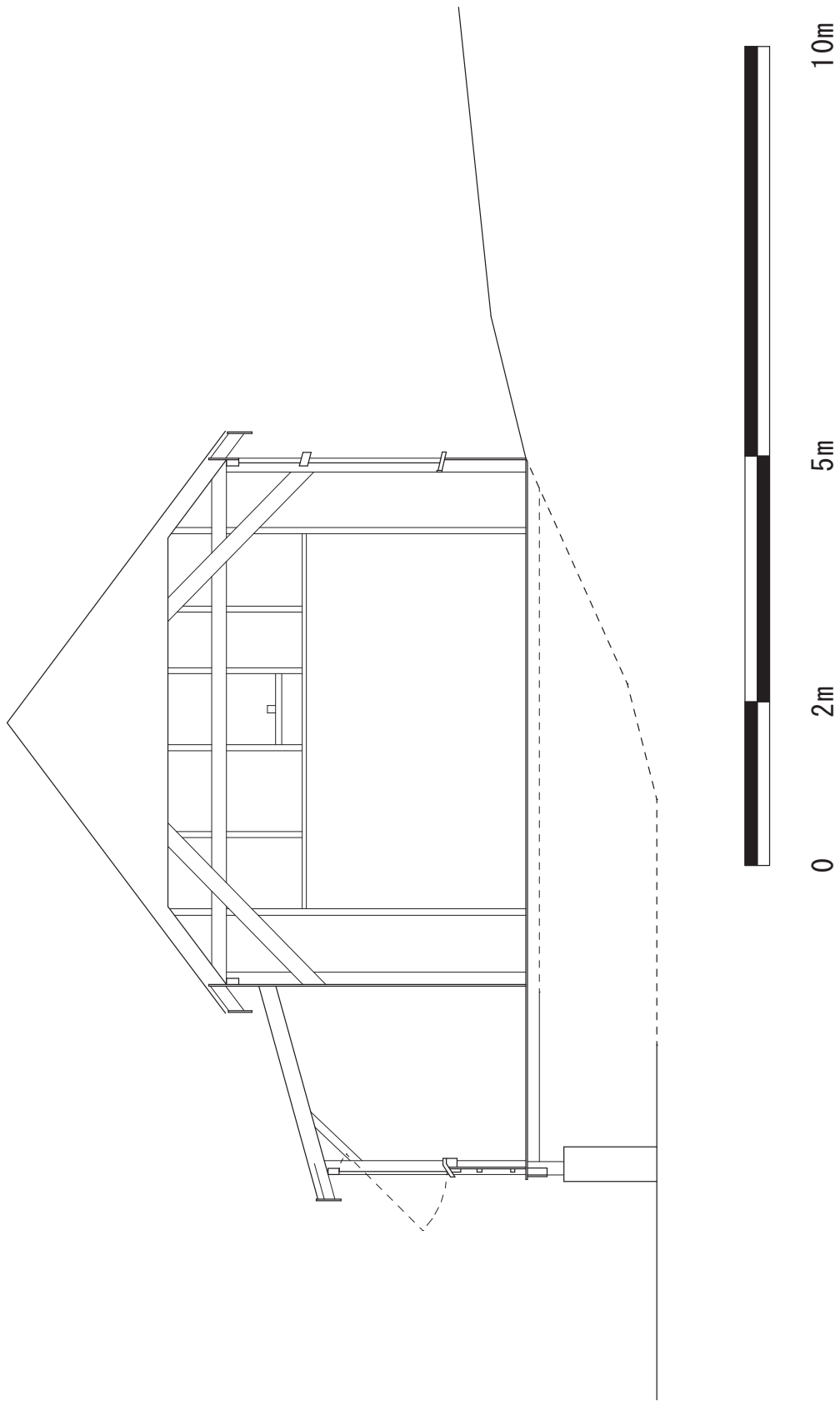
Marist Convent Complex-Annex B

Floor Plan

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS20

Marist Convent Complex-Annex B

Section

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MS21

LPS TEACHERS QUARTERS



周辺室内観



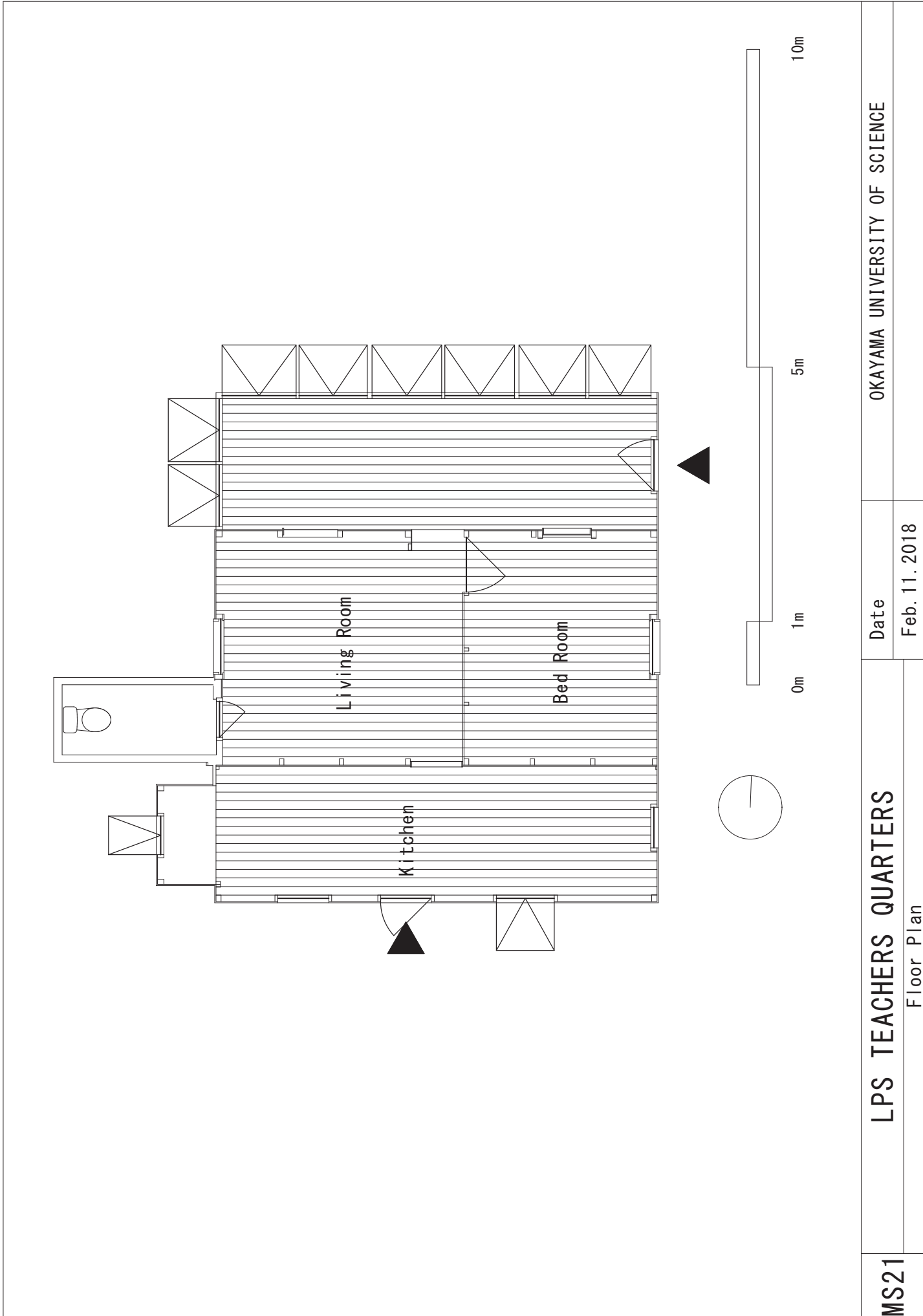
身舎内観



台所内観



西側外観



MS21

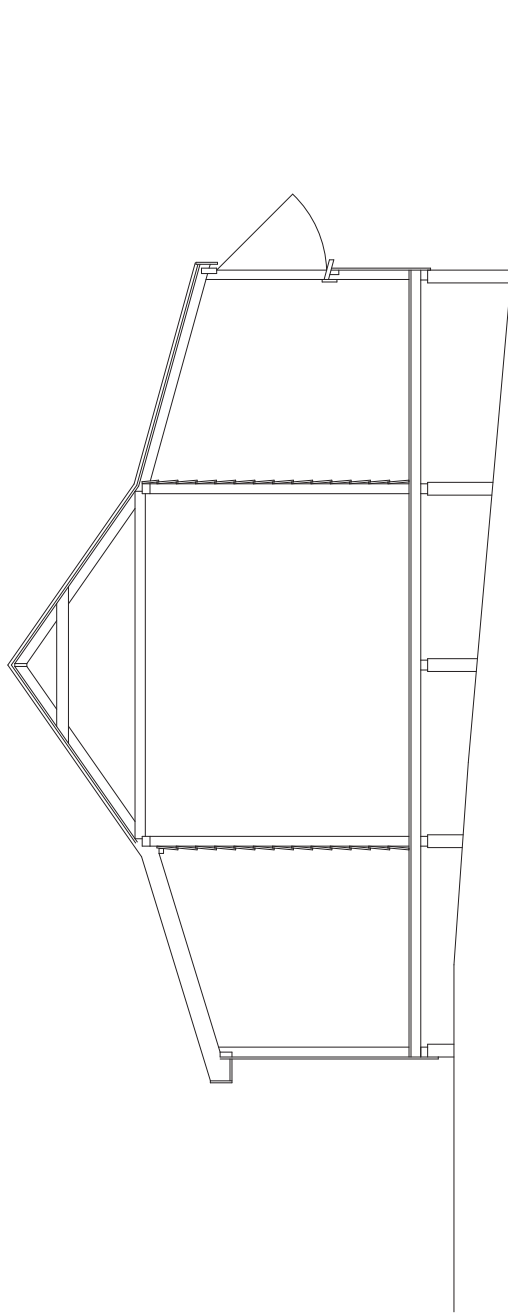
LPS TEACHERS QUARTERS

Floor Plan

Date

Feb. 11. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS21

LPS TEACHERS QUARTERS

Section

Date

Feb. 11. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MS22

MR ROY FIU (TEACHERS QUARTERS)



東側周辺室內觀



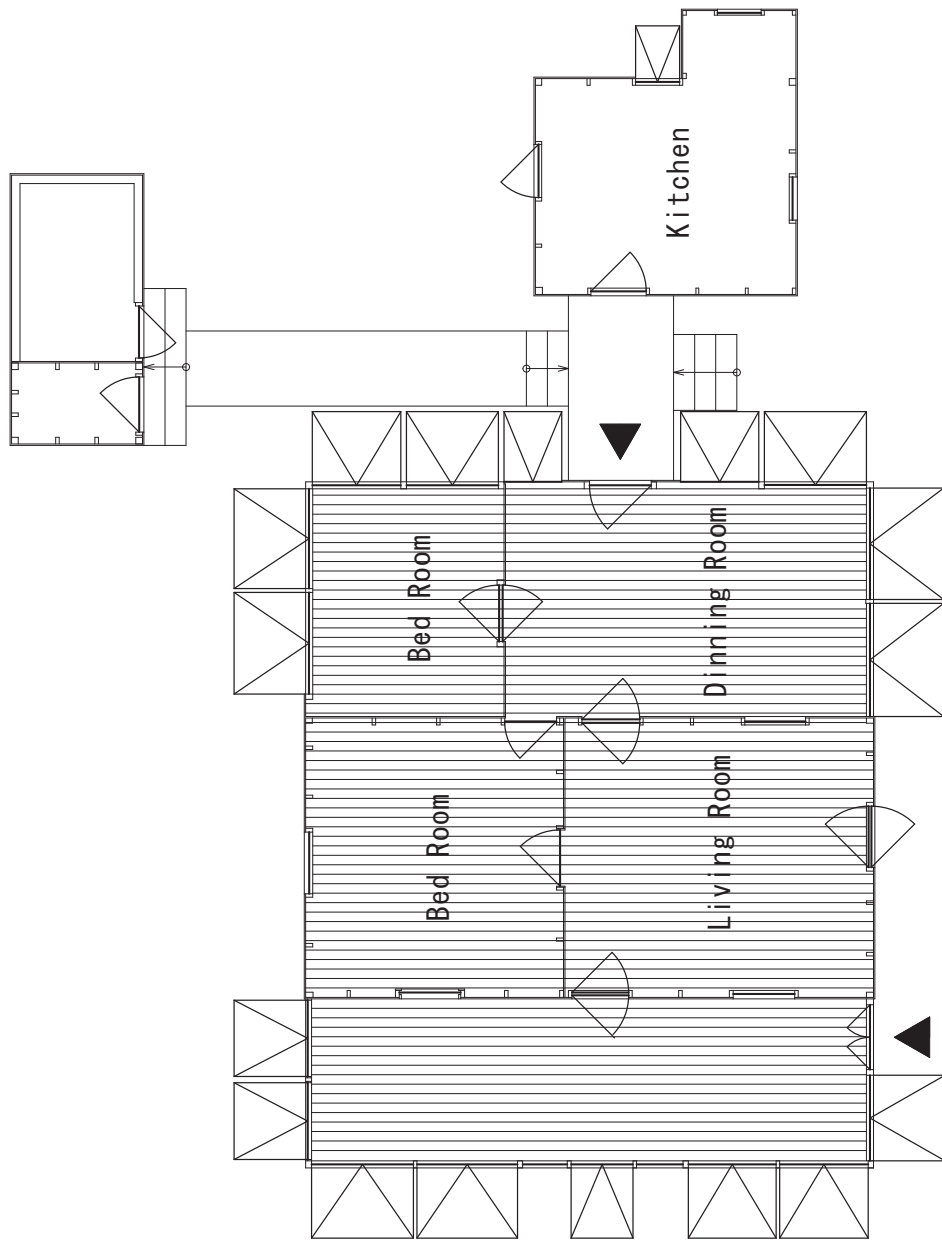
身舍內觀



西側周辺室



西側周辺室外觀



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

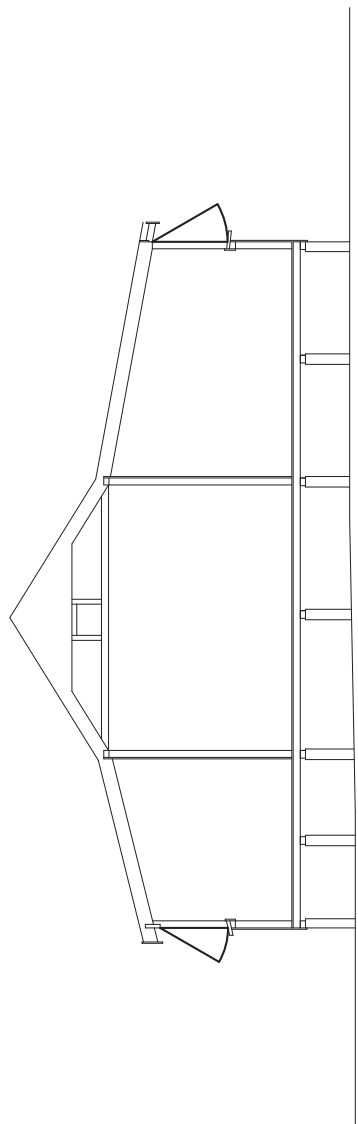
Date

Feb. 11. 2018

MR ROY FIU (TEACHERS QUARTERS)

Floor Plan

MS22



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 11. 2018

MR ROY FIU (TEACHERS QUARTERS)

Section

MS22





東側周辺室内観



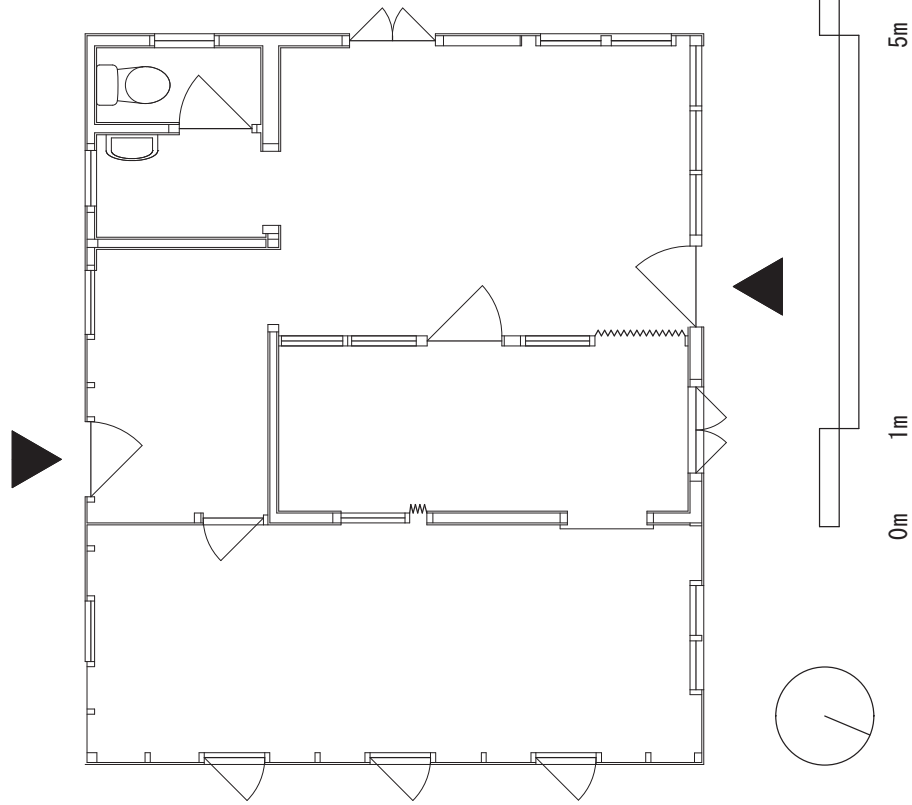
身舎内観



西側外観



南側外観



MS23

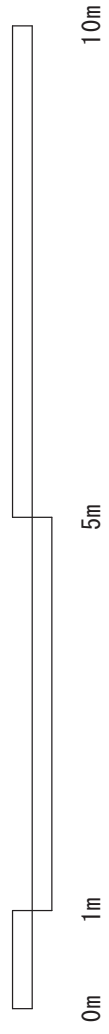
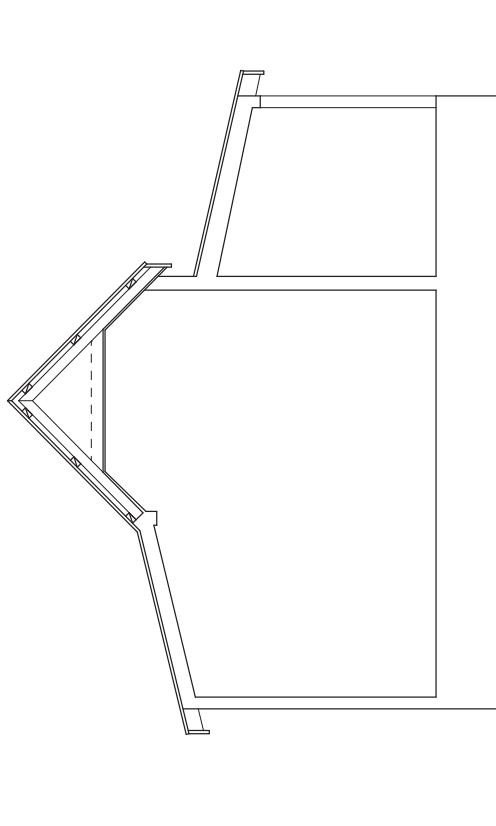
Police station

Floor Plan

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

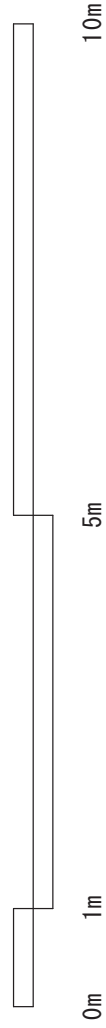
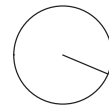
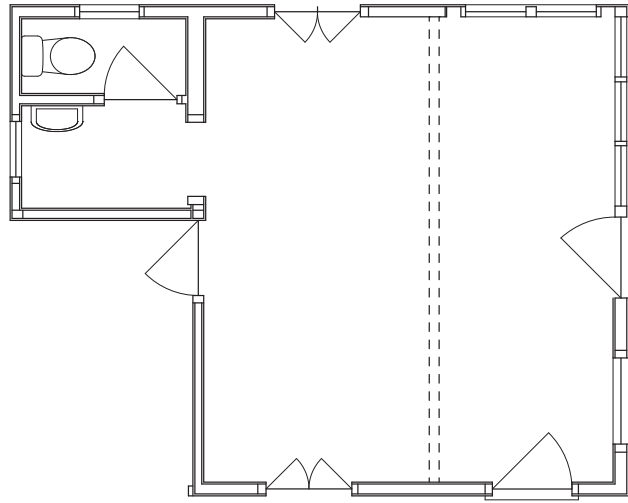


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 12. 2016

Police station  
Section

MS23



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

Aug. 12. 2016

Police station

Original Plan

MS23

Levuka Public School Complex



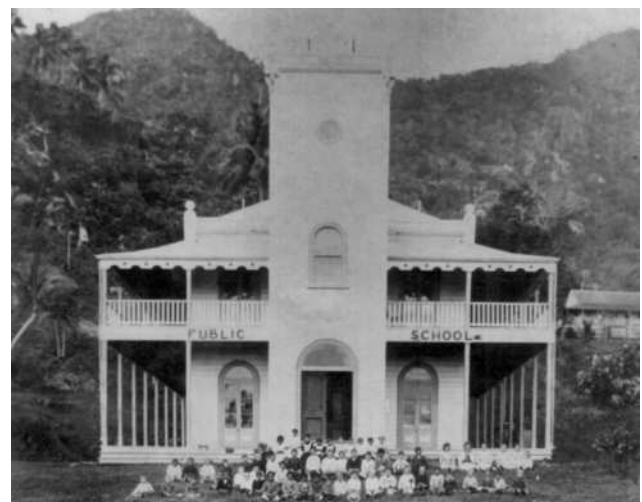
2006年 ACCU 掲載写真



2006年 ACCU 掲載写真

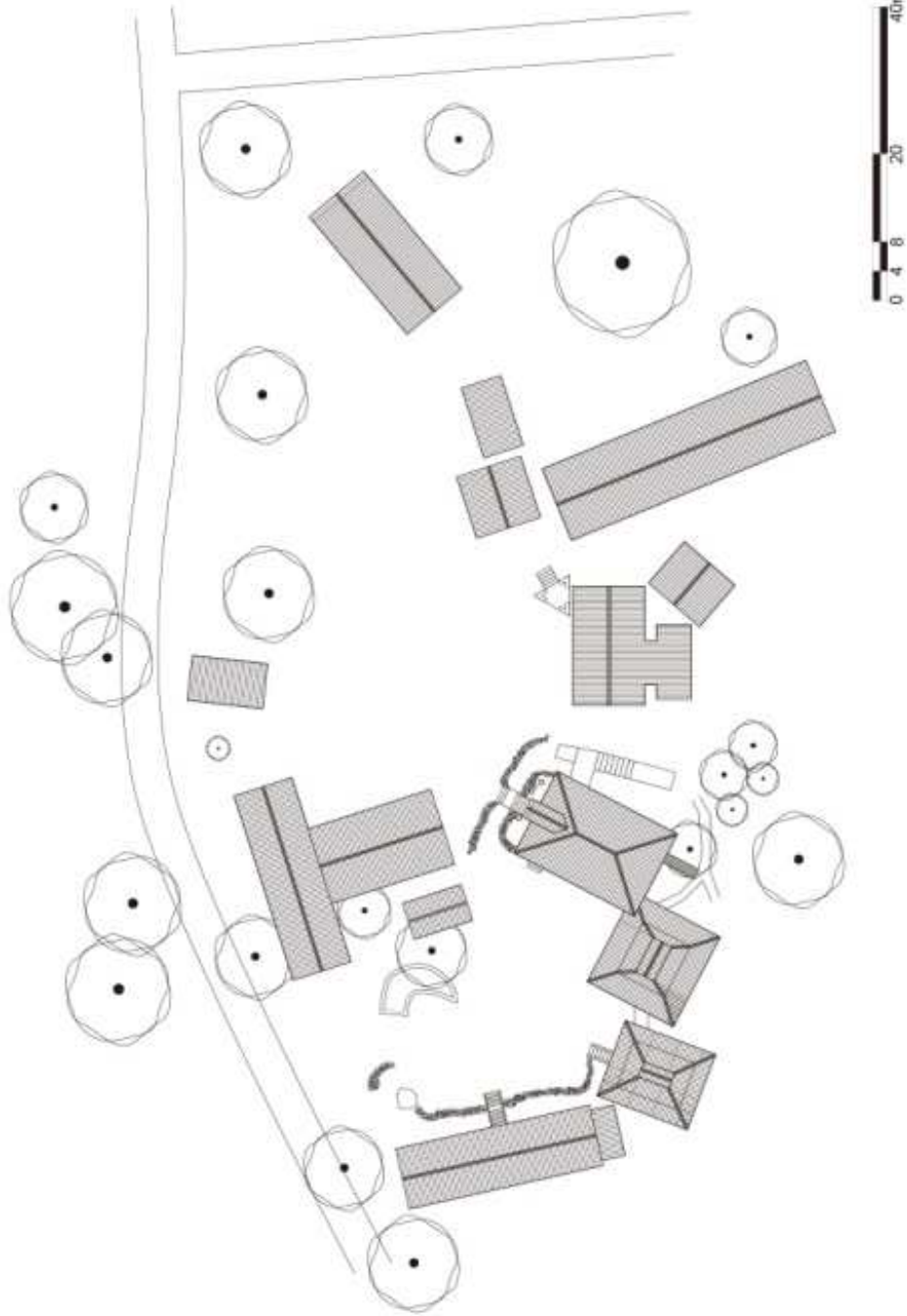


2006年 ACCU 掲載写真

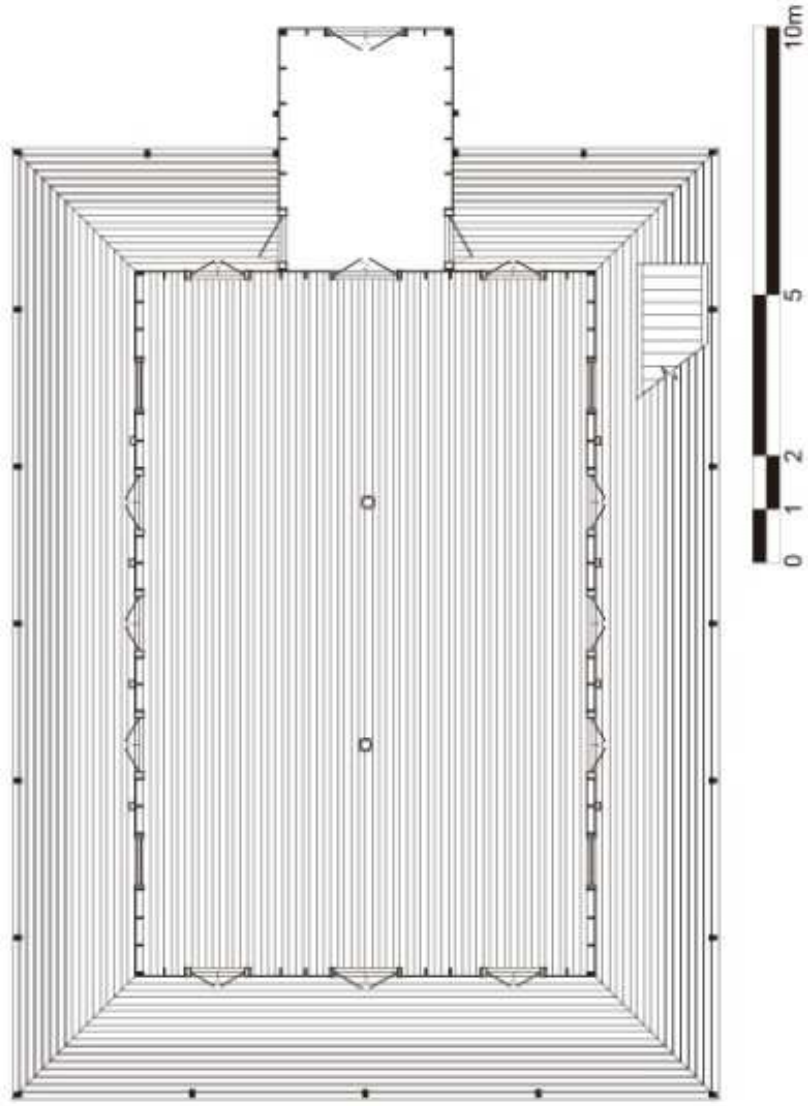


撮影年不明(National Archive 所蔵)

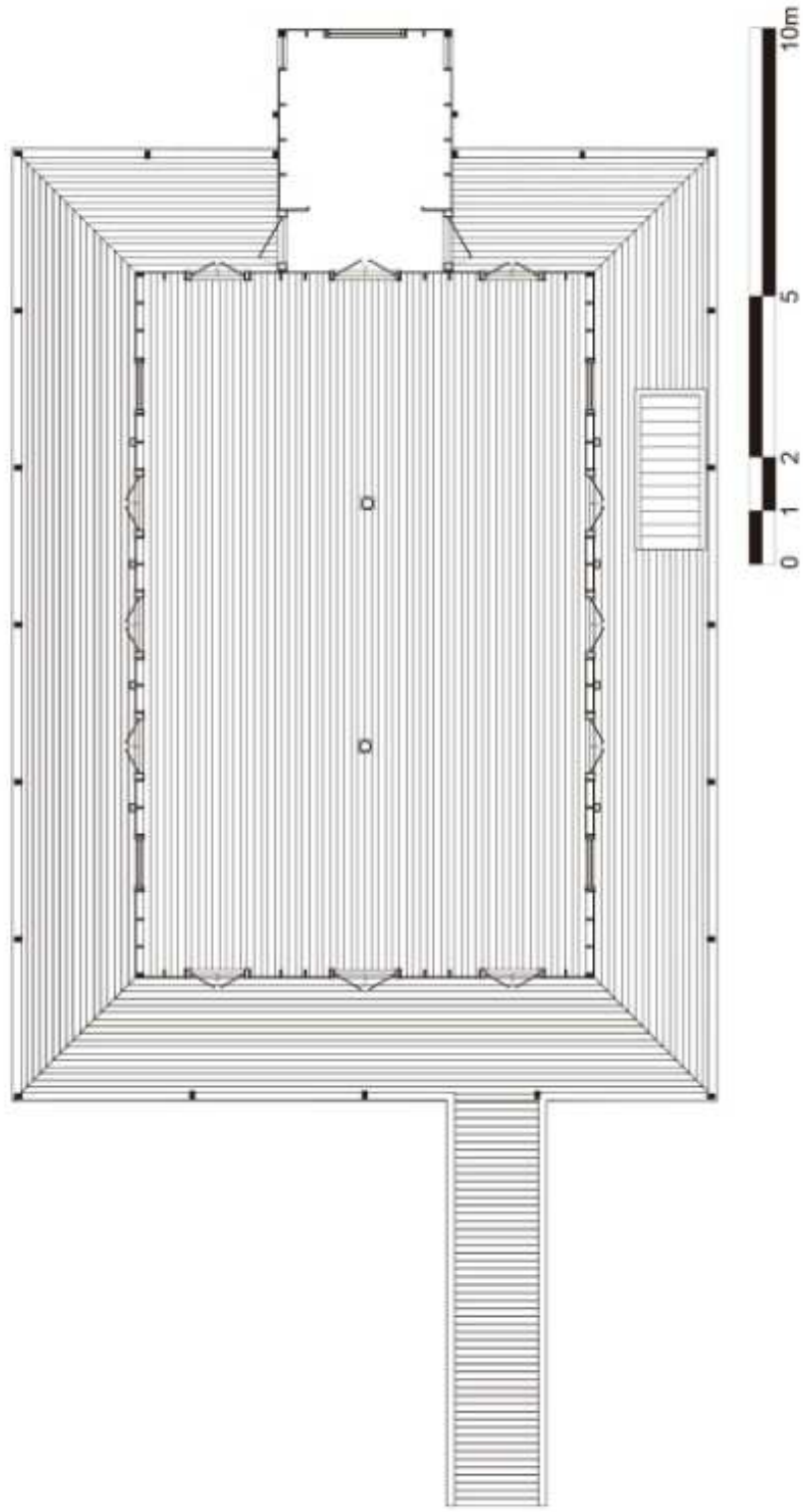




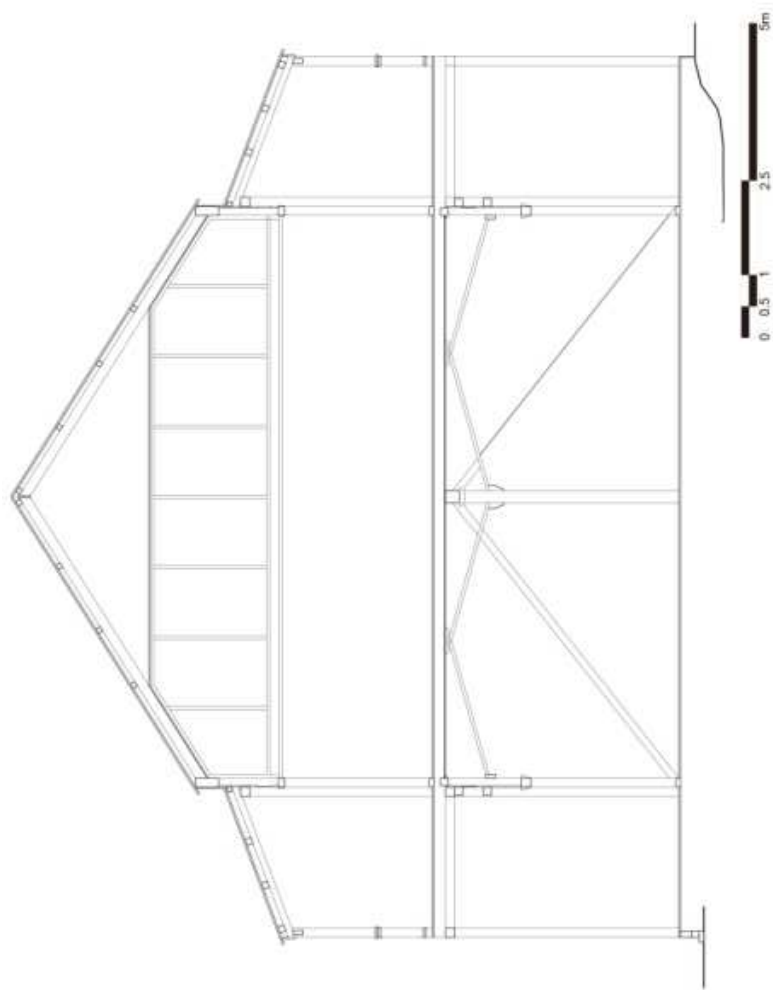




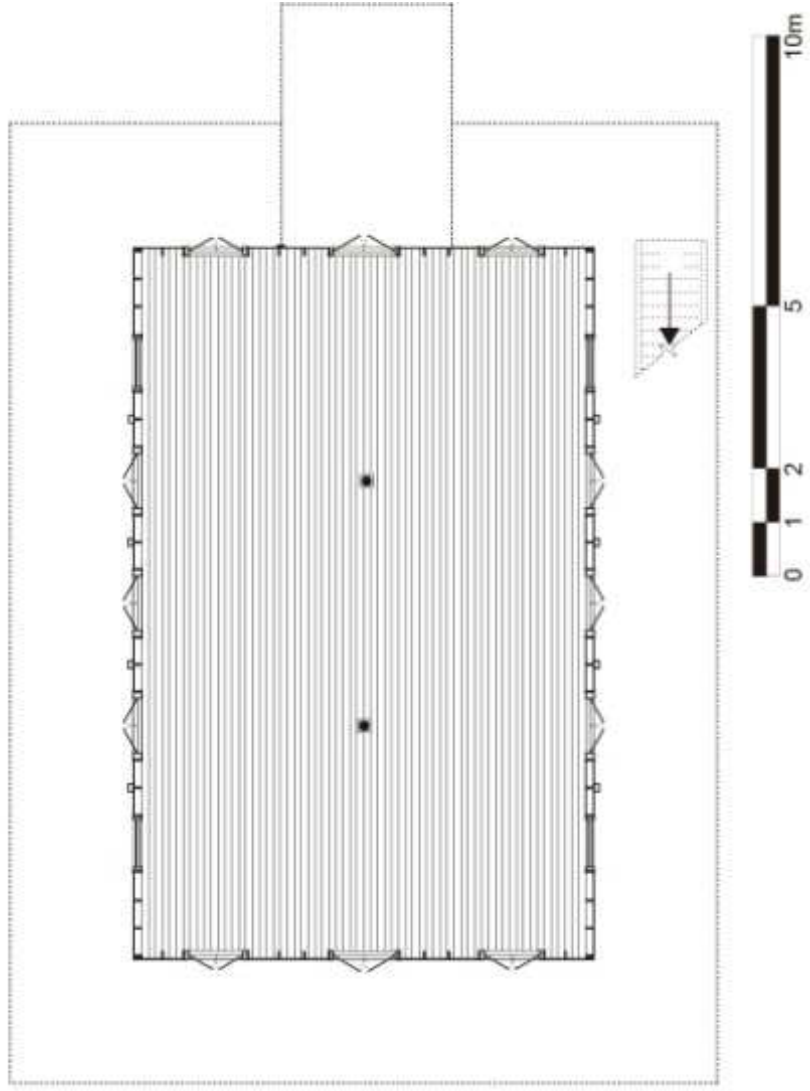
Ground Floor Plan



1st Floor Plan



Section



Original Plan



リビング内観



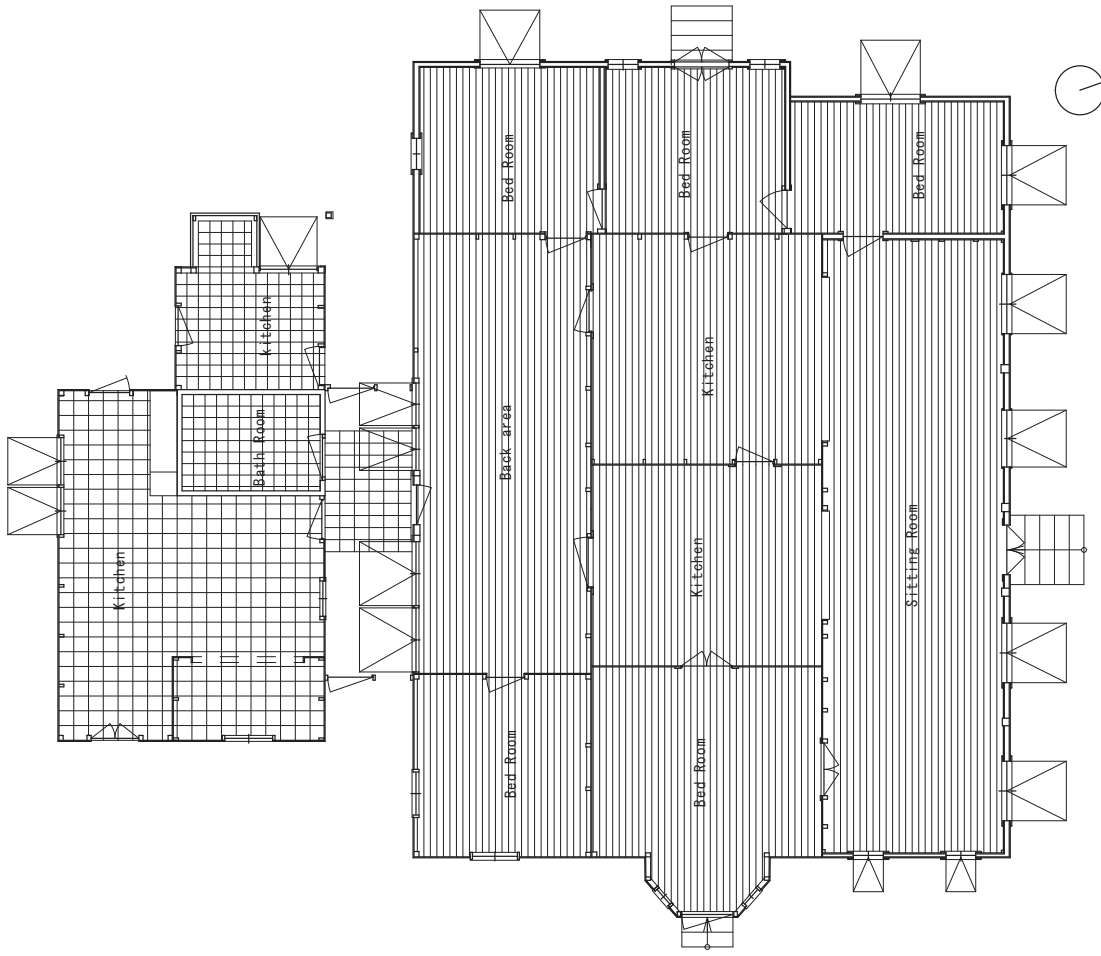
リビング内観



南側外観



西側外観



MS25

Banba Government Courts

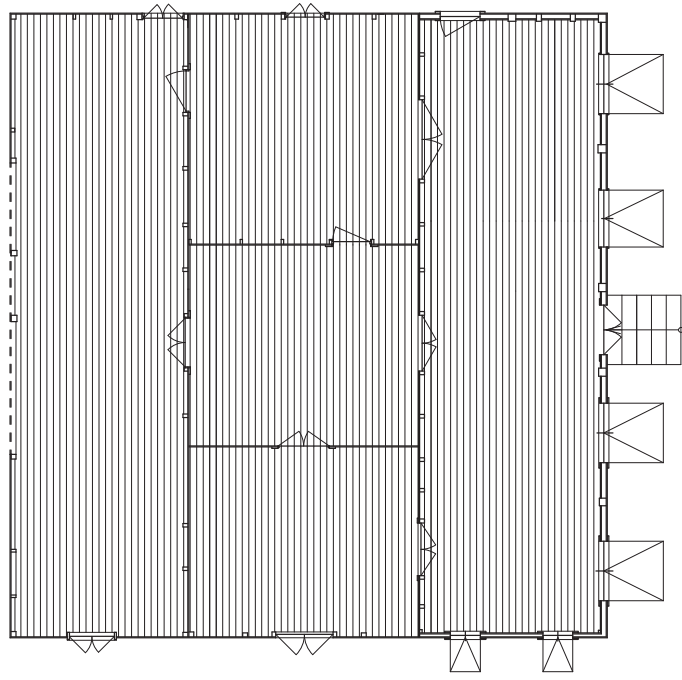
Floor Plan

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





MS25

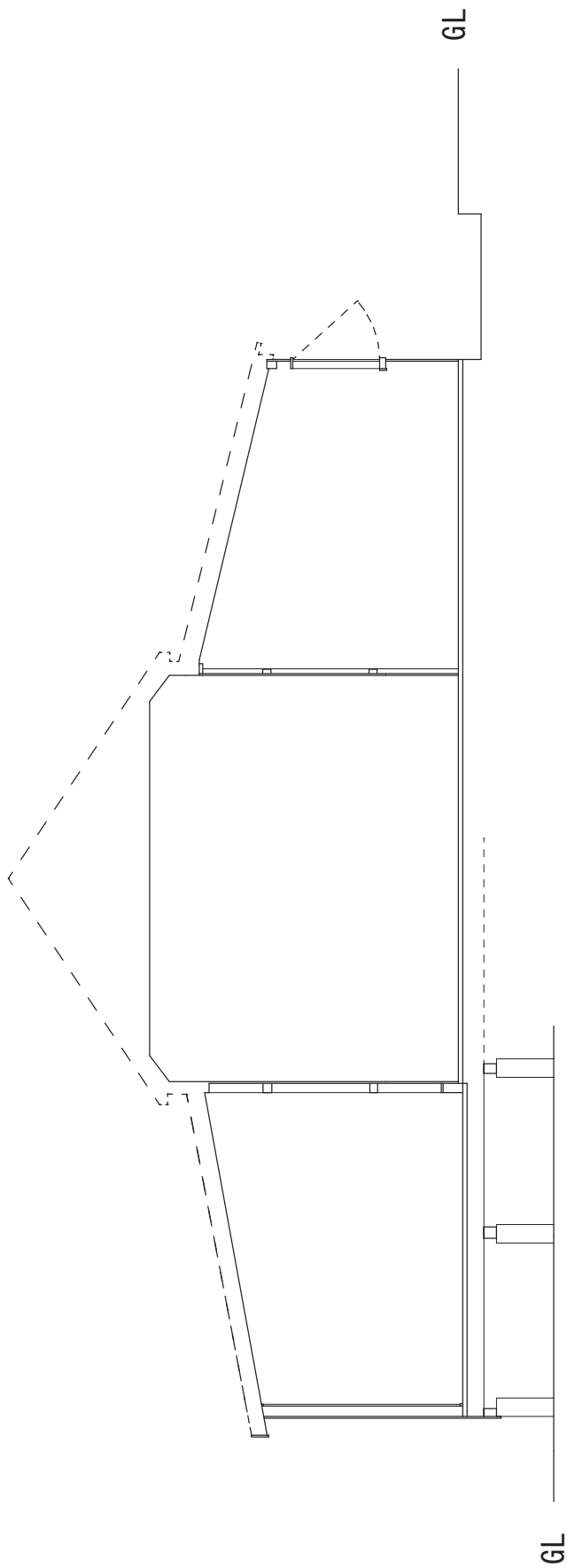
Banba Government Courts

Original Plan

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS25

Banba Government Courts

Section

Date

Feb. 23. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Public Building 19A & 19B



北棟リビング内観



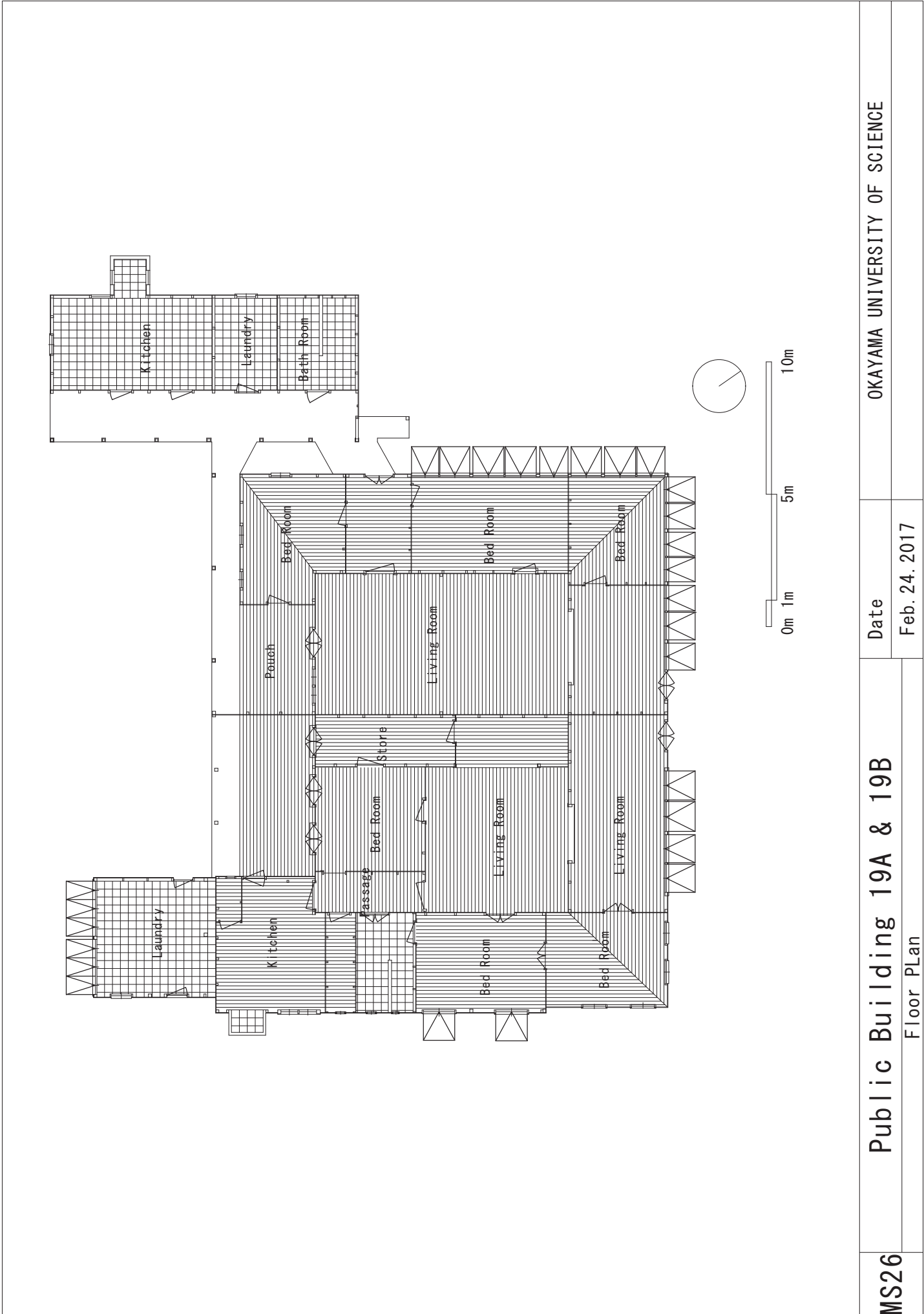
南棟リビング内観



付属屋外観



後方ベランダ



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

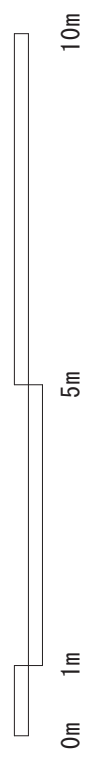
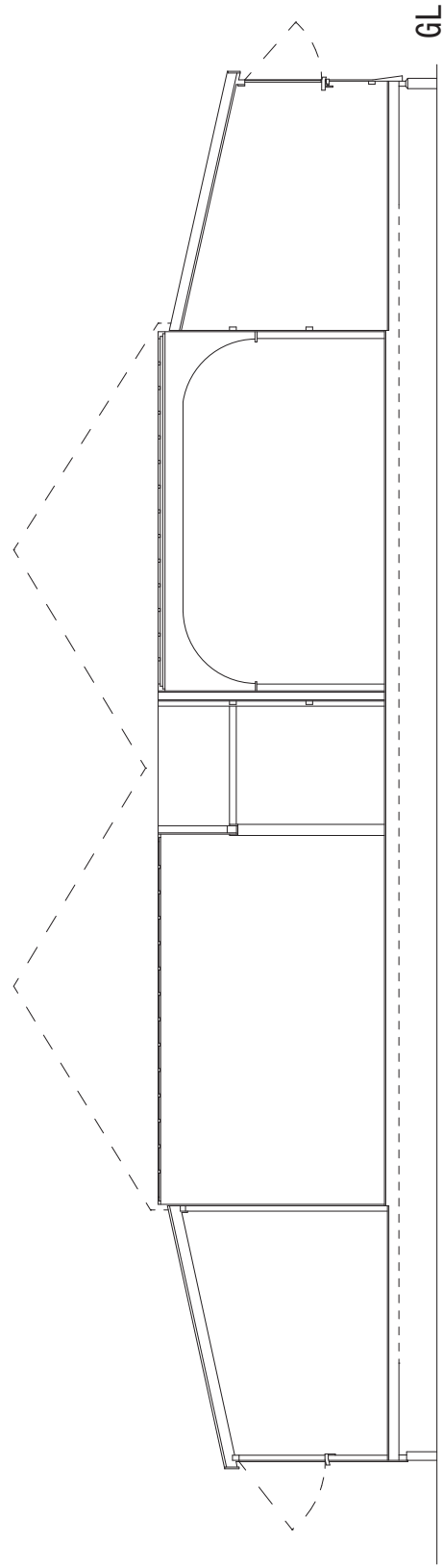
Date

Feb. 24. 2017

Public Building 19A & 19B

Floor Plan

MS26



MS26

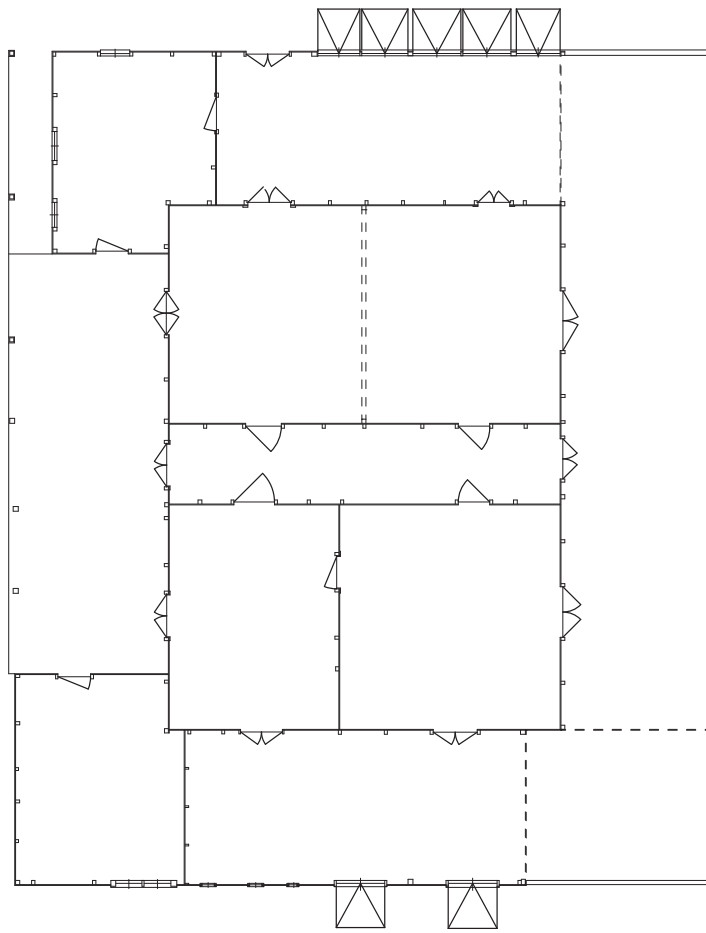
Public Building 19A & 19B

Section

Date

Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MS26

Public Building 19A & 19B

Original Plan

Date

Feb. 24. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MS27

D Garner Jones House



リビング内観



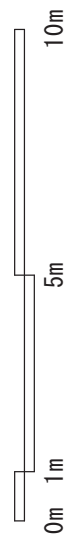
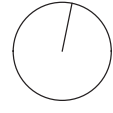
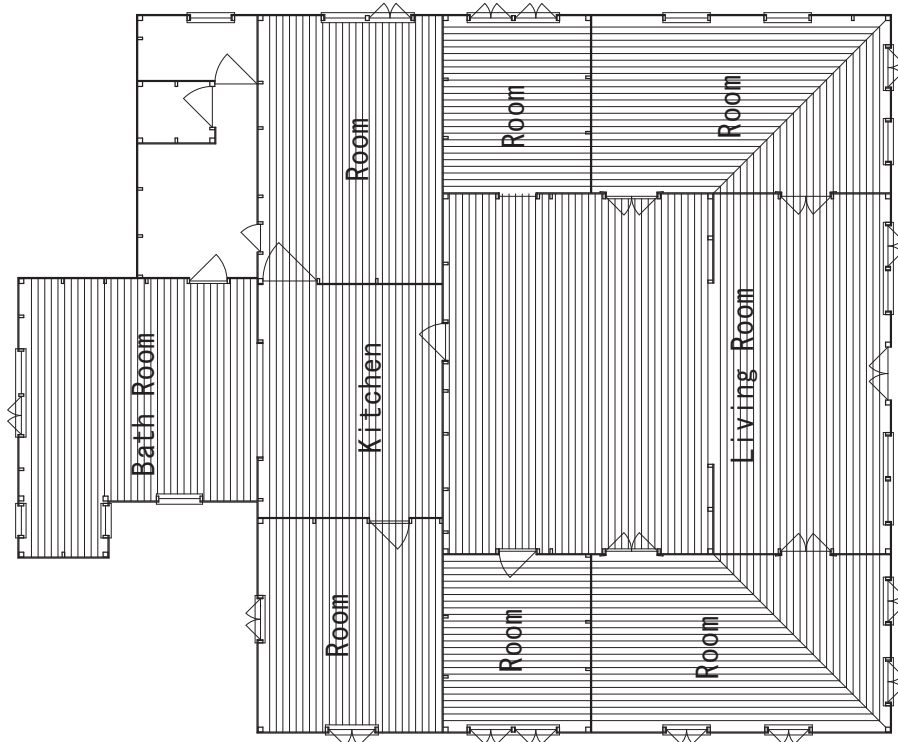
リビング内観



台所内観



南側外観



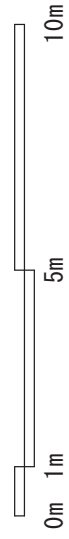
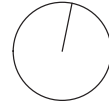
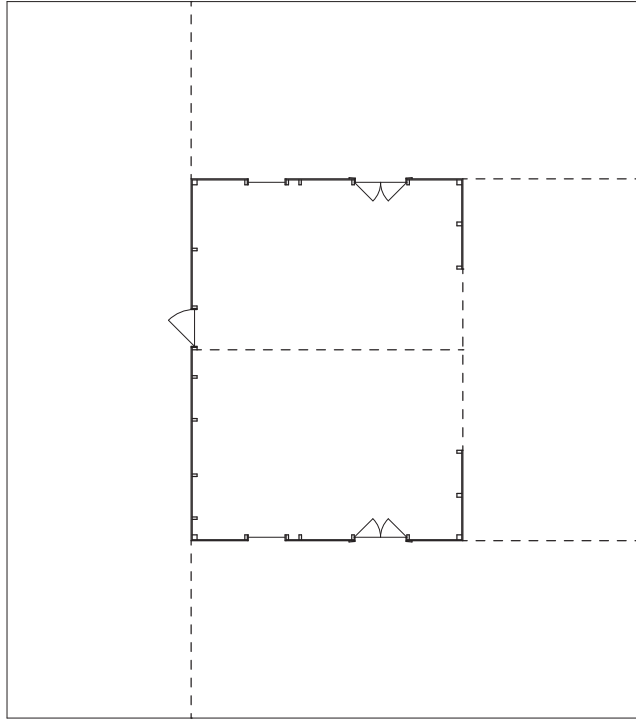
MS27

D Garner Jones House

Floor Plan

Date

Kyushu UNIVERSITY



**MS27**

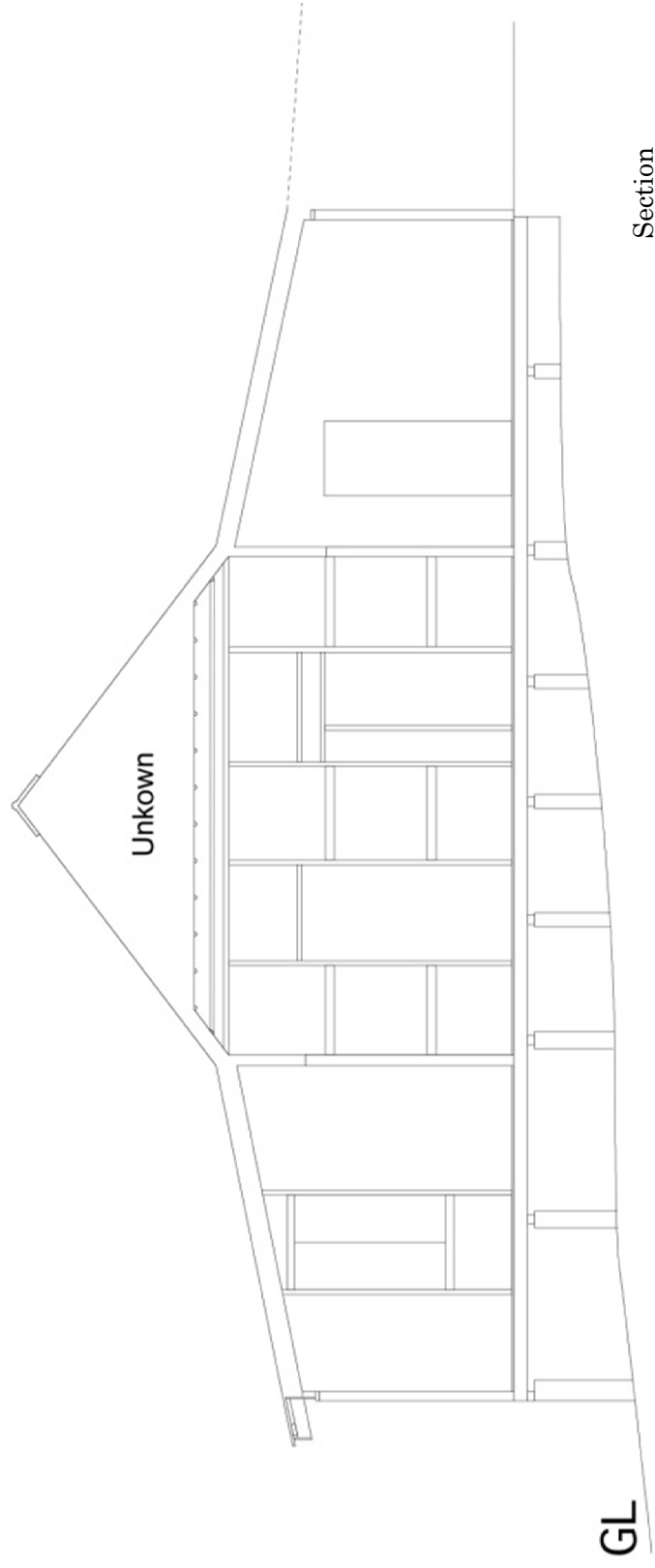
**D Garner Jones House**

Original Plan

Date

Kyushu UNIVERSITY

ER:MS27 D Garner Jones House 図面作製：九州大学





ER:MN01

Royal Hotel-本館



ロビー内観



2階廊下

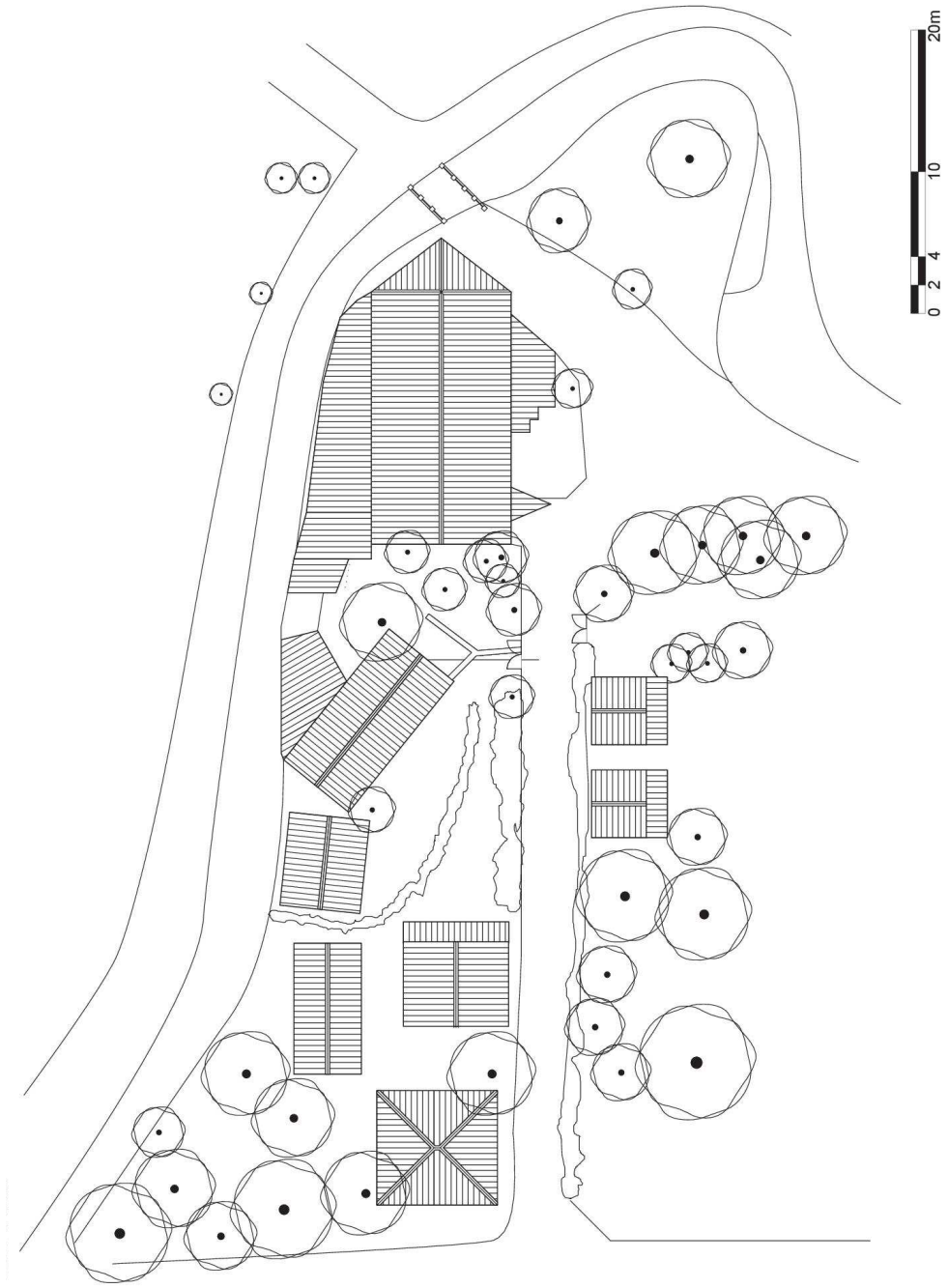


客室内観



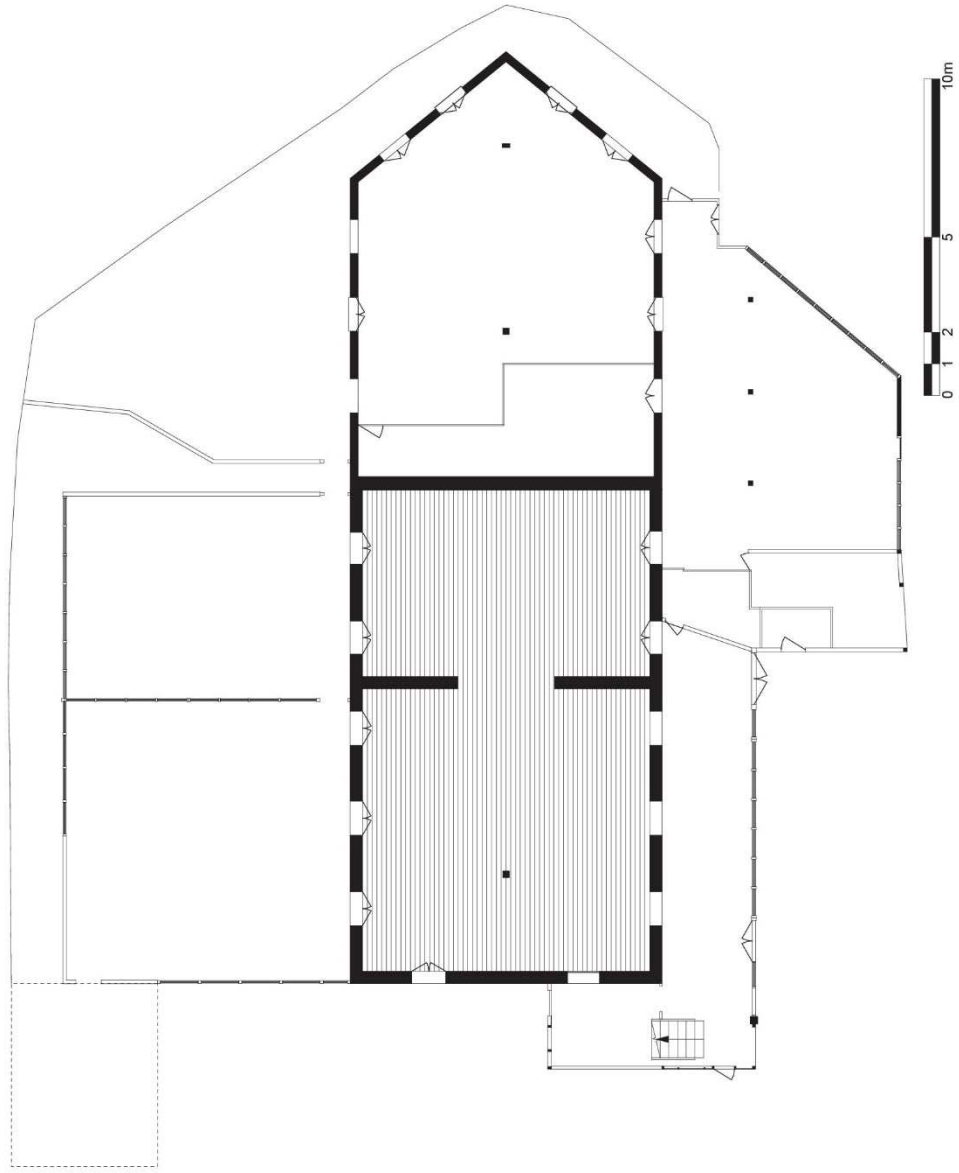
19世紀撮影(Fiji Museum 所蔵)

ER-MN01 Royal Hotel- Main Building 図面作製：九州大学

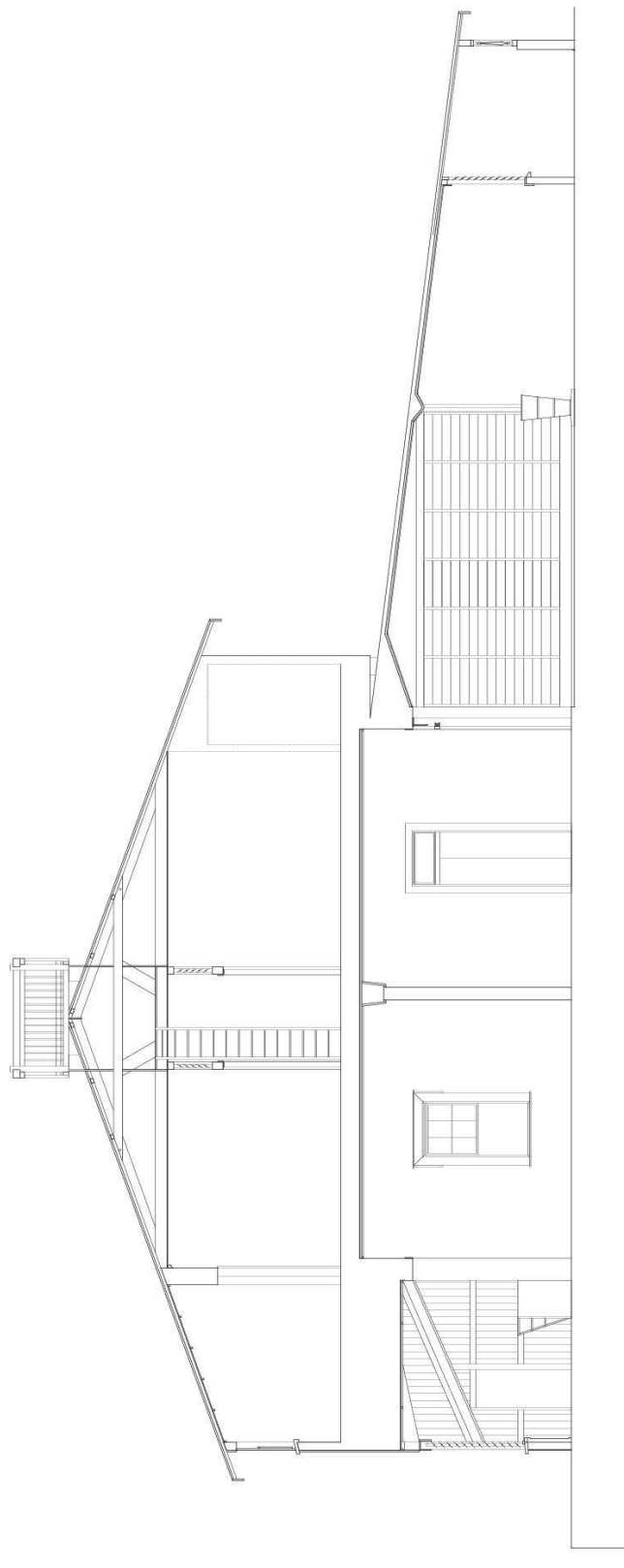




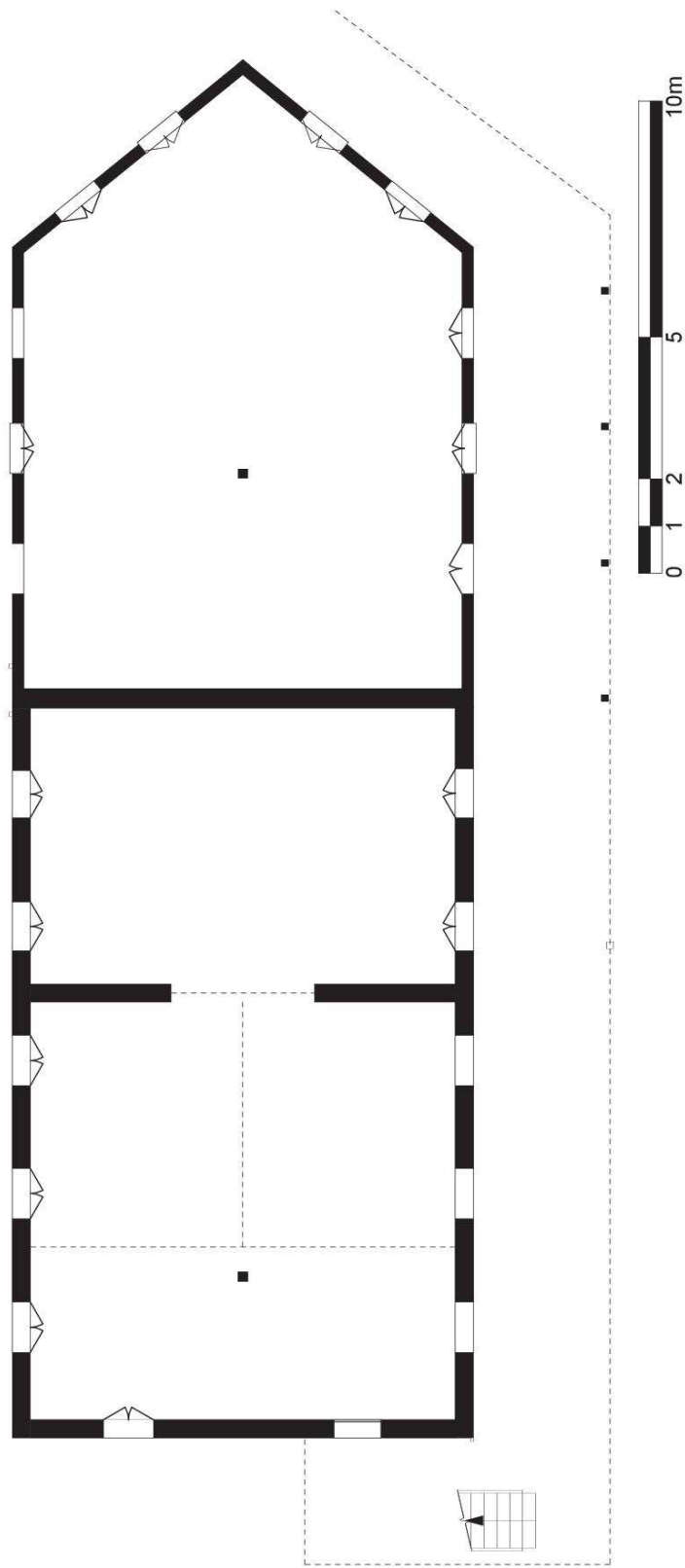
Royal Hotel- Main Building 図面作製：九州大学



Royal Hotel- Main Building 図面作製：九州大学



Section



Original Plan

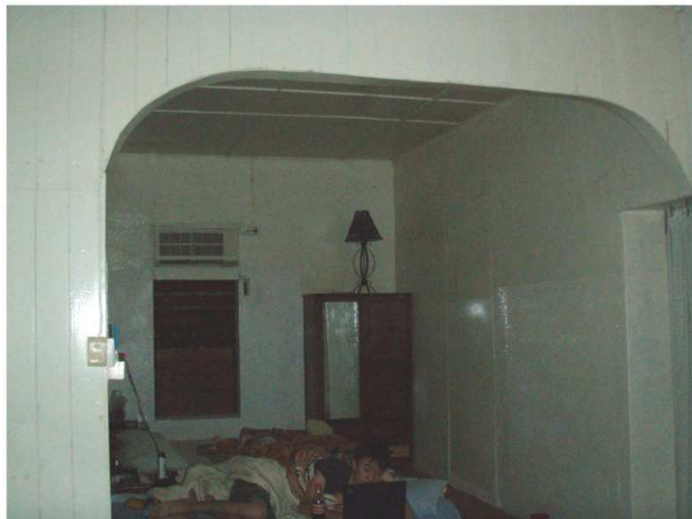
Robbies Lane/ CAPTAIN ROBBIES HOUSE



外觀(2007年九州大学撮影)



2006年 ACCU 掲載写真

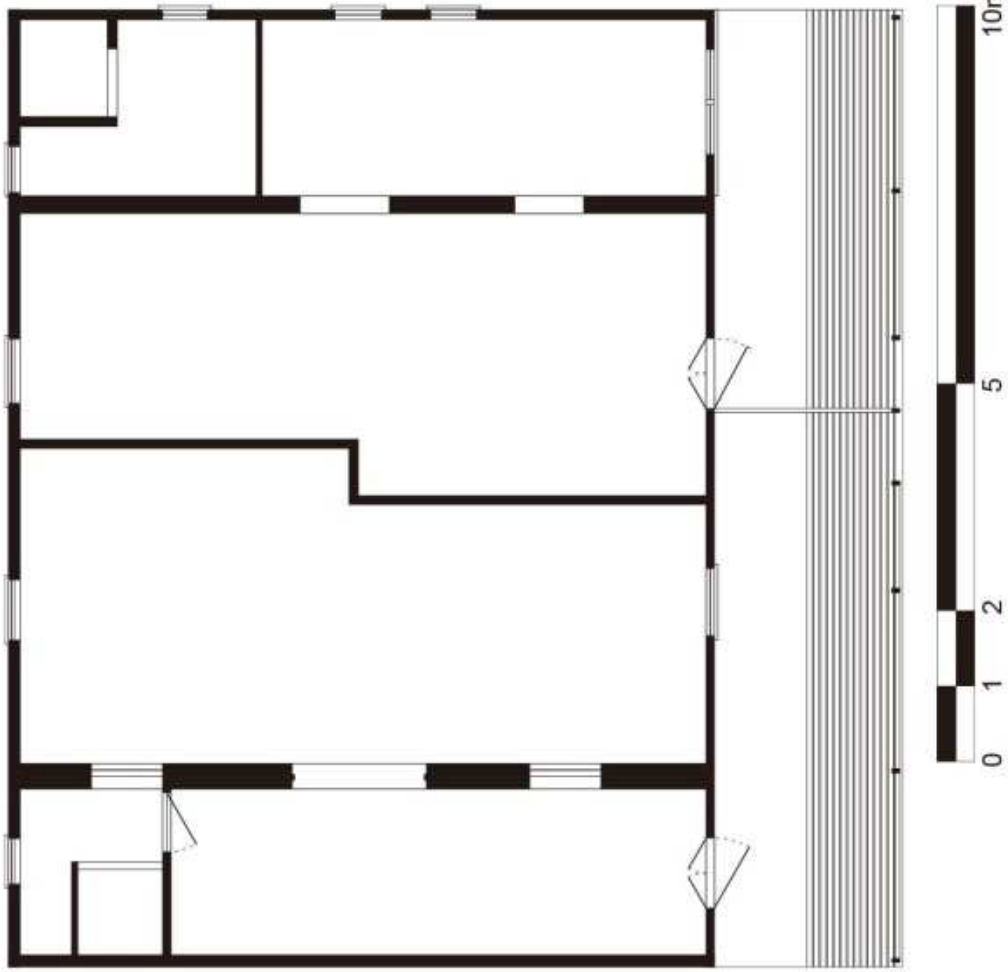


2006年 ACCU 掲載写真



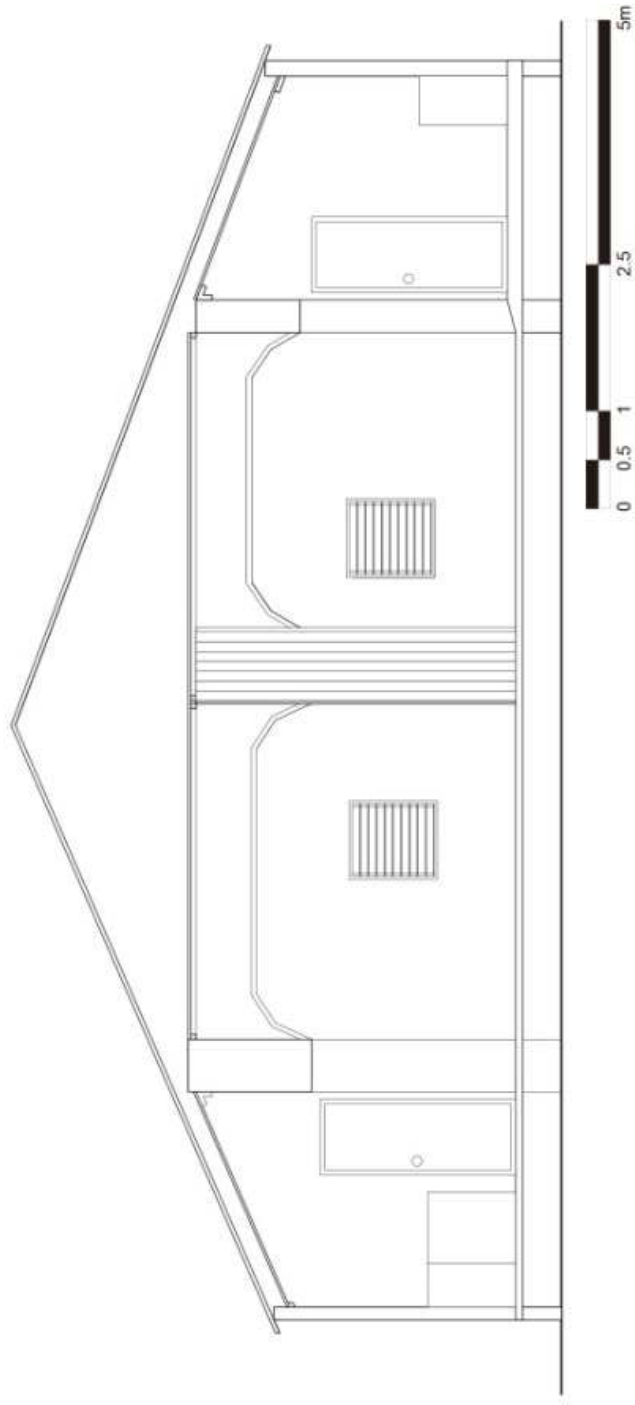
2006年 ACCU 掲載写真

Robbies Lane/ CAPTAIN ROBBIES HOUSE 図面作製：九州大学



Floor Plan

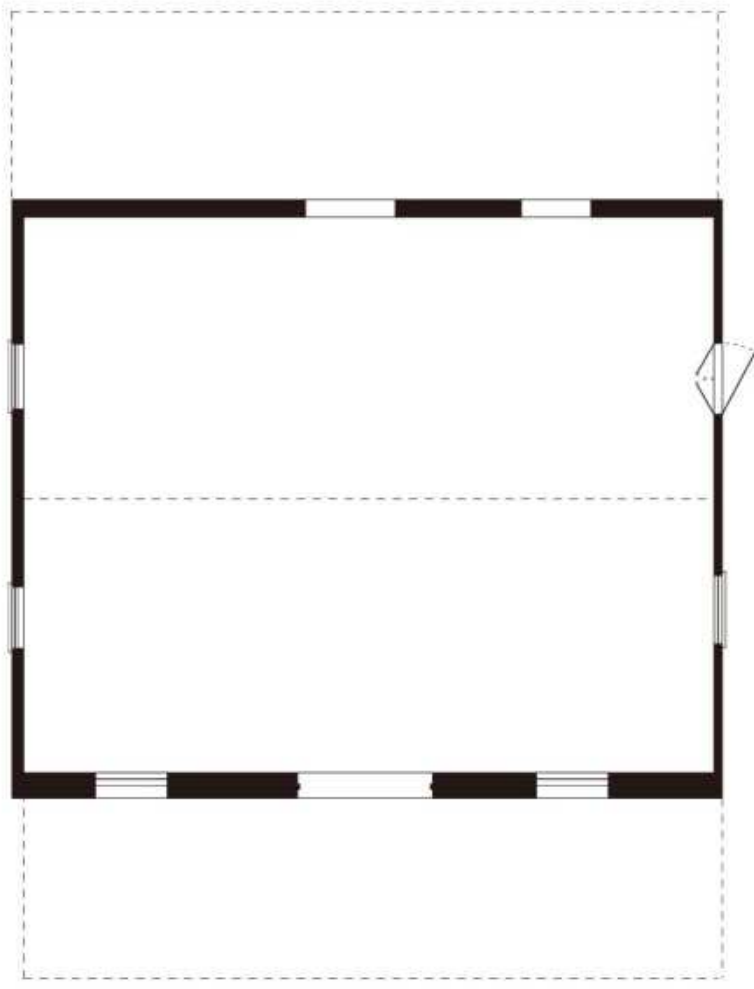
Robbies Lane/ CAPTAIN ROBBIES HOUSE 図面作製：九州大学



Section



Robbies Lane/ CAPTAIN ROBBIES HOUSE 図面作製：九州大学



Original Plan

Winiferd



リビング内観



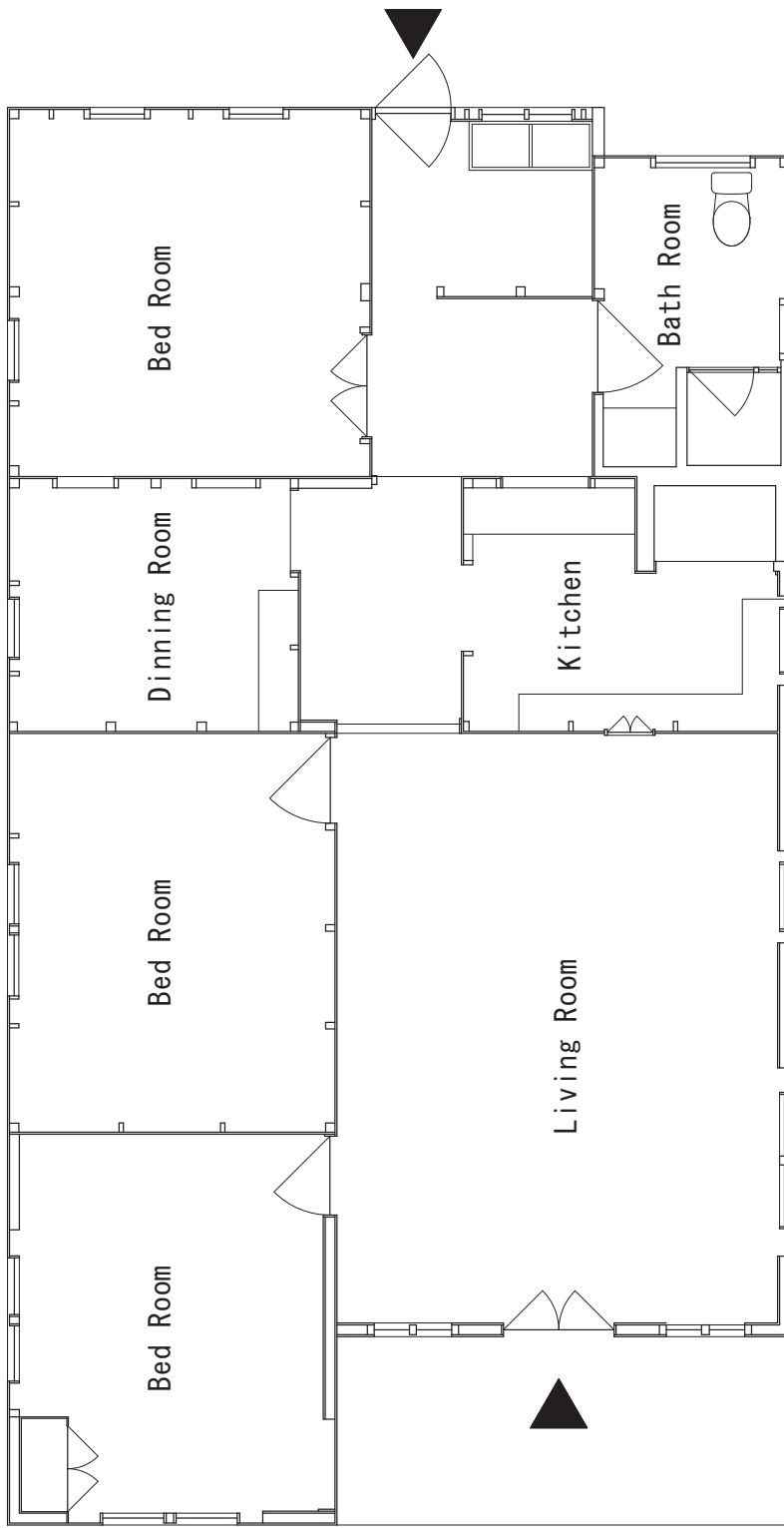
寝室内観



小屋組み



東側外観



MN01

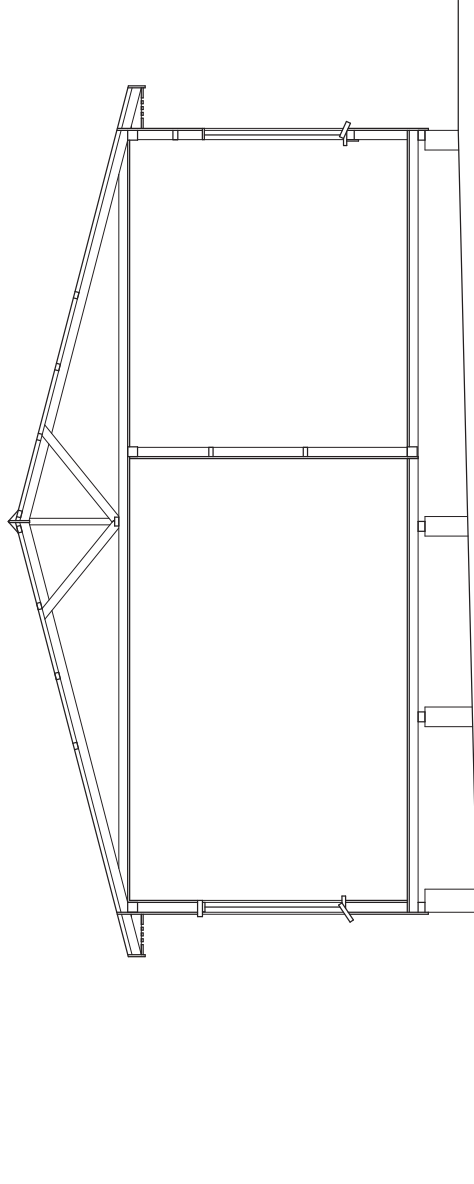
Royal Hotel – Winiferd

Floor Plan

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**MN01**

**Royal Hotel – Winifred**

Section

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



CAPTAIN VOLK



リビング内観



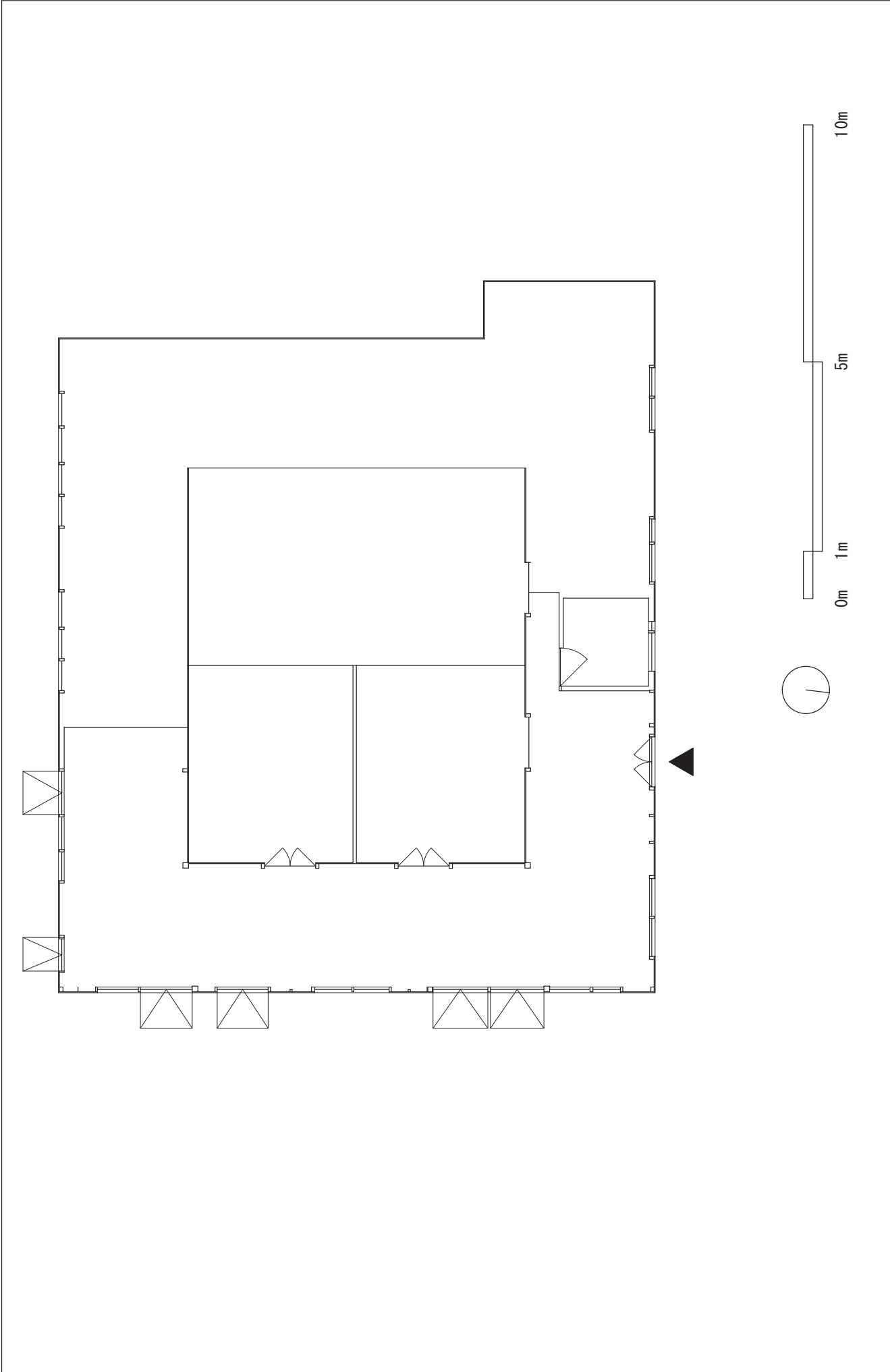
寝室内観



寝室内観

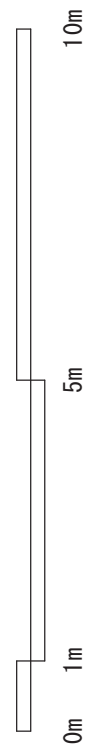
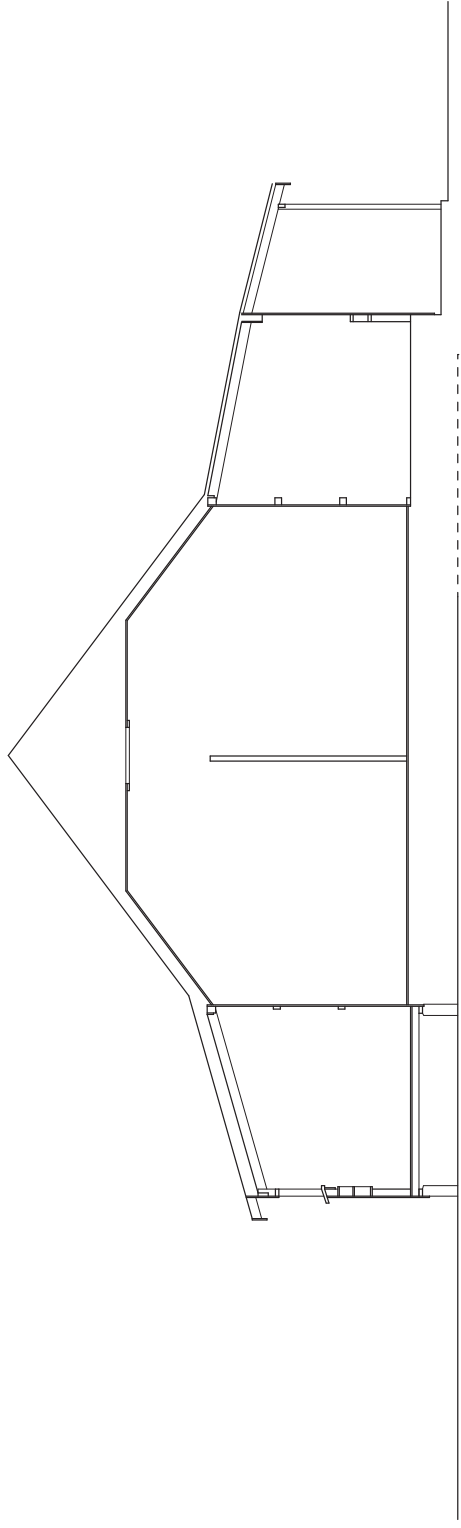


1904年撮影(Caines Jannif 所蔵)



|      |  |                       |                               |
|------|--|-----------------------|-------------------------------|
| MN01 | Royal Hotel – CAPTAIN VOLK<br>Floor Plan | Date<br>Feb. 20. 2018 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|------|--|-----------------------|-------------------------------|





|      |                            |  |               |                               |
|------|----------------------------|--|---------------|-------------------------------|
| MN01 | Royal Hotel – CAPTAIN VOLK |  | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Section                    |  | Feb. 20. 2018 |                               |

ER:MN02

Levuka Bowling Club



外觀(2007年九州大学撮影)



外觀(2007年九州大学撮影)

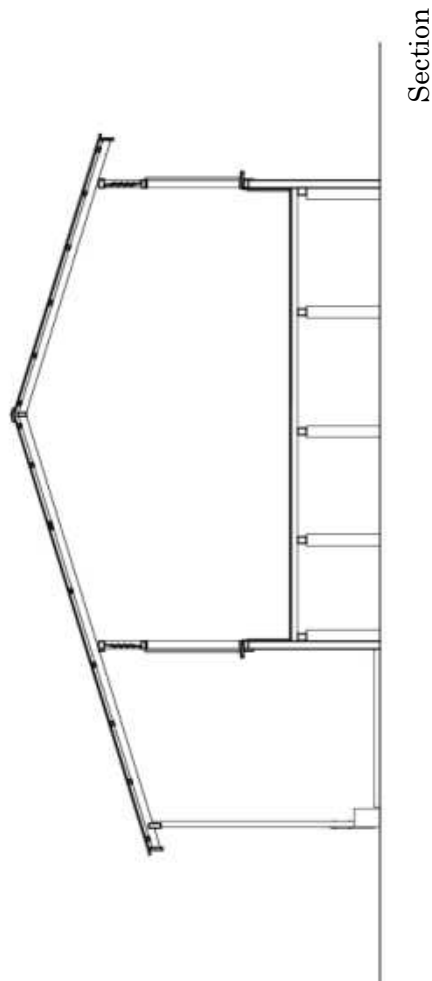
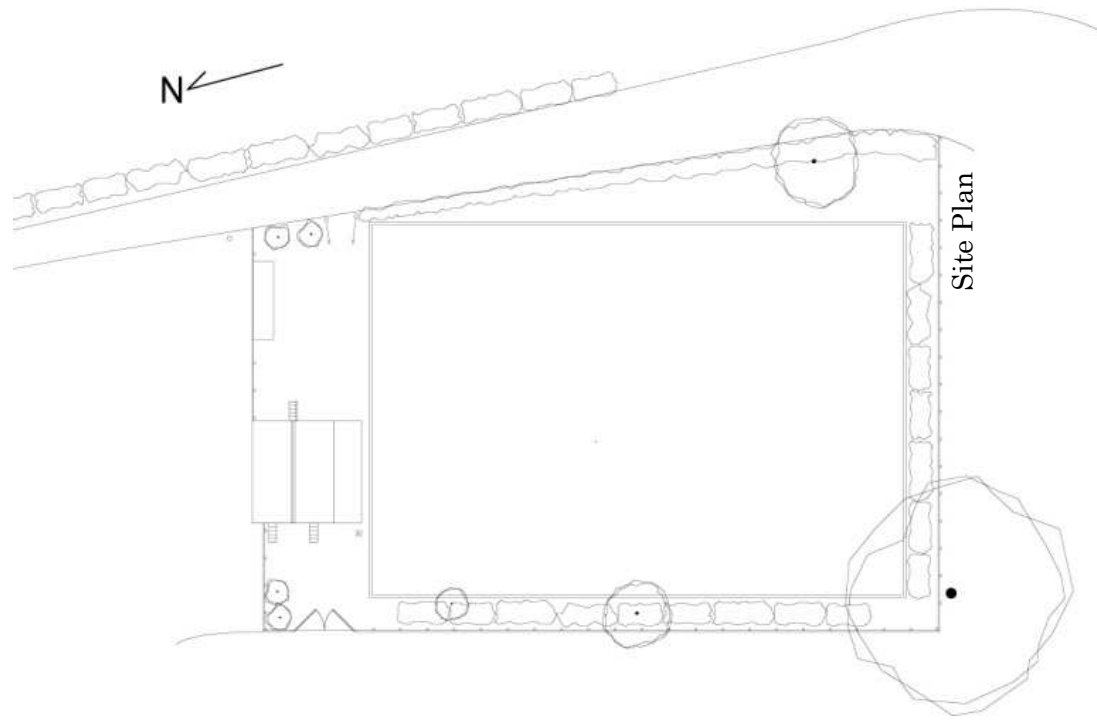


外觀(2007年九州大学撮影)



1949年撮影(National Archive 所蔵)

ER:mn02 Levuka Bawling Club 図面作製：九州大学





ER:MN03

Lodge Polynesia Masonic Hall



外觀(2007年九州大学撮影)



外觀(2007年九州大学撮影)

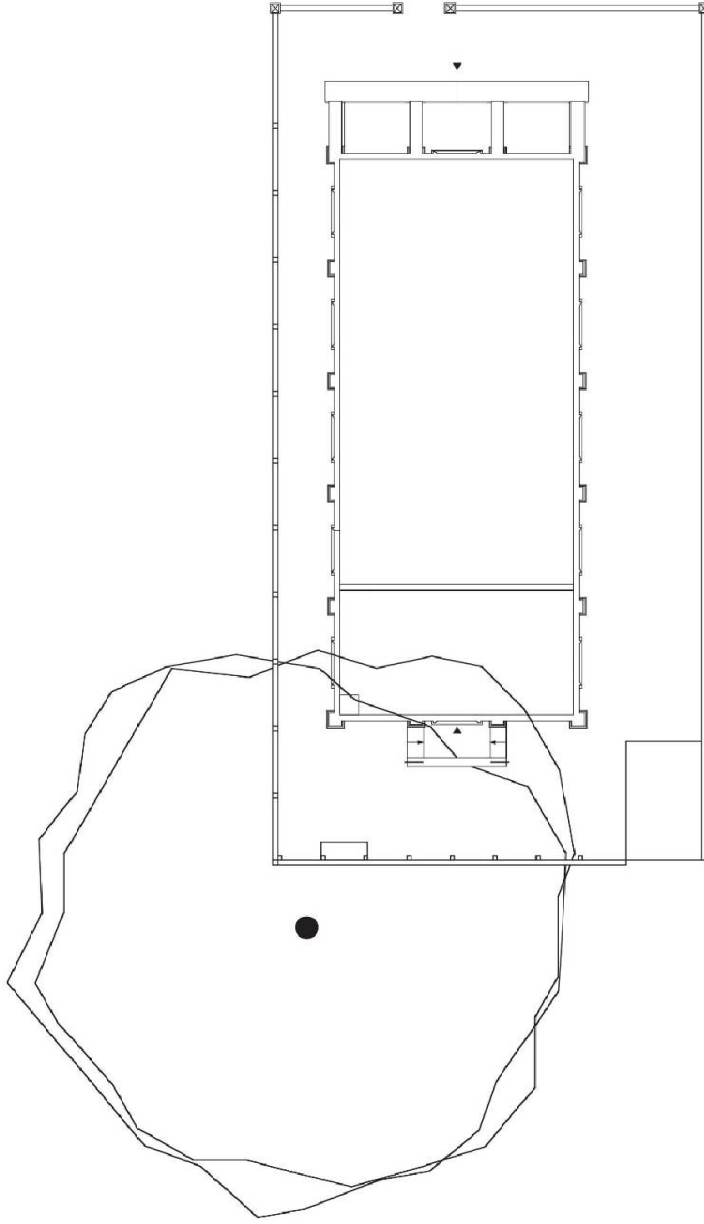


外觀(2007年九州大学撮影)



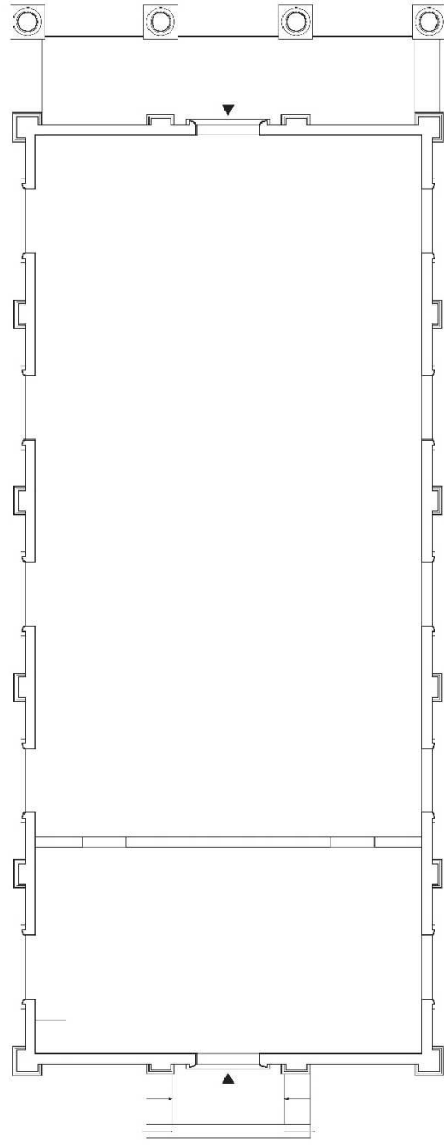
1967年撮影(National Archive 所蔵)

ER:mn03 Lodge Polynesia Masonic Hall 図面作製：九州大学

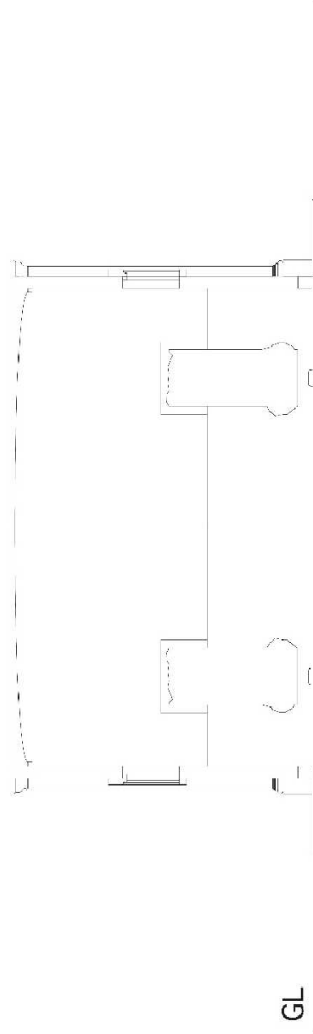


Site Plan

Lodge Polynesia Masonic Hall 図面作製：九州大学



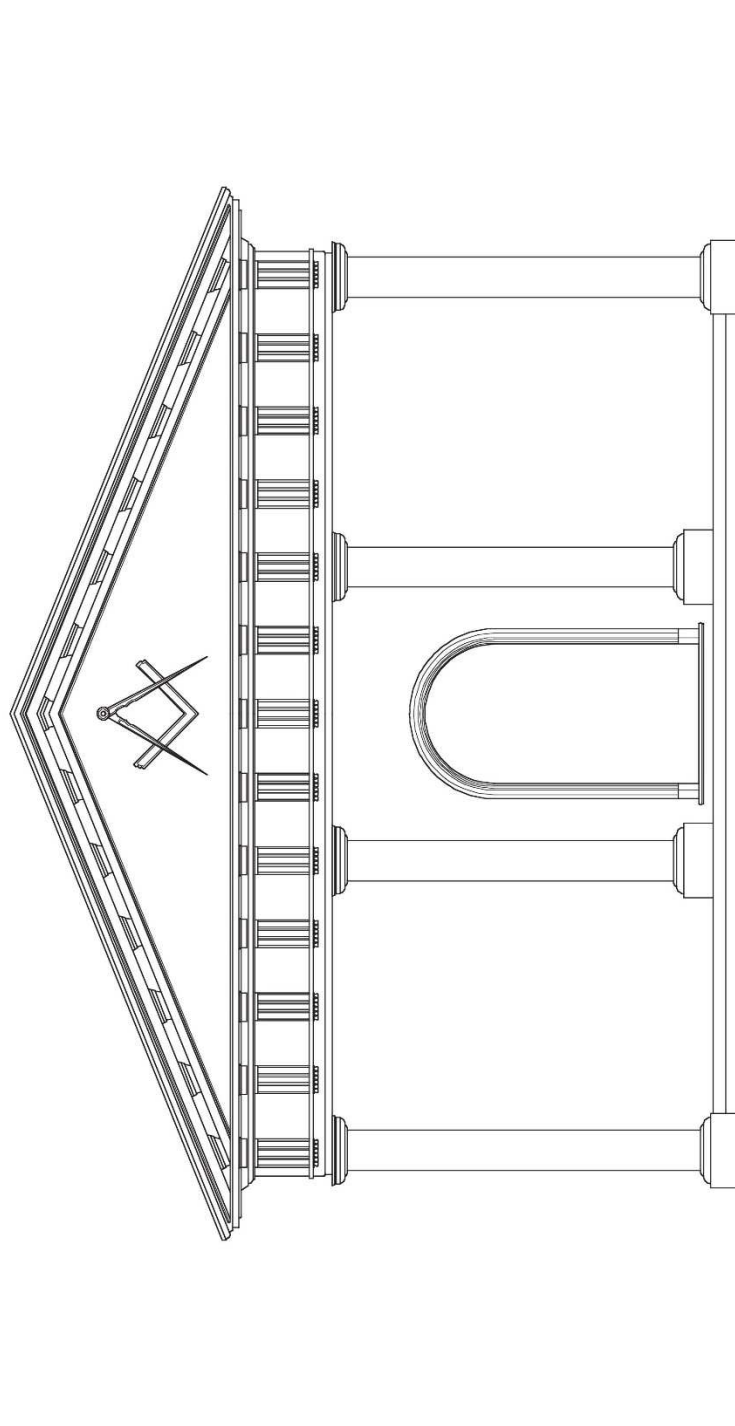
Original Plan



Section



Lodge Polynesia Masonic Hall 図面作製：九州大学



Elevation

ER:MN04

Levuka Town Hall



ホール内観  
(久留米工業大学 大森洋子 撮影)



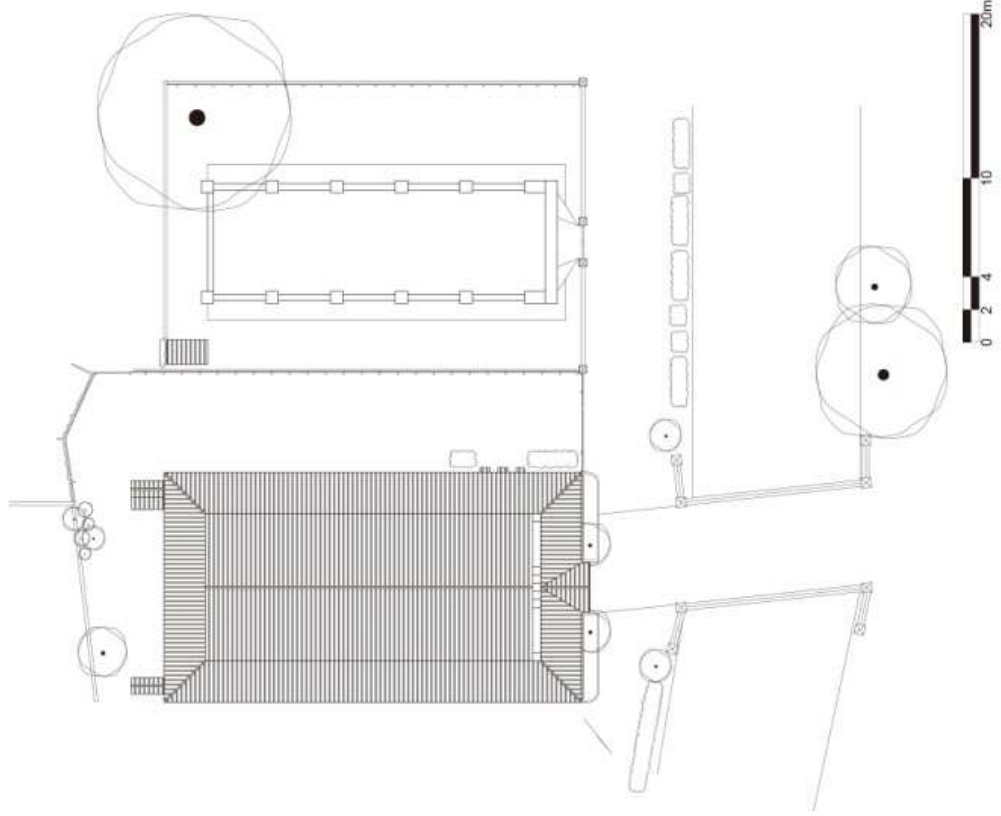
内観



北側外観

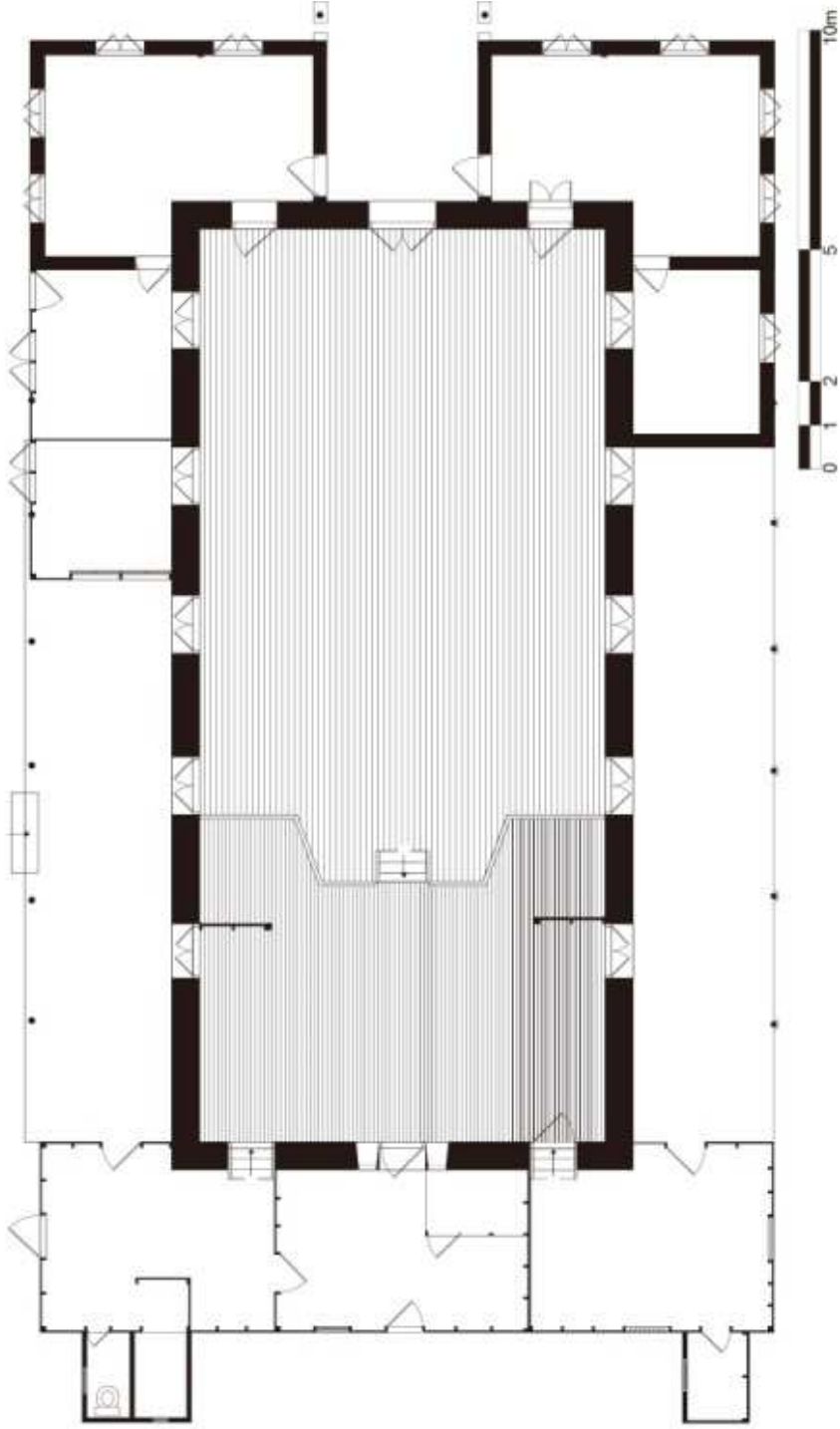


ベランダ



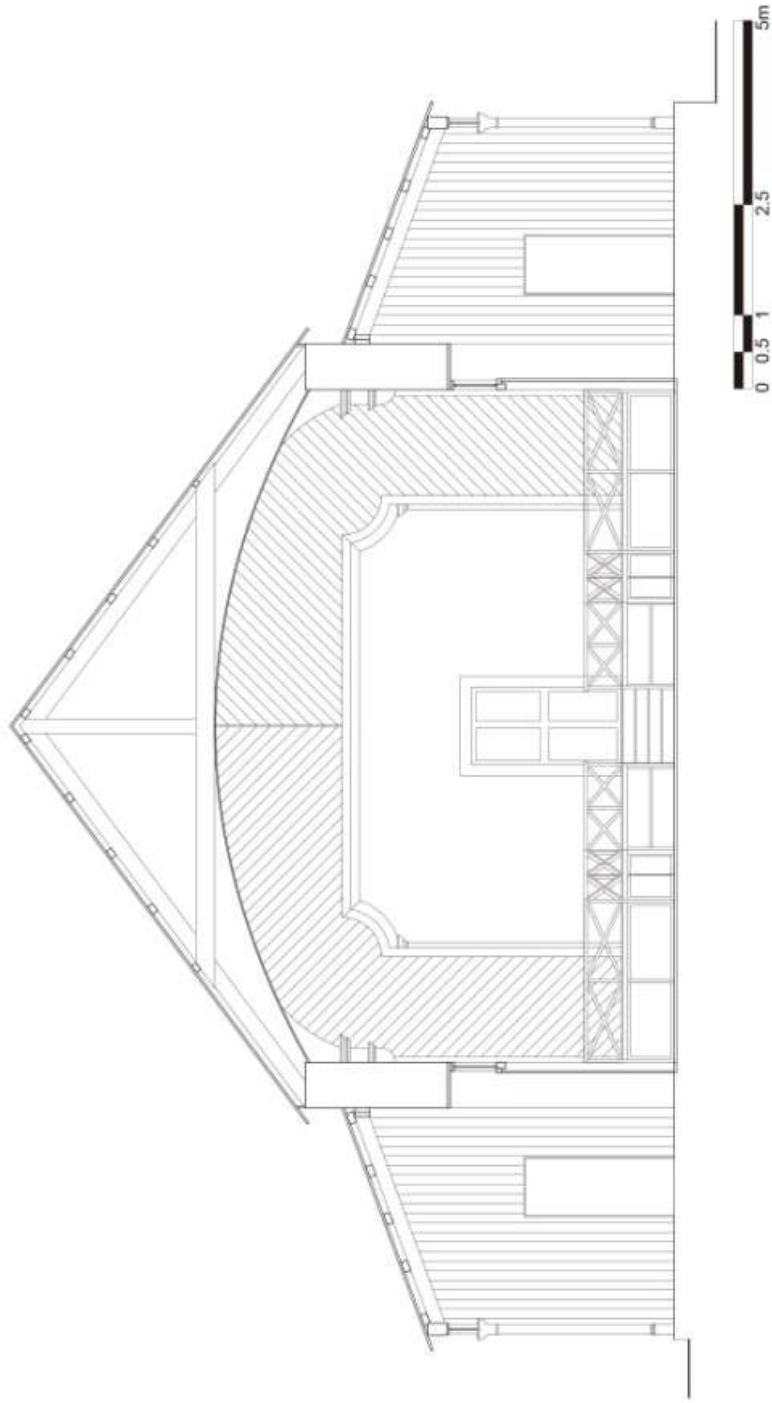
Site Plan

Levuka Town Hall 図面作製：九州大学



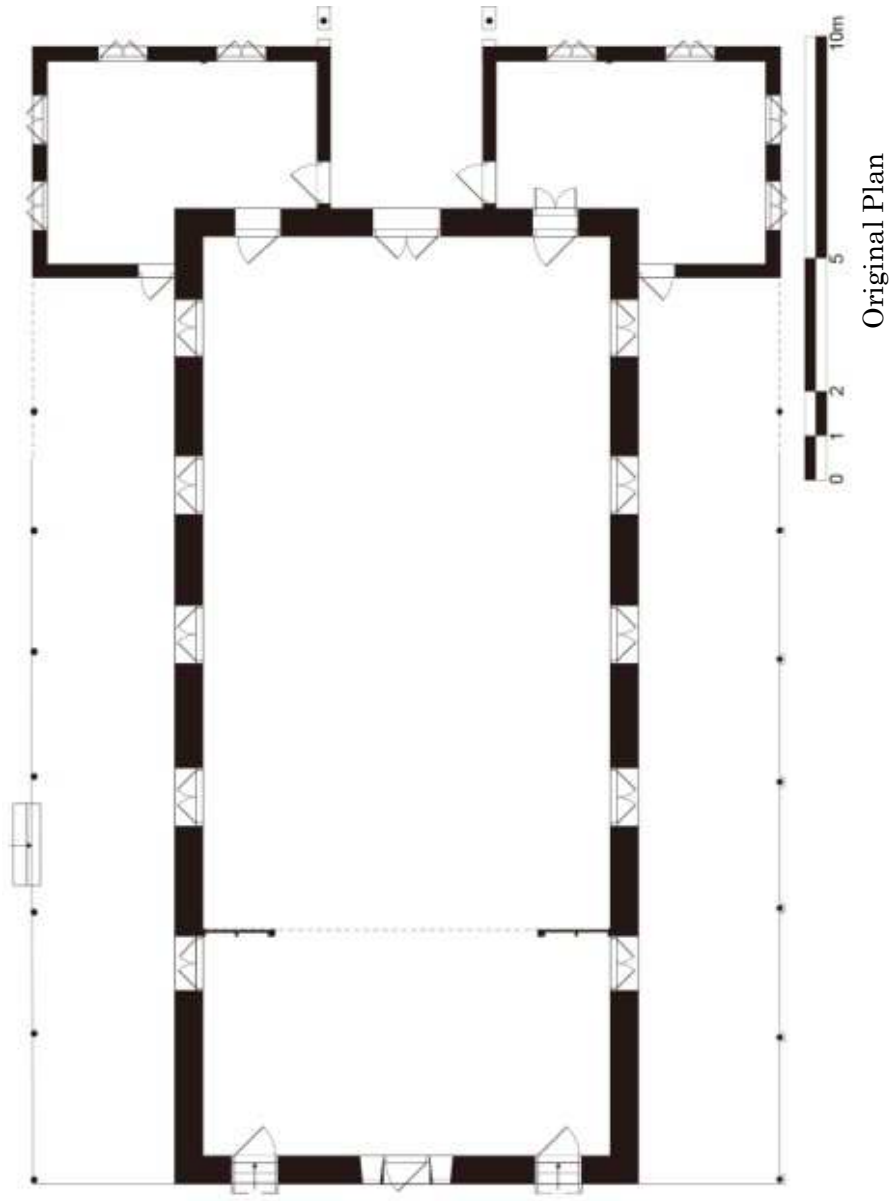
Floor Plan

Levuka Town Hall 図面作製：九州大学



Section

Levuka Town Hall 図面作製：九州大学





ER:MN05

Ovalau Club



バルコニーからダーツルームを臨む



サービスルーム

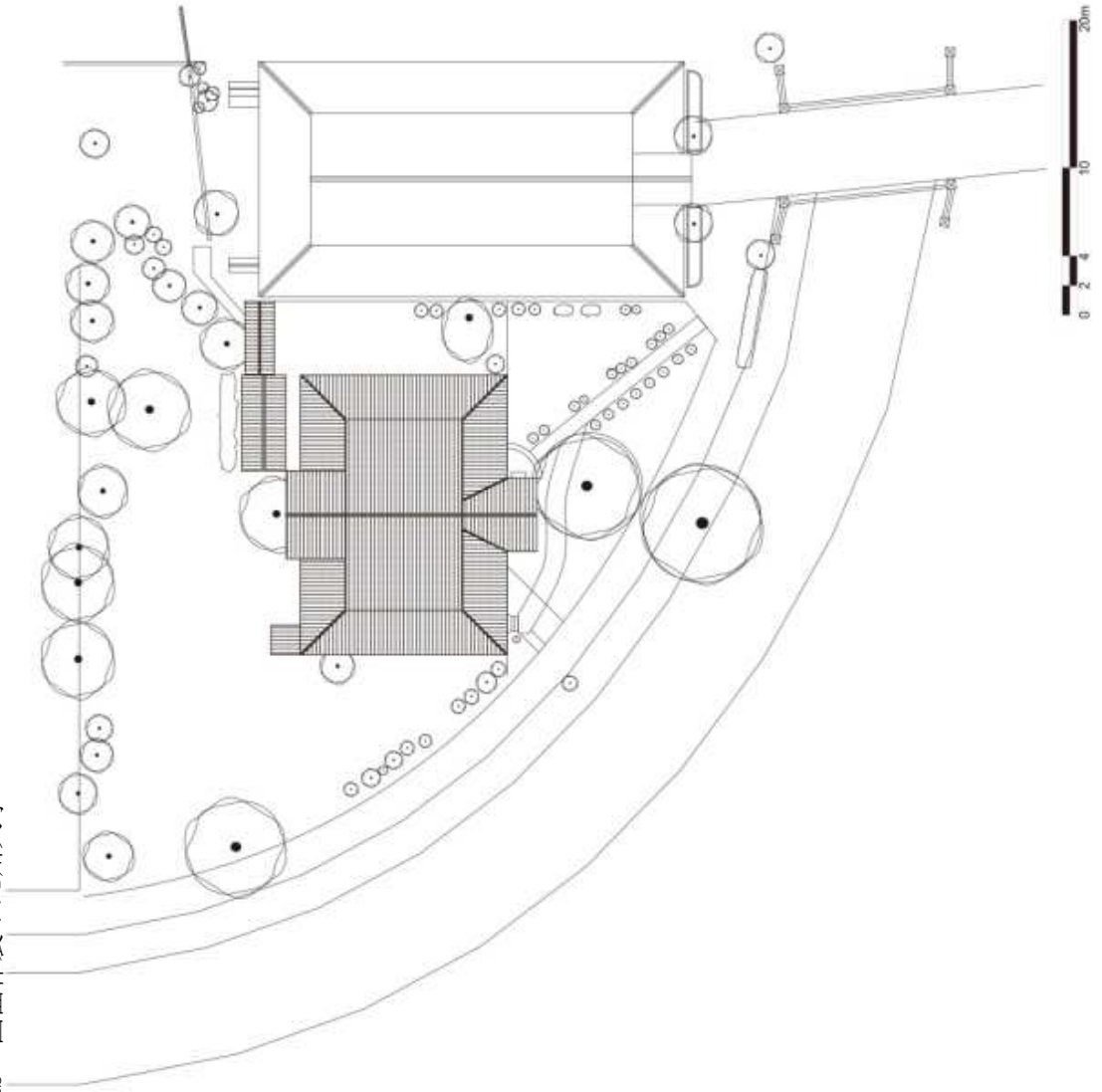


スヌーカールーム



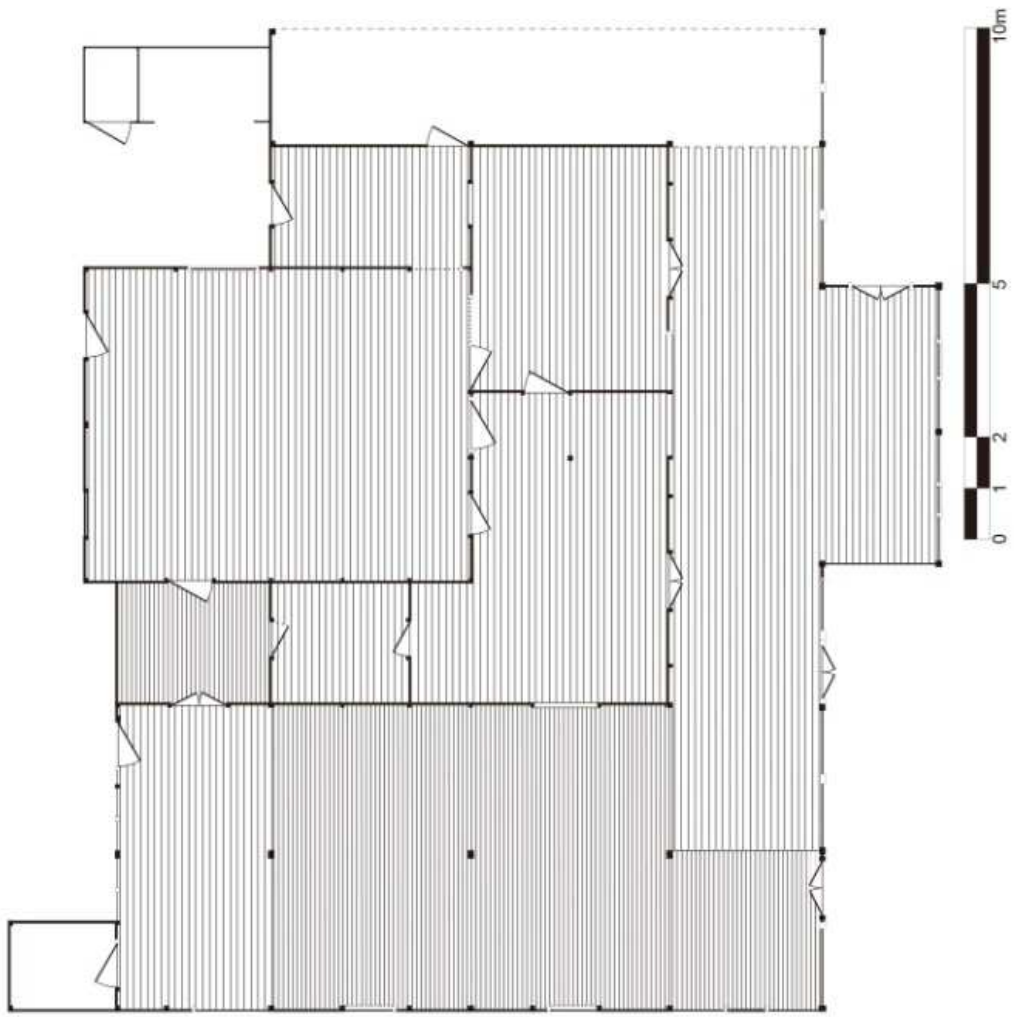
撮影年不明(Caines Jannif 所蔵)

ER-MN05 Ovalau Club 図面作製：九州大学

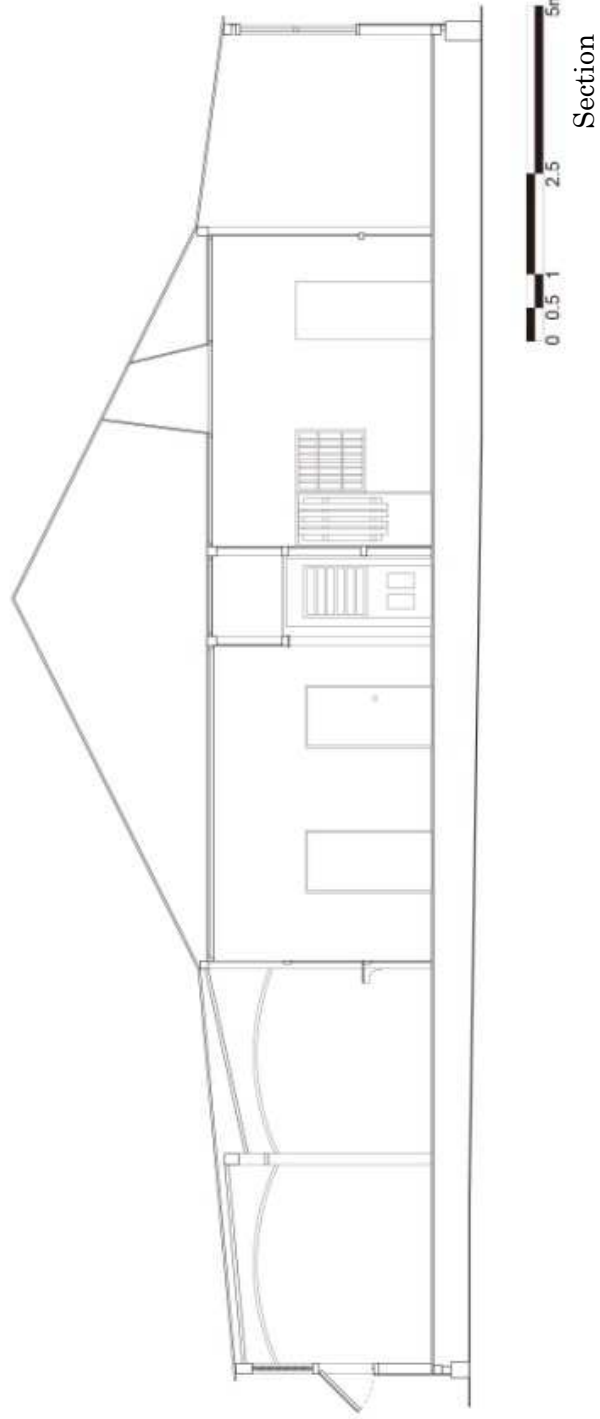


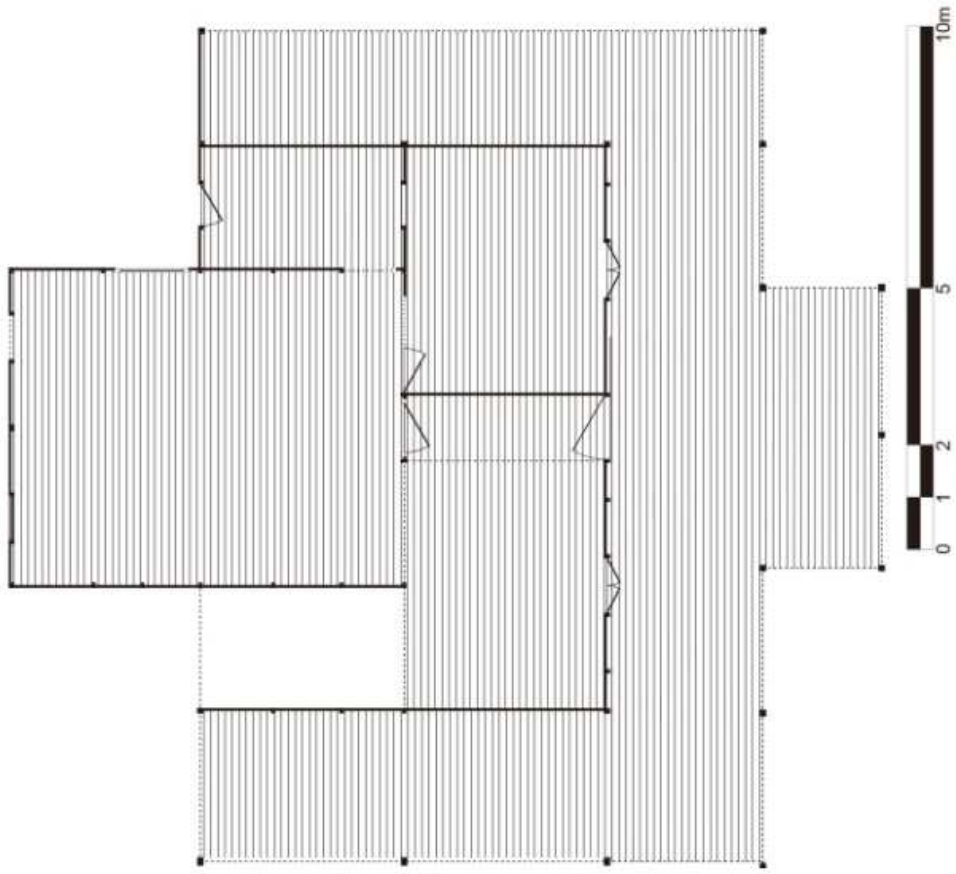
Site Plan

Ovalau Club 図面作製：九州大学



Ovalau Club 図面作製：九州大学





Original Plan



ER:MN06

O. C. Home



リビング内観



リビング内観



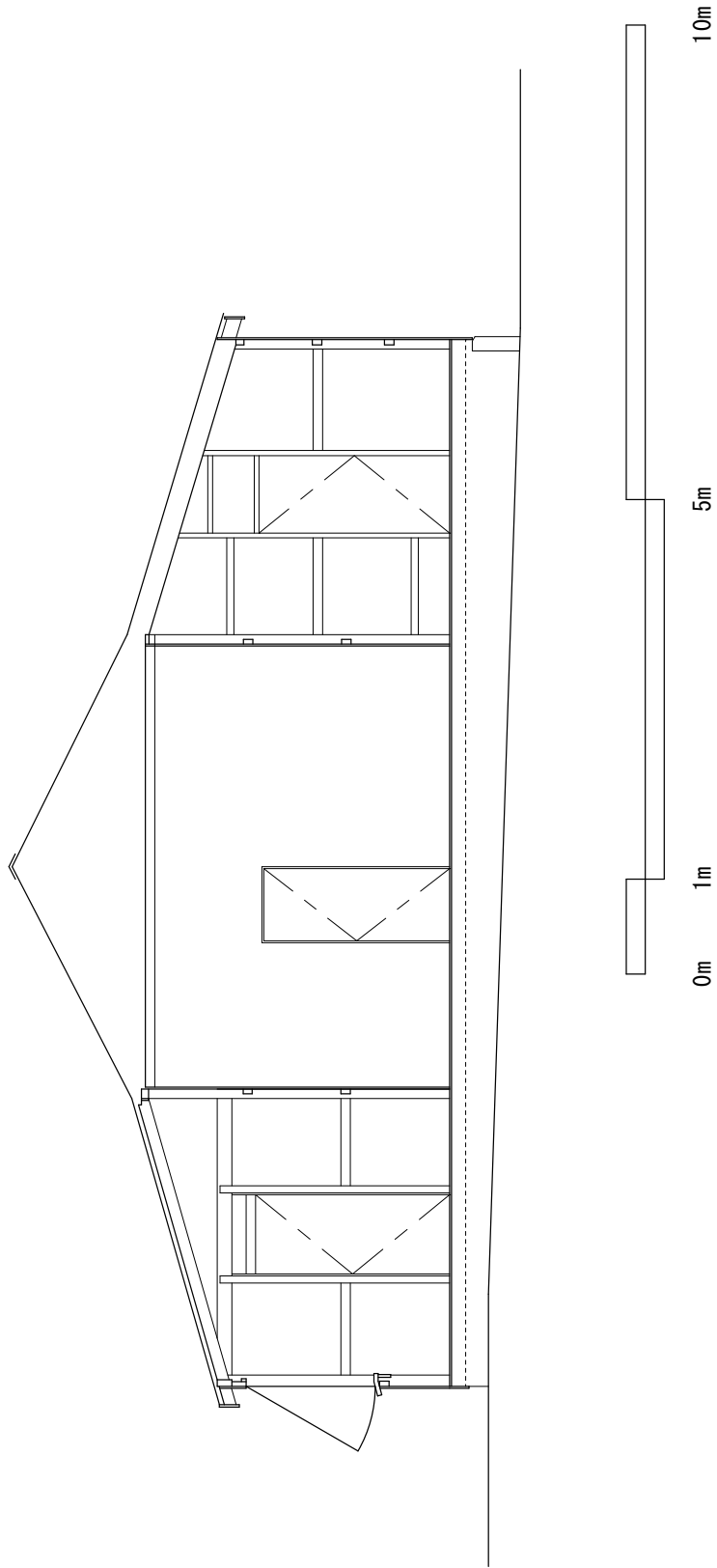
ダイニング内観  
(久留米工業大学 大森洋子 撮影)



西側外観  
(久留米工業大学 大森洋子 撮影)







MN06

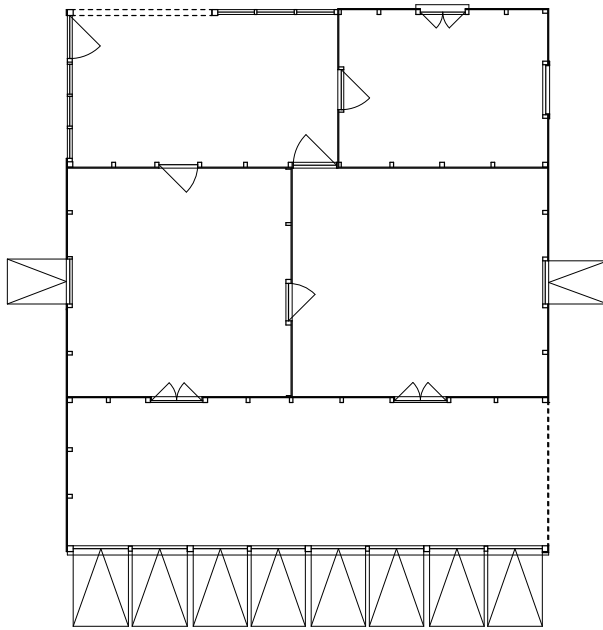
O. C. Home

Section

Date

Feb. 21. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MN06

O. C. Home

Original Plan

Date

Feb. 21. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MN07

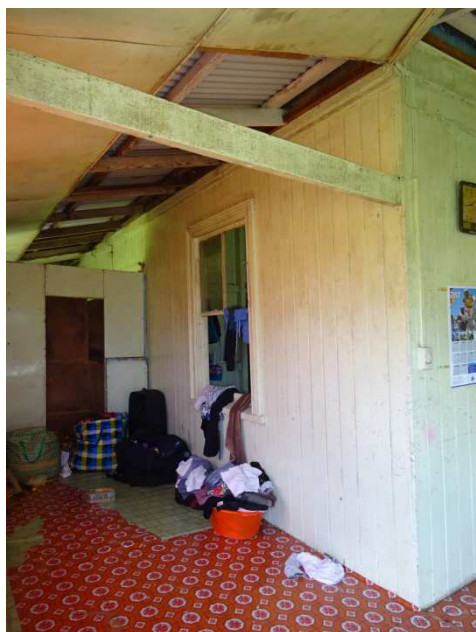
Josese Wivou



リビング内観



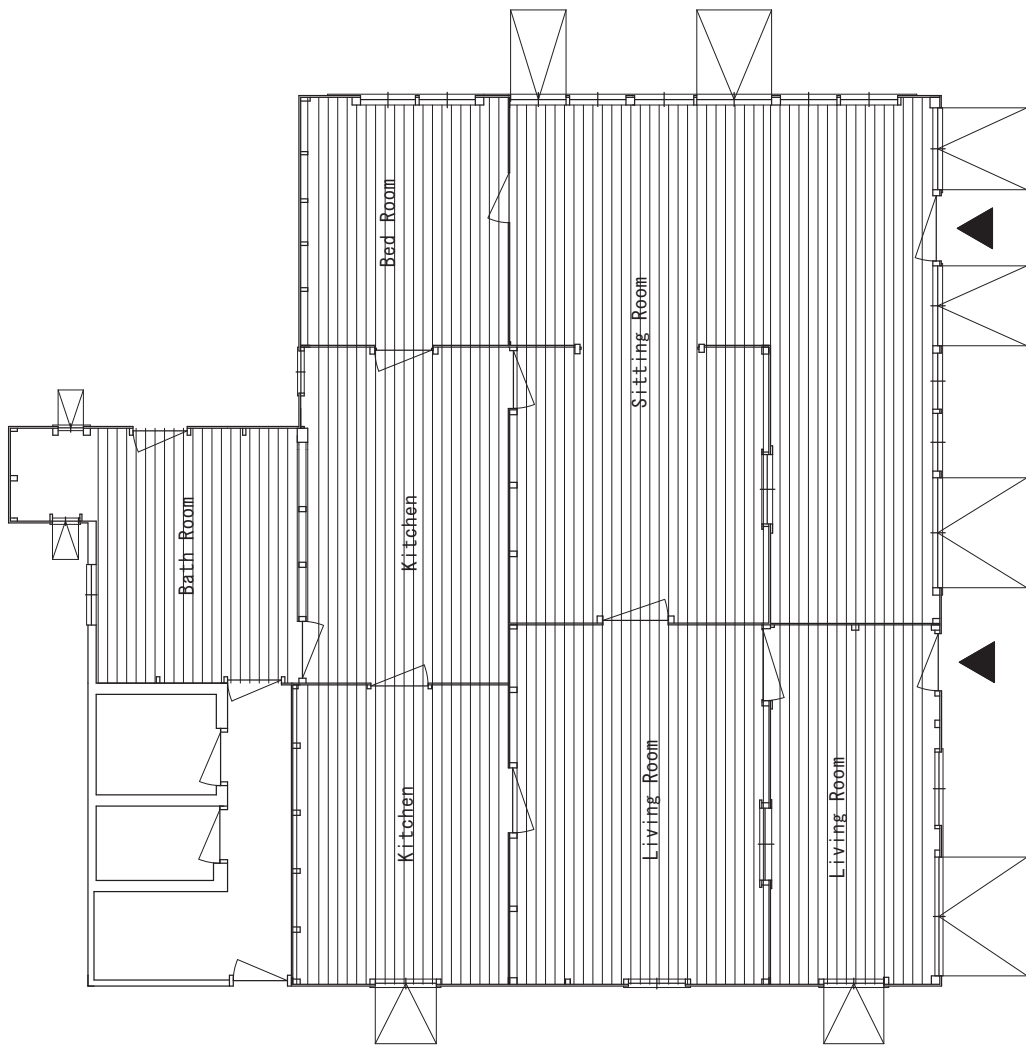
リビング内観



リビング内観



リビング内観



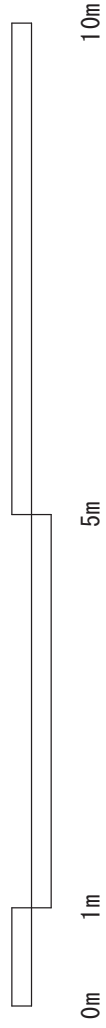
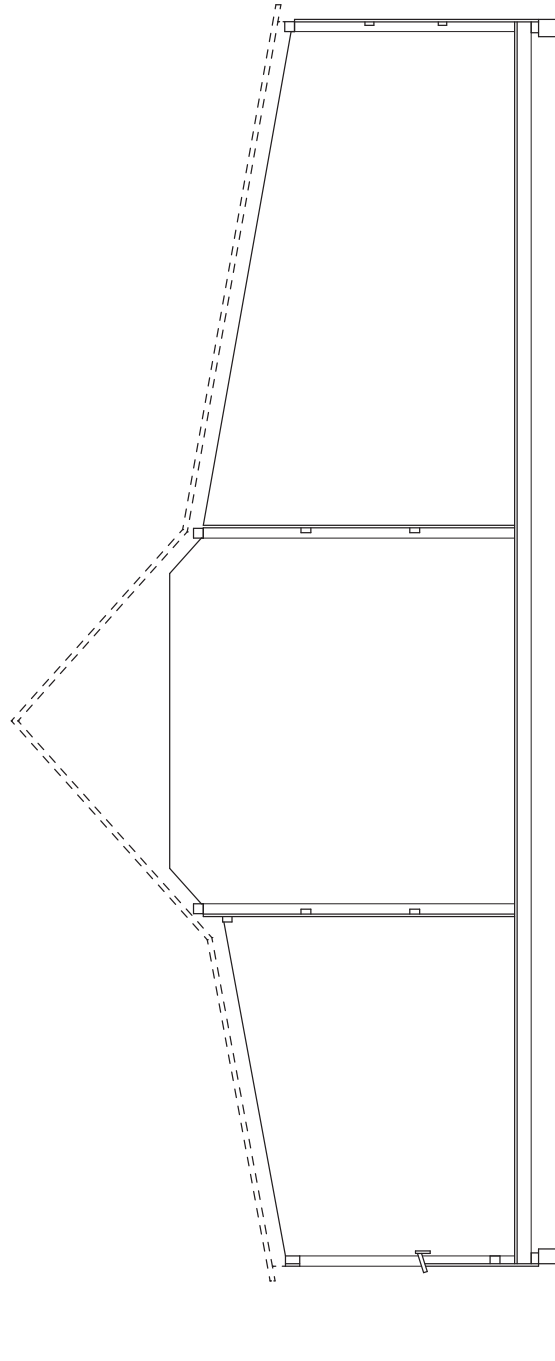
MN07

Josese Wivou  
Floor Plan

Date

Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MN07

Josese Wivou

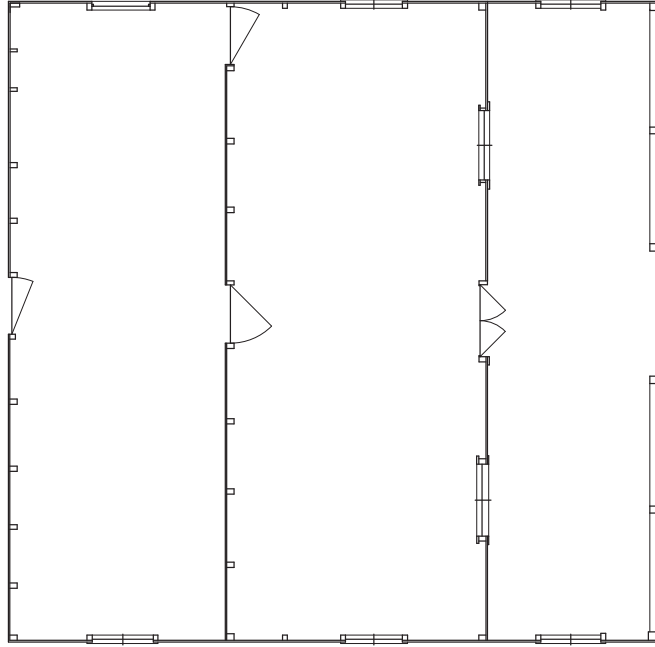
Section

Date

Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





0m 1m 5m 10m

**MN07**

**Josese Wivou**  
Original Plan

Date

Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-MN08

Lily Vesikula



周辺室内観



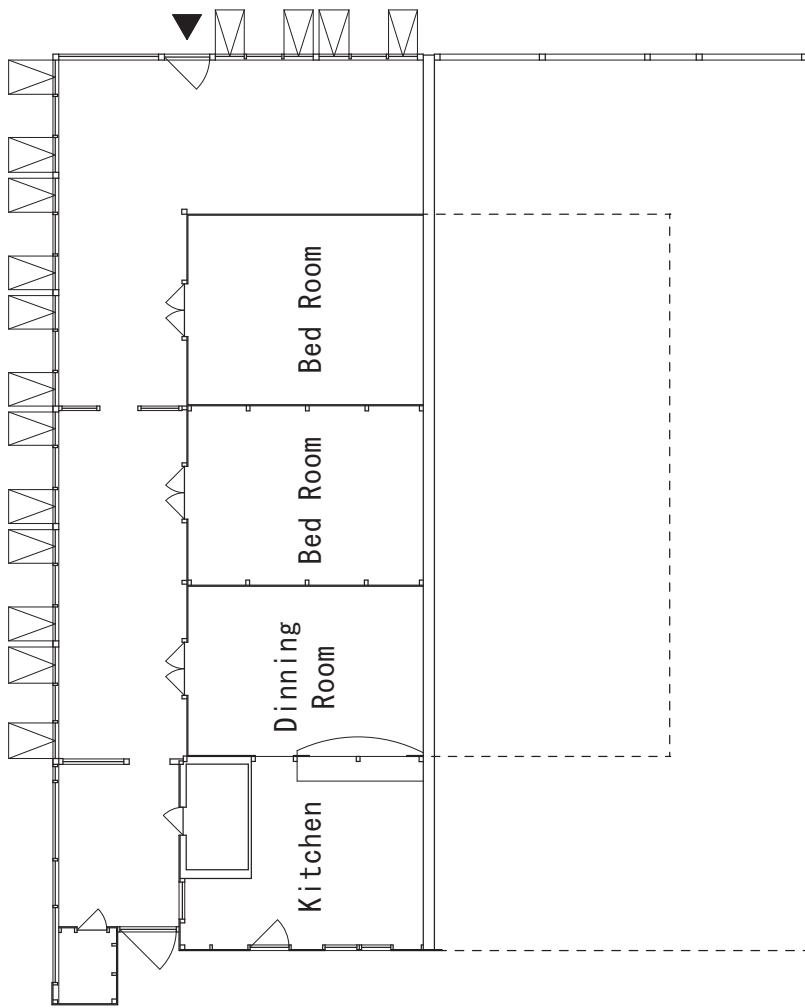
周辺室内観



寝室内観



北側外観



MN08

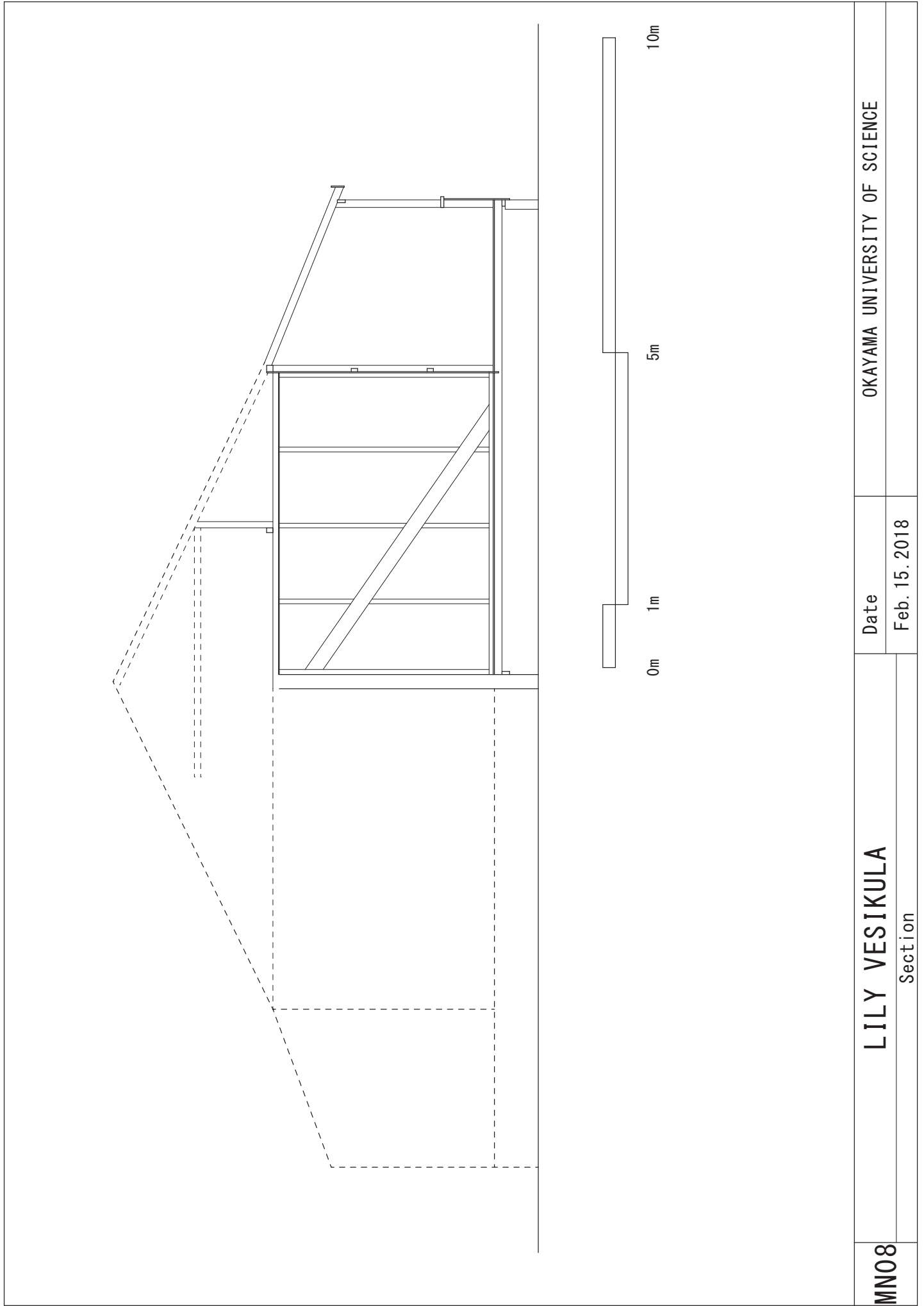
LILY VESIKULA

Floor Plan

Date

Feb. 15. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MN08

LILY VESIKULA

Section

Date

Feb. 15. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

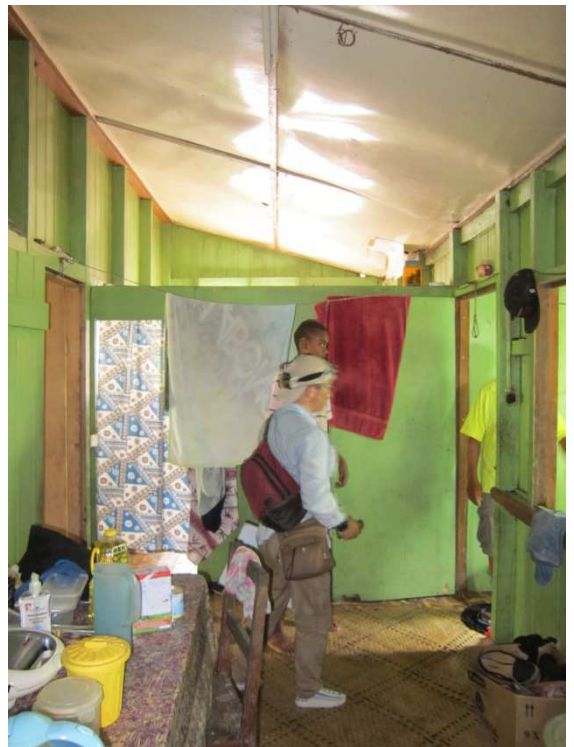


ER:MN09

Sam Young



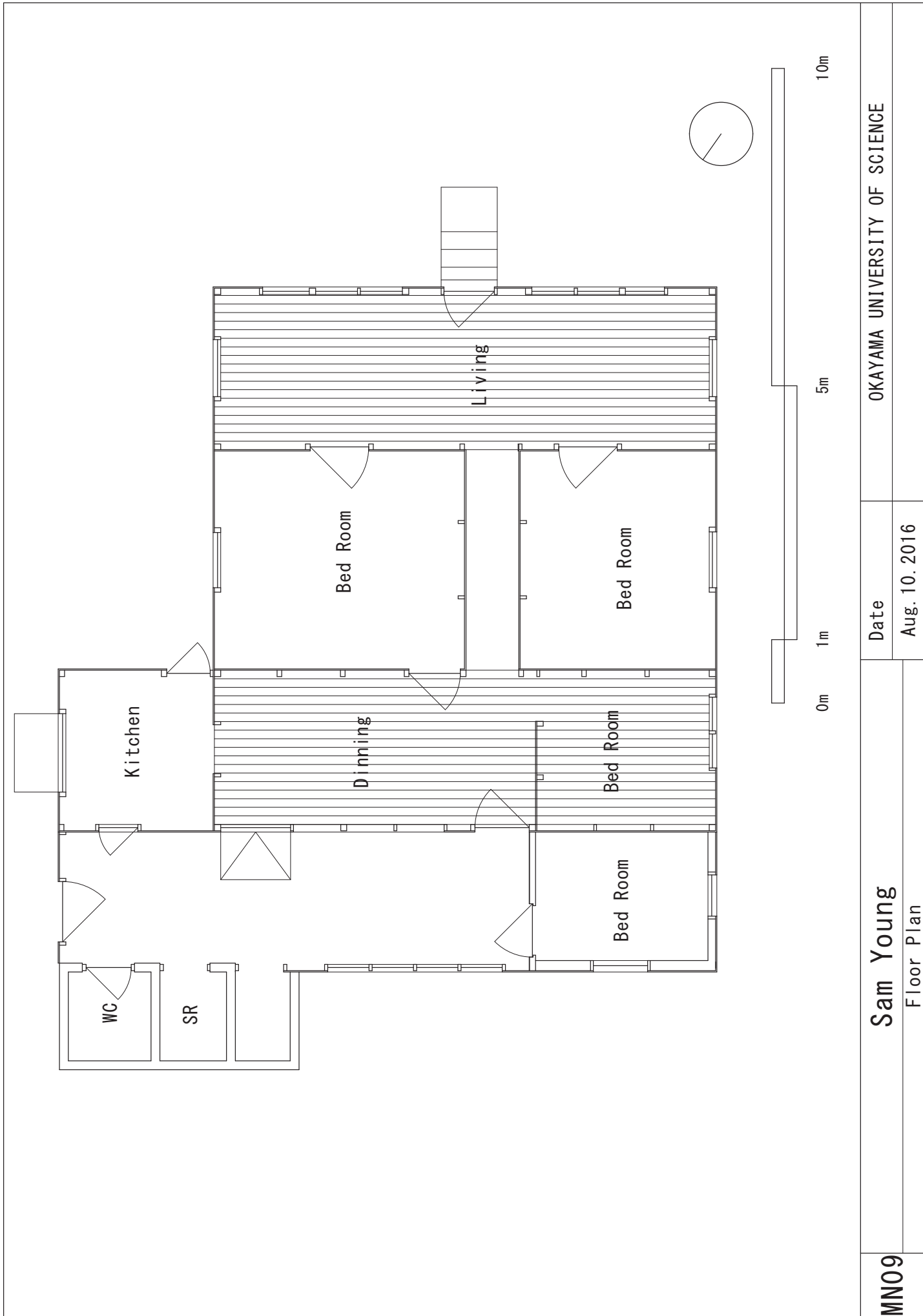
西側外観



ダイニング内観

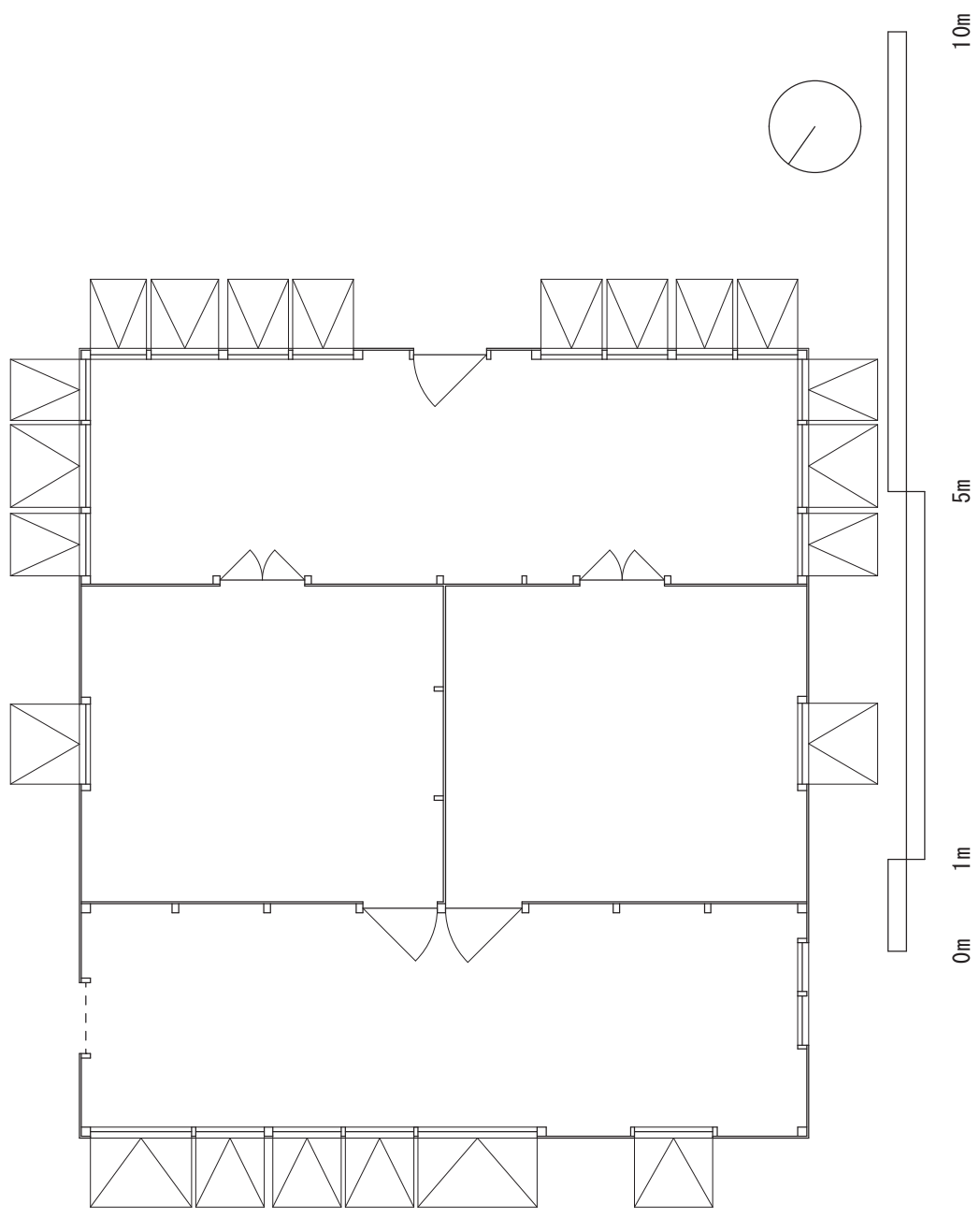


リビング内観

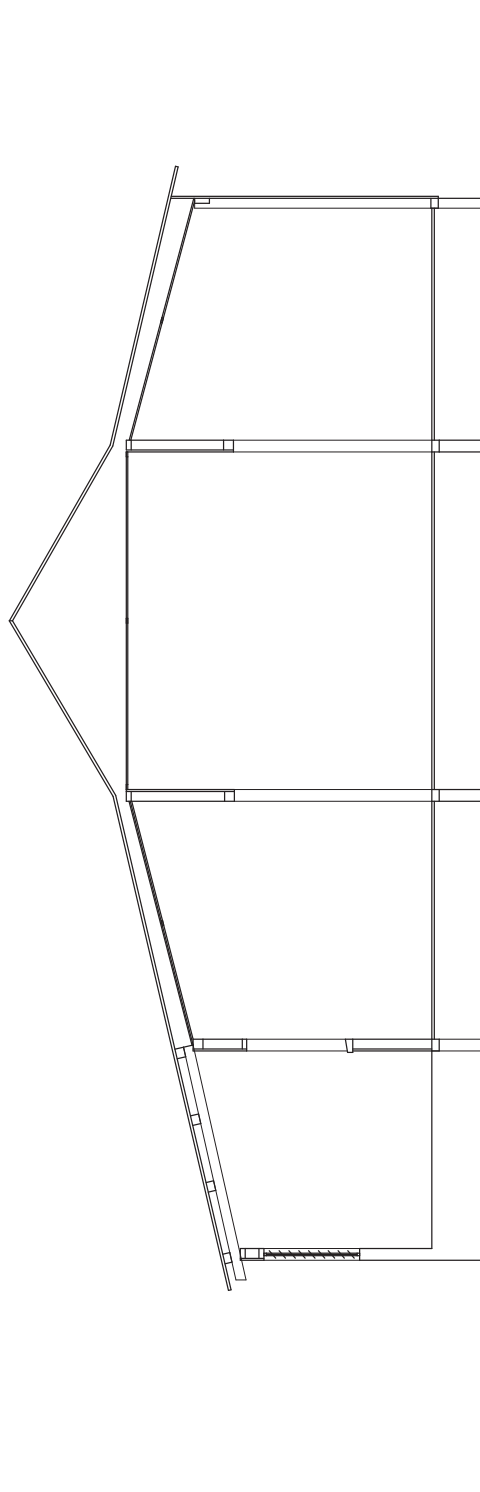


|      |            |      |                               |
|------|------------|------|-------------------------------|
| MN09 | Sam Young  | Date | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Floor Plan |      |                               |





|      |               |      |                               |
|------|---------------|------|-------------------------------|
| MN09 | Sam Young     | Date | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Original Plan |      |                               |



MN09

Sam Young

Section

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER-MN10

Laisiasa Merumeru



周辺室内観



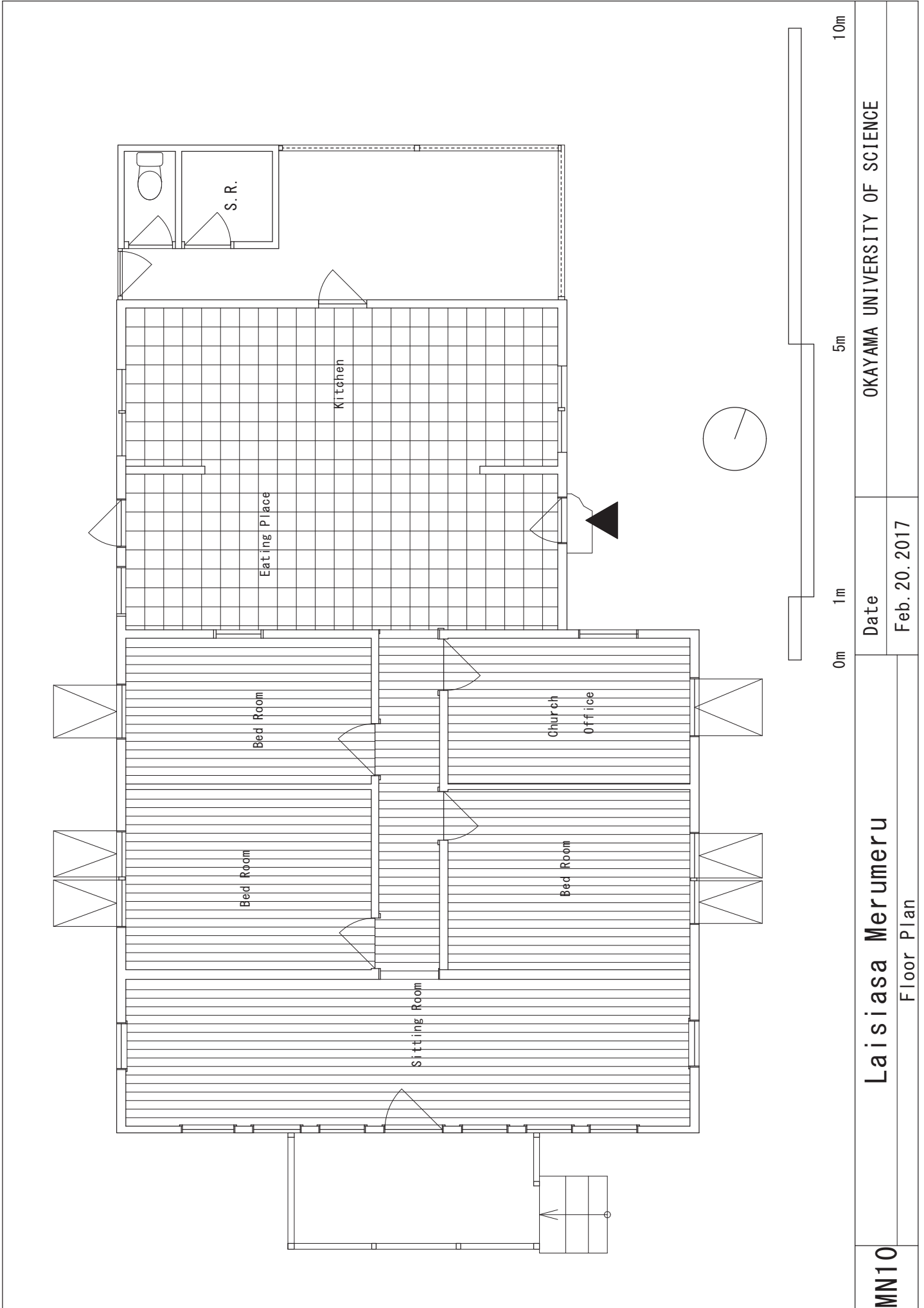
寝室内観



台所内観



台所外観



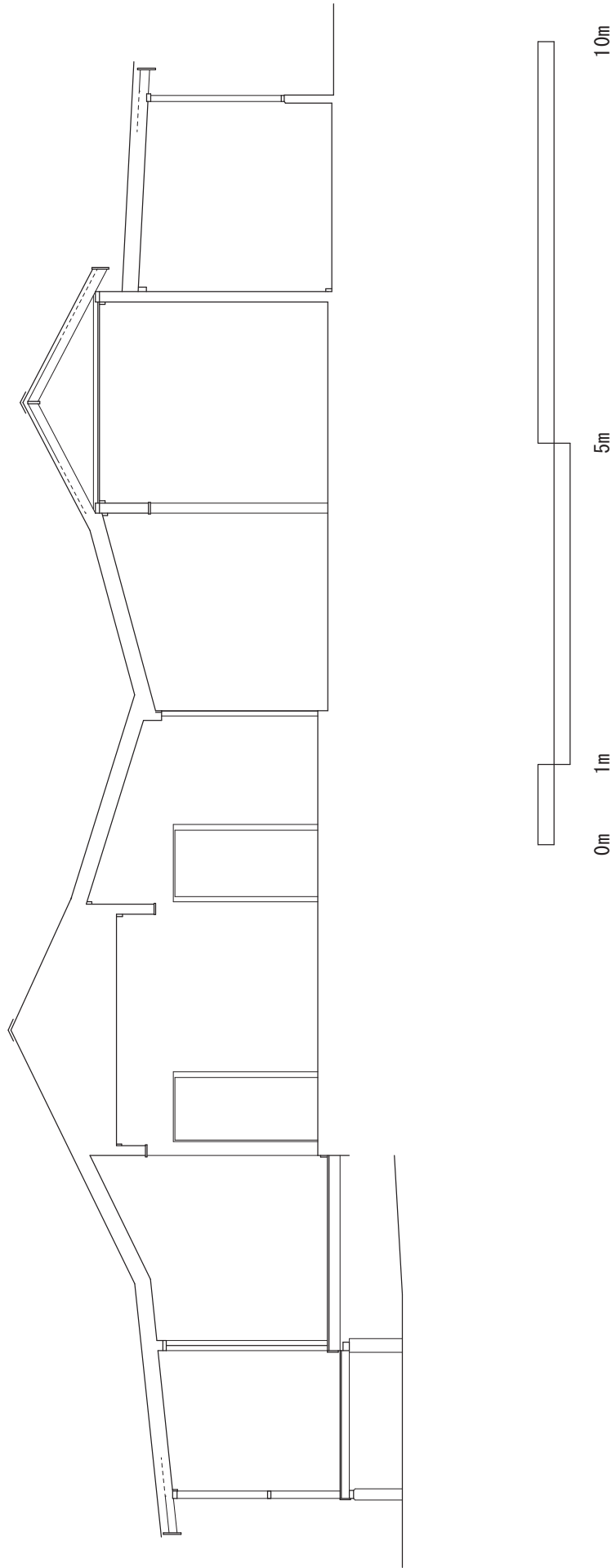
MN10

Laisiasa Merumeru  
Floor Plan

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**MN10**

**Laisiasa Merumeru**

Section

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:MN11

Sakiusa Vidi



ベランダ内観



寝室内観

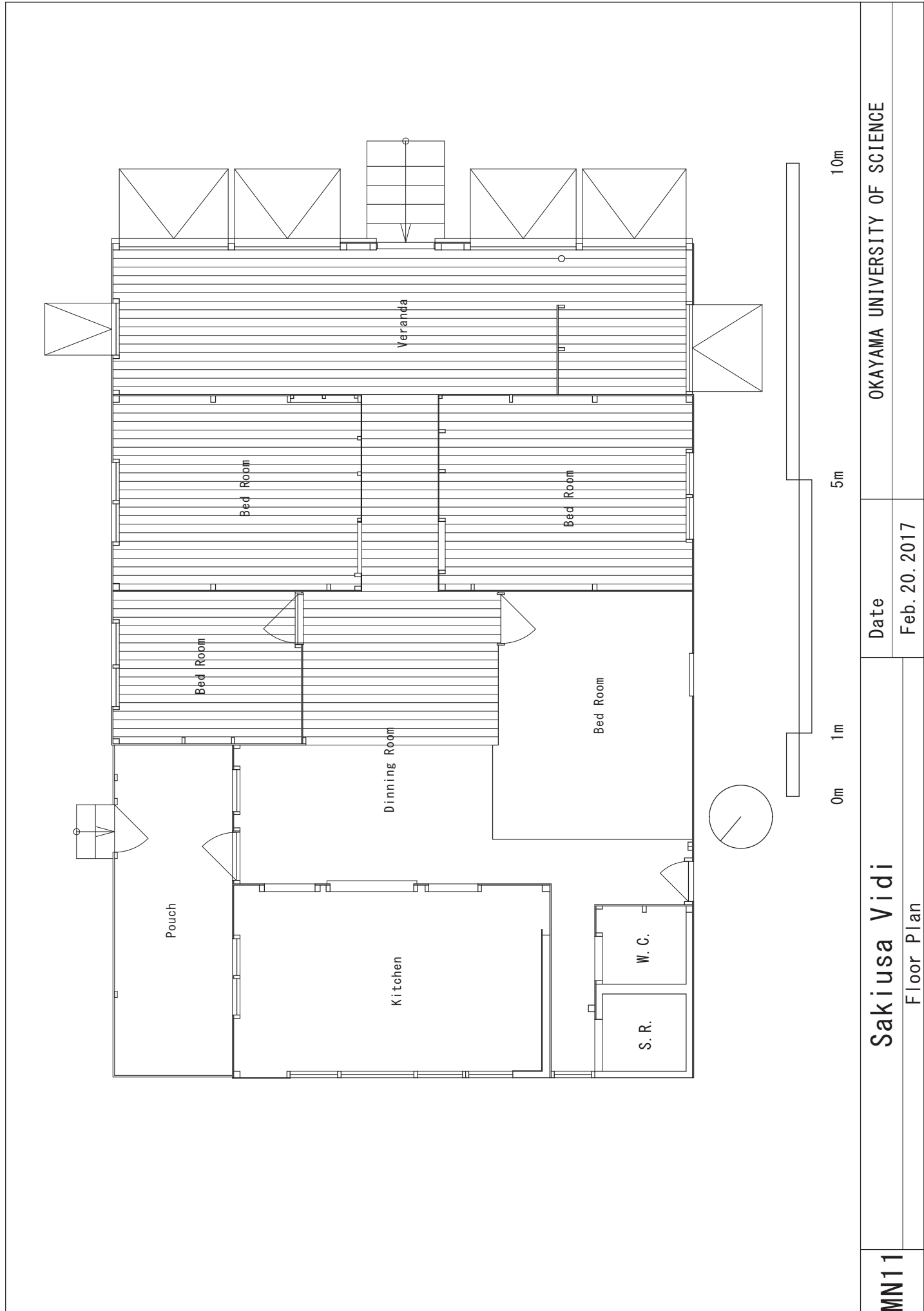


ダイニング内観



屋根外観





**MN11**

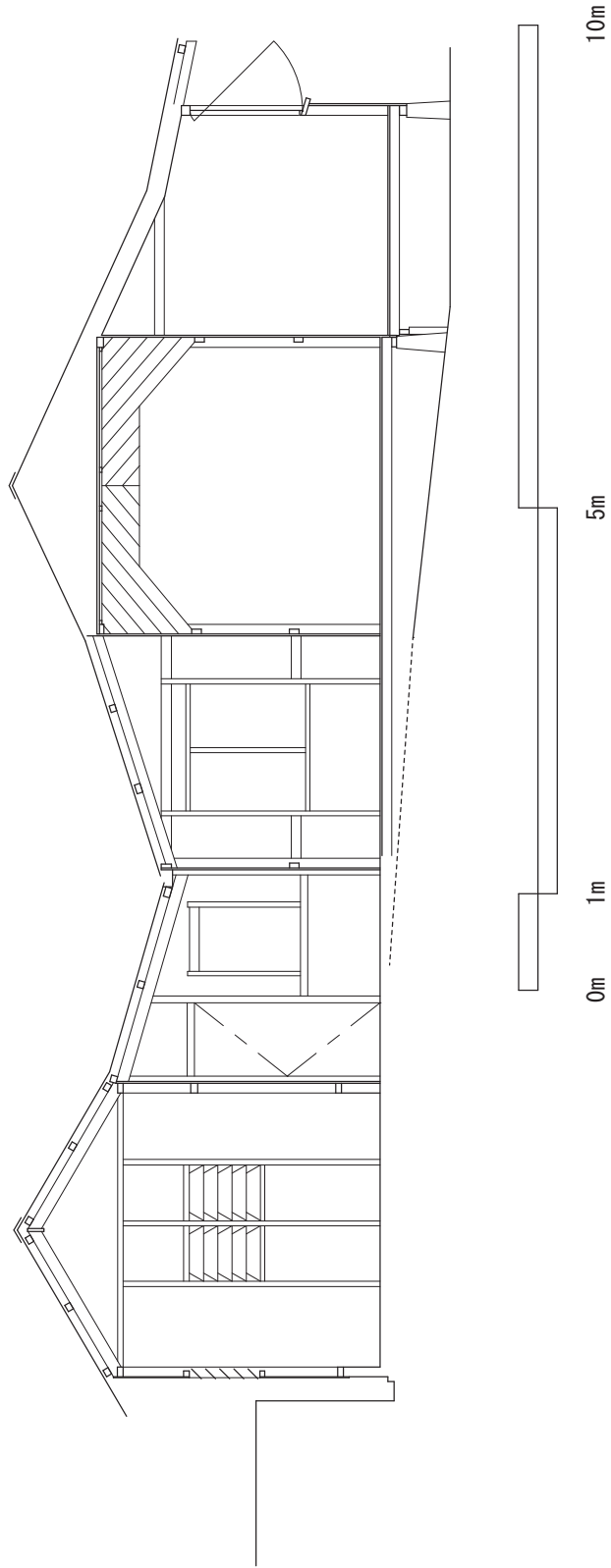
**Sakiusa Vidi**

Floor Plan

Date

Feb. 20. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



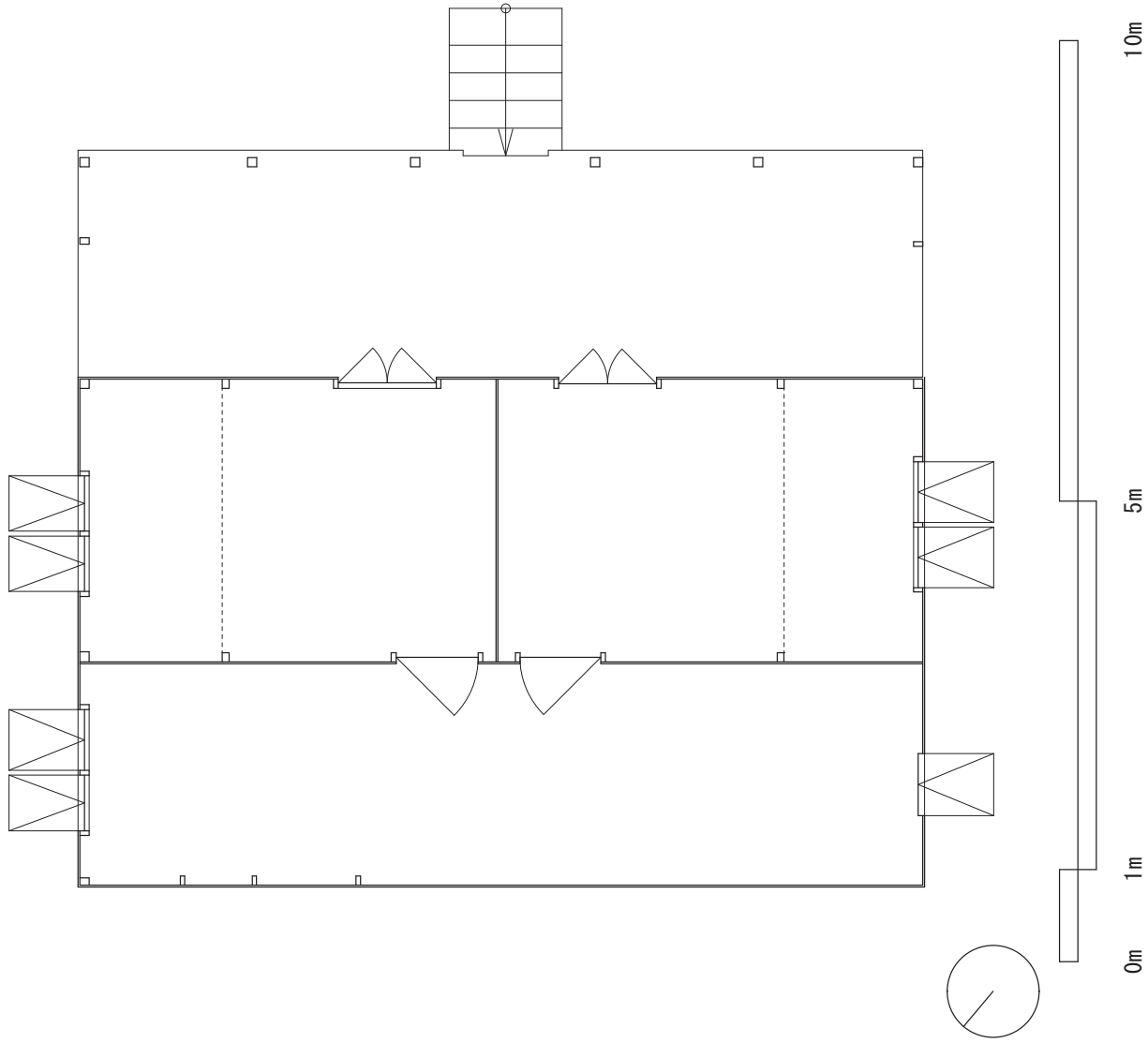
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 20. 2017

Sakiusa Vidi

Section

MN11



**MN11**

**Sakiusa Vidi**

Original Plan

Date

Feb. 20. 2017

**OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE**

ER:MN12

ILOVI Tikoicolo



西棟リビング内観



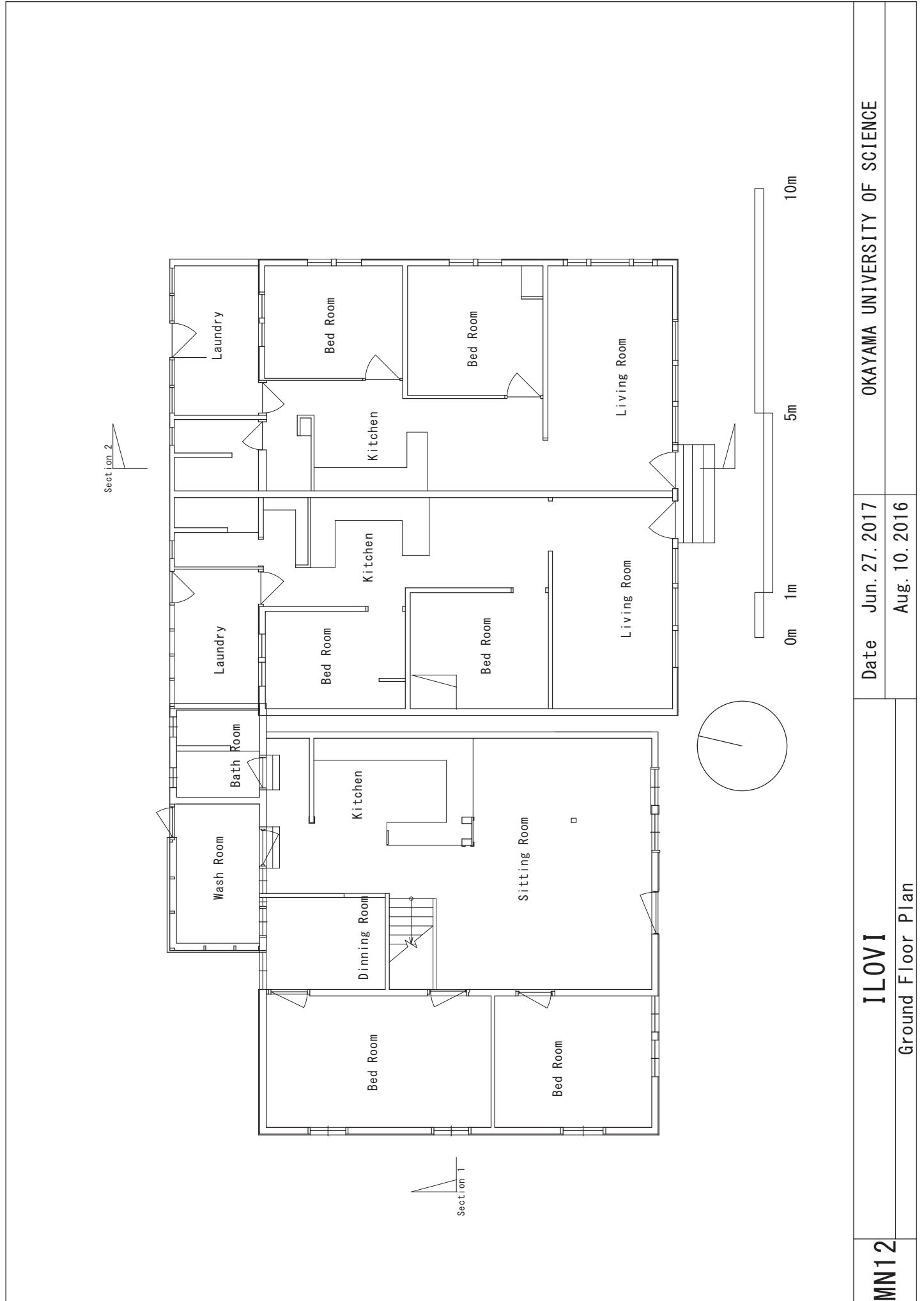
西棟2階



東棟西側リビング内観



東棟東側リビング内観



MN12

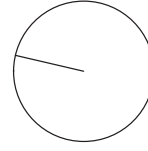
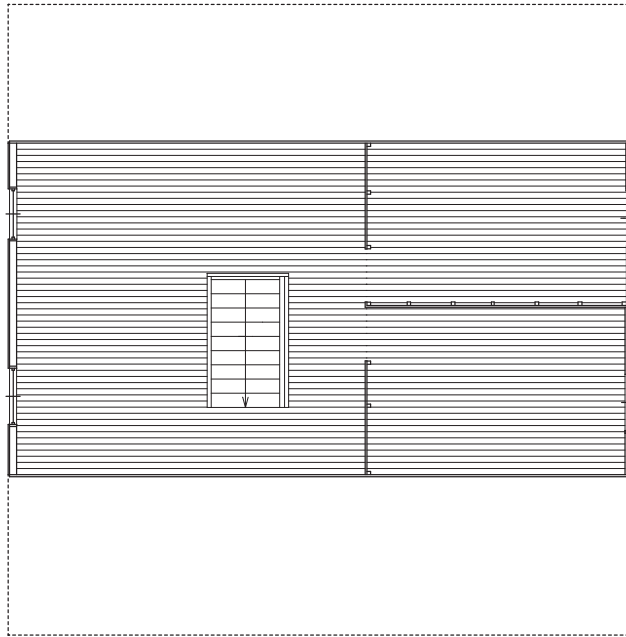
ILOVI

Ground Floor Plan

Date Jun. 27. 2017

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date Jun. 27. 2017

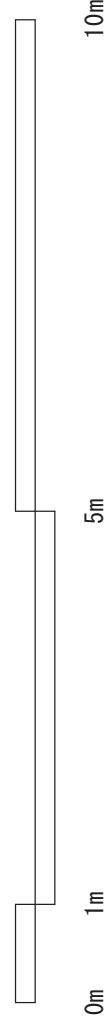
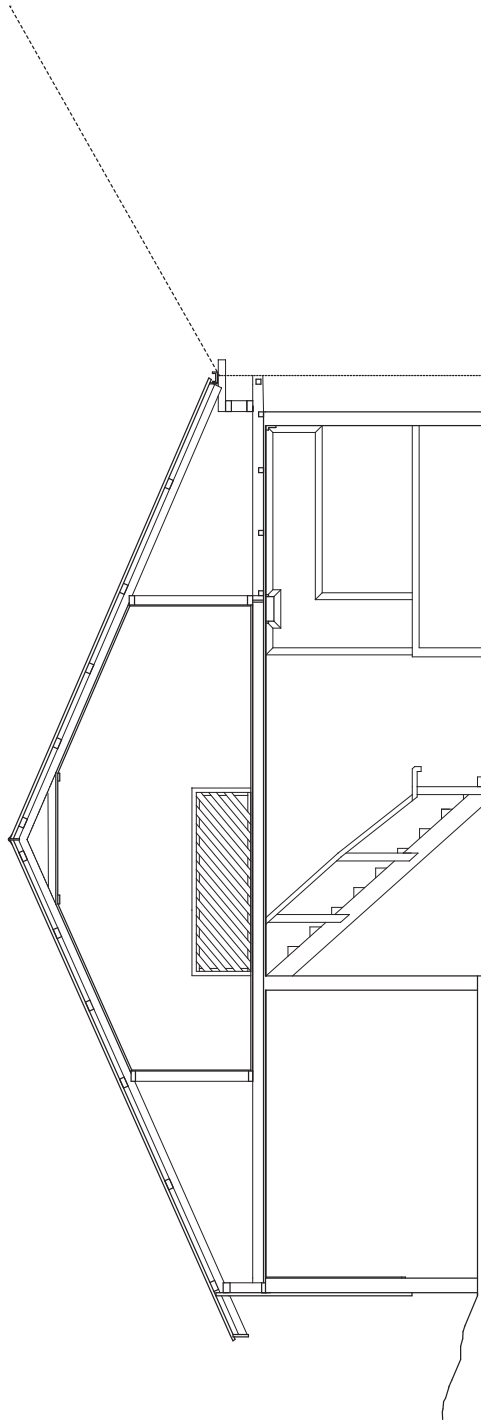
Aug. 10. 2016

**ILOVI**

1st Floor Plan

**MN12**





**MN12**

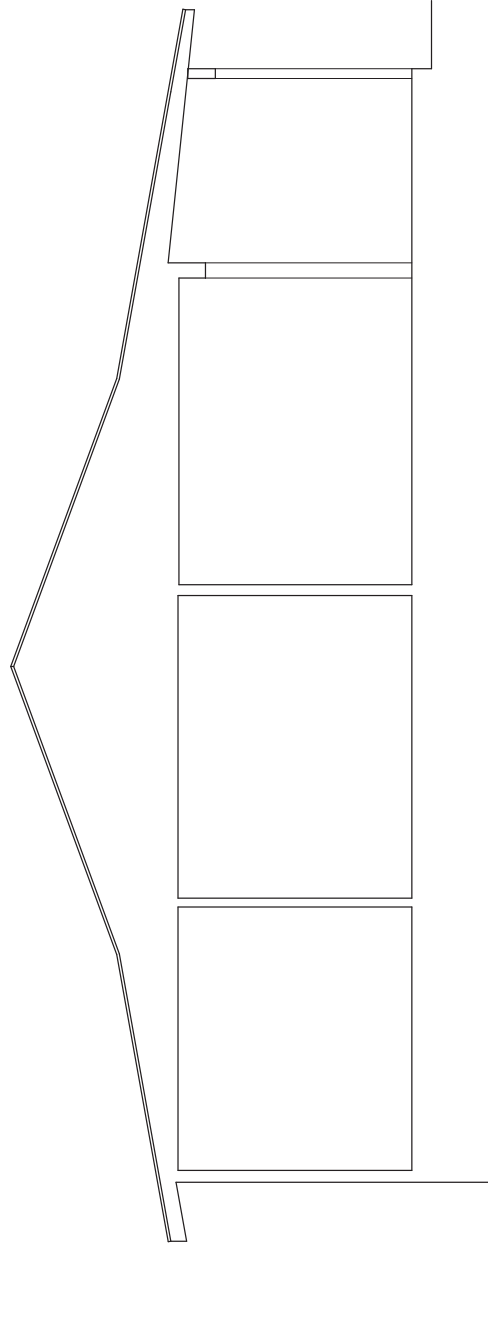
**ILOVI**

Section 1

Date Jun. 27. 2017

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MN12

ILOVI  
Section 2

Date Jun. 27. 2017  
Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MN13

Nancy Prebble



東側外観



リビング内観

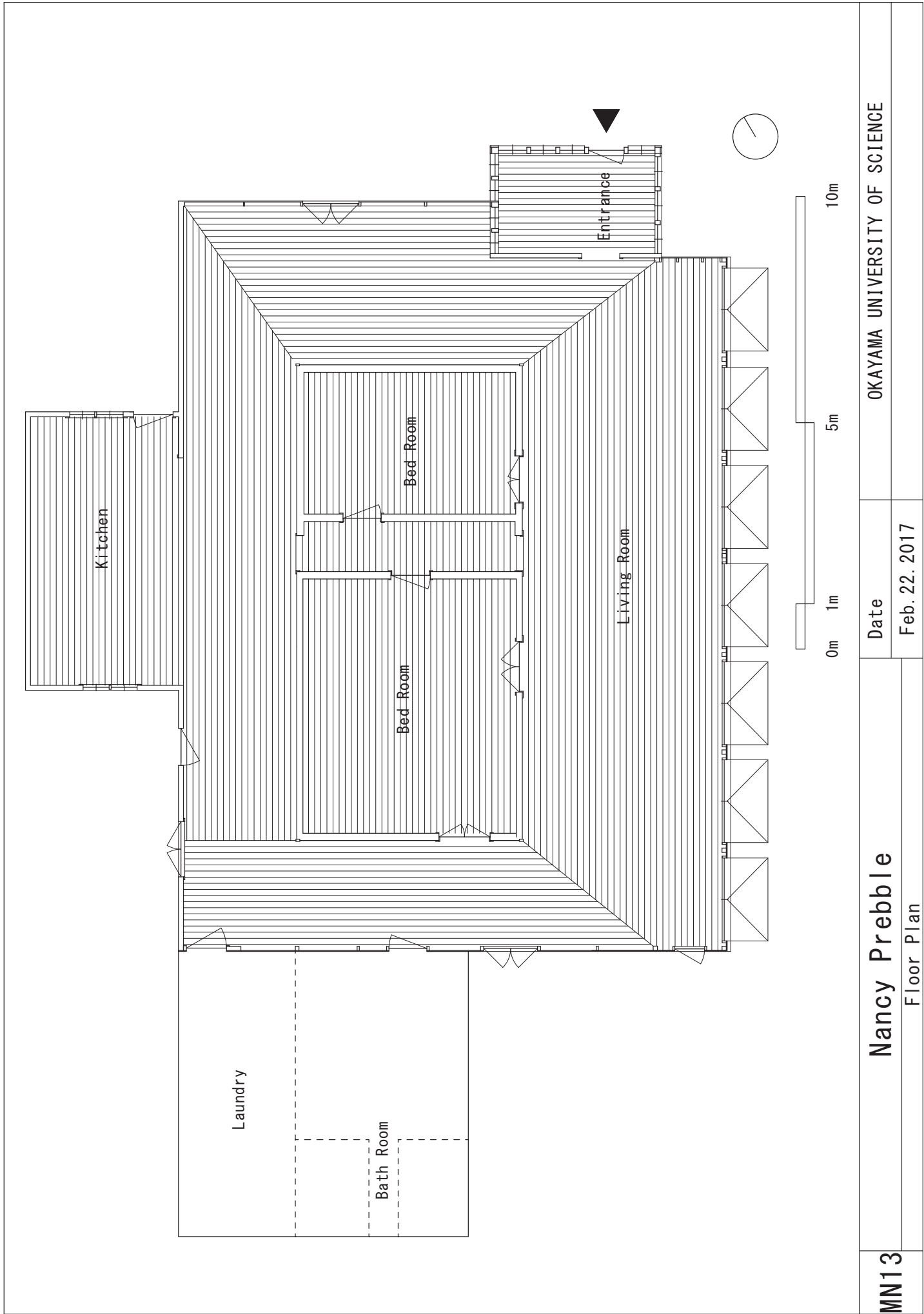


寝室内観



リビング内観

(久留米工業大学 大森洋子 撮影)

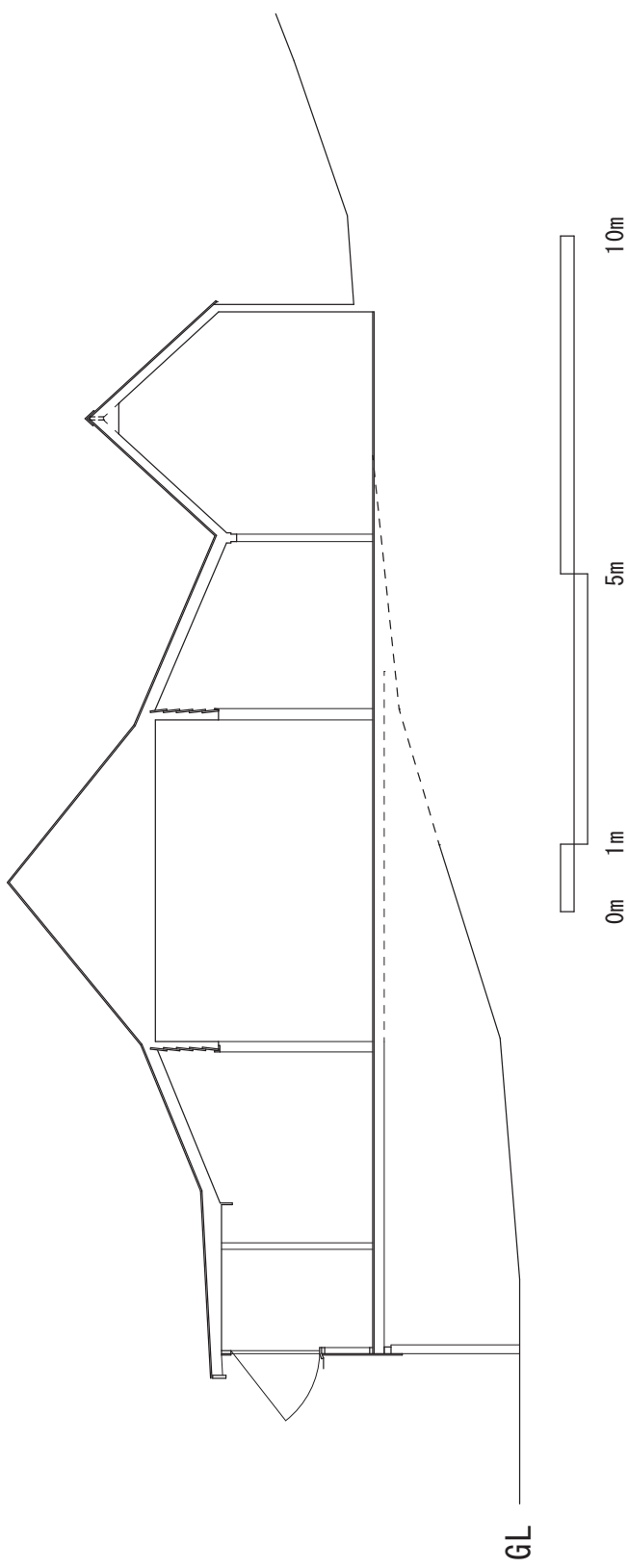


MN13

Nancy Prebble  
Floor Plan

Date  
Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

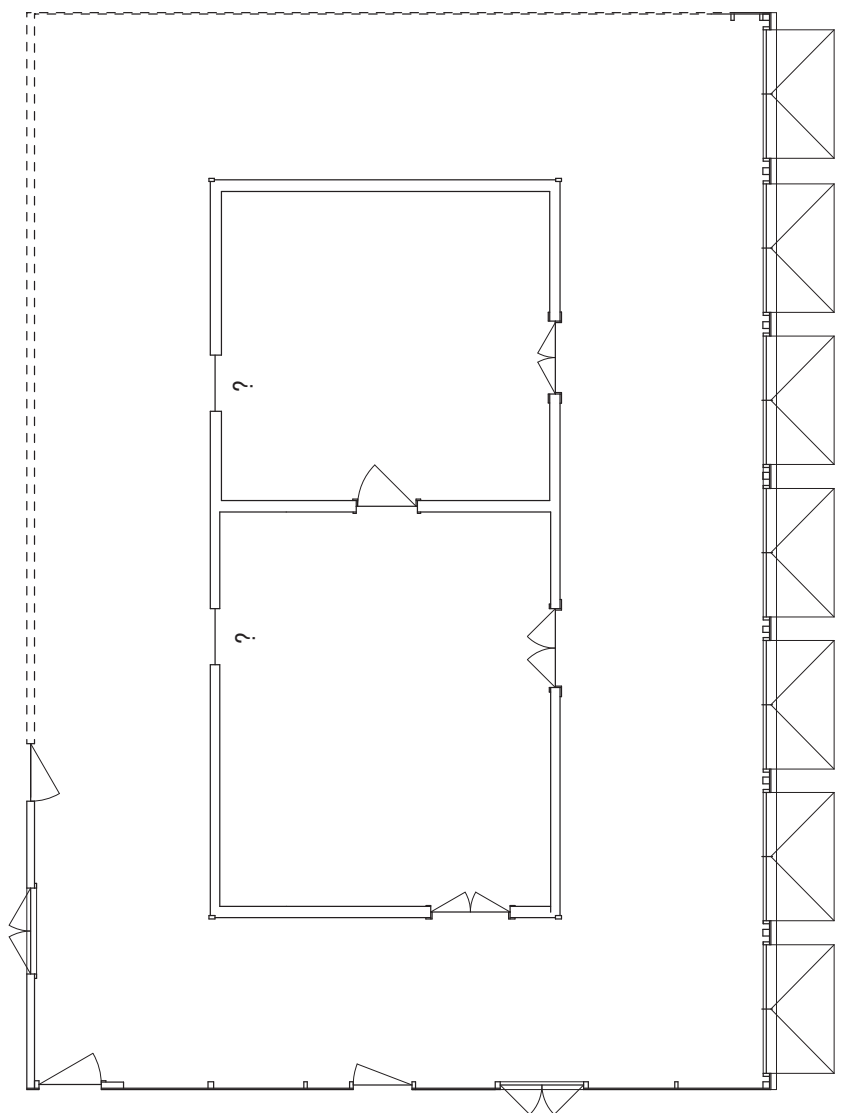
Date

Feb. 22. 2017

Nancy Prebble

Section

MN13



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

Feb. 22. 2017

Nancy Prebble

Original Plan

MN13



ER:MN14

Mrs. Robinson's Residence



2016年台風倒壊前外観(2007年九州大学撮影)



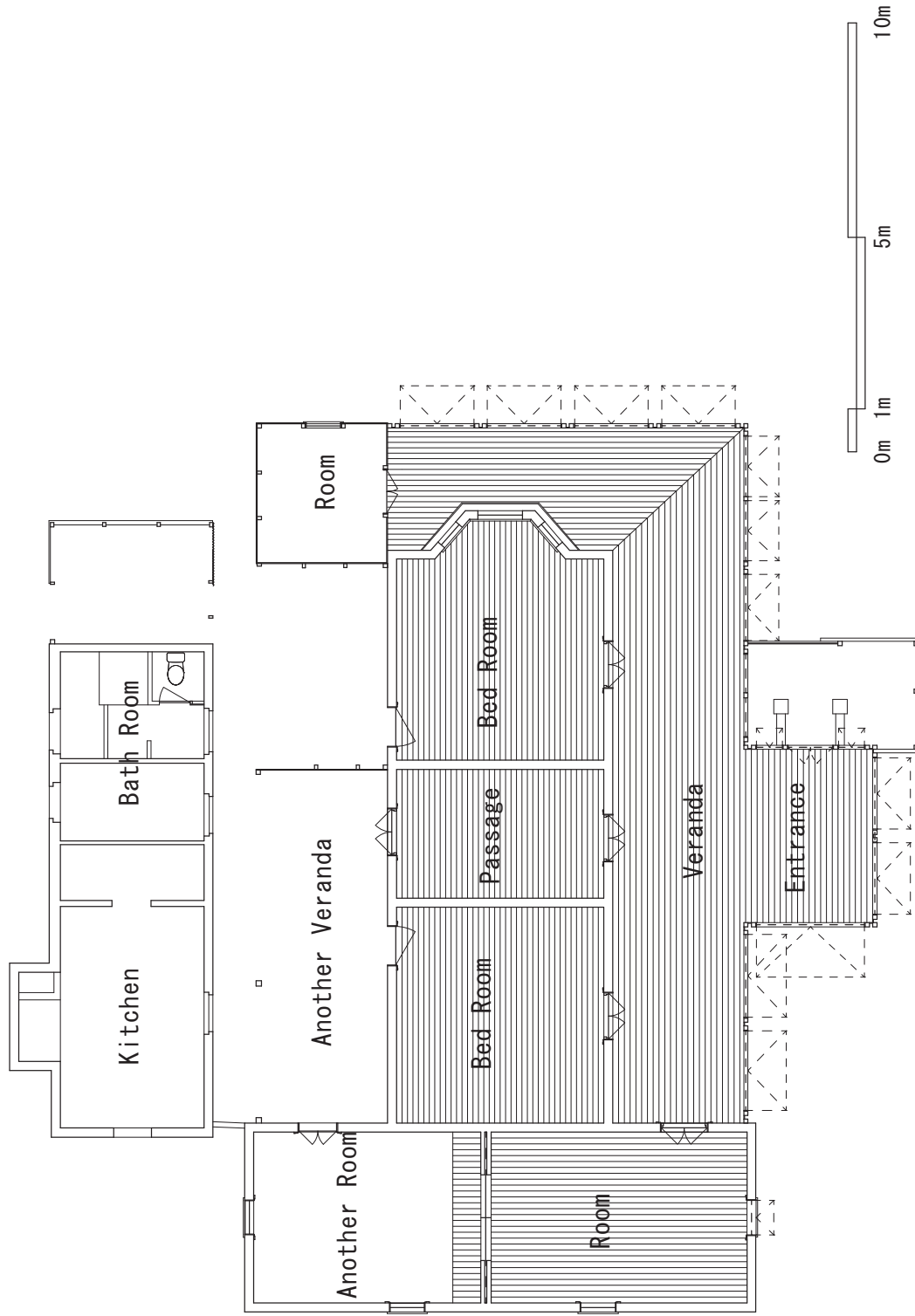
ベランダ



室内内観(2007年九州大学撮影)



1949年撮影(National Archive 所蔵)



MN14

Mrs Robinson's Residence

Floor Plan

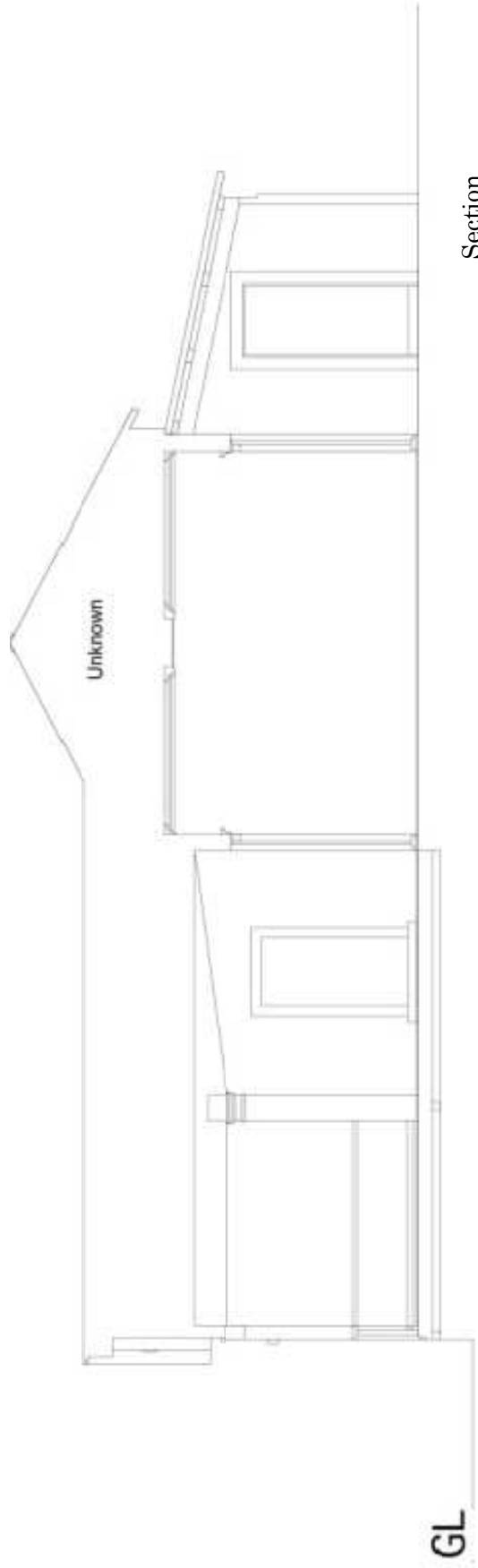
Date

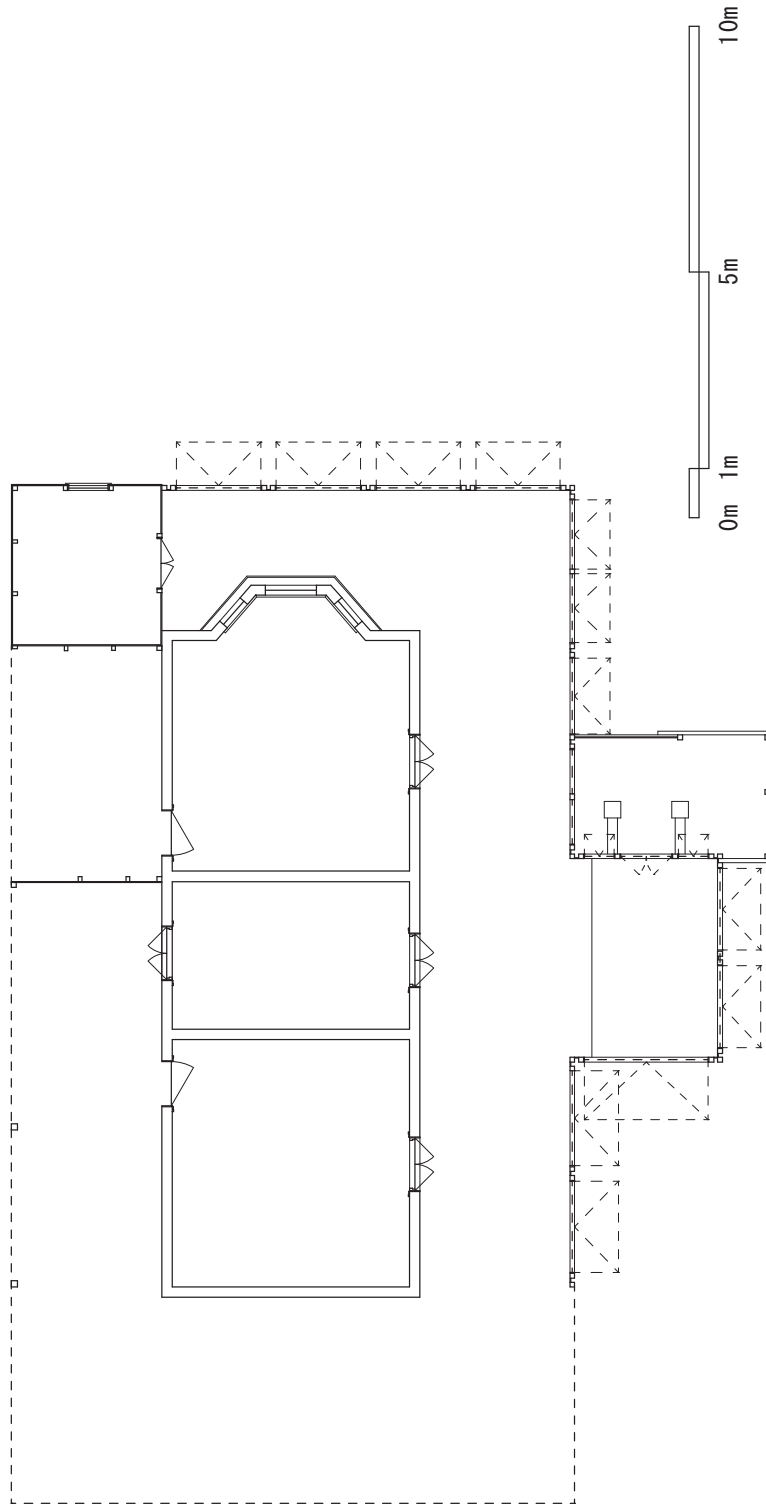
May. 07. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

Mrs. Robinson's Residence 図面作製：九州大学



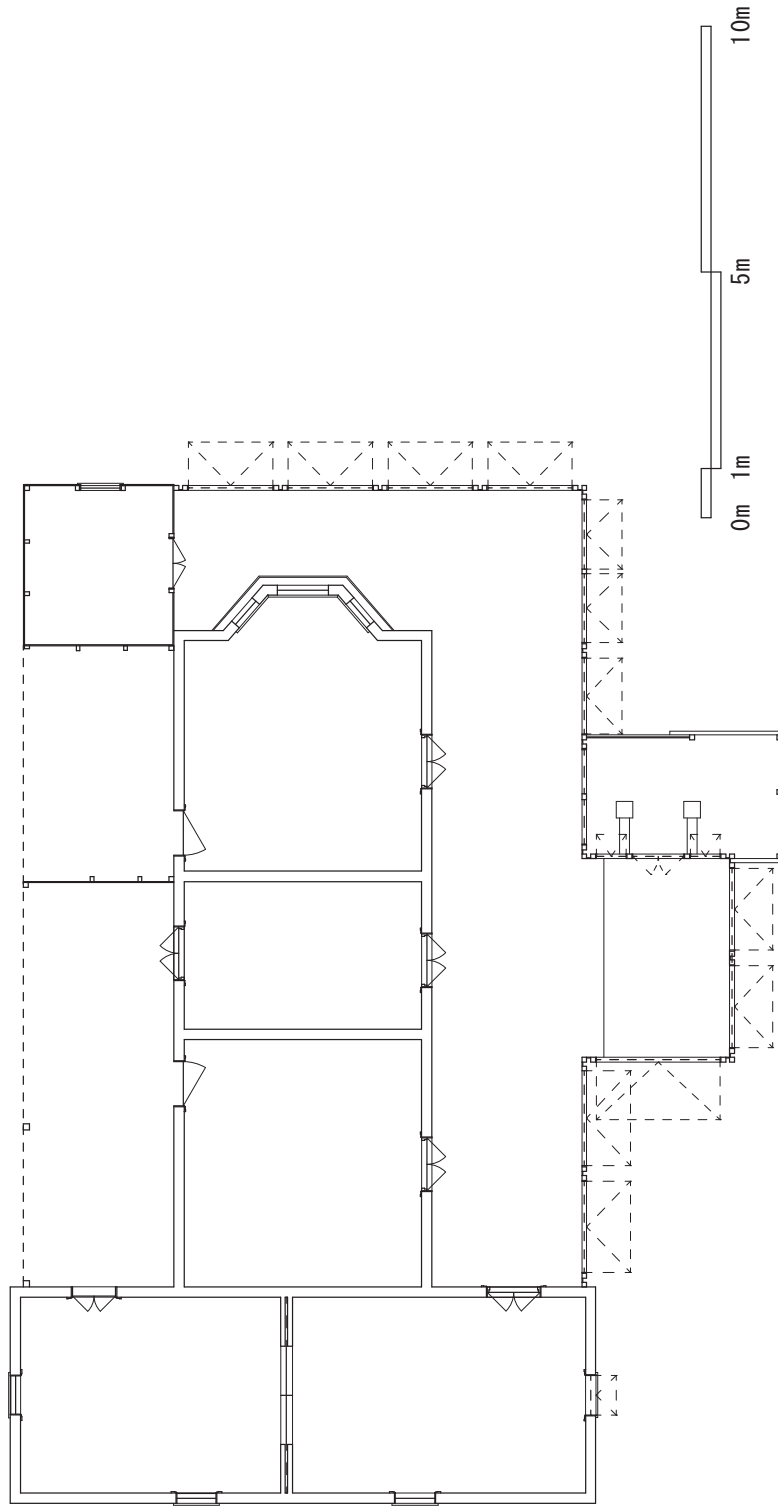


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE  
Kyushu UNIVERSITY

Date  
May. 07. 2016

Mrs Robinson's Residence  
1st Original Plan

MN14



MN14

Mrs Robinson's Residence

2nd Original Plan

Date

May. 07. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



Mr Robert Patterson's Residence



ベランダ内観(2008年九州大学撮影)



リビング内観(2008年九州大学撮影)



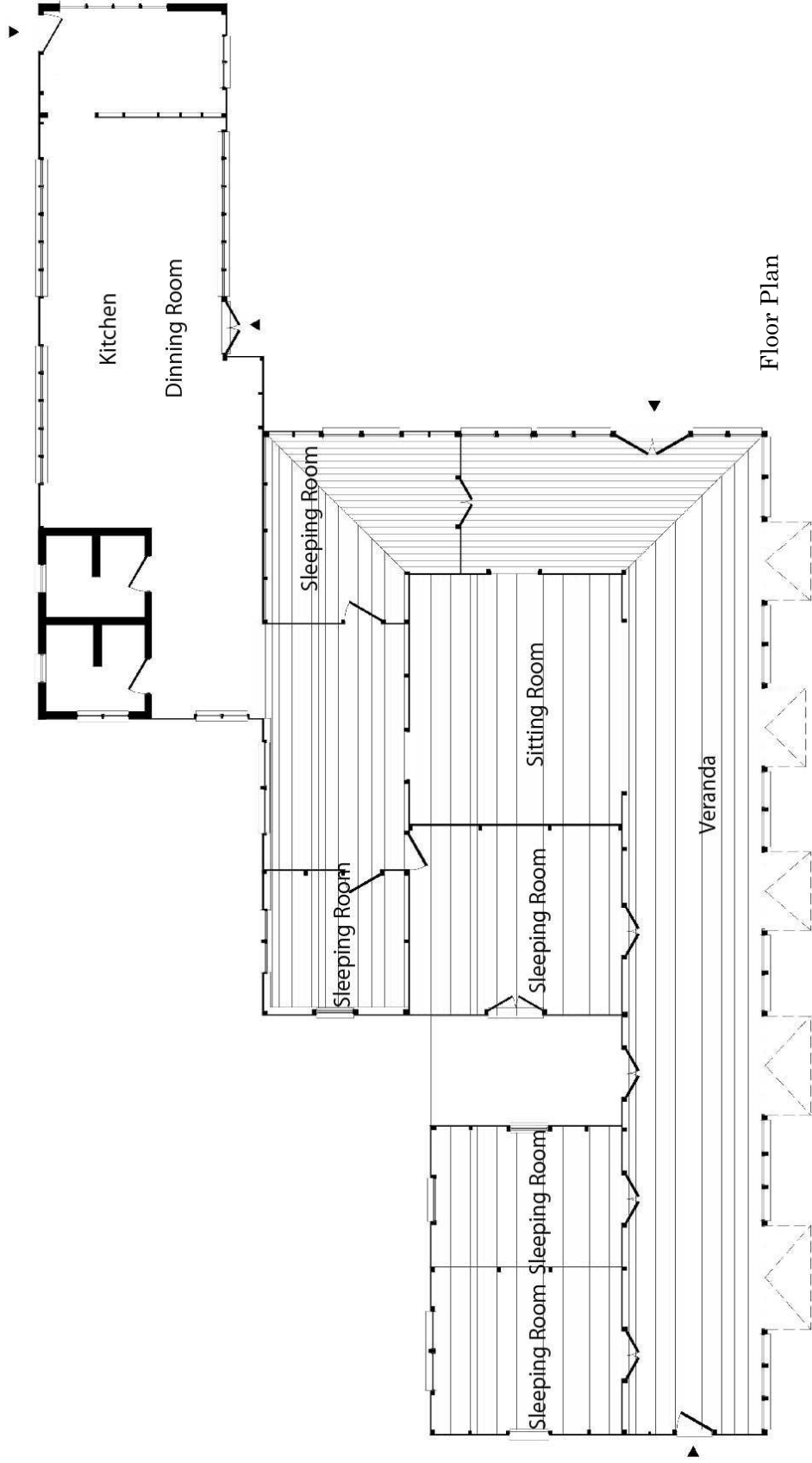
ダイニング内観(2008年九州大学撮影)



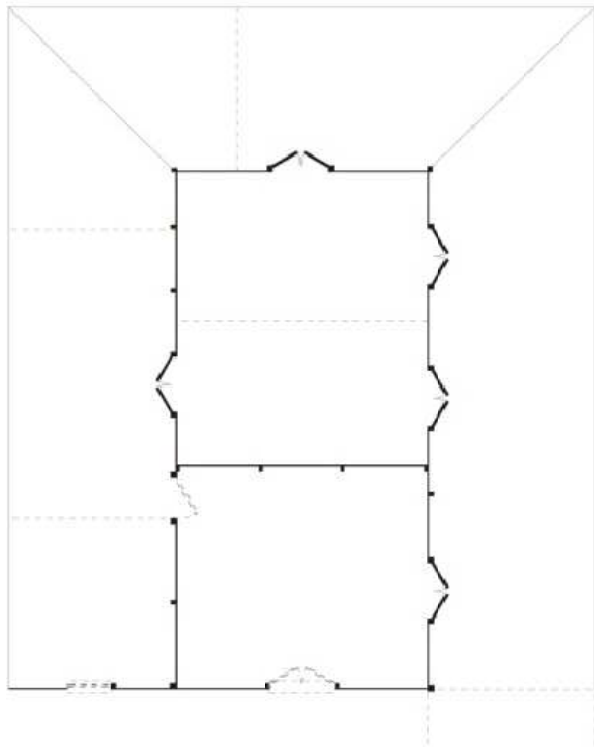
北側外観(2008年九州大学撮影)



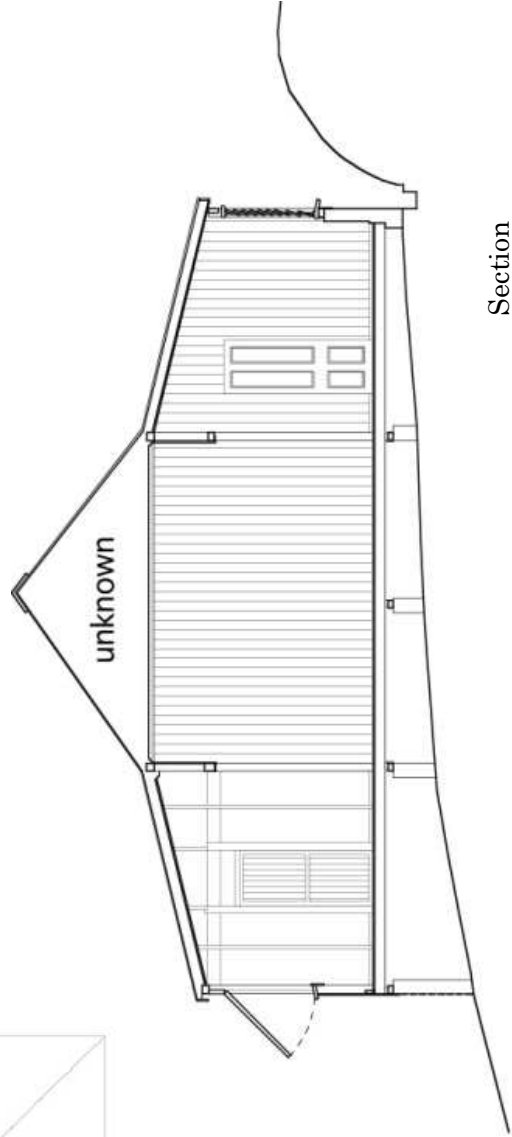
ER-MN15 Mr. Robert Patterson's Residence 図面作製：九州大学



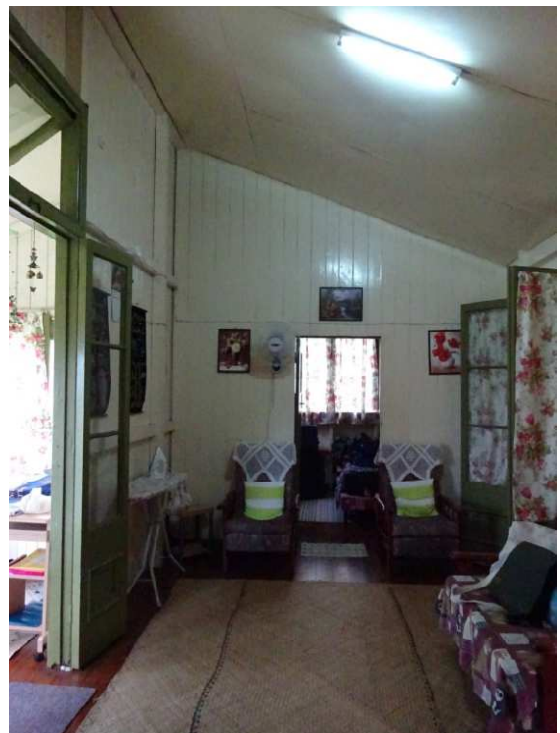
Mr. Robert Patterson's Residence 図面作製：九州大学



Original Plan



Section



南側外觀

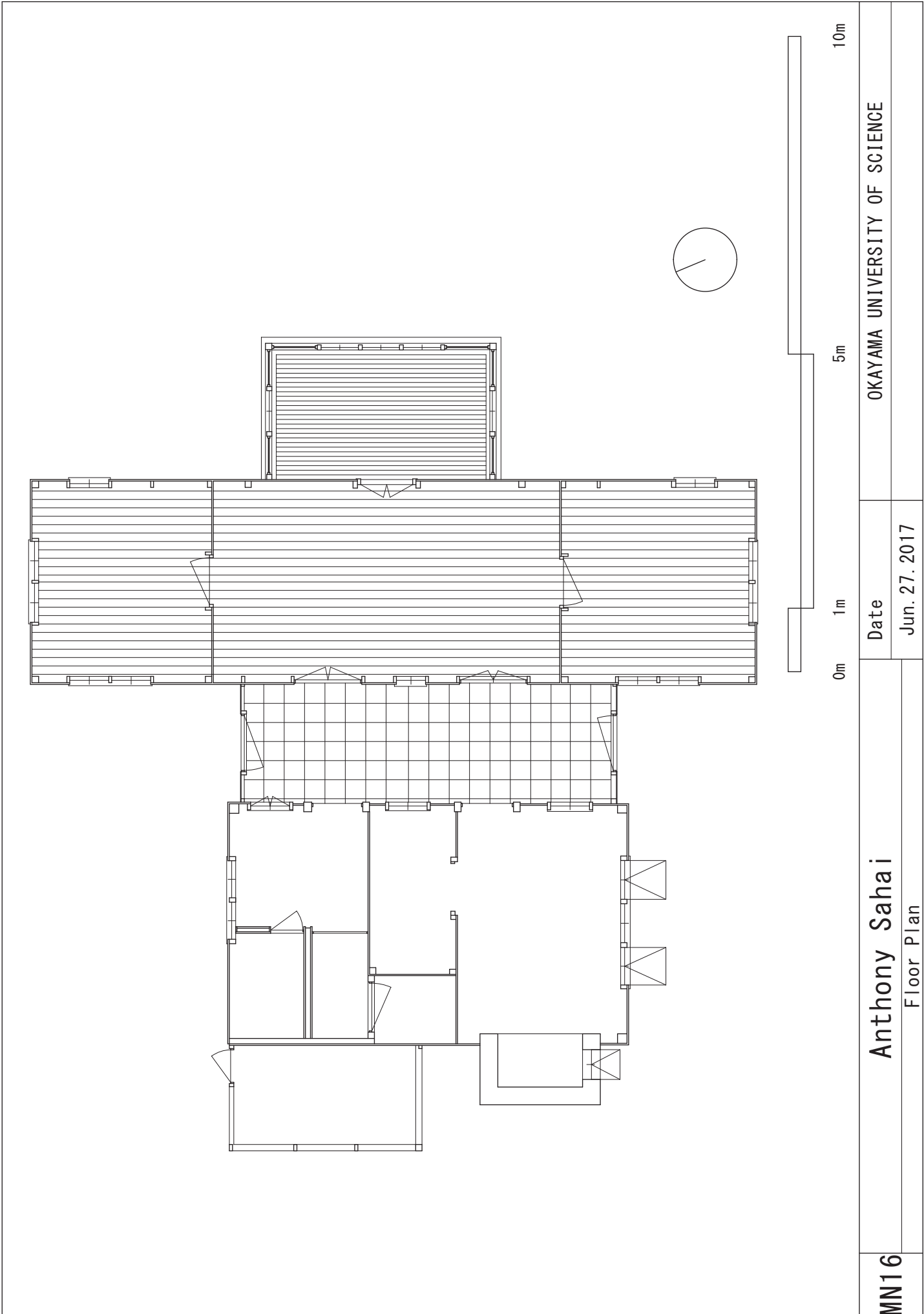
內觀



內觀



屋根外觀



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

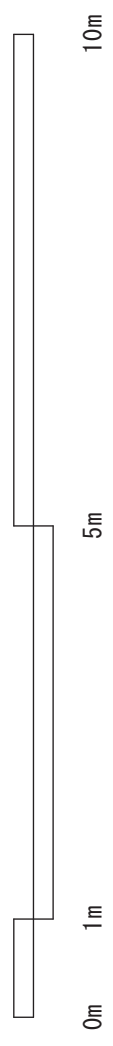
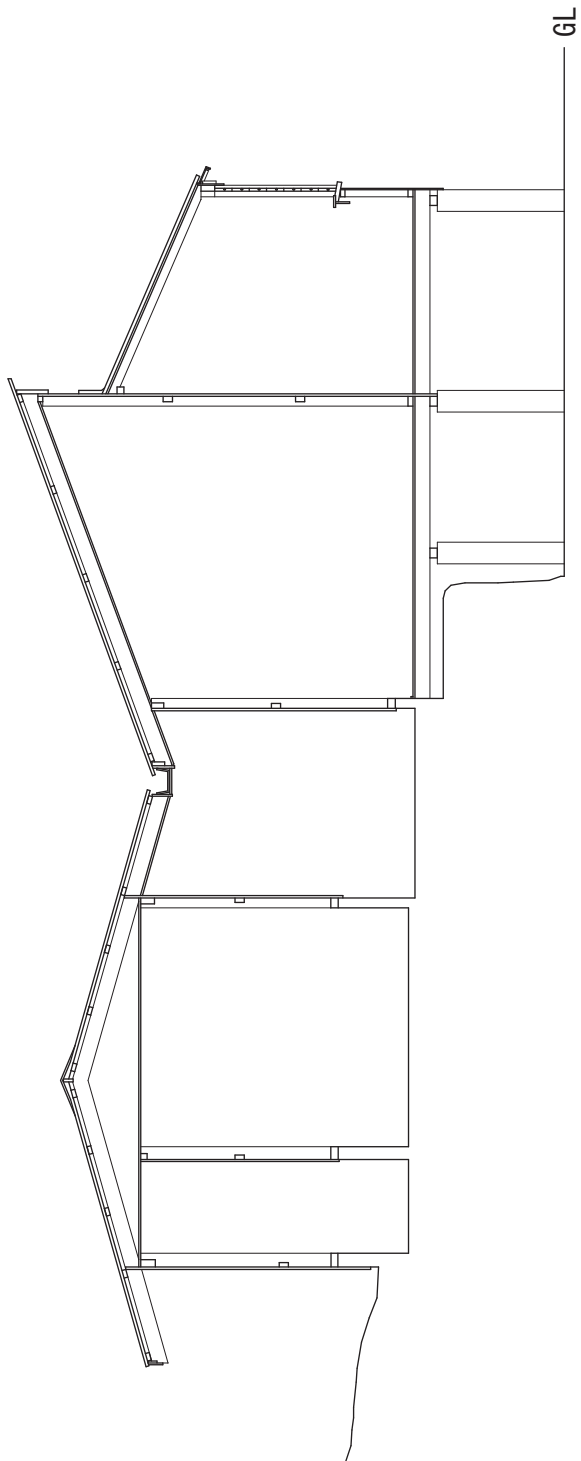
Date

Jun. 27. 2017

Anthony Sahai

Floor Plan

MN16



**MN16**

**Anthony Sahai**

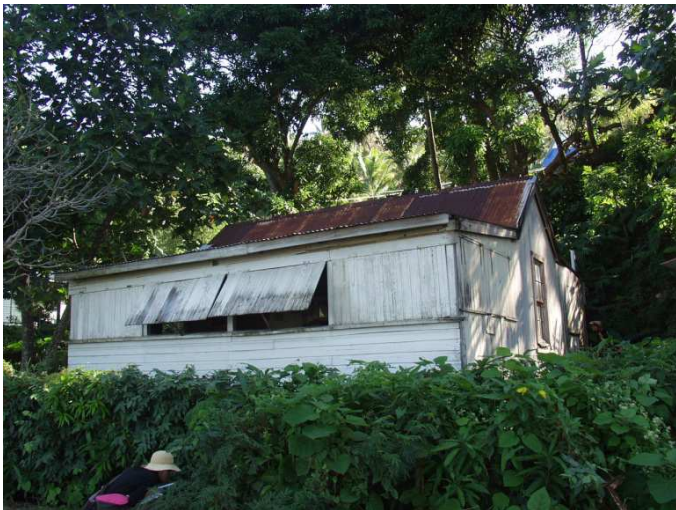
Section

Date

Jun. 27. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





2016年台風倒壊前外観(2007年九州大学撮影)



2016年台風倒壊前内観(2007年九州大学撮影)

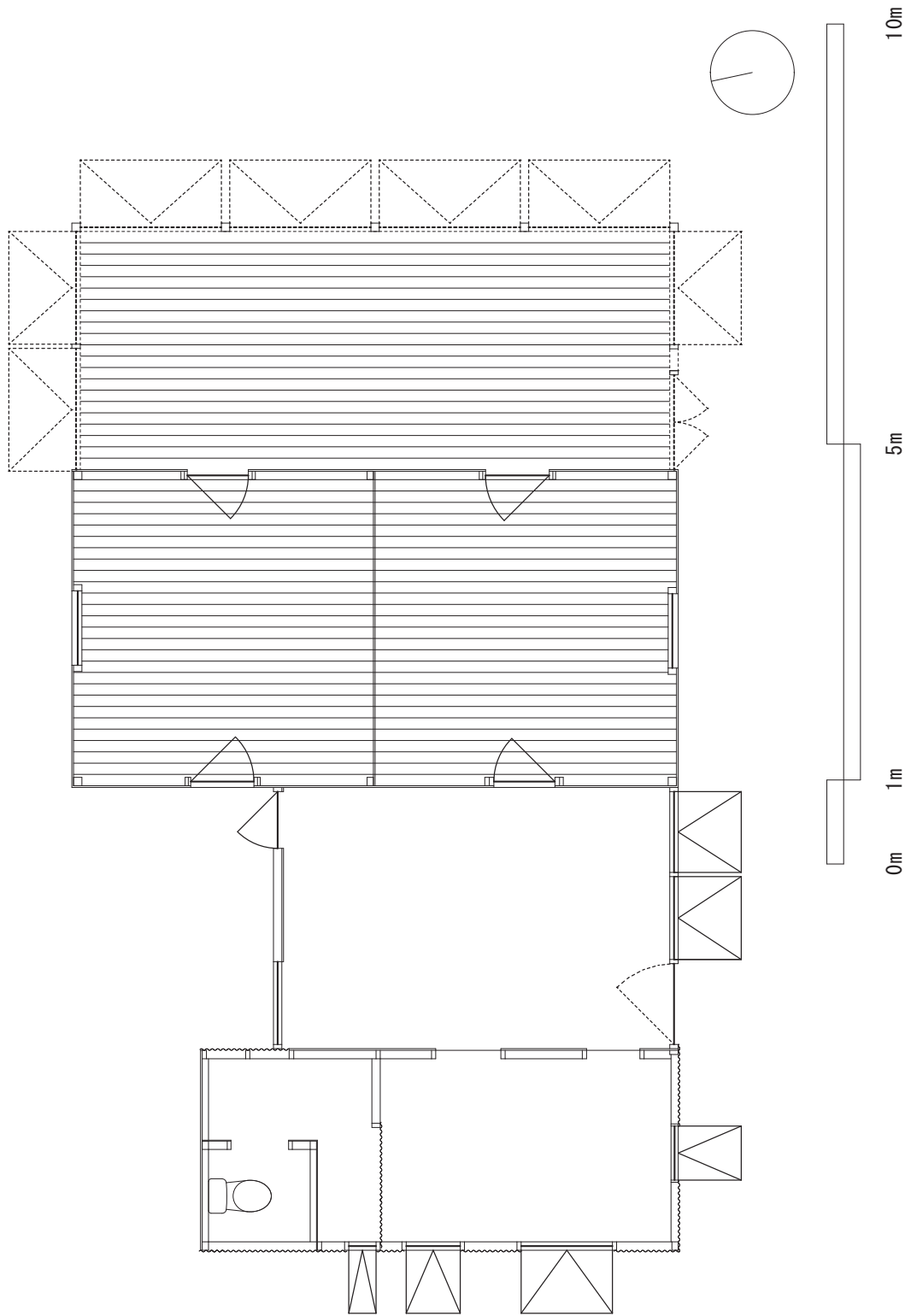


内観



小屋組み





**MN17**

**BOBBY WILLIAMS**

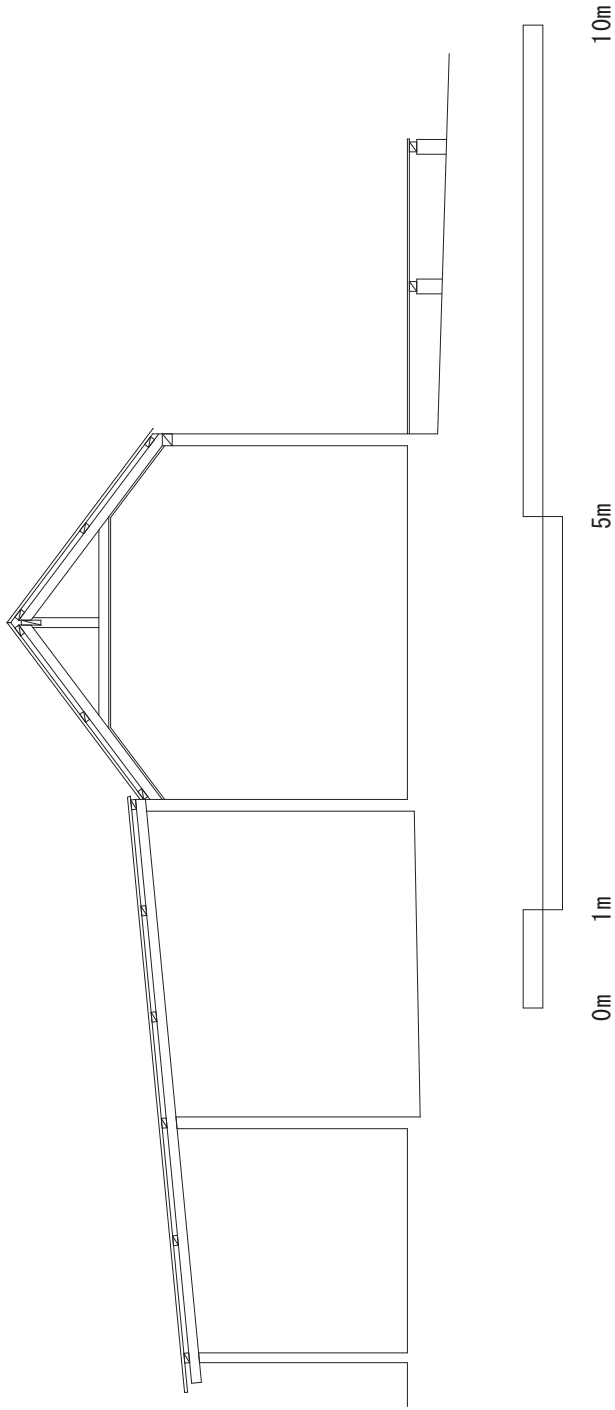
Floor Plan

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



**MN17**

**BOBBY WILLIAMS**

Section

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

ER:MN18

Mrs. Dora Patterson's Residence



ベランダ内観



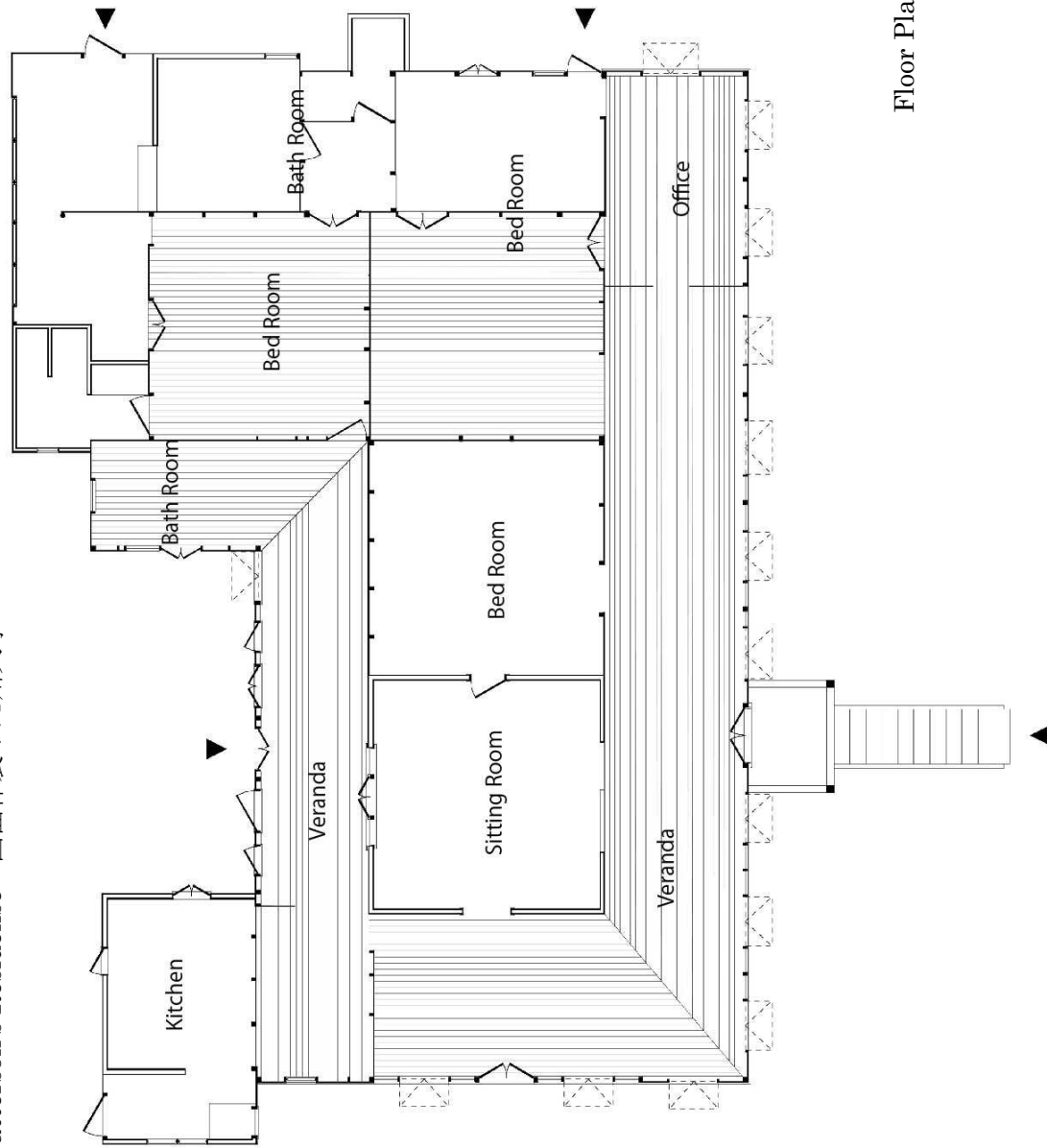
ベランダ内観



リビング内観

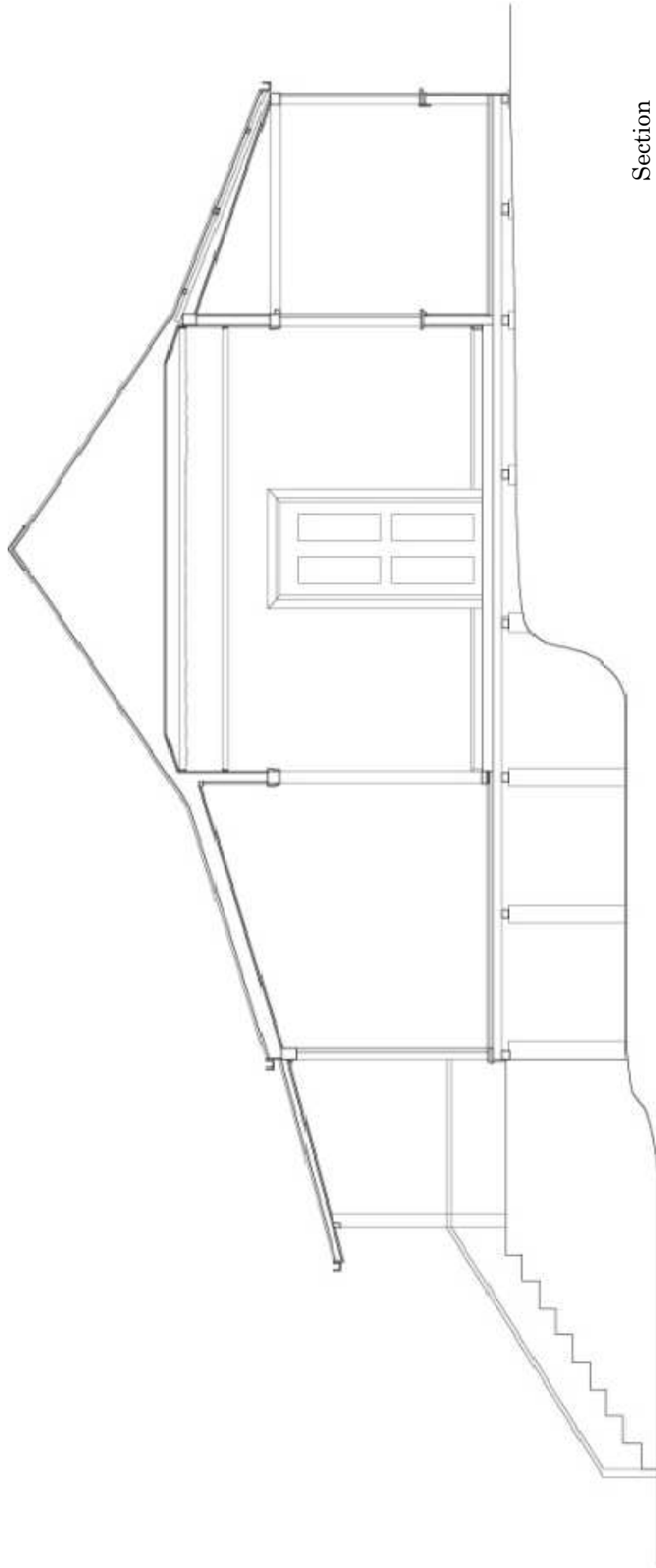


2007年外観(2007年九州大学撮影)



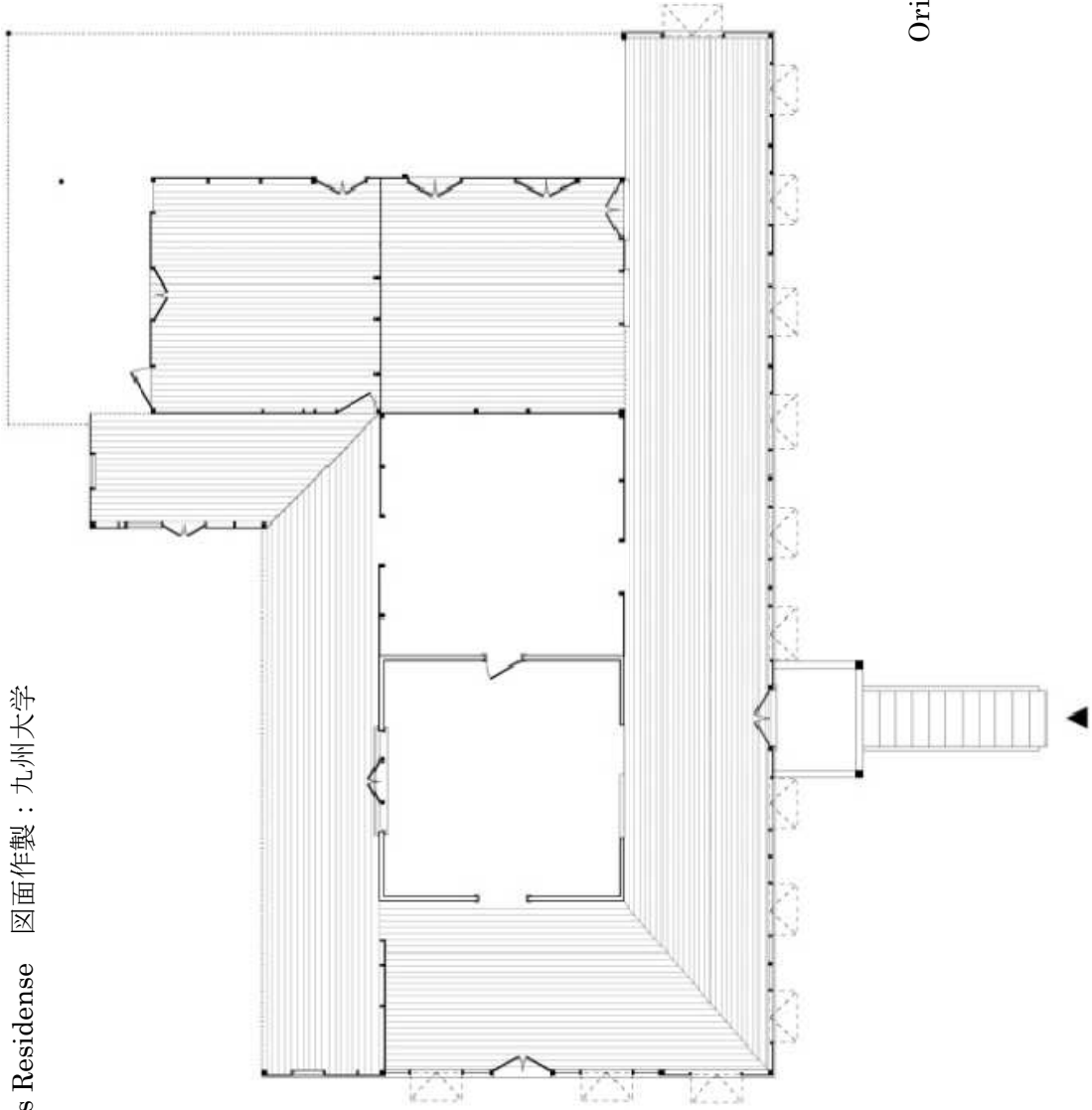
Floor Plan

Mrs. Dora Patterson's Residence 図面作製：九州大学



Section

Mrs. Dora Patterson's Residence 図面作製：九州大学



Original Plan



ER:MN19

Levuka Market Building



内観



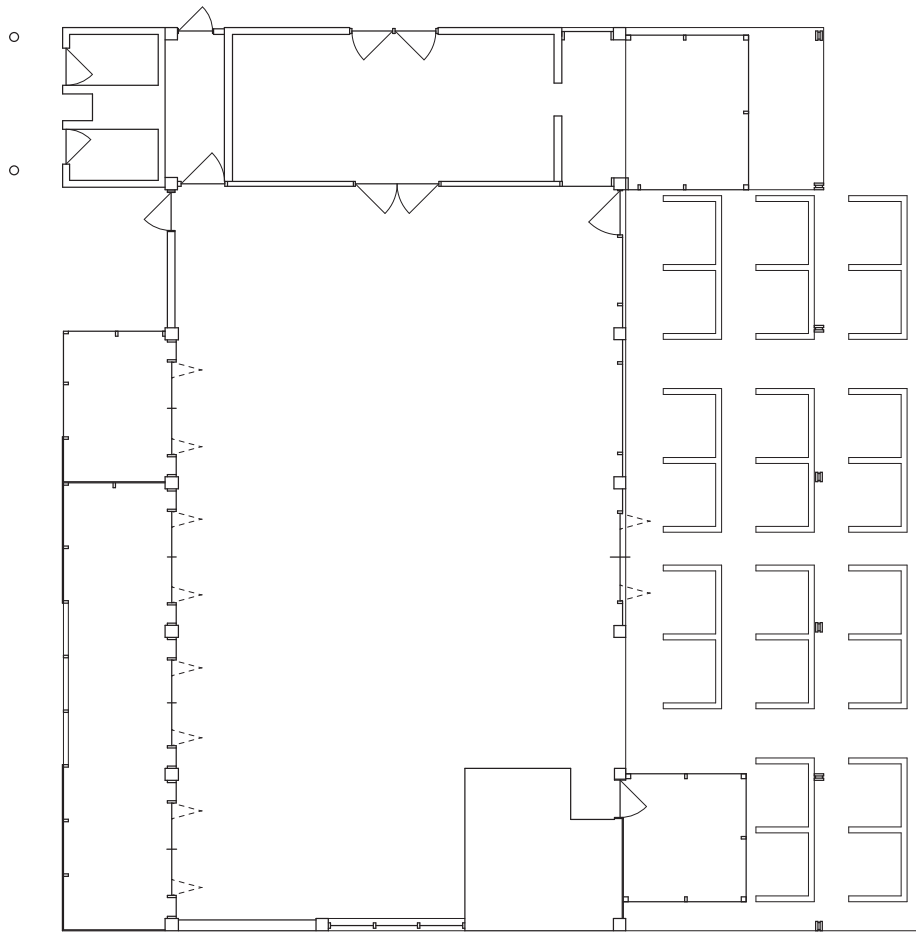
北側外観



内観



2007年外観(2007年九州大学撮影)



**MN19**

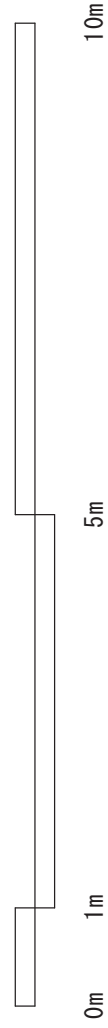
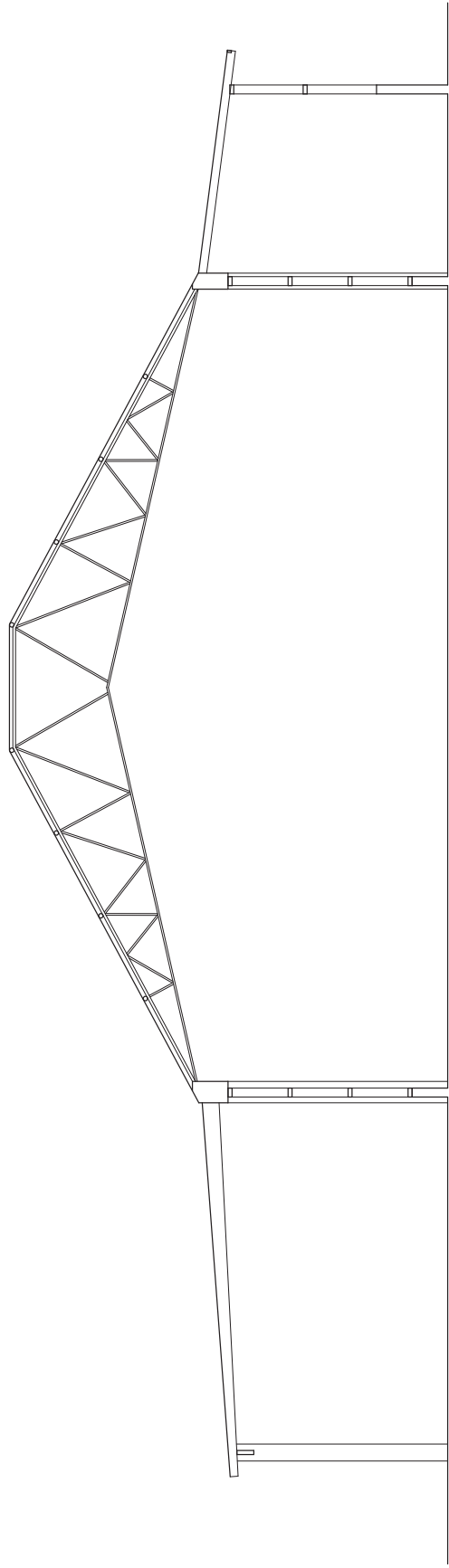
**Levuka Market Building**

Floor Plan

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**MN19**

**Levuka Market Building**  
Section

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



Patterson Bros Office



事務所内観(2007年九州大学撮影)



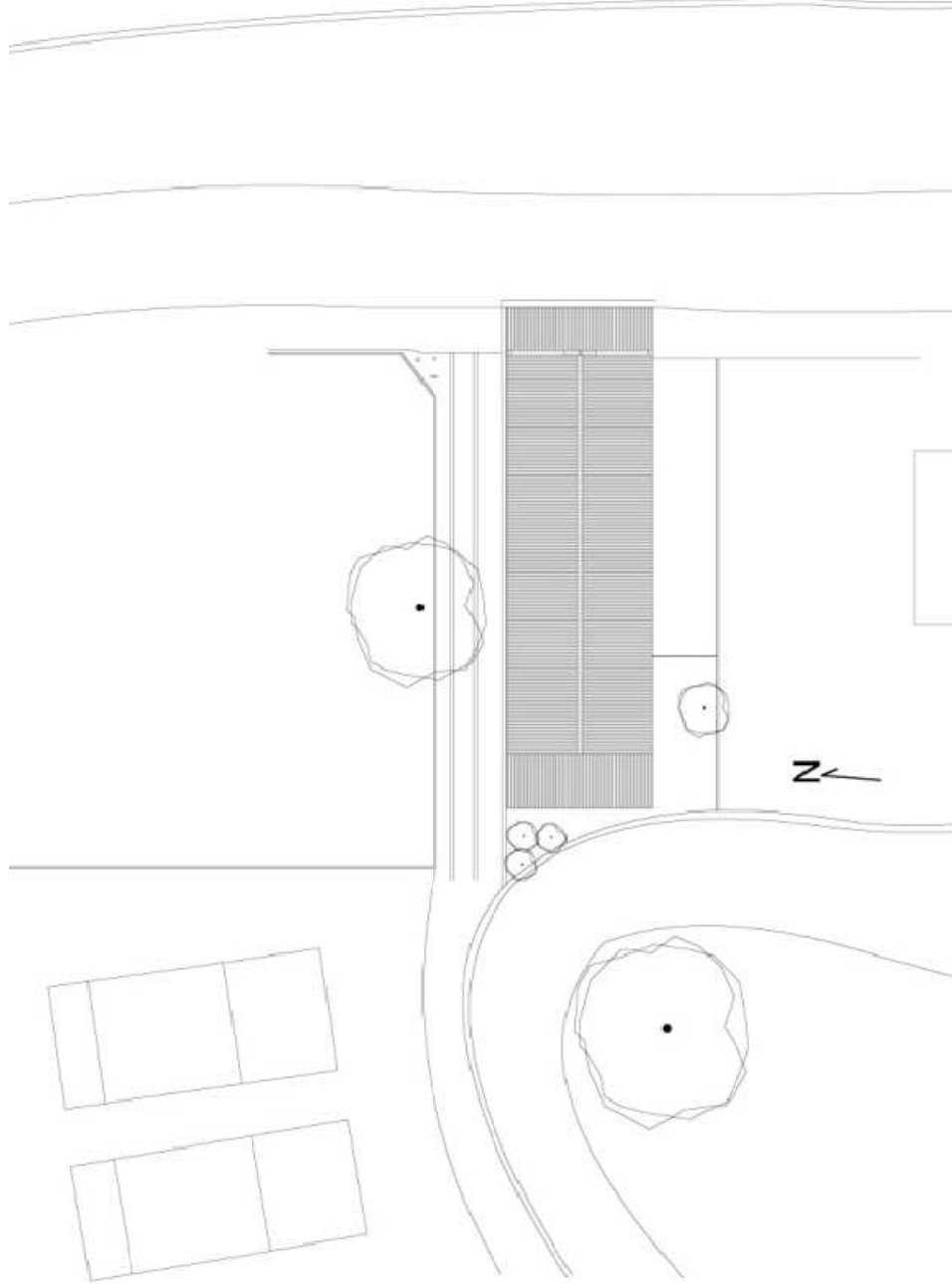
事務所内観(2007年九州大学撮影)



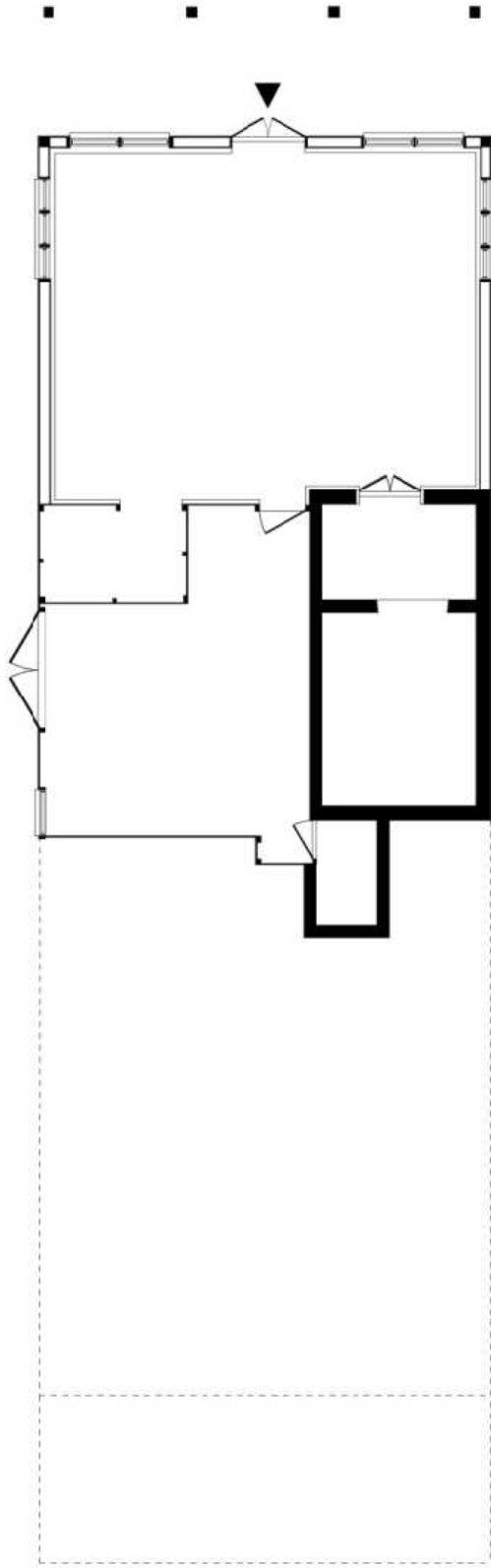
小屋組み(2007年九州大学撮影)



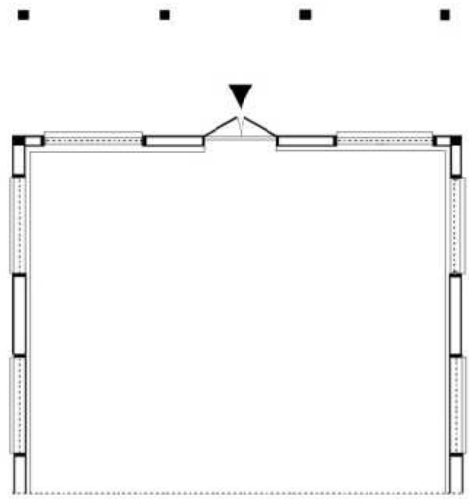
西側外観



Site Plan



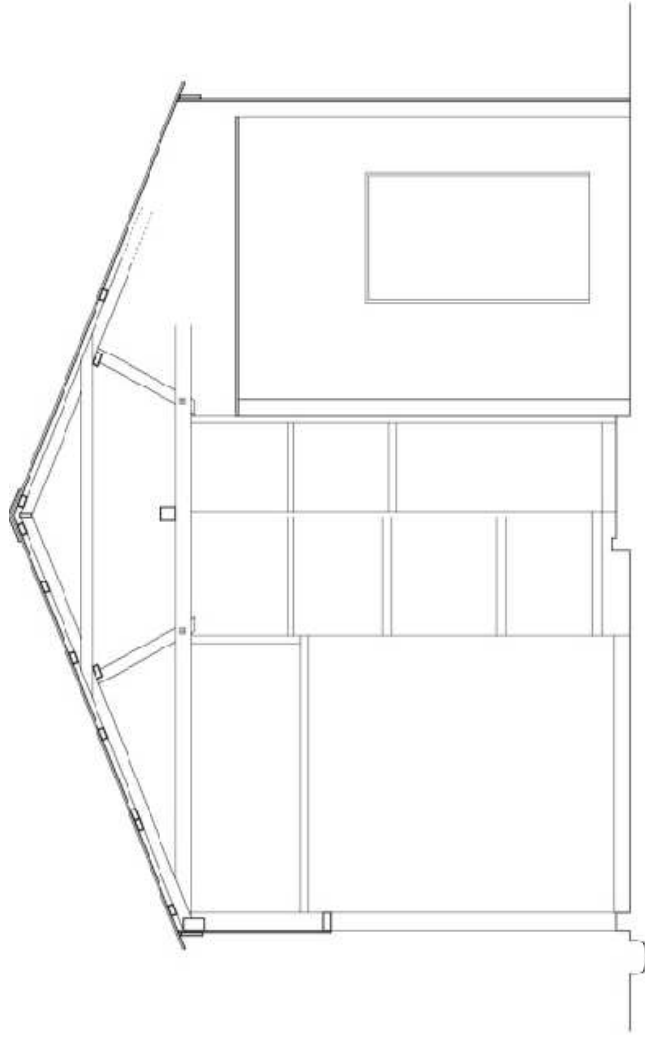
Floor Plan



Original Plan



Patterson Bros Office 図面作製：九州大学



Section

ER:MN21

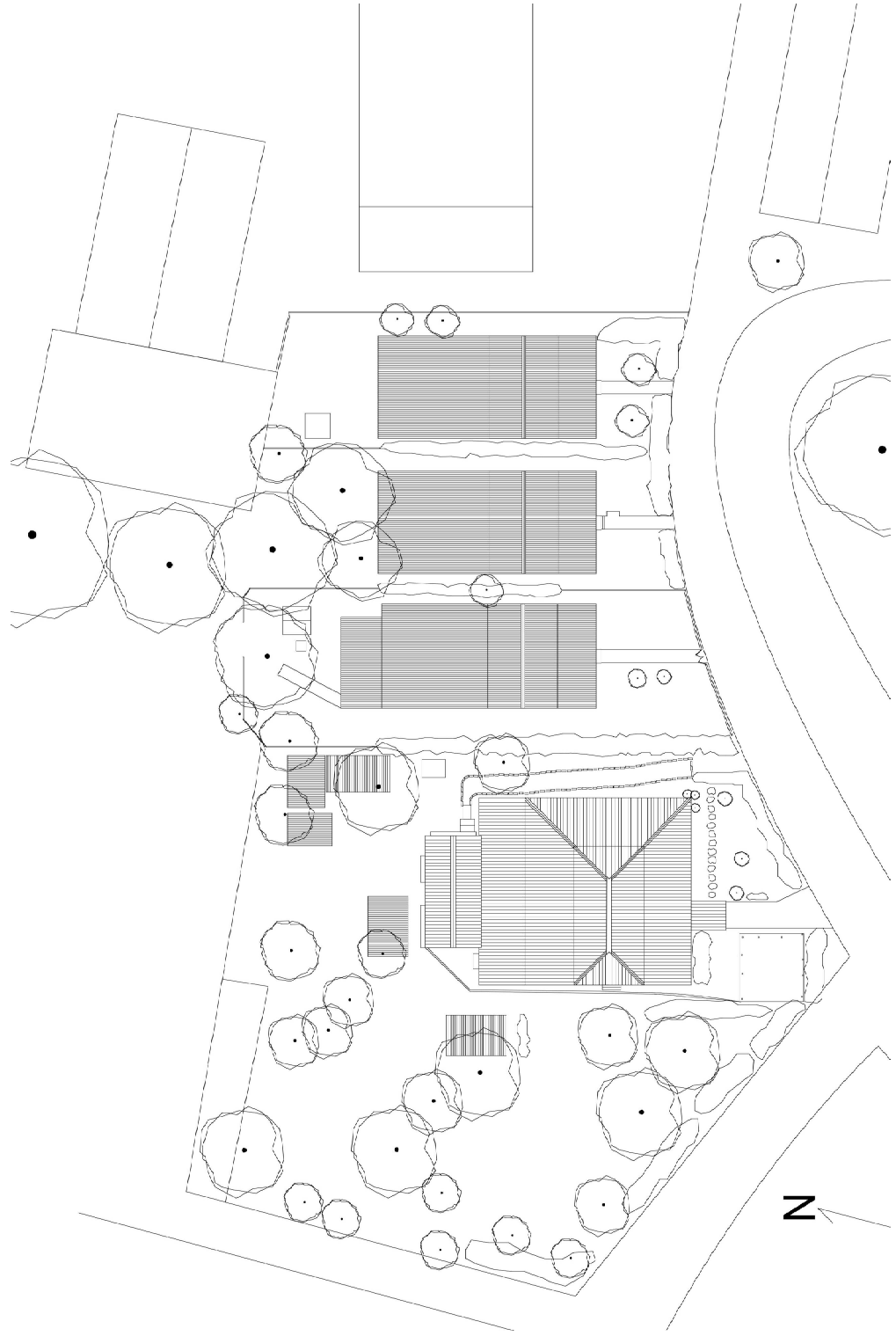
cottage near market (sea)/ Cecil Evans



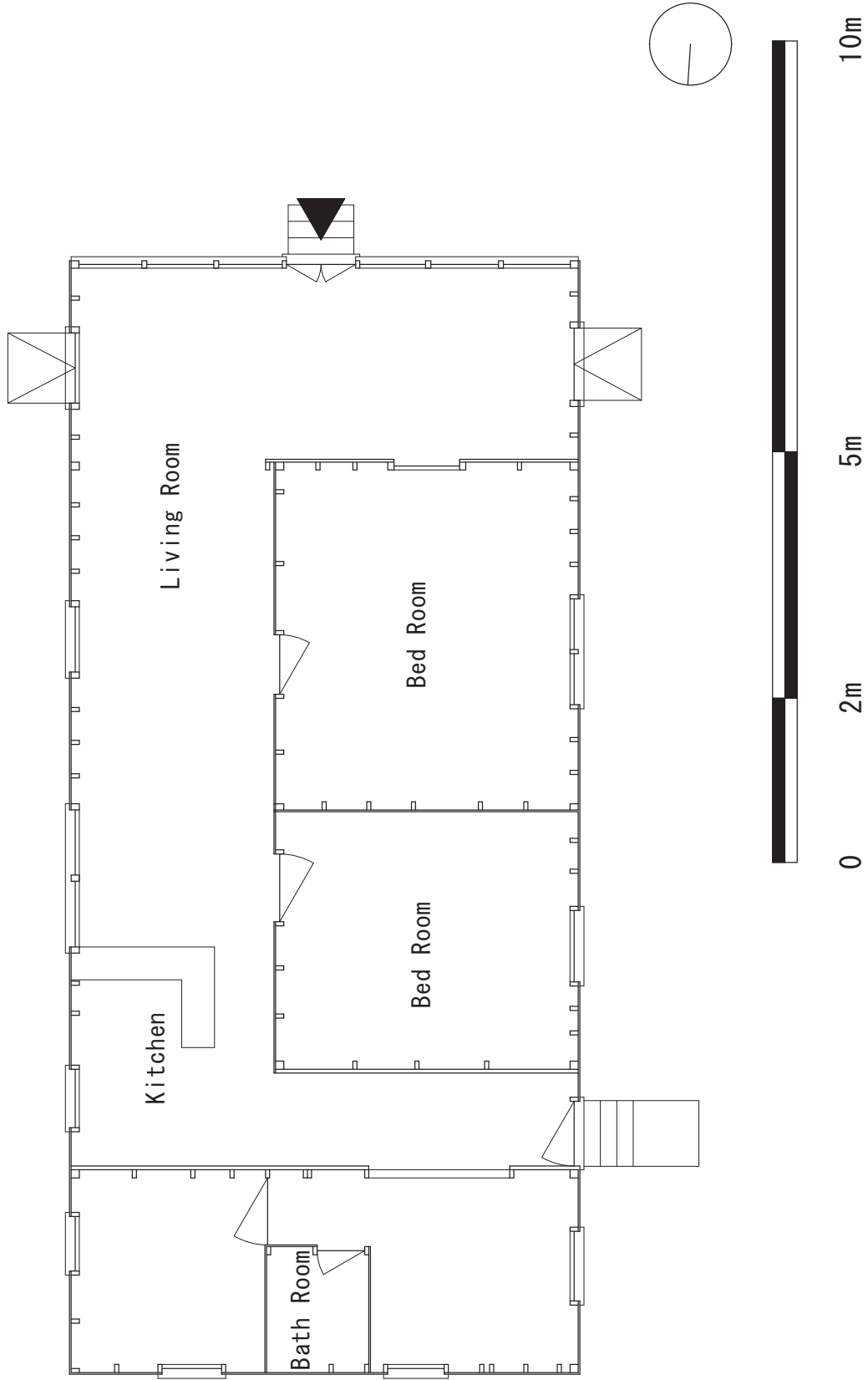
1949年撮影(National Archive 所蔵)

所有者の意向により内観写真は掲載不可

ER-MN21 cottage near market (middle)/ Clover Nelson 図面作製：九州大学



Site Plan



MN21

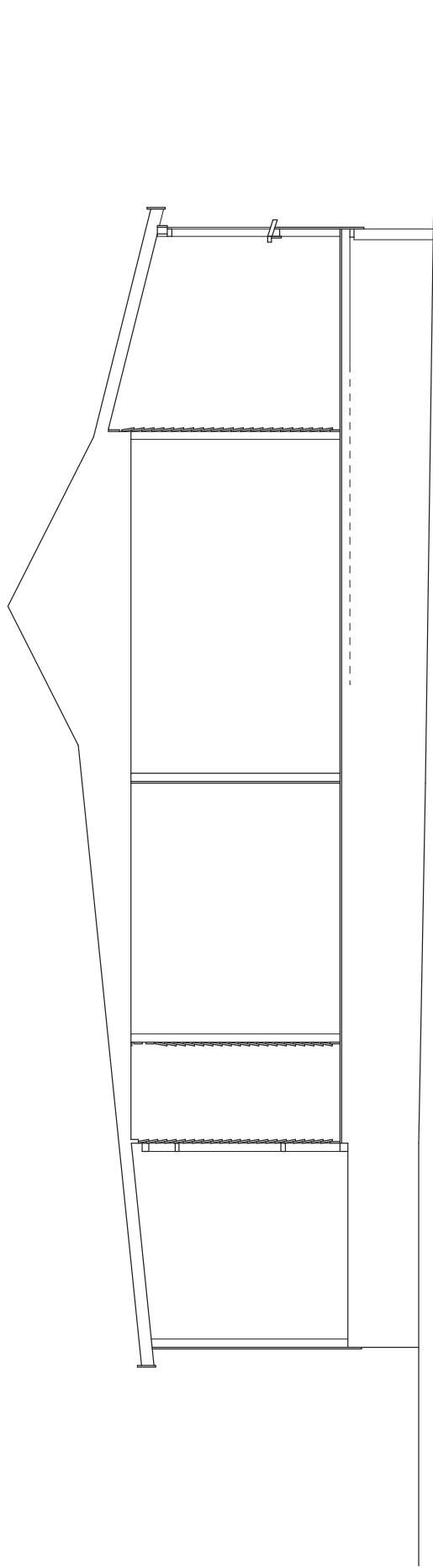
cottage near market(sea) - Clover Nelson

Floor Plan

Date  
Aug. 18. 2018

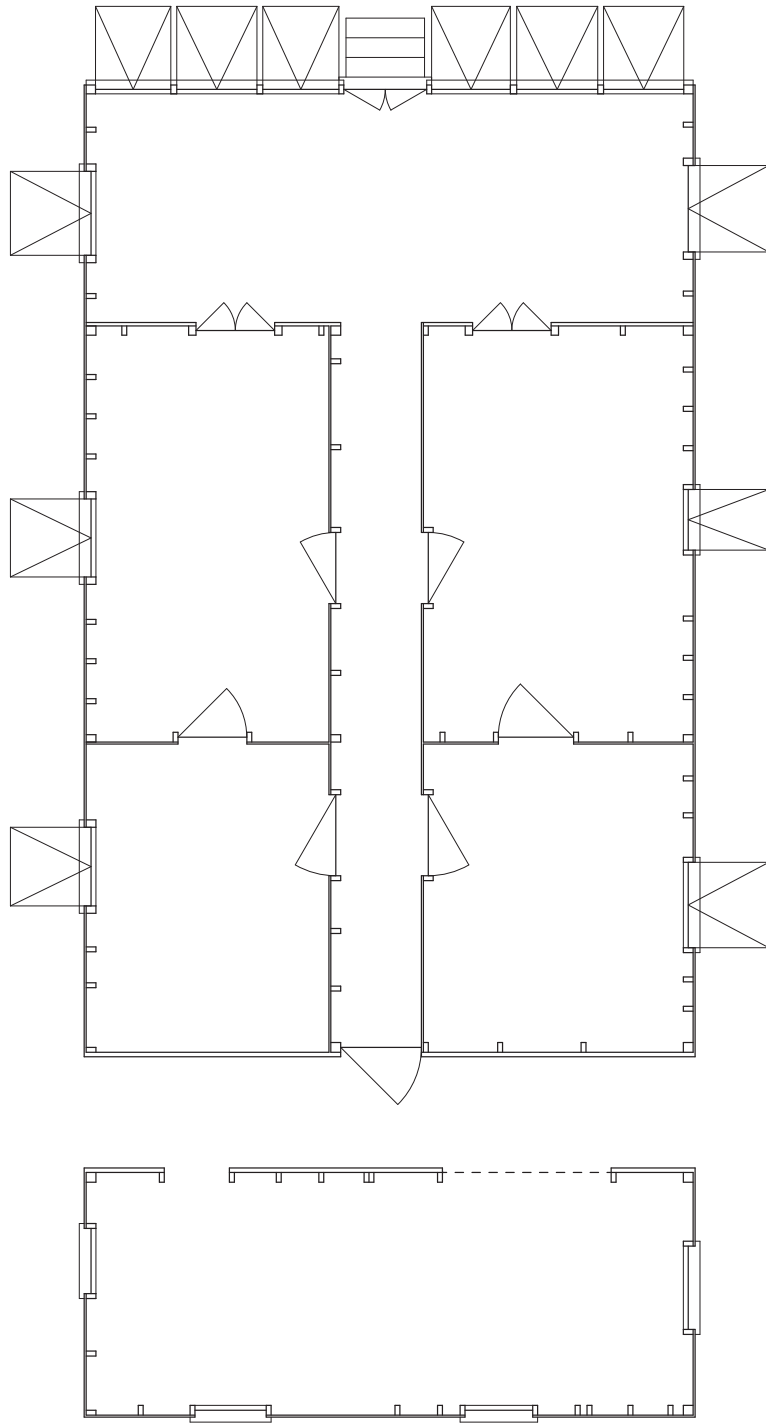
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



0 2m 5m 10m

|      |   |               |                               |
|------|---|---------------|-------------------------------|
| MN21 | cottage near market (sea) - Clover Nelson | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Section                                   | Aug. 18. 2018 | Kyushu UNIVERSITY             |

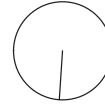


10m

5m

2m

0



MN21

cottage near market(sea) -Clover Nelson

Date

Aug. 18. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY

Original Plan



cottage near market (middle)/ Clover Nelson



ダイニング内観(2007年九州大学撮影)



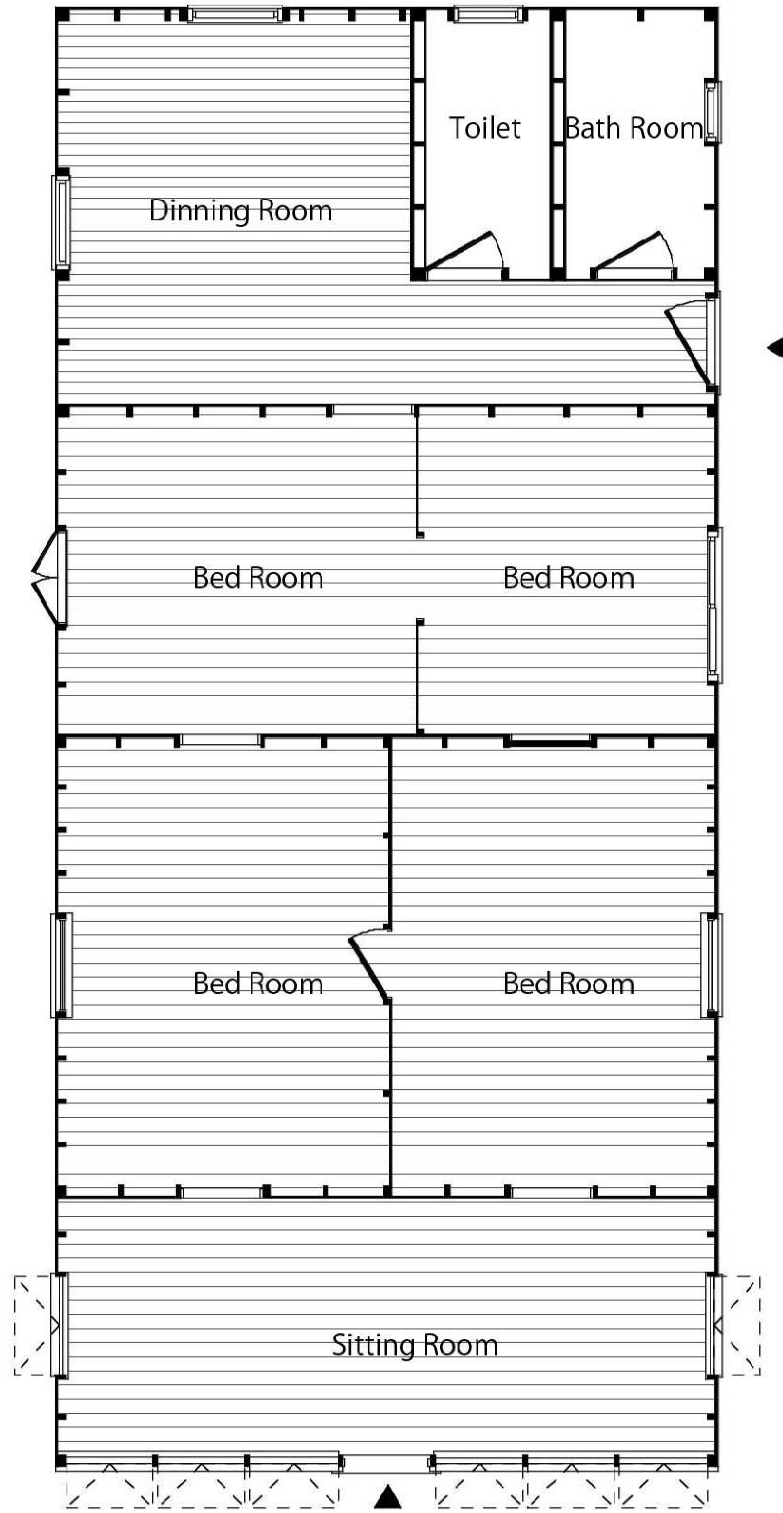
リビング内観(2007年九州大学撮影)



ダイニング内観(2007年九州大学撮影)

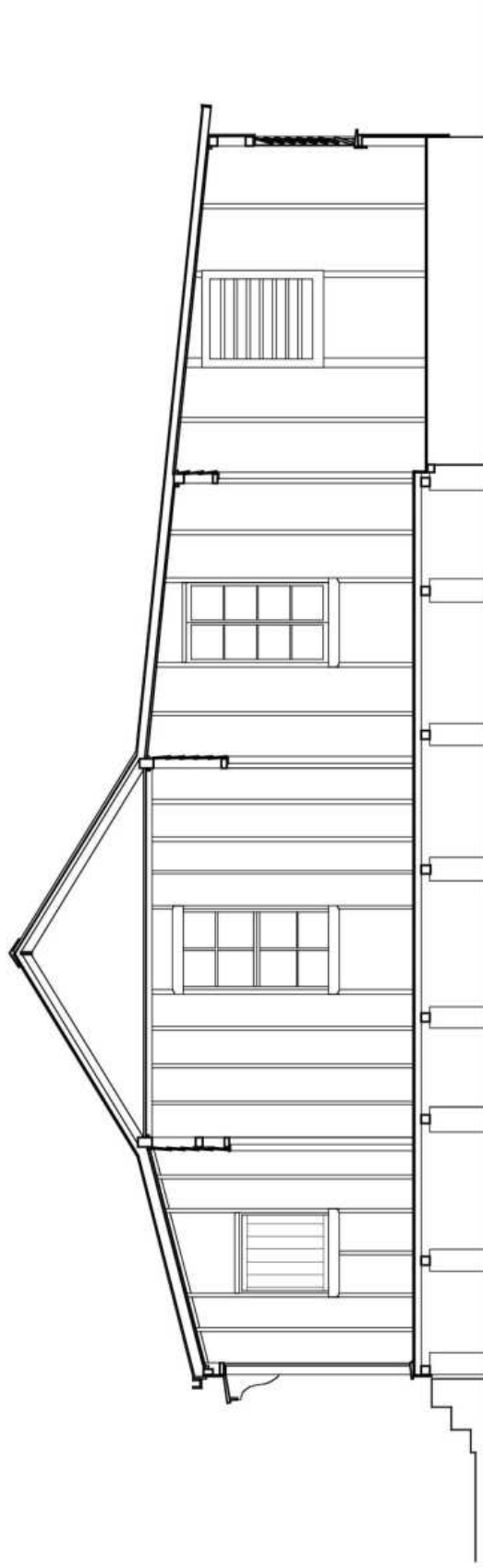


寝室内観(2007年九州大学撮影)



Floor Plan

cottage near market (middle)/ Cecil Evans 図面作製：九州大学



Section

ER:MN23

cottage near market (hill) / Young Yet



内観(2007年九州大学撮影)



内観(2007年九州大学撮影)

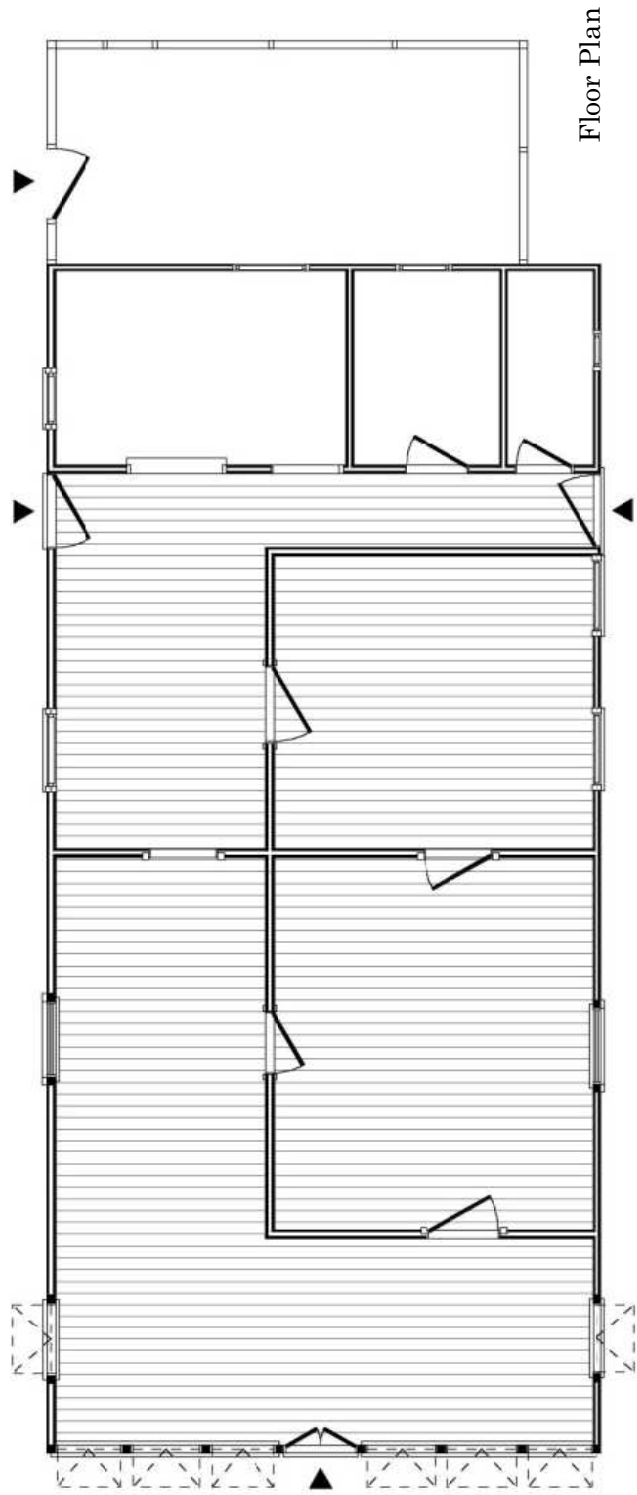


内観(2007年九州大学撮影)



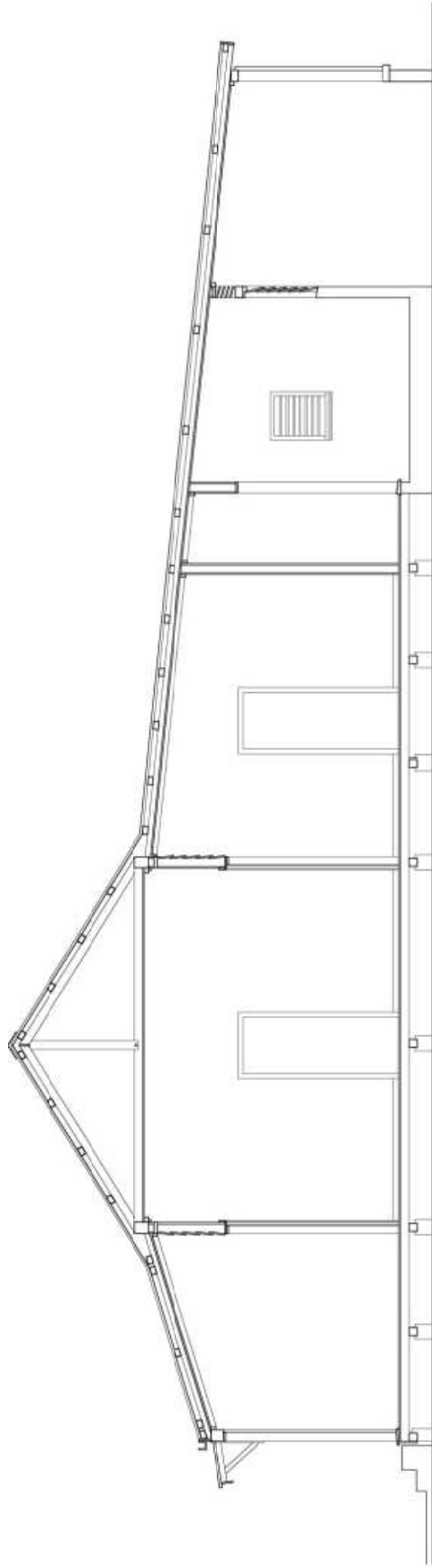
内観(2007年九州大学撮影)

ER-MN23 cottage near market (hill) / Yen Yet 図面作製：九州大学





cottage near market (hill) / Yen Yet 図面作製：九州大学



Section



ER:MN24

house opposite The Royal / Walter Stevens



リビング内観



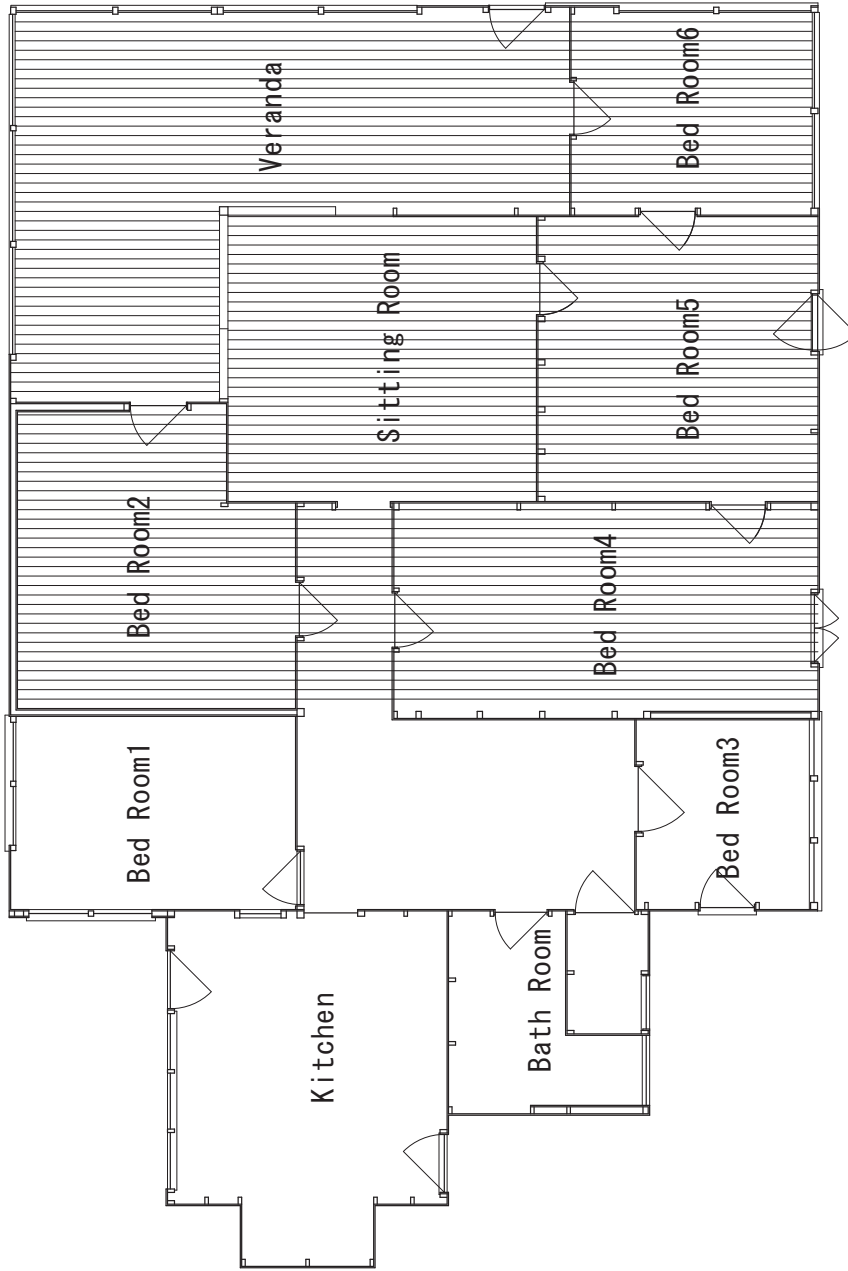
ベランダ内観



台所内観



小屋組み(2007年九州大学撮影)



MN24

House opposite The Royal  
Floor Plan

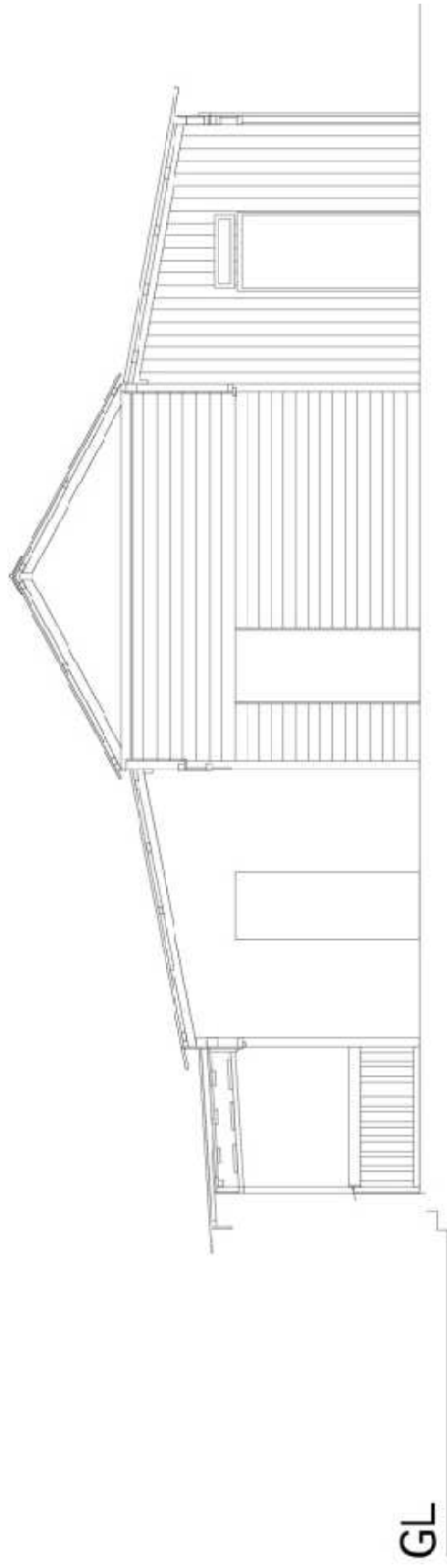
Date

July. 24. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

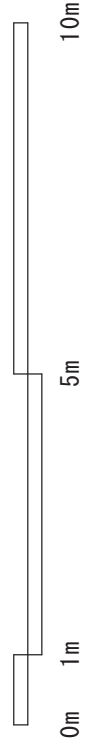
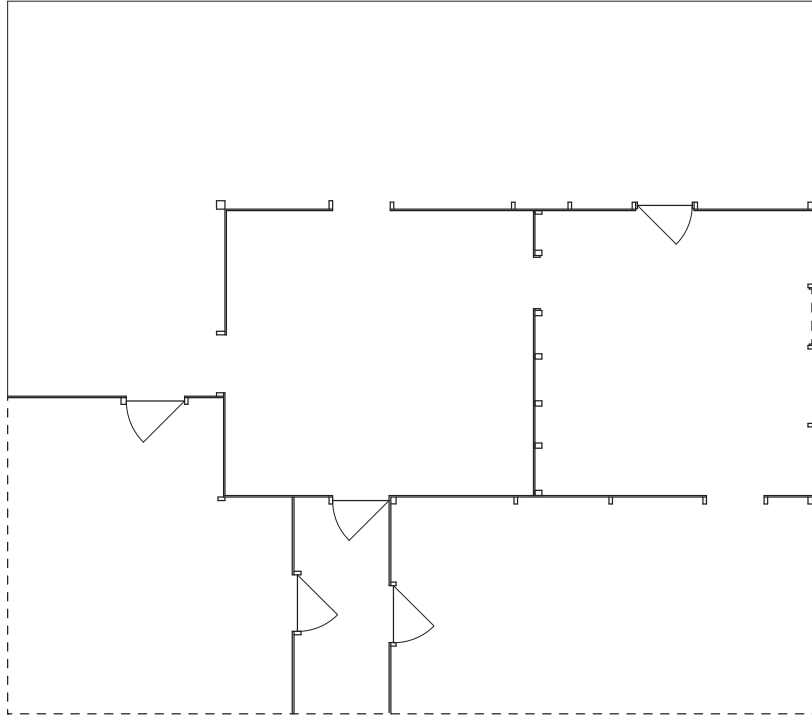
Kyushu UNIVERSITY

ER-MN24 house opposite The Royal / Walter Stevens 図面作製：九州大学



GL

Section



MN24

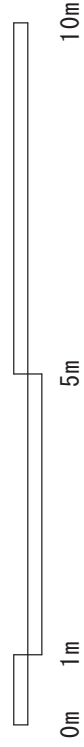
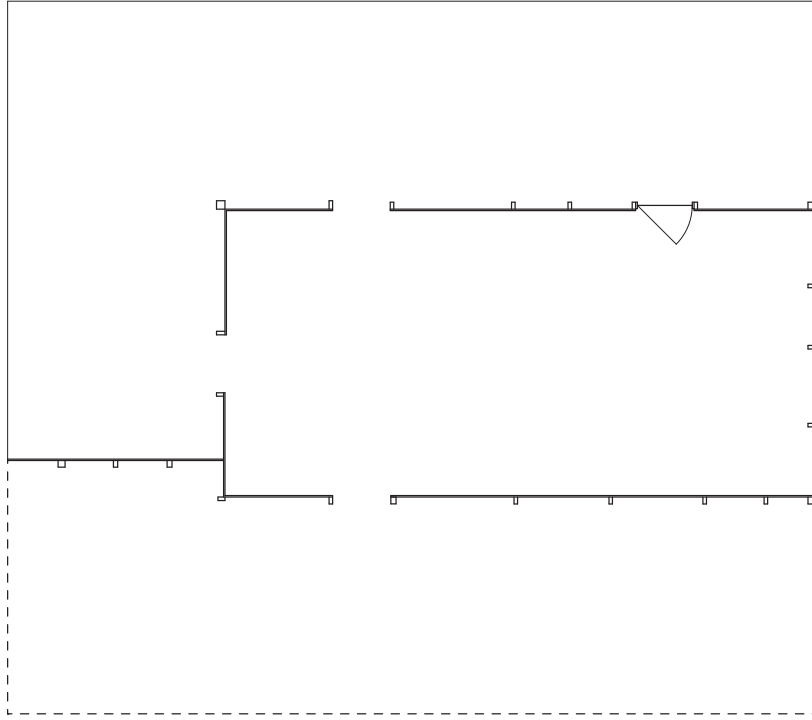
House opposite The Royal  
2nd Original Plan

Date

July. 24. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



MN24

House opposite The Royal  
1st Original Plan

Date

July. 24. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



ER:MN25

VILOMENA BEHARI



リビング内観



台所内観

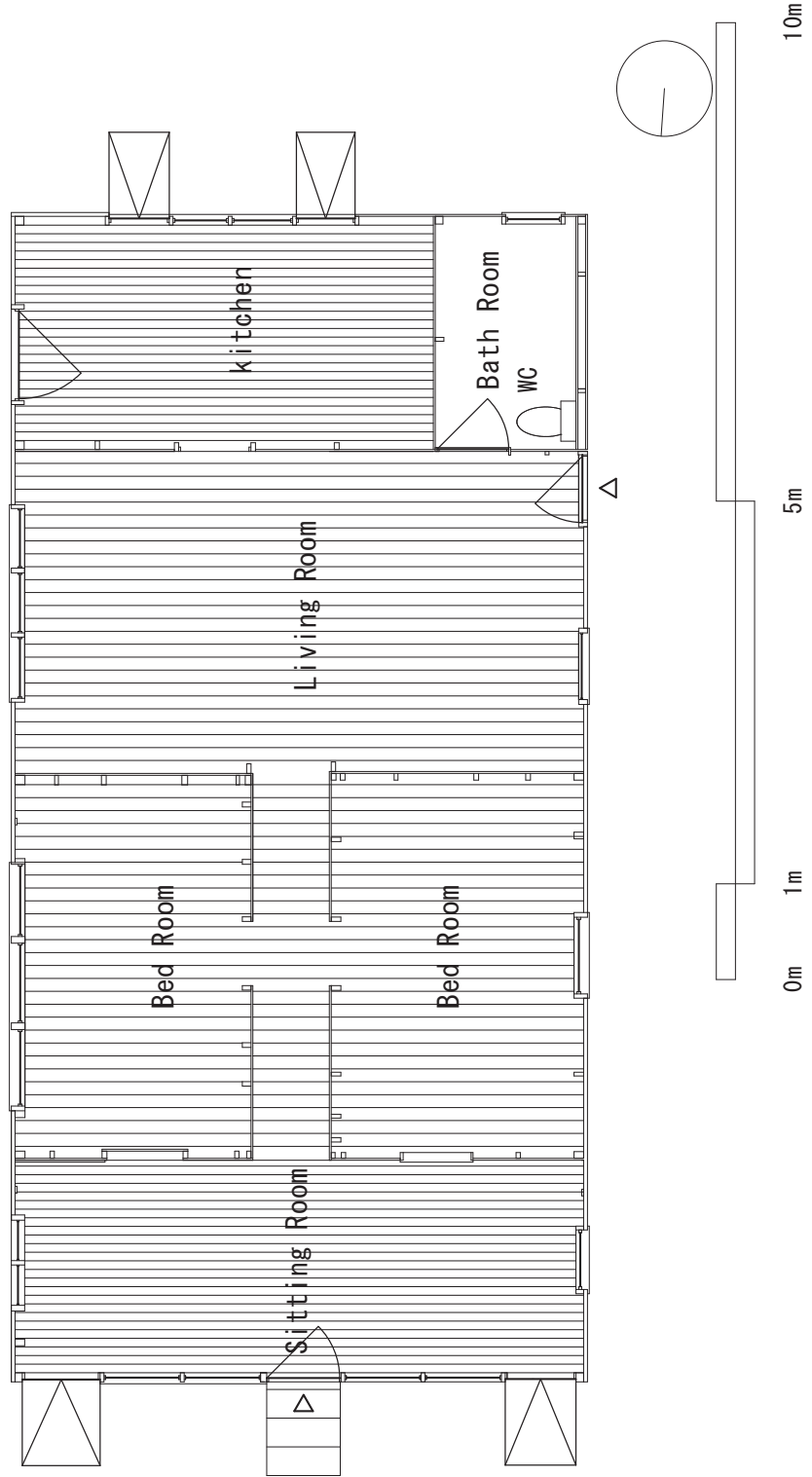


リビング内観



東側外観





**MN25**

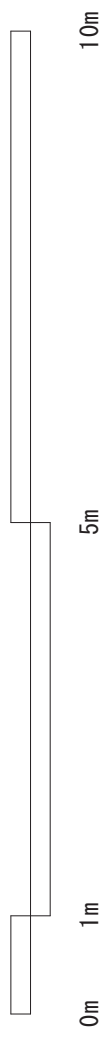
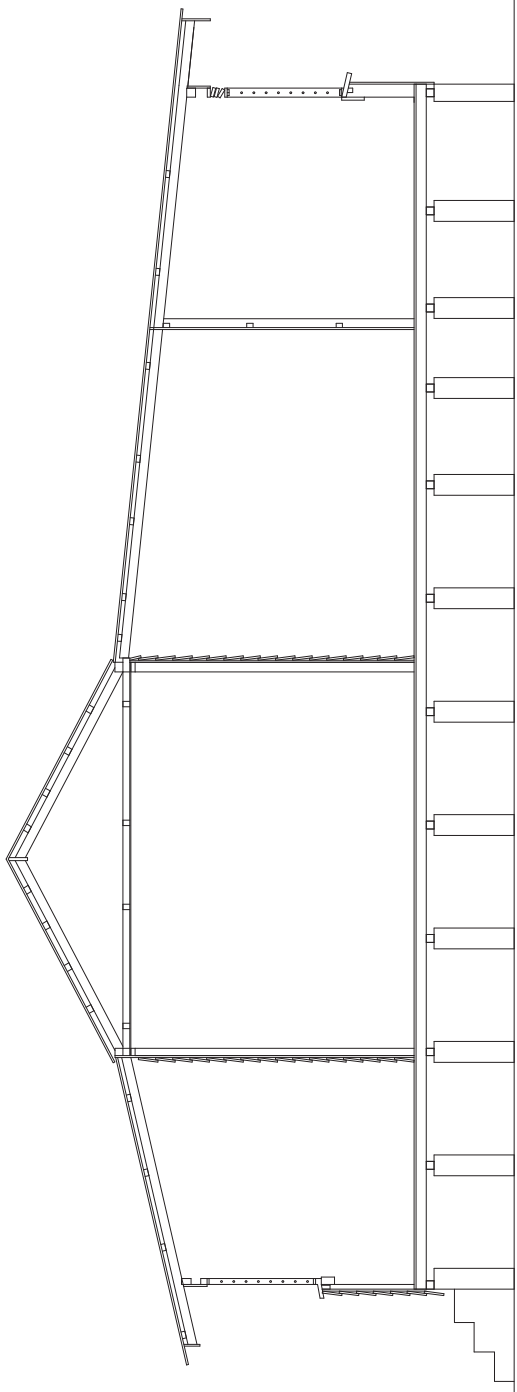
**VILOMENA BEHARI**

Floor Plan

Date

Jun. 26. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**MN25**

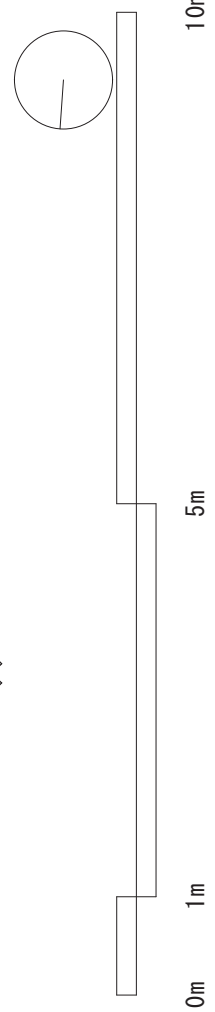
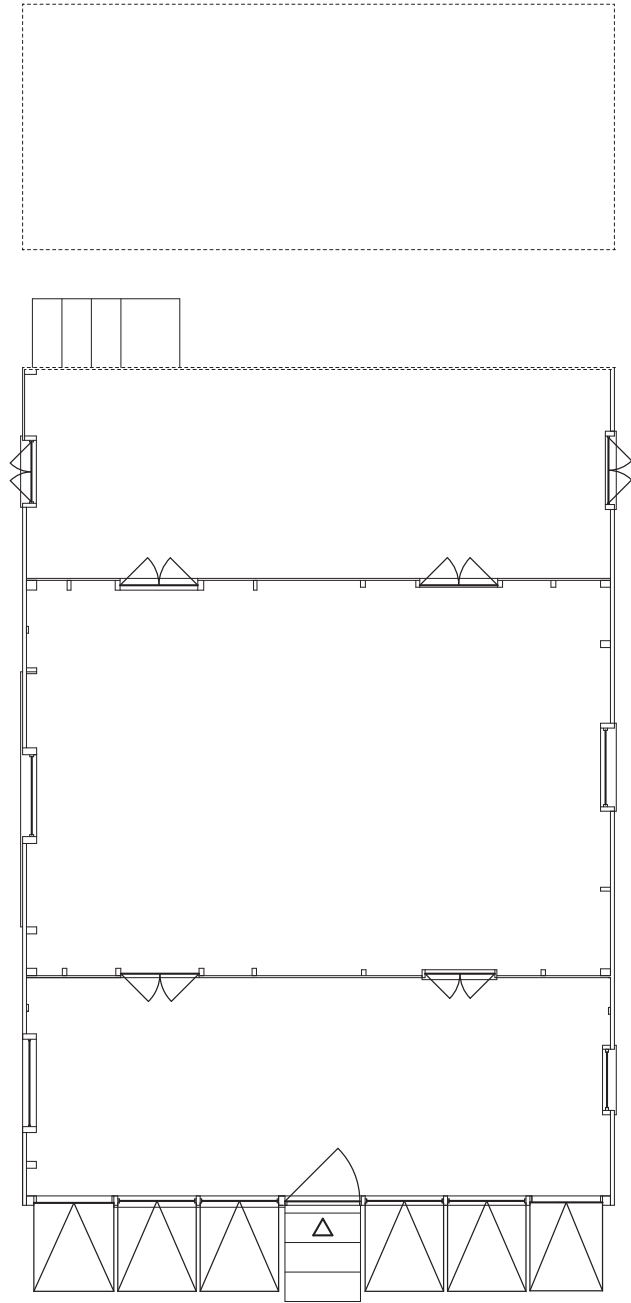
**VILOMENA BEHARI**

Section

Date

Jun. 26. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



|      |                        |               |                               |
|------|------------------------|---------------|-------------------------------|
| MN25 | <b>VILOMENA BEHARI</b> |               | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|      | Original Plan          |               |                               |
|      | Date                   | Jun. 26. 2017 |                               |

Levuka Crafts Centre



内観(2007年九州大学撮影)



内観(2007年九州大学撮影)

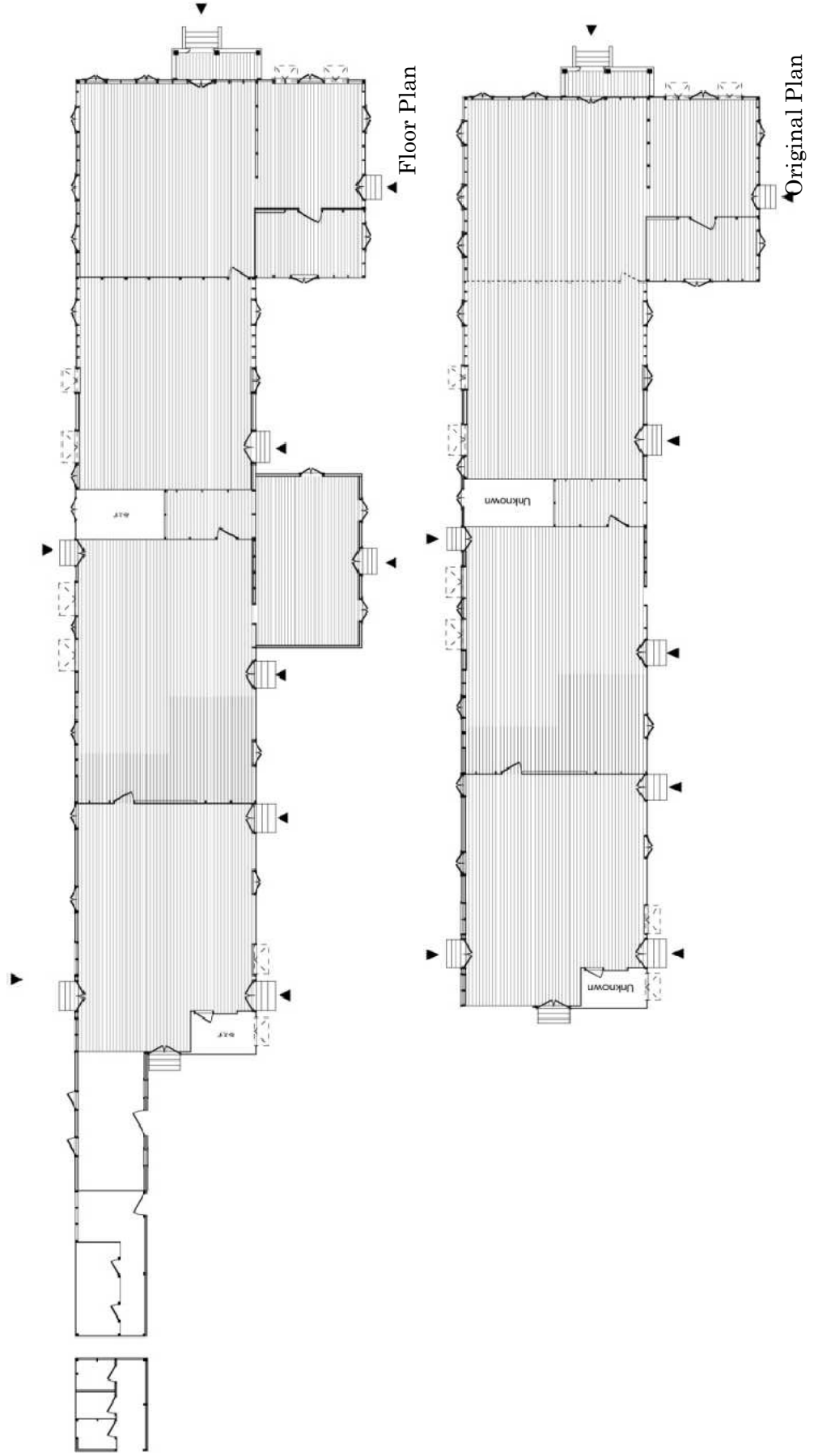


北側外観(2007年九州大学撮影)

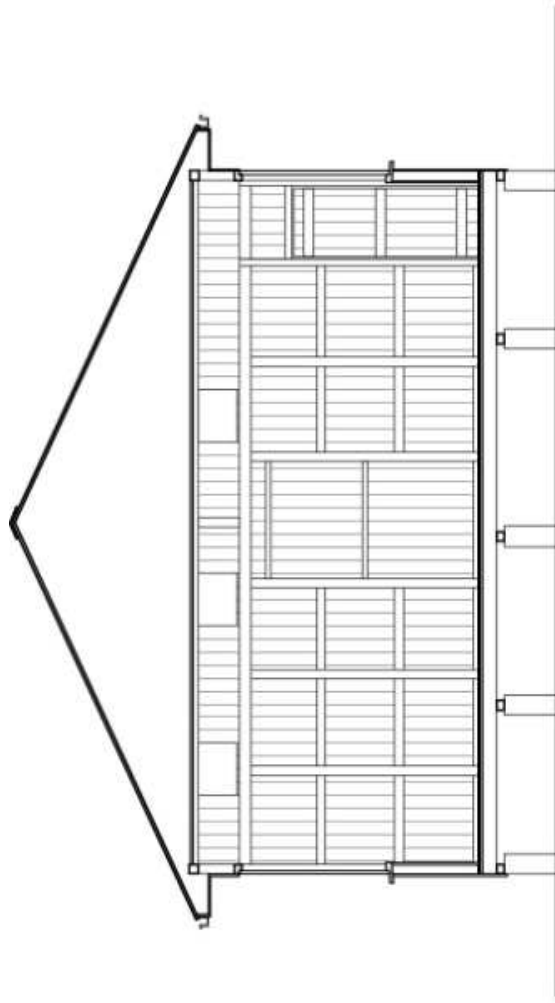


南側外観(2007年九州大学撮影)

ER-MN26 Levuka Crafts Centre 図面作製：九州大学



Levuka Crafts Centre 図面作製：九州大学



Section

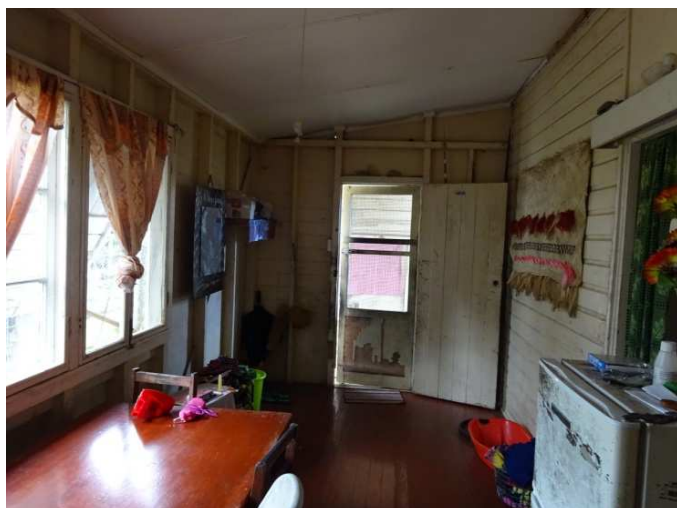


ER:MN27

Inohe Dileqa



リビング内観



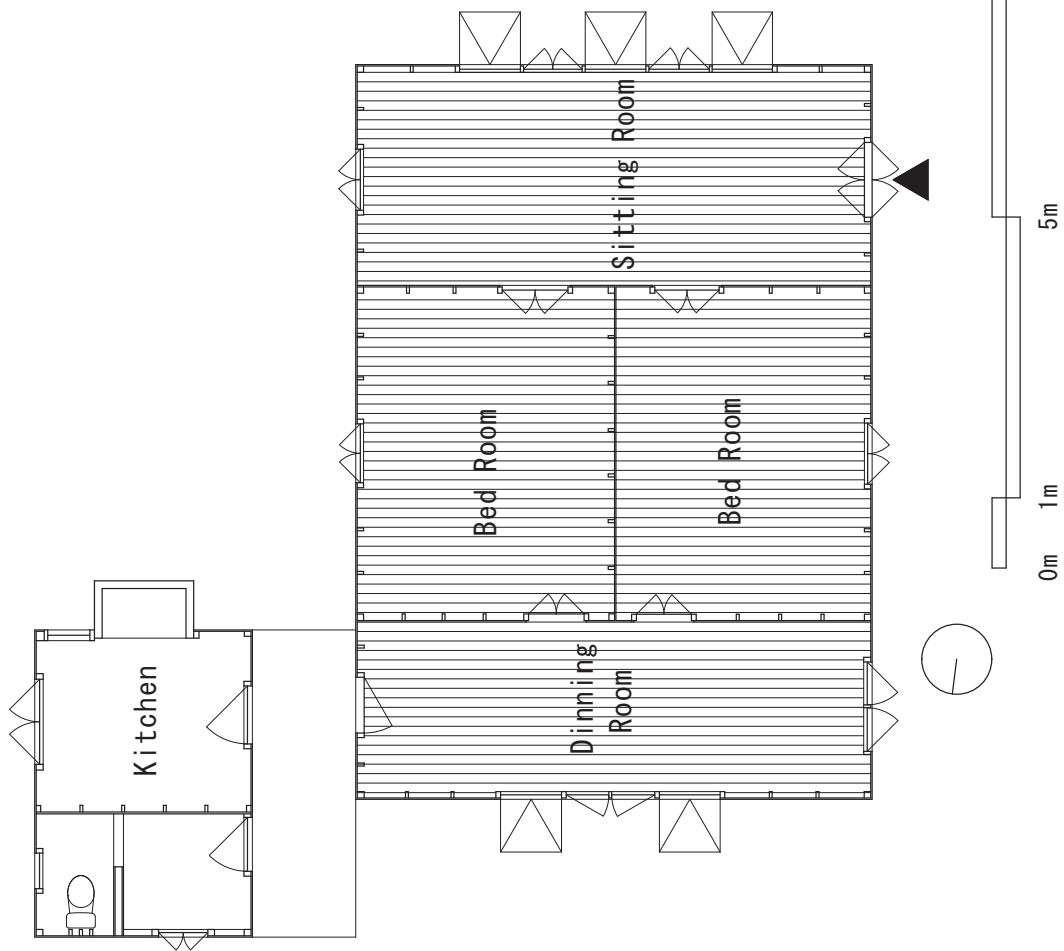
ダイニング内観



小屋組み



北側外観



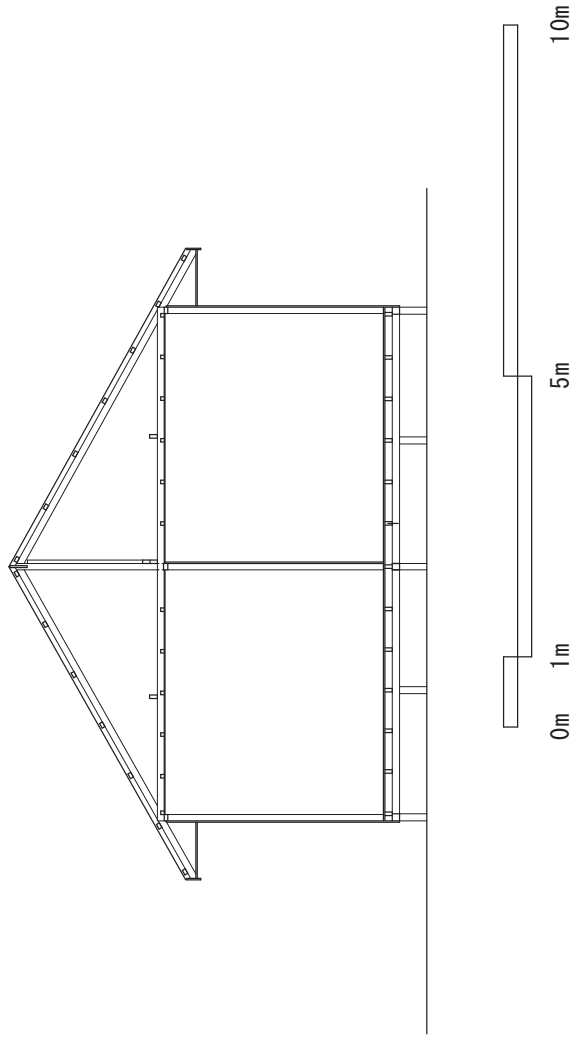
**MN27**

**Inohe Dileqa**  
Floor Plan

Date

Jun. 26. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MN27

Inohe Di Ieqa

Date

Jun. 26. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





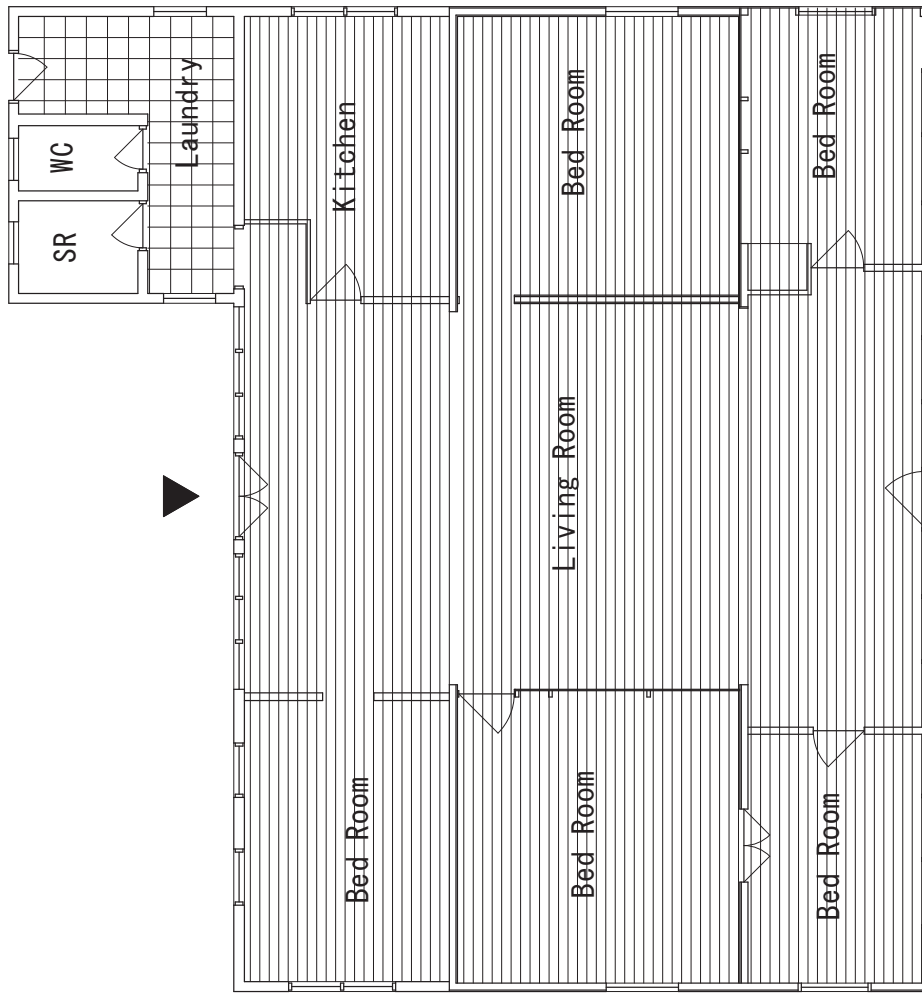
リビング内観

後方外観



西側外観

東側外観

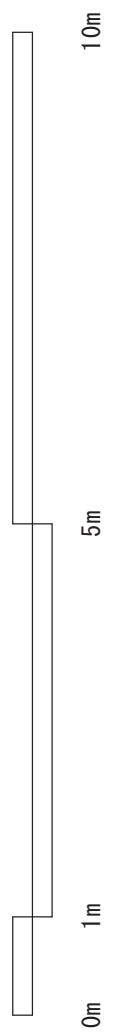
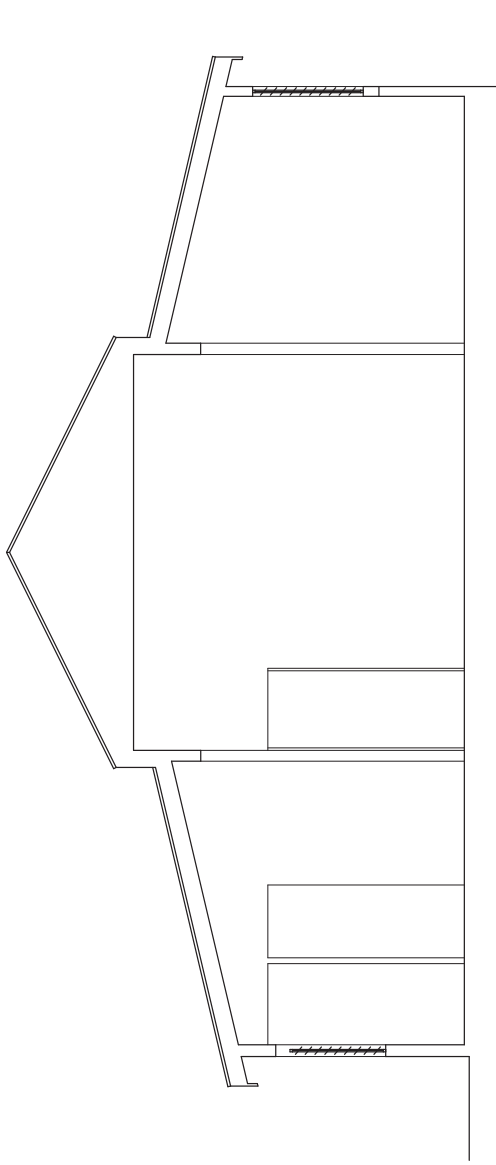


MN28

Jolame Bogi  
Floor Plan

Date  
Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



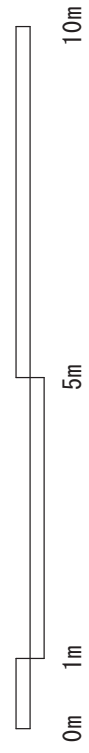
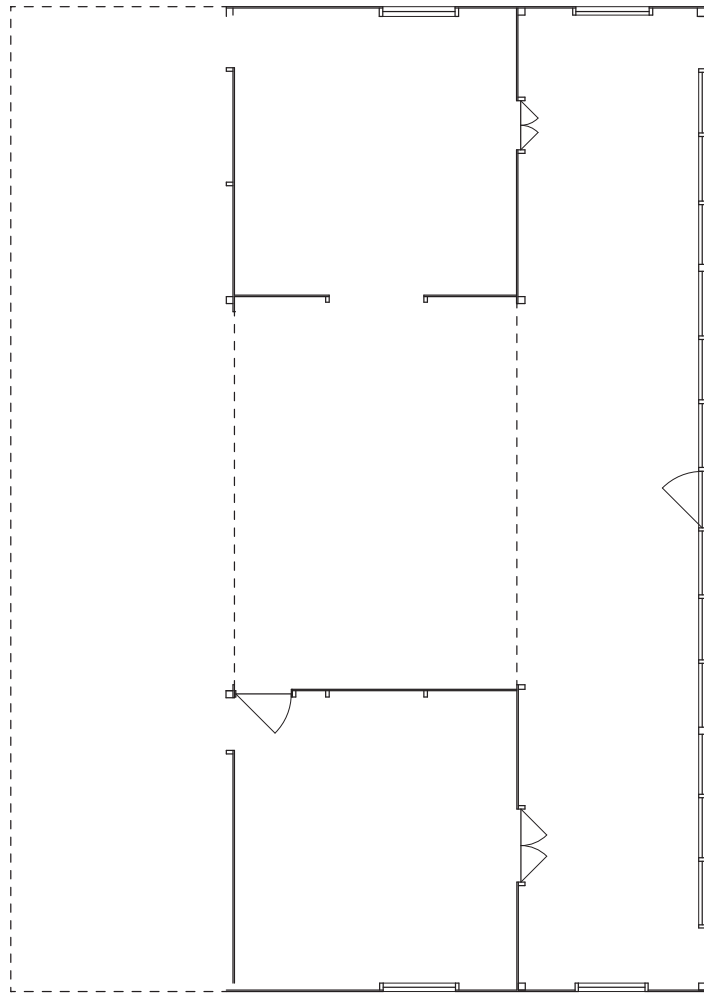
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 10. 2016

Jolame Bogi  
Section

MN28





|      |                              |                       |                               |
|------|------------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| MN28 | Jolame Bogi<br>Original Plan | Date<br>Aug. 10. 2016 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|------|------------------------------|-----------------------|-------------------------------|

ER:MN29

Est. George Bower



リビング内観



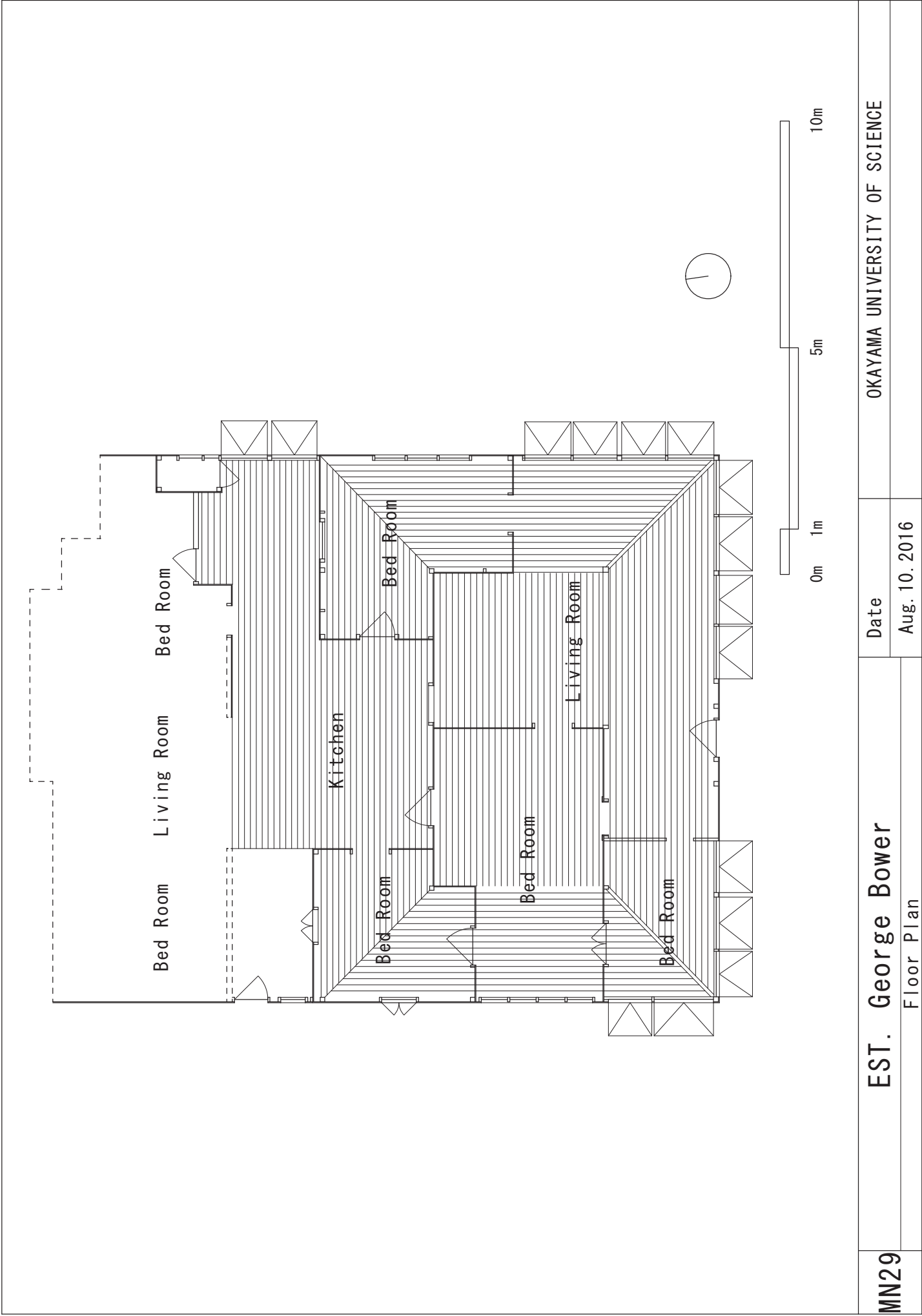
リビング内観



リビング内観



増築部外観



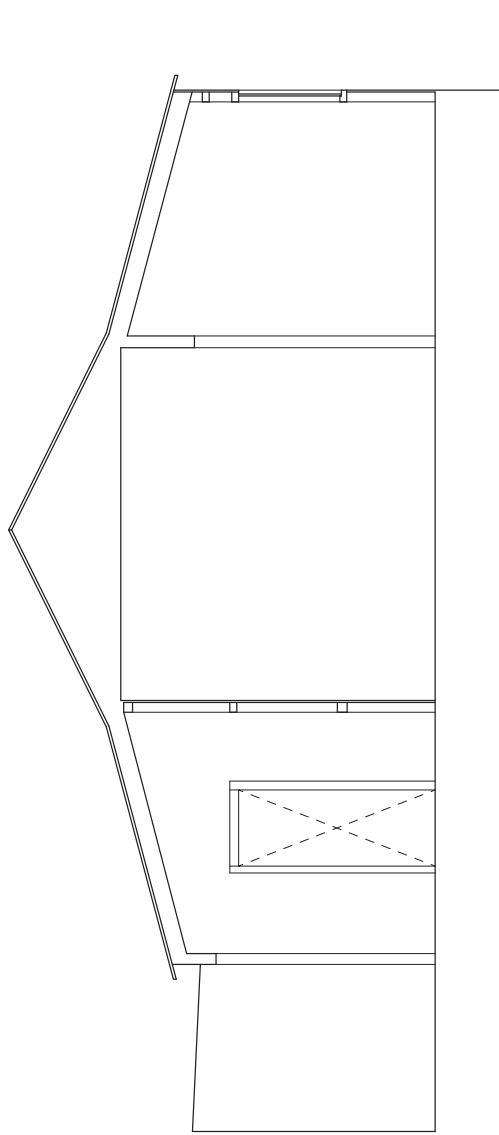
MN29

EST. George Bower  
Floor Plan

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



MN29

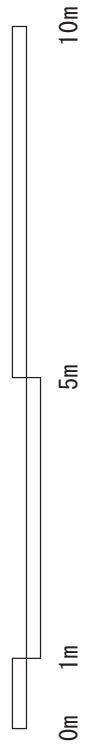
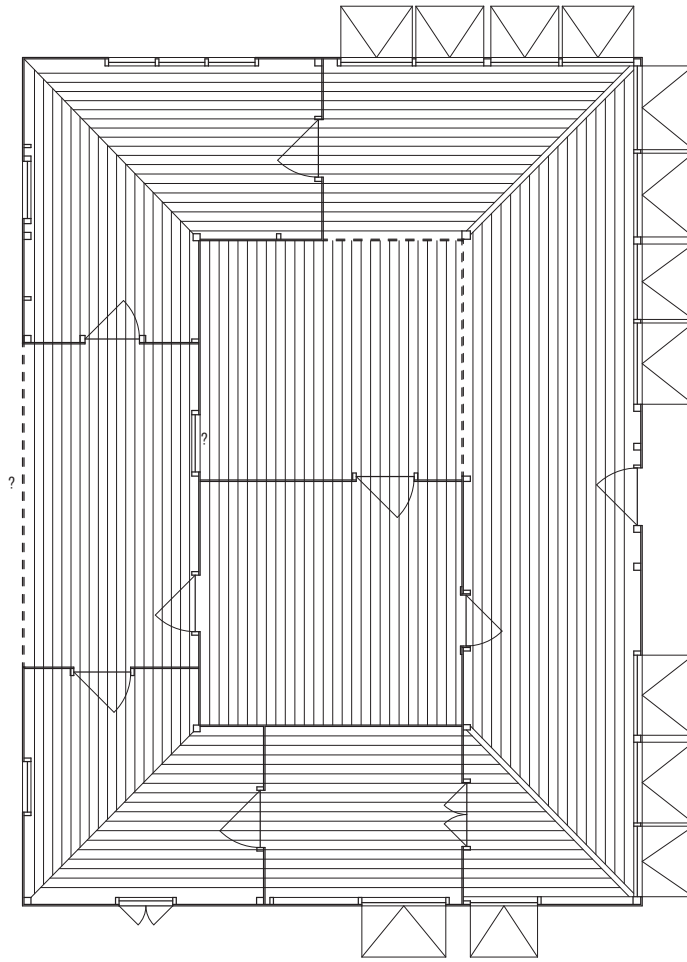
EST. George Bower

Section

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**MN29**

**EST. George Bower**  
Originan Plan

Date

Aug. 10. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER-MN30

QRRS 34



内観



内観

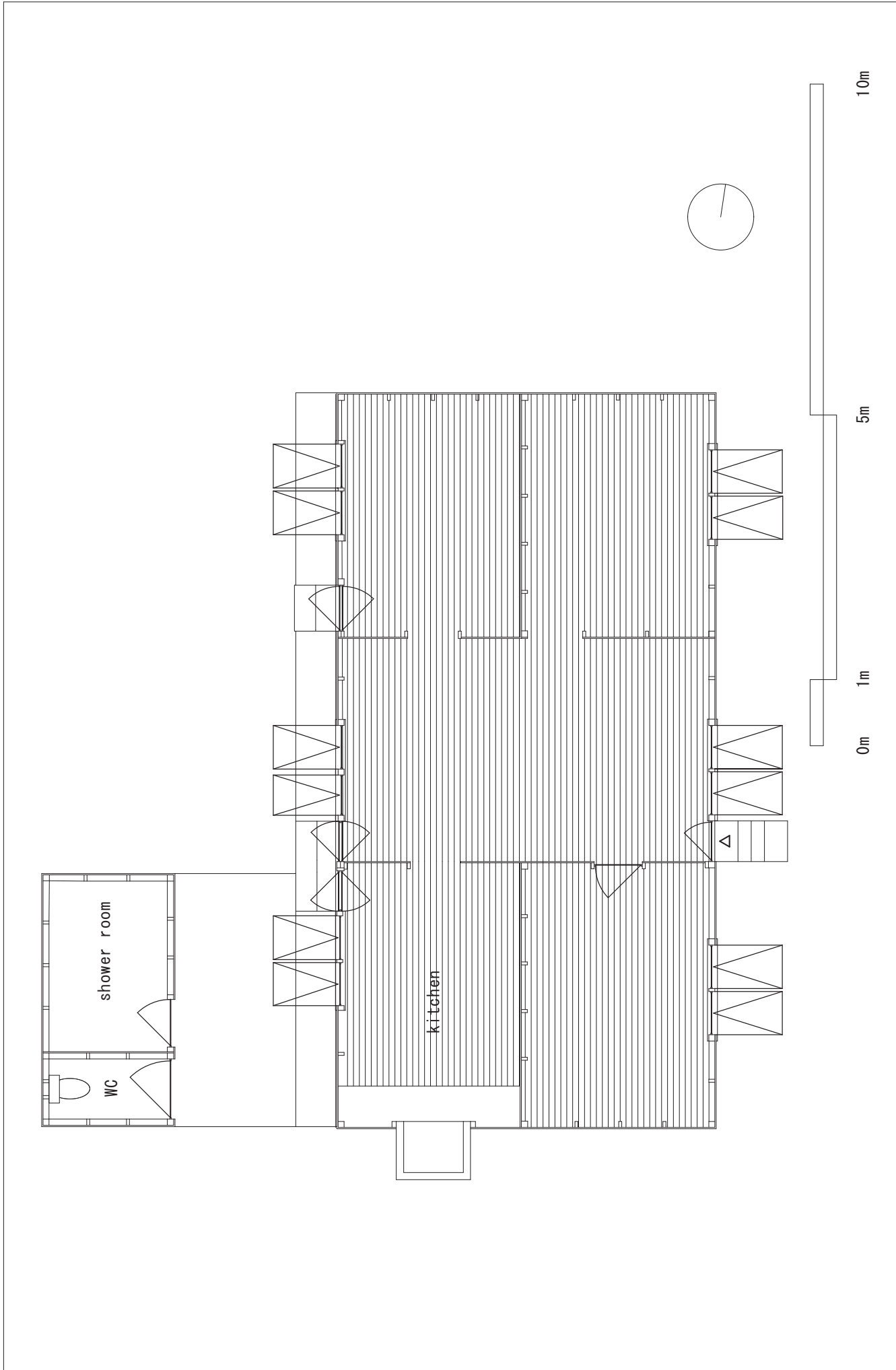


内観

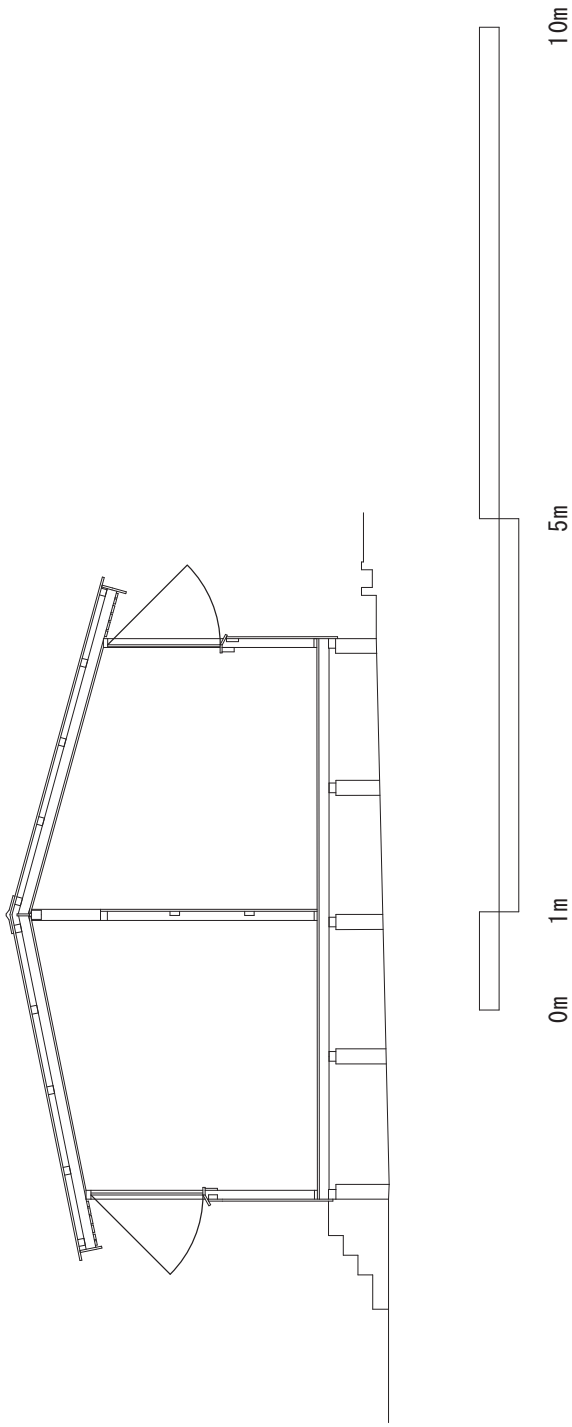


西側外観





|      |                       |                        |                               |
|------|-----------------------|------------------------|-------------------------------|
| MN30 | QRRS 34<br>Floor Plan | Date<br>July. 26. 2017 | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|------|-----------------------|------------------------|-------------------------------|



MN30

QRRS 34

Section

Date

July. 26. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:MN31

Vadei house



リビング内観



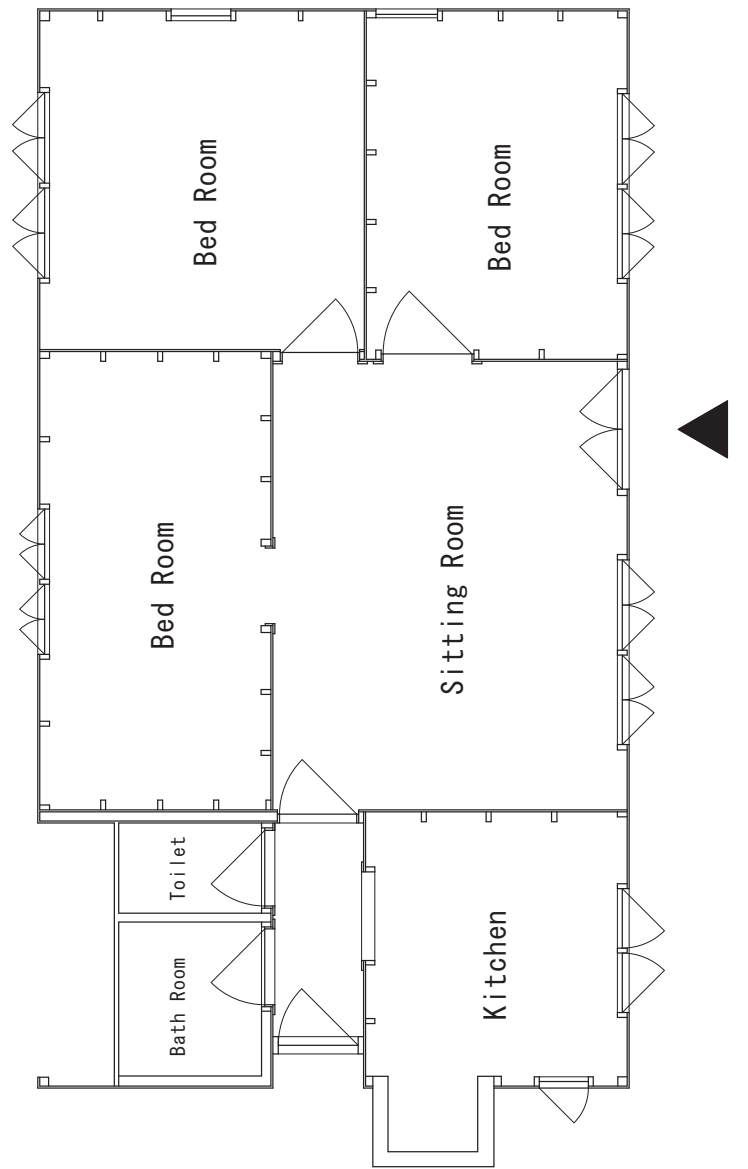
南側外観



寝室内観



北側外観



MN31

Vadei houseCottage 7d

Floor Plan

Date

Feb. 12. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N01

George Bibson



リビング内観



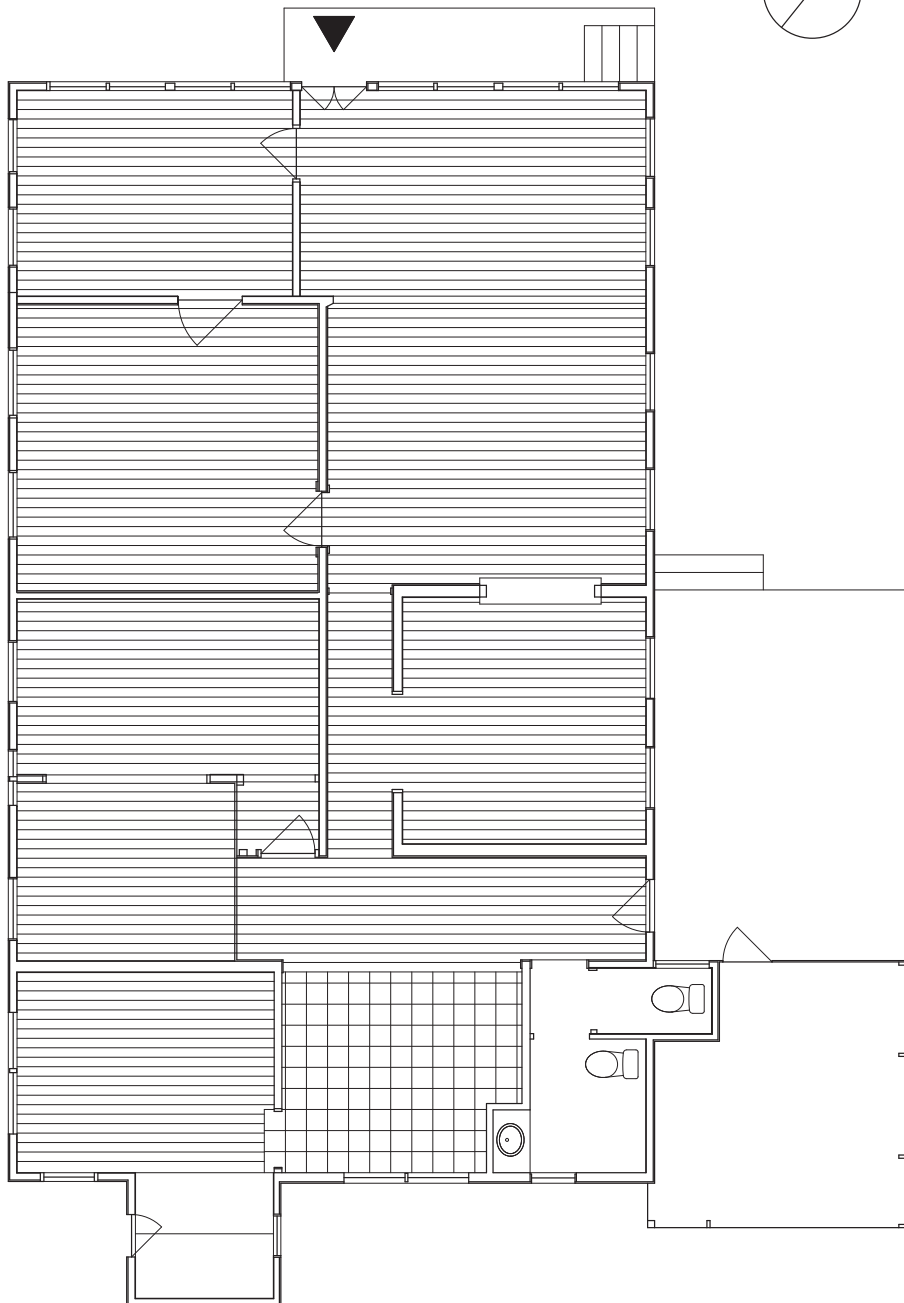
小屋組み



台所内観



南側外観



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date

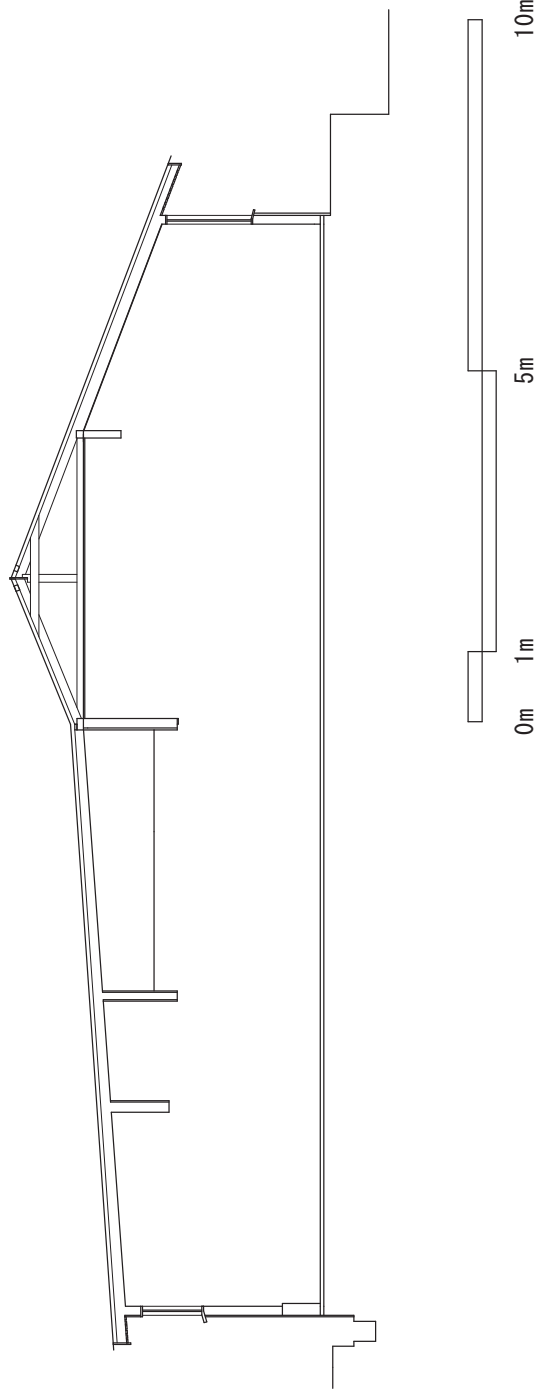
Aug. 12. 2016

George Gibson

Floor Plan

N01





N01

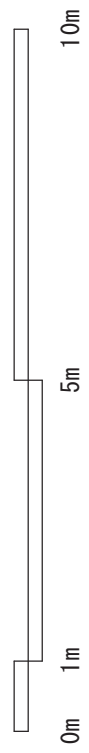
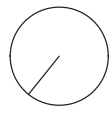
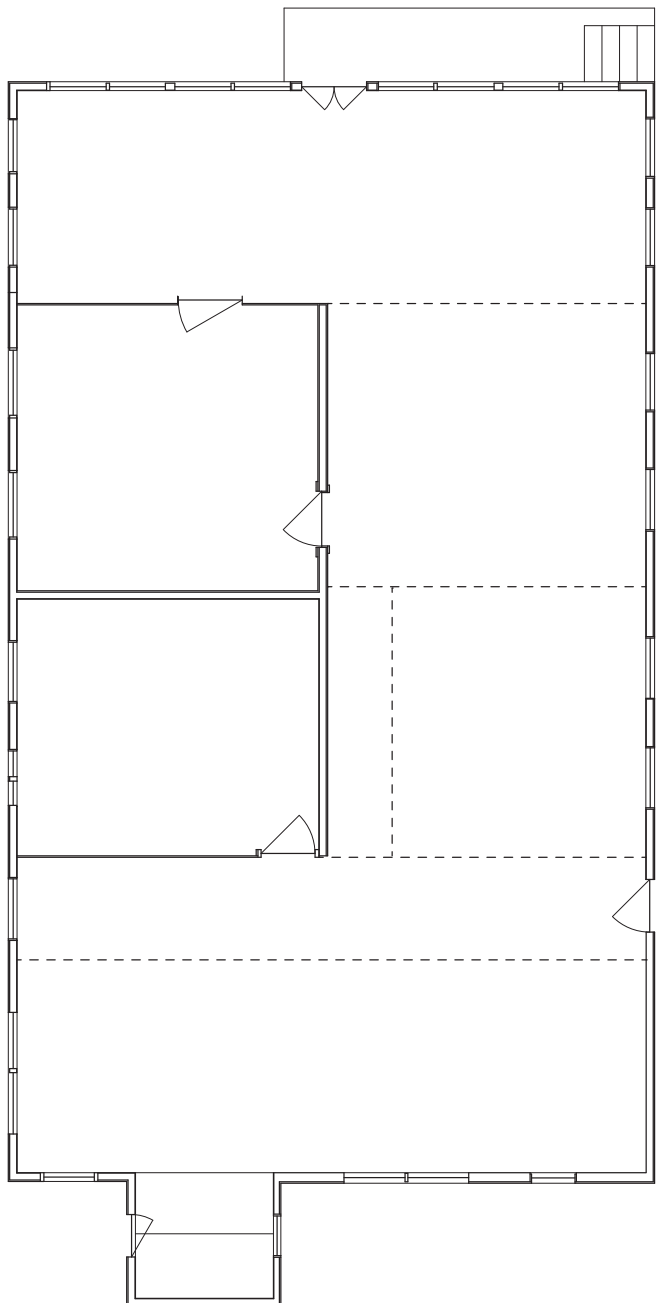
George Gibson

Section

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**N01**

**George Gibson**  
Original Plan

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N02

BOBBY WORROOK



内観



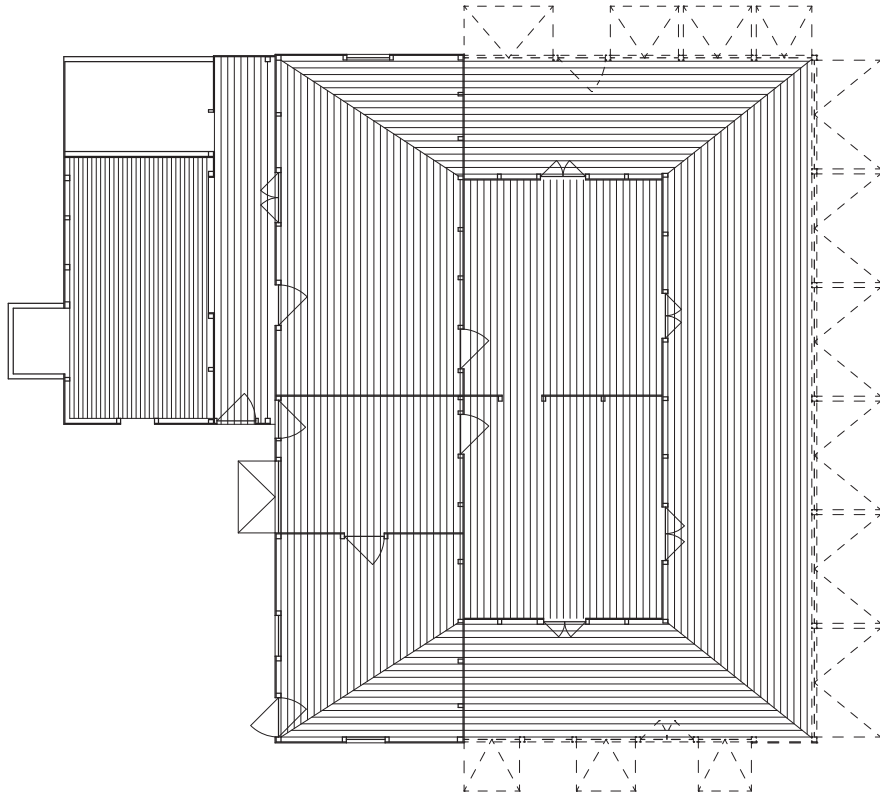
内観



内観



1949年撮影(National Archive 所蔵)

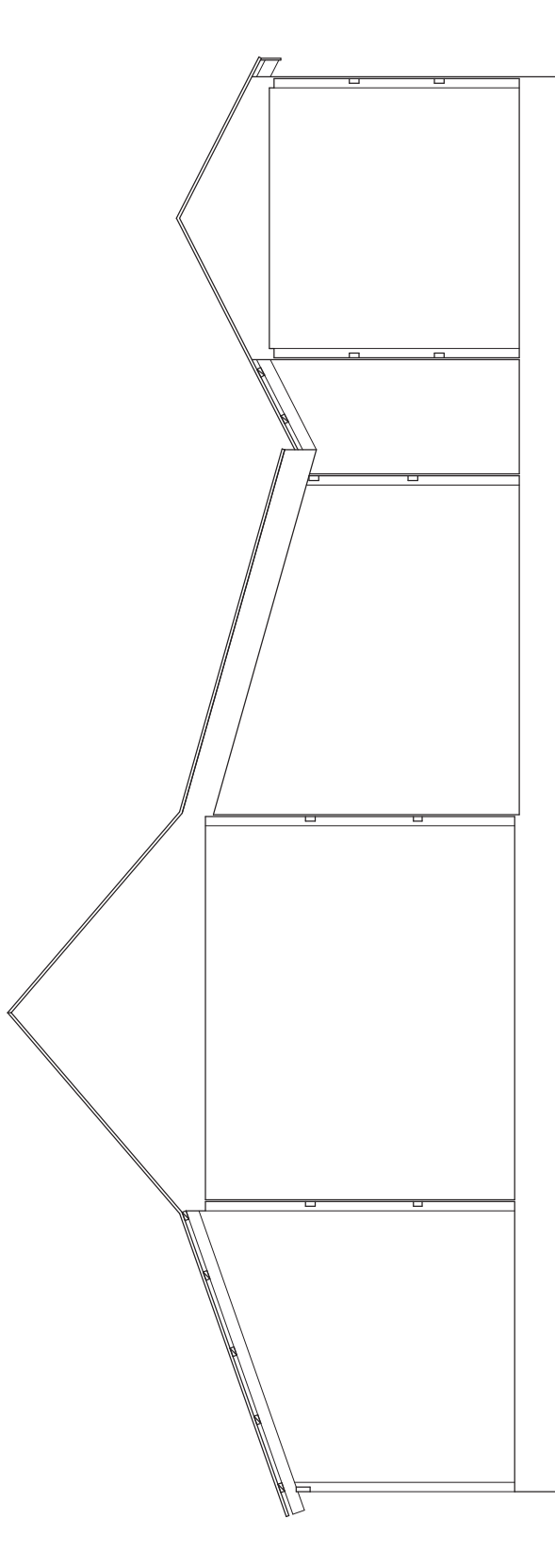


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 11. 2016

Bobby Warbrooke  
Floor Plan

N02



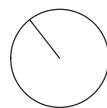
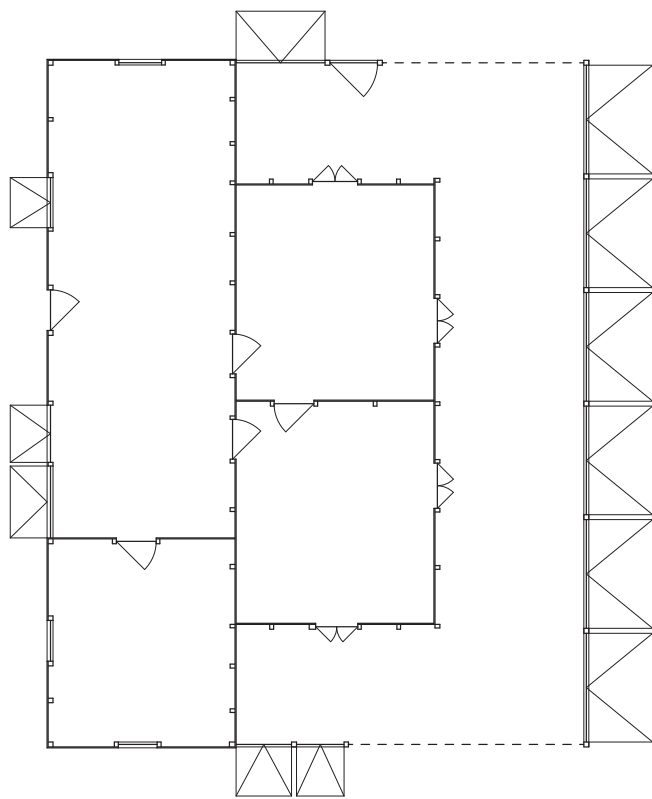
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 11. 2016

Bobby Warbrooke

Section

N02



**N02**

**Bobby Warbrooke**

Original Plan

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N03

Est. Wainiqolo



リビング内観



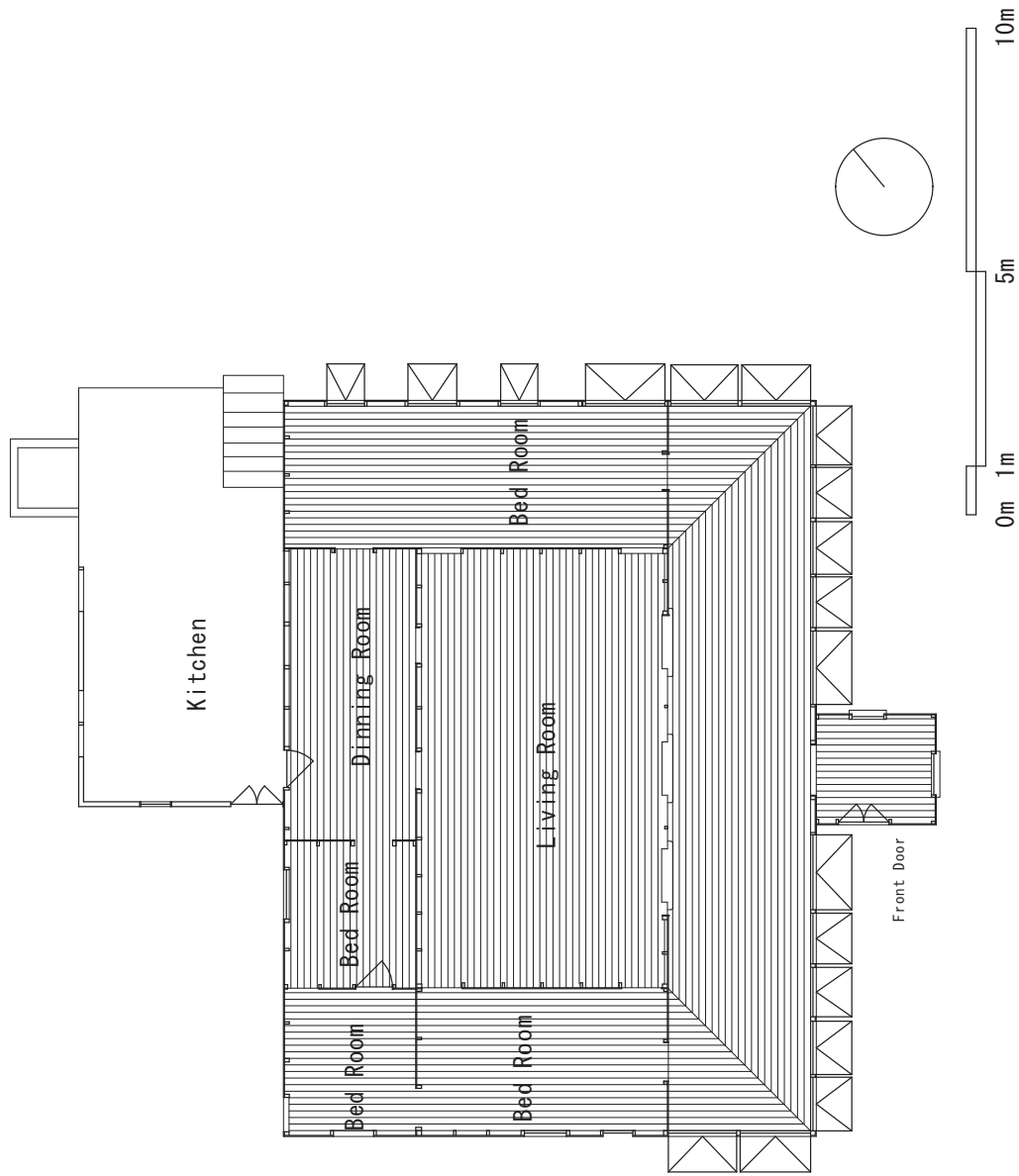
小屋組み



リビング内観



壁痕跡

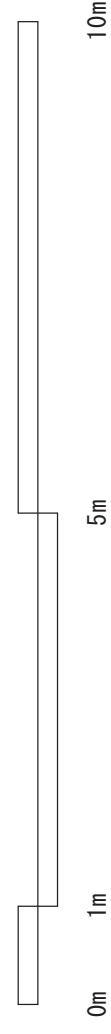
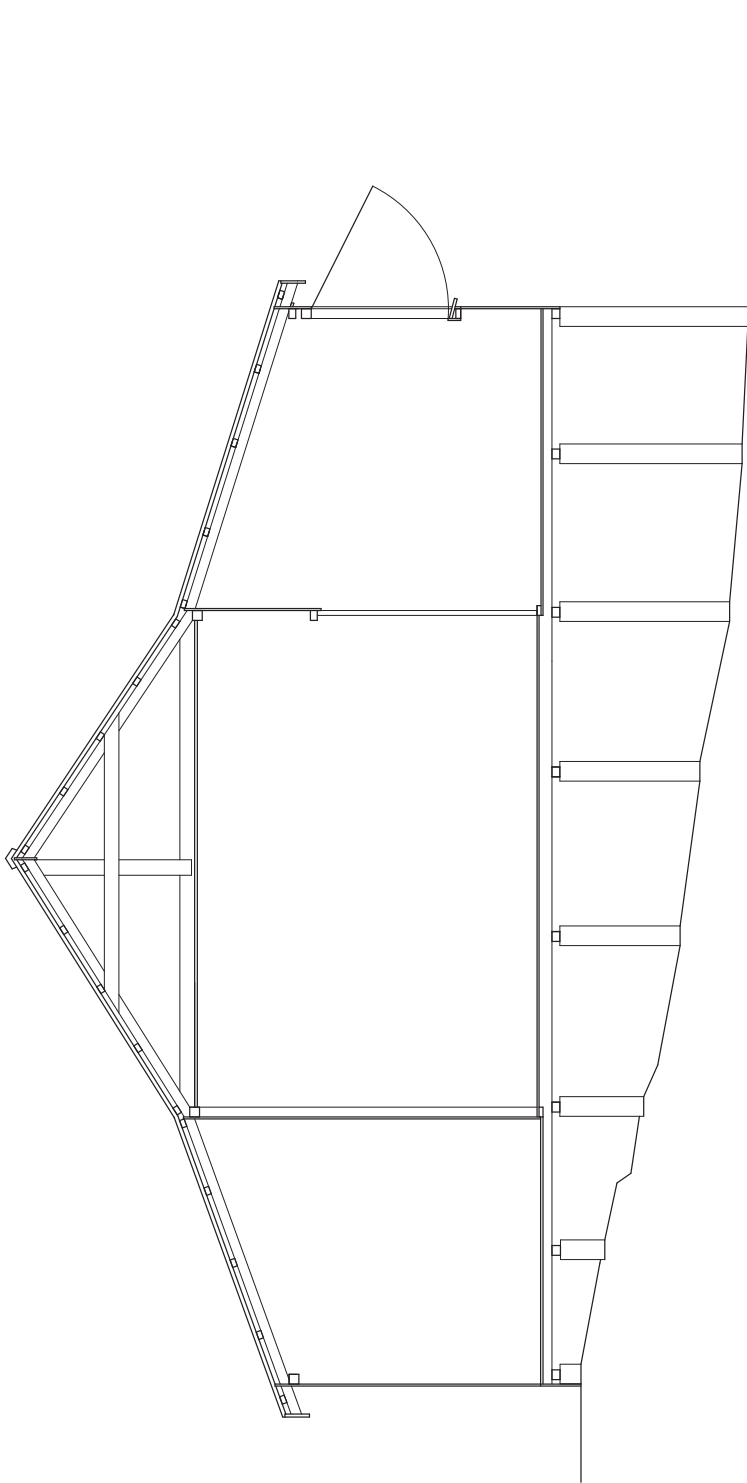


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE  
Kyushu UNIVERSITY

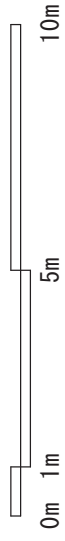
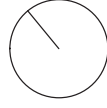
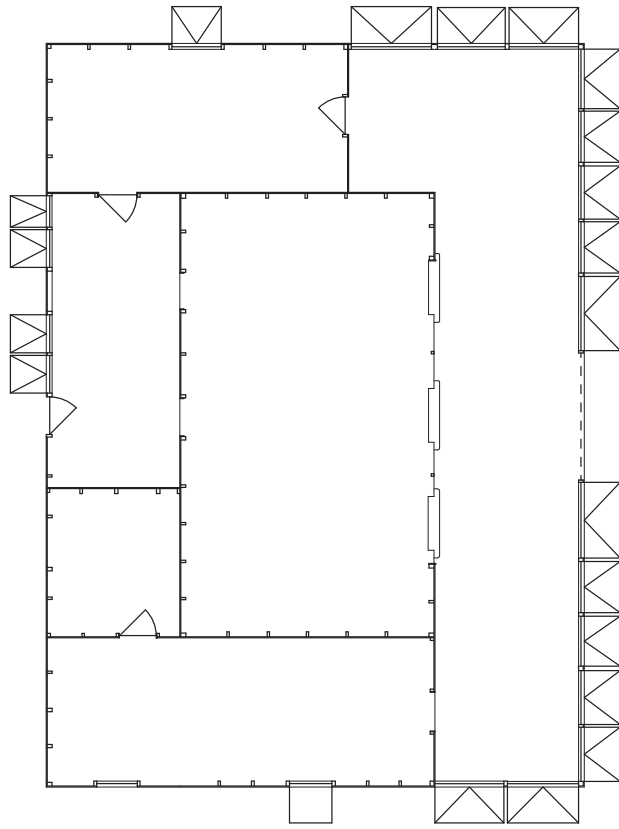
Date  
Aug. 11. 2016

EST. Wainiqolo  
Floor Plan

N03



|     |                |               |                               |
|-----|----------------|---------------|-------------------------------|
| N03 | EST. Wainiqolo | Date          | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |
|     | Section        | Aug. 11. 2016 | Kyushu UNIVERSITY             |



N03

EST. Wainiqolo

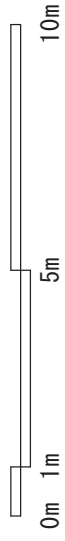
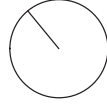
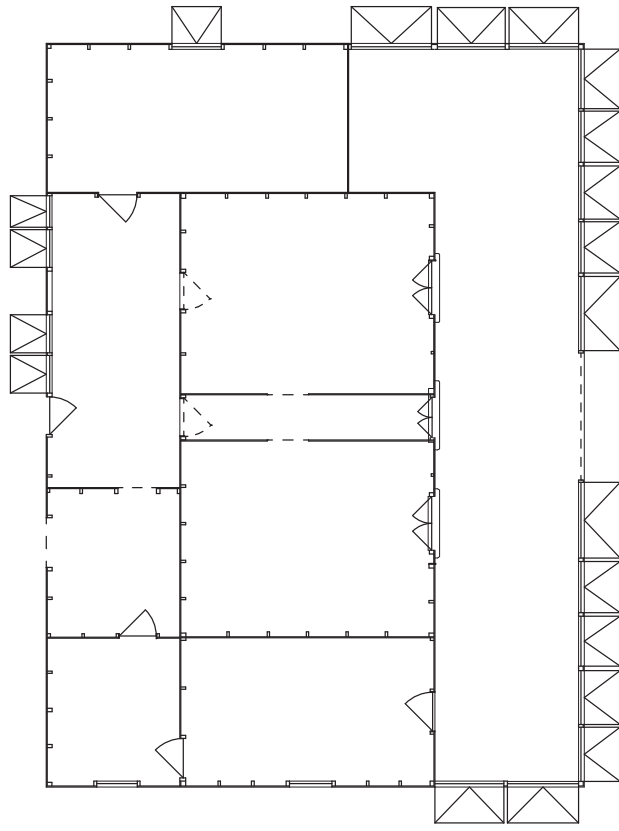
1st Original Plan

Date

Aug. 11. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE  
Kyushu UNIVERSITY

Date  
Aug. 11. 2016

EST. Wainiqolo  
2nd Original Plan

N03



ER:N04

Willy Wilson's House



内観



内観

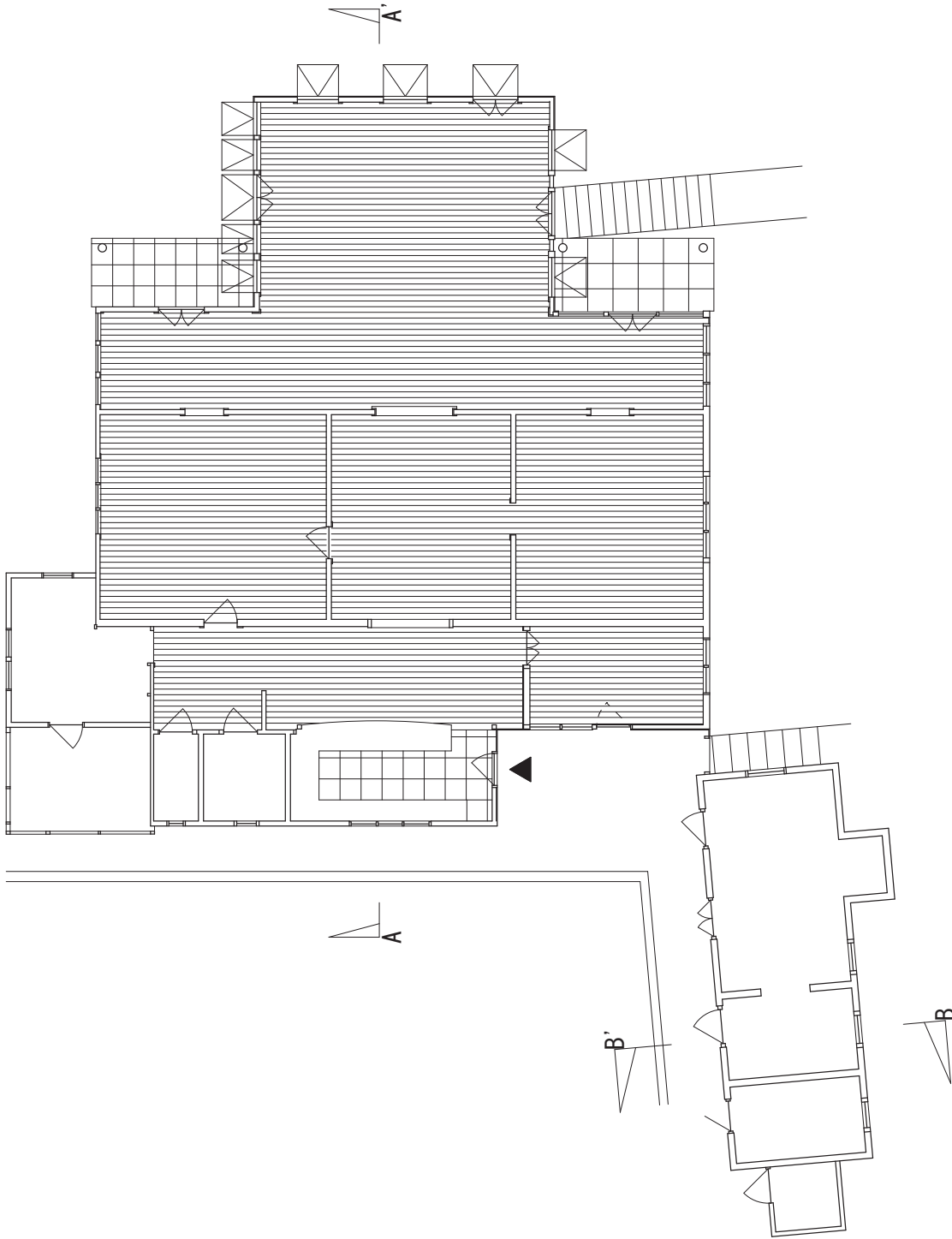


内観



北側外観



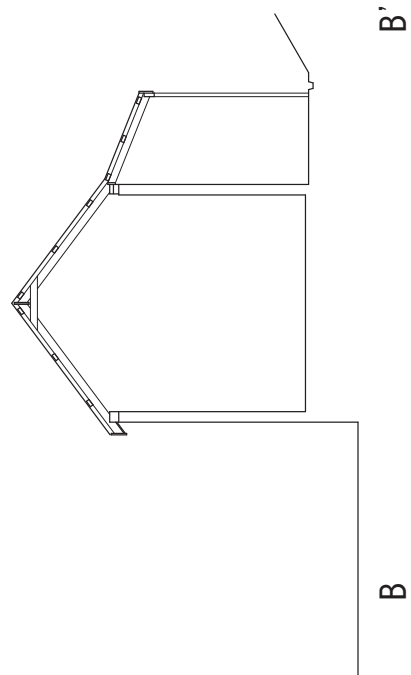
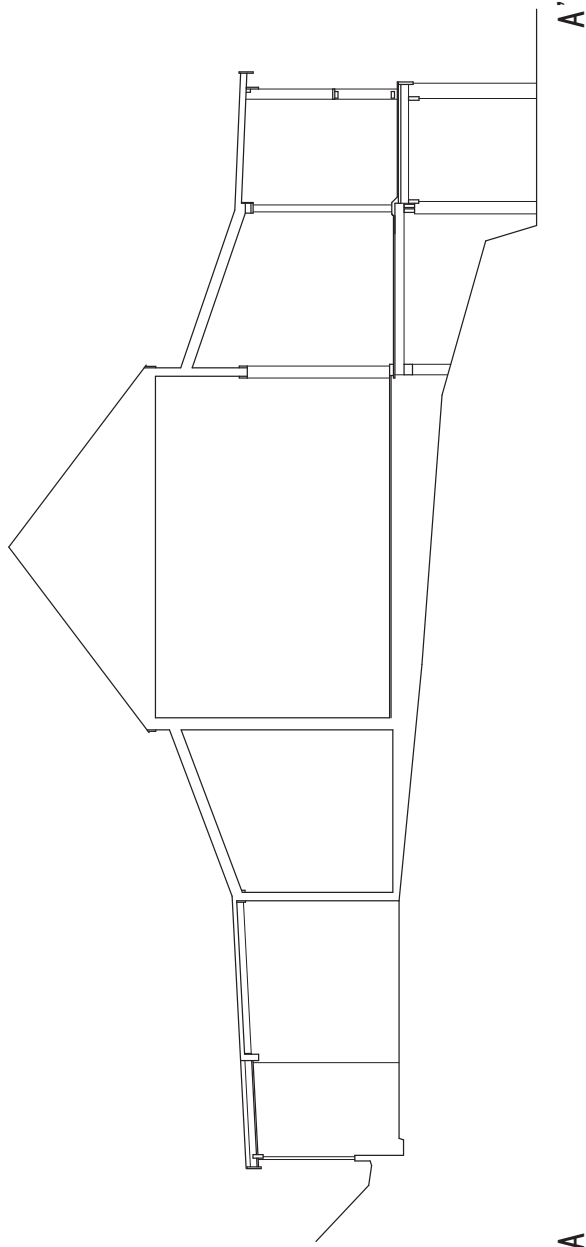


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 19. 2016

Willy Wilson's House  
Floor Plan

N04



N04

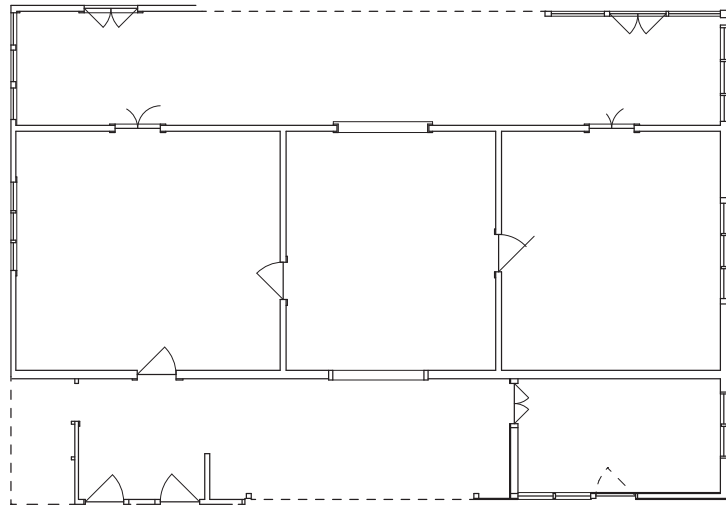
Willy Wilson's House

Section

Date

Aug. 19. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 19. 2016

Willy Wilson's House  
Original Plan

N04

ER:N05

FEA Mission House



周辺室内観



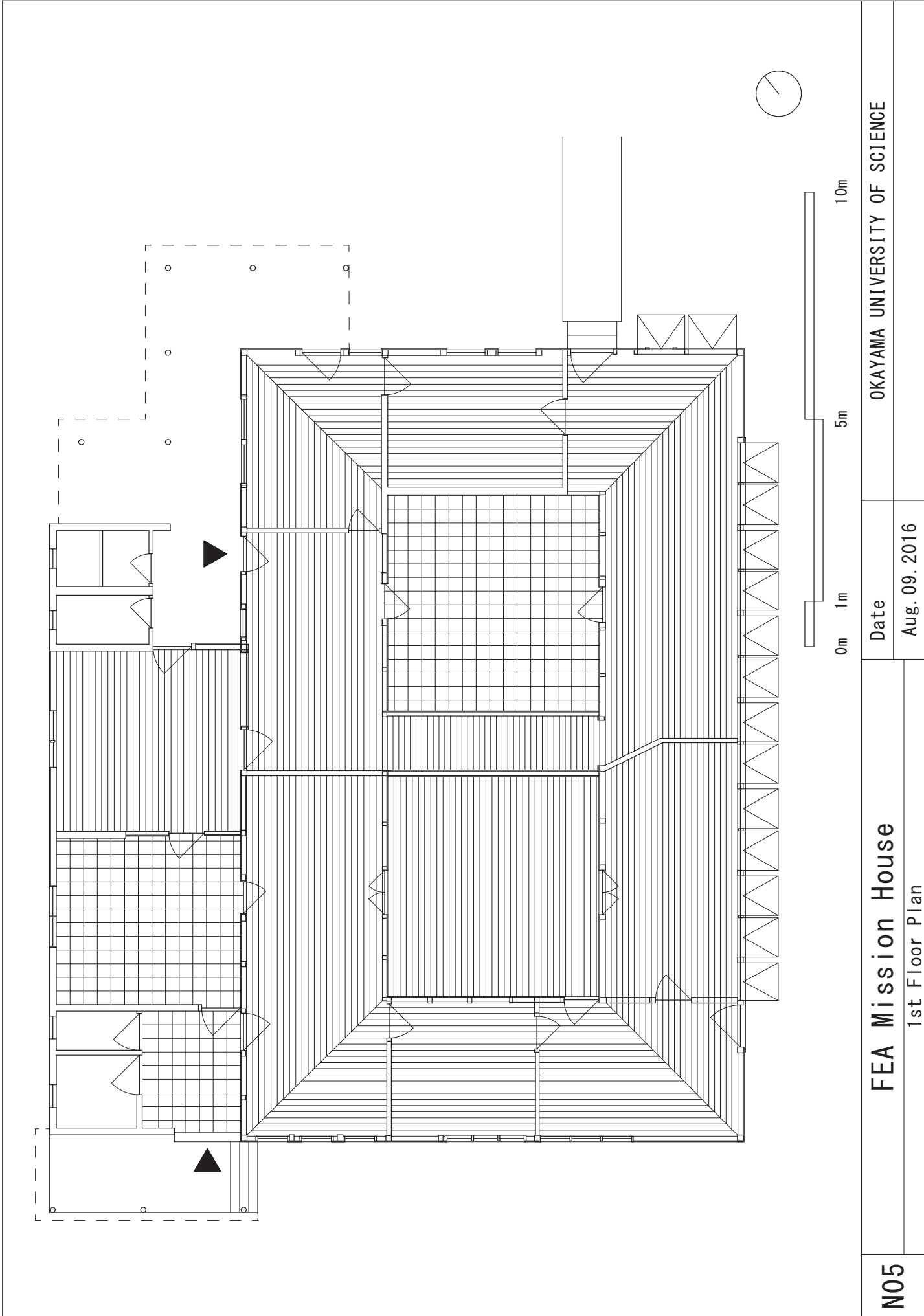
身舎内観



南側外観



北側外観

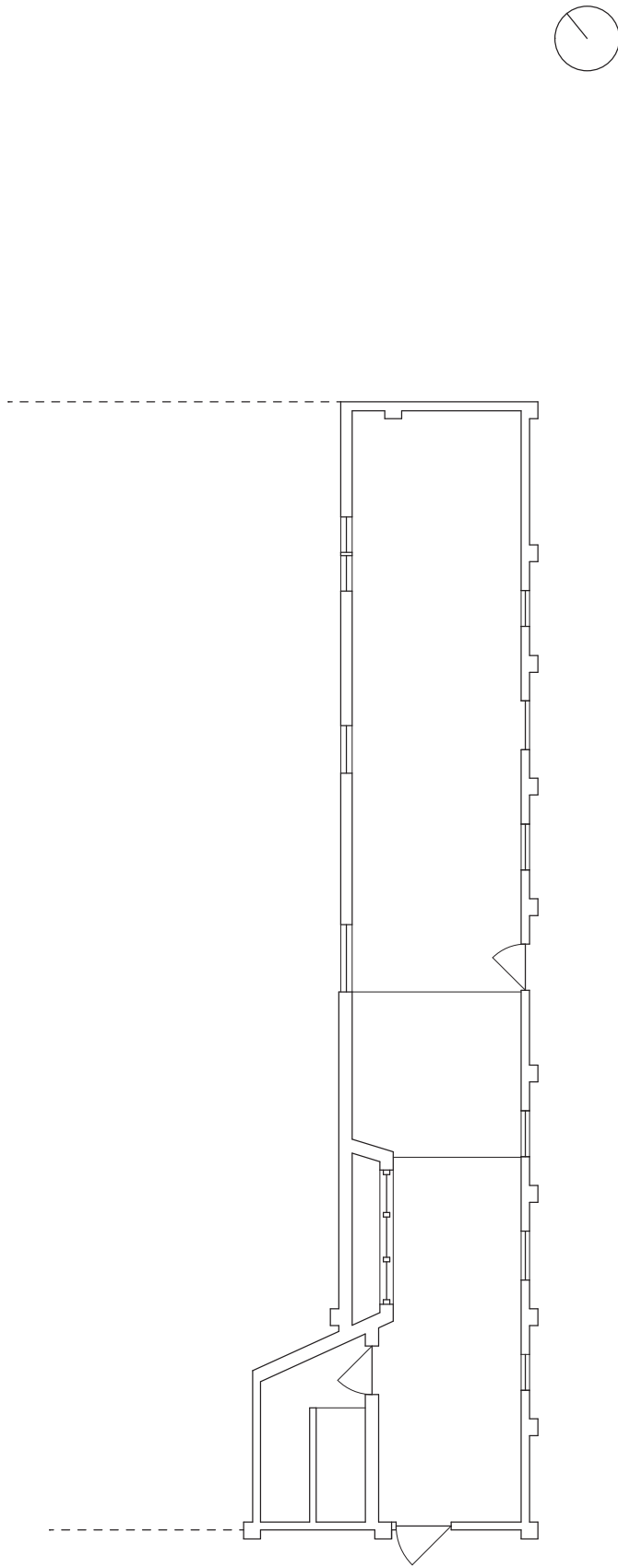


N05

**FEA Mission House**  
1st Floor Plan

Date  
Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**N05**

**FEA Mission House**

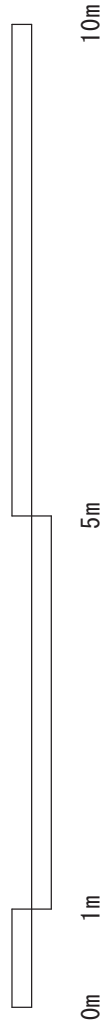
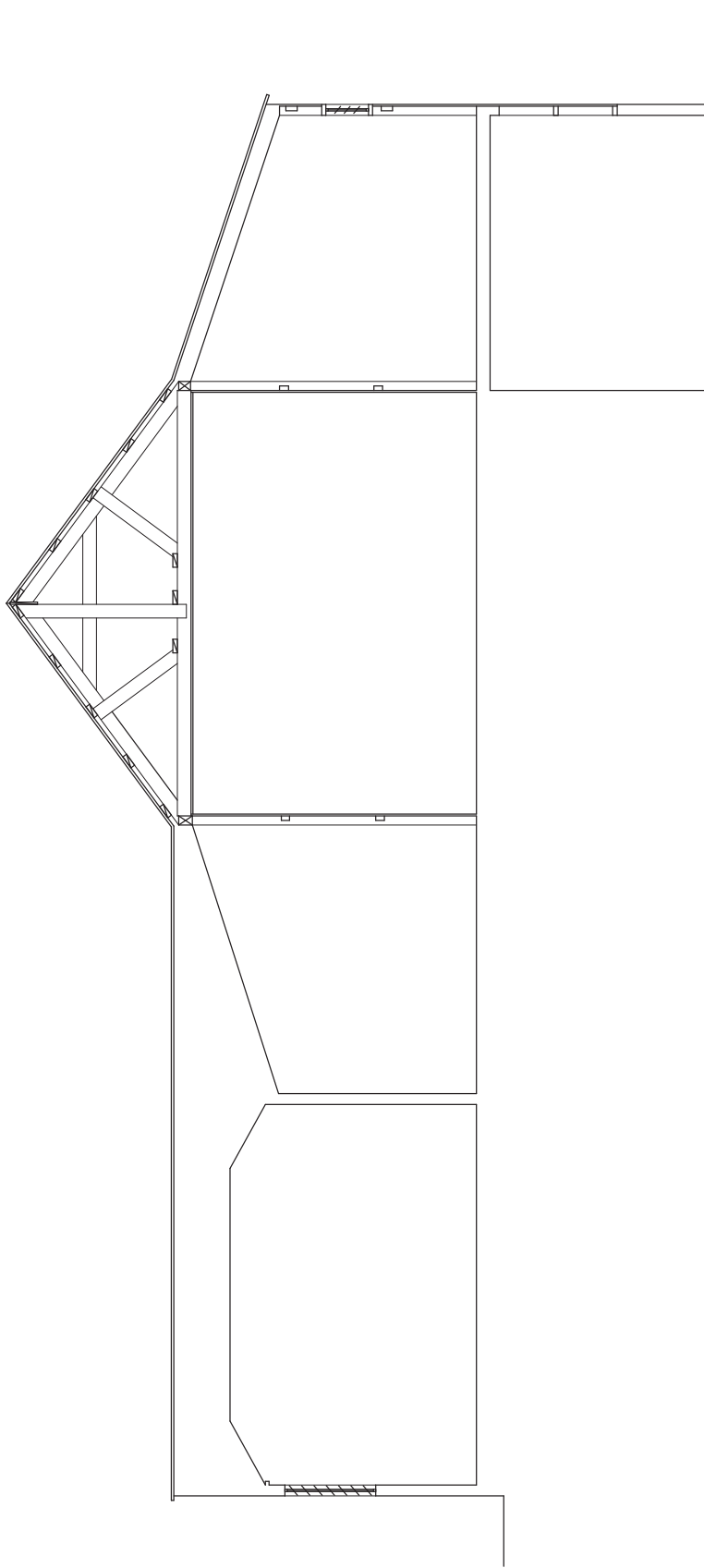
Ground Floor Plan

Date

Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





N05

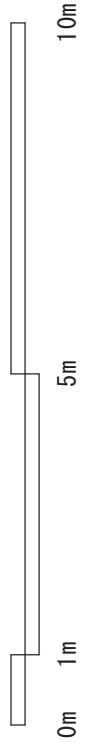
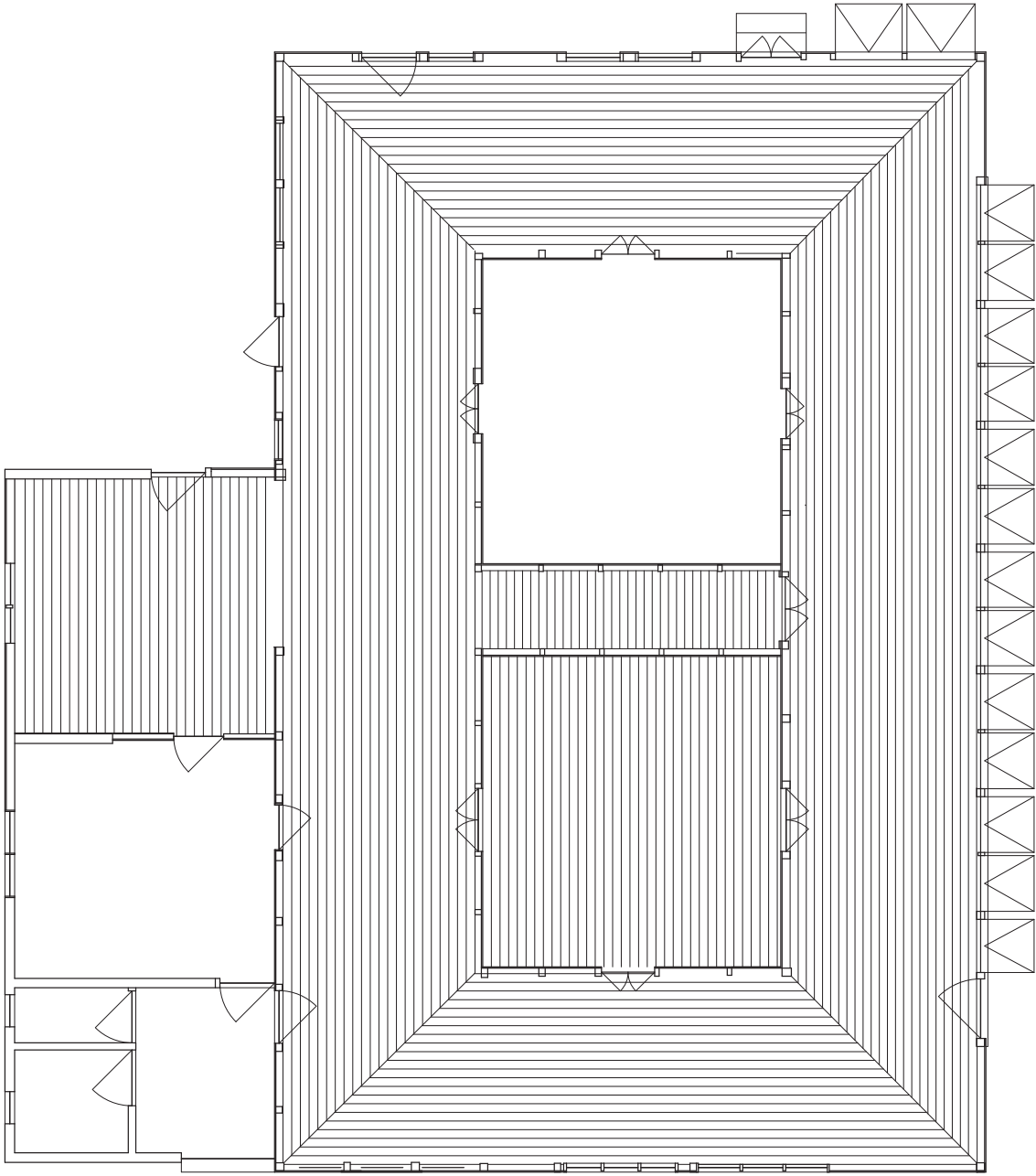
FEA Mission House

Section

Date

Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N05

FEA Mission House

Original Plan

Date

Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N06

Suli's House



リビング内観



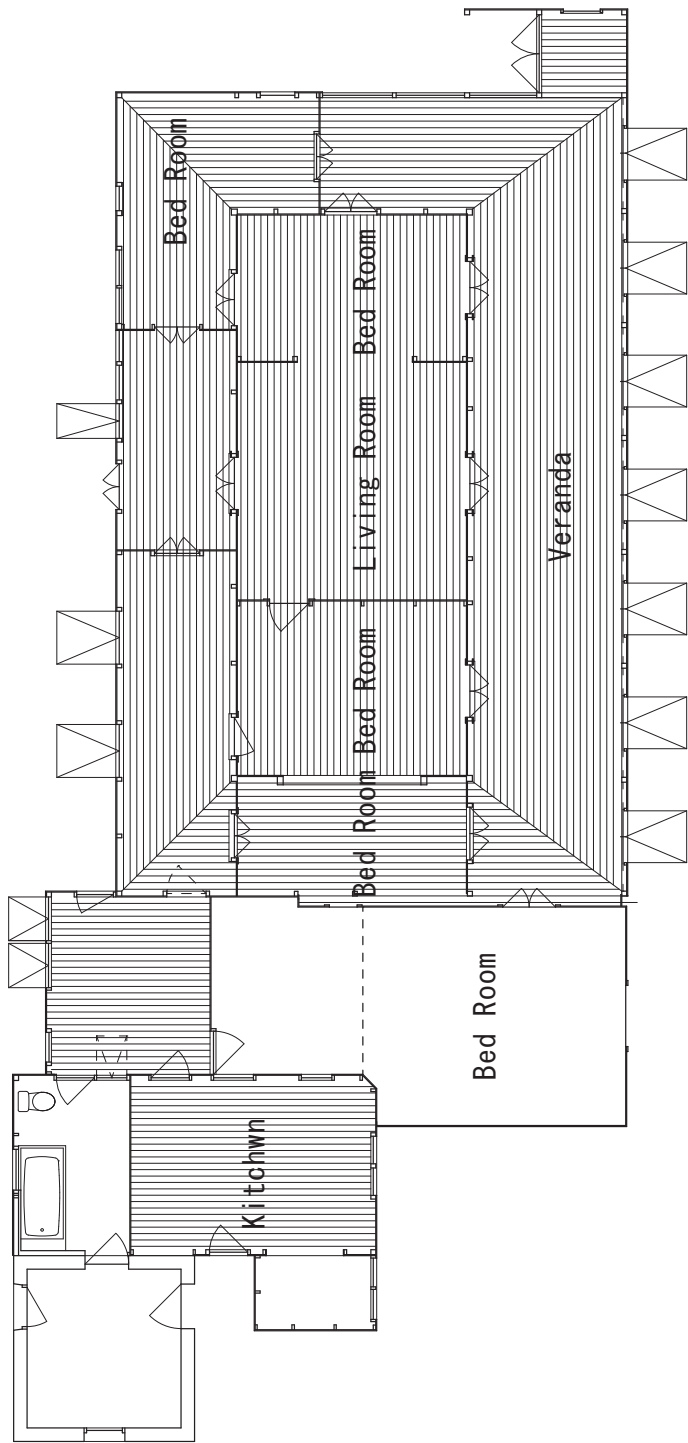
リビング内観



屋根外観



1895年台風後(Fiji Museum 所蔵)



N06

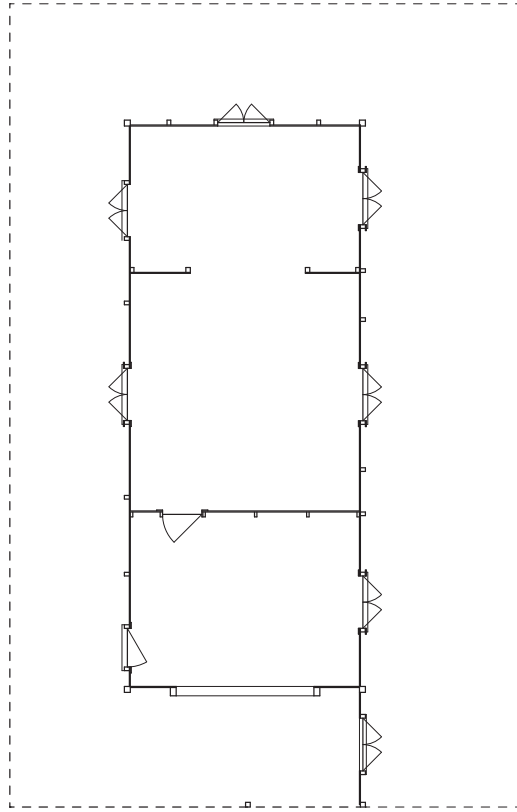
Suli's House  
Floor Plan

Date

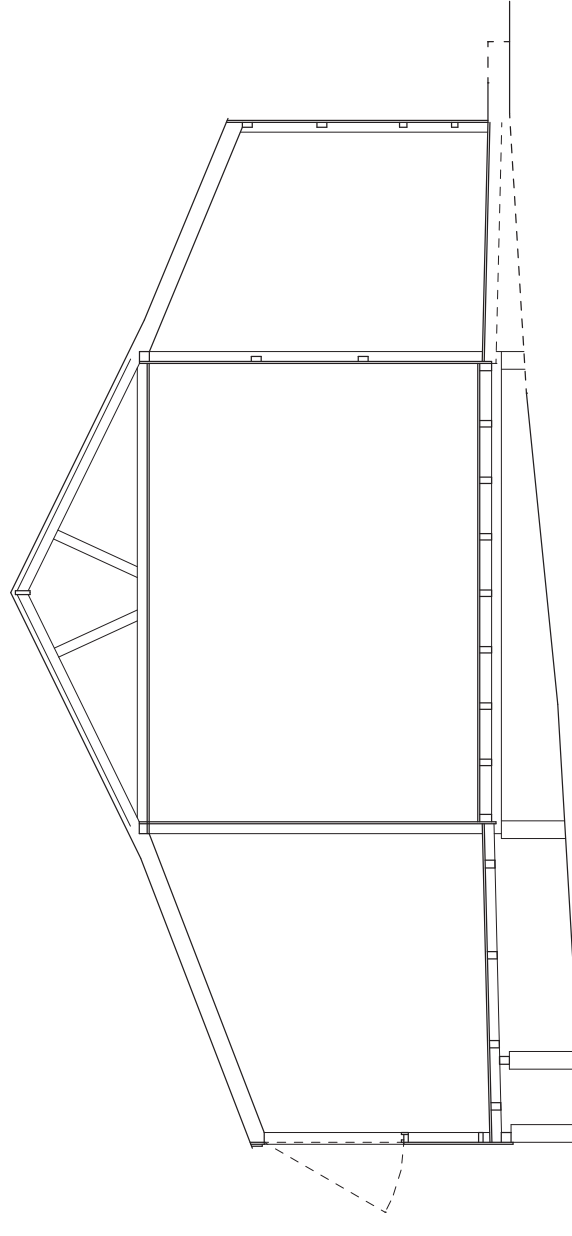
Feb. 18. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



|            |                     |                                      |
|------------|---------------------|--------------------------------------|
| <b>N06</b> | <b>SuLi's House</b> | <b>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</b> |
|            | Original Plan       | Kyushu UNIVERSITY                    |
|            | Date                |                                      |
|            | Feb. 18. 2018       |                                      |



N06

SuLi's House  
Section

Date

Feb. 18. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Kyushu UNIVERSITY



ER:N07

Josephine Williams



リビング内観



台所内観



後方周辺室内観



2016年台風倒壊前(2007年九州大学撮影)

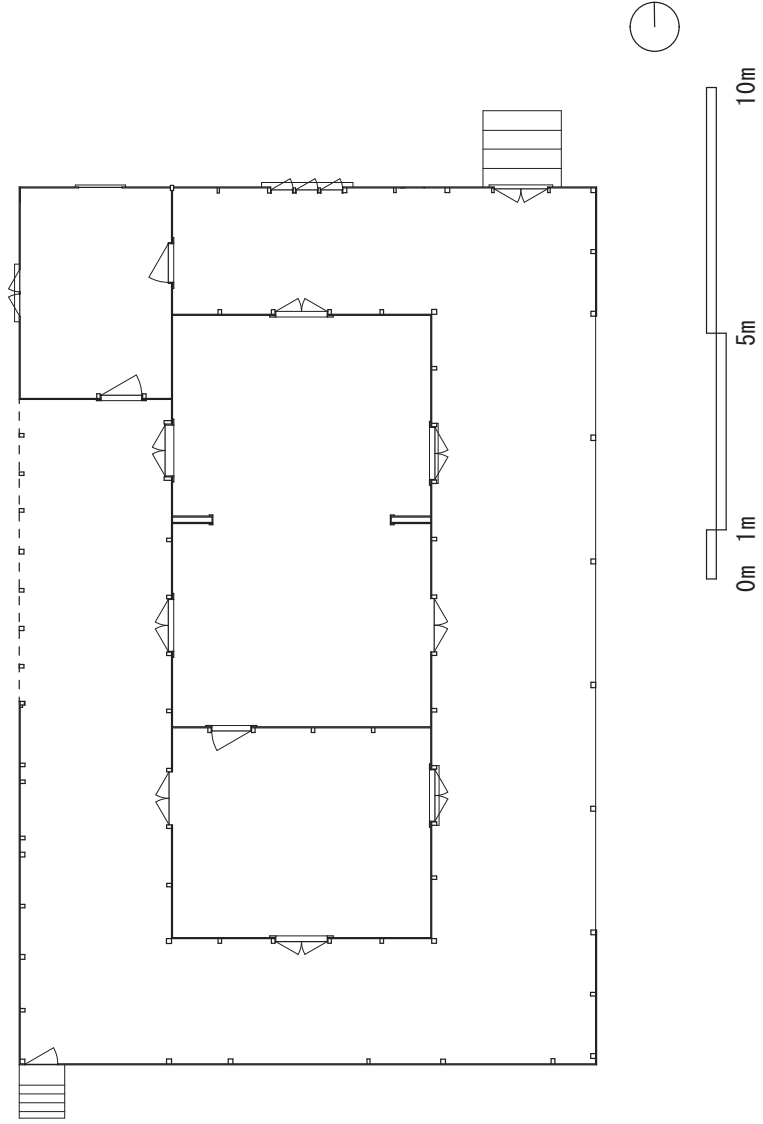


N07

Josephine Williams  
Floor Plan

Date  
Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



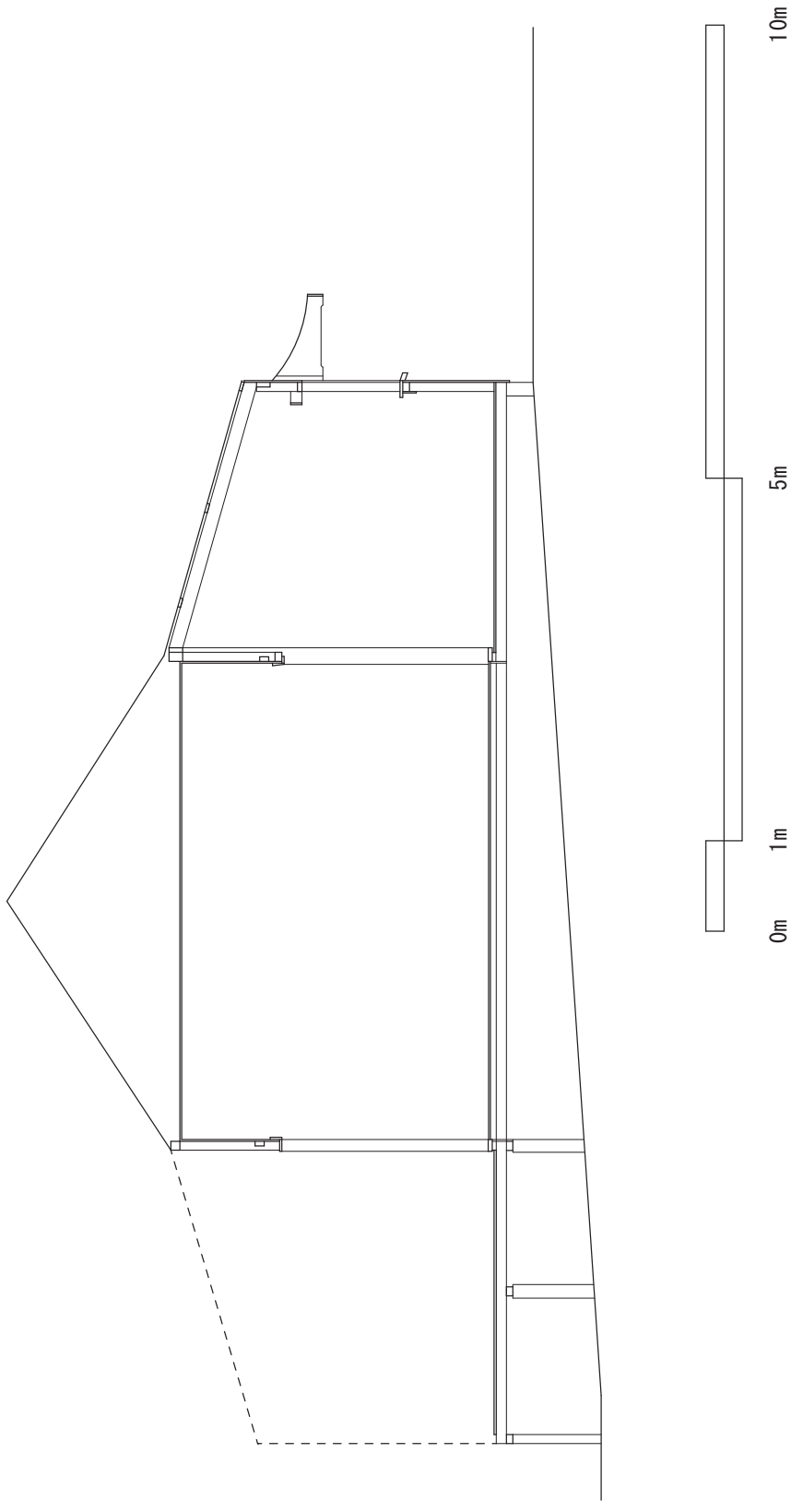
N07

Josephine Williams  
Original Plan

Date

Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N07

Josephine Williams

Section

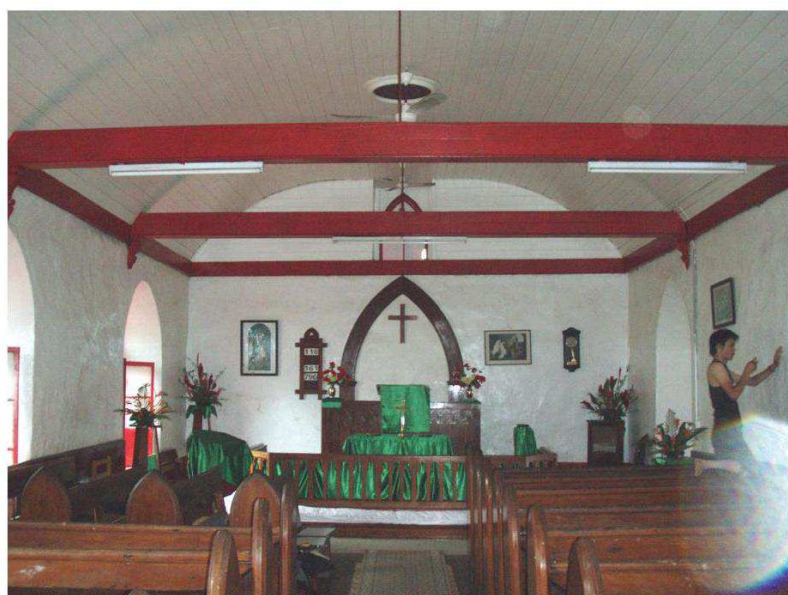
Date

Aug. 09. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N08

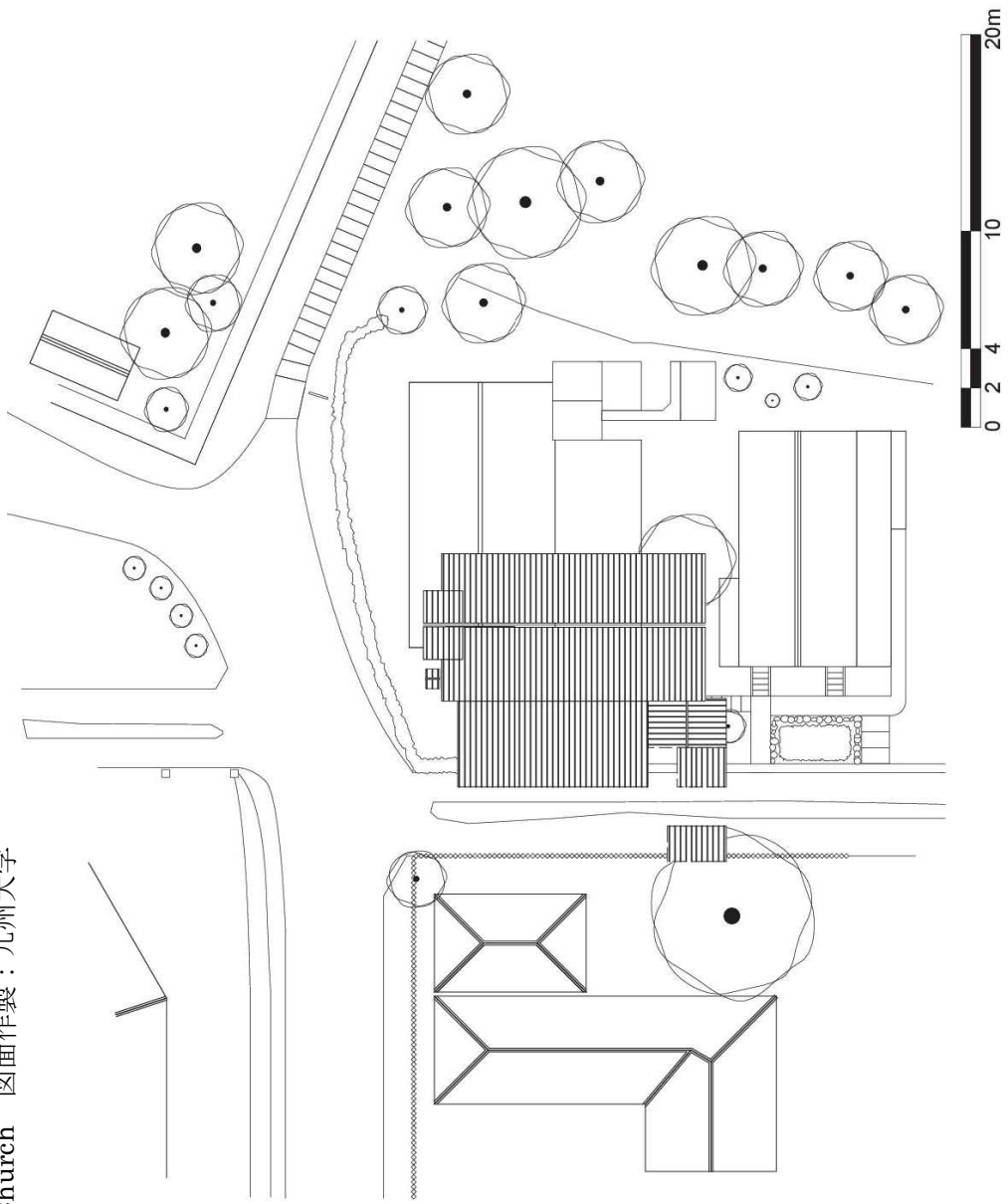
Methodist Church



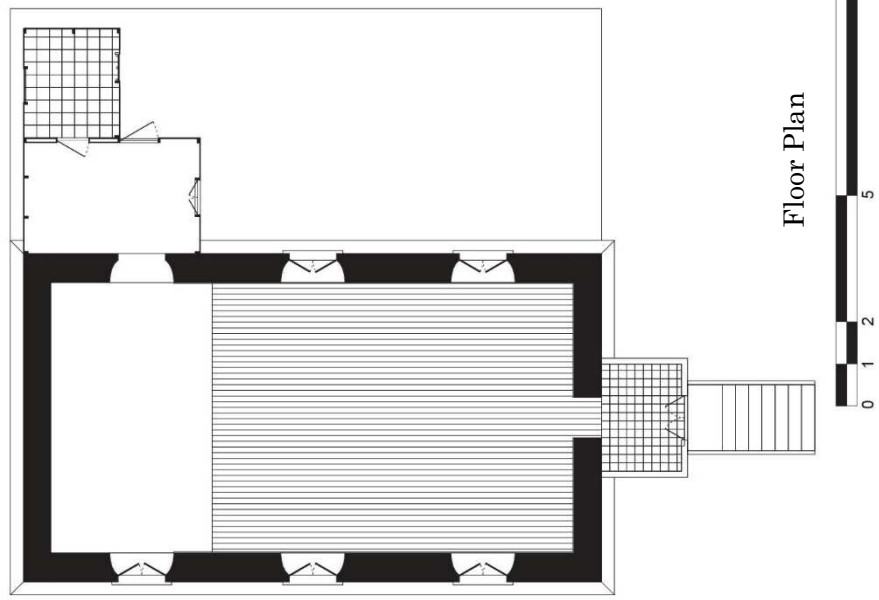
2006 年 ACCU 掲載写真



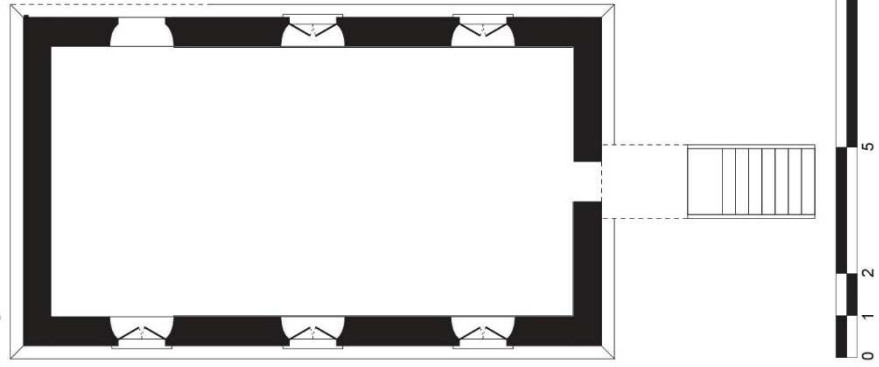
ER:N08 Methodist Church 図面作製：九州大学





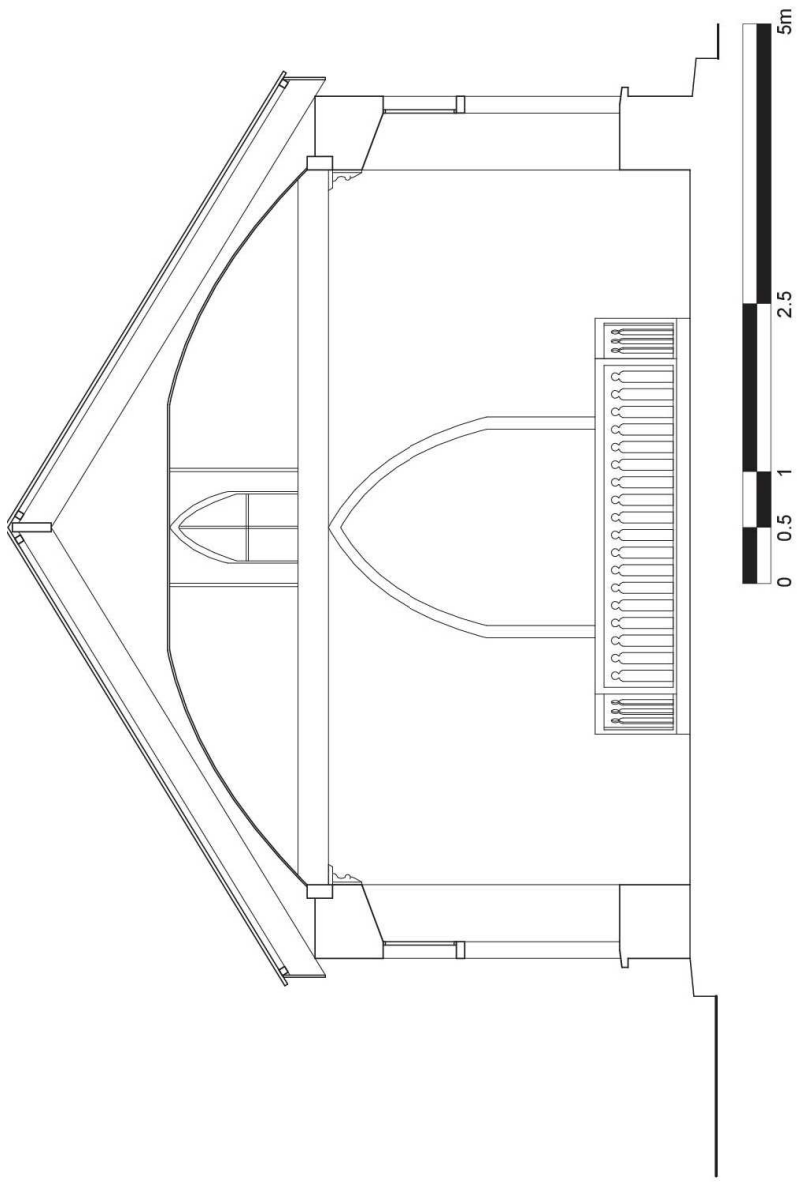


Floor Plan



Original Plan

Methodist Church 図面作製：九州大学



Section

ER:N09

NAVOKA HOUSE (Sakenasa Varea)



内観



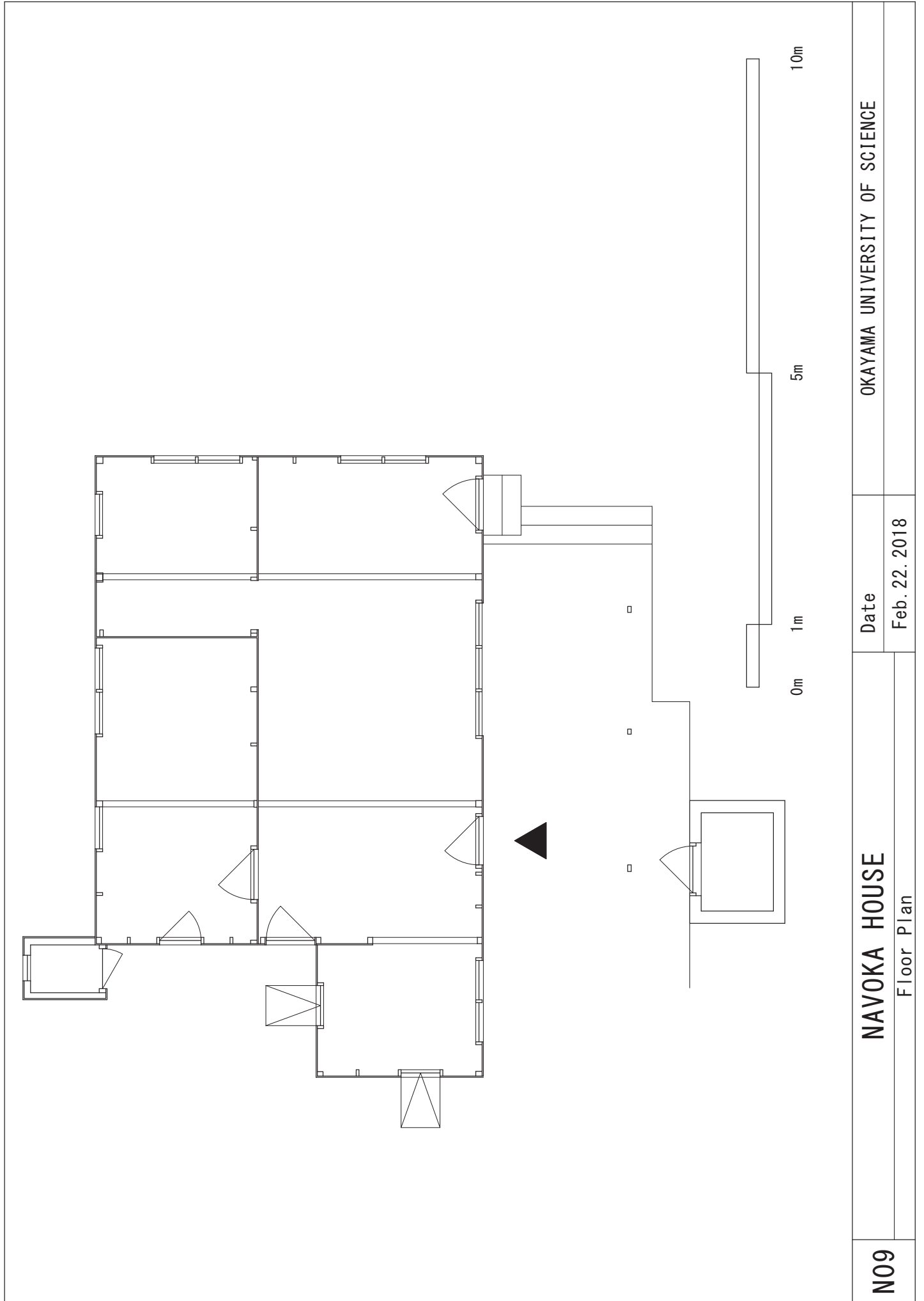
内観

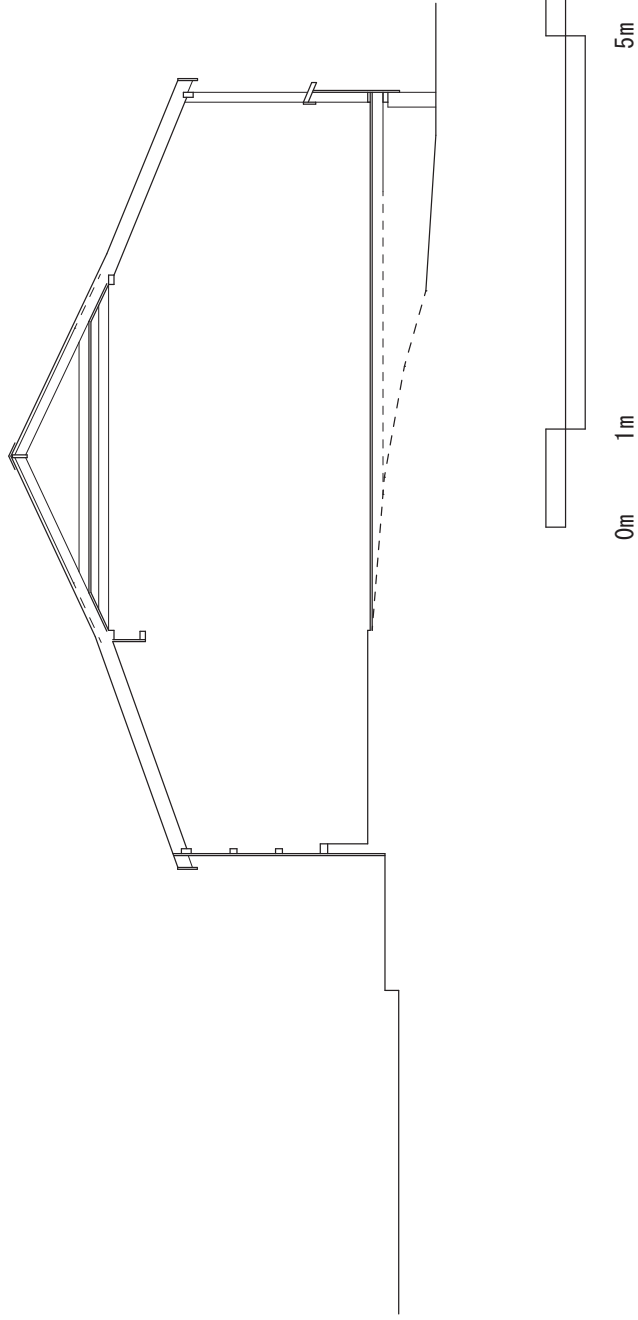


小屋組み



内観





N09

NAVOKA HOUSE

Section

Date

Feb. 22. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





ベランダ内観



寝室内観

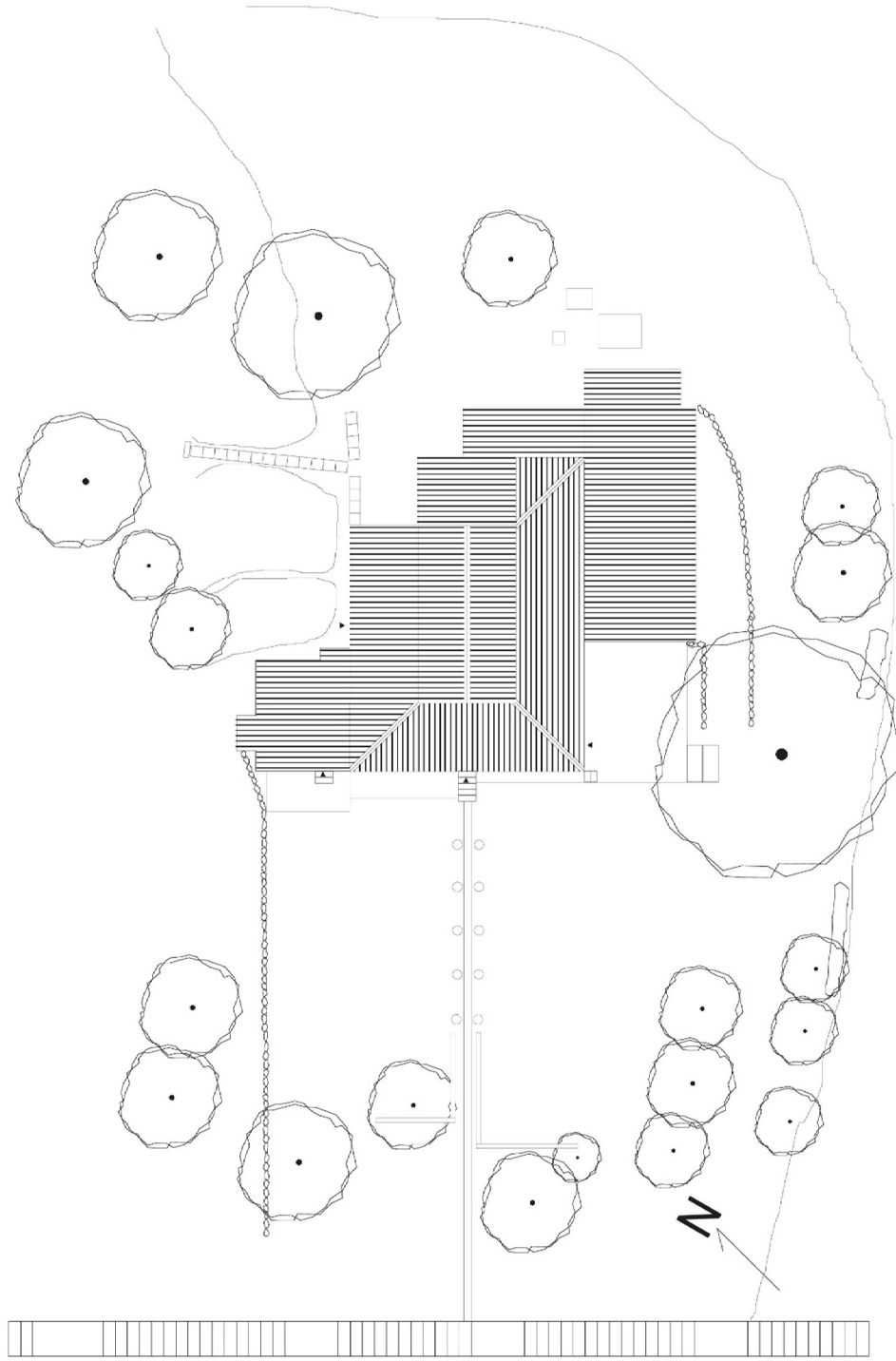


リビング内観



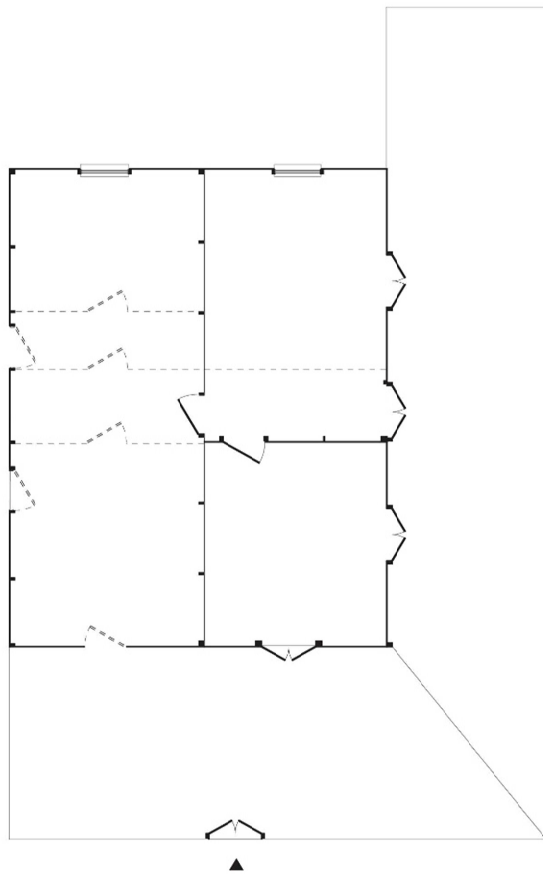
北側外観







Floor Plan



Original Plan

ER:N11

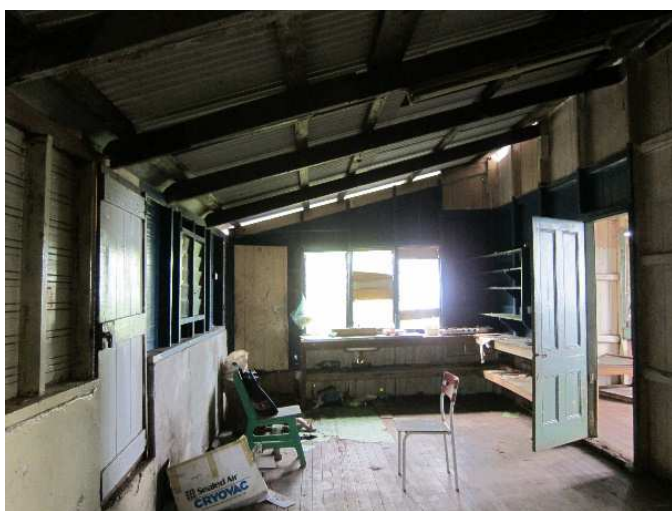
Filipe Dinau



寝室内観



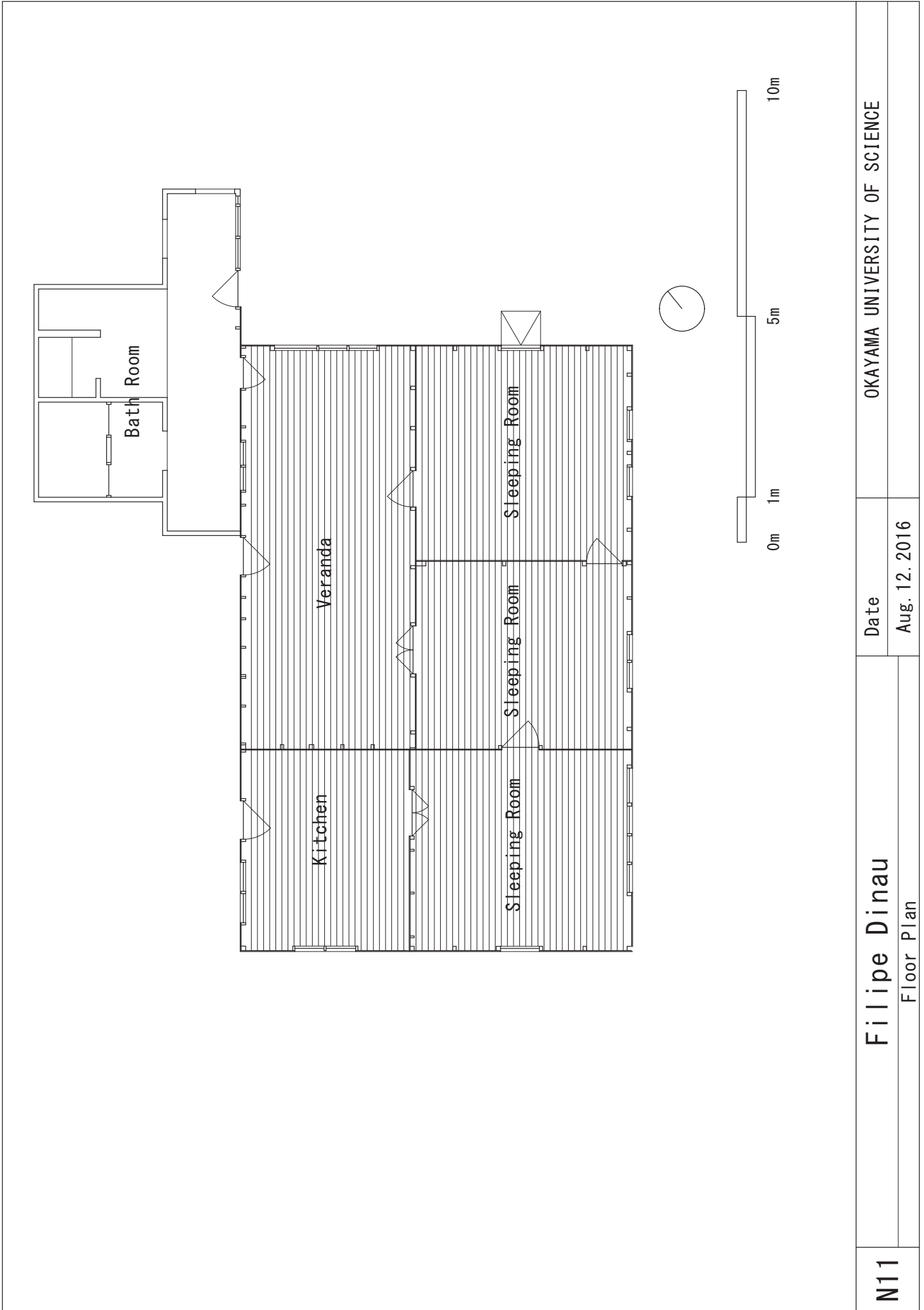
寝室内観



ベランダ内観



北側外観

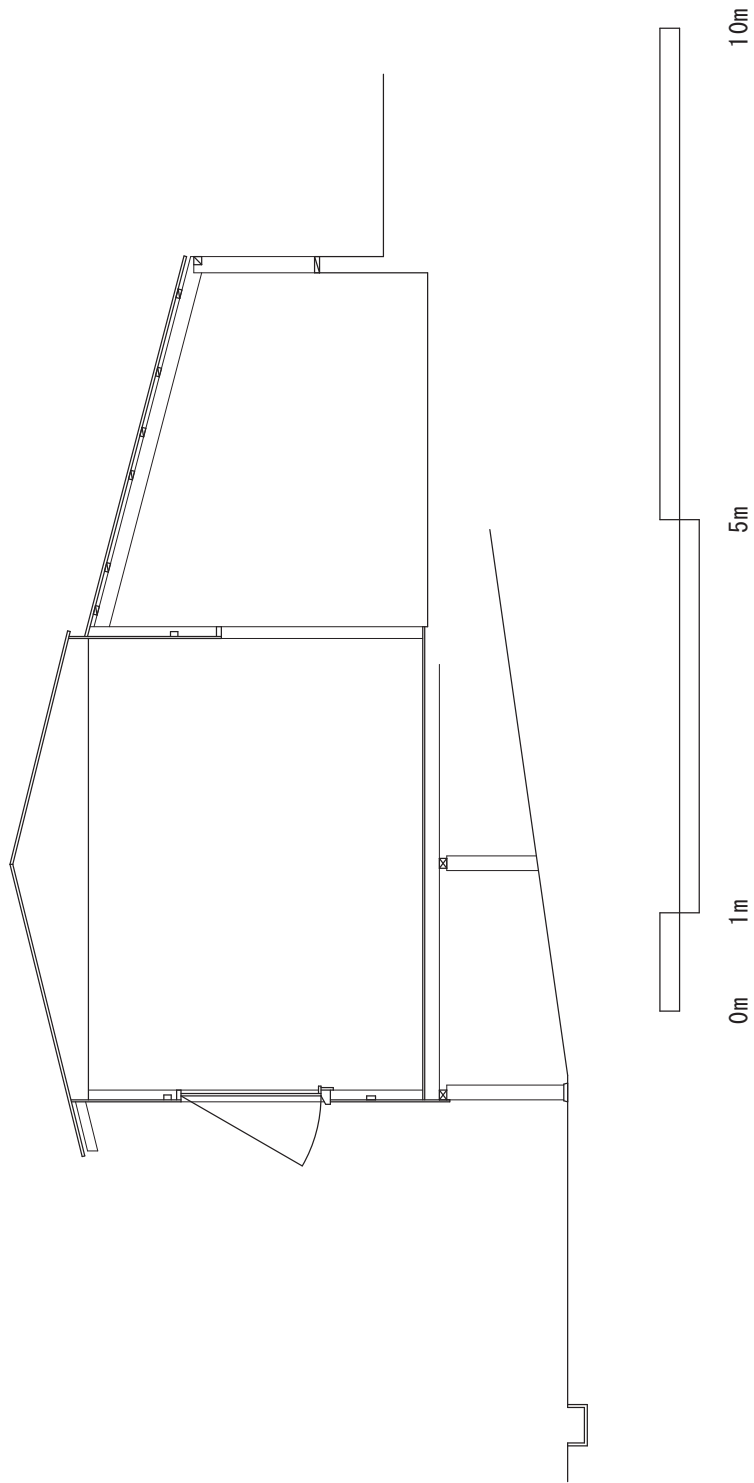


N11

Filipe Dinau  
Floor Plan

Date  
Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N11

Filipe Dinau

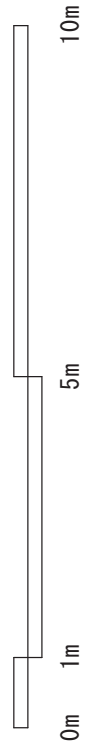
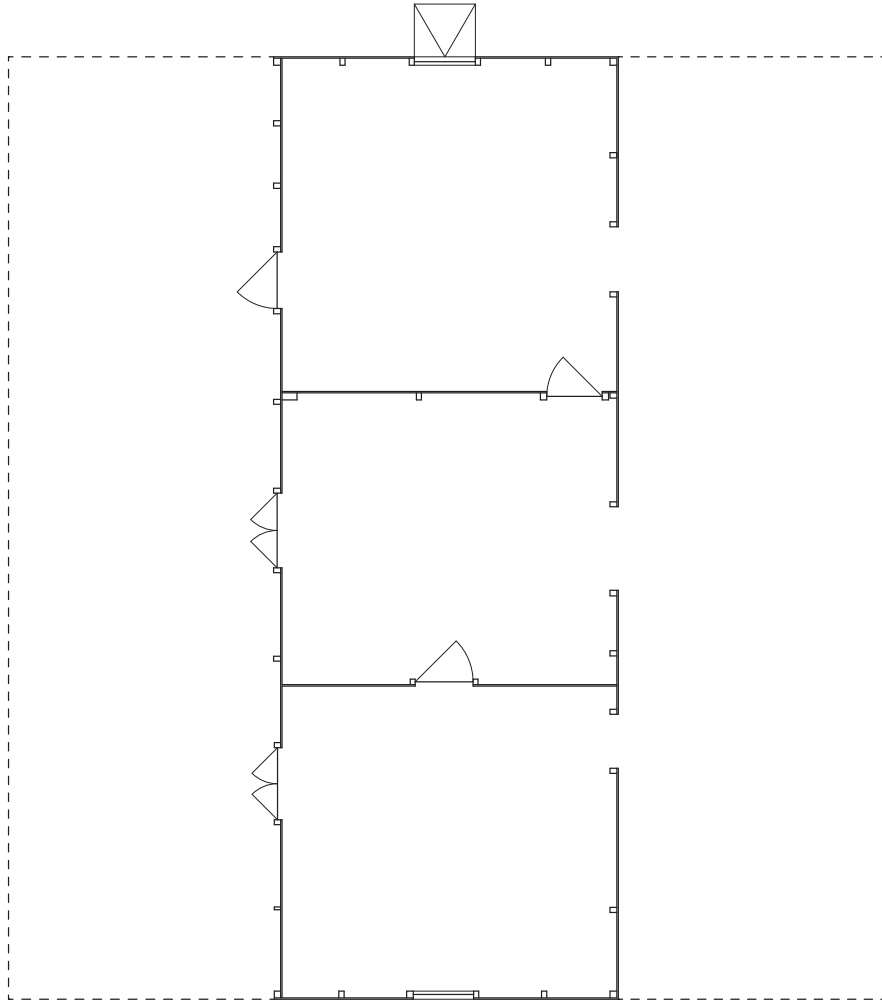
Section

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





N11

Filipe Dinau

Original Plan

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N12

Crows Nest



リビング内観



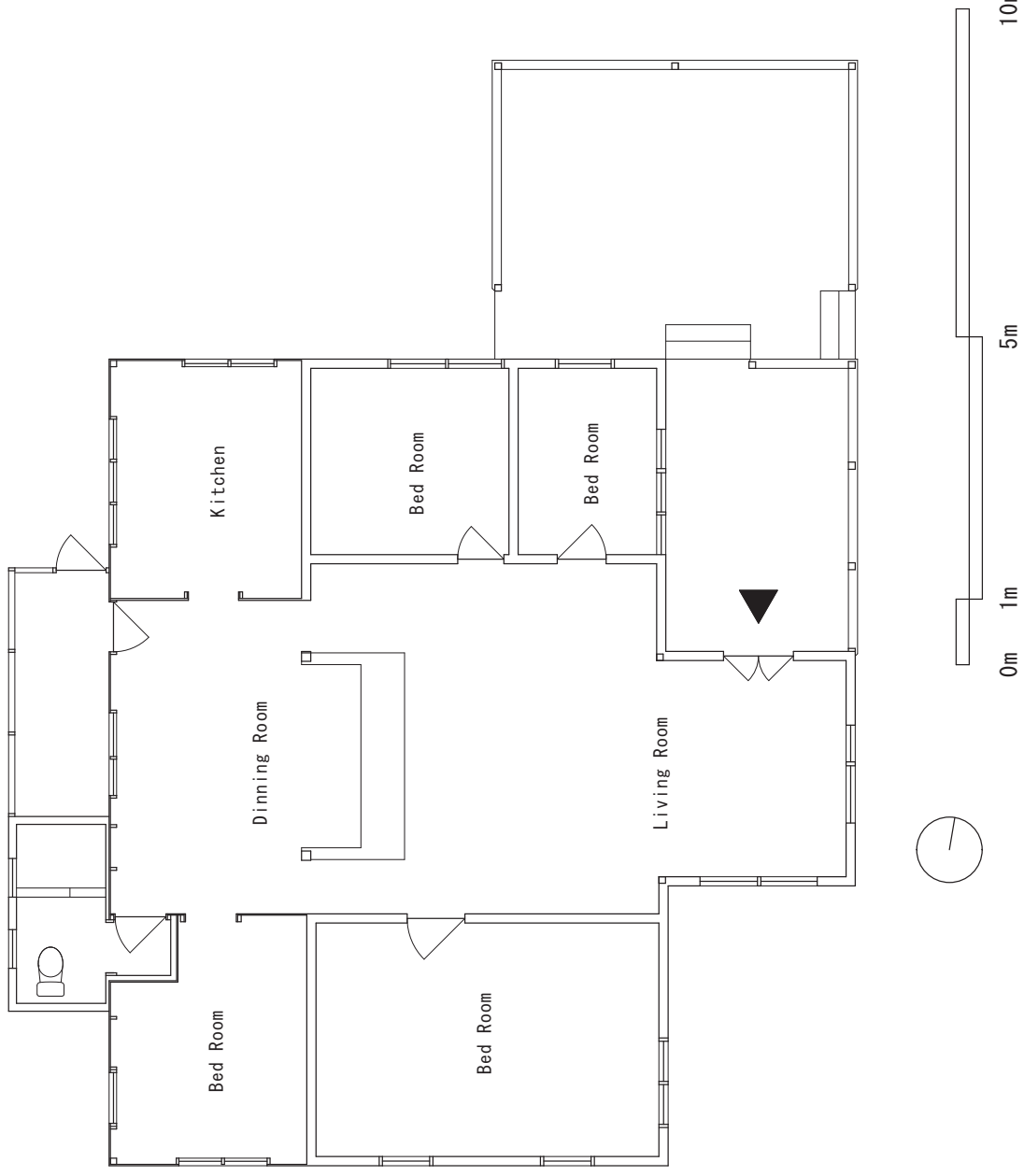
正面出入口



寝室内観



北側外観

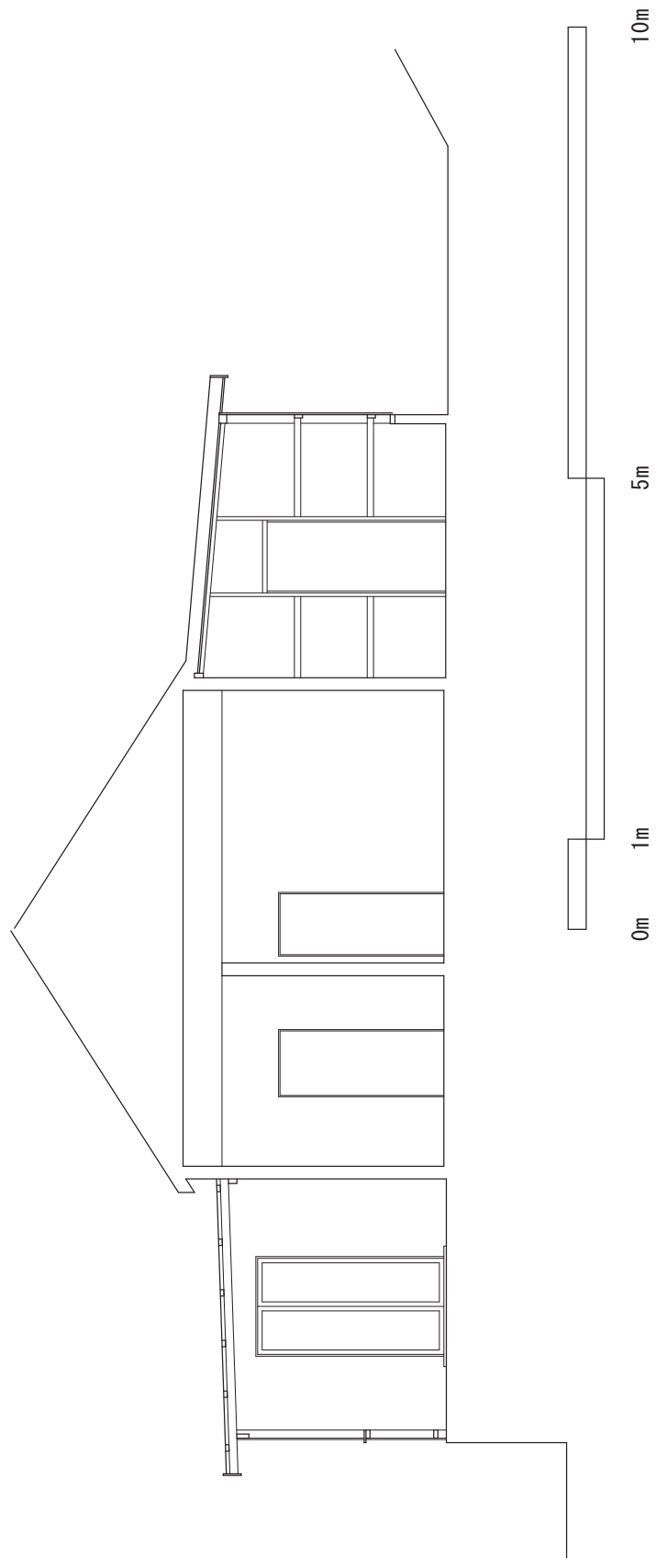


N12

Crows Nest  
Floor Plan

Date  
Aug. 17. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



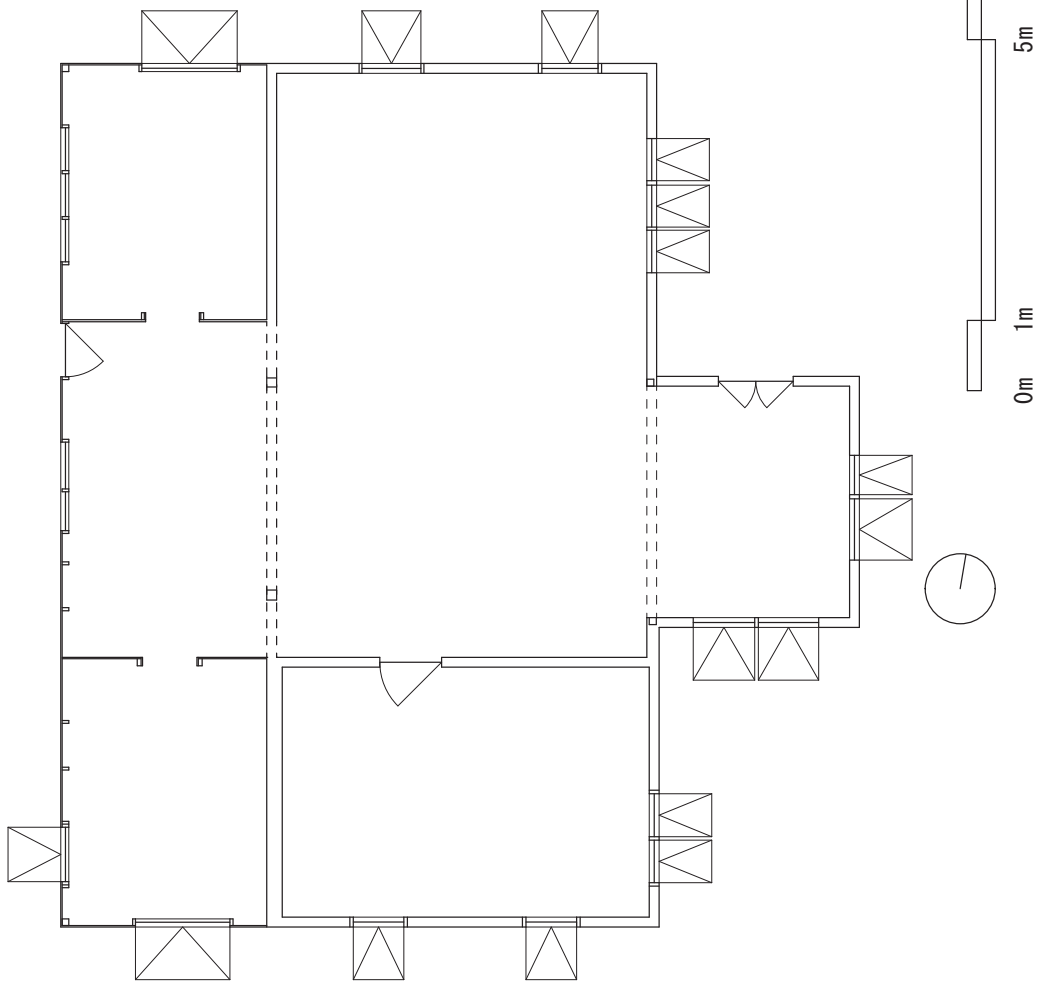
N12

Crows Nest  
Section

Date

Aug. 17. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 17. 2016

Crows Nest  
Original Plan

N12



ER:N13

Henry Patterson



リビング内観



寝室内観

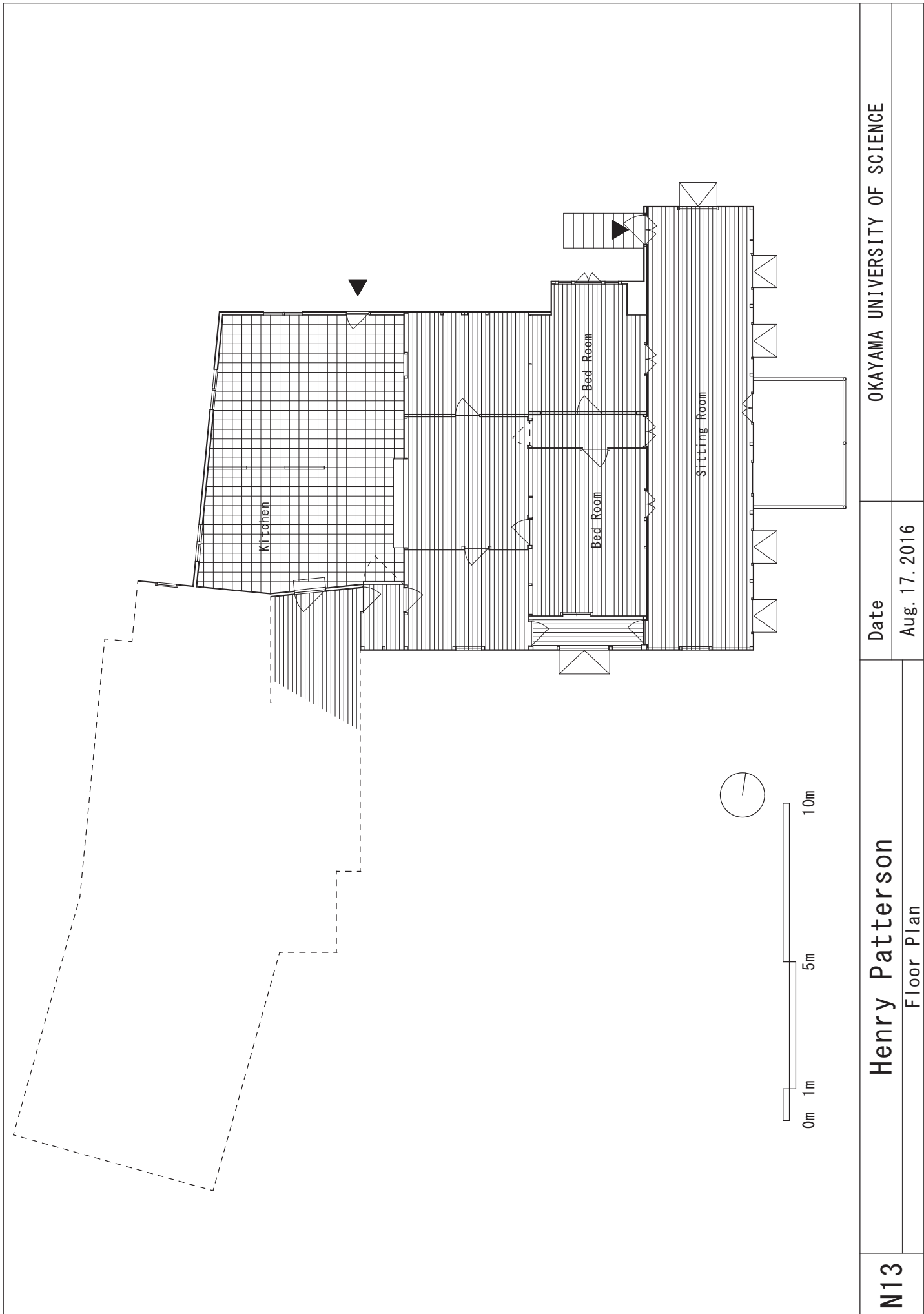


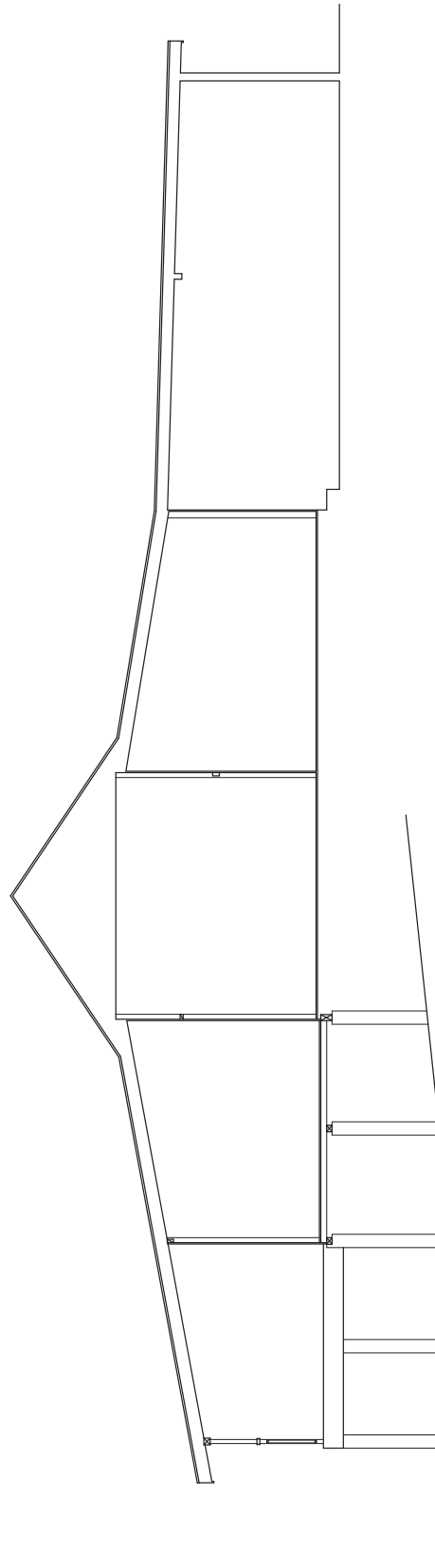
増築部内観



屋根外観







N13

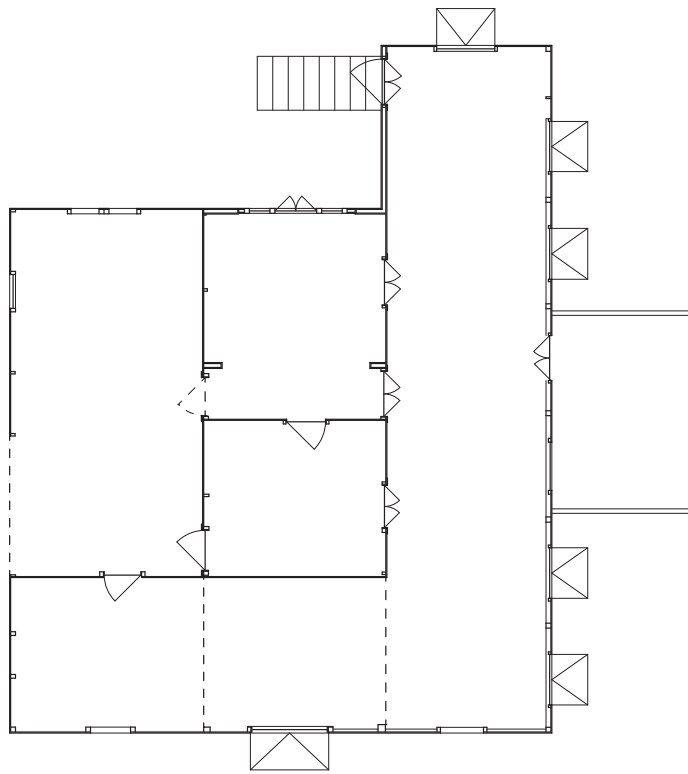
Henry Patterson

Section

Date

Aug. 17. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N14

Delana Primary Teacher's Quarters



前方周辺室内観



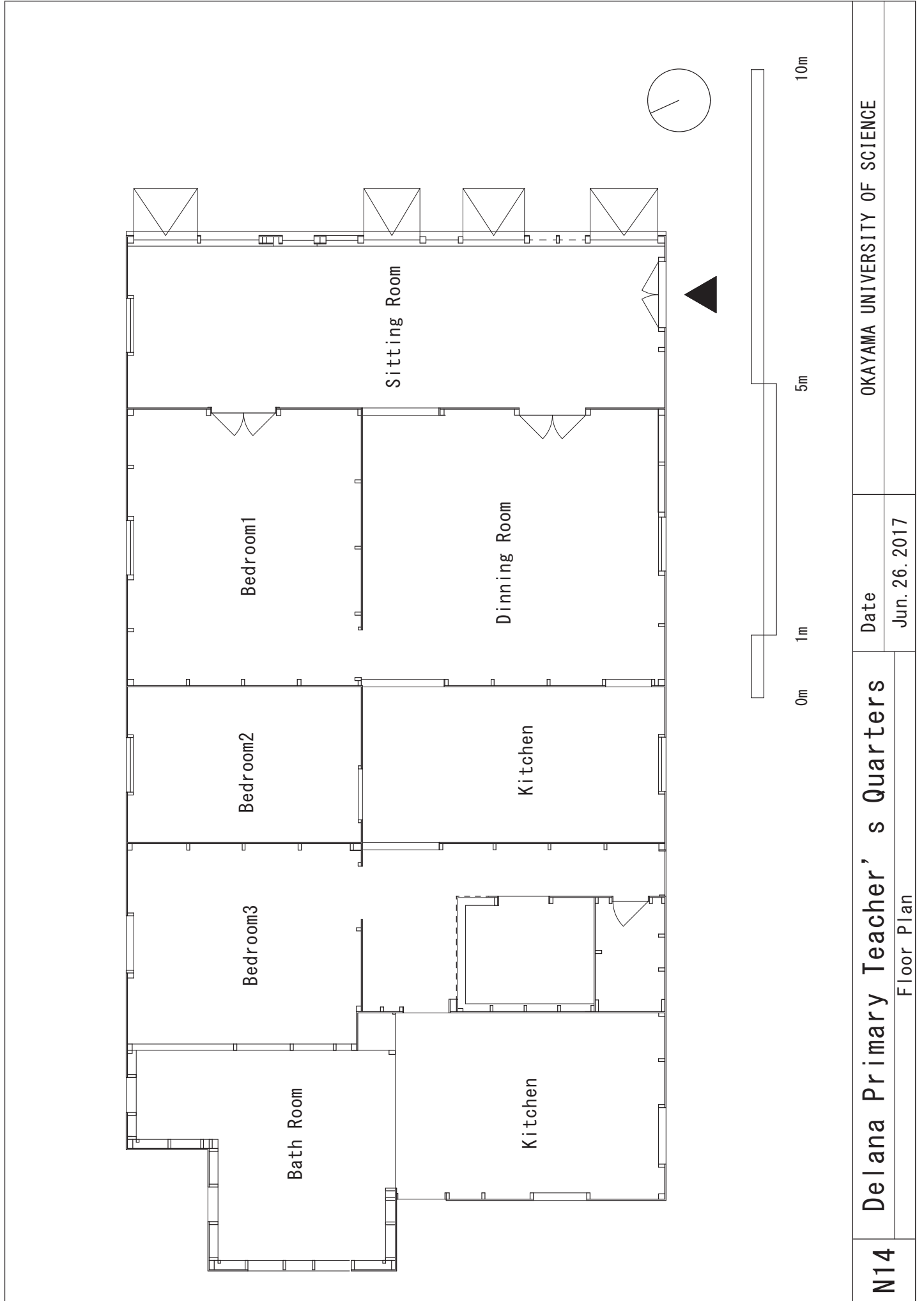
身舎内観



後方周辺室内観



西側外観



N14

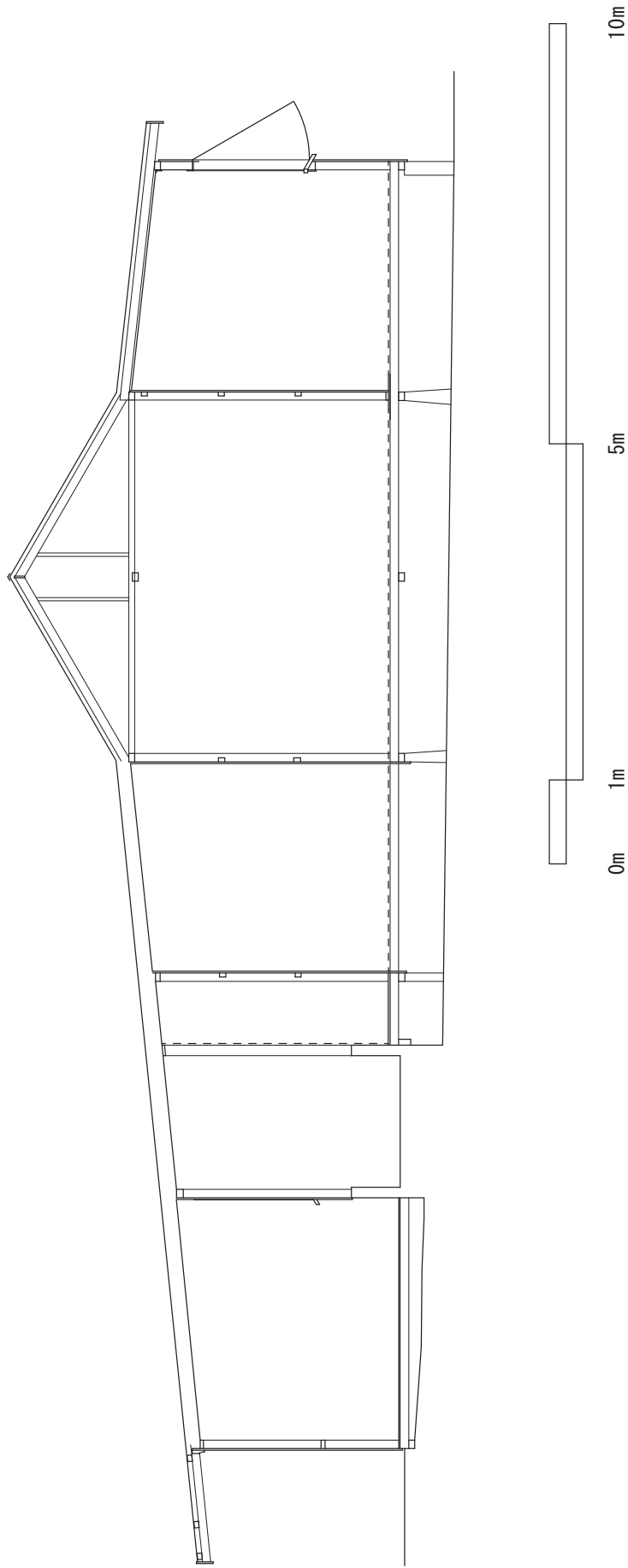
Delana Primary Teacher's Quarters

Floor Plan

Date

Jun. 26. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





ER:N15

Mavida Cottage



前方周辺室内観



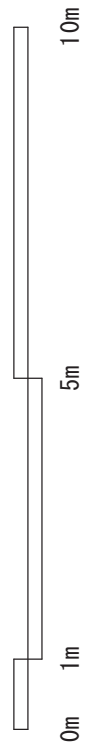
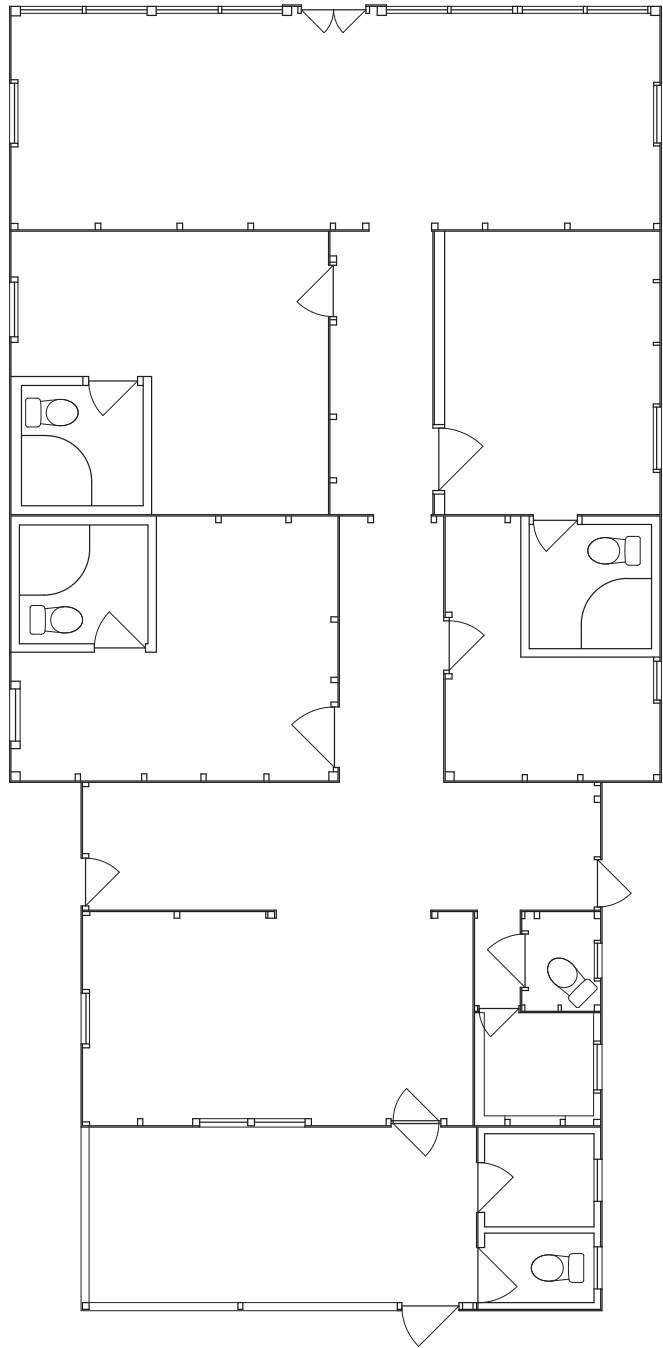
寝室内観



台所内観



付属屋外観



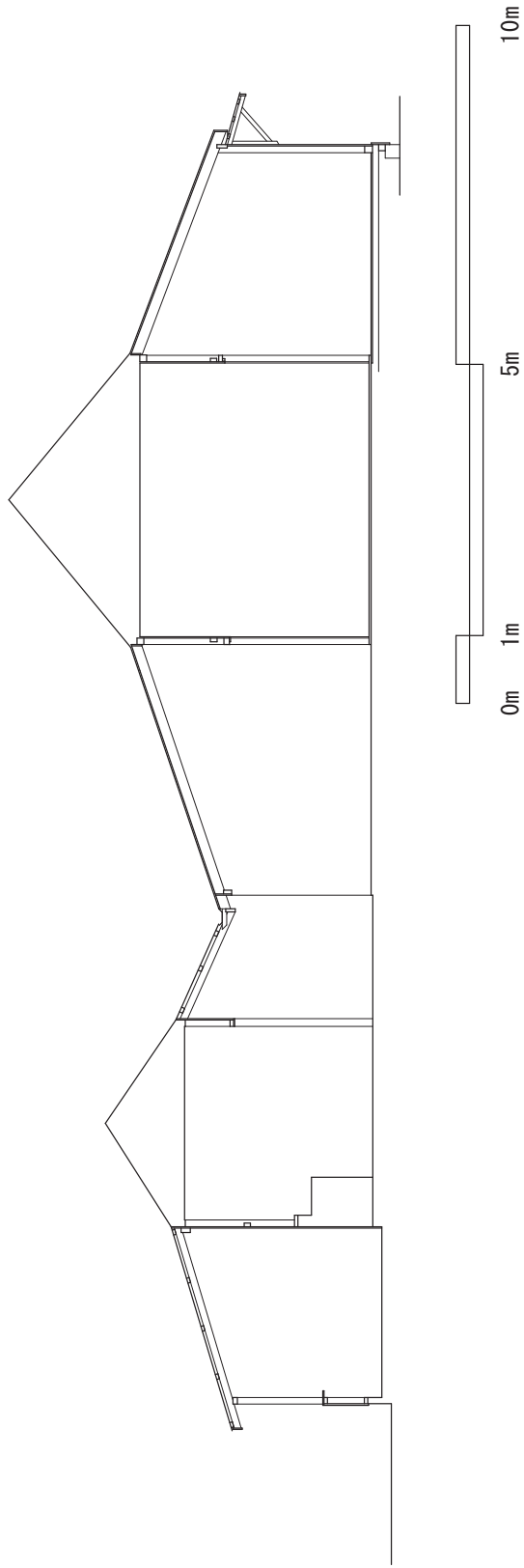
**N15**

**Mavida Cottage**  
Floor Plan

Date

Aug. 17. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N15

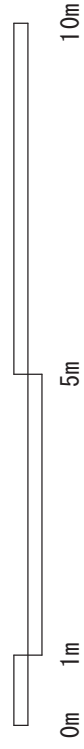
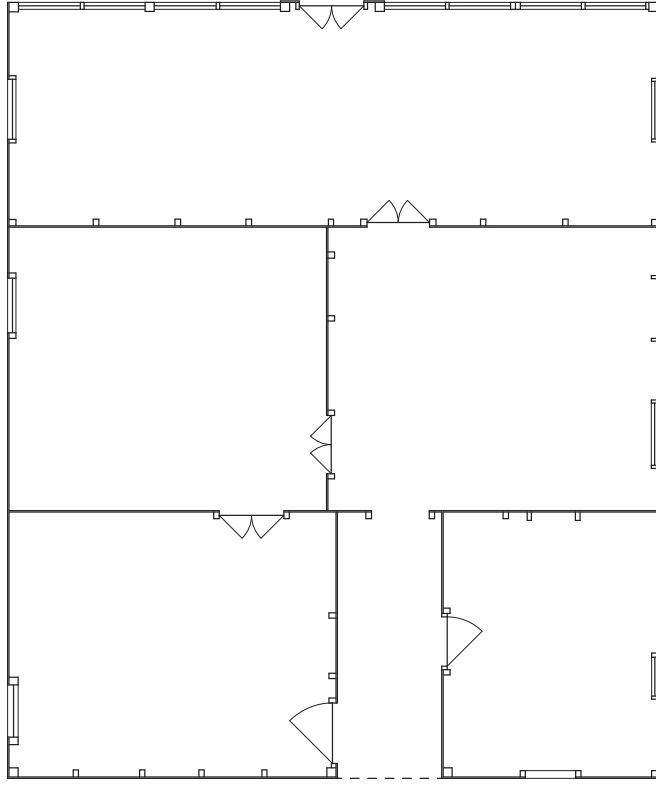
Mavida Cottage

SECTION

Date

Aug. 17. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**N15**

**Mavida Cottage**

Original Plan

Date

Aug. 17. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N16

Max Olsen



前方周辺室内観



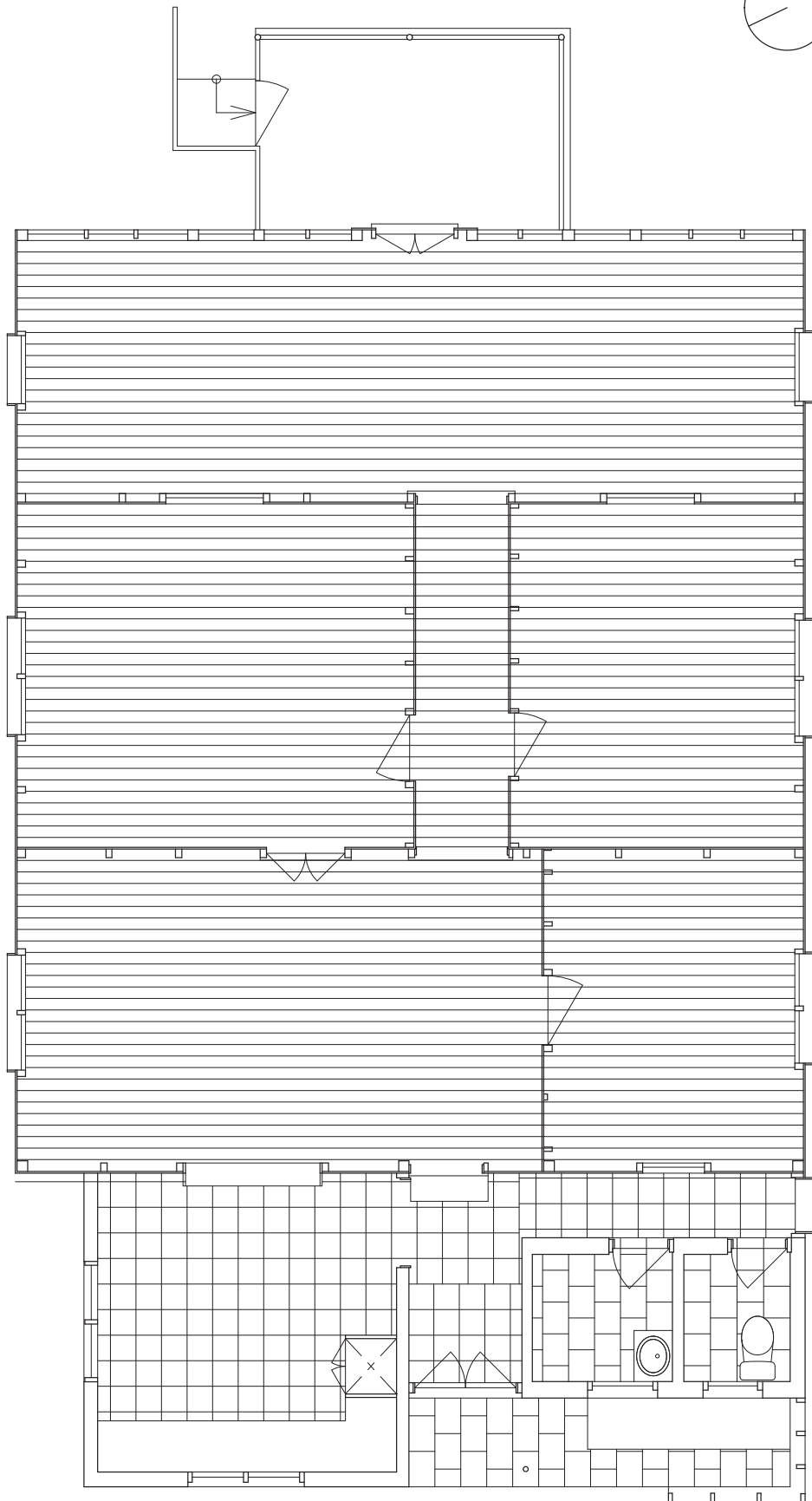
寝室内観



後方周辺室内観



西側外観



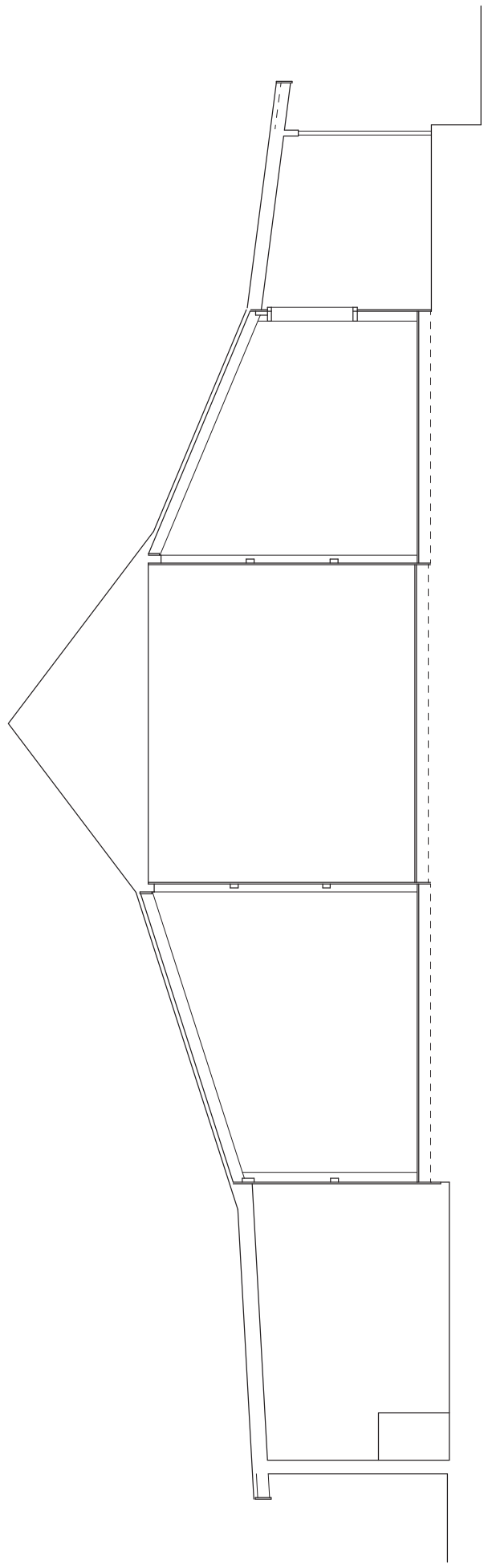
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 09. 2018

Max OI sen  
Floor Plan

N16





0                      2m                      5m                      10m

**N16**

**Max Olsén**

Section

Date

Aug. 09. 2018

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N17

Sitiveni Uluinaceva



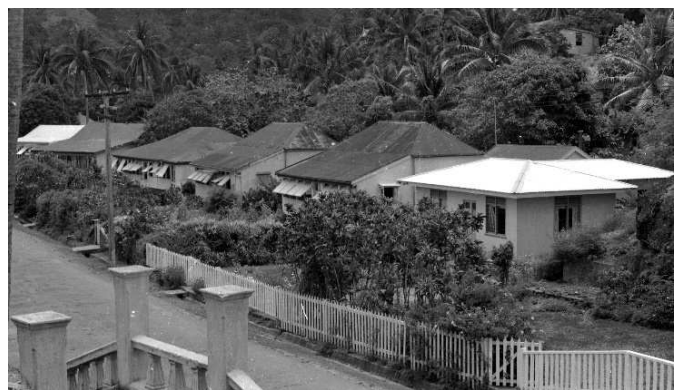
リビング内観



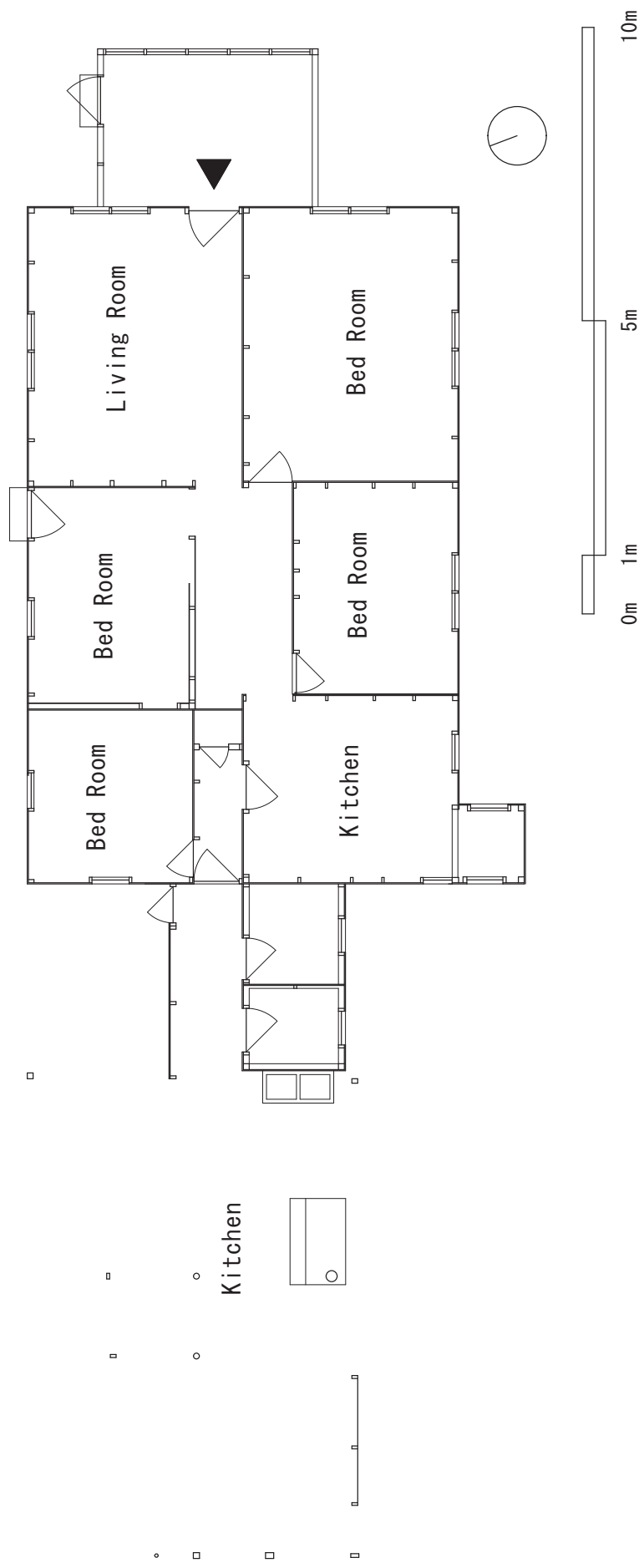
小屋組み



台所



撮影年不明(National Archive 所蔵)

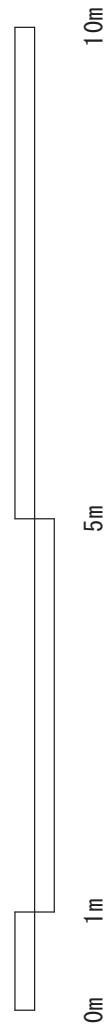
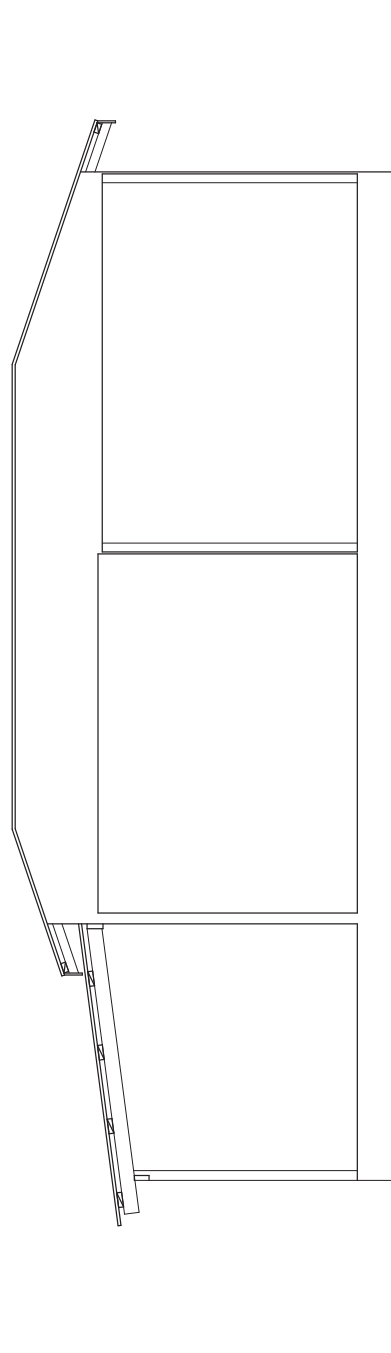


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 12. 2016

Sitiveni Uminaceva  
Floor Plan

N17



**N17**

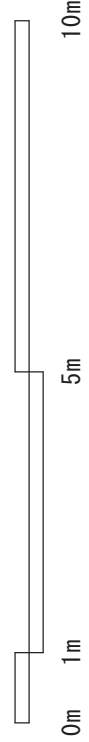
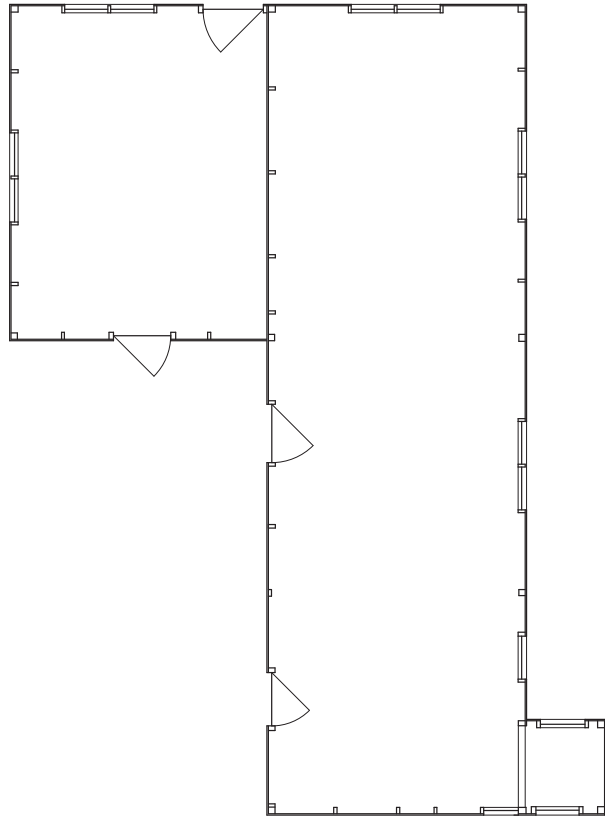
**Sitiveni Uminaceva**

Section

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



**N17**

**Sitiveni Uminaceva**

Original Plan

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N18

Former Patterson Family Residence



寝室内観



東側外観

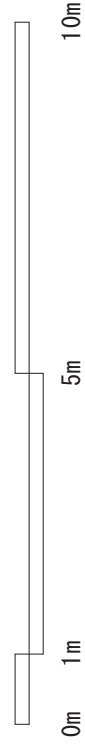


小屋組み



1870年代撮影(Fiji Museum 所蔵)





N18

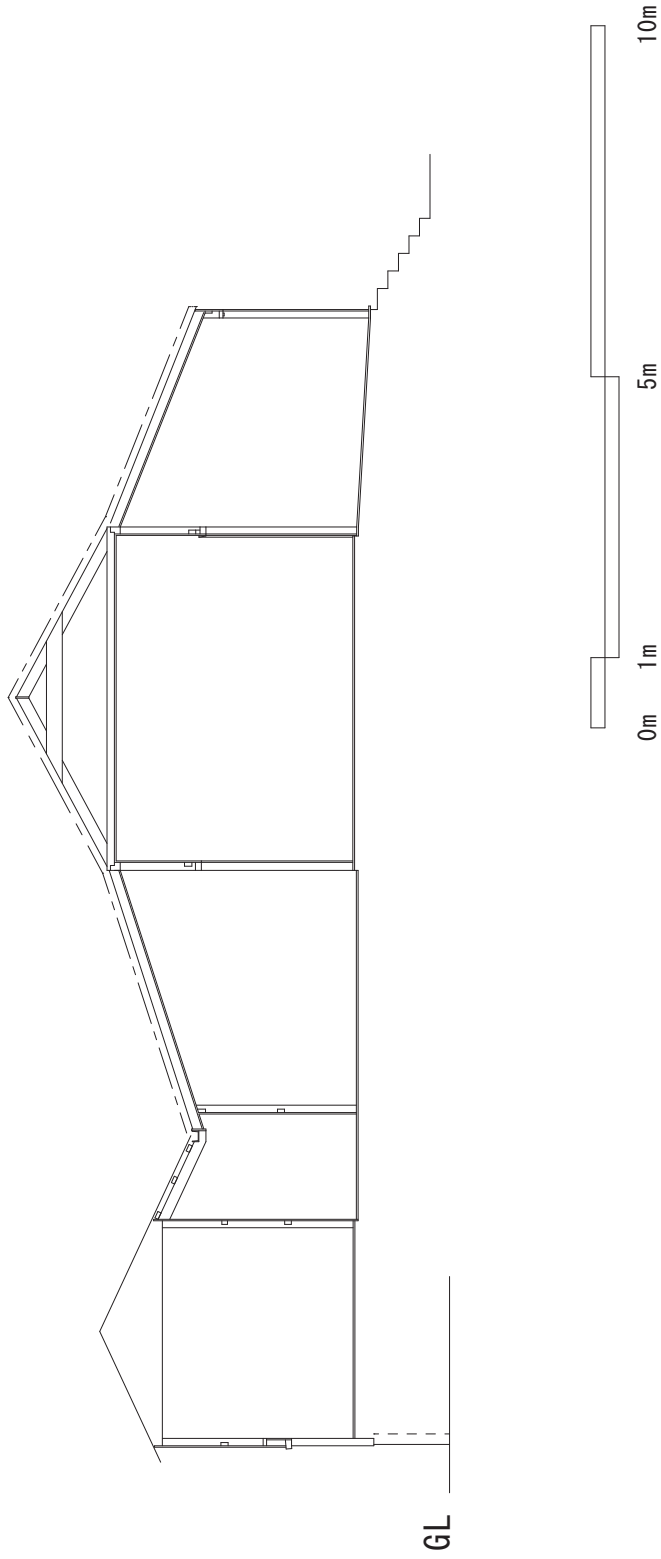
Former Patterson Family Residence

Floor Plan

Date

Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



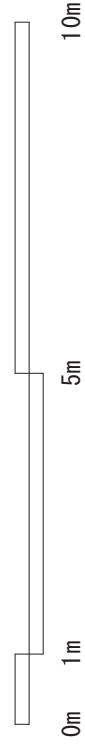
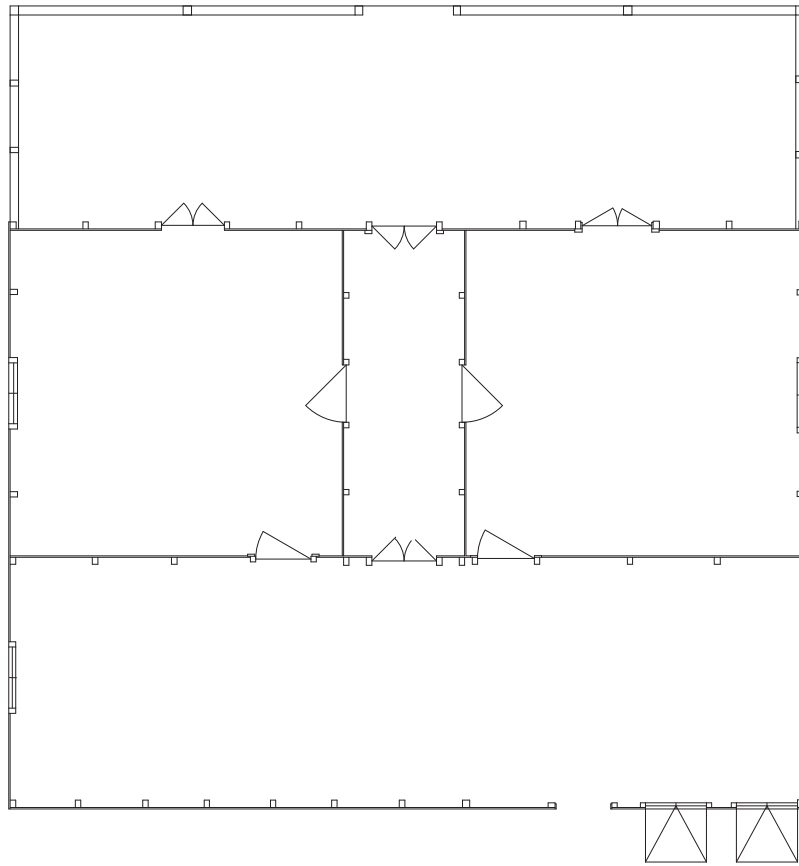
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 22. 2017

Former Patterson Family Residence

Section

N18



**N18**

**Former Patterson Family Residence**

Original Plan

Date

Feb. 22. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

ER:N19

Levuka Club



内観



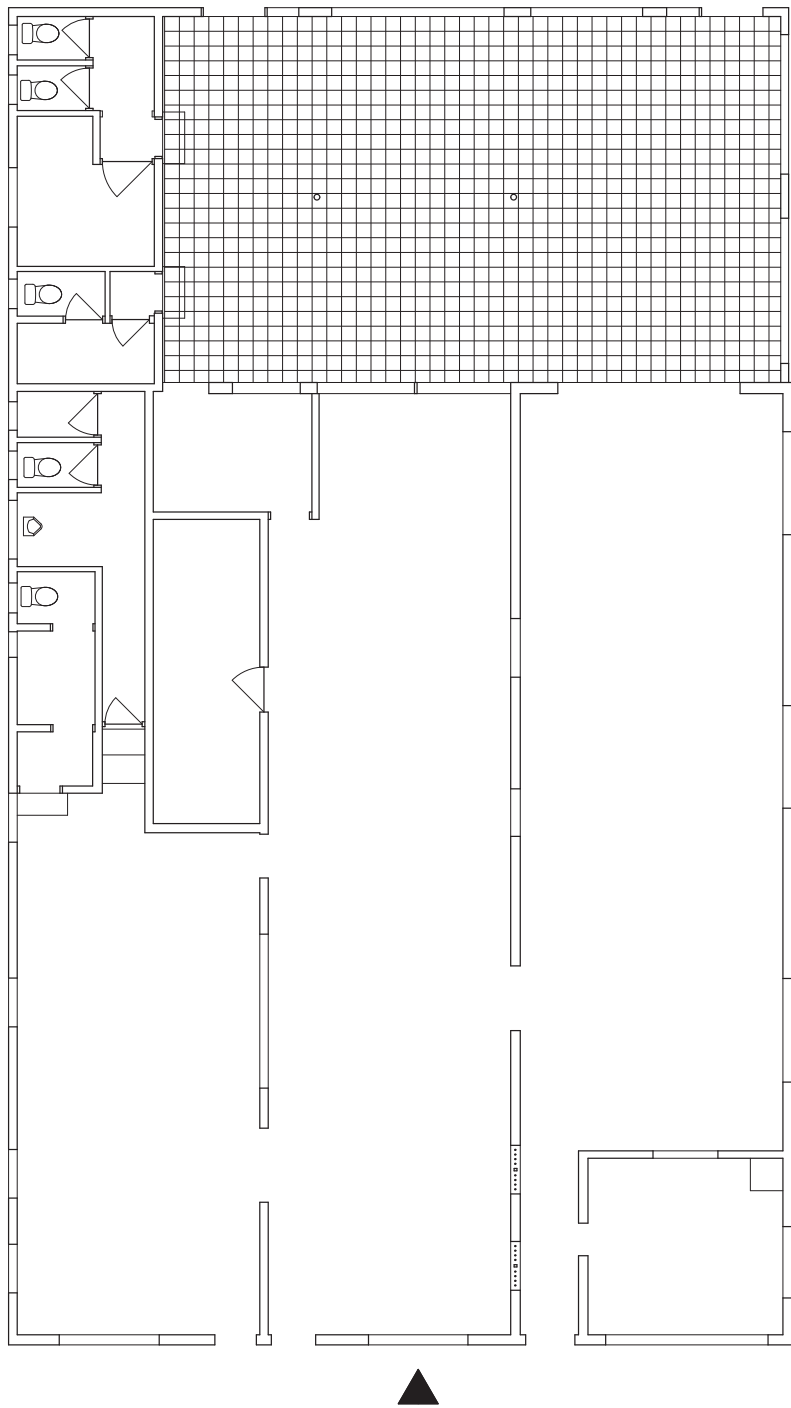
内観



小屋組み



東側外観



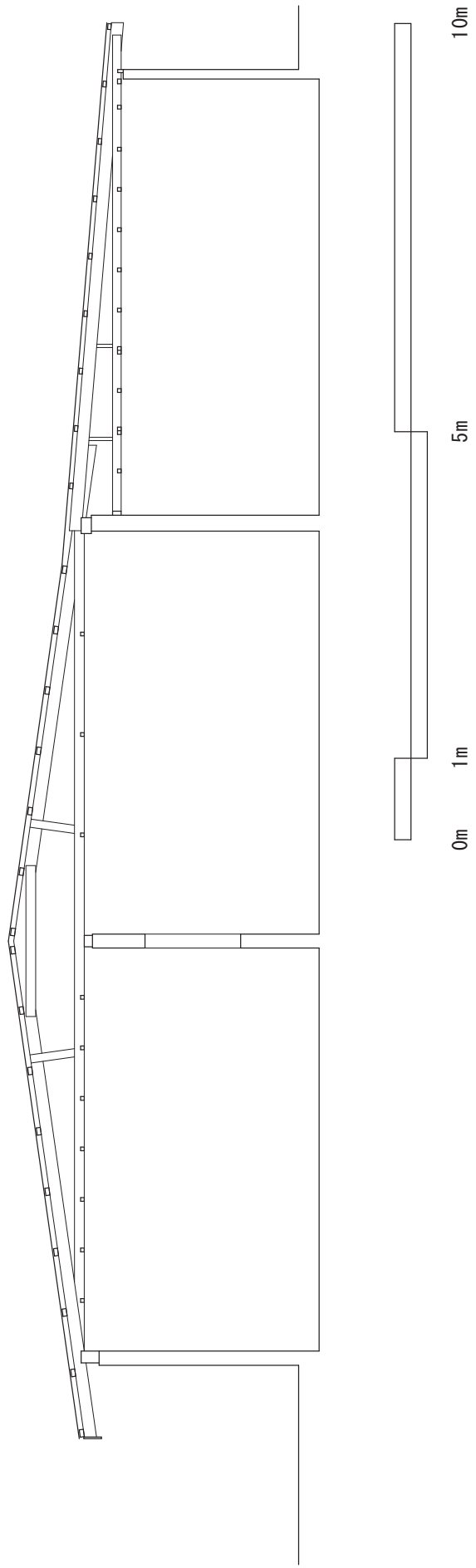
N19

Levuka Club  
Floor Plan

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N19

Levuka Club

Section

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N20

VENICE RADDOCK



リビング内観



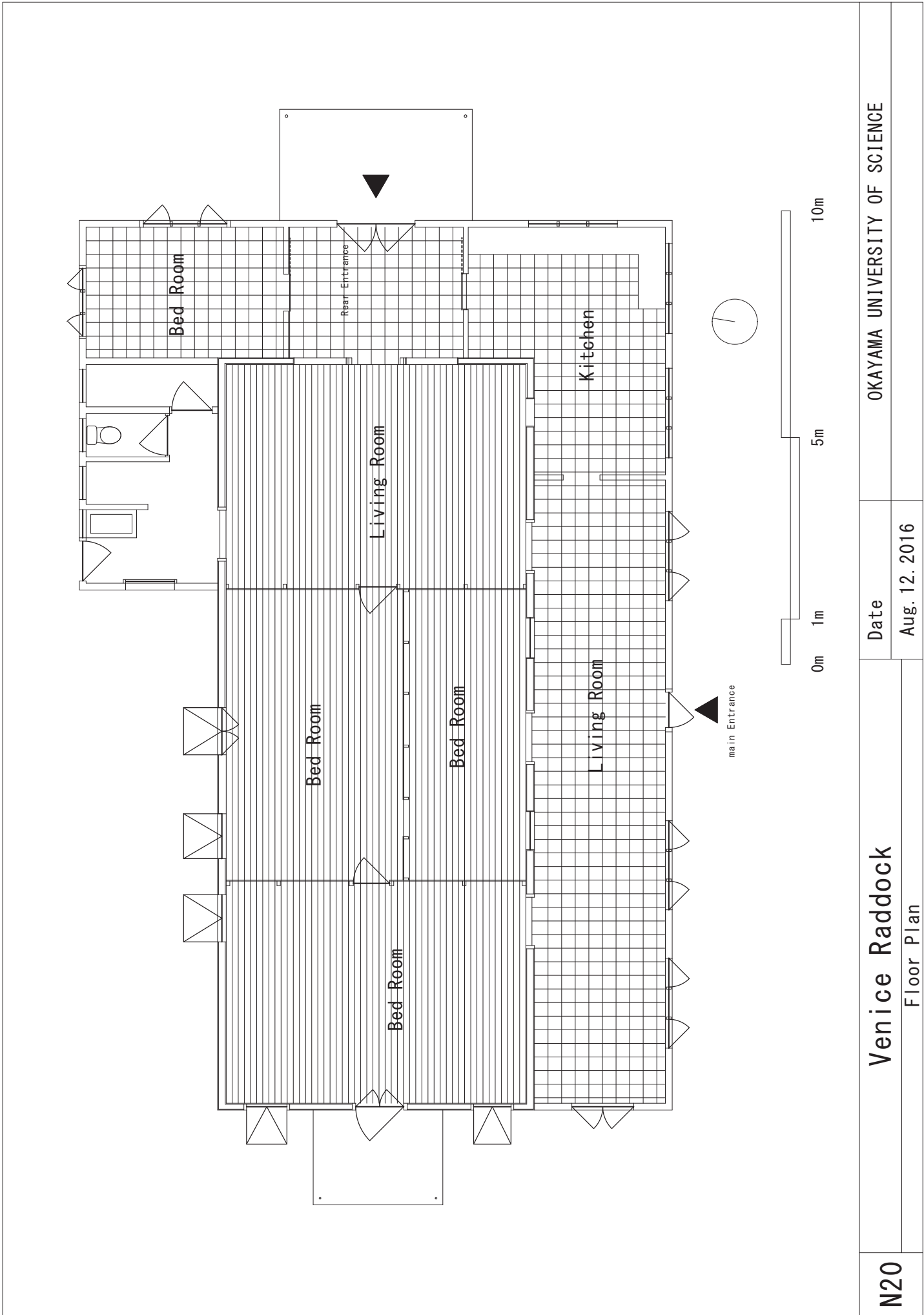
寝室内観



リビング内観



西側外観

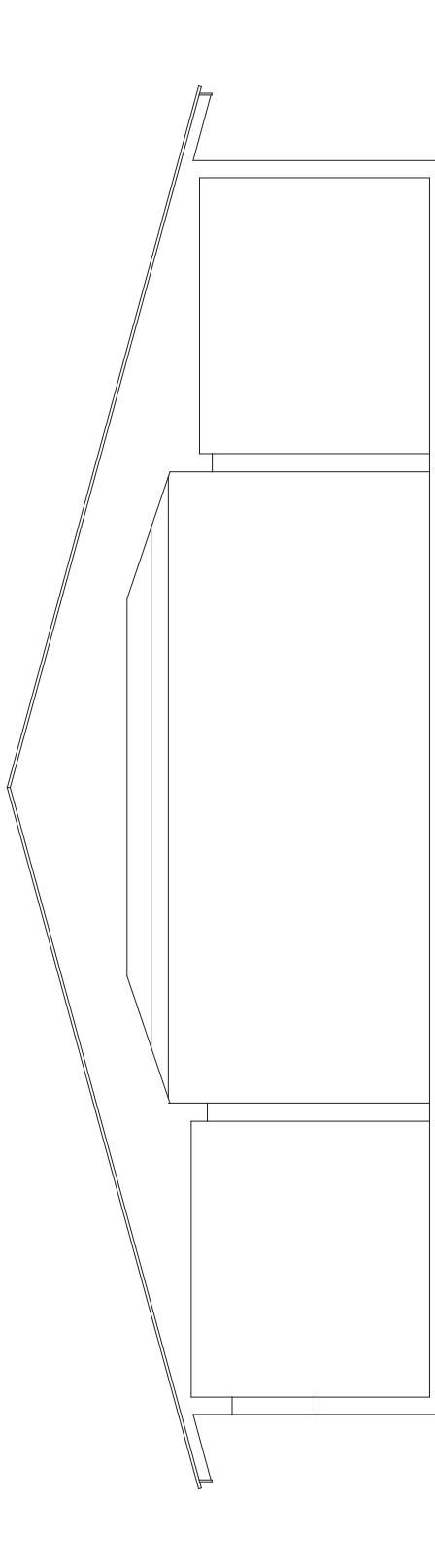


N20

Venice Raddock  
Floor Plan

Date  
Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N20

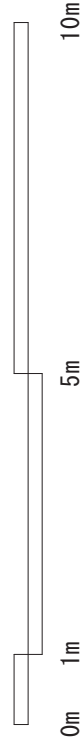
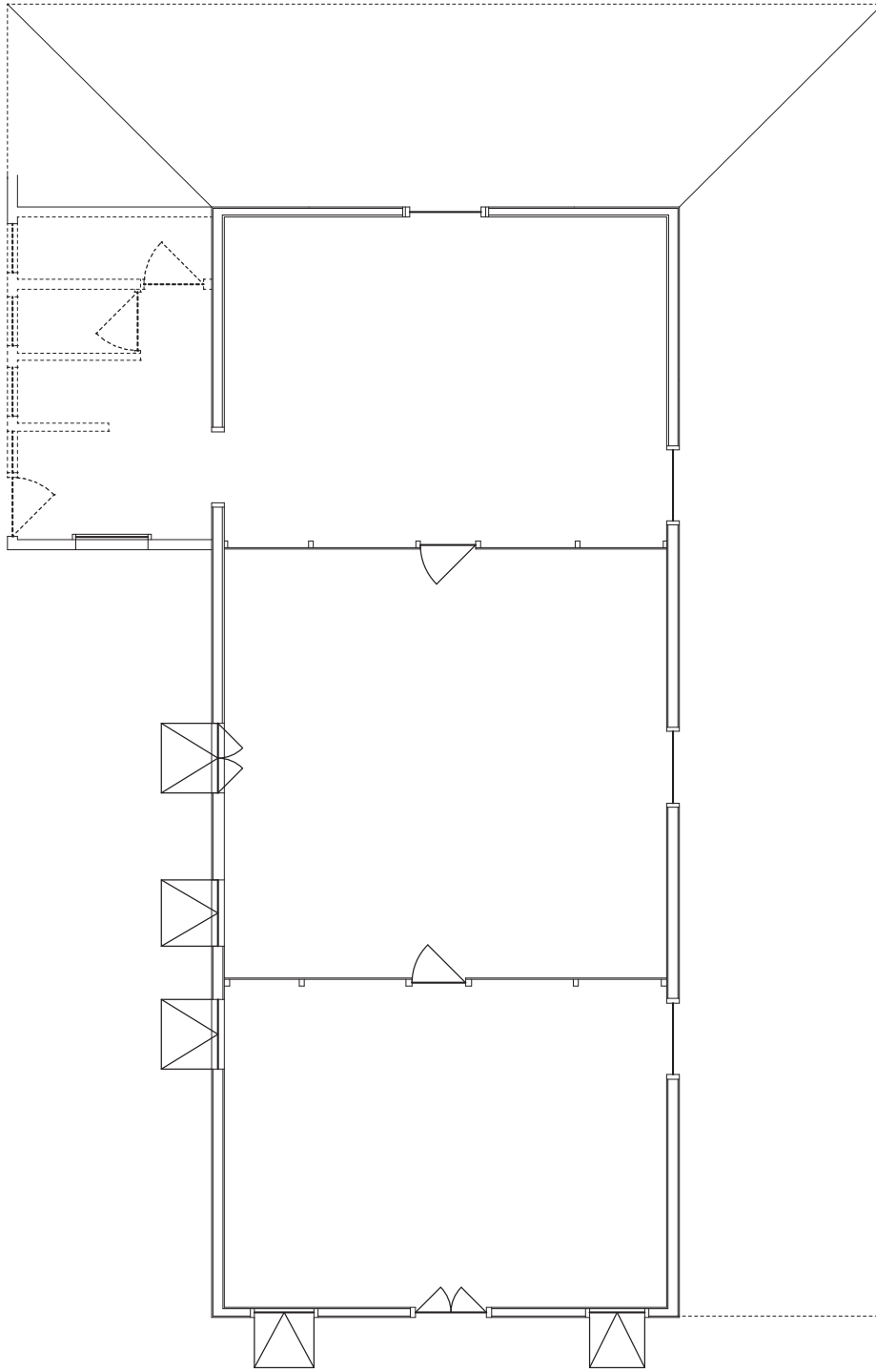
Venice Raddock

Section

Date

Aug. 12. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N20

Venice Raddock  
Original Plan

Date

Aug. 12. 2016

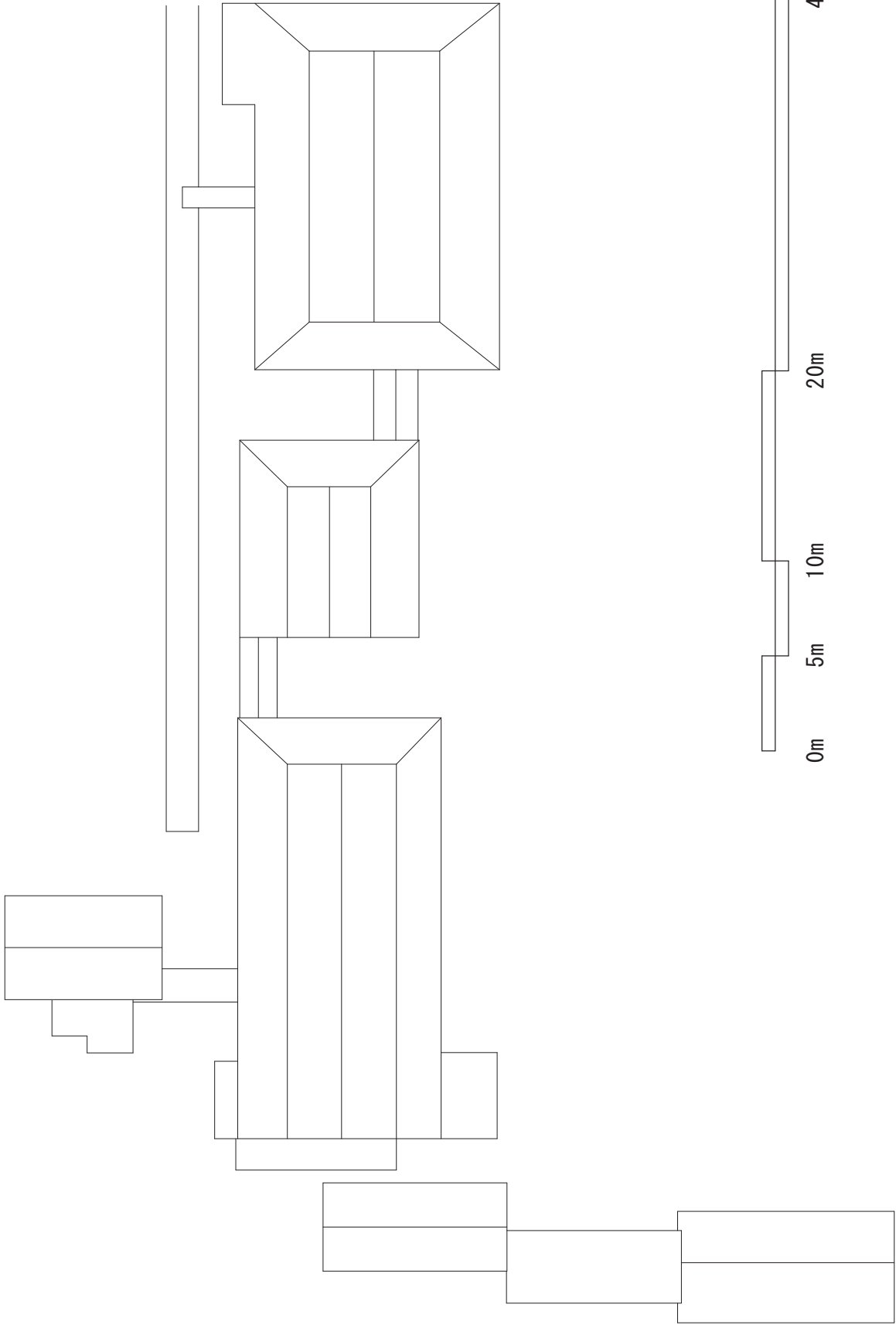
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N21

Lomaiviti Hospital Complex





OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 13. 2016

Lomaiвити Hospital Complex  
Site Plan

N21





室内内観



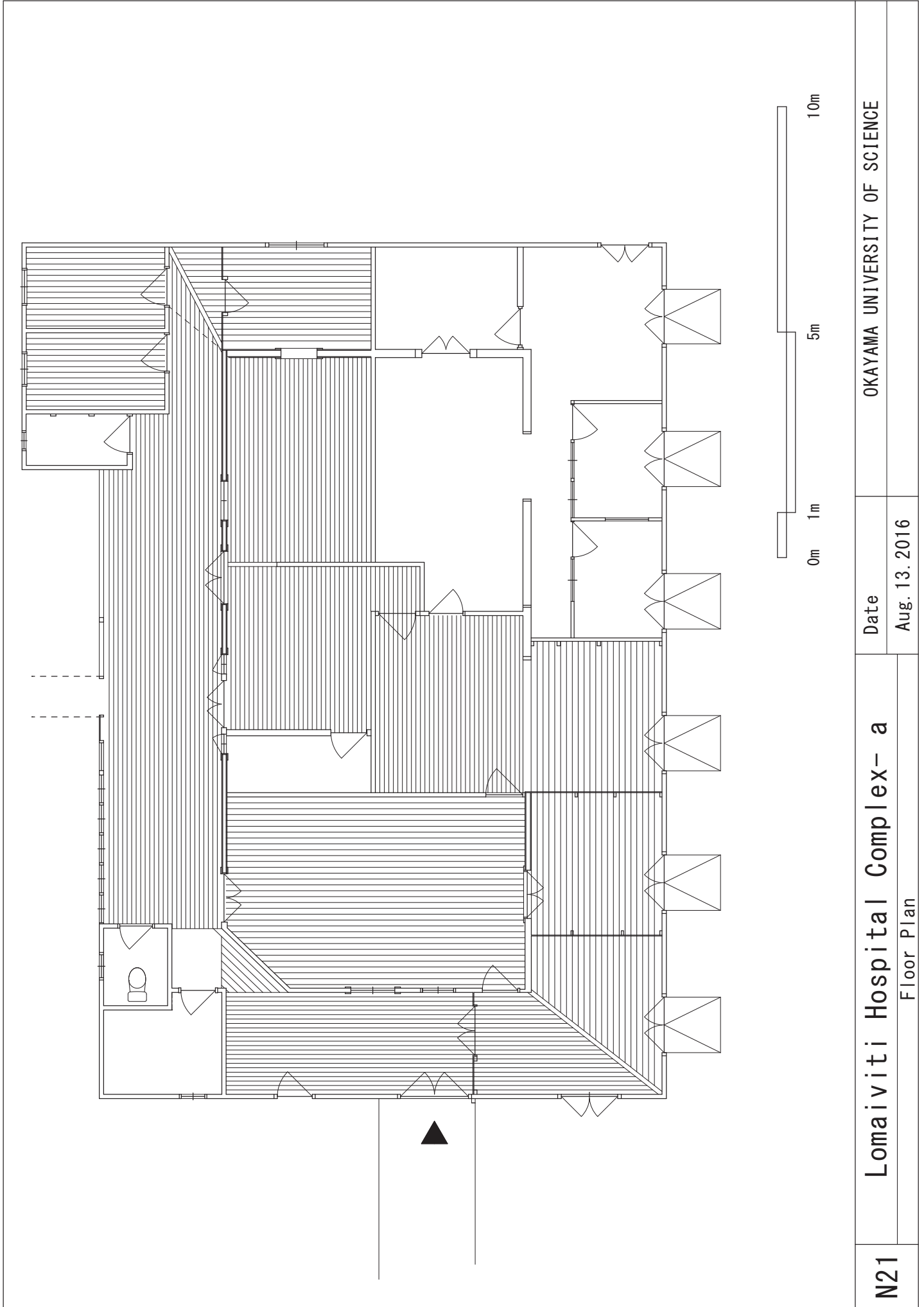
室内内観

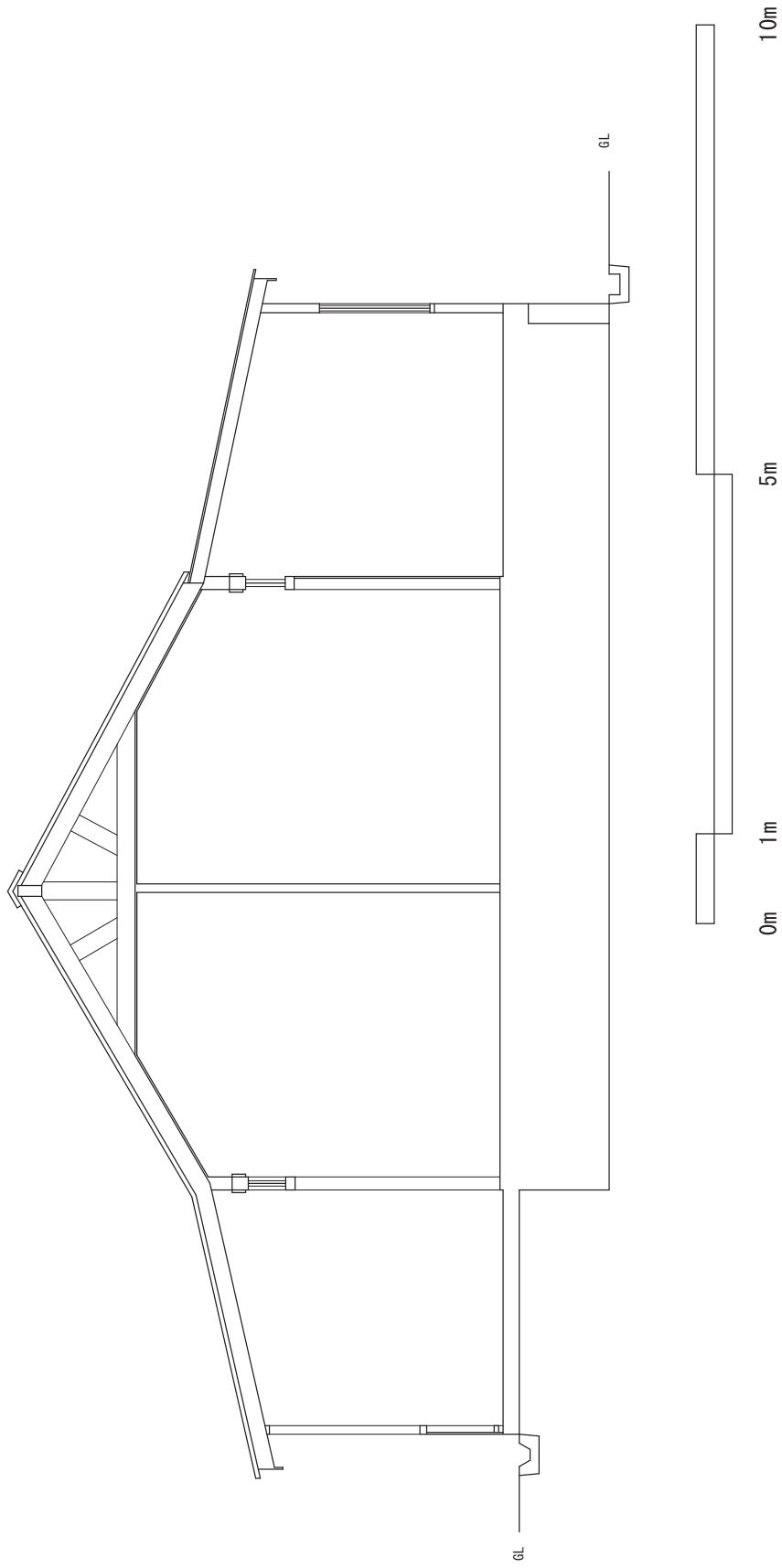


北側外観



後方ベランダ





N21

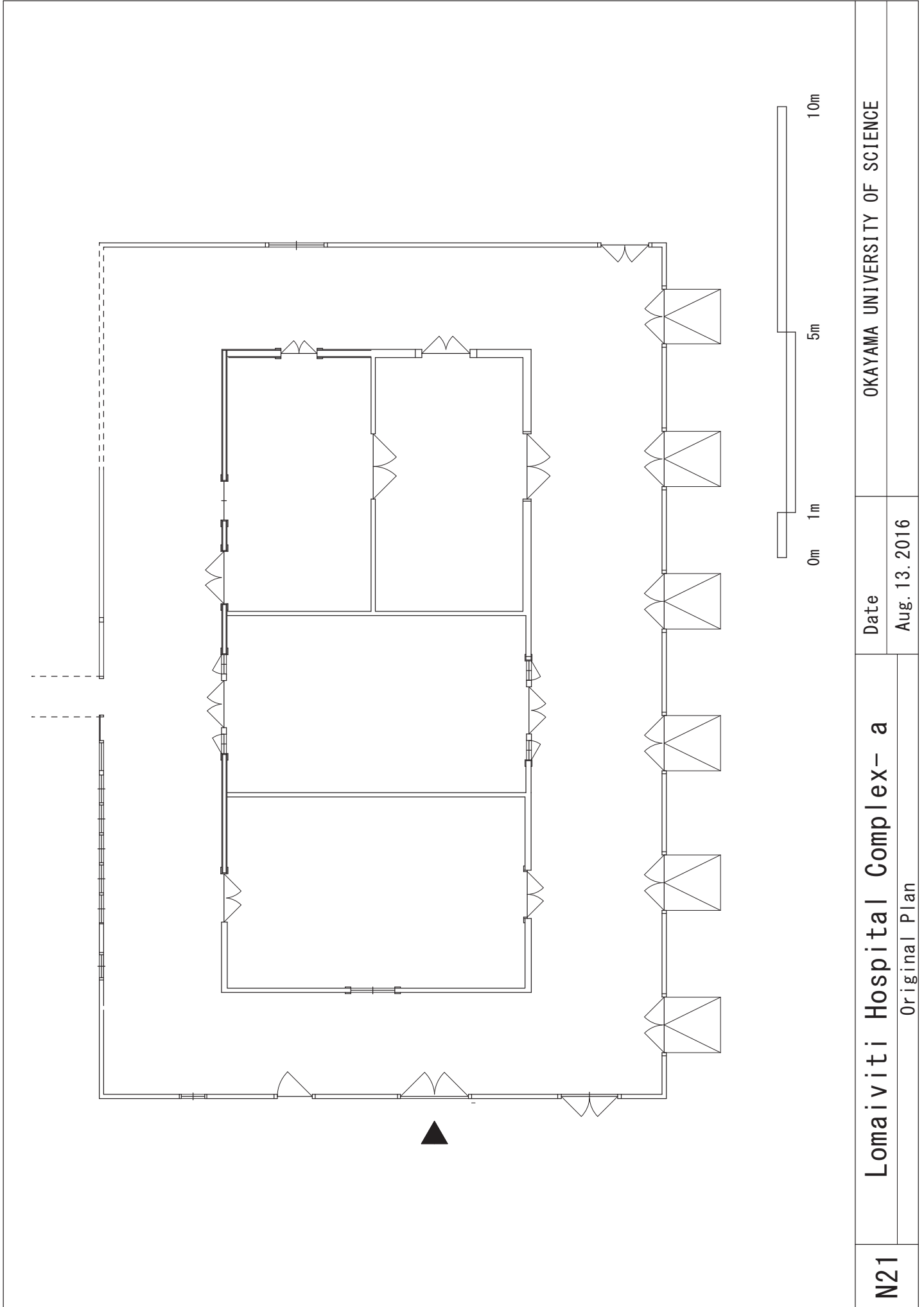
Lomaiviti Hospital Complex- a

Section

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE







北側外観



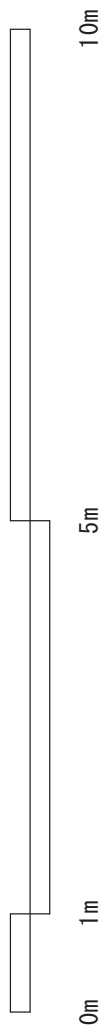
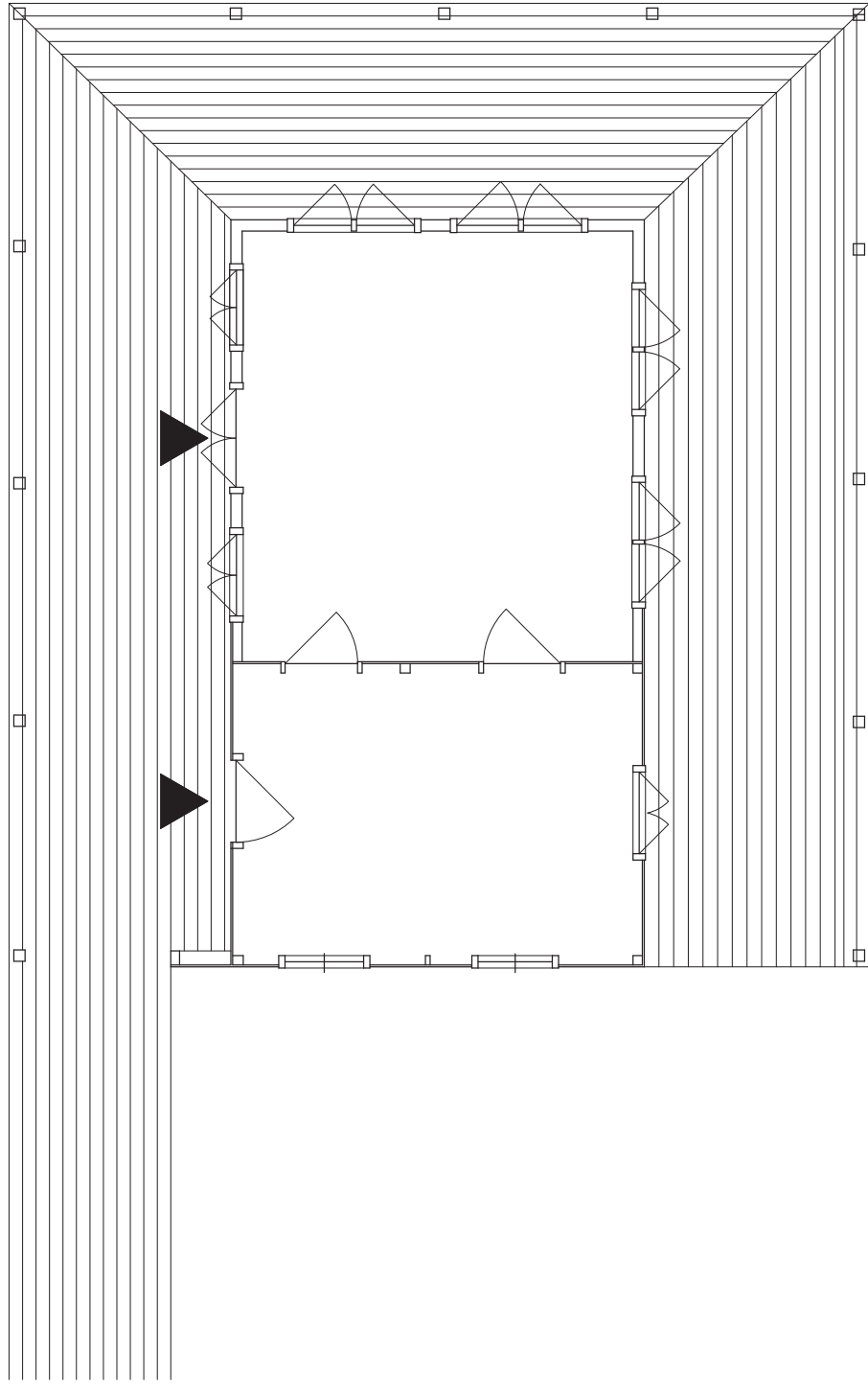
室内内観



西側外観



室内内観



N21

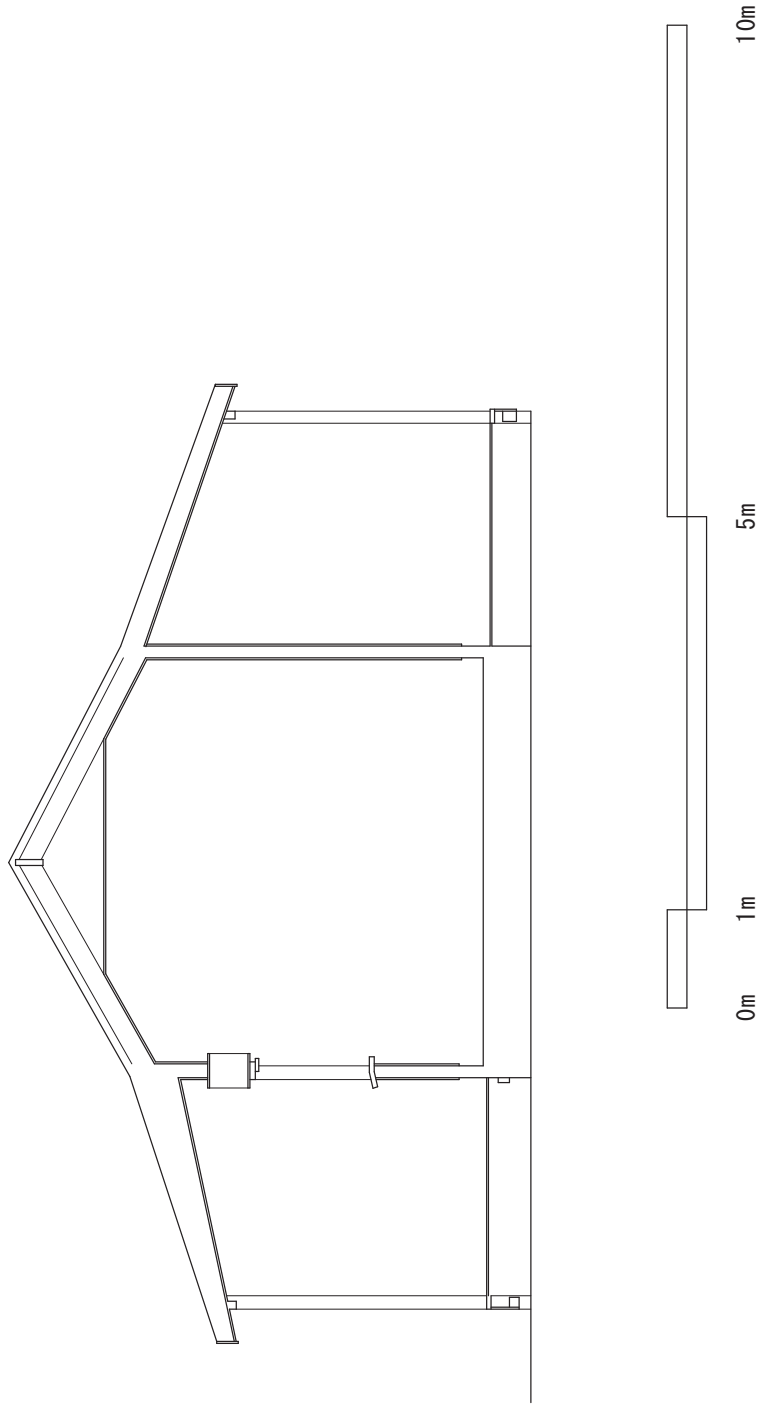
Lomaviti Hospital Complex - b  
Floor Plan

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





N21

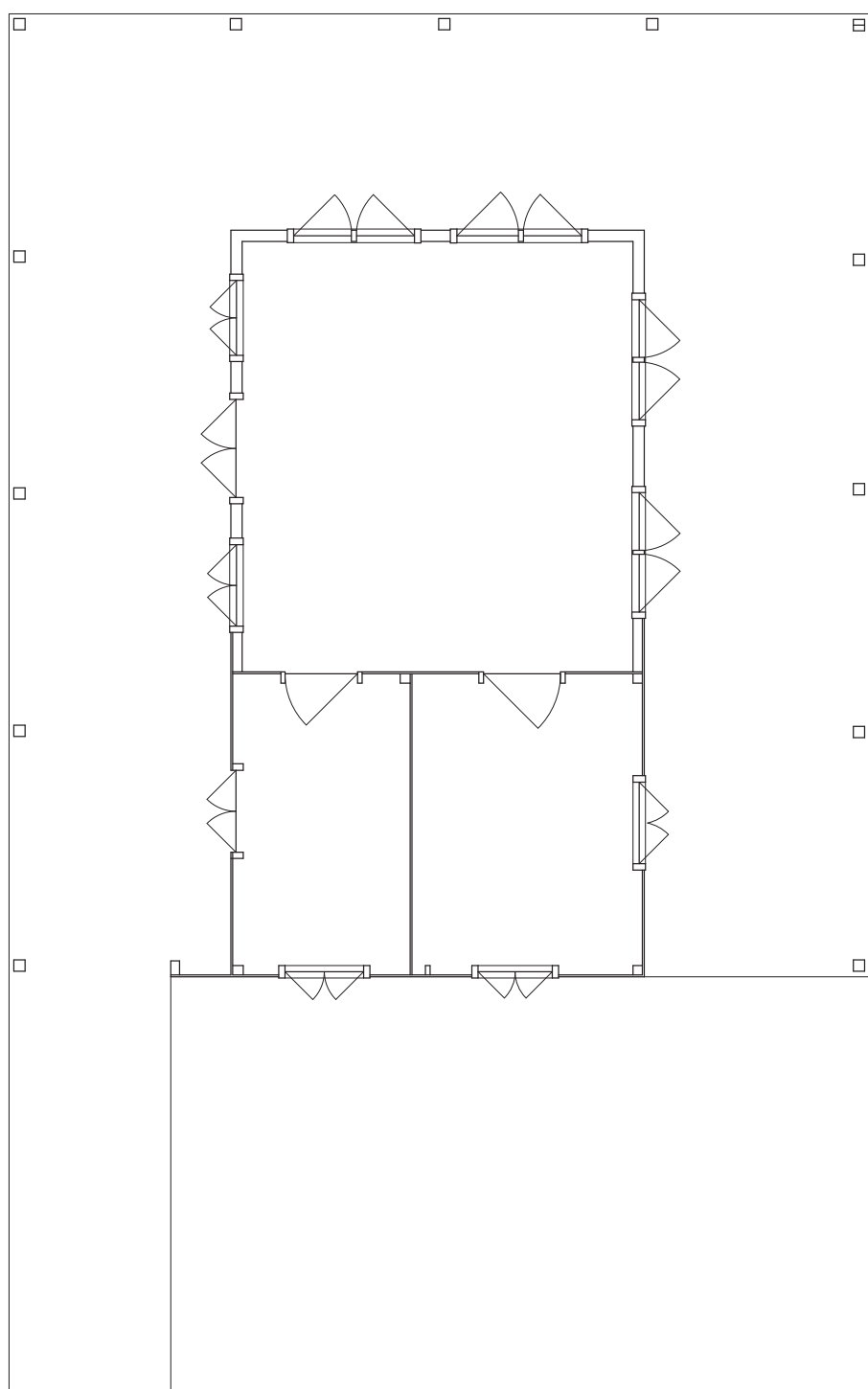
Lomaviti Hospital Complex - b

Section

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Aug. 13. 2016

Lomaviti Hospital Complex - b

Original Plan

N21



内観



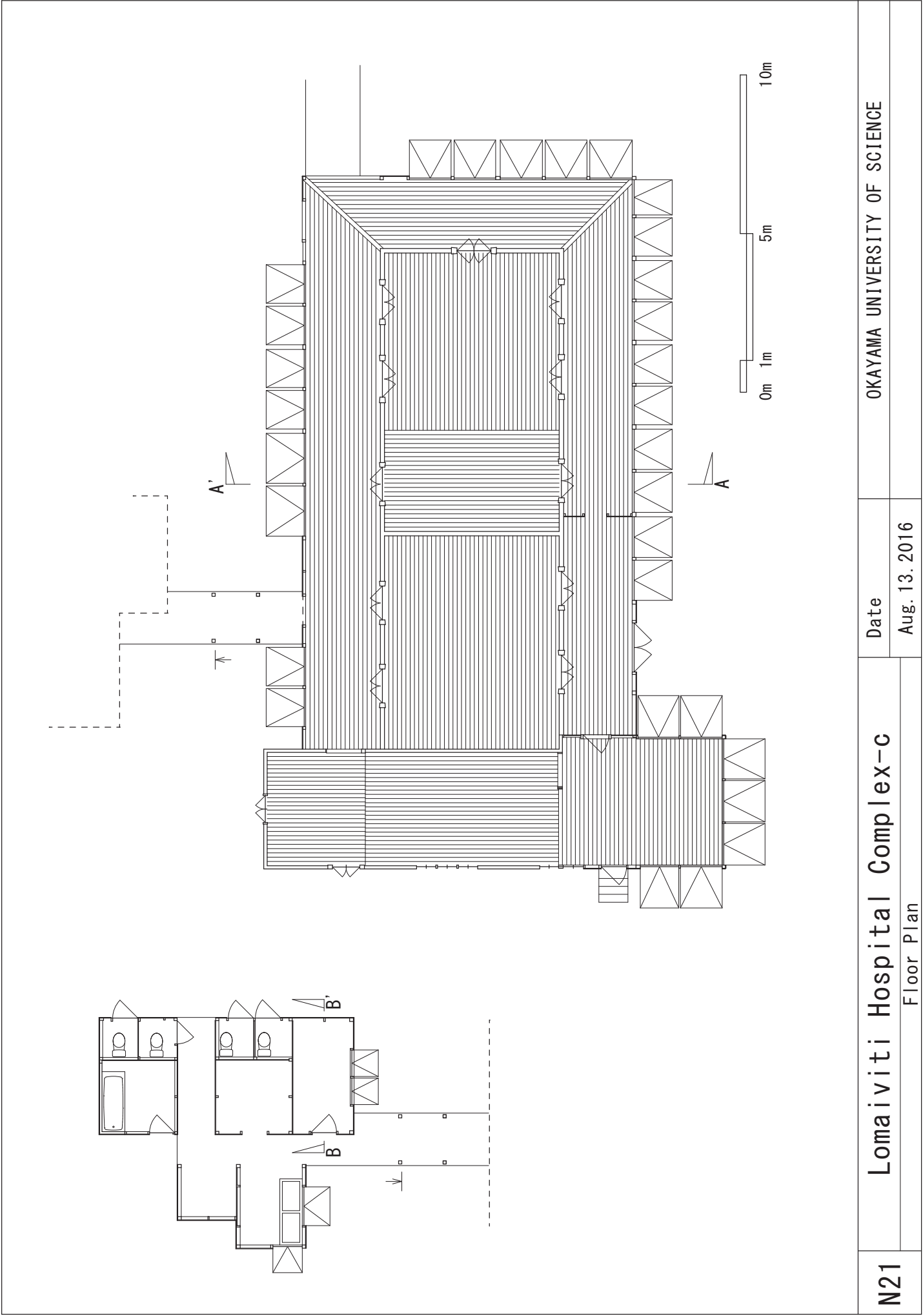
内観



身舎内観



付属屋外観

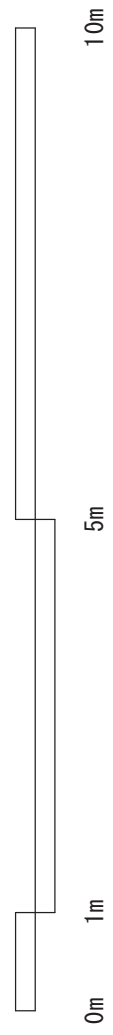
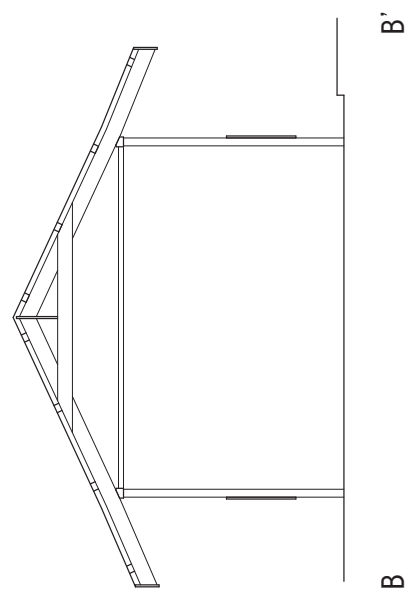
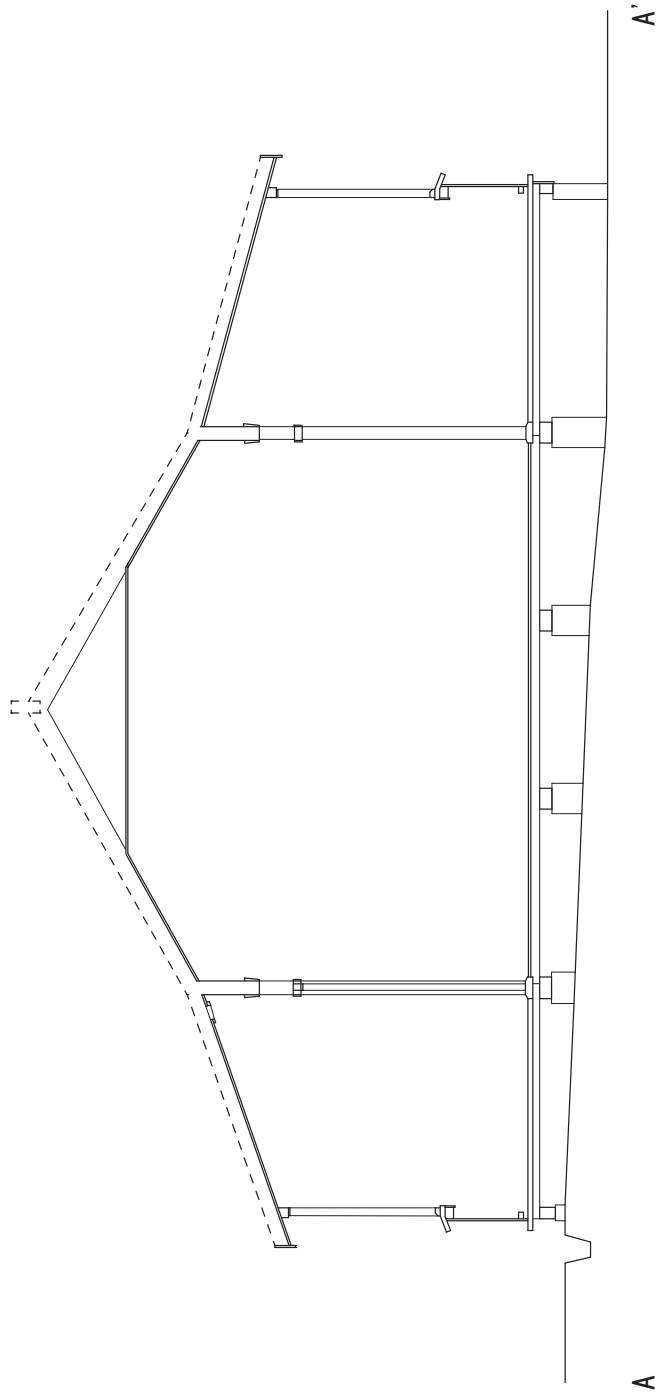


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

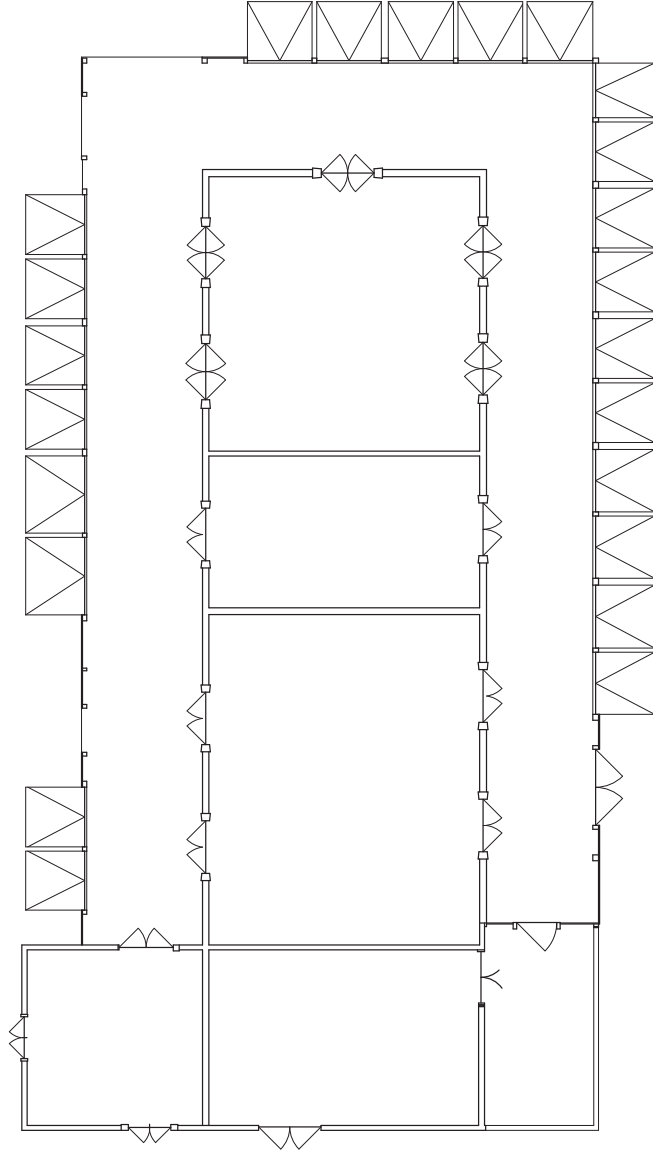
Date  
Aug. 13. 2016

Lomaviti Hospital Complex-c  
Floor Plan

N21



|     |                             |  |                               |               |
|-----|-----------------------------|--|-------------------------------|---------------|
| N21 | Lomaviti Hospital Complex-c |  | OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE |               |
|     | Section                     |  | Date                          | Aug. 13. 2016 |



N21

Lomaviti Hospital Complex-c

Original Plan

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE





東棟内観



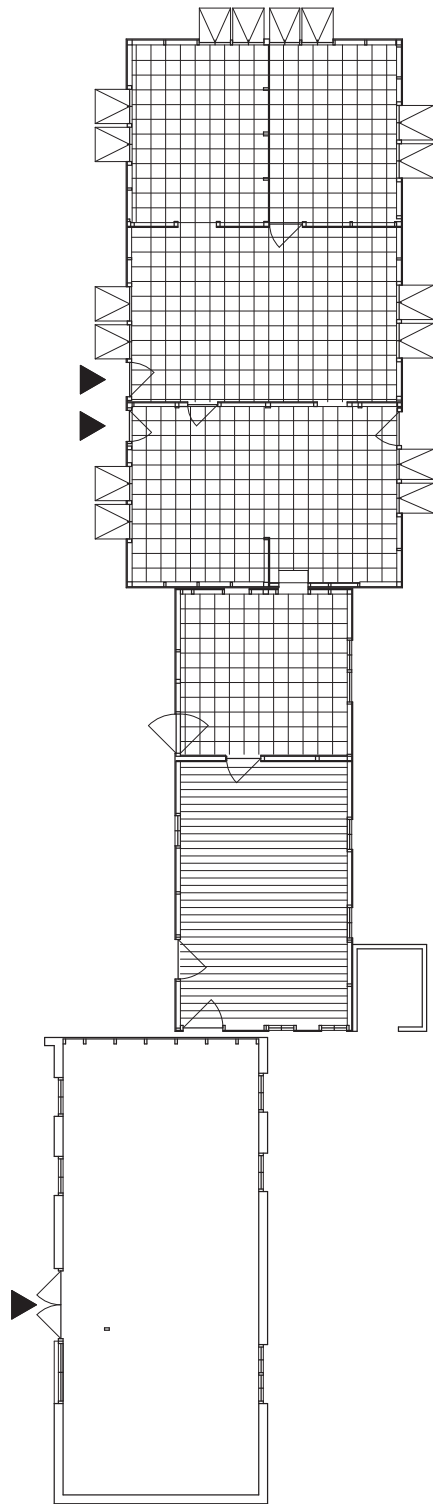
中央棟内観



西棟外観



中央棟内観



0m 1m 5m 10m

N21

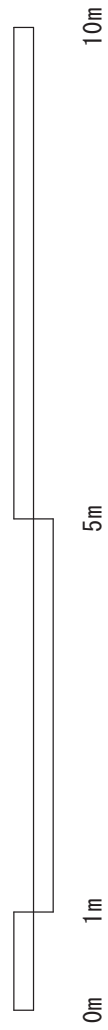
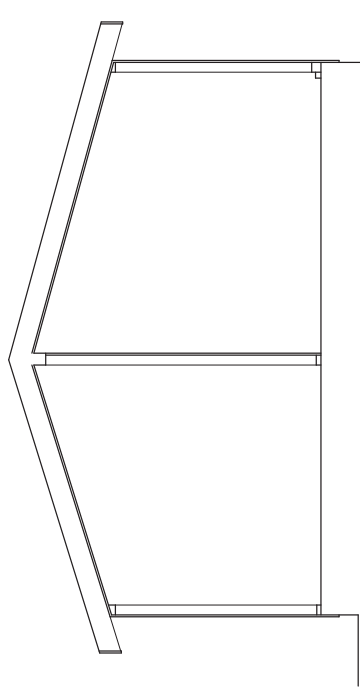
Lomaviti Hospital Complex- d

Floor Plan

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N21

Lomaiiviti Hospital Complex- d

Section

Date

Aug. 13. 2016

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N22

Methodist Teachers' Hostel



内観(2007年九州大学撮影)



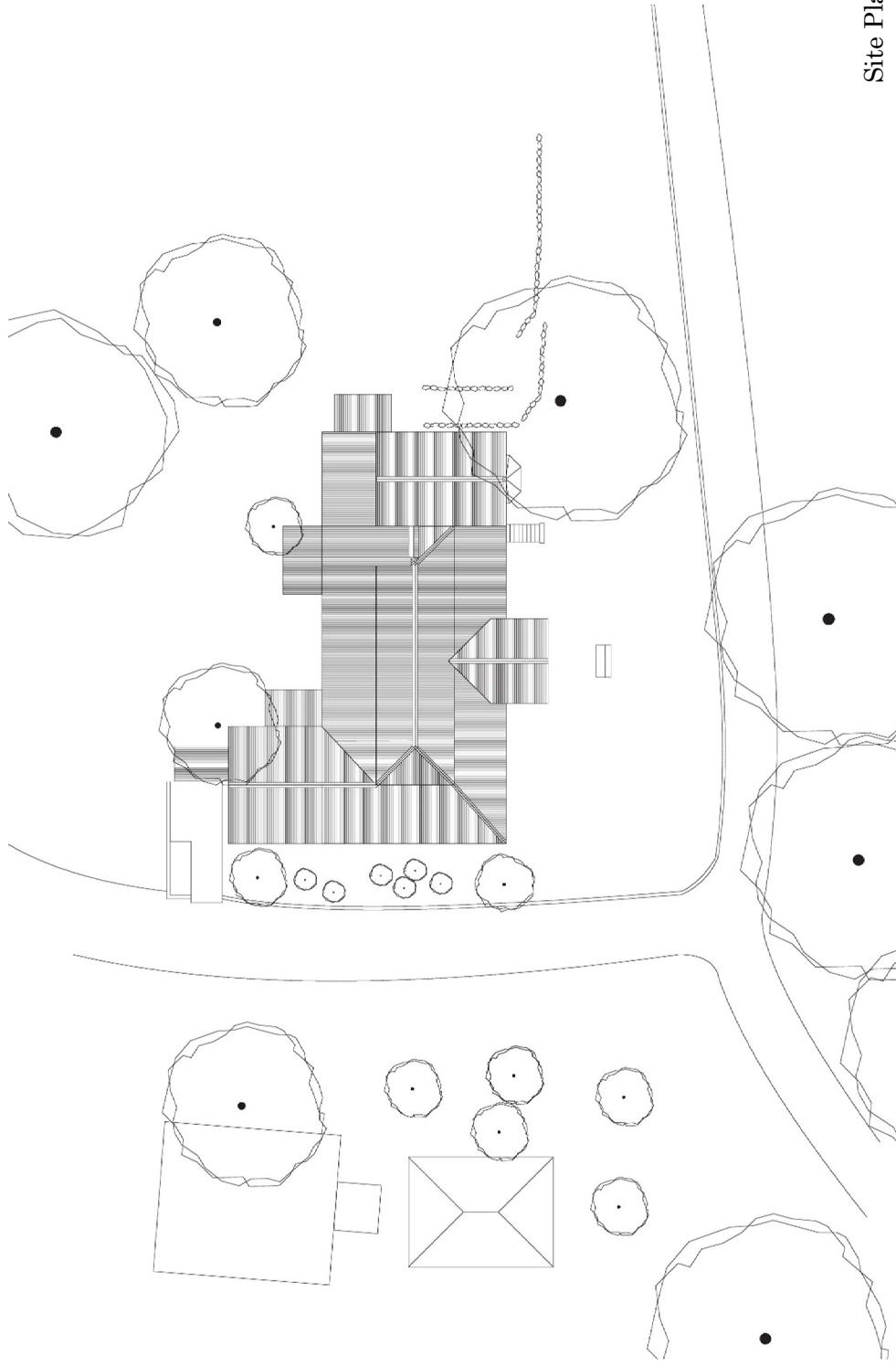
内観(2007年九州大学撮影)



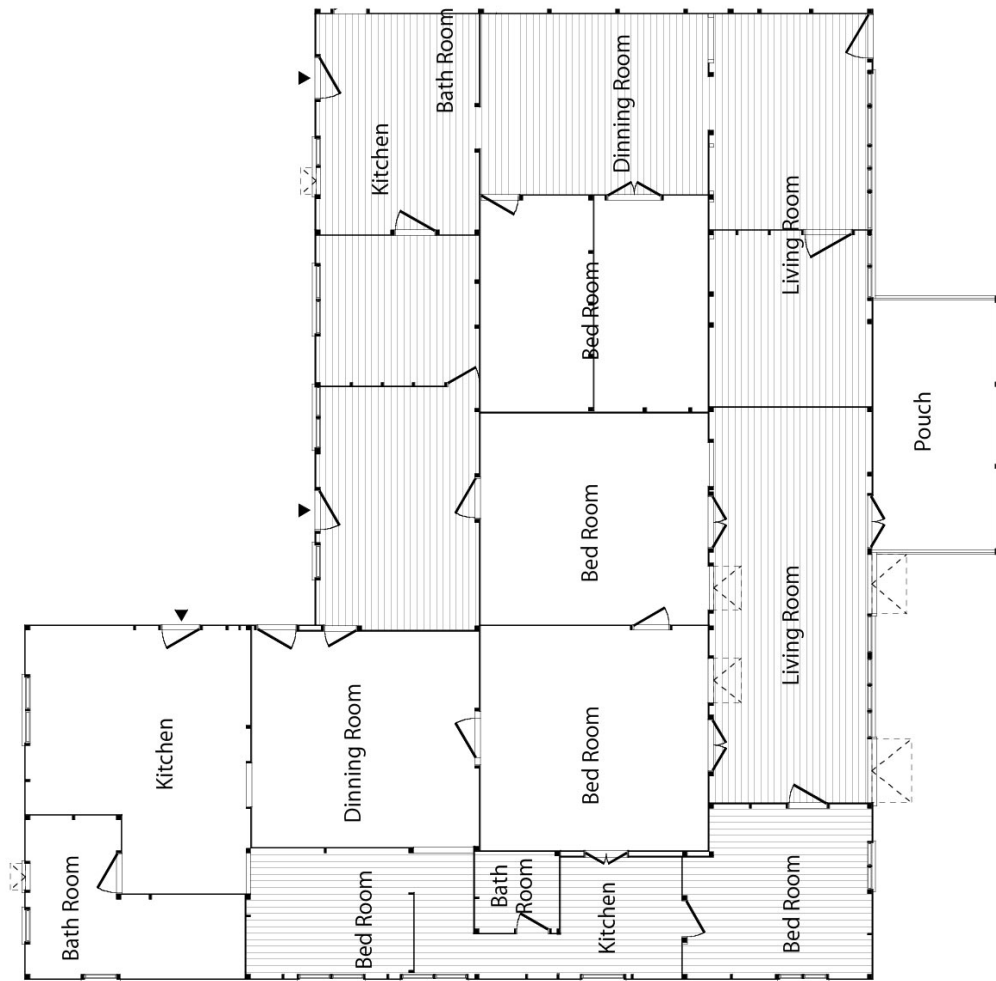
西側外観(2007年九州大学撮影)



東側外観(2007年九州大学撮影)



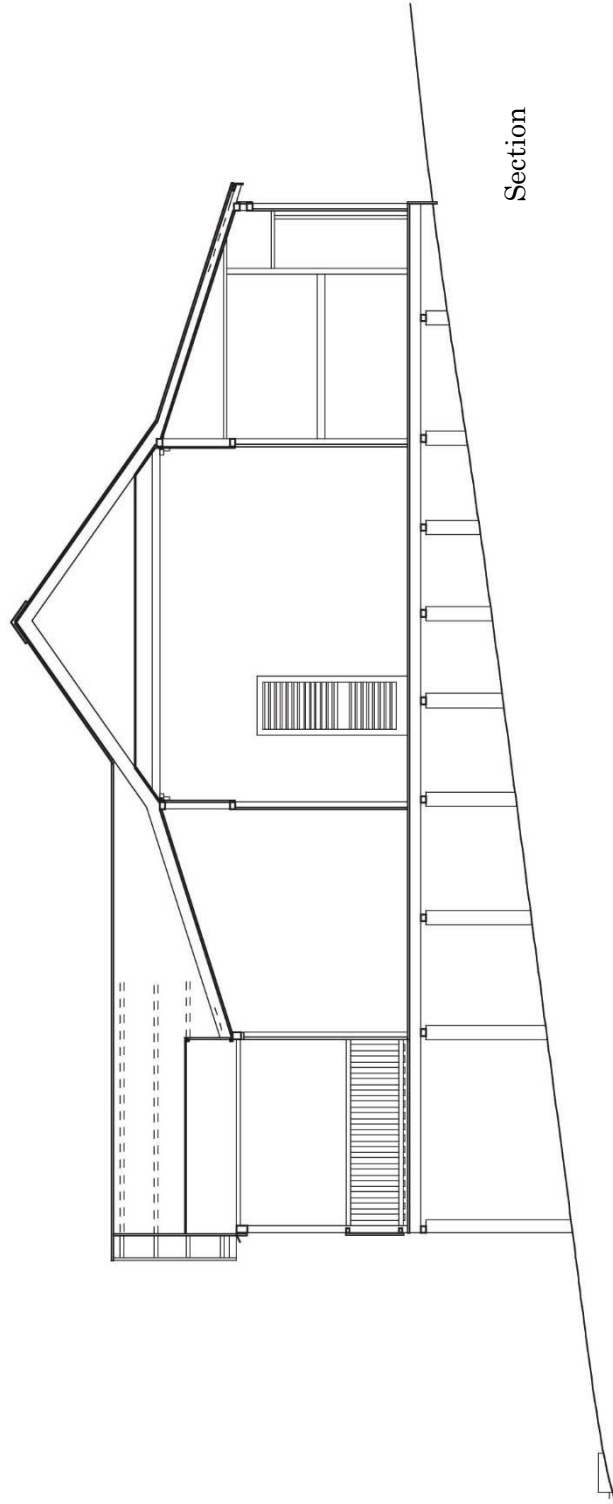
Site Plan

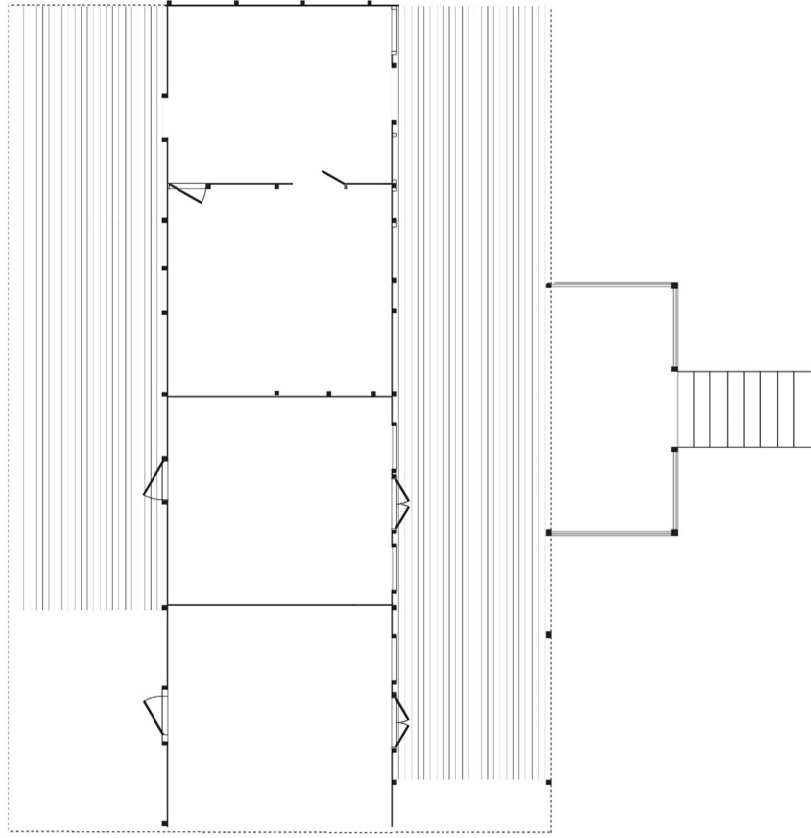


Floor Plan



Methodist Teachers' Hostel 図面作製：九州大学





ER:N23

Mr. Duncan's House



周辺室内観(2007年九州大学撮影)



南側外観(2007年九州大学撮影)

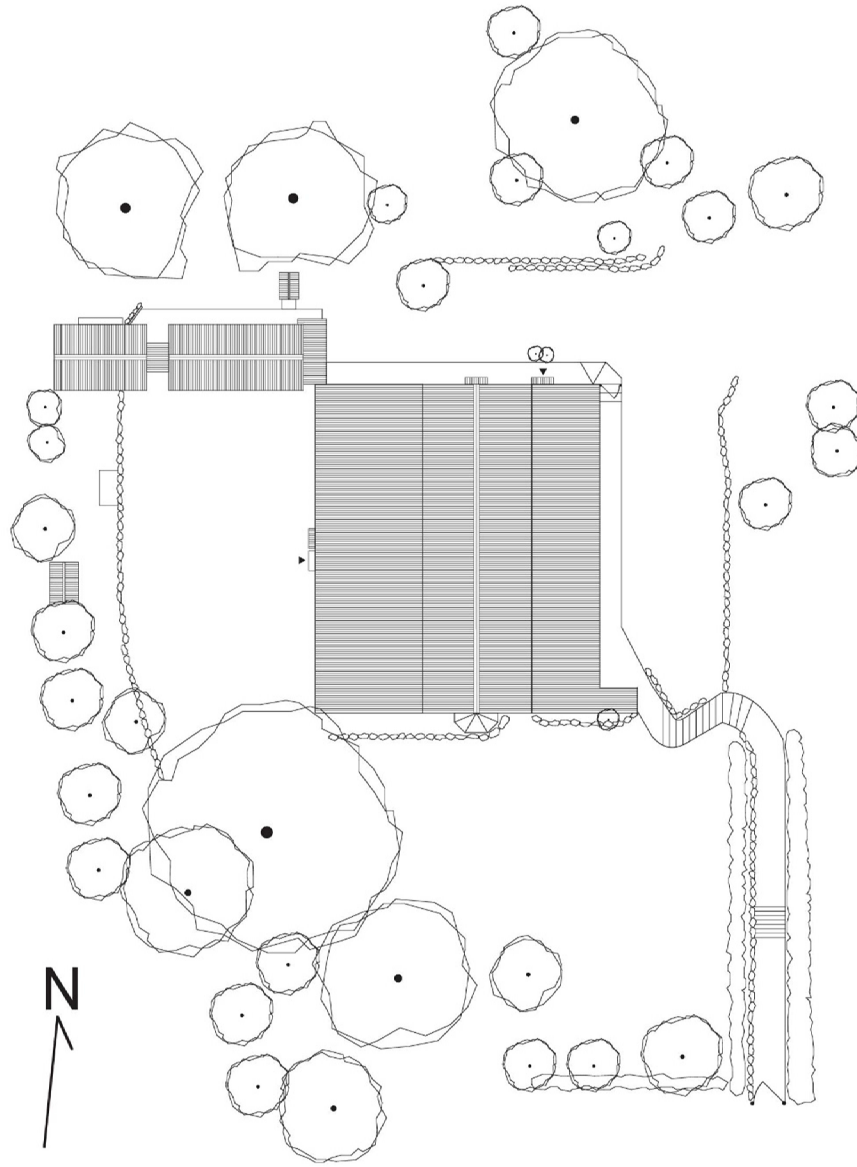


内観(2007年九州大学撮影)



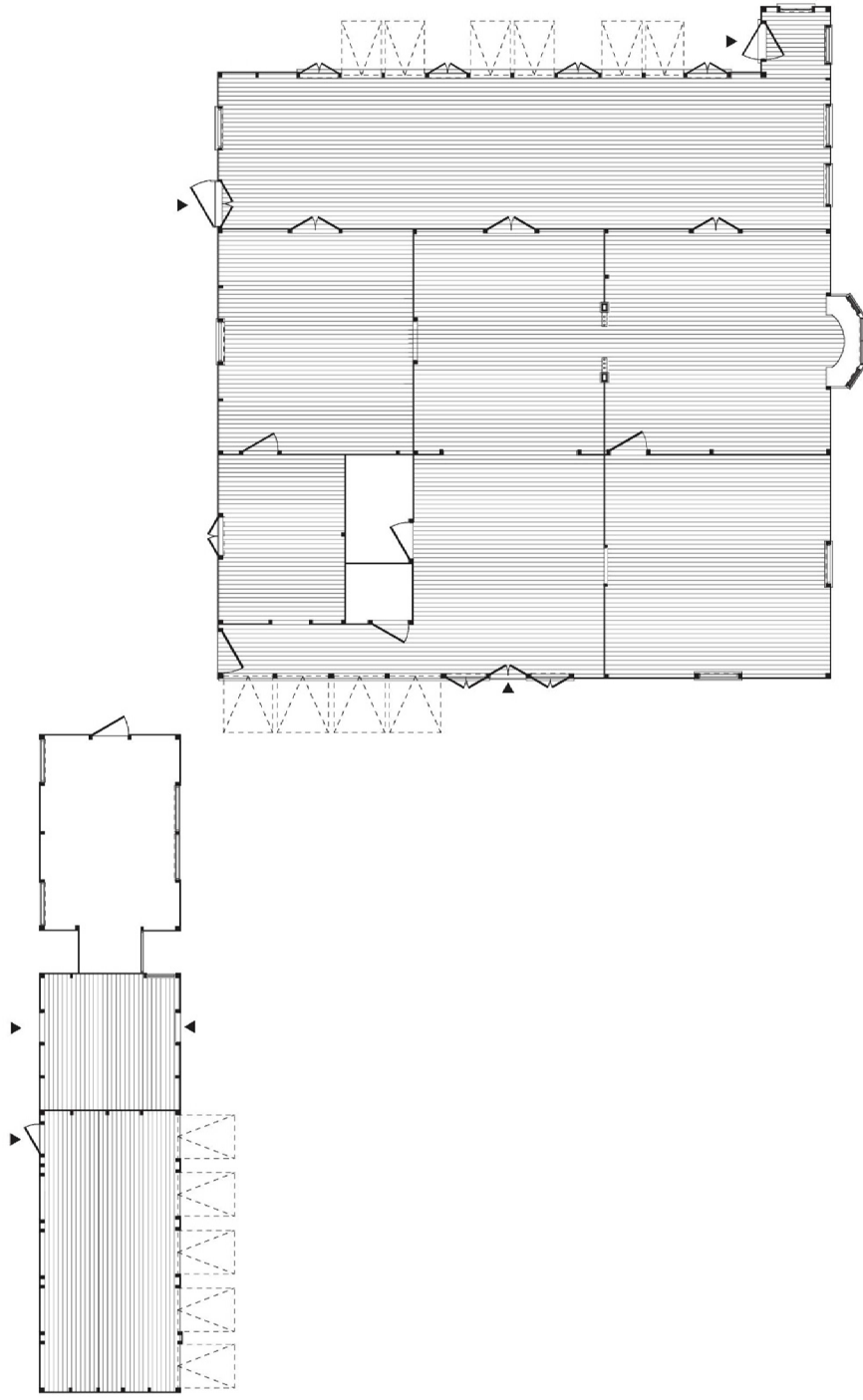
内観 (2007年九州大学撮影)

ER-N23 Mr. Dunkan's House 図面作製：九州大学



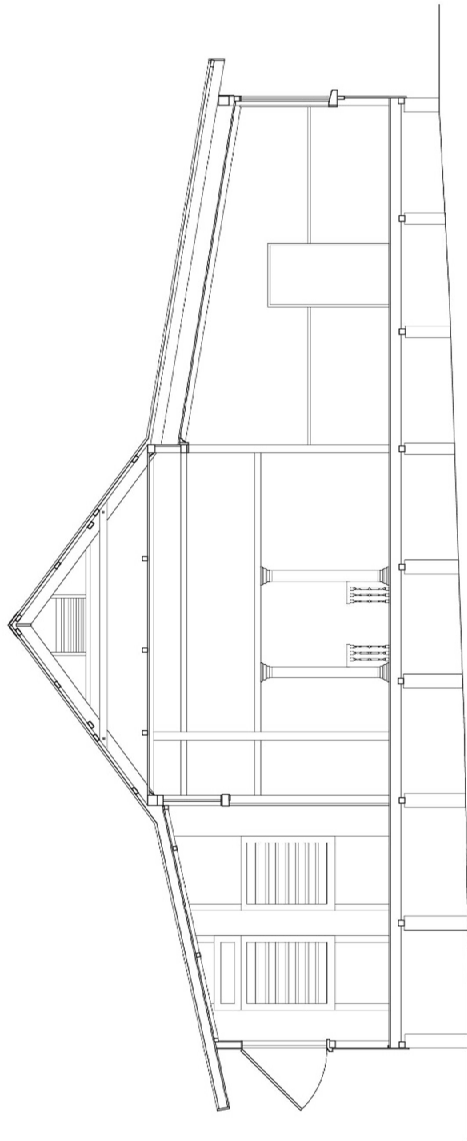
Site Plan

Mr. Dunkan's House 図面作製：九州大学

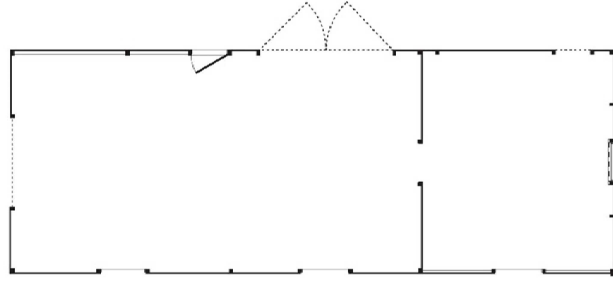


Floor Plan

Mr. Dunkan's House 図面作製：九州大学



Section



Original Plan



ER:N24

Anglican Vicarage



ベランダ内観



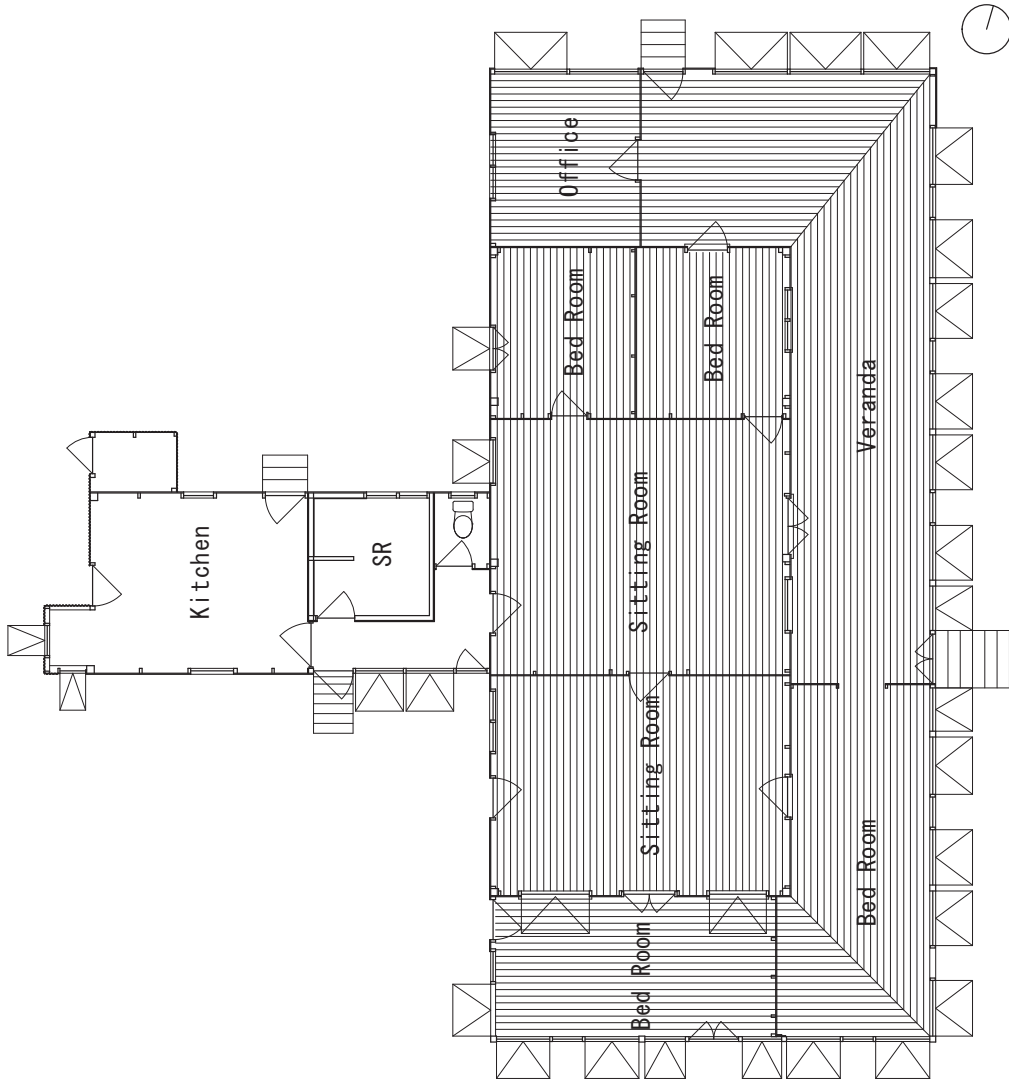
リビング内観



小屋組み



台所内観



N24

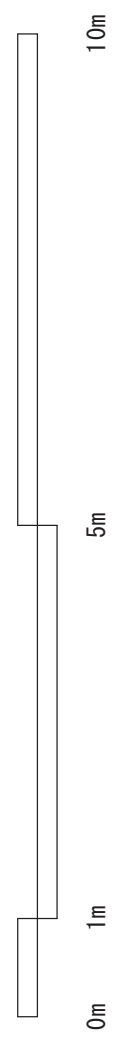
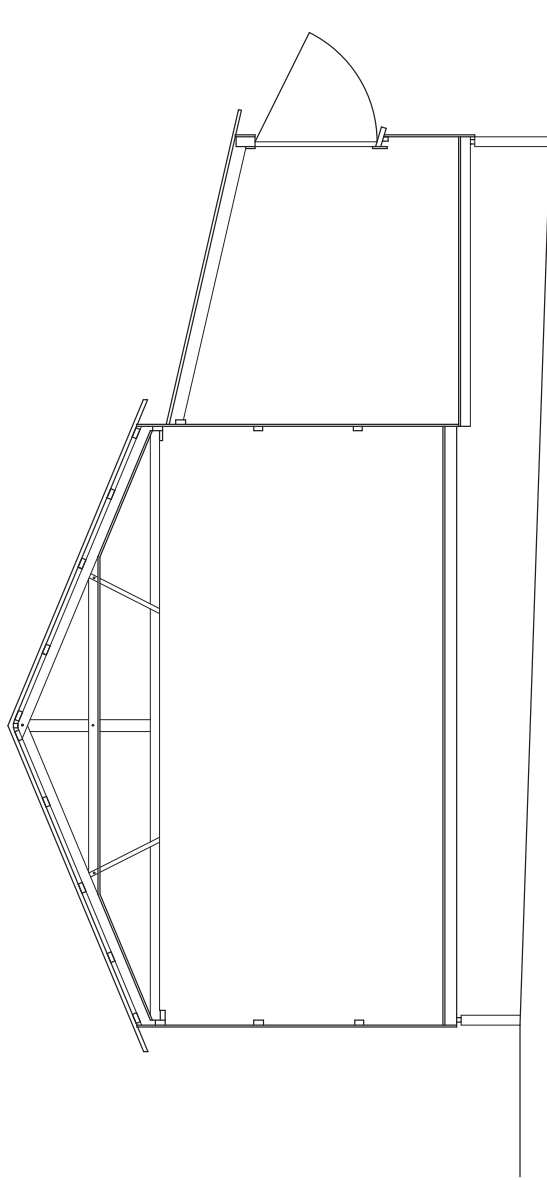
Anglican Vicarage

Floor Plan

Date

Aug. 17. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N24

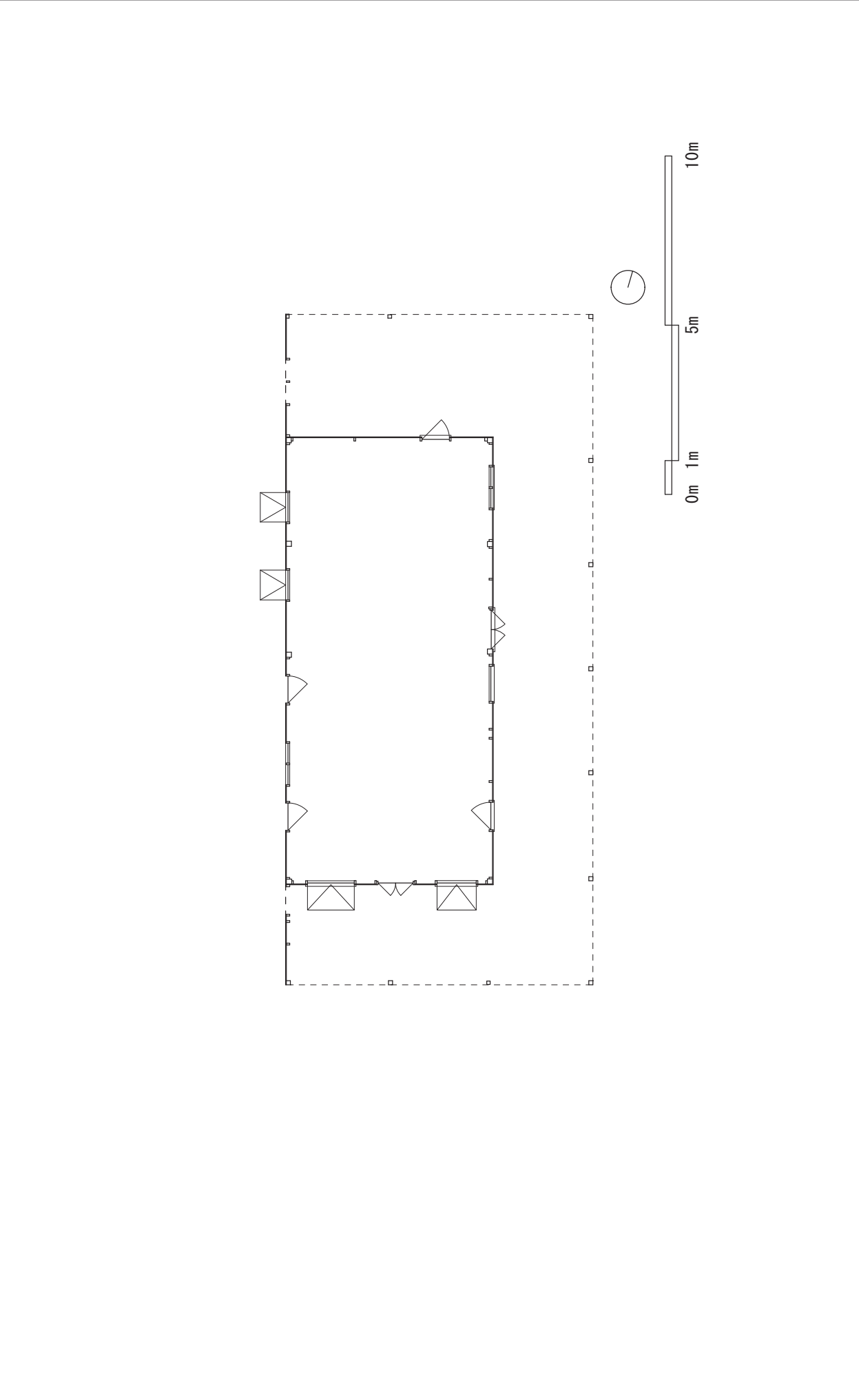
Anglican Vicarage

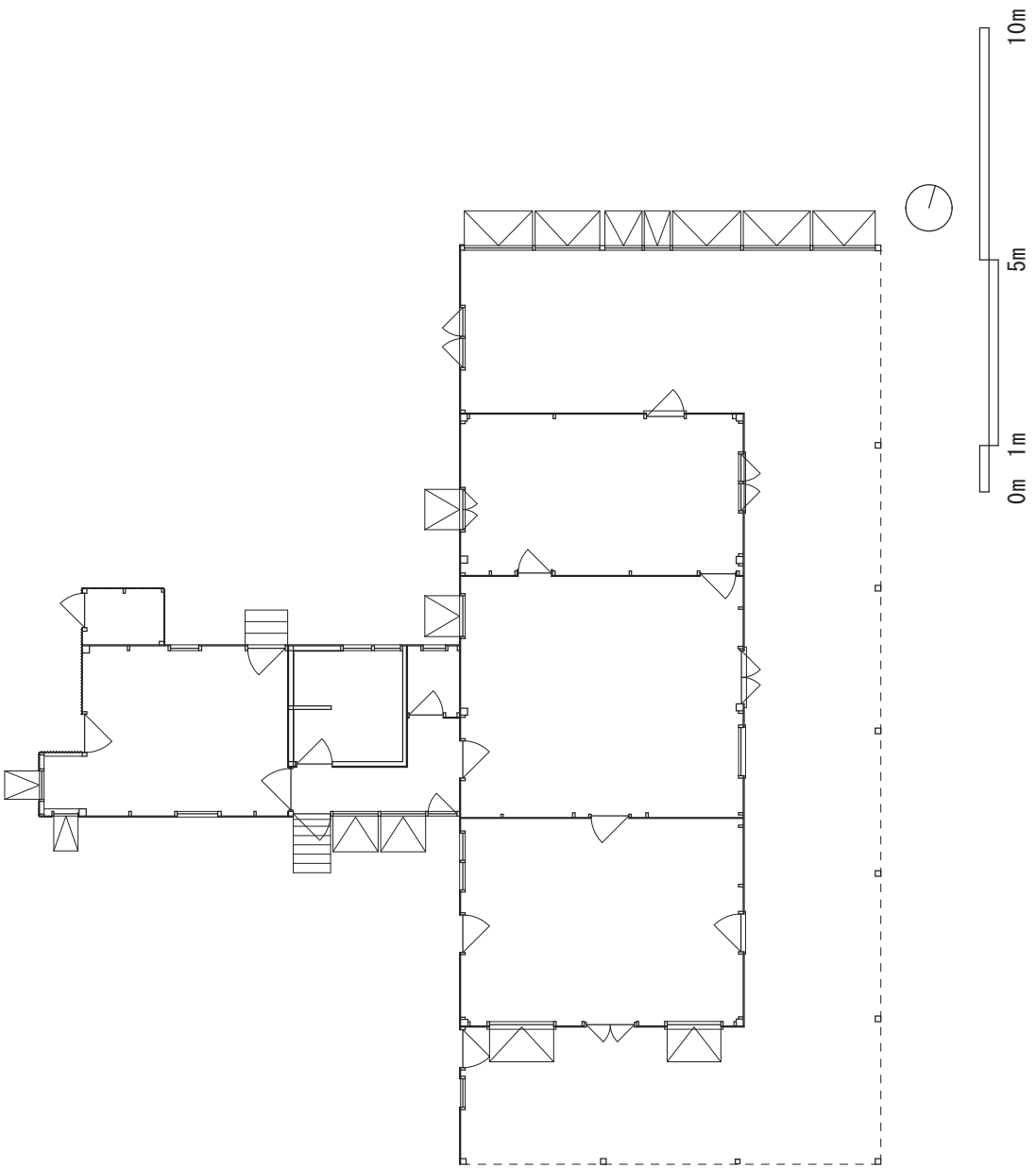
Section

Date

Aug. 17. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

|            |   |                                      |
|------------|---|--------------------------------------|
|            |  | <p>OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE</p> |
|            | <p>Anglican Vicarage<br/>1st Original Plan</p>                                      | <p>Date<br/>Aug. 17. 2017</p>        |
| <p>N24</p> |   |                                      |



N24

Anglican Vicarage  
2nd Original Plan

Date  
Aug. 17. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

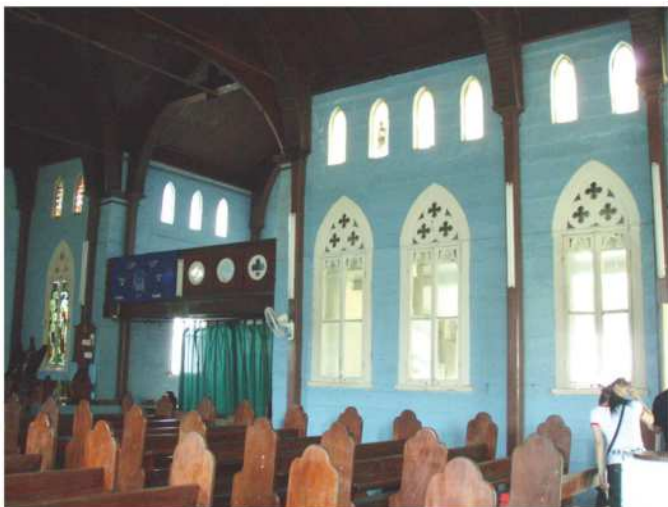




俯瞰



2006年 ACCU 掲載写真



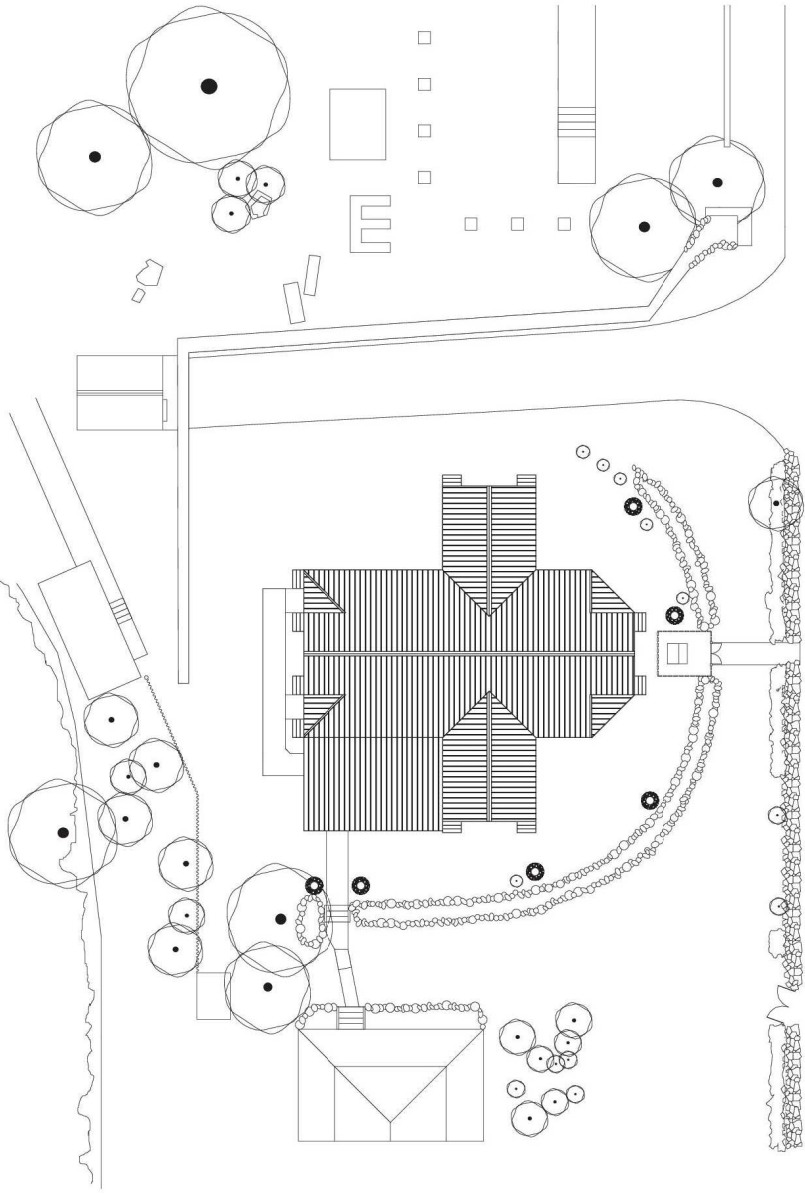
2006年 ACCU 掲載写真



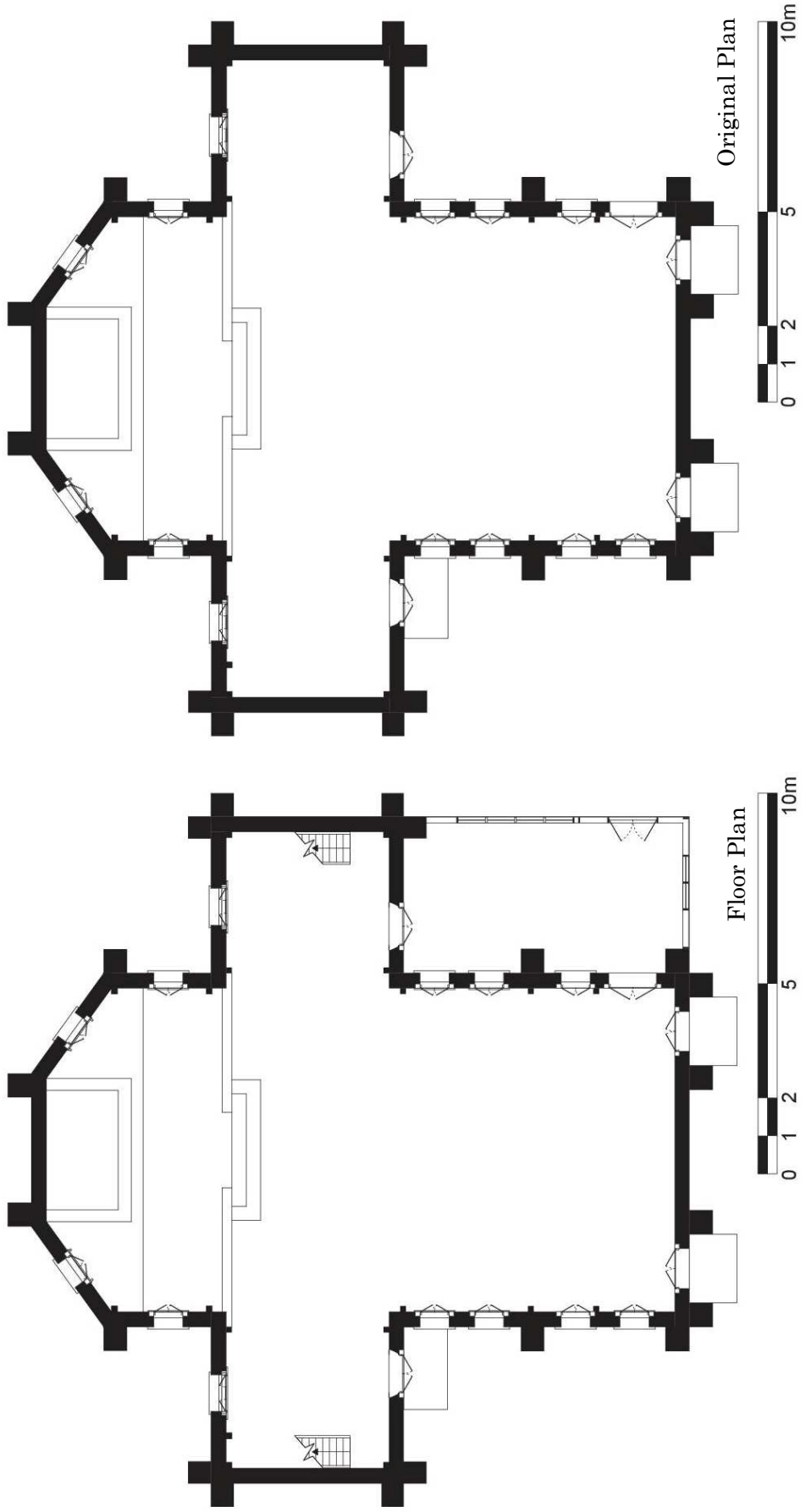
2006年 ACCU 掲載写真

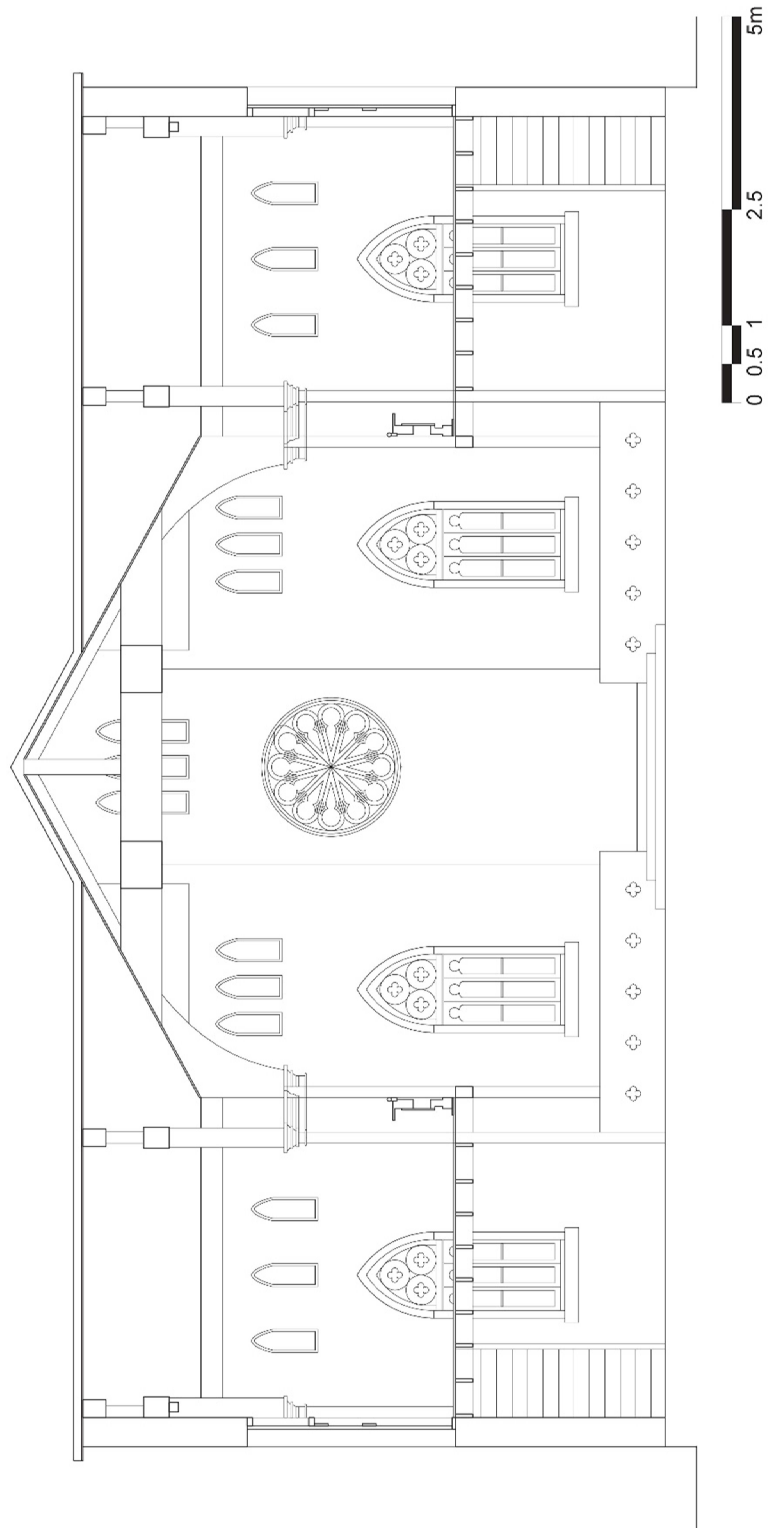


ER-N25 Anglican Church & School 図面作製：九州大学

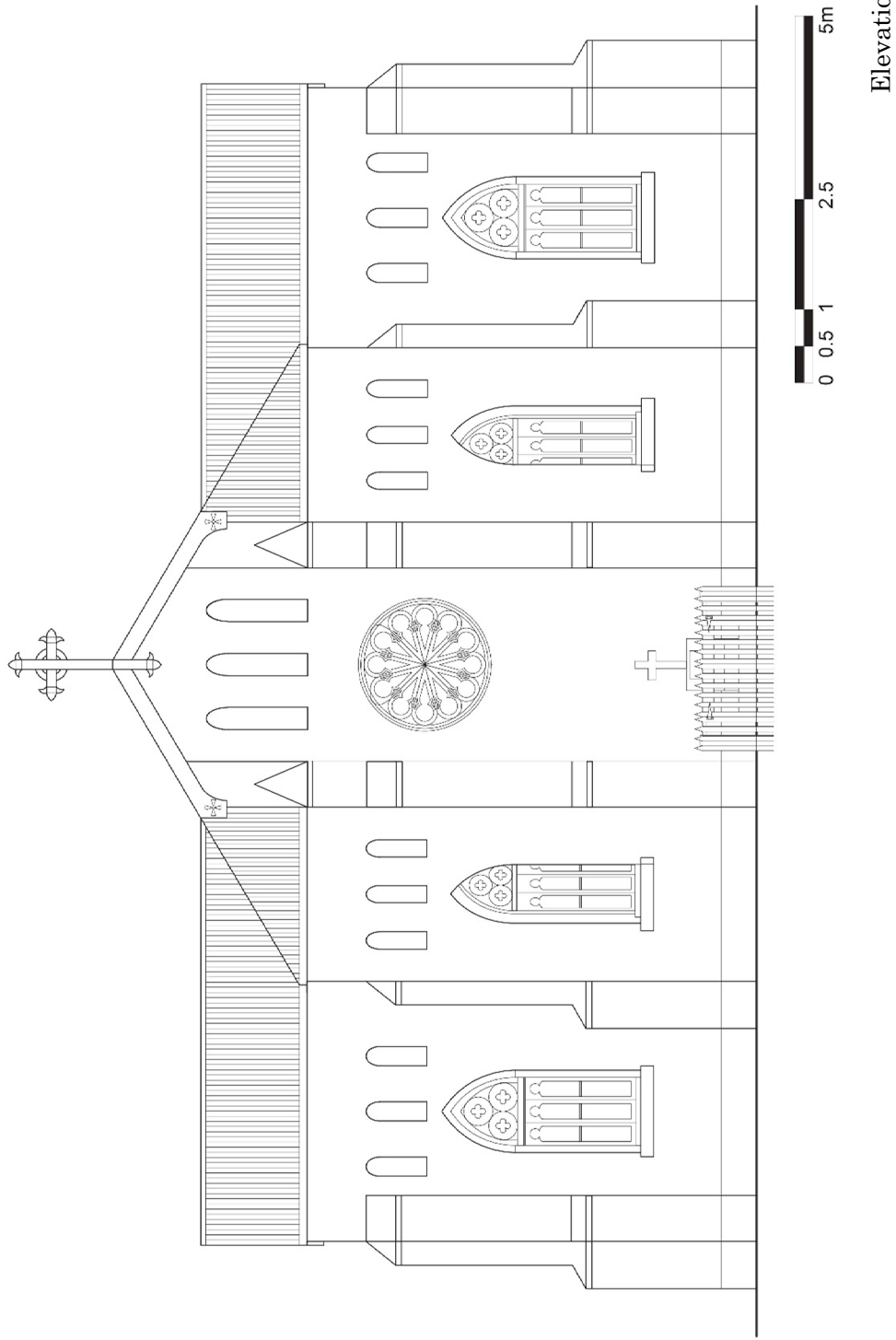


Site Plan





Section



ER:N26

Naidus Store



1階リビング内観



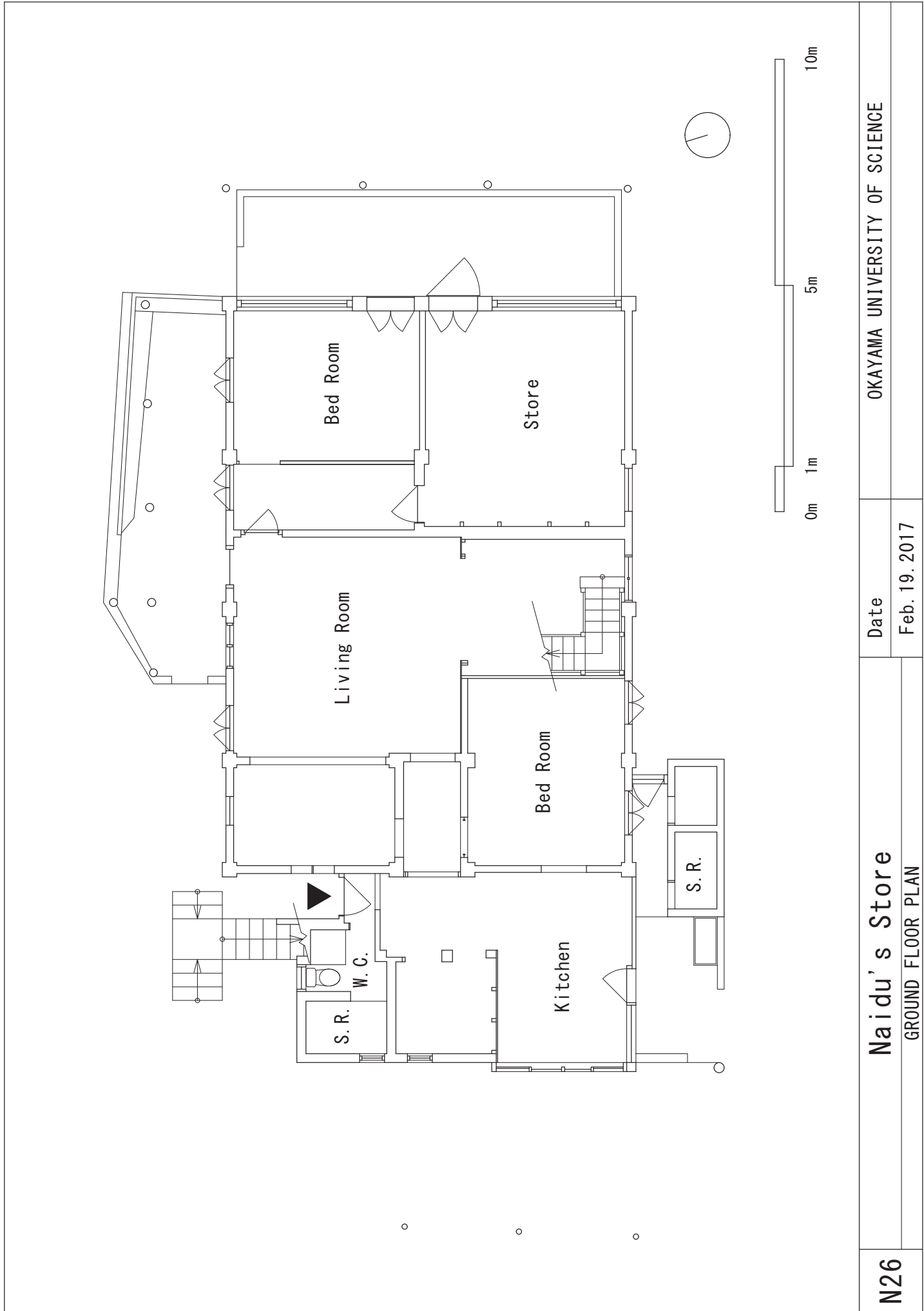
2階リビング内観



小屋組み



西側外観



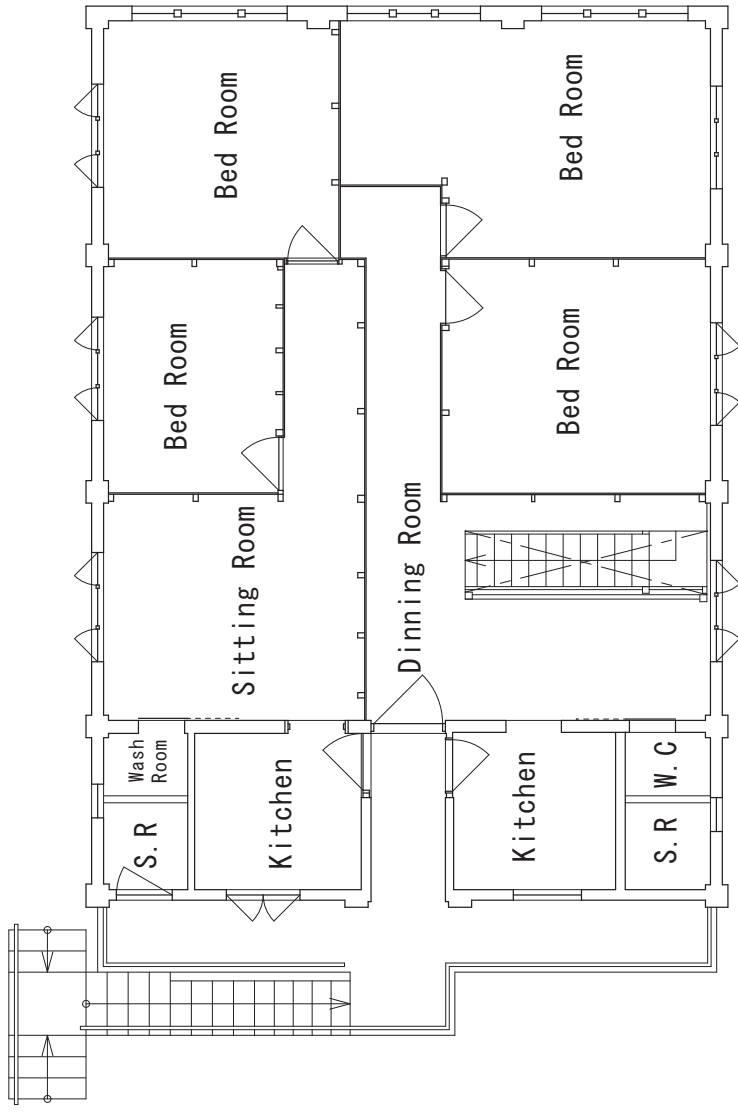
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 19. 2017

Naidu's Store  
GROUND FLOOR PLAN

N26



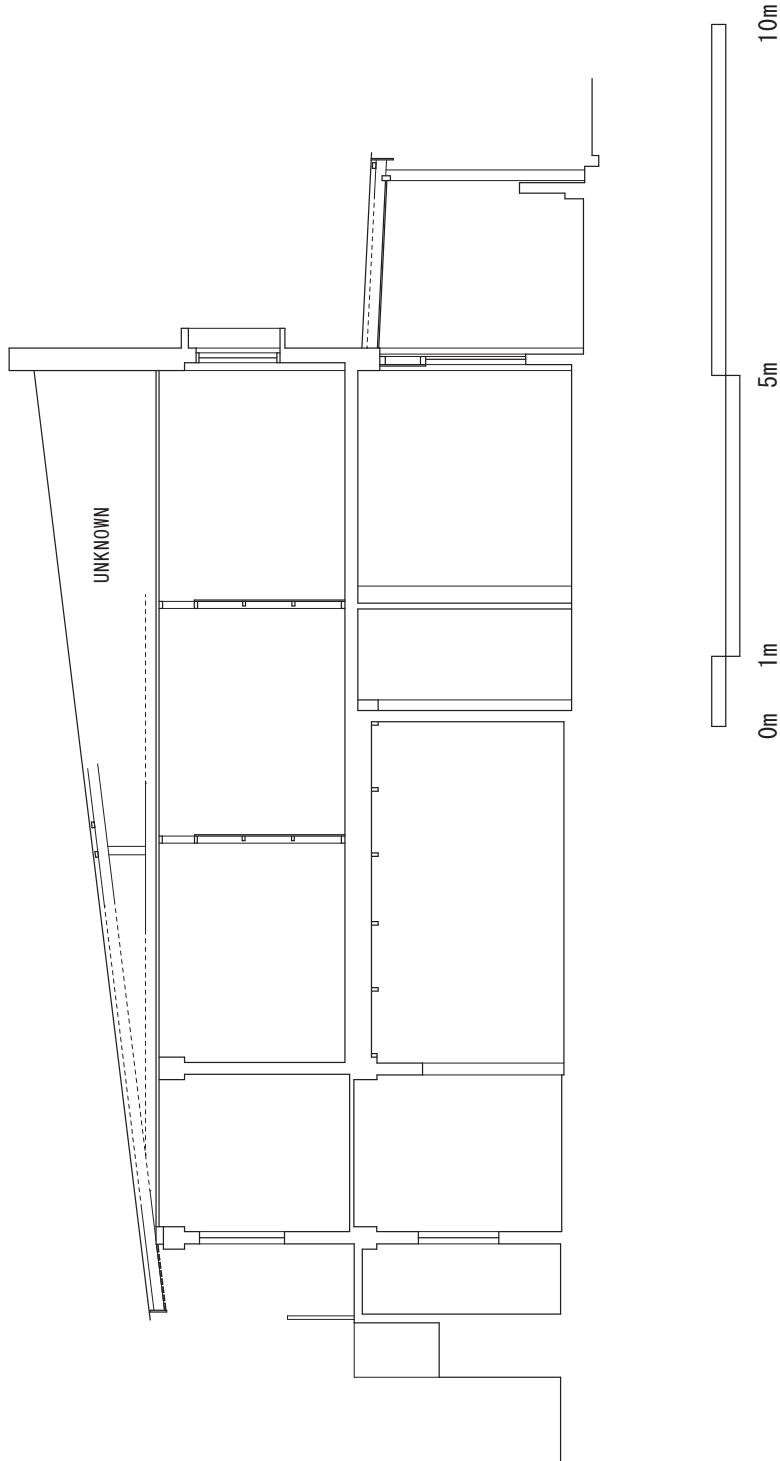


OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 19. 2017

Naidu's Store  
1st FLOOR PLAN

N26



OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Feb. 19. 2017

Naidu's Store  
Section

N26

ER:N27

Nan Borodamu



リビング内観



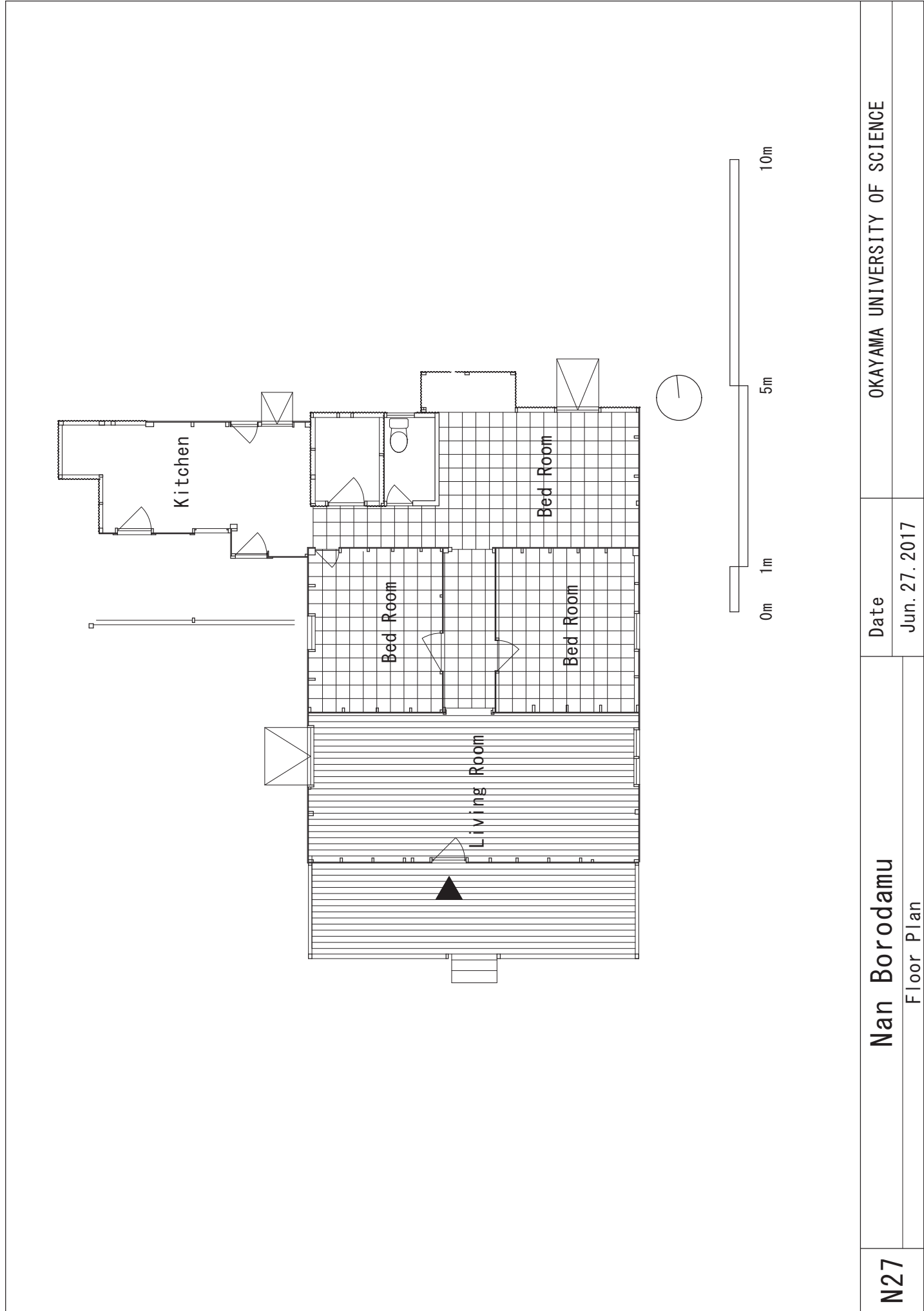
台所内観



小屋組み



寝室内観



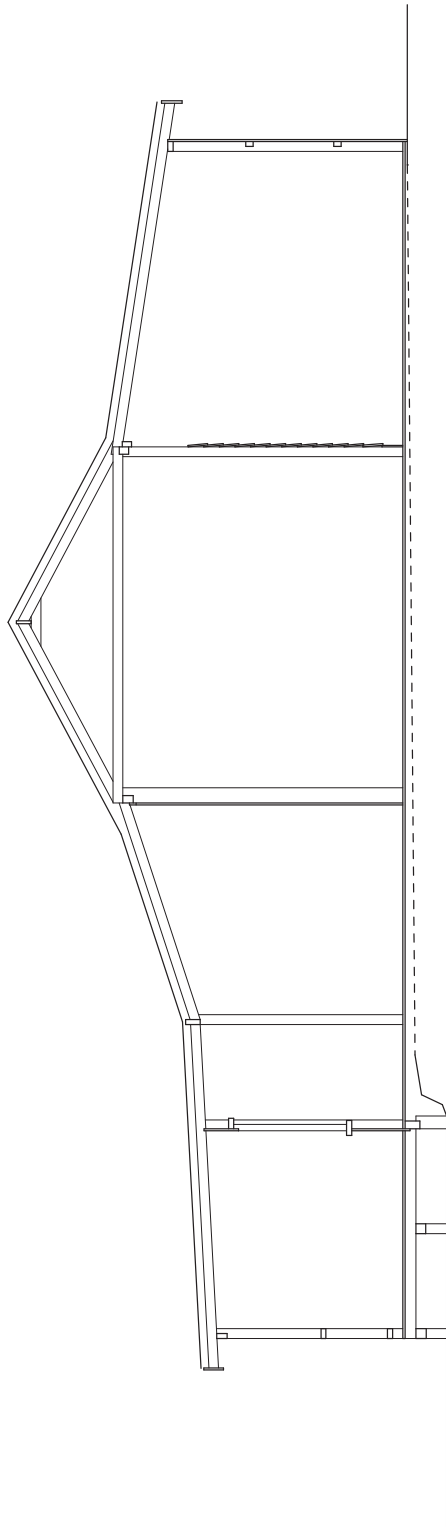
OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

Date  
Jun. 27. 2017

Nan Borodamu

Floor Plan

N27



N27

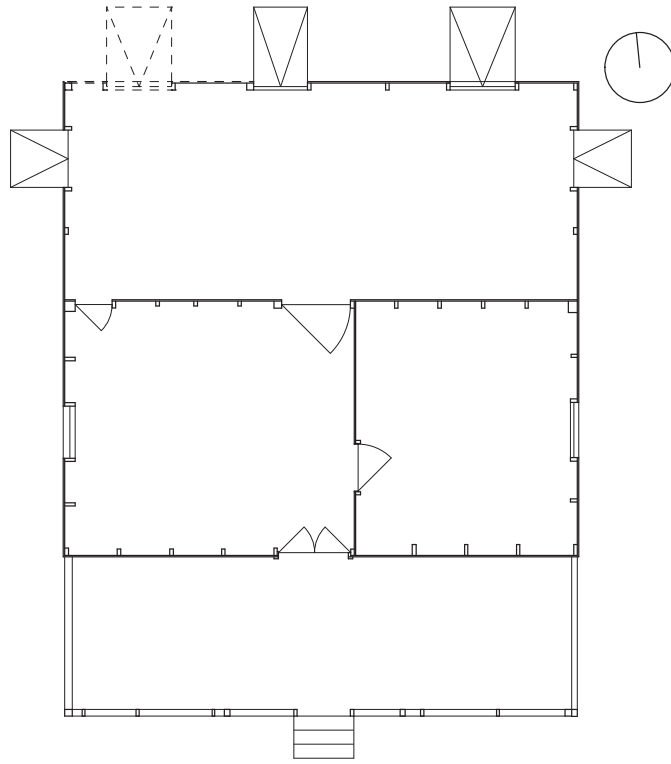
Nan Borodamu

Section

Date

Jun. 27. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



N27

Nan Borodamu  
Original Plan

Date

Jun. 27. 2017

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE



ER:N28

Len Wong Bakery



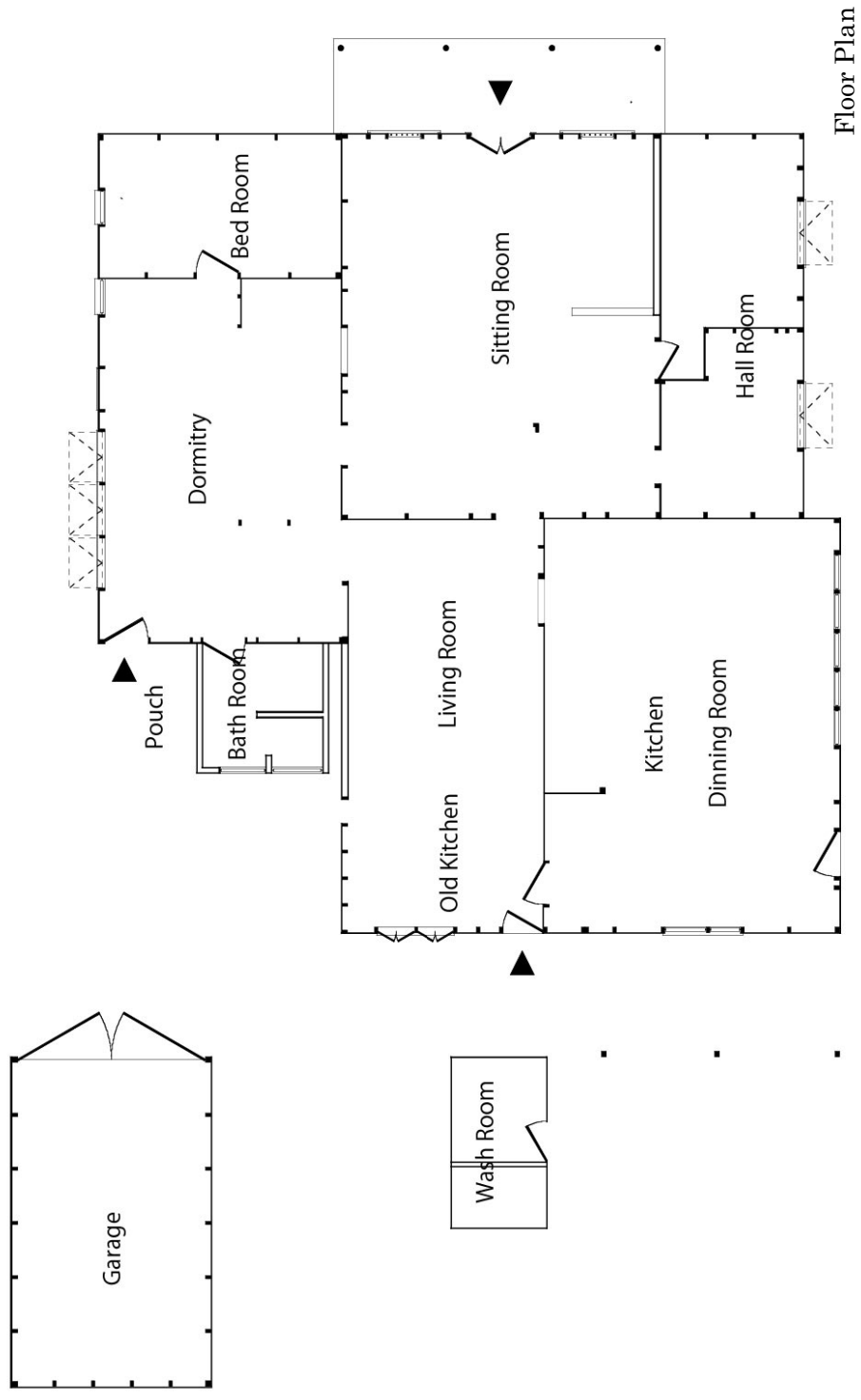
内観(2007年九州大学撮影)



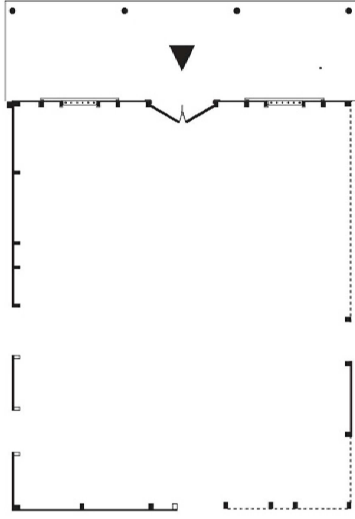
小屋組み(2007年九州大学撮影)



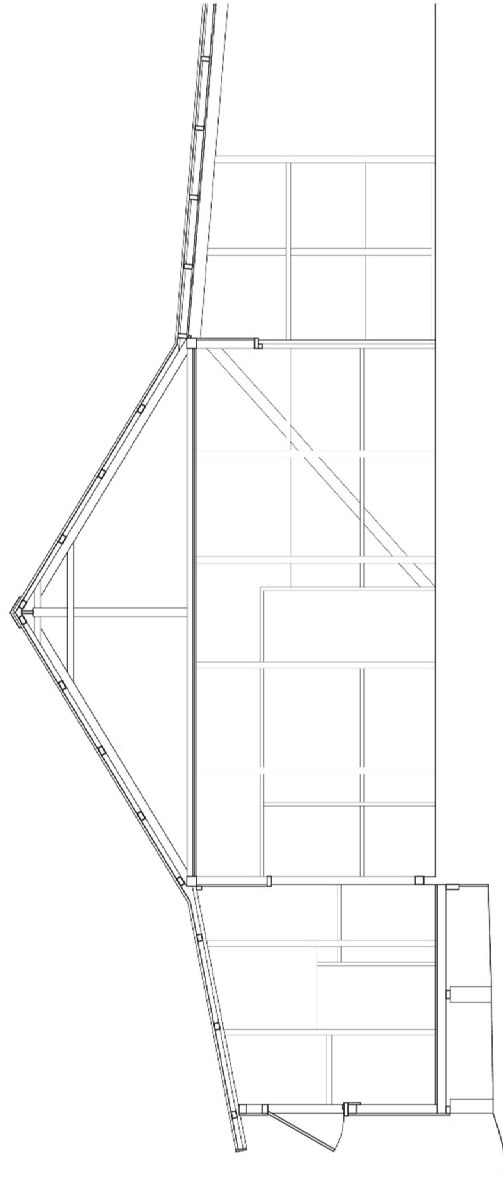
東側外観



Len Wong Bakery 図面作製：九州大学



Original Plan



Section

ER:N29

Levuka Koro Methodist Church

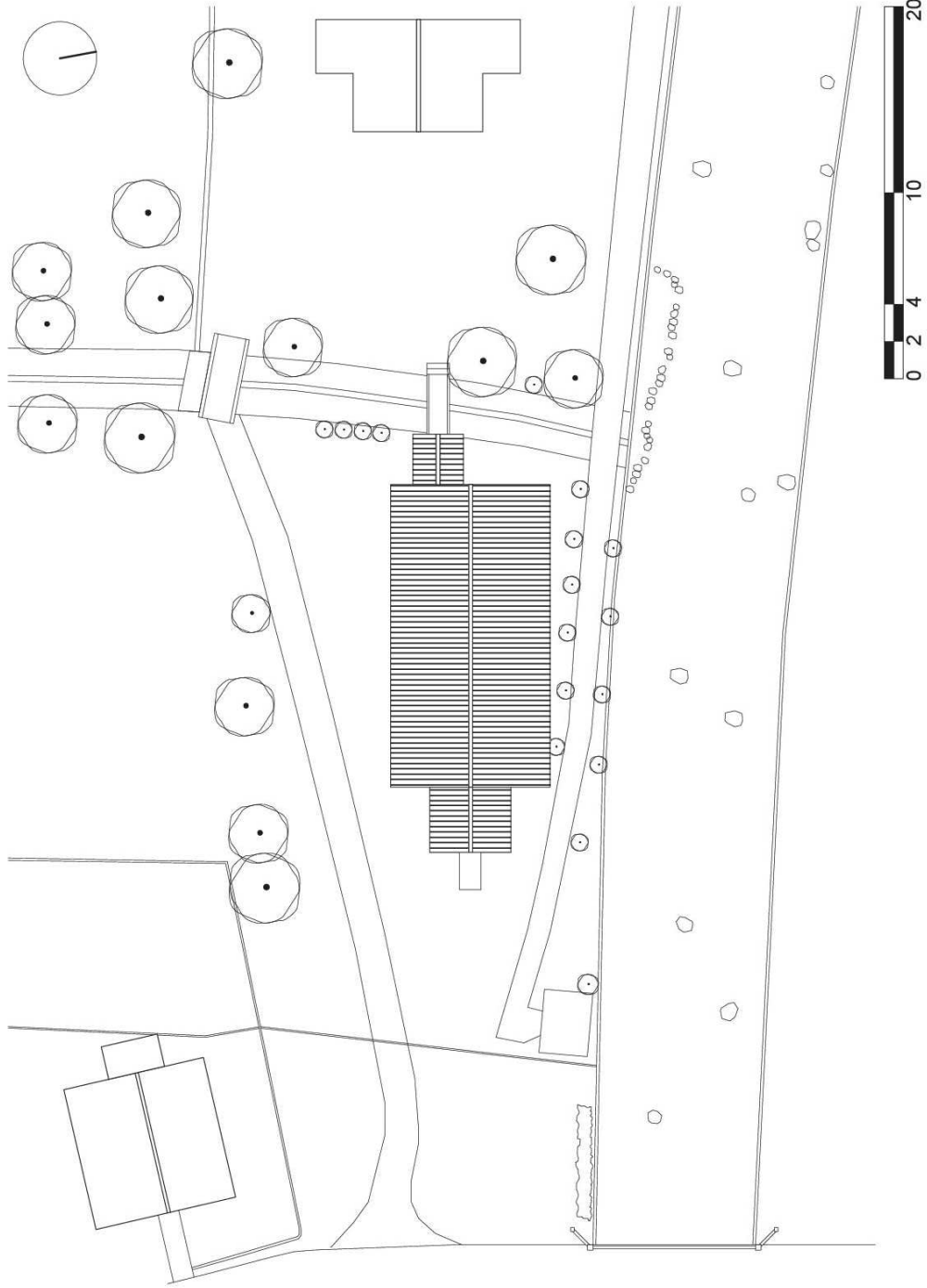


南側外觀



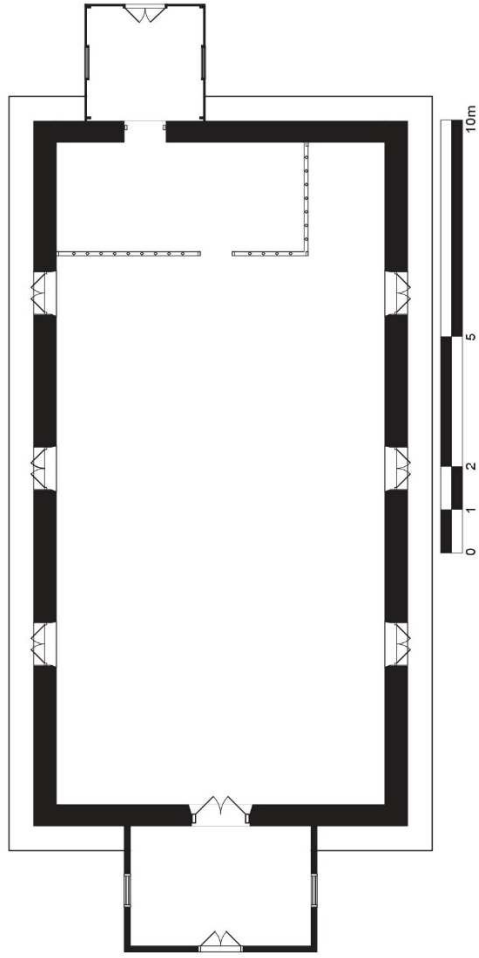
2006年 ACCU 掲載写真

ER-N29...Levuka Koro Methodist Church 図面作製：九州大学

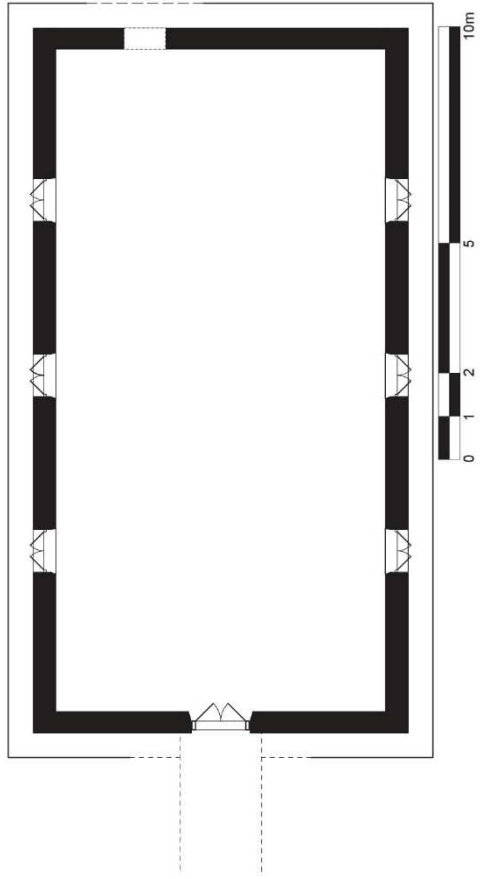


Levuka Koro Methodist Church 図面作製：九州大学

Current Plan



Original Plan





Levuka Koro Methodist Church 図面作製：九州大学

